
久喜市

栗橋宿本陣跡Ⅱ

首都圏氾濫区域堤防強化対策における
埋蔵文化財発掘調査報告
(第2分冊)

2020

国土交通省 関東地方整備局
公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目次

(第1分冊)

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

I	発掘調査の概要	1
1	発掘調査に至る経過	1
2	発掘調査・報告書作成の経過	2
(1)	発掘調査	2
(2)	整理・報告書の作成	2
3	発掘調査・報告書作成の組織	3
II	遺跡の立地と環境	5
1	地理的環境	5
2	歴史的環境	6
III	遺跡の概要	13
IV	栗橋宿本陣跡の遺構と遺物	29
1	第一面の遺構と遺物	29
(1)	建物跡	29
(2)	基礎状遺構	33
(3)	胞衣埋納遺構	33
(4)	埋設桶	37
(5)	井戸跡	53
(6)	杭列	71
(7)	木樋・竹樋	76
(8)	瓦樋	80
(9)	池状遺構と関連施設	82
(10)	溝跡	97
(11)	柵列跡	114
(12)	焼土遺構	114
(13)	土壌	115
(14)	ピット	340

(第2分冊)

2	第二面の遺構と遺物	341
(1)	建物跡	341
(2)	基礎状遺構	341
(3)	井戸跡	343
(4)	溝跡	350
(5)	土壌	368
(6)	ピット	447
(7)	遺構外出土遺物	447
3	文字資料	454
4	出土遺物一覧と遺構の時期	454
V	自然科学分析	485
1	埋設桶の土壌分析	485
2	構造物等に用いられた木製品の樹種同定	490
3	大型植物遺体	492
4	動物遺体	494
5	木製品の樹種同定	496
VI	調査のまとめ	504

写真図版

插图目次

(第2分册)

第274图	第14 a・b号建物跡	342	第308图	土壙(12)	383
第275图	第15号建物跡	343	第309图	土壙(13)	384
第276图	第3号基礎状遺構	343	第310图	土壙出土遺物(1)	385
第277图	基礎状遺構出土遺物	343	第311图	土壙出土遺物(2)	386
第278图	第11号井戸跡	344	第312图	土壙出土遺物(3)	387
第279图	第12・13号井戸跡	345	第313图	土壙出土遺物(4)	388
第280图	第14・16号井戸跡	346	第314图	土壙出土遺物(5)	391
第281图	第15・17号井戸跡	347	第315图	土壙出土遺物(6)	392
第282图	井戸跡出土遺物(1)	348	第316图	土壙出土遺物(7)	393
第283图	井戸跡出土遺物(2)	349	第317图	土壙出土遺物(8)	394
第284图	第11・12号溝跡	351	第318图	土壙出土遺物(9)	395
第285图	第13~15号溝跡	352	第319图	土壙出土遺物(10)	396
第286图	溝跡出土遺物(1)	353	第320图	土壙出土遺物(11)	397
第287图	溝跡出土遺物(2)	354	第321图	土壙遺物出土狀況(1)	397
第288图	溝跡出土遺物(3)	355	第322图	土壙遺物出土狀況(2)	398
第289图	溝跡出土遺物(4)	356	第323图	土壙出土遺物(12)	401
第290图	溝跡出土遺物(5)	357	第324图	土壙出土遺物(13)	402
第291图	溝跡出土遺物(6)	358	第325图	土壙出土遺物(14)	403
第292图	溝跡出土遺物(7)	359	第326图	土壙出土遺物(15)	404
第293图	溝跡出土遺物(8)	360	第327图	土壙遺物出土狀況(3)	405
第294图	溝跡出土遺物(9)	361	第328图	土壙遺物出土狀況(4)	406
第295图	溝跡出土遺物(10)	362	第329图	土壙出土遺物(16)	409
第296图	溝跡出土遺物(11)	363	第330图	土壙出土遺物(17)	410
第297图	土壙(1)	372	第331图	土壙出土遺物(18)	411
第298图	土壙(2)	373	第332图	土壙出土遺物(19)	412
第299图	土壙(3)	374	第333图	土壙出土遺物(20)	413
第300图	土壙(4)	375	第334图	土壙出土遺物(21)	414
第301图	土壙(5)	376	第335图	土壙出土遺物(22)	415
第302图	土壙(6)	377	第336图	土壙出土遺物(23)	416
第303图	土壙(7)	378	第337图	土壙出土遺物(24)	417
第304图	土壙(8)	379	第338图	土壙出土遺物(25)	418
第305图	土壙(9)	380	第339图	土壙出土遺物(26)	419
第306图	土壙(10)	381	第340图	土壙出土遺物(27)	425
第307图	土壙(11)	382	第341图	土壙出土遺物(28)	427

第342図	土壙出土遺物 (29) ……………	428	第360図	遺構外出土遺物 (3) ……………	451
第343図	土壙出土遺物 (30) ……………	429	第361図	遺構外出土遺物 (4) ……………	452
第344図	土壙出土遺物 (31) ……………	430	第362図	回虫卵……………	486
第345図	土壙出土遺物 (32) ……………	431	第363図	土壌のリン=カルシウム分布図 ……	487
第346図	土壙出土遺物 (33) ……………	432	第364図	プレス試料およびリンとカルシウムの 元素マッピング図 (1) ……………	488
第347図	土壙出土遺物 (34) ……………	433	第365図	プレス試料およびリンとカルシウムの 元素マッピング図 (2) ……………	489
第348図	土壙出土遺物 (35) ……………	434	第366図	木製品の光学顕微鏡写真 ……………	491
第349図	土壙出土遺物 (36) ……………	437	第367図	大型植物遺体 ……………	494
第350図	土壙出土遺物 (37) ……………	438	第368図	動物遺体 ……………	495
第351図	土壙出土遺物 (38) ……………	440	第369図	樹種同定顕微鏡写真 (1) ……………	499
第352図	土壙出土遺物 (39) ……………	441	第370図	樹種同定顕微鏡写真 (2) ……………	500
第353図	土壙出土遺物 (40) ……………	442	第371図	樹種同定顕微鏡写真 (3) ……………	501
第354図	土壙出土遺物 (41) ……………	444	第372図	樹種同定顕微鏡写真 (4) ……………	502
第355図	土壙出土遺物 (42) ……………	445	第373図	樹種同定顕微鏡写真 (5) ……………	503
第356図	ピット……………	446	第374図	絵図と調査区の対比案 ……………	505
第357図	ピット出土遺物 ……………	447	第375図	火災処理に係る土壌の分布 ……………	507
第358図	遺構外出土遺物 (1) ……………	448			
第359図	遺構外出土遺物 (2) ……………	449			

表目次

(第2分冊)

第50表	第二面建物跡・基礎状遺構一覧表 …………… 341	第72表	第二面ピット一覧表…………… 447
第51表	基礎状遺構出土遺物観察表…………… 343	第73表	ピット出土遺物観察表…………… 447
第52表	第二面井戸跡一覧表…………… 344	第74表	遺構外出土遺物観察表(1)…………… 450
第53表	井戸跡出土遺物観察表(1)…………… 349	第75表	遺構外出土遺物観察表(2)…………… 453
第54表	井戸跡出土遺物観察表(2)…………… 350	第76表	文字資料積文…………… 454
第55表	第二面溝跡一覧表…………… 350	第77表	第一面瓦計測表…………… 455
第56表	溝跡出土遺物観察表(1)…………… 354	第78表	第二面瓦計測表…………… 458
第57表	溝跡出土遺物観察表(2)…………… 366	第79表	出土遺物一覧表…………… 460
第58表	溝跡出土遺物観察表(3)…………… 366	第80表	出土貝類一覧表…………… 473
第59表	溝跡出土遺物観察表(4)…………… 367	第81表	第29号土壙出土銭貨一覧表…………… 474
第60表	第二面土壙一覧表…………… 369	第82表	遺構時期推定一覧表…………… 475
第61表	土壙出土遺物観察表(1)…………… 388	第83表	第一面主要遺構出土遺物組成表…………… 480
第62表	土壙出土遺物観察表(2)…………… 390	第84表	第二面主要遺構出土遺物組成表…………… 484
第63表	土壙出土遺物観察表(3)…………… 401	第85表	分析した試料…………… 485
第64表	土壙出土遺物観察表(4)…………… 419	第86表	試料の計量値と寄生虫卵数…………… 486
第65表	土壙出土遺物観察表(5)…………… 425	第87表	点分析の半定量分析結果…………… 487
第66表	土壙出土遺物観察表(6)…………… 428	第88表	樹種同定結果…………… 490
第67表	土壙出土遺物観察表(7)…………… 434	第89表	大型植物遺体同定結果…………… 492
第68表	土壙出土遺物観察表(8)…………… 439	第90表	分類群一覧…………… 495
第69表	土壙出土遺物観察表(9)…………… 442	第91表	動物遺体一覧…………… 495
第70表	土壙出土遺物観察表(10)…………… 443	第92表	樹種同定結果一覧…………… 497
第71表	土壙出土遺物観察表(11)…………… 445	第93表	下駄の分類別種類構成…………… 497
		第94表	火災処理に係る土壙一覧…………… 507

写真図版目次

(第2分冊)

- | | | |
|------|----------------------|--------------------------|
| 図版 1 | 1 広域垂直写真 | 5 第15号建物跡 |
| | 2 遠景 北から | 6 第15号建物跡 ピット1 |
| | 3 近景 北西から | 7 第15号建物跡 ピット2 |
| | 4 第一面全景 北から | 8 第15号建物跡 ピット3 |
| | 5 第二面全景 南東から | 9 第16号建物跡全景 |
| 図版 2 | 1 西壁基本土層全景 | 10 第16号建物跡・第15号溝跡 |
| | 2 西壁基本土層 (部分) | 11・12 第16号建物跡基礎杭 (1)・(2) |
| | 3 東壁基本土層全景 | 図版 7 1 第3号基礎状遺構 |
| | 4～8 東壁基本土層 (部分1～5) | 2・3 胞衣埋納遺構 (1)・(2) |
| 図版 3 | 1 第一面建物跡群と日光道中 | 4 第一面北西部埋設桶分布状況 |
| | 2 第1・6号建物跡・第2号杭列検出状況 | 5 第1号埋設桶上面 |
| | 3・4 第1号建物跡 (1)・(2) | 6 第1号埋設桶 |
| | 5 第1号建物跡基礎土層 | 7 第2号埋設桶 |
| | 6 第1号建物跡・第39号埋設桶土層 | 8 第2号埋設桶タガ |
| 図版 4 | 1 第1号建物跡 ピット4 | 9 第4号埋設桶 |
| | 2 第2号建物跡 北から | 10 第5号埋設桶 |
| | 3 第2号建物跡 東から | 11 第8号埋設桶 |
| | 4 第2・4号建物跡 | 12 第10号埋設桶 |
| | 5 第2号建物跡 石2 | 13 第11号埋設桶 |
| | 6 第2号建物跡 石3 | 14 第12号埋設桶 |
| | 7 第4号建物跡 石1 | 15 第13号埋設桶 |
| | 8 第4号建物跡 石5 | 図版 8 1 第14号埋設桶 |
| 図版 5 | 1 第6号建物跡 | 2 第15号埋設桶断面 |
| | 2 第6号建物跡 (部分) | 3 第16号埋設桶断面 |
| | 3 第14a・14b号建物跡 北から | 4 第17号埋設桶 |
| | 4 第14a号建物跡 ピット3 | 5 第18号埋設桶 |
| | 5 第14a号建物跡 ピット4 | 6 第20号埋設桶 |
| | 6 第14a号建物跡 ピット5 | 7 第21号埋設桶 |
| | 7 第14a号建物跡 ピット6 | 8 第23号埋設桶 |
| 図版 6 | 1 第14b号建物跡 ピット1 | 9 第24号埋設桶 |
| | 2 第14b号建物跡 ピット2 | 10 第25号埋設桶 |
| | 3 第14b号建物跡 ピット3 | 11 第27・28号埋設桶 |
| | 4 第14b号建物跡 ピット4 | 12 第28号埋設桶 |
| | | 13 第31号埋設桶 |

	14	第32号埋設桶		16	第93号埋設桶
	15	第35号埋設桶		17	第94号埋設桶
	16	第36号埋設桶		18	第95号埋設桶
	17	第37号埋設桶	図版11	1	第1号井戸跡全景
	18	第39号埋設桶		2	第1号井戸跡断面
図版9	1	第40号埋設桶断面		3	第2号井戸跡全景
	2	第40号埋設桶		4	第2号井戸跡掘方
	3	第41号埋設桶		5	第3号井戸跡1段目
	4	第44号埋設桶		6	第3号井戸跡3段目
	5	第47号埋設桶		7	第3号井戸跡釣瓶出土状況
	6	第51号埋設桶		8	第4号井戸跡全景
	7	第52号埋設桶		9	第4号井戸跡1段目
	8	第55号埋設桶		10	第4号井戸跡部分
	9	第56号埋設桶	図版12	1	第4号井戸跡2段目
	10	第59号埋設桶		2	第4号井戸跡底面
	11	第62号埋設桶		3	第5号井戸跡検出状況
	12	第63号埋設桶		4	第5号井戸跡全景
	13	第64号埋設桶		5	第6号井戸跡3段目
	14	第65号埋設桶		6	第7号井戸跡全景
	15	第67号埋設桶		7	第7号井戸跡底面
	16	第68・69号埋設桶		8	第8号井戸跡全景
	17	第72号埋設桶		9	第8号井戸跡3段目
	18	第73号埋設桶断面	図版13	1	第9号井戸跡全景
図版10	1	第73号埋設桶		2	第9号井戸跡2段目
	2	第75号埋設桶		3	第10号井戸跡1段目
	3・4	第77号埋設桶上面(1)・(2)		4	第10号井戸跡1段目下端
	5	第77号埋設桶		5	第10号井戸跡3段目
	6	第78号埋設桶		6	第12号井戸跡1段目
	7	第79・80号埋設桶		7	第12号井戸跡2段目
	8	第82号埋設桶上面		8	第13号井戸跡全景
	9	第82号埋設桶		9	第13号井戸跡
	10	第83号埋設桶		10	第13号井戸跡下部
	11	第84号埋設桶	図版14	1	第14号井戸跡断面
	12	第86号埋設桶		2	第14号井戸跡下部断面
	13	第88号埋設桶		3	第15号井戸跡1段目
	14	第91号埋設桶		4	第15号井戸跡1段目断面
	15	第93号埋設桶断面		5	第15・17号井戸跡全景

	6	第17号井戸跡1段目		10・11	第29号土壙全景(1)・(2)
	7	第16号井戸跡全景		12	第29号土壙遺物出土状況(1)
	8	第16号井戸跡2段目	図版19	1	第29号土壙遺物出土状況(2)
図版15	1	第1～3号杭列		2	第29号土壙完掘
	2	第1号杭列		3	第30号土壙断面
	3	第1号溝跡		4	第30号土壙
	4	第3号溝跡		5	第46号土壙
	5	第4号杭列		6	第46号土壙遺物出土状況
	6	第6号溝跡		7	第52～56号土壙
	7	第5号杭列		8	第55号土壙
	8	第9号溝跡		9	第66号土壙
図版16	1	第11～14号溝跡		10	第66号土壙遺物出土状況
	2	第1号瓦樋		11	第87号土壙
	3	第1号木樋部分		12	第128号土壙断面
	4	第1号木樋全景		13	第127・128号土壙
	5	第2号木樋		14	第128号土壙
	6～8	第1号竹樋(1)～(3)	図版20	1～2	第111号土壙部分 (1)・(2)
	9	第4号木樋		3	第111号土壙
	10	第2号竹樋		4	第111号土壙掘方
図版17	1	池状遺構周辺		5	第150号土壙
	2	池状遺構検出状況		6	第160・161号土壙
	3	池状遺構構築材の状況		7	第188号土壙断面
	4	池状遺構完掘		8	第201号土壙
	5	池状遺構部分		9	第201号土壙遺物出土状況
	6	池状遺構桶出土状況		10	第204号土壙
	7	排水枡		11	第205号土壙
	8	排水枡部分		12	第205号土壙遺物出土状況
	9	排水枡焼印		13	第210号土壙
図版18	1	第1号土壙検出状況		14	第210号土壙遺物出土状況(1)
	2	第1号土壙部分	図版21	1	第210号土壙遺物出土状況(2)
	3	第1号土壙完掘		2	第221号土壙
	4	第2号土壙		3	第230号土壙
	5	第3号土壙		4	第240号土壙
	6	第9号土壙		5	第201・244・245号土壙
	7	第13号土壙		6	第244号土壙断面
	8	第13号土壙出土遺物		7	第245号土壙断面
	9	第25号土壙			

- | | | | | | |
|------|-------|---------------------------|------|------|------------------------------|
| | 8 | 第248号土壙 | | 14 | 第1058号土壙 |
| | 9 | 第252・258号土壙 | | 15 | 第1058号土壙遺物出土状況 |
| | 10 | 第266号土壙 | 図版24 | 1 | 第1062号土壙 |
| | 11 | 第127・128・269～271号土壙 | | 2 | 第1069号土壙 |
| | 12 | 第277号土壙 | | 3 | 第1071～1073・1082号土壙 |
| | 13 | 第277号土壙断面 | | 4 | 第1075号土壙 |
| | 14 | 第297号土壙 | | 5 | 第1077号土壙 |
| | 15 | 第289号土壙 | | 6 | 第1082号土壙 |
| | 16 | 第1156号土壙 | | 7 | 第1082～1084・1116～1118・1127号土壙 |
| 図版22 | 1 | 第1002号土壙 | | 8 | 第1092・1094号土壙 |
| | 2 | 第1003号土壙 | | 9・10 | 第1100号土壙(1)・(2) |
| | 3 | 第1004号土壙 | | 11 | 第1100号土壙部分 |
| | 4 | 第1004号土壙遺物出土状況 | | 12 | 第1100号土壙下面 |
| | 5 | 第1005～1007号土壙 | | 13 | 第1102号土壙 |
| | 6 | 第1007号土壙遺物出土状況 | | 14 | 第1104号土壙 |
| | 7・8 | 第1024号土壙遺物
出土状況(1)・(2) | | 15 | 第1104号土壙完掘 |
| | 9 | 第1024号土壙完掘 | 図版25 | 1～4 | 第1104号土壙
遺物出土状況(1)～(4) |
| | 10・11 | 第1025号土壙
検出状況(1)・(2) | | 5 | 第1105～1107・1119号土壙・第15号井戸跡 |
| | 12 | 第1025号土壙 | | 6 | 第1108号土壙 |
| | 13 | 第1025号土壙部分 | | 7 | 第1108号土壙遺物出土状況 |
| | 14 | 第1025・1026号土壙完掘 | | 8 | 第1108号土壙 |
| | 15 | 第1028号土壙・第11号溝跡断面 | | 9 | 第1111号土壙 |
| 図版23 | 1 | 第1032号土壙 | | 10 | 第1112～1115号土壙 |
| | 2 | 第1032号土壙上層断面 | | 11 | 第1129号土壙 |
| | 3 | 第1032号土壙下層断面 | | 12 | 第1128・1142号土壙 |
| | 4・5 | 第1032号土壙部分
(1)・(2) | | 13 | 第1140号土壙・第5号井戸跡 |
| | 6 | 第1032号土壙最下層断面 | | 14 | 調査区南東部の焼土範囲 |
| | 7 | 第1032号土壙完掘 | 図版26 | 1・2 | 第1号建物跡出土遺物 |
| | 8 | 第1044～1046号土壙 | | 3 | 第6号建物跡出土遺物 |
| | 9 | 第1048号土壙 | | 4 | 胞衣埋納遺構出土遺物 |
| | 10 | 第1048号土壙遺物出土状況 | | 5 | 第63号埋設桶出土遺物 |
| | 11 | 第1052号土壙 | | 6 | 第1号井戸跡出土遺物 |
| | 12 | 第1056号土壙遺物出土状況 | | 7～9 | 第2号井戸跡出土遺物 |
| | 13 | 第1056号土壙 | | 10 | 第3号井戸跡出土遺物 |

- 11 第4号井戸跡出土遺物
 12 第6号井戸跡出土遺物
 13 第7号井戸跡出土遺物
 14 第8号井戸跡出土遺物
 図版27 1 第7号井戸跡出土遺物
 2 第8号井戸跡出土遺物
 3・4 第9号井戸跡出土遺物
 5 第1号杭列出土遺物
 6 第3号杭列出土遺物
 7～9 第1号竹樋出土遺物
 図版28 1～13 池状遺構出土遺物
 図版29 1～14 池状遺構出土遺物
 15 排水枘出土遺物
 図版30 1 第1号溝跡出土遺物
 2・3 第3号溝跡出土遺物
 4～10 第9号溝跡出土遺物
 11・12 第1号土壙出土遺物
 図版31 1～12 第2・9号土壙出土遺物
 図版32 1～8 第2・9号土壙出土遺物
 図版33 1～9 第2・9号土壙出土遺物
 図版34 1～9 第2・9号土壙出土遺物
 図版35 1～4 第2・9号土壙出土遺物
 5～10 第3号土壙出土遺物
 図版36 1～6 第3号土壙出土遺物
 7・8 第4号土壙出土遺物
 9 第5号土壙出土遺物
 図版37 1～12 第7号土壙出土遺物
 図版38 1～8 第7号土壙出土遺物
 図版39 1～8 第7号土壙出土遺物
 9 第10号土壙出土遺物
 10・11 第11号土壙出土遺物
 図版40 1～3 第12号土壙出土遺物
 4～6 第13号土壙出土遺物
 7～11 第16号土壙出土遺物
 図版41 1～13 第16号土壙出土遺物
 図版42 1～10 第16号土壙出土遺物
 図版43 1～14 第16号土壙出土遺物
 図版44 1 第18号土壙出土遺物
 2～13 第25号土壙出土遺物
 図版45 1～8 第25号土壙出土遺物
 9～11 第26号土壙出土遺物
 12・13 第27号土壙出土遺物
 図版46 1～6 第29号土壙出土遺物
 7～14 第30号土壙出土遺物
 図版47 1～5 第30号土壙出土遺物
 図版48 1～5 第30号土壙出土遺物
 図版49 1～16 第30号土壙出土遺物
 図版50 1～5 第30号土壙出土遺物
 6～9 第33号土壙出土遺物
 10・11 第36号土壙出土遺物
 図版51 1～8 第39号土壙出土遺物
 図版52 1 第43号土壙出土遺物
 2 第48号土壙出土遺物
 3・4 第52号土壙出土遺物
 5 第55号土壙出土遺物
 6～8 第58号土壙出土遺物
 9 第63号土壙出土遺物
 図版53 1 第62号土壙出土遺物
 2～5 第63号土壙出土遺物
 6～13 第65号土壙出土遺物
 図版54 1 第67号土壙出土遺物
 2～5 第68号土壙出土遺物
 6 第75号土壙出土遺物
 7・8 第76号土壙出土遺物
 9 第78号土壙出土遺物
 10・11 第80号土壙出土遺物
 12～14 第83号土壙出土遺物
 図版55 1・2 第83号土壙出土遺物
 3・5～7 第86号土壙出土遺物
 4 第85号土壙出土遺物
 8・9 第106号土壙出土遺物
 10～15 第111号土壙出土遺物
 図版56 1 第111号土壙出土遺物
 2 第119号土壙出土遺物

- 3 第131号土壙出土遺物
4 第142号土壙出土遺物
5 第150号土壙出土遺物
6～9 第151号土壙出土遺物
10 第153号土壙出土遺物
11・12 第166号土壙出土遺物
13 第172号土壙出土遺物
14～16 第176号土壙出土遺物
図版57 1～4 第176号土壙出土遺物
5・6 第177号土壙出土遺物
7 第179号土壙出土遺物
8～10 第185号土壙出土遺物
11・12 第188号土壙出土遺物
13～15 第189号土壙出土遺物
図版58 1 第196号土壙出土遺物
2 第197号土壙出土遺物
3 第198号土壙出土遺物
4～9 第201号土壙出土遺物
図版59 1～14 第201号土壙出土遺物
図版60 1～6 第201号土壙出土遺物
7 第203号土壙出土遺物
8～12 第204号土壙出土遺物
図版61 1～3 第204号土壙出土遺物
4・5 第205号土壙出土遺物
6・7 第206号土壙出土遺物
8 第207号土壙出土遺物
9～12 第209号土壙出土遺物
13 第213号土壙出土遺物
図版62 1～4 第212号土壙出土遺物
5 第217号土壙出土遺物
6 第223号土壙出土遺物
7～9 第230号土壙出土遺物
10 第234号土壙出土遺物
11 第237号土壙出土遺物
12 第240号土壙出土遺物
13 第242号土壙出土遺物
図版63 1～8 第242号土壙出土遺物
9 第243号土壙出土遺物
10～13 第247号土壙出土遺物
14～16 第248号土壙出土遺物
図版64 1・2 第248号土壙出土遺物
3～8 第249号土壙出土遺物
9～14 第250号土壙出土遺物
図版65 1・2 第250号土壙出土遺物
3 第254号土壙出土遺物
4・5 第255号土壙出土遺物
6 第259号土壙出土遺物
7・8 第262号土壙出土遺物
9 第263号土壙出土遺物
10 第264号土壙出土遺物
11～13 第266号土壙出土遺物
14 第267号土壙出土遺物
15 第277号土壙出土遺物
図版66 1～7 第277号土壙出土遺物
9・10 第279号土壙出土遺物
8・11・12 第280号土壙出土遺物
13 第282号土壙出土遺物
14・15 第288号土壙出土遺物
16 第289号土壙出土遺物
図版67 1～9 第289号土壙出土遺物
10 第290号土壙出土遺物
図版68 1 第11号井戸跡出土遺物
2～7 第11号溝跡出土遺物
8～12 第12号溝跡出土遺物
図版69 1～12 第12号溝跡出土遺物
図版70 1 第12号溝跡出土遺物
2～6 第13号溝跡出土遺物
7～9 第14号溝跡出土遺物
10～14 第1001号土壙出土遺物
15 第1002号土壙出土遺物
図版71 1 第1004号土壙出土遺物
2 第1007号土壙出土遺物
3 第1009号土壙出土遺物
4 第1012号土壙出土遺物

- 5 第1020号土壙出土遺物
- 6 第1022号土壙出土遺物
- 7~10 第1024号土壙出土遺物
- 11 第1028号土壙出土遺物
- 12 第1046号土壙出土遺物
- 13・14 第1048号土壙出土遺物
- 図版72 1・2 第1056号土壙出土遺物
- 3 第1058号土壙出土遺物
- 4 第1061号土壙出土遺物
- 5 第1068号土壙出土遺物
- 6・7 第1069号土壙出土遺物
- 8 第1070号土壙出土遺物
- 9 第1079号土壙出土遺物
- 10 第1080号土壙出土遺物
- 11・12 第1082号土壙出土遺物
- 13 第1085号土壙出土遺物
- 図版73 1 第1085号土壙出土遺物
- 2・3 第1098号土壙出土遺物
- 4 第1084号土壙出土遺物
- 5 第1101号土壙出土遺物
- 6・7 第1102号土壙出土遺物
- 8 第1104号土壙出土遺物
- 9 第1105号土壙出土遺物
- 10 第1108号土壙出土遺物
- 図版74 1・2 第1108号土壙出土遺物
- 3 第1111号土壙出土遺物
- 4 第1116号土壙出土遺物
- 5・6 第1118号土壙出土遺物
- 7 第1132号土壙出土遺物
- 8 第1131号土壙出土遺物
- 9 第1138号土壙出土遺物
- 10~12 遺構外出土遺物
- 図版75 1~20 文字資料(陶磁器)
- 図版76 1~20 文字資料(陶磁器)
- 図版77 1~21 文字資料(陶磁器)
- 図版78~80 第1025号土壙出土遺物
- 図版81~83 第1032号土壙出土遺物
- 図版84 1・12~18 池状遺構出土遺物
- 2 第7号土壙出土遺物
- 3 第16号土壙出土遺物
- 4 第242号土壙出土遺物
- 5 第2号基礎状遺構出土遺物
- 6 第9号埋設桶出土遺物
- 7 第1号井戸跡出土遺物
- 8 第2号井戸跡出土遺物
- 9 第6号井戸跡出土遺物
- 10 第8号井戸跡出土遺物
- 11 第9号井戸跡出土遺物
- 19・20 第3号溝跡出土遺物
- 図版85 1 第3号溝跡出土遺物
- 2~3 第2号土壙出土遺物
- 4~6 第3号土壙出土遺物
- 7 第5号土壙出土遺物
- 8 第6号土壙出土遺物
- 9 第9号土壙出土遺物
- 10 第65号土壙出土遺物
- 11 第46号土壙出土遺物
- 12 第111号土壙出土遺物
- 13 第144号土壙出土遺物
- 14 第165号土壙出土遺物
- 15 第173号土壙出土遺物
- 16 第175号土壙出土遺物
- 17~20 第198号土壙出土遺物
- 図版86 1・2 第198号土壙出土遺物
- 3~5 第201号土壙出土遺物
- 6 第210号土壙出土遺物
- 7・8 第213号土壙出土遺物
- 9 第216号土壙出土遺物
- 10 第223号土壙出土遺物
- 11 第225号土壙出土遺物
- 12 第230号土壙出土遺物
- 13・14 第247号土壙出土遺物
- 15 第249号土壙出土遺物
- 16 第250号土壙出土遺物

- | | | | |
|------|--------------------|------|-------------------|
| | 17 第255号土壙出土遺物 | | 14 第1129号土壙出土遺物 |
| | 18 第261号土壙出土遺物 | 図版91 | 1 第65号埋設桶出土遺物 |
| | 19 第278号土壙出土遺物 | | 2 第8号井戸跡出土遺物 |
| 図版87 | 1 第297号土壙出土遺物 | | 3 第9号溝跡出土遺物 |
| | 2～5 第11号溝跡出土遺物 | | 4～9 第3号土壙出土遺物 |
| | 6・7 第12号溝跡出土遺物 | | 10 第5号土壙出土遺物 |
| | 8 第1003号土壙出土遺物 | | 11 第13号土壙出土遺物 |
| | 9 第1013号土壙出土遺物 | | 12 第29号土壙出土遺物 |
| | 10 第1014号土壙出土遺物 | | 13・14 第48号土壙出土遺物 |
| | 11 第1018号土壙出土遺物 | | 15・16 第63号土壙出土遺物 |
| | 12 第1074号土壙出土遺物 | 図版92 | 1～5 第63号土壙出土遺物 |
| | 13 第1080号土壙出土遺物 | | 6～11 第65号土壙出土遺物 |
| | 14 第1082号土壙出土遺物 | | 12・13 第66号土壙出土遺物 |
| | 15 第1129号土壙出土遺物 | | 14 第75号土壙出土遺物 |
| | 16 第1136号土壙出土遺物 | | 15・16 第83号土壙出土遺物 |
| | 17～20 遺構外出土遺物 | 図版93 | 1 第85号土壙出土遺物 |
| 図版88 | 1 第2号杭列出土遺物 | | 2 第86号土壙出土遺物 |
| | 2・3 池状遺構出土遺物 | | 3・4 第90号土壙出土遺物 |
| | 4～7 第2号土壙出土遺物 | | 5 第106号土壙出土遺物 |
| | 8～11 第9号土壙出土遺物 | | 6 第97号土壙出土遺物 |
| | 12・13 第26号土壙出土遺物 | | 7 第111号土壙出土遺物 |
| 図版89 | 1～5 第26号土壙出土遺物 | | 8 第153号土壙出土遺物 |
| | 6・7 第30号土壙出土遺物 | | 9～13 第176号土壙出土遺物 |
| | 8 第36号土壙出土遺物 | | 14 第190号土壙出土遺物 |
| | 9・10 第127号土壙出土遺物 | | 15 第196号土壙出土遺物 |
| | 11 第174号土壙出土遺物 | | 16・17 第201号土壙出土遺物 |
| | 12 第201号土壙出土遺物 | | 18 第212号土壙出土遺物 |
| | 13・14 第204号土壙出土遺物 | 図版94 | 1 第201号土壙出土遺物 |
| 図版90 | 1 第223号土壙出土遺物 | | 2 第212号土壙出土遺物 |
| | 2～4 第250号土壙出土遺物 | | 3 第224号土壙出土遺物 |
| | 5・6 第289号土壙出土遺物 | | 4・5 第230号土壙出土遺物 |
| | 7 第297号土壙出土遺物 | | 6 第242号土壙出土遺物 |
| | 8 第1024号土壙出土遺物 | | 7～10 第249号土壙出土遺物 |
| | 9 第1045号土壙出土遺物 | | 11 第255号土壙出土遺物 |
| | 10 第1056号土壙出土遺物 | | 12 第280号土壙出土遺物 |
| | 11 第1051号土壙出土遺物 | | 13 第282号土壙出土遺物 |
| | 12・13 第1100号土壙出土遺物 | | 14・15 第297号土壙出土遺物 |

- 図版95 1 第15号井戸跡出土遺物
 2 第11号溝跡出土遺物
 3～12 第12号溝跡出土遺物
 13 第14号溝跡出土遺物
 14・15 第1048号土壙出土遺物
 図版96 1～4 第1048号土壙出土遺物
 5～7 第1051号土壙出土遺物
 8 第1056号土壙出土遺物
 9 第1061号土壙出土遺物
 10 第1072号土壙出土遺物
 11 第1083号土壙出土遺物
 12 第1092号土壙出土遺物
 13・15 第1108号土壙出土遺物
 14 第1130号土壙出土遺物
 16 第66号埋設桶出土遺物
 17 第29号土壙出土遺物
 18 遺構外出土遺物
 図版97 1・2 第一面金属製品(1)・(2)
 3 第二面金属製品
 4 池状遺構出土遺物
 5 第29号土壙出土遺物
 6 第240号土壙出土遺物
 7 第297号土壙出土遺物
 8 第1141号土壙出土遺物
 図版98 1 煙管
 2 金属製髪飾り類
 3 第176号土壙出土遺物
 4 第279号土壙出土遺物
 5 第1032号土壙出土遺物
 図版99 1 第29号土壙出土錢貨
 2 第205号土壙出土遺物
 3 第259号土壙出土遺物
 4 第1048号土壙出土遺物
 5 第1003号土壙出土遺物
 6 第29号土壙出土遺物
 図版100 1～3 砥石(1)～(3)
 4・5 池状遺構出土遺物
 6 第8号井戸跡出土遺物
 7 第66号土壙出土遺物
 8 第74号土壙出土遺物
 9 第111号土壙出土遺物
 図版101 1 硯・温石
 2 火打石・基石・石筆ほか
 3 角閃石安山岩製磨石
 4 第242号土壙出土遺物
 5 第247号土壙出土遺物
 6 第12号溝跡出土遺物
 7・8 第1003号土壙出土遺物
 9 第1024号土壙出土遺物
 図版102 1～3 第1024号土壙出土遺物
 4 棒状土製品
 5・6・8 第1005号土壙出土遺物
 7 硝子製髪飾り類
 9 第1006号土壙出土遺物
 図版103 1 第217号土壙出土遺物
 2 縄文時代の石器
 3 遺構外出土遺物
 4 炭化繊維製品(排水杵)
 5 炭化繊維製品(第2号土壙)
 6 炭化繊維製品(第52号土壙)
 図版104 1～30 文字資料(木製品)

2. 第二面の遺構と遺物

第二面から検出された遺構は、建物跡3棟・基礎状遺構1基・井戸跡7基・溝跡5条・土壇124基・ピット20基である。

(1) 建物跡

建物跡は日光道中に面した調査区南西部で3棟検出された。詳細な規模等は第50表に示す。

第14a号建物跡 (第274図)

C6-E3、F3・4グリッドに位置する。深さ40cm程のピット内に、拳大の石をぐり石状に配した基礎が検出された。石はすべて川原石状の丸石である。南に並行する第14b号建物跡の北辺ピット列と構造が類似しており、調査段階では、本跡の南側ピット列と、第14b号建物跡の北辺ピット列で一棟の建物と想定していた。しかし、さらに南側と北側に別のピットが検出されていたため、第一面の区画も勘案して整理段階でa・bの二棟の建物として捉え直した。

本跡の西側は調査区外に延びると考えられ、桁行5m以上、梁行約3.6mの建物と想定される。北西側にもいくつか類似した構造のピットが分布し、建物範囲がより広がっていた可能性もある。

第14b号建物跡 (第274図)

C6-E3、F3・4グリッドに位置する。基礎北辺はピット内に拳大の石をぐり石状に配した基礎で第14a号建物跡と同構造である。石はすべて川原石状の丸石である。南辺のピットには集

石等はみられなかった。南北両辺の様相が異なり建物構造に疑問も残るが、南側ピット列に対応する遺構がより南側の調査区で検出されず、一棟の建物跡と捉えた。西側が調査区外に延びる、桁行8m以上、梁行3m強の建物跡と想定される。

第15号建物跡 (第275図)

C6-C2グリッドに位置する。ピット3箇所のみが検出された。想定軸線上にトレンチを設定しピットを探したが、それ以上のピットは検出できなかった。全体の形状は想定し難いが、街道に沿った東西に長い建物の一部と思われる。桁行方向で4m以上、梁行方向で2m以上の建物跡と考えられ、ピットはほぼ1.8m間隔に並ぶ。ピット内に拳大の丸石をぐり石状に配する。

(2) 基礎状遺構

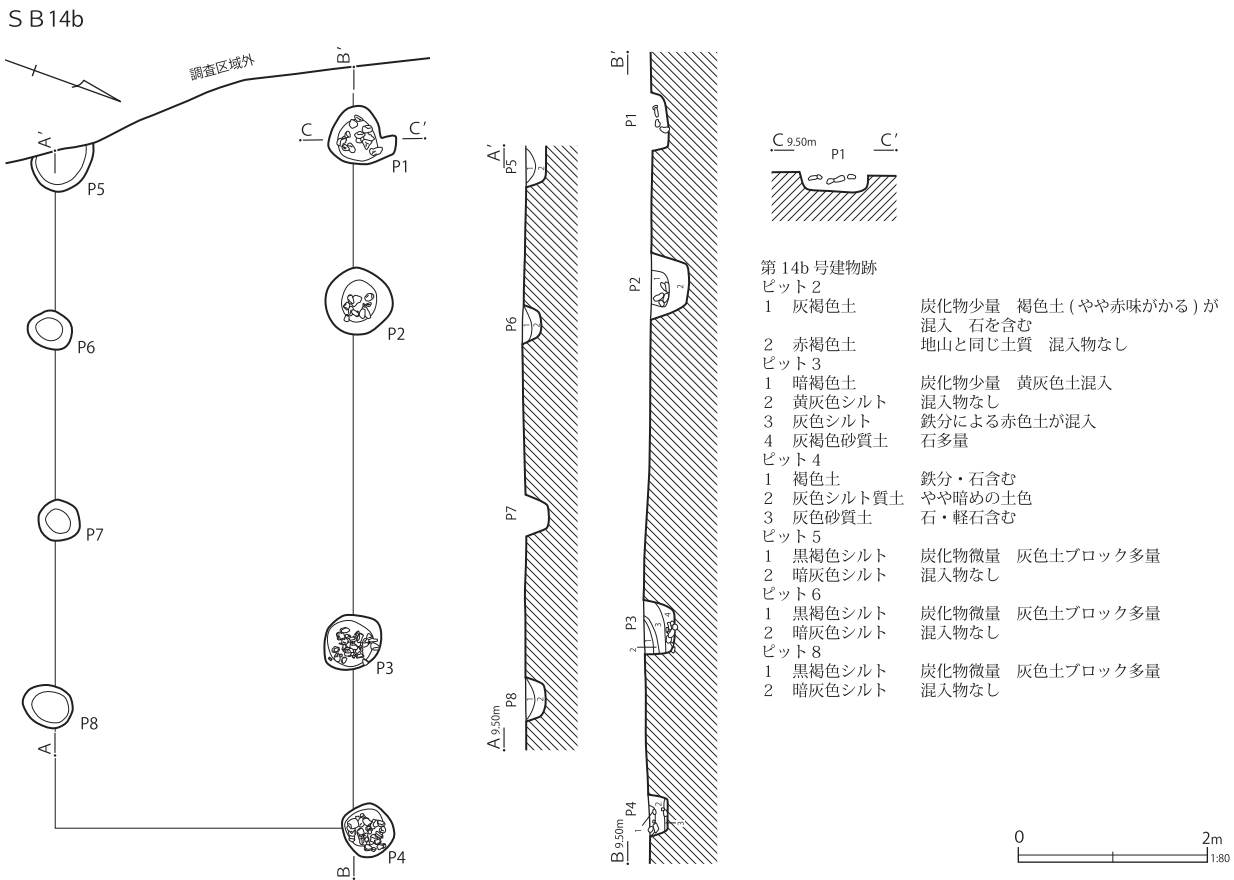
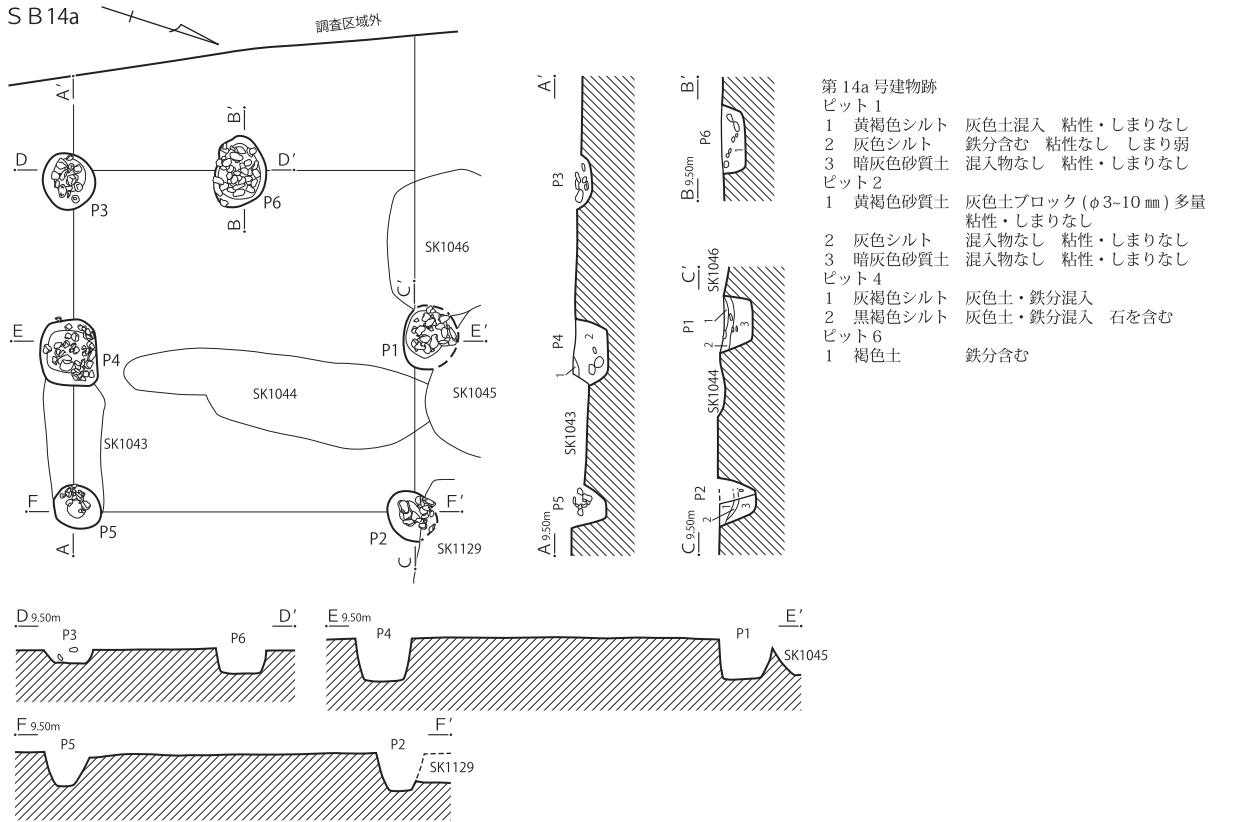
建物の礎石と考えられる遺構を基礎状遺構として報告する。詳細な規模等は第50表に示す。

第3号基礎状遺構 (第276図)

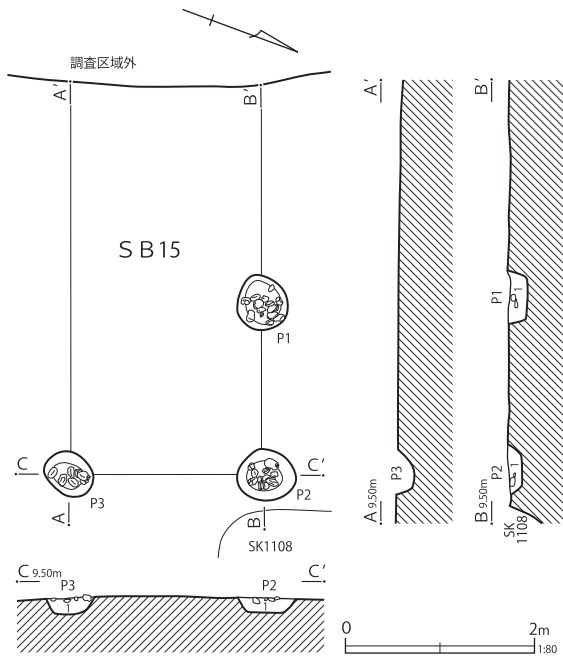
C6-E5グリッド、本陣敷地南限の第11～14号溝跡より北側に位置する。約1mの距離で南北に径40～50cmの礎石状の石が2箇所並んでいた。いずれも掘方を伴い、原位置を保っている。本陣敷地内南側に建てられた構築物の一部と考えられる。肥前系磁器小広東碗を伴う第14号溝跡を掘り込んでおり、18世紀第4四半期以降に帰属する可能性が高い。

第50表 第二面建物跡・基礎状遺構一覧表 単位：m

番号	グリッド	長軸	短軸	桁行推定	梁行推定	深さ	主軸方位	備考
SB14a	C6-E3・F3/4	5.42	4.45	(5.05)	3.62	0.45	N-74° -E	P1, (0.67) × (0.57) 深0.42/P2, (0.55) × 0.50 深0.40/P3 0.59 × 0.55 深0.15/P4, 0.70 × 0.60 深0.45/P5, 0.52 × 0.45 深0.37/P6, 0.75 × 0.54 深0.25 SK1043/1044/1045/1046/1129 重複
SB14b	C6-E3・F3/4	8.46	3.97	(8.08)	3.16	0.40	N-70° -E	P1, 0.71 × 0.62 深0.22/P2, 0.71 × 0.71 深0.40 P3, 0.68 × 0.57 深0.32/P4, 0.54 × 0.52 深0.20 P5, 0.68 × 0.58 深0.21/P6, 0.47 × 0.43 深0.20 P7, 0.43 × 0.43 深0.25/P8, 0.53 × 0.45 深0.21 SE9/11 重複
SB15	C6-C2	4.40	2.65	(4.15)	2.02	0.20	N-69° -E	P1, 0.57 × 0.50 深0.20/P2, 0.60 × 0.52 深0.14 P3, 0.50 × 0.40 深0.18
基礎3	C6-E5	-	-	-	-	-	-	S1, 長径0.52 厚0.28/S2, 長径0.40 厚0.31



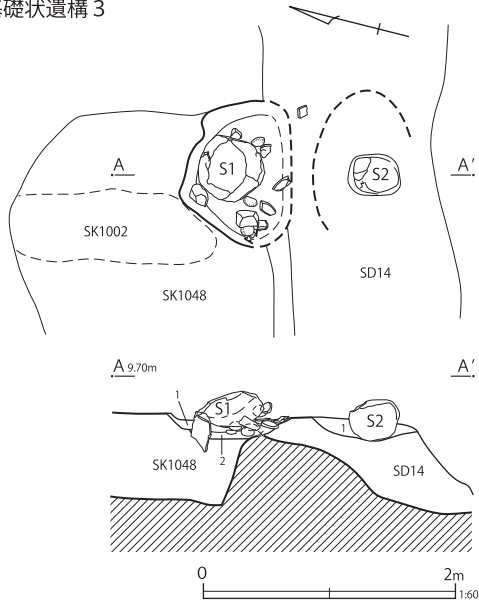
第 274 図 第 14a・b 号建物跡



- 第15号建物跡
- P 1
1 明灰色シルト 鉄分が見られ赤味を帯びる 炭化物(φ10mm)混入 粘性・しまりなし
- P 2
1 明灰色シルト 鉄分含む 粘性・しまりなし
- P 3
1 灰色シルト 軽石(φ1mm)含む 粘性なし しまりあり

第275図 第15号建物跡

基礎状遺構3



- 第3号基礎状遺構
- 1 砂 鉄分で赤色化 礎石掘方
- 2 暗褐色土 鉄分多量 粘性あり しまり弱

第276図 第3号基礎状遺構

(3) 井戸跡

井戸跡は7基が検出された。全体的には日光道中に面した店子町屋の裏手で検出されている。位置、規模等の基本情報は第52表にまとめた。

第11号井戸跡 (第278図)

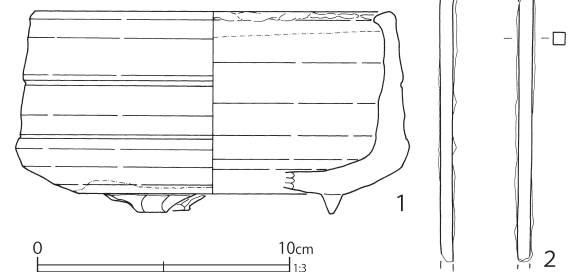
C 6-F 4グリッド、店子町屋範囲のやや奥側に位置する。長さ1.8mほどの不整形に近い掘方内に、径30~50cm程度の桶を5段重ねて井戸側とする。掘方の一部が第9号井戸跡(第一面の検出)に掘り込まれる。掘方覆土は砂が主体で、崩落が激しく土層記録ができなかった。

遺物は少なかったが、第282図1~3に示すように肥前系磁器粗製碗・半球碗が出土している。4は外面に顕著なミガキを施す土器の瓦灯である。正面側には縦にスリット状の窓があり、背面側には円孔が穿たれている。内面体部に墨書、頂部に煤が付着する。栗橋宿跡からの瓦灯の出土は少ないが、本例のようなミガキを有するものは、主に第二面の遺構から出土する傾向がある。本陣跡では、「坪井」ほかの墨書がある例が第1118号土壌から出土している(第337図227)。

第12号井戸跡 (第279図)

本陣敷地出入口部と思われる遺構の疎らな部分(C 6-D 3グリッド)に位置する。長軸2.4m弱の楕円形の掘方内に桶を3段重ねて井戸側とし

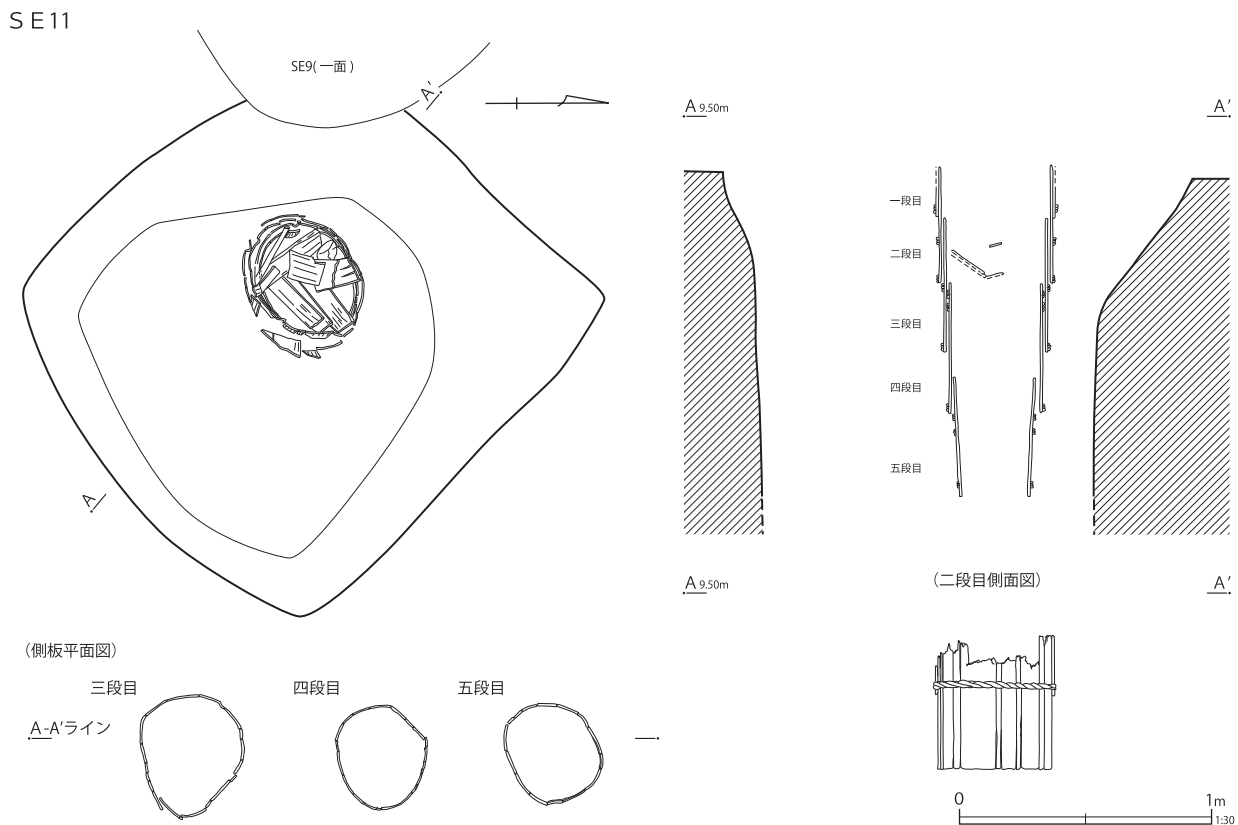
基礎3



第277図 基礎状遺構出土遺物

第51表 基礎状遺構出土遺物観察表 (第277図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	香炉	(14.0)	7.9	(9.6)	IK	35	良好	灰白	基礎3	瀬戸美濃系 外面鉄釉 一部灰釉流掛	
2	鉄製品	不明	長[10.8] 幅0.5 厚0.5 重11.7									



第 278 図 第 11 号井戸跡

ている。

遺物は少なかったが、陶磁器は、肥前系磁器の高台無釉・内面蛇の目状釉剥ぎの皿、瀬戸美濃系・丹波系陶器の播鉢、瓦質土器平底焙烙など、17～18世紀のもののみであった。第282図5は掘方から出土した備前焼の陶器灯明皿である。備前系陶器は出土量が少なく、全体としては徳利・瓶類が主体である。第283図1は木製の柄が残る鉄製品の錐である。13は温石と考えられる石製品

で上部に穿孔が認められる。

第13号井戸跡 (第279図)

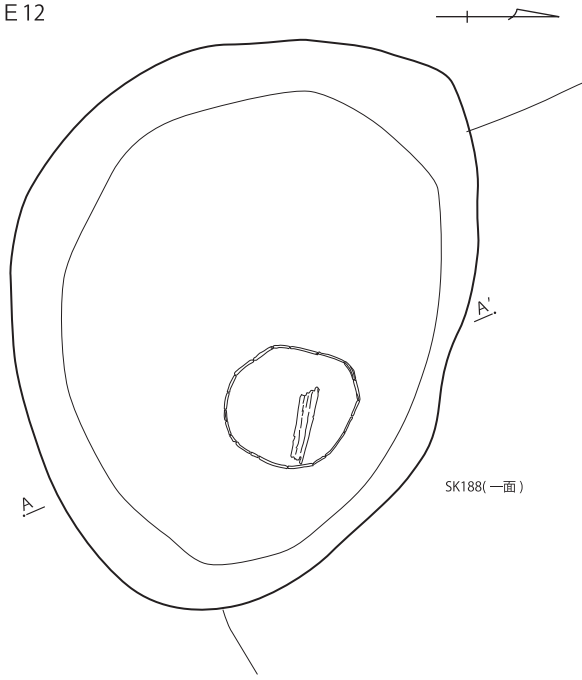
C6-D3グリッドに位置し、第12号井戸跡に近接する。径60～70cm内外の桶を二段以上重ね井戸側とする。上面に井桁状の木組みが検出されており、化粧桶の基礎であった可能性がある。

遺物はやや少ないが、陶磁器は18世紀中葉までのものを主体とする。瀬戸美濃系陶器の太白手皿細片が含まれる。

第 52 表 第二面井戸跡一覧表 単位：m

番号	グリッド	外径	高さ	内径	深さ	掘方径	深さ	備考
11	C6-F4	0.47	(1.33)	0.45	(1.33)	1.86	(1.28)	SE9と重複 2段目外径0.45内径0.43 3段目外径0.42内径0.39 4段目外径0.37内径0.35 5段目外径0.28内径0.26
12	C6-D3	0.49	(2.72)	0.47	(2.72)	2.38	(3.03)	2段目外径0.48内径0.46 3段目外径0.35内径0.32
13	C6-D3	0.63	(1.65)	0.61	(1.65)	2.20	(1.90)	2段目外径0.72内径0.63
14	C6-B2/3	0.66	(0.82)	0.60	(1.31)	3.43	(1.51)	SK1085より古 高さは遺存高 深さは井戸側下端まで
15	C6-C3	0.56	(1.12)	0.54	(1.12)	1.00	(1.19)	SE17・SK1107/1119 重複 2段目外径0.50内径0.49 段目外径0.54内径0.52
16	C6-C3	0.53	(1.88)	0.51	(1.88)	1.32	(1.98)	SK1102 重複 2段目外径0.62内径0.56
17	C6-C3	-	(0.98)	-	-	1.29	(1.82)	SK1105より新 SE15・SK1119 重複 3段目外径0.53内径0.51 4段目外径0.55内径0.53 高さは3・4段目の遺存高 1・2段目は遺存悪く計測不可

SE 12



(側板平面図)

二段目

A-A'ライン



三段目



A 9.40m

(断面・側面図)

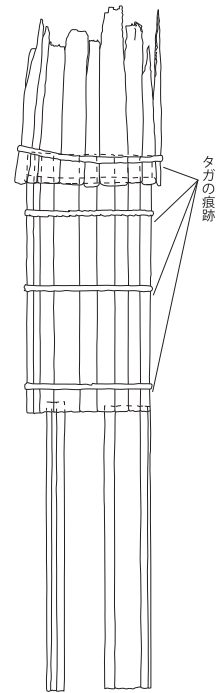
A'



一段目

二段目

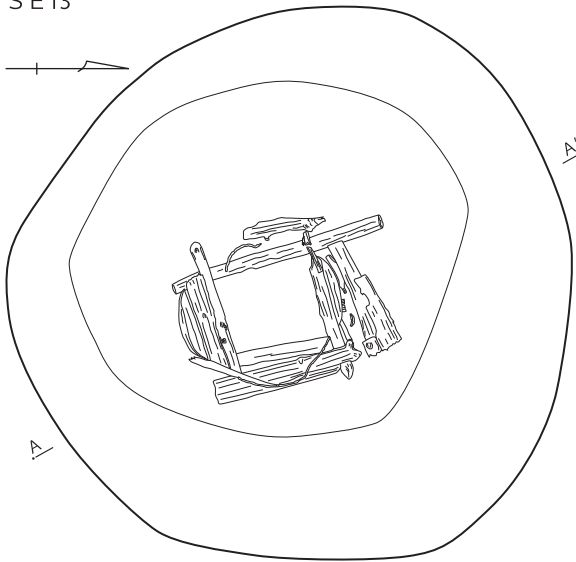
三段目



SK188 (一面)



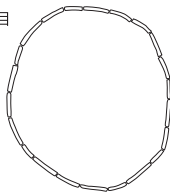
SE 13



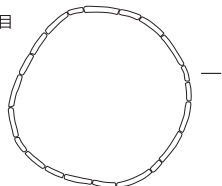
(側板平面図)

一段目

A-A'ライン



二段目



A 9.40m

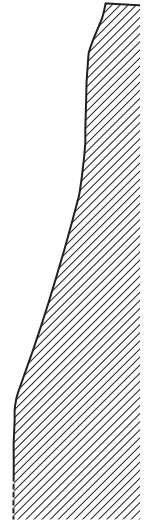
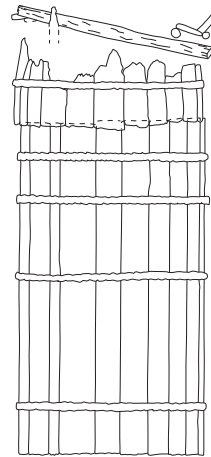
(断面・側面図)

A'



一段目

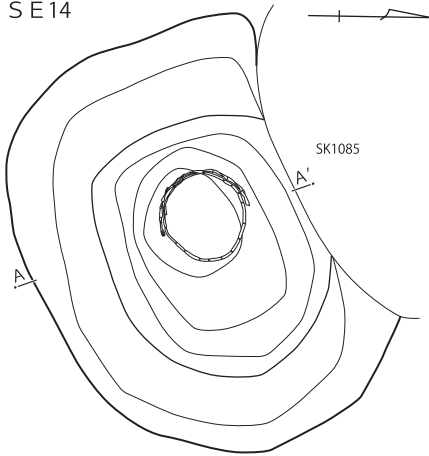
二段目



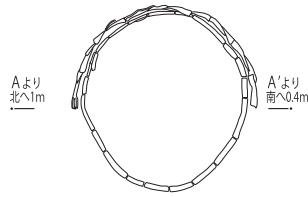
0 1m 1:30

第 279 図 第 12・13 号井戸跡

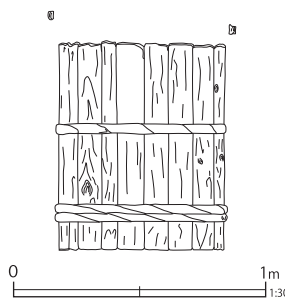
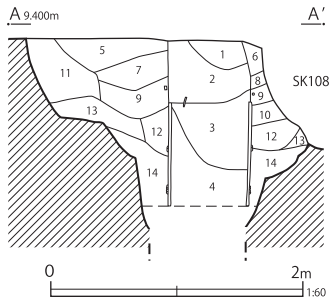
SE 14



(側板平面図)



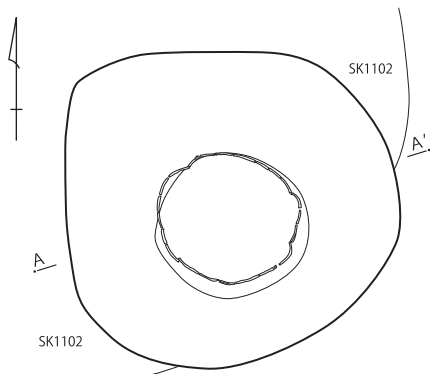
(側面図)



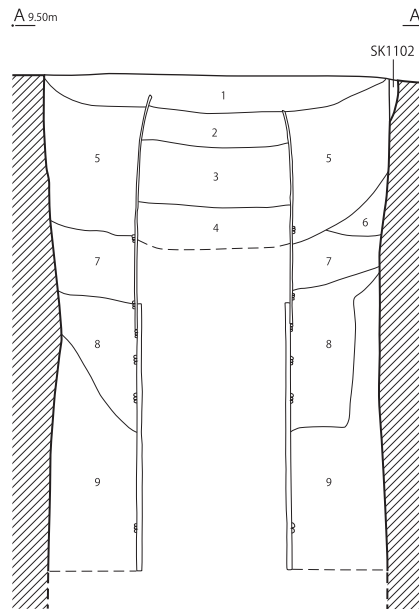
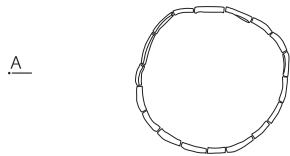
第 14 号井戸跡

- | | |
|-----------|--|
| 1 黒灰色土 | 灰色シルト質土ブロック (φ3~20 mm) 多量
炭化物 (φ2~4 mm)・焼土ブロック (φ3~20 mm)・黒褐色粘土ブロック (φ3~10 mm)・木片・礫 (φ10 mm) 少量 |
| 2 黒灰色土 | 灰色シルト質土ブロック (φ2~15 mm) 1 層より多量 炭化物 (φ2~8 mm) 含む
暗褐色土ブロック (φ10 mm)・褐色砂少量
上段桶のタガ検出・桶材遺存せず |
| 3 黒灰色土 | 灰色土ブロック (φ2~10 mm) 多量 炭化物 (φ1~3 mm) 少量 木片微量 やや粘質 |
| 4 黒灰色土 | 灰色土ブロック (φ3~10 mm) 多量 炭化物 (φ3~6 mm)・黒色砂少量 やや粘質 |
| 5 暗灰色土 | 灰色土ブロック (φ3~15 mm) 多量
黒褐色粘土ブロック (φ5~20 mm) 少量
炭化物 (φ1~4 mm)・褐色砂含む (掘方) |
| 6 暗灰色土 | 5 層より灰色土ブロックが小さく φ3~5 mm
黒褐色粘土ブロック含まず 軽石 (φ1~3 mm) 含む SK1085 に掘り込まれる (掘方) |
| 7 黒灰色土 | 2 層より明るい色調 灰色土ブロック (φ3~10 mm) 多量 粘質灰色土が混入
炭化物 (φ1~4 mm) 少量 (掘方) |
| 8 黒灰色土 | 7 層より黒灰色土の割合が高く炭化物少ない (掘方) |
| 9 灰色粘質土 | 黒灰色土が混入 黒色砂炭化物 (φ2~3 mm) 少量 (掘方) |
| 10 灰色粘質土 | 9 層より灰色土の混入割合が少ない (掘方) |
| 11 灰色粘質土 | 灰色土少量 褐色・黒色砂多量 (掘方) |
| 12 暗灰色粘質土 | 黒色砂・炭化物 (φ1~3 mm) 少量 (掘方) |
| 13 灰色粘質土 | 軽石含む 黒色砂混入 (掘方) |
| 14 暗灰色砂質土 | 灰色砂混入 やや粘質 混入物なし (掘方) |

SE 16



(二段目側板平面図)



(一・二段目側面図)



第 16 号井戸跡

- | | | | |
|----------|---|-----------|------------------------------------|
| 1 暗褐色砂質土 | 炭化物 (φ1~10 mm)・砂多量 軽石 (φ2~5 mm) 含む | 4 暗暗褐色粘質土 | 灰色土・木片含む 細砂を含み部分的にやや粗い |
| 2 灰色土 | 黄褐色砂・黒褐色粘土ブロック (φ1~5 cm) 多量 軽石 (φ2 mm)・鉄分・黄灰色シルト含む 炭化物 (φ5 mm) 少量 | 5 暗灰色粘土 | 粗い砂 (φ1 mm) 多量 しまりあり (掘方) |
| 3 黒褐色粘質土 | 灰色シルトブロック (φ5~10 mm)・黒褐色粘土ブロック (φ10 cm)・鉄分含む 炭化物 (φ2 mm) 微量 | 6 灰色粘土 | 暗灰色粘土ブロック (φ3~5 mm) 含む しまりあり (掘方) |
| | | 7 暗灰色粘土 | 炭化物・灰色粘土ブロック (φ3~8 mm) 多量 未風化 (掘方) |
| | | 8 灰褐色シルト | 酸化鉄・砂含む 粘性あり しまり弱 (掘方) |
| | | 9 灰褐色粘土 | (掘方) |

第 280 図 第 14・16 号井戸跡

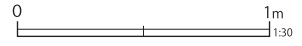
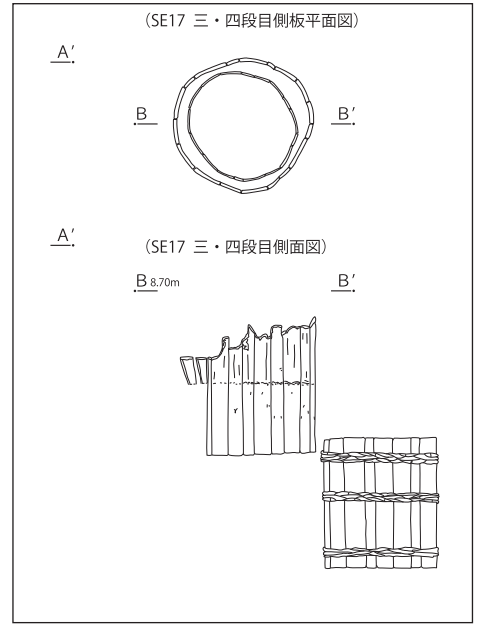
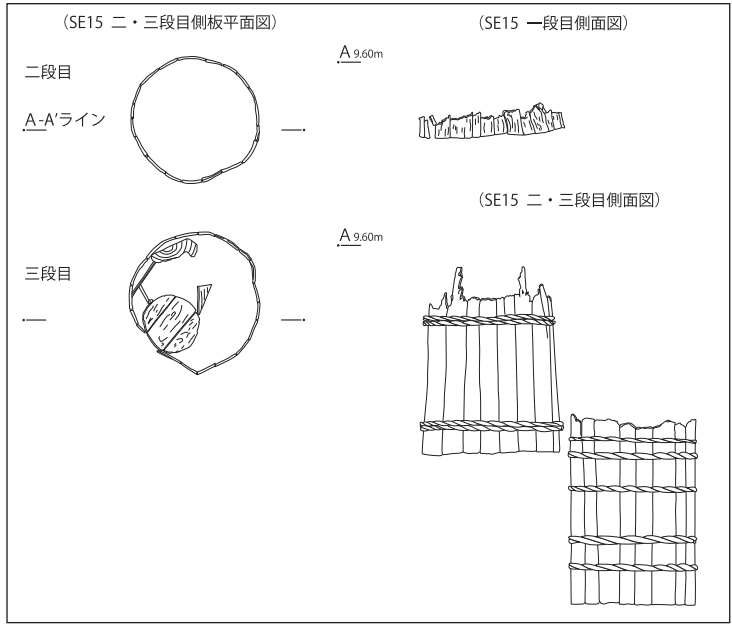
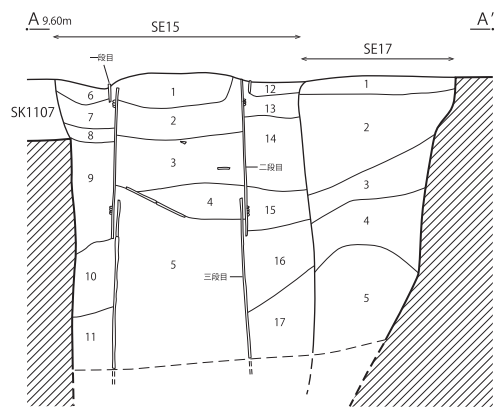
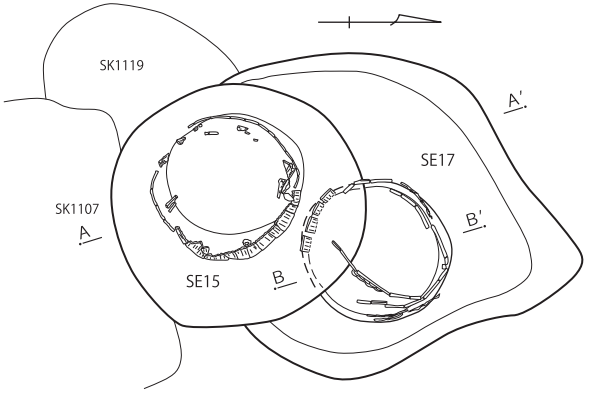
第14号井戸跡 (第280図)

調査区北部C 6-B 2・3グリッドに位置し、日光道中に面する店子町屋の裏側にあたる。二段

以上桶を積み重ねるが、上段の桶は一部しか遺存していない。

磁器は肥前系磁器色絵うがい茶碗 (第282図

SE15・17



第15号井戸跡

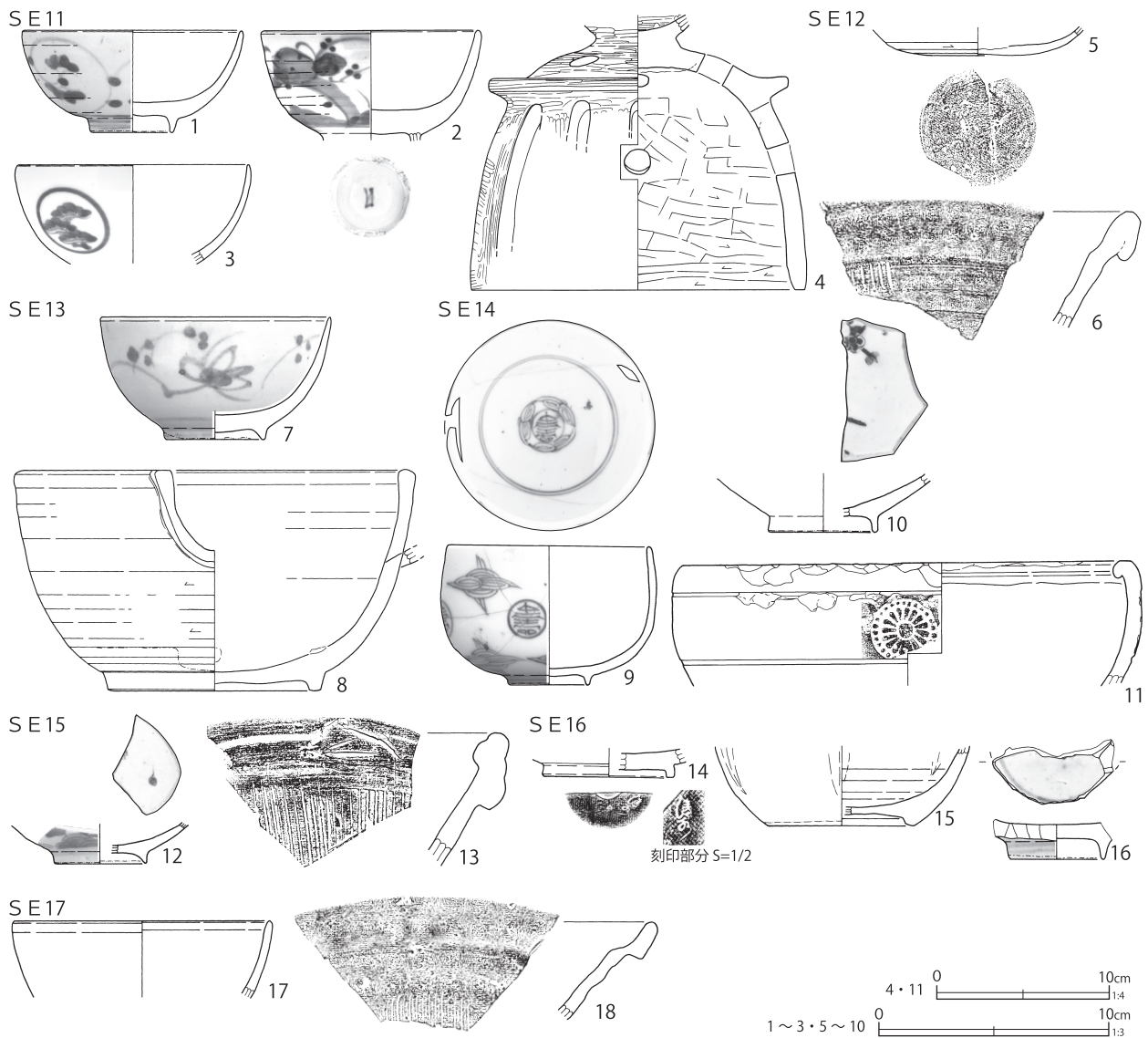
- 1 褐色シルト 鉄分・木片含む 炭化物(φ2~4mm)多量 しまり弱 粘性なし
- 2 暗灰色シルト やや砂質の土・鉄分含む 炭化物(φ5~10mm)少量
- 3 暗灰色粘質土 炭化物(φ5~10mm)含む 黄褐色土少量 しまり弱
- 4 暗灰色粘質土 炭化物(φ10mm)含む 黄褐色土少量 しまりなく脆い
- 5 暗褐色粘質土 木片主体 灰色土ブロック含む
- 6 黒褐色土 黄褐色砂質土混入 灰褐色粘土ブロック(φ5mm)少量
- 7 黄褐色砂質土 炭化物(φ2~10mm)含む (掘方)
- 8 暗灰色シルト質土 暗灰色土混入 灰褐色粘土ブロック(φ3~10mm)・炭化物(φ1~3mm)少量 砂多い (掘方)
- 9 暗灰色砂質土 炭化物(φ2mm)微量 やや粘質 (掘方)
- 10 暗灰色粘質土 褐色砂質土多量 粘性・しまりなし 脆い (掘方)
- 11 暗灰色砂質土 炭化物(φ10mm)・灰色土混入 粘性・しまりあり (掘方)
- 12 黄褐色砂質土 褐色砂質土多量 粘性・しまりなし 脆い (掘方)
- 13 暗灰色シルト質土 暗灰色土混入 灰褐色粘土ブロック(φ3~10mm)・炭化物(φ1~3mm)少量 砂多い (掘方)

- 13 暗灰色シルト質土 炭化物(φ2mm)微量 やや粘質 (掘方)
 - 14 暗灰色土 炭化物(φ2~3mm)少量 黒褐色粘土ブロック(φ1~5cm)混入 粘性弱 しまりあり (掘方)
 - 15 暗灰色土 黒褐色土多量 炭化物(φ3mm)含む 粘性・しまりあり (掘方)
 - 16 暗灰色粘質土 炭化物(φ10mm)・灰色土混入 粘性・しまりあり (掘方)
 - 17 暗灰色砂質土 褐色砂質土多量 粘性・しまりなし 脆い (掘方)
- 第17号井戸跡
- 1 暗褐色土 黄灰色シルトが斑状に混入 (掘方)
 - 2 褐色土 黒褐色粘土ブロック(φ10mm)含む
 - 3 暗灰色土 暗灰色粘土ブロック(φ2cm)・斑状の黄灰色シルト混入
 - 4 暗灰色土 炭化物(φ3mm)微量 (掘方)
 - 5 暗灰色砂質土 (掘方)

第281図 第15・17号井戸跡

10)、小丸碗(9)のほか、小広東碗が出土している。11は瓦質土器の火鉢で、やや酸化炎焼成である。本例では欠損しているが、輪高台状の脚を有する火鉢で、体部に菊花文が付くことが多いのも特徴である。栗橋宿跡では一般的な火鉢だが、江戸地域ではほとんど出土せず、在地を中心

に生産・流通したものと考えられる。掘方を壊す第1085号土壌が18世紀末以降の埋没なので、18世紀後葉に構築されたと考えられる。第283図2・3は金属製品の煙管、5~9は木製品の栓と考えられる。他に寛永通室の新寛永が出土している。



第282図 井戸跡出土遺物（1）

第15・17号井戸跡（第281図）

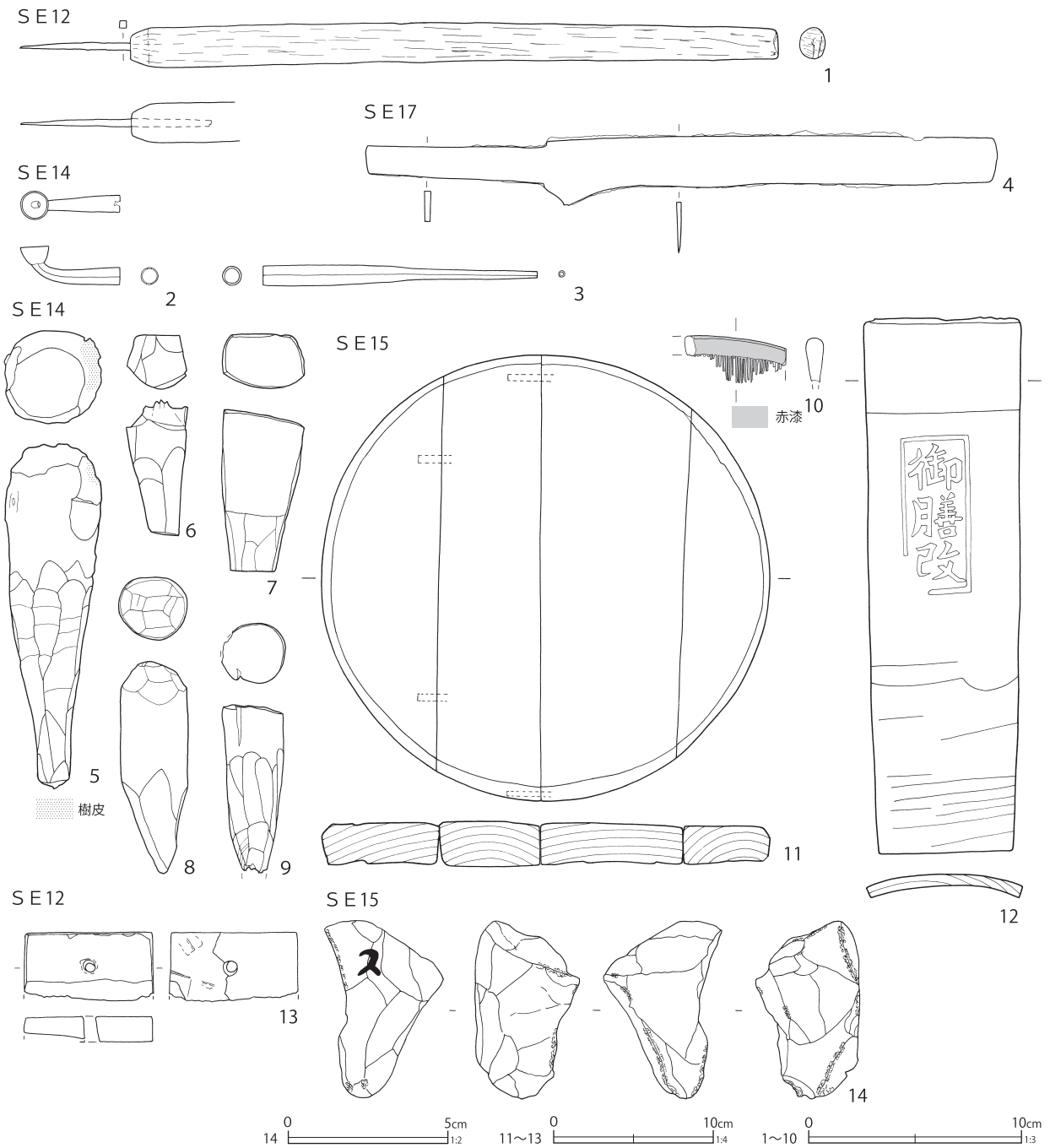
C6-C3グリッドに位置し、店子町屋の裏側にあたる。2基の井戸跡は重複関係にあり、第15号井戸跡が新しい。いずれも径50cm程の桶を二段以上積み井戸側とする。

遺物は極めて少ない。第282図12は、第15号井戸跡出土の肥前系磁器半球碗で、染付に赤絵が施される。同文の碗が第12号溝跡から出土している（第288図47）。第283図10～12と14は、第15号井戸跡の遺物で、12は「御膳改」の焼印がある桶側板、14は墨書のある火打石である。4は第17号井戸跡出土の鉄製品である。遺物様相か

ら第15号井戸跡は18世紀後葉に使用されたと考えられ、第17号井戸はそれ以前の構築・使用と想定される。

第16号井戸跡（第280図）

第15・17号井戸跡の南東(C6-C3グリッド)に位置する。径1.3m程の掘方内に径50～60cmの桶を2段重ねて井戸側とする。上面は砂質土（1層）で埋め戻される。出土した陶磁器は肥前系磁器の雪輪草花文碗・くらわんか手碗が最新で、掘方・井戸側内の陶磁器に時期差は見出せない。18世紀半ば以降の構築と推定される。



第 283 図 井戸跡出土遺物 (2)

第 53 表 井戸跡出土遺物観察表 (1) (第 282 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	9.4	4.4	3.4	—	95	良好	白	SE11	肥前系 施釉 外面染付	68-1
2	磁器	碗	9.3	[4.7]	—	—	95	良好	灰白	SE11	肥前系 施釉 外面染付	
3	磁器	碗	10.0	[4.2]	—	—	45	良好	白	SE11	肥前系 施釉 外面染付	
4	瓦質土器	瓦灯	—	[15.9]	(19.3)	CEI	70	普通	灰白	SE11	外面ミガキ 内面墨痕か	
5	陶器	灯明皿	—	[1.2]	4.2	K	60	良好	にぶい橙	SE12	備前系 底部糸切痕 (右) 外面自然釉	
6	陶器	挿鉢	—	[5.0]	—	D	5	普通	灰白	SE12	瀬戸美濃系 柿釉 内面挿目	
7	磁器	碗	9.8	5.3	4.2	—	95	良好	灰白	SE13	掘方 肥前系 施釉 外面染付	
8	陶器	片口鉢	(16.6)	9.5	(9.2)	DI	30	良好	灰白	SE13	掘方 瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡	
9	磁器	碗	8.7	6.0	3.4	—	80	良好	白	SE14	肥前系 施釉・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
10	磁器	碗	—	[2.5]	4.6	—	15	不良	白	SE14	肥前系 施釉 内面色絵 (赤他)	
11	瓦質土器	火鉢	(26.0)	[7.3]	—	CFHI	5	普通	にぶい黄橙	SE14	やや酸化炎焼成 外面菊花スタンプ文	
12	磁器	碗	—	[1.7]	(3.9)	—	10	普通	白	SE15	肥前系 施釉・色絵 (赤) 外面染付	
13	陶器	播鉢	—	[5.7]	—	EIK	5	良好	赤	SE15	堺明石系 内面播目	
14	陶器	碗	—	[1.2]	(5.6)	IK	45	良好	灰白	SE16	肥前系 内面灰釉 刻印「清水」	
15	陶器	香炉	—	[3.4]	(6.4)	I	40	良好	灰黄	SE16	京都信楽系か 外面施釉 木瓜形	
16	磁器	碗	—	[1.7]	4.0	—	10	普通	白	SE16	肥前系 施釉・染付 円盤状製品転用 縦 [2.2] 横 5.1 重 16.9	
17	陶器	碗	(11.0)	[3.3]	—	K	5	良好	灰白	SE17	肥前系 外面銅緑釉 内面透明釉 (被熱・赤化)	
18	陶器	播鉢	—	[4.2]	—	IK	5	不良	灰白	SE17	瀬戸美濃系 柿釉 内面播目 煤付着	

第 54 表 井戸跡出土遺物観察表 (2) (第 283 図)

番号	種別	器種	法量						遺構	備考	図版	
1	鉄製品	錐	長 35.6 錐先長 5.2 錐先幅 0.4 錐先厚 0.4 重 31.4						SE12	木柄付		
2	銅製品	煙管	長 4.6 火皿径 1.3 小口径 0.8 重 4.5						SE14	雁首		
3	銅製品	煙管	長 12.8 小口径 0.9 口径径 0.3 重 13.0						SE14	吸口		
4	鉄製品	刃物	長 29.7 刃長 21.3 刃幅 2.3 背幅 0.2 重 103.2						SE17	木杵 3 段目内		
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
5	木製品	栓	16.0	—	—	4.5	—	—	芯持材	SE14	樹皮残存	
6	木製品	栓	6.2	2.8	2.5	—	—	—	削出し	SE14		
7	木製品	栓	7.5	3.7	2.5	—	—	—	板目	SE14		
8	木製品	栓	9.8	3.2	2.9	—	—	—	芯持材	SE14		
9	木製品	栓	[7.8]	—	—	2.7	—	—	芯持材	SE14		
10	木製品	櫛	[4.7]	[2.2]	0.8	—	—	—	板目	SE15	全面赤漆	
11	木製品	桶	—	—	2.8	28.0	—	—	板目	SE15	表面墨書	
12	木製品	桶	33.4	9.7	0.7	—	—	—	板目	SE15	側板 焼印「御膳改」	95-12
13	石製品	温石	長 [4.2] 幅 8.0 厚 1.6 重 110.5						SE12 掘方	片岩 穿孔 1 刃物痕 被熱	101-1	
14	石製品	火打石	長 5.6 幅 3.7 厚 3.3 重 52.9						SE15	玉髓 墨書		

(4) 溝跡

溝跡は 5 条が検出された。このうち第 11～14 号溝跡は、C6-E4～6、F4・5 グリッドにまたがる東西方向の溝跡で、本陣敷地南限の溝と考えられる。位置や規模等の基本情報は第 55 表に、遺構図を第 284・285 図に示す。

第 11 号溝跡 (第 284 図)

東西方向に長さ 20.68m が確認された。東部は調査区外に延びる。幅 90cm、深さ 69cm と比較的大規模で、断面も逆台形を呈する。重複する第 12 号溝跡より新しい。

調査区東壁の基本土層② (第 6 図) において、調査区全体に広がる焼土層に、溝跡の埋土が覆われているのが確認された。溝跡が火災より前に廃絶していたことが分かる。

第 286～287 図 1～40 は出土した陶磁器で、7 は十錦手の中国産磁器坏である。銘款は「乾隆年製」とみられる。「乾隆」は清の元号で 1736～95 年にあたる。34 は江戸在地系土器と考えられる施釉土器のカンテラである。栗橋宿跡での出土量は少ないが、本陣跡からは複数個体が出土している。全体的には肥前系磁器の雪輪草花文碗や梅

第 55 表 第二面溝跡一覧表 単位：m

番号	グリッド	長さ	幅	深さ	主軸方向	備考
11	C6-E5/6・F4/5	(20.68)	0.90	0.69	N-73° -E	SK1028 より古 SD12・SK1031 より新
12	C6-E5/6・F4/5	(19.78)	(0.95)	0.63	N-75° -E	SD11・SK1005/1027/1028 より古 SK1007/1009 重複
13	C6-E4・6・F4	15.20	1.70	0.88	N-71° -E	SK1004/1006 より古 SD14・SK1101 より新 SK1075 重複
14	C6-E5	(7.65)	1.56	0.72	N-73° -E	SD13 より古 SK1101 より新 SK1004 重複
15	C6-D4/5	(9.85)	0.54	0.21	N-72° -E	SB16 重複

樹文碗が多く、筒形碗がこれに次ぐ。瀬戸美濃系磁器の厚手の端反碗が1片みられるが混在と思われる、これを除くと肥前系磁器広東碗が最新期の磁器である。全体的には第12号溝跡より古手の遺物が多い印象である。第293図5は硝子製品の髪飾り類である。1は虚無僧を模した陶器人形、2～4はミニチュアである。10～12は金属製品で、10は容器類蓋、11は鍵である。第294図1～9は木製品である。遺物の様相や検出層位から、18世紀末を中心とする時期に比定され、本陣敷地境として機能していたと考えられる。

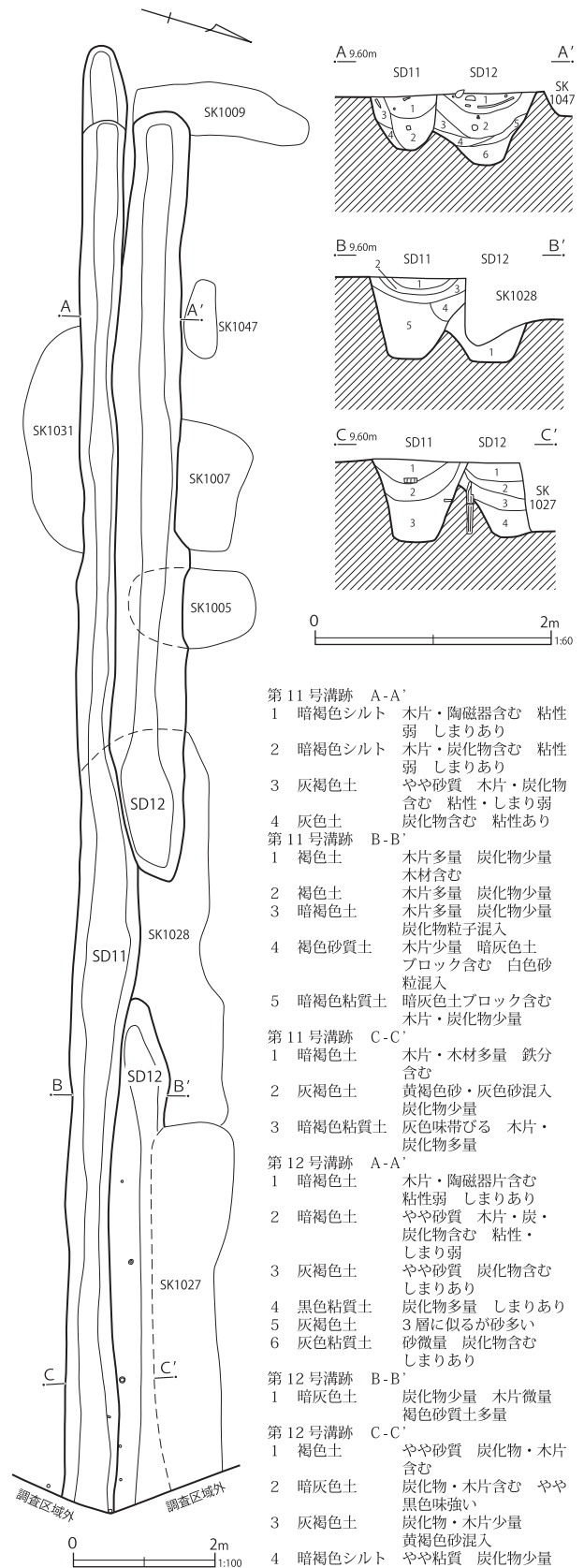
第12号溝跡 (第284図)

東西方向に長さ19.78mが確認された。東部は調査区外に延びる。幅95cm、深さ63cmと大規模で、断面も逆台形を呈する。第11号溝跡に掘り込まれており、本跡が廃絶後に第11号溝が掘り直されたものであろう。

第288～290図41～148に陶磁器を図示した。72～109は京都系陶器坏で「紅浅」銘の上絵付けが施される。紅坏として用いられたものである。このタイプの坏は栗橋宿跡で一定量出土しているが、出土遺構とその時期は偏っており、18世紀末頃の遺構に帰属する傾向がある。一遺構の出土量としては、これまでで最多の量が出土した。136は陶器の有耳壺で、胎土は炆器質、外面には赤味の強い鉄釉が掛けられる。137は、輪高台の付く瓦質土器の火鉢で、内面見込み部分に刻印がある。文字は潰れており判読できなかった。このタイプの火鉢で刻印がある例はほとんど出土していない。陶磁器全体としては、肥前系磁器の雪輪草花文碗・梅樹文碗・くらわんか手碗・小丸碗が多い。最新期の資料は肥前系磁器端反碗や広東碗(49～51)で、第11号溝跡との時期差は見出せなかった。

第293図7は土製人形で袴侍の背面部分である。8は筒形の土製品で外面はシワ状の痕跡を残す。一見、鞆の羽口のような形状だが、被熱や

SD11・12



第284図 第11・12号溝跡

滓の溶着が認められない。おそらく樋管として使用されたものであるが、同種の遺物は19世紀中葉以降のものが多く、本資料の帰属時期が問題となる。9は硝子製品の髪飾り類である。13～16は金属製品である。第294～295図10～37は木製品で、23の曲物底に本陣池田家の家紋の揚羽蝶が描かれる。第296図11は滑石製石鍋である。県内では主に中世遺跡から少数が確認されている。重複関係と遺物様相から、18世紀末頃の廃絶と考えられる。第11号溝跡に若干遡る段階の本陣敷地境と考えられる。

第13号溝跡 (第285図)

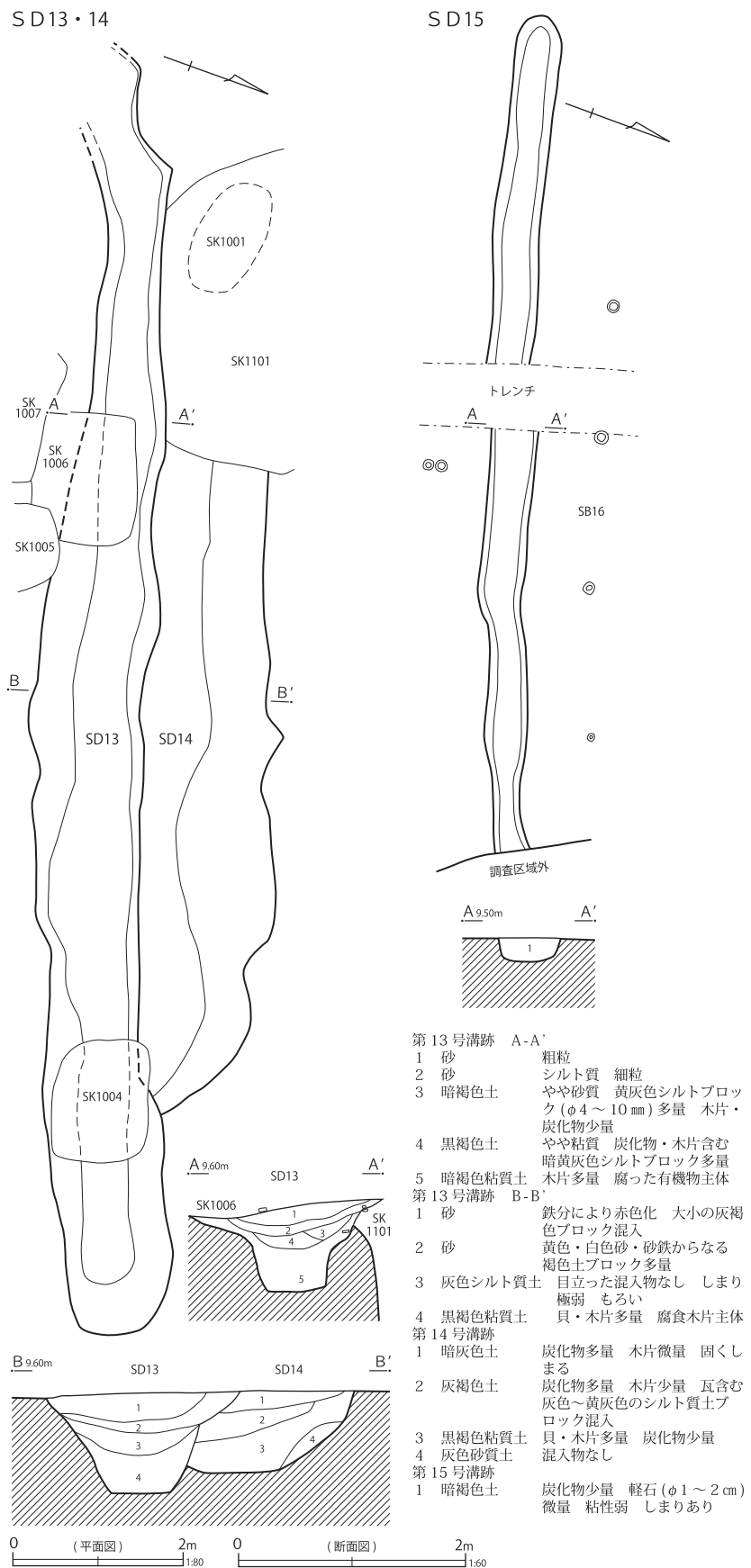
第11・12号溝跡の北側に並走する。長さ15.2m、幅1.7m、深さ88cmと大規模な溝跡である。重複関係から第14号溝跡より新しい。

第291図149～174は出土した陶磁器である。153は肥前系磁器紅猪口で外面に鎬状文様が型押しされる。全体的には肥前系磁器の雪輪草花文碗・梅樹文碗・くらわんか手碗が多いが、筒形碗や小丸碗は含まれない。

遺物様相は古手だが、第14号溝跡との重複関係から、18世紀後葉の帰属と考えられる。

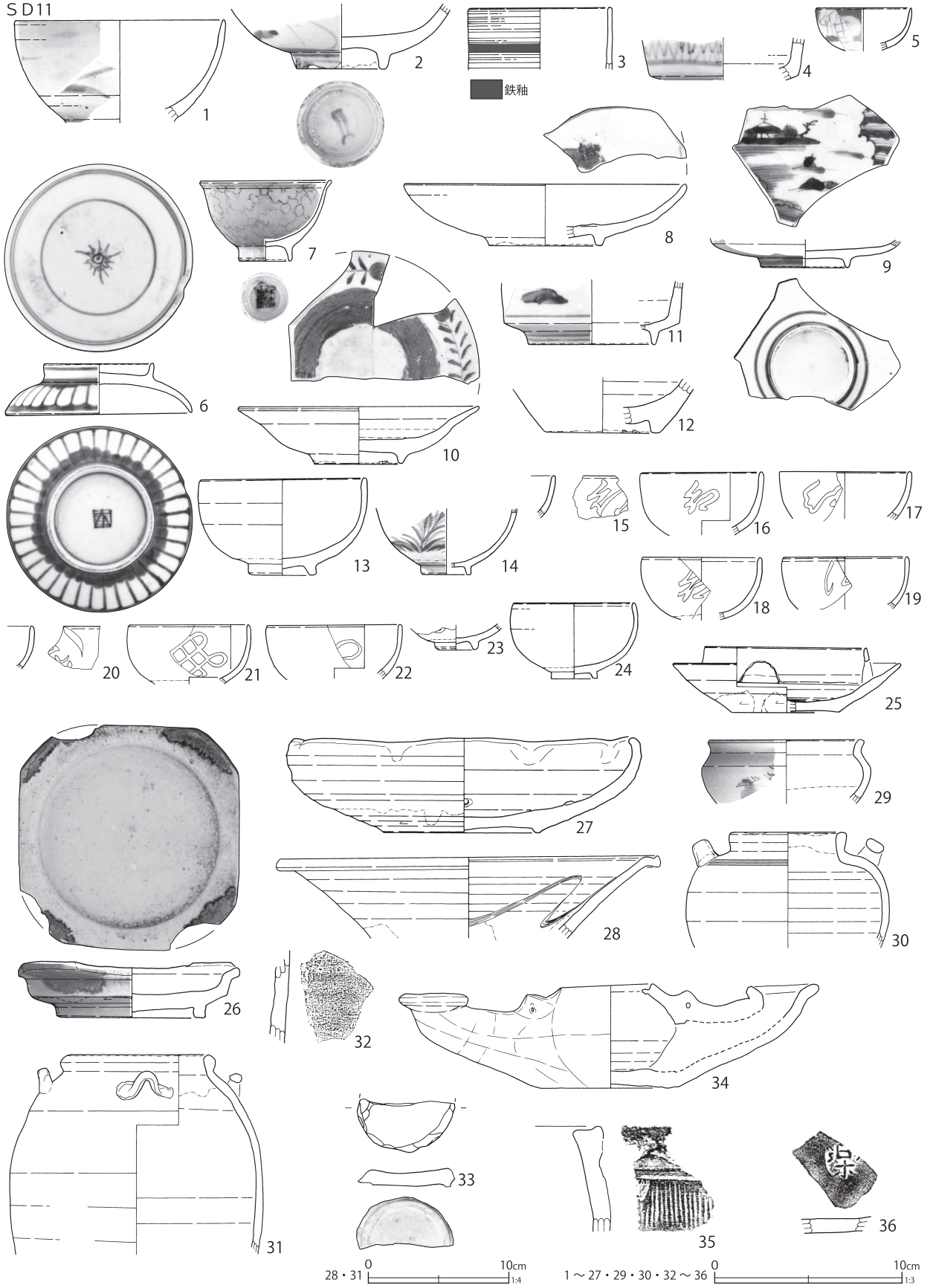
第14号溝跡 (第285図)

第13号溝跡の北側に重複する。遺存長7.65m、幅1.56m、深さ72cmと大規模である。

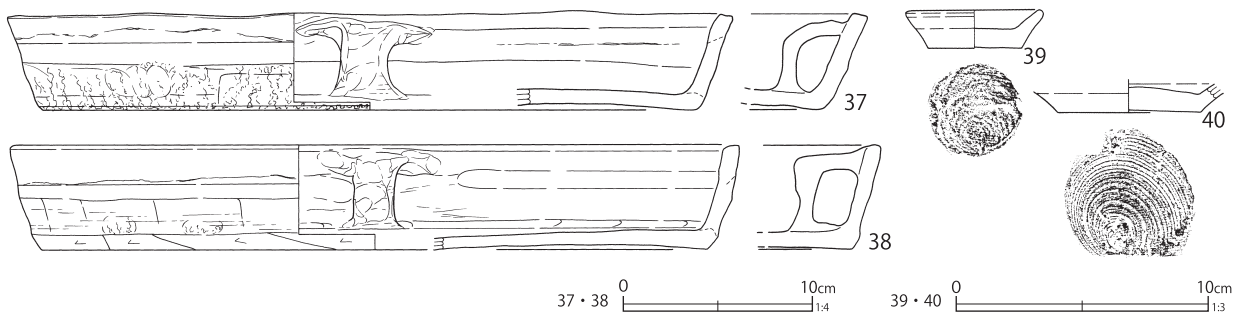


第285図 第13～15号溝跡

SD11



第286図 溝跡出土遺物(1)

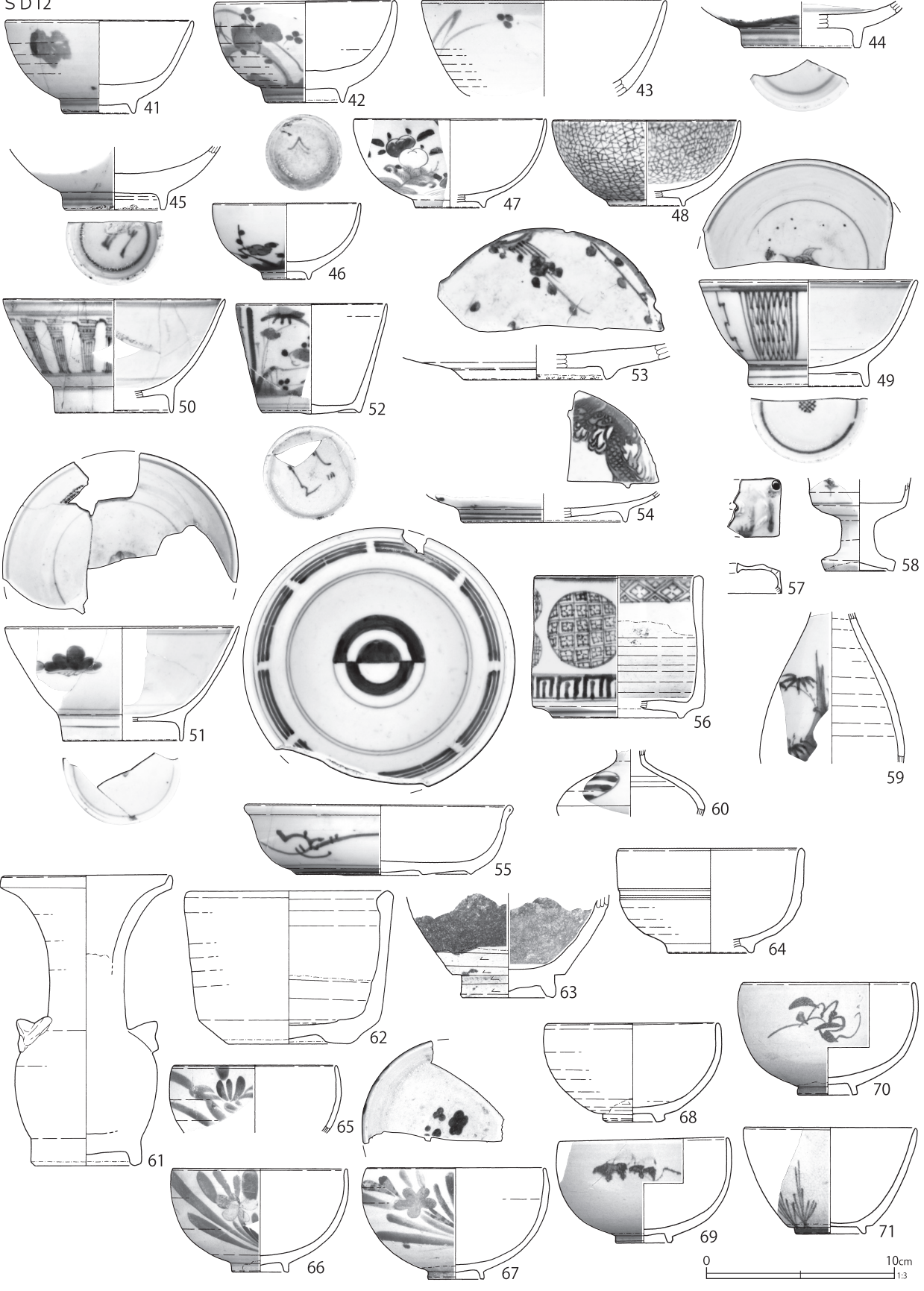


第 287 図 溝跡出土遺物 (2)

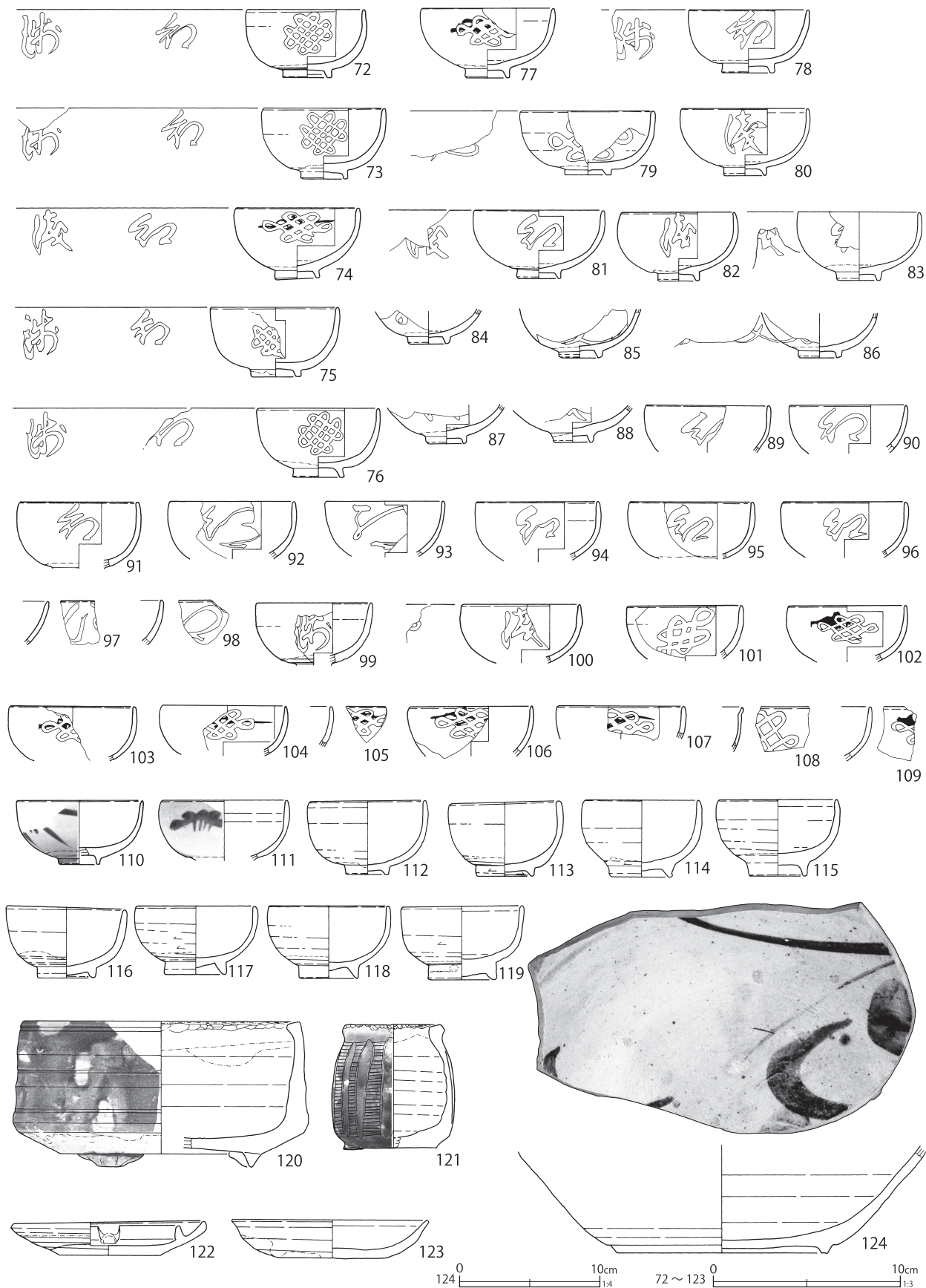
第 56 表 溝跡出土遺物観察表 (1) (第 286 ~ 292 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(11.0)	5.3	—	—	15	良好	灰白	SD11	肥前系 施釉 外面染付 上下接点ない2破片から図上復元	
2	磁器	碗	—	[3.4]	(4.6)	—	10	良好	灰白	SD11	肥前系 施釉 外面染付	
3	磁器	碗	(7.9)	[3.2]	—	—	20	良好	白	SD11	肥前系 施釉 口紅 外面横帯状に鉄釉	
4	磁器	碗	—	[2.5]	—	—	5	良好	白	SD11	肥前系 施釉 外面染付	
5	磁器	坏	(5.0)	[2.2]	—	—	40	良好	白	SD11	肥前系 施釉 外面色絵 (赤)	
6	磁器	蓋	5.6	2.6	9.7	—	90	良好	灰白	SD11	肥前系 施釉・染付	
7	磁器	坏	(6.8)	[4.2]	2.6	—	80	良好	白	SD11	中国景德镇窯系 施釉 外面色絵 (十錦手)	68-2
8	磁器	皿	(14.8)	3.2	(6.0)	—	10	普通	白	SD11	肥前系 施釉 内面染付 (初期伊万里様式)	
9	磁器	皿	—	[1.4]	4.5	—	45	良好	白	SD11	肥前系 施釉・染付	
10	磁器	皿	(12.7)	3.0	(4.6)	—	30	良好	灰白	SD11	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥・上絵付 (赤・緑)	68-3
11	磁器	蓋物か	—	[3.4]	(6.7)	—	15	良好	白	SD11	肥前系 施釉 外面染付	
12	磁器	德利	—	[2.8]	(6.0)	—	5	良好	灰白	SD11	肥前系 施釉	
13	陶器	碗	8.6	5.1	2.8	K	75	良好	灰白	SD11	瀬戸美濃系 柿釉	
14	陶器	碗	—	[3.5]	(2.6)	—	25	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・呉須絵	68-4
15	陶器	坏	—	[2.3]	—	IK	5	普通	浅黄	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	
16	陶器	坏	(6.4)	[3.3]	—	K	15	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	68-6
17	陶器	坏	(6.9)	[2.5]	—	K	20	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	68-6
18	陶器	坏	(6.2)	[3.3]	—	K	15	普通	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	68-6
19	陶器	坏	(6.5)	[2.7]	—	K	10	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	68-6
20	陶器	坏	—	[2.3]	—	K	5	普通	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (黒)	68-6
21	陶器	坏	(6.3)	[3.1]	—	K	10	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	68-6
22	陶器	坏	(7.0)	[2.8]	—	K	10	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	68-6
23	陶器	坏	—	[1.1]	1.8	K	30	普通	灰白	SD11	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	68-6
24	陶器	坏	(6.3)	4.0	2.4	K	55	良好	灰白	SD11	京都信楽系 施釉	
25	陶器	灯明皿	8.4	3.5	5.6	IK	85	不良	橙	SD11	志戸呂系 鉄釉 半円孔3あり	
26	陶器	皿	11.4	2.9	7.4	D	90	普通	灰白	SD11	瀬戸美濃系 灰釉・隅部に鉄釉	
27	陶器	鉢	17.9	5.0	8.1	GIK	80	良好	灰白	SD11	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡	
28	陶器	鉢	(26.8)	[5.8]	—	K	30	良好	灰白	SD11	瀬戸美濃系 灰釉 内面櫛歯波状施文	
29	陶器	鉢	(8.0)	[3.4]	—	K	20	良好	灰白	SD11	肥前系 灰釉 外面鉄絵	
30	陶器	有耳壺	(5.7)	[6.1]	—	IK	50	良好	浅黄	SD11	瀬戸美濃系 外面灰釉	
31	陶器	有耳壺	(9.8)	[14.2]	—	K	40	良好	灰白	SD11	瀬戸美濃系 外面鉄釉	
32	陶器	德利	—	[4.9]	—	CEIK	5	良好	赤褐	SD11	備前系	
33	磁器	碗	—	[1.0]	—	—	5	良好	白	SD11	肥前系 施釉・外面染付 円盤状製品転用 縦[2.6]横5.1重15.5	
34	施釉土器	カンテラ	4.8	5.5	6.7	H	95	良好	橙	SD11	施釉 双口部の口唇に煤付着	68-7
35	瓦質土器	火鉢	—	[5.5]	—	CHIK	5	普通	淡赤橙	SD11	外面施文 被熱・赤化	
36	土師質土器	鍋か	—	[0.8]	—	IK	5	普通	にぶい橙	SD11	胎土粉質 内面刻印「楽」	68-5
37	瓦質土器	焙烙	(37.0)	5.0	(34.5)	CFHIK	20	普通	灰白	SD11	底部シワ状痕 弱く燻す 外面煤付着	
38	瓦質土器	焙烙	(37.6)	5.5	(35.0)	CFHI	20	普通	明褐灰	SD11	底部シワ状痕 やや酸化炎焼成 内底面ミガキ状・煤付着	

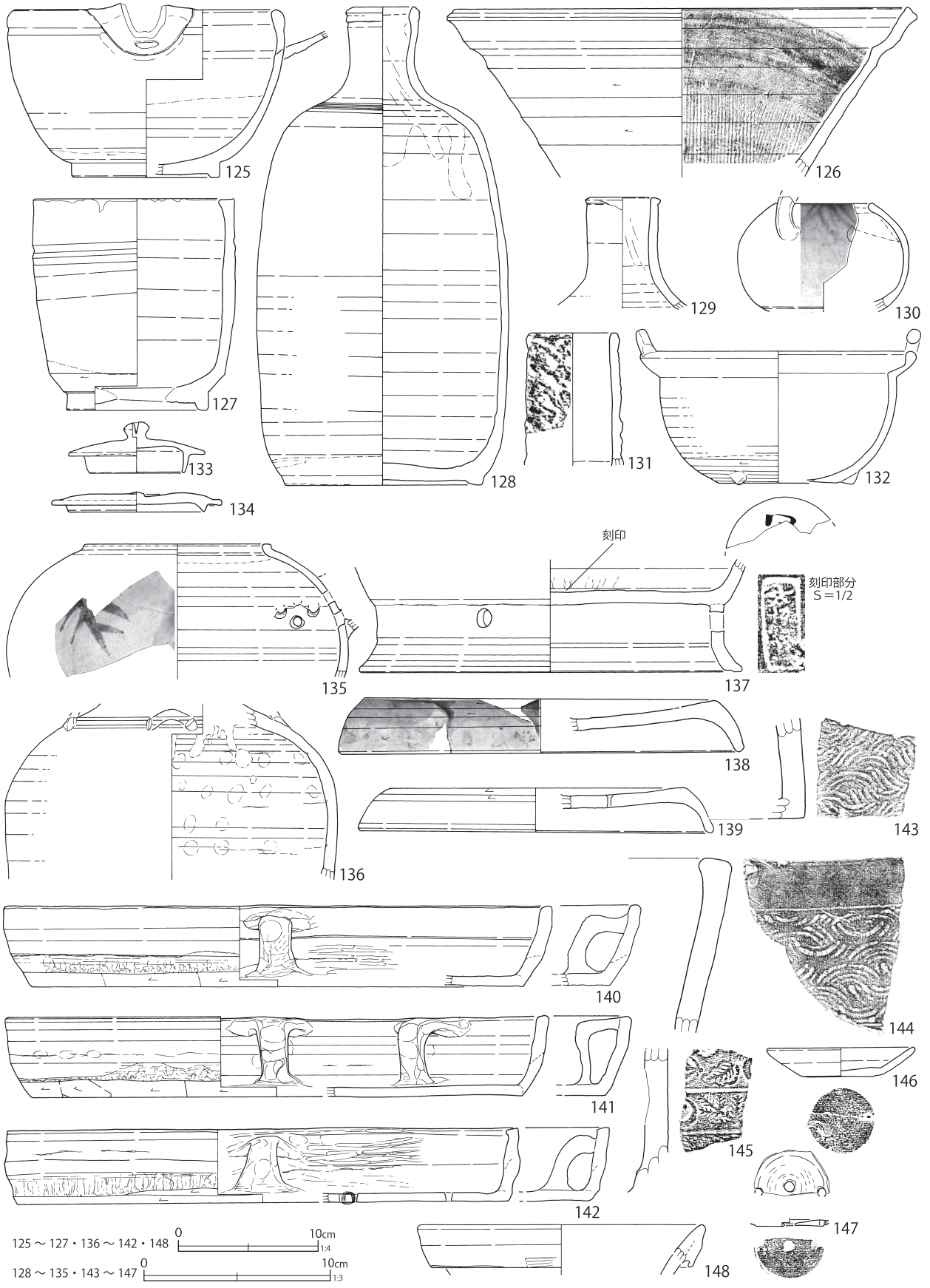
SD12



第 288 图 溝跡出土遺物 (3)

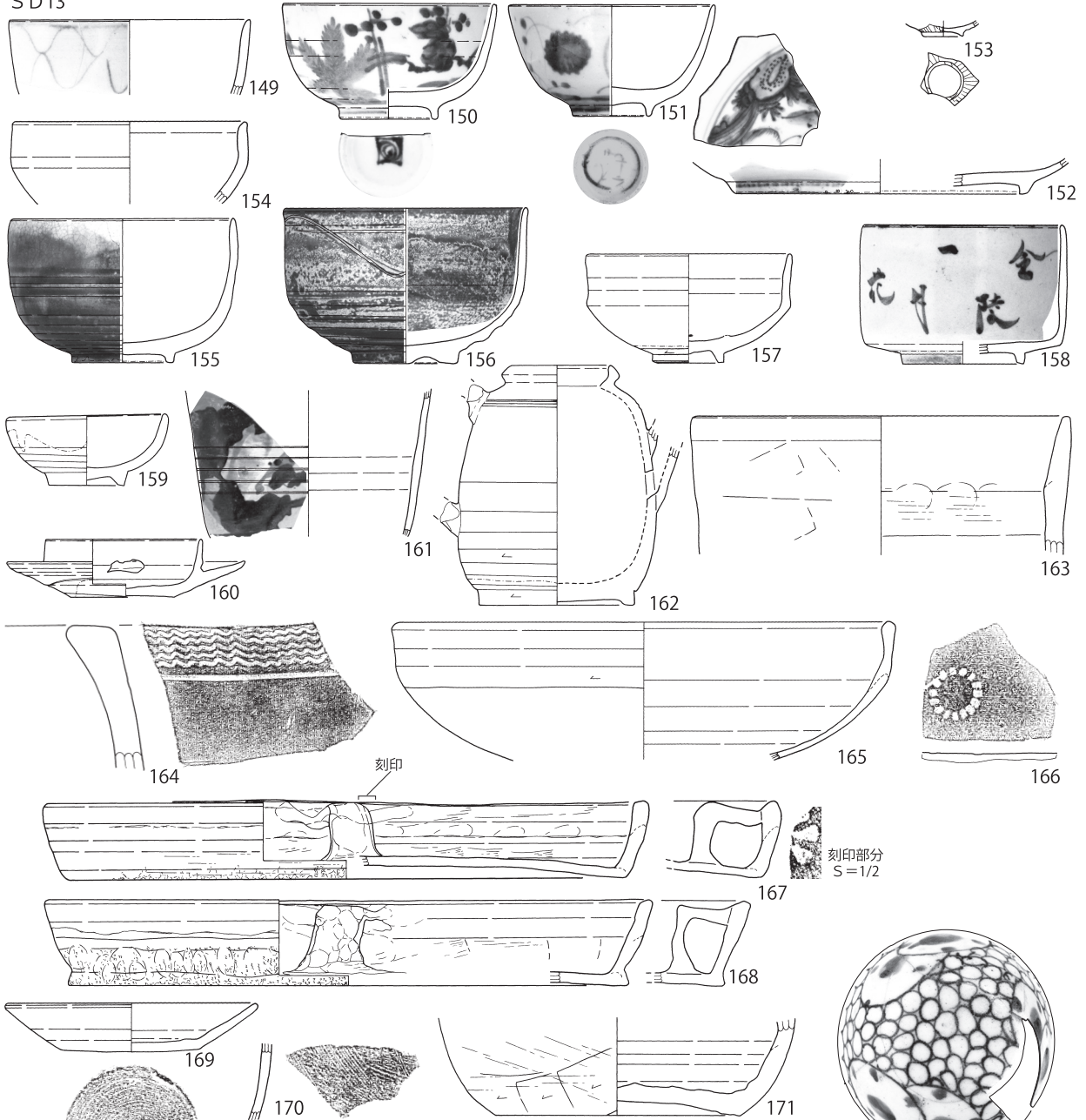


第 289 図 溝跡出土遺物 (4)

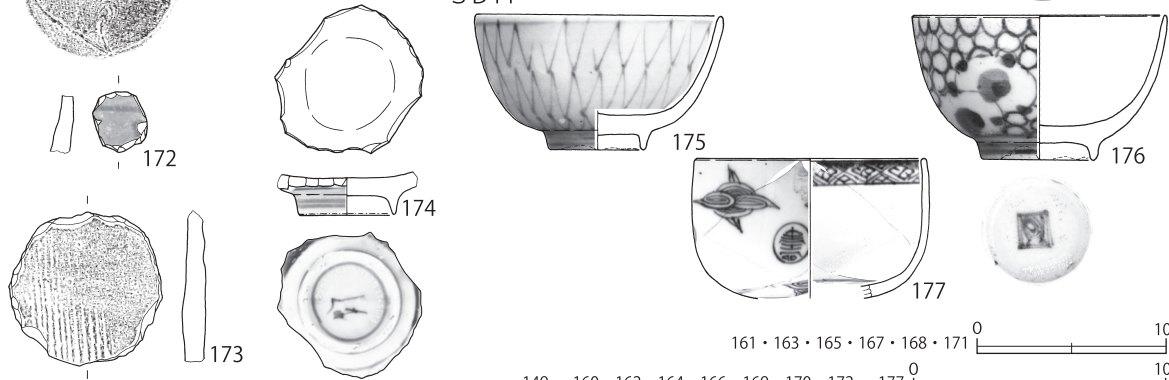


第 290 图 沟迹出土遗物 (5)

SD13

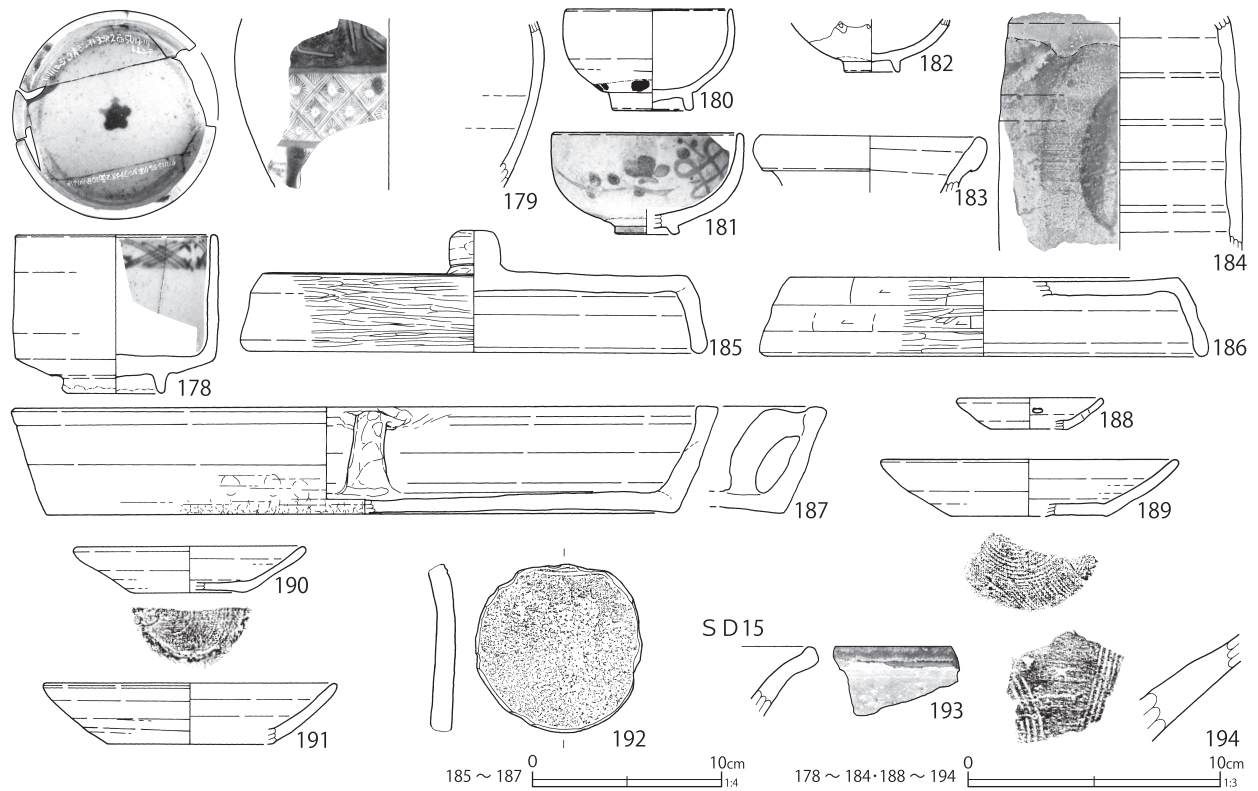


SD14



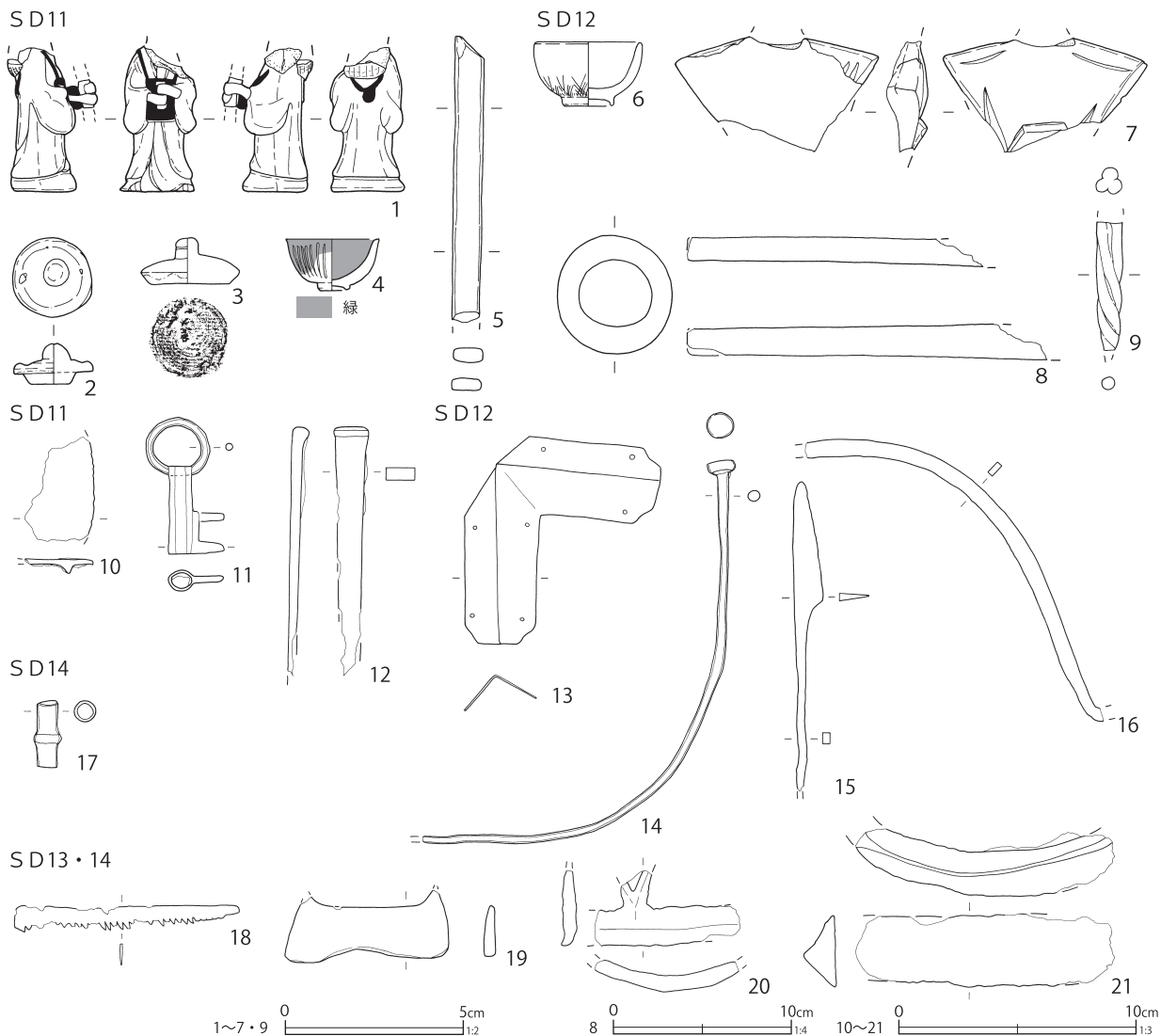
161・163・165・167・168・171 0 10cm
 149～160・162・164・166・169・170・172～177 0 10cm
 1/4
 1/3

第 291 图 溝跡出土遺物 (6)



第 292 図 溝跡出土遺物 (7)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
39	かわらけ	小皿	5.0	1.5	3.7	CEHIK	95	普通	にぶい橙	SD11	底部糸切痕 (右) 胎土砂質	
40	かわらけ	小皿	—	[1.2]	(5.6)	CHIJK	25	良好	灰白	SD11	底部糸切痕 (右) 硬質	
41	磁器	碗	(9.8)	4.9	3.7	—	85	良好	灰白	SD12	肥前系 施釉 外面染付 口縁歪み・煤付着	
42	磁器	碗	9.4	5.4	4.0	—	95	良好	灰白	SD12	肥前系 施釉 外面染付	
43	磁器	碗	(12.8)	[5.0]	—	—	20	良好	白	SD12	肥前系 施釉 外面染付	
44	磁器	碗	—	[2.4]	(6.0)	—	5	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付 漆継痕	
45	磁器	碗	—	[3.3]	(5.2)	—	45	良好	白	SD12	肥前系 施釉 外面染付	
46	磁器	碗	(7.7)	4.0	(2.4)	—	50	良好	灰白	SD12	肥前系 施釉 外面染付	
47	磁器	碗	(10.1)	4.7	(3.6)	—	20	良好	白	SD12	肥前系 施釉 外面染付・色絵 (赤・緑)	
48	磁器	碗	(9.9)	[4.5]	(3.9)	—	40	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付	
49	磁器	碗	(11.6)	[5.6]	(6.2)	—	50	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付	
50	磁器	碗	(11.7)	6.0	(6.2)	—	25	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付 被熱	
51	磁器	碗	(12.3)	[6.0]	(6.2)	—	40	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付 被熱	
52	磁器	猪口	(7.9)	[5.8]	5.1	—	75	良好	白	SD12	肥前系 施釉 外面染付 弱く被熱	
53	磁器	皿	—	[1.8]	(7.4)	—	15	良好	白	SD12	肥前系 施釉 内面染付 (初期伊万里様式)	68-8
54	磁器	皿	—	[1.2]	(8.6)	—	10	普通	白	SD12	肥前系 施釉・染付	
55	磁器	皿	(13.9)	3.6	9.2	—	80	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付	
56	磁器	香炉	(8.6)	[7.5]	(6.8)	—	20	良好	白	SD12	肥前系 施釉・染付 蛇の目状高台	
57	磁器	水滴	—	[1.6]	—	—	45	良好	白	SD12	肥前系 外面施釉・染付・施文 長 [3.1]	
58	磁器	仏飯器	—	[4.9]	3.6	—	70	良好	白	SD12	肥前系 施釉 外面染付	
59	磁器	徳利	—	[8.0]	—	—	20	良好	白	SD12	肥前系 外面施釉・染付	
60	磁器	油壺	—	[3.5]	—	—	10	良好	白	SD12	肥前系 外面施釉・染付 漆継痕	
61	磁器	花生	8.7	15.3	5.3	—	95	良好	白	SD12	肥前系 青磁釉	
62	磁器	香炉	(10.2)	8.0	6.4	—	70	良好	白	SD12	肥前系 青磁釉	
63	陶器	天目茶碗	—	[5.3]	(4.9)	DH	20	普通	淡黄	SD12	瀬戸美濃系 鉄釉 (釉ムラ激しい)	
64	陶器	碗	(9.6)	[5.5]	(4.4)	I	40	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰・鉄釉掛分	
65	陶器	碗	(8.6)	[3.6]	—	IK	15	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑・赤・青)	



第293図 溝跡出土遺物(8)

重複関係から第13号溝跡より古い。

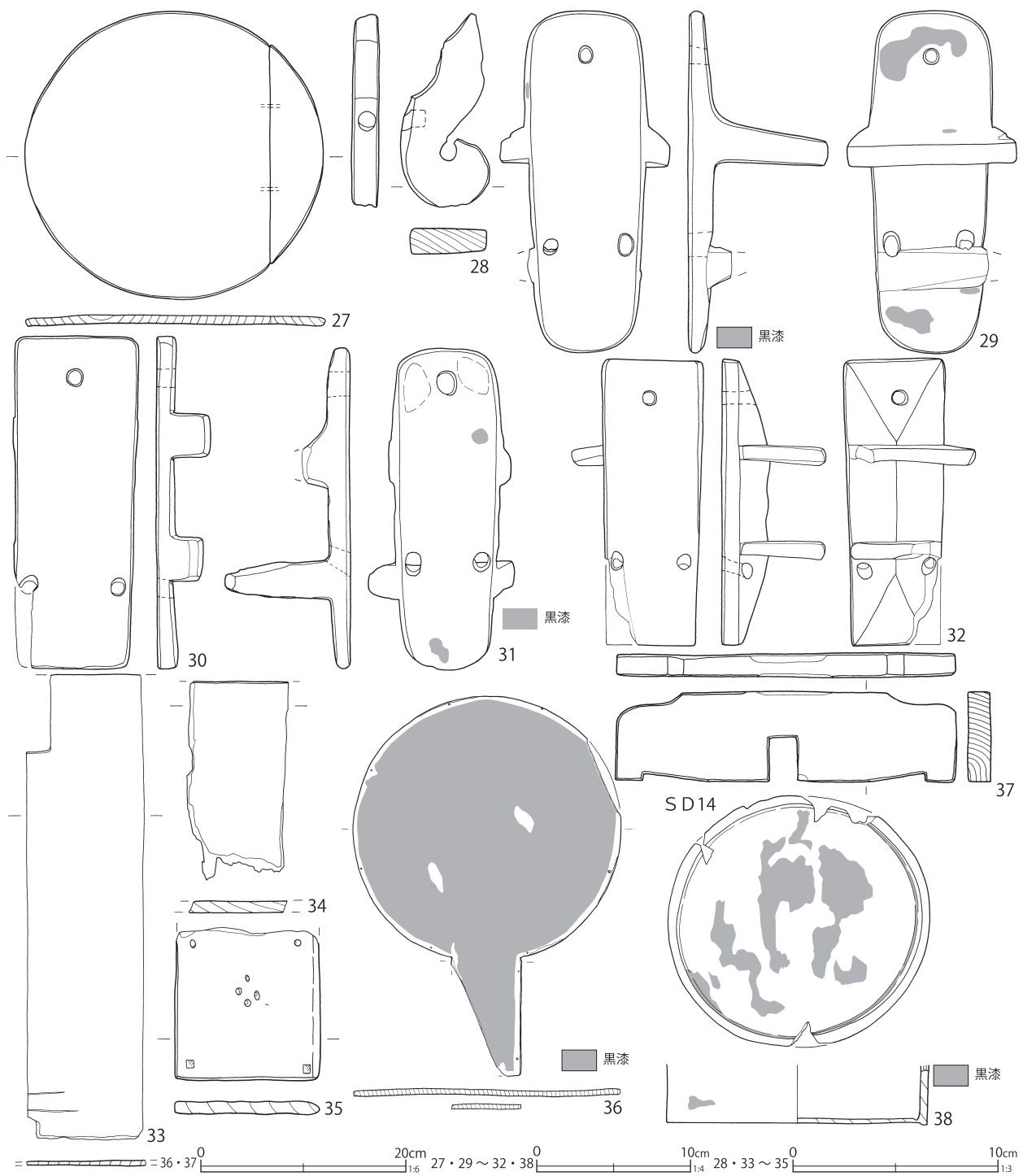
肥前系磁器小丸碗(第291図177)・筒形碗(第292図178)とともに小広東碗が出土していることから、18世紀後葉のやや新しい段階に埋没したと考えられる。第296図14・15は出土した石製品で、14の砥石は使い込まれて小形化している。15は武蔵型板碑の側縁部破片で、枠線の一部が残る。

第13・14号溝跡は、18世紀第3四半期に機能した本陣区画境の溝と考え得る。それ以前の区画溝が検出できなかった点や、より新しい第11・12号溝跡と位置が少し異なっている点は、本陣敷地の変遷を考える上で注目される。

第15号溝跡(第285図)

本陣敷地内とみられるD6-D4グリッドに位置する。東西方向に9.85mが検出され、東側は調査区外に延びる。幅54cm、深さ21cmの細い溝である。検出位置は第一面の第16号建物跡の下であり、基本土層の掘り込み位置からも古い時期の溝跡と認識される。

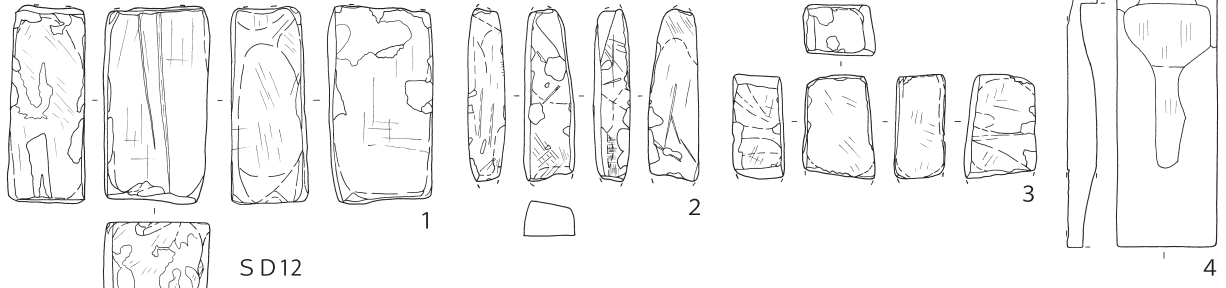
陶磁器の出土は極めて少なく、第292図193・194の瀬戸美濃系陶器灰釉鉢・錆釉播鉢のほか、灰釉皿破片、かわらけ破片のみであるが、17世紀に遡る様相である。調査区でも古期の遺構の一つと認識されよう。



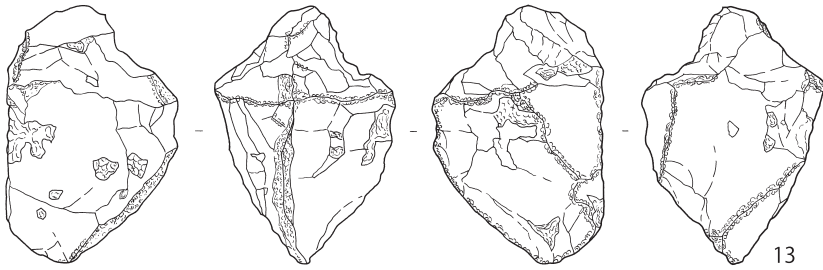
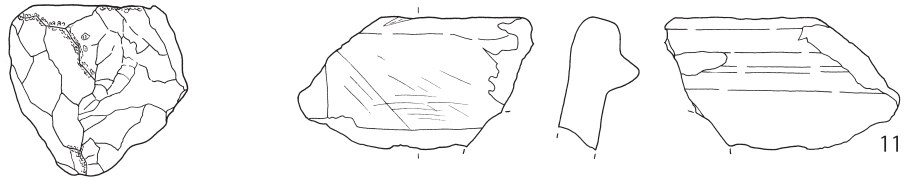
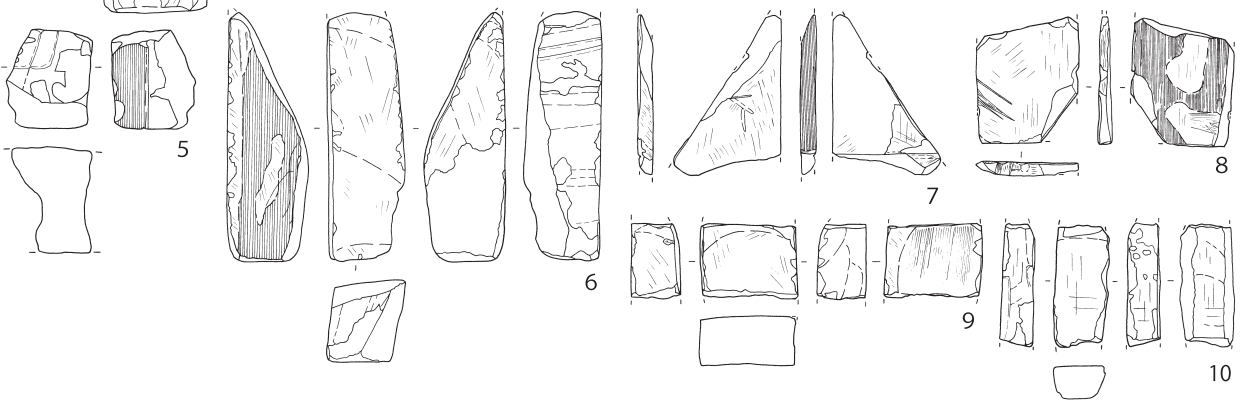
第 295 図 溝跡出土遺物 (10)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
66	陶器	碗	(8.9)	[5.4]	3.0	K	60	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面色絵 (緑・赤・青)	68-9
67	陶器	碗	(9.4)	5.9	2.9	I	25	普通	淡黄	SD12	京都信楽系 施釉 外面色絵 (緑・青・赤)	
68	陶器	碗	(9.0)	5.2	2.6	IK	50	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉	
69	陶器	碗	8.9	5.4	3.0	K	90	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
70	陶器	碗	9.1	5.9	3.1	K	85	普通	淡黄	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
71	陶器	碗	(9.0)	5.6	3.6	HI	35	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	

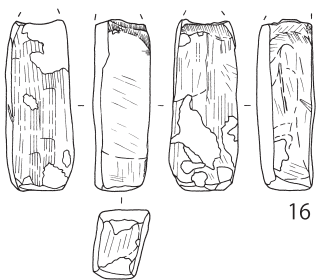
SD11



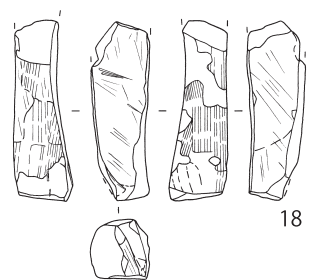
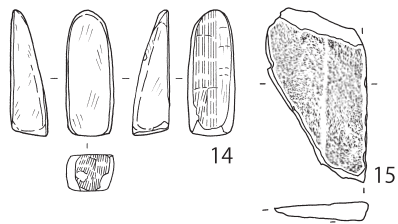
SD12



SD13・14 トレンチ



SD14



第 296 図 溝跡出土遺物 (11)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
72	陶器	坏	6.2	3.5	2.5	IK	100	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑・赤)	68-12
73	陶器	坏	6.4	3.7	2.3	HK	85	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑・赤)	69-1
74	陶器	坏	(6.5)	3.8	2.3	K	90	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑・赤)	69-2
75	陶器	坏	6.7	3.6	2.6	K	80	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-3
76	陶器	坏	6.4	3.6	2.7	I	80	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-4
77	陶器	坏	(7.0)	3.7	2.2	HK	55	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-5
78	陶器	坏	(6.2)	3.3	2.7	K	60	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-6
79	陶器	坏	(7.0)	3.4	2.5	IK	35	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-7
80	陶器	坏	(6.7)	3.5	2.2	H	60	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-8
81	陶器	坏	(6.8)	3.6	2.2	I	50	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-9
82	陶器	坏	(6.0)	3.6	2.2	H	50	普通	淡黄	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-10
83	陶器	坏	(6.4)	3.6	2.2	H	20	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-11
84	陶器	坏	—	[1.7]	1.8	K	25	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑・赤)	69-11
85	陶器	坏	—	[2.6]	1.8	H	35	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
86	陶器	坏	—	[2.3]	2.2	K	50	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	69-11
87	陶器	坏	—	[1.9]	1.9	K	20	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
88	陶器	坏	—	[1.8	(2.1)	K	15	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
89	陶器	坏	(6.4)	[2.5]	—	K	10	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
90	陶器	坏	(6.2)	[2.5]	—	K	20	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
91	陶器	坏	6.2	3.5	—	IK	20	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
92	陶器	坏	(6.6)	[3.0]	—	K	20	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
93	陶器	坏	(6.2)	[2.9]	—	K	20	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
94	陶器	坏	(6.4)	[3.1]	—	K	20	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
95	陶器	坏	(6.4)	[3.0]	—	I	20	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (黄色に変色)	69-11
96	陶器	坏	(6.5)	[2.9]	—	I	15	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (黄色に変色)	69-11
97	陶器	坏	—	[2.2]	—	I	5	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
98	陶器	坏	—	[2.3]	—	K	5	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
99	陶器	坏	(6.1)	[3.2]	—	HK	35	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
100	陶器	坏	(6.2)	[3.1]	—	H	30	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
101	陶器	坏	(6.0)	[2.8]	—	K	20	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	69-11
102	陶器	坏	(6.2)	[2.9]	—	—	40	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑か)	69-11
103	陶器	坏	(6.6)	[2.8]	—	IK	15	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	69-11
104	陶器	坏	(6.6)	[2.6]	—	K	20	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑)	69-11
105	陶器	坏	—	[2.1]	—	K	10	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑)	69-11
106	陶器	坏	(6.5)	[2.6]	—	I	5	普通	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑)	69-11
107	陶器	坏	(6.6)	[1.7]	—	—	5	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑)	69-11
108	陶器	坏	—	[2.3]	—	—	5	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤) 弱く被熱	69-11
109	陶器	坏	—	[2.8]	—	H	5	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・上絵付 (緑)	69-11
110	陶器	坏	(6.7)	[3.3]	(2.2)	K	40	良好	灰白	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	
111	陶器	坏	(6.6)	[3.2]	—	IK	25	普通	淡黄	SD12	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑)	
112	陶器	坏	6.0	3.8	2.3	K	100	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	
113	陶器	坏	5.6	3.9	3.0	I	95	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	
114	陶器	坏	6.0	4.0	3.2	I	100	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉 高台煤付着	
115	陶器	坏	6.2	4.0	2.9	K	65	普通	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉 高台煤付着	
116	陶器	坏	6.2	3.8	3.0	IK	90	普通	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	
117	陶器	坏	6.3	3.6	3.2	IK	70	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	
118	陶器	坏	6.2	3.8	3.1	K	90	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	
119	陶器	坏	6.3	3.9	3.4	IK	90	普通	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	
120	陶器	香炉	(14.6)	7.7	(10.7)	DEK	20	良好	淡黄	SD12	瀬戸美濃系 外面鉄釉 一部灰釉流掛	
121	陶器	灰落し	(5.0)	[6.5]	(4.9)	EK	60	普通	灰白	SD12	瀬戸美濃系 外面灰・鉄釉掛分 口縁部敲打痕	
122	陶器	灯明皿	10.2	1.8	5.4	I	70	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
123	陶器	灯明皿	10.3	2.0	5.7	I	80	良好	明褐灰	SD12	志戸呂系 錆釉 口縁部煤付着	
124	陶器	鉢	—	[7.6]	(15.0)	I	20	普通	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉・目跡 内面鉄釉	
125	陶器	片口鉢	(18.3)	[12.0]	(10.2)	K	40	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
126	陶器	播鉢	(32.4)	[12.0]	—	HIK	25	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 柿釉 播目	
127	陶器	半胴甕	(14.2)	15.1	9.9	HK	75	普通	にぶい黄橙	SD12	瀬戸美濃系 柿釉 転用植木鉢	
128	陶器	徳利	3.2	25.4	10.4	IK	55	不良	灰白	SD12	瀬戸美濃系 外面灰釉	
129	陶器	徳利	(3.3)	[5.9]	—	K	10	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 外面灰釉	
130	陶器	水注	(5.2)	[6.1]	—	DI	20	良好	灰白	SD12	瀬戸美濃系 灰釉 外面鉄釉	
131	陶器	花生か	(4.4)	[7.0]	—	HI	30	良好	褐灰	SD12	外面施文 胎土炆器質	69-12
132	陶器	土鍋	(14.2)	7.7	(6.2)	I	40	良好	灰白	SD12	柿釉 墨書	
133	陶器	蓋	—	2.7	5.0	HK	100	良好	灰白	SD12	上面灰釉 つまみ上端に孔 最大径 7.2	
134	陶器	蓋	—	1.0	7.0	I	20	良好	灰白	SD12	志戸呂系 錆釉 上面部白色釉流掛	
135	陶器	土瓶	(9.8)	[7.1]	—	K	25	良好	灰白	SD12	外面施釉・鉄絵	
136	陶器	有耳壺	—	[12.5]	—	DEIK	30	良好	黄灰	SD12	外面褐釉 頸部沈線 (有耳壺)	70-1
137	瓦質土器	火鉢	—	[8.0]	(26.8)	CGIK	25	良好	灰白	SD12	底部シワ状痕 穿孔 2 遺存 内面火箸状痕・刻印	68-11
138	土師質土器	蓋	(24.9)	4.0	(28.3)	AHI	55	普通	にぶい橙	SD12	上面シワ状痕 胎土粉質 外面墨書か	68-10
139	土師質土器	蓋	20.8	3.1	(25.0)	AHK	70	普通	にぶい黄橙	SD12	上面シワ状痕 内面黒化 胎土粉質 二次穿孔 6	
140	瓦質土器	焙烙	(38.8)	5.8	(35.0)	CHIK	15	普通	灰白	SD12	底部シワ状痕 内面下位ミガキ 燻す	
141	瓦質土器	焙烙	(38.3)	[5.6]	(35.0)	CFHI	30	普通	にぶい橙	SD12	底部シワ状痕 やや酸化炎焼成 外面煤付着	
142	瓦質土器	焙烙	(36.4)	5.2	(35.0)	CEHIK	30	普通	にぶい黄橙	SD12	底部シワ状痕 内面ミガキ 補修孔 2・銅線 遺存	
143	瓦質土器	火鉢	—	[5.3]	—	AHI	10	良好	にぶい黄橙	SD12	外面施文 燻す	
144	瓦質土器	火鉢	—	[9.3]	—	ADGI	10	良好	にぶい黄橙	SD12	外面施文 燻す 143 と同一個体	
145	瓦質土器	火鉢	—	[7.6]	—	ACEHIJ	5	普通	灰黄褐	SD12	外面施文 燻す	
146	かわらけ	小皿	(7.8)	1.5	3.4	AHK	65	普通	にぶい橙	SD12	底部糸切痕 (左) をナデ消し 胎土粉質 口縁部煤付着	
147	かわらけ	小皿	—	[0.3]	3.6	AHI	20	普通	浅黄橙	SD12	底部糸切痕 二次穿孔 3 胎土粉質	
148	土師器	壺	(20.0)	[3.0]	—	CHI	5	普通	灰白	SD12	外面刷毛目 複合口縁 4 c	
149	磁器	碗	(10.8)	[3.4]	—	—	5	普通	灰白	SD13	肥前系 施釉 外面染付	
150	磁器	碗	(9.6)	5.2	(4.3)	—	55	良好	白	SD13	肥前系 施釉 外面染付	
151	磁器	碗	(9.3)	5.0	3.9	—	80	良好	白	SD13	肥前系 施釉 外面染付	
152	磁器	皿	—	[1.6]	(13.0)	K	5	良好	白	SD13	中国景德鎮窯系 施釉・染付	70-2
153	磁器	紅皿	—	[0.7]	1.8	—	10	不良	白	SD13	肥前系 施釉 外面しのぎ状施文	
154	陶器	天目茶碗	(10.4)	[3.7]	—	D	5	良好	灰白	SD13	瀬戸美濃系 鉄釉	
155	陶器	碗	(10.0)	6.4	4.4	I	65	良好	灰白	SD13	瀬戸美濃系 灰・鉄釉掛分	
156	陶器	碗	(11.0)	7.0	4.5	I	60	普通	灰白	SD13	瀬戸美濃系 錆釉・白斑 灰釉流掛 同文別 個体 1 あり	70-4
157	陶器	碗	(9.2)	4.9	3.2	K	40	良好	淡黄	SD13	京都信楽系 施釉 内面目跡	
158	陶器	碗	(9.0)	6.3	5.5	IK	40	普通	灰白	SD13	京都信楽系 施釉 外面鉄絵 口錆	70-5
159	陶器	坏	7.0	3.2	3.4	K	100	良好	灰黄	SD13	瀬戸美濃系 灰釉 内面黒色付着物 被熱	
160	陶器	灯明皿	7.1	2.6	4.7	IK	80	良好	にぶい橙	SD13	志戸呂系 錆釉 受部の孔向き合って 2ヶ所	
161	陶器	植木鉢か	—	[8.8]	—	I	10	良好	灰黄	SD13	外面柿釉・鉄釉を流掛 胎土緻密・硬質	70-3
162	陶器	水注	4.5	10.8	7.0	I	90	良好	灰黄	SD13	瀬戸美濃系 外面灰釉	
163	土師質土器	火鉢	(22.4)	[8.4]	—	AGH	10	良好	浅黄橙	SD13	胎土粉質	
164	土師質土器	火鉢	—	[6.7]	—	ACHJ	5	普通	にぶい黄橙	SD13	外面施文・ヘラミガキ 胎土粉質	
165	土師質土器	焙烙	(29.6)	[8.3]	(29.0)	AHI	15	良好	にぶい橙	SD13	底部シワ状痕 胎土粉質 内底面黒化	
166	瓦質土器	焙烙	—	[0.4]	—	K	5	良好	灰白	SD13	菊花スタンプ文 底外面剥離	
167	瓦質土器	焙烙	(36.2)	4.6	(33.6)	CEHI	50	普通	灰白	SD13	底部シワ状痕 燻す 内底面菊花スタンプ文 煤付着	
168	瓦質土器	焙烙	(36.3)	5.2	(33.6)	CIK	15	普通	灰白	SD13	底部シワ状痕 燻す 煤付着	
169	かわらけ	小皿	11.2	2.2	6.2	ACHI	100	普通	にぶい橙	SD13	底部糸切痕 (左)	
170	土師器	甕	—	—	—	ACGH	5	良好	にぶい橙	SD13	外面ハケメ 4 c	
171	陶器	瓶類か	—	[5.9]	(14.8)	DGIK	15	良好	灰白	SD13	備前系	70-6
172	磁器	徳利	縦 2.3 横 2.0 重 4.4			—	5	普通	灰白	SD13	肥前系 外面施釉・染付 円盤状製品転用	
173	陶器	播鉢	縦 5.9 横 6.0 重 41.2			EKI	5	普通	褐灰	SD13	瀬戸美濃系 鉄釉 被熱 円盤状製品転用	
174	磁器	碗	—	[1.7]	3.7	—	10	良好	白	SD13	肥前系 施釉 外面染付 円盤状製品転用 縦 5.6 横 5.9 重 43.3	
175	磁器	碗	9.6	5.3	3.6	—	60	良好	灰白	SD14	肥前系 施釉 外面染付	
176	磁器	碗	9.9	5.7	4.3	—	85	良好	白	SD14	肥前系 施釉・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
177	磁器	碗	(9.0)	[5.5]	—	—	20	良好	白	SD14	肥前系 施釉・染付	70-7
178	磁器	碗	7.7	6.2	3.8	—	70	良好	灰白	SD14	肥前系 施釉 (外面青磁釉) 内面染付	
179	磁器	壺	—	[6.6]	—	K	15	良好	白	SD14	肥前系 施釉 外面染付・色絵 (赤・緑・金)	
180	磁器	坏	(6.9)	3.9	3.0	IK	95	良好	灰白	SD14	瀬戸美濃系 灰釉 外面墨痕	70-8
181	陶器	坏	(7.2)	4.0	(2.0)	IK	40	良好	灰白	SD14	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (緑・茶・赤)	
182	磁器	坏	—	[2.0]	(2.2)	K	20	良好	灰白	SD14	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	70-9
183	陶器	瓶類か	(8.6)	[2.2]	—	K	20	良好	灰白	SD14	灰釉 胎土硬質	
184	陶器	徳利	—	[9.3]	—	IK	10	良好	黄灰	SD14	瀬戸美濃系 外面志野釉・銅緑釉流掛・鉄絵・被熱 (織部)	
185	瓦質土器	蓋	—	6.4	(23.8)	CHIK	25	普通	にぶい黄橙	SD14	外面ミガキ 燻す (火消壺)	70-9
186	瓦質土器	蓋	(20.4)	4.1	(22.8)	CHI	20	普通	にぶい黄橙	SD14	外面ラフなミガキ 燻す (火消壺)	
187	瓦質土器	焙烙	(36.1)	[5.6]	(33.2)	CGHI	30	良好	にぶい黄橙	SD14	やや酸化炎焼成 底部シワ状痕 外面煤付着	70-9
188	かわらけ	小皿	(5.6)	1.2	(3.0)	K	20	普通	にぶい黄橙	SD14	底部糸切痕 体部二次穿孔	
189	かわらけ	小皿	(11.6)	2.3	(6.0)	ACHI	25	普通	にぶい黄橙	SD14	底部糸切痕 胎土粉質	70-9
190	かわらけ	小皿	(9.0)	1.8	(4.4)	AIK	30	普通	にぶい黄橙	SD14	底部糸切痕 (左) 胎土粉質	
191	かわらけ	小皿	(11.3)	[2.4]	(6.6)	AHIK	40	普通	にぶい黄橙	SD14	胎土粉質	70-9
192	土師質土器	壺	縦6.6 横6.6 重45.7			ADIKI	5	普通	にぶい橙	SD14	体部片 上位沈線2条 円盤状製品転用 厚0.7~0.8 側縁部摩耗 (葉茶壺形土器)	
193	陶器	鉢	—	[2.6]	—	IK	5	不良	灰黄	SD15	瀬戸美濃系 灰釉	70-9
194	陶器	播鉢	—	[4.2]	—	EK	5	普通	灰黄	SD15	瀬戸美濃系 錆釉 内面播目	

第57表 溝跡出土遺物観察表(2) (第293図)

番号	種別	器種	幅/長	高さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	人形	2.1	[4.0]	2.5	15.4	—	良好	灰白	SD11	虚無僧 京都系 前後合型成形 外面施釉 一部鉄釉	87-4
2	陶器	ミニチュア	高1.1 径2.2 重4.0				HK	普通	灰黄	SD11	蓋 瀬戸美濃系か 上面施釉 (白色)	87-2
3	陶器	ミニチュア	高1.3 径2.3 重7.1				I	普通	にぶい黄橙	SD11	蓋 瀬戸美濃系か 離糸切痕 上面鉄釉	87-3
4	施釉土器	ミニチュア	口径2.6 高1.4 底径0.8 重4.6				EI	良好	淡黄	SD11	碗 京都系 緑釉 外面しのぎ状施文	87-5
5	硝子製品	筭	長[8.0] 幅0.9 厚0.4 重8.0				—	—	—	SD11	透明 中実 下端欠失	102-7
6	磁器	ミニチュア	口径2.9 高1.8 底径1.3				—	良好	白	SD12	碗 肥前系 施釉 外面染付	87-6
7	土製品	人形	[5.7]	[3.1]	[1.2]	13.3	AHI	良好	橙	SD12	袴人形 江戸在地系 前後合型成形 背面	87-7
8	土製品	筒形土製品	長[20.2] 径6.6 重549.8				CIK	普通	黄灰	SD12	内外面シワ状痕	102-7
9	硝子製品	筭	長[3.6] 幅0.8 厚0.7 重4.0				—	—	—	SD12	透明 中実・螺旋状 両端欠失	
10	鉄製品	蓋	縦4.4 横2.4 厚さ0.2 重さ8.8				—	—	—	SD11	—	97-3
11	鉄製品	鍵	長さ5.7 重さ7.8				—	—	—	SD11	—	97-3
12	鉄製品	楔	長さ[10.4] 幅1.2 厚さ0.5 重さ22.4				—	—	—	SD11	—	97-3
13	銅製品	飾金具	縦8.8 横8.2 厚さ0.05 重さ16.5				—	—	—	SD12	—	97-3
14	銅製品	火箸	長さ[16.0] 幅径0.5 重さ26.7				—	—	—	SD12	—	97-3
15	鉄製品	握鋏	長さ[13.0] 刃幅1.2 背幅0.3 重さ6.8				—	—	—	SD12	—	97-3
16	鉄製品	把手	長さ[17.0] 幅0.6 厚さ0.25 重さ16.2				—	—	—	SD12	—	97-3
17	銅製品	不明	長さ2.9 幅径0.9 厚さ0.1 重さ4.2				—	—	—	SD14	—	97-3
18	鉄製品	鋸	長さ9.4 刃幅0.9 背幅0.1 重さ2.2				—	—	—	SD13・14	—	97-3
19	鉄製品	火打金	長さ[3.0] 幅6.8 厚さ0.5 重さ22.2				—	—	—	SD13・14	—	97-3
20	鉄製品	五徳	縦[3.2] 横[6.0] 厚さ0.6 重さ14.6				—	—	—	SD13・14	—	97-3
21	鉄製品	五徳	縦[2.9] 横[10.9] 厚さ1.7 重さ84.9				—	—	—	SD13・14	—	97-3

第58表 溝跡出土遺物観察表(3) (第294~295図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版
1	木製品	漆碗	—	—	—	—	[3.0]	5.8	横木取り	SD11	内面赤漆 外面緑漆・赤漆で波状の文様	104-22
2	木製品	曲物	—	—	0.4	5.7	—	—	柁目	SD11	蓋 樹皮紐残 表面墨書 (判読不能)	
3	木製品	樽	—	—	0.4	(20.0)	—	—	板目	SD11	蓋 孔2 表面墨書 (第76表22)	
4	木製品	羽子板	[20.8]	[10.7]	0.5	—	—	—	板目	SD11	—	95-2
5	木製品	不明品	26.3	8.2	1.3	—	—	—	板目	SD11	表面格子状の切込み 鉄釘残	
6	木製品	クルリボウ	16.5	4.3	3.1	—	—	—	芯持材	SD11	柁	95-2
7	木製品	不明品	14.4	11.8	1.5	—	—	—	板目	SD11	—	
8	木製品	不明品	—	—	0.7	12.8	—	—	板目	SD11	表裏面に同心円の切込み	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	木取り	遺構	備考	図版		
9	木製品	台	6.7	10.1	1.9	—	—	—	柱目	SD11	表面方形の挟り			
10	木製品	漆椀	—	—	—	—	[3.3]	—	横木取り	SD12	内外面赤漆 外面黒で家紋			
11	木製品	漆椀	—	—	—	9.8	2.7	4.8	横木取り	SD12	内外面黒漆 高台内「本」			
12	木製品	漆椀	—	—	—	10.9	5.7	5.5	横木取り	SD12	内外面黒漆 高台内金で文様	95-3		
13	木製品	漆椀	—	—	—	9.4	[6.7]	—	横木取り	SD12	内外面黒漆 高台内金で文様	95-4		
14	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.8]	5.3	横木取り	SD12	内外面黒漆 高台内金で文様 被熱			
15	木製品	漆椀	—	—	—	—	[5.5]	—	横木取り	SD12	内外面赤漆 高台内黒で「本極」・三つ星	95-5		
16	木製品	漆椀	—	—	—	12.1	4.8	6.1	横木取り	SD12	内外面赤漆 口縁黒漆 歪み大	95-6		
17	木製品	漆椀	—	—	—	11.8	[4.8]	—	横木取り	SD12	内面赤漆 外面黒漆・赤で家紋	95-7		
18	木製品	漆椀蓋	—	—	—	9.0	[2.1]	—	横木取り	SD12	内面赤漆 外面黒漆 外面・つまみ内赤で文様			
19	木製品	漆椀蓋	—	—	—	12.6	[2.0]	—	横木取り	SD12	内外面赤漆			
20	木製品	漆椀蓋	つまみ径 (5.7)			(10.6)	3.5	—	横木取り	SD12	内面赤漆 外面黒漆・金で文様			
21	木製品	天目台	—	—	—	15.8	2.0	10.5	横木取り	SD12	内外面黒漆 内面金で文様	95-8		
22	木製品	曲物	—	—	—	6.6	4.0	6.6	柱目	SD12	内面黒漆固着 底板中心に木釘	95-9		
23	木製品	曲物	—	—	0.3	6.6	—	—	柱目	SD12	墨書で文様	95-10		
24	木製品	曲物	—	—	0.3	8.0	—	—	柱目	SD12	表裏面墨書「カメ」ほか (第76表23)	104-23		
25	木製品	柄	3.7	10.0	2.7	—	—	—	板目	SD12	焼印 深さ3.5cmの差込口	95-11		
26	木製品	櫛	[7.4]	4.1	1.0	—	—	—	柱目	SD12				
27	木製品	樽	—	—	0.6	19.5	—	—	板目	SD12	蓋 墨書 (第76表27)	104-27		
28	木製品	不明品	9.4	4.2	1.3	—	—	—	板目	SD12	側面に穴	95-12		
29	木製品	下駄	22.2	7.9	—	—	9.1	—	柱目	SD12	連歯下駄 黒漆			
30	木製品	下駄	21.5	8.0	—	—	3.5	—	板目	SD12	連歯下駄			
31	木製品	下駄	20.7	7.0	—	—	8.1	—	板目	SD12	連歯下駄 表面黒漆			
32	木製品	下駄	18.5	6.6	—	—	6.8	—	板目	SD12	陰卯下駄			
33	木製品	木札	[22.5]	[5.7]	0.2	—	—	—	柱目	SD12	下部圧痕 表面墨書 (第76表24)	104-24		
34	木製品	木札	[9.6]	[4.8]	0.6	—	—	—	板目	SD12	表面墨書「伊口」 (第76表25)	104-25		
35	木製品	木札	[7.3]	7.0	6.5	—	—	—	板目	SD12	木釘残 表裏面墨書 (第76表26)	104-26		
36	木製品	鏡箱	長 (39.0) 身幅 26.0 柄幅 (6.8) 厚 0.6					—	—	—	柱目	SD12	表裏面黒漆	
37	木製品	建築部材	8.8	33.3	2.2	—	—	—	板目	SD12				
38	木製品	容器	—	—	—	17.0	[3.8]	—	横木取り	SD14	内外面黒漆	95-13		

第59表 溝跡出土遺物観察表(4) (第296図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	砥石	10.5	5.6	4.1	452.7	流紋岩	SD11	刃物痕 砥面5 被熱	100-3
2	石製品	砥石	[9.1]	2.7	1.9	73.2	流紋岩	SD11	平ノミ痕か 刃物痕 砥面4	100-3
3	石製品	砥石	[5.5]	3.8	2.7	94.2	流紋岩	SD11	砥面5 被熱	100-3
4	石製品	硯	14.0	5.3	—	169.4	粘板岩	SD11	器高 [1.6]cm 側面黒色塗布物	101-1
5	石製品	砥石	[5.2]	[4.5]	5.6	140.1	流紋岩	SD11	幅広工具痕 ノコギリ痕	
6	石製品	砥石	[13.1]	4.1	4.3	277.5	流紋岩	SD12	幅広工具痕 ノコギリ痕 砥面2 被熱	100-3
7	石製品	砥石	[8.4]	5.7	0.9	33.4	粘板岩	SD12	ノコギリ痕か 砥面3 裏面に罫書線か	
8	石製品	砥石	[6.7]	5.4	0.7	33.4	粘板岩	SD12	ノコギリ痕 刃物痕 砥面3	
9	石製品	砥石	[3.9]	5.2	2.6	100.4	流紋岩	SD12	幅広工具痕 ノコギリ痕 砥面4	100-3
10	石製品	砥石	[6.5]	2.9	1.8	52.3	流紋岩 (緑色)	SD12	幅広工具痕 砥面4	100-3
11	石製品	石鍋	[5.2]	[9.3]	[2.8]	157.1	滑石	SD12	鏝付 体部下位穿孔か 内外面研磨	
12	石製品	硯	[6.7]	6.2	—	84.2	粘板岩	SD12	器高 [1.6]cm 被熱	101-1
13	石製品	火打石	6.8	4.8	4.5	133.5	玉髓	SD12	褐色 稜の潰れ激しい	101-2
14	石製品	砥石	6.6	2.5	1.9	42.9	流紋岩 (緑色)	SD14	櫛歯状工具痕 砥面3	100-3
15	石製品	板碑	[9.2]	[5.3]	[1.1]	64.3	緑泥片岩	SD14	枠線遺存 煤付着	
16	石製品	砥石	[9.0]	3.0	3.6	155.4	流紋岩 (緑色)	SD13・14	櫛歯状工具痕 砥面3	100-3
17	石製品	砥石	[6.8]	[2.6]	[1.7]	43.1	凝灰岩	SD13・14	櫛歯状工具痕 砥面4	
18	石製品	砥石	[9.5]	3.1	3.1	101.2	凝灰岩	SD13・14	櫛歯状工具痕 砥面2	100-3

(5) 土壌

土壌は124基が検出された。位置、計測値等は第60表にまとめ、第297～309図に遺構図、第310～355図に遺物実測図と、主要な土壌の遺物出土状況図を示す。以下に特徴的な土壌について記す。

第1003・1075号土壌（第298・304図）

C6-E6グリッドに位置する。第1003号土壌は不整形の土壌で、検出された長さは3m程である。覆土全体が砂層であり、底面付近から径40cm前後の円礫や石臼が出土した。

出土した陶磁器は細片が多いが、肥前系磁器の梅樹文碗が主体で、薄手の磁器小丸碗や、堺明石系陶器挿鉢が認められた。18世紀後葉の早い段階に帰属するものとみられる。第340図1は梵鐘のミニチュアとして図示したが、他の器物を模倣した可能性もある。表面は雲母が付着し、魚々子状文の間に柳の葉のような模様を表す。胎土には径1mm程の長石・石英粒子が含まれる。

第349図5～7に鉄製品を示す。5は鍋で全体の20～25%程が遺存する。器厚2.5～3.0mm、口唇部は外方に鋭く突出し、上端に緩い曲線状の面を作る。底部は丸底で高い円筒形の脚が付く。第353図40・41は第1003号土壌出土の石臼で、安山岩製である。41の側面に貫通孔2箇所が確認されるが、同様の石臼は、利根川中流域から渡良瀬川流域に主な分布が確認される（八千代町教育委員会2011）。

本跡の下に第1075号土壌が重複しており、両者が同一の遺構である可能性も排除しきれない。第1075号土壌は粘質土を主体とする堆積で、上層（1層）に牡蠣殻が多く含まれる。牡蠣殻は破片数で44点出土している。陶磁器類の出土は少なく、18世紀代のもののみであった。

なお、第二面には他にも牡蠣殻が包含される土壌があり、第1028号土壌からは破片数で152点が出土している。

第1005号土壌（第298図）

C6-E5グリッドに位置する楕円形の土壌で、本陣敷地境と考えられる第12号溝跡と重複する。溝跡より本跡が新しい。覆土上層には多量の蕎麦殻が投棄されていた。

本跡では用途不明の土製品が多量に出土したのが特徴的である。出土した土製品は第354図に示した。4は板状の土製品で1点のみ出土した。片側の面が荒れており、被熱の影響と思われる。1～3の環状土製品は、中心に孔がある円盤状のもので、1の孔は中心から外れた位置にある。孔の周囲に釉薬状（硝子状）の溶着物が認められる。いずれも側面には沈線状の窪みが一周しており、この位置で上下の剥離や接合痕が認められる。剥離面にはスサの痕跡が認められ、成形時に貼り合わせている可能性がある。5～7は棒状土製品で、同形態のものが第205号土壌や第212号土壌等、調査区各所で出土している。側面の片側のみ顕著に被熱しており、火膨れ状に荒れたり白化（還元）しているのが特徴である。5は端部がスサ入りの粘土塊に包まれており、次に記述する焼土塊に差し込んで使用されていた可能性が高い。8～10はスサ入りの粘土塊である。8は円頭状の遺存面があるが整形は粗い。この面は被熱により硝子化している。9・10は内側に平滑な曲面が形成されている。外側面と底面は整形されていないが、使用当初からの面が遺存している可能性が高い。重複する第1006号土壌出土の13も同じ特徴で、突起状の横帯がある。これらの特徴から鋳型とも考えられるが、平滑面に付着物等は認められず用途は不明である。同様の粘土塊は図示した以外にも多く出土している。11・12は滓状の遺物であるが、重量は軽く、鈹滓としては不自然である。これらは何らかの生産関連遺物と考えられるが、用途を特定するに至らなかった。

出土した陶磁器には肥前系磁器広東碗が含まれ、18世紀末以降の廃絶である。第311図26～29

第60表 第二面土壌一覧表 単位：長・短軸 m 深さ cm

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
1001	C6-E4	楕円形	(1.43)	(0.78)	40	SK1101・SD14より新	297
1002	C6-E5	不整長方形	1.64	0.56	16	SK1048より新	297
1003	C6-E6	不整形	(2.98)	(2.03)	26	SK1027より古 SK1075より新	298
1004	C6-E5/6	長方形	1.44	1.14	53	SD13/14より新	298
1005	C6-E5	楕円形	1.80	1.13	42	SD12より新	298
1006	C6-E5・F5	長方形	1.55	1.24	20	SD13より新	298
1007	C6-E5・F5	不整形	1.83	(0.99)	34		298
1008	C6-F4	長方形	0.81	0.48	13		298
1009	C6-F4	不整長方形	2.50	0.74	21		298
1010	C6-F4	方形	1.00	0.98	15		298
1011	C6-F4	楕円形	0.48	0.24	11		298
1012	C6-E4・F4	不整形	(0.90)	(0.73)	29	SK1014より古	298
1013	C6-E4	楕円形	1.96	1.75	38		298
1014	C6-E4・F4	不整楕円形	(1.33)	0.22	41	SK1012より新	298
1015	C6-E4	楕円形	(0.84)	0.48	13		297
1016	C6-F4	円形	0.86	0.74	10		298
1018	C6-E4	楕円形	(4.73)	1.13	41	SK1019より古	299
1019	C6-E4	不整形	(1.88)	(1.78)	36	SK1018より新	299
1020	C6-E4	楕円形	2.32	1.48	38		299
1021	C6-E3/4	楕円形	2.66	1.35	32		298
1022	C6-B2/3	円形	3.15	3.06	151		300
1024	C6-D5・E5/6	楕円形	3.34	2.61	148		301
1025	C6-C4・D4/5	不整形	(3.35)	(1.80)	45	SK1026より古	299
1026	C6-D5	不整形	(2.28)	(2.27)	21	SK1025より新	299
1027	C6-E6	長方形	(5.06)	(1.17)	58	SD12・SK1003/1075より新	300
1028	C6-E5・F5	不整形	(5.53)	(1.83)	60	SD11/12より新	300
1029	C6-E3/4	楕円形	1.19	0.73	16		299
1030	C6-E4・F4	不整形	1.56	(0.46)	27		298
1031	C6-F5	不整形	(3.18)	(0.81)	33	SD11より古	300
1032	C6-D5	楕円形	3.54	2.42	164		302
1043	C6-F3	不整形	(1.05)	0.58	18	SB14aより古	299
1044	C6-E3・F3	不整形	(3.02)	0.91	20	SK1045より古	302
1045	C6-E3	不整形	1.71	1.48	38	SK1044より新	302
1046	C6-E3	隅丸長方形	1.53	1.34	20	SB14aP1より新	302
1047	C6-F4/5	楕円形	1.12	0.47	22		300
1048	C6-E5	不整長方形	2.58	1.89	94	SK1002より古	297
1049	C6-E4	楕円形	2.05	0.91	34		299
1050	C6-E4/5	楕円形	1.24	0.97	27		300
1051	C6-E3	不整形	2.52	1.65	37		303
1052	C6-D3/4	楕円形	1.93	1.17	19		300
1053	C6-E3	不整長方形	3.08	0.70	43		302
1054	C6-E3	楕円形	1.47	0.52	15		300
1055	C6-E3	楕円形	0.89	0.53	11		302
1056	C6-D4	不整長方形	3.35	2.49	53		303
1057	C6-E5	円形	1.11	1.11	24		302
1058	C6-A2	楕円形	1.69	1.40	41		303
1059	C6-A2	隅丸長方形	1.69	(0.74)	19	SK1160/1161より新	302
1060	C6-A2	隅丸長方形	(1.43)	(0.97)	35	SK1059より古	302
1061	C6-A2	不整形	1.62	1.20	37	SK1059より古	302
1062	C6-E4/5	円形	1.29	1.23	21		303
1063	C6-B2	隅丸長方形	0.92	0.66	8		303
1064	C6-B2	楕円形	0.81	0.63	20		303
1065	C6-B2	円形	0.83	0.83	17		303
1067	C6-B2	長方形	1.81	0.53	42		303
1068	C6-B2	隅丸長方形	1.32	0.63	34		303
1069	C6-B2	長方形	1.36	0.71	19		303
1070	C6-E4	不整形	2.23	1.54	78		299
1071	C6-B2	楕円形	1.08	0.69	31	SK1072より新	304
1072	C6-B2	不整長方形	(0.86)	0.73	28	SK1071/1073より古	304
1073	C6-B2	長方形	(1.26)	(0.54)	34	SK1072より新	304
1074	C6-B2	不整形	1.38	1.29	60		304
1075	C6-E6	不整形	(4.07)	(2.57)	120	SD13・SK1003/1027より古	304
1076	C6-B2	長方形	0.99	0.48	32		304
1077	C6-B3	長方形	0.90	0.39	25		304

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考	挿図
1078	C6-B3	不整形	0.85	0.58	33		304
1079	C6-B3	楕円形	0.85	0.77	35		304
1080	C6-B3	楕円形	0.78	0.50	10		304
1081	C6-A2	不整長方形	0.78	0.42	13		304
1082	C6-B2	長方形	1.24	0.60	41	SK1083/1084/1116より新	305
1083	C6-B2	不整形	1.31	1.22	33	SK1084より古	305
1084	C6-B2	不整形	1.85	1.11	43	SK1082より古 SK1083/1116より新	305
1085	C6-A2・B2	不整円形	3.18	(2.96)	92	SK1086より古 SE14より新	305
1086	C6-B2	不整長方形	0.73	0.45	8	SK1085より新	305
1090	C6-C2	不整形	0.76	0.33	13		304
1091	C6-B2・C2	隅丸長方形	0.88	0.69	15		304
1092	C6-A2	隅丸長方形	(1.79)	1.28	23	SK1094より新	304
1093	C6-E5	楕円形	0.80	0.50	19		304
1094	C6-A2	楕円形	1.77	(0.38)	7	SK1092より古	304
1095	C6-A2	不整長方形	0.60	0.41	7		305
1096	C6-A1/2	隅丸長方形	1.31	0.50	10		305
1097	C6-A2	楕円形	0.63	0.26	5		305
1098	C6-A3	不整形	1.51	(0.78)	33		305
1099	C6-C1/2	隅丸長方形	(0.73)	0.53	24		305
1100	C6-E4	楕円形	(2.05)	(1.65)	45	SK1101より新	297
1101	C6-E4/5	不整形	3.85	(3.06)	(84)	SD13/14・SK1001/1100より古	297
1102	C6-C3	隅丸長方形	2.38	(1.61)	45	SE16より古 SK1103より新	305
1103	C6-C3	長方形	(1.52)	0.80	41	SE16・K1102より古	305
1104	C6-C3	長方形	1.74	1.16	52	SK1139より新	306
1105	C6-C3	長方形	1.60	0.83	14	SE17より古	306
1107	C6-C3	長方形	1.24	0.79	22	SE15より古	306
1108	C6-C2	不整長方形	3.32	2.35	68		307
1109	C6-C2	長方形	0.85	0.54	14		306
1110	C6-C2	楕円形	0.95	0.56	22	P56より新	306
1111	C6-C2	隅丸長方形	1.09	0.76	18		306
1112	C6-C2	方形	0.50	0.50	12		306
1113	C6-C2	隅丸長方形	1.75	0.53	14		306
1114	C6-C2/3	隅丸長方形	1.75	0.60	15		306
1115	C6-C3	楕円形	0.79	0.76	10		306
1116	C6-B2・C2	隅丸長方形	(2.40)	(0.95)	59	SK1118・P54より新 SK1084より古	307
1117	C6-B2・C2	長方形	(1.89)	(0.61)	31	SK1118・P54より新	307
1118	C6-B2・C2	不整形	1.88	(1.68)	18	SK1116/1117より古 P54より新	307
1119	C6-C2/3	楕円形	(0.51)	(0.51)	17	SE15より古	307
1120	C6-A2	不整形	(1.87)	(1.35)	34		308
1121	C6-C3	不整長方形	(0.48)	0.41	23	SK1122より新	307
1122	C6-C3	不整楕円形	(0.79)	0.61	11	SK1121より古	307
1123	C6-D3	楕円形	1.03	0.75	24		307
1124	C6-D3	楕円形	0.95	0.56	13		307
1125	C6-C3	楕円形	0.79	0.50	14		307
1127	C6-C2	不整楕円形	3.09	0.78	21		308
1128	C6-A2	不整形	1.36	1.37	35	SK1142より新	308
1129	C6-E3	方形	1.80	1.76	32		309
1130	C6-C3	楕円形	0.62	0.46	8	SK1141より新	308
1131	C6-C2/3・D2/3	不整長方形	4.75	1.23	11	SK1132/1141より新	308
1132	C6-C2・D2	不整形	2.13	1.76	48	SK1131より古	308
1133	C6-E4	不整長方形	(3.07)	1.03	35		309
1134	C6-E3	円形	0.57	0.49	21	SK1135より古	303
1135	C6-E3	長方形	(0.94)	0.92	21	SK1134より新	303
1136	C6-E3	楕円形	1.72	1.00	29		303
1137	C6-C4	円形	0.91	0.84	17		308
1138	C6-E3	方形	0.82	0.65	16		308
1139	C6-C3	楕円形	1.00	0.85	64	SK1104より古	306
1141	C6-C2/3・D2/3	不整形	3.42	2.50	103	SK1130/1131より古	308
1142	C6-A2	不整形	0.71	(0.42)	19	SK1128より古	308
1148	C6-E4	隅丸長方形	(1.21)	0.63	26		309

に陶磁器の一部を示す。第12号溝跡との新旧関係からも、18世紀末頃の遺構と考えて良いだろう。

第1024号土壌 (第301図)

C6-D5・E5、6グリッドに位置する土壌で、長軸3.3m、深さ1.5m程と大型である。後

述する第1032号土壌の南側に位置する。覆土上層（4層）には多量の集石がみつめられた。その下には木製品等が含まれており、直下の覆土中層に炭化物層が形成される。覆土上層の石は、埋没過程で投棄された可能性が高い。

第312～313図63～95は出土した陶磁器である。63は肥前系磁器の端反形をした碗で、染付と色絵が施される。89・90は同一個体と考えられる備前系の陶器甕で、環状把手状の貼り付け文を有す。87も備前系の徳利である。全体としては、肥前系磁器梅樹文碗（64・65）やくらわんか手碗が主体で、瀬戸美濃系陶器に腰鑄碗や木瓜形型押し皿が含まれる。播鉢は丹波系のものが主体である。18世紀前～中葉に遡る様相である。

瓦類も42kg以上（278点）含まれており、当該期には一定数の瓦葺き建物が出現していたことを示唆する。第341図5～7に一部を示した。5の軒瓦は二重の唐草文を表すが子葉は単弁である。

第343図15には木製品下駄を図示した。第351図2は砥石で、櫛歯状工具痕が顕著に遺存する。第353図42～45は集石とともに出土した石臼である。石材は42・43が硬質の角閃石安山岩、44は黄褐色の砂岩、45は僅かに赤味を帯びる花崗岩である。砂岩は、群馬県牛臥山周辺や東京都あきる野市伊奈で石臼の生産が確認される。花崗岩は近隣では茨城県筑波山麓で産出する。現状では産地を明確にし得ないが、18世紀の石臼生産・流通を考える上で興味深い資料である。

第1025号土壌（第299・321・322図）

調査区東壁際のC6-C4・D4、5グリッドに位置し、長径3.3m程の不整楕円形を呈する土壌である。東部は第1026号土壌に掘り込まれている。上層に炭化物が堆積し、その中から多量のかわらけが出土した。所謂「かわらけ廃棄土壌」である。第321・322図は遺物出土状況図である。第299図の土層断面図と対比すると、炭化物層の下位に多量のかわらけが廃棄されていたこ

とが窺われる。

第314～320図に出土した陶磁器・土器類を示す。陶磁器は僅かに3片のみで、このうち瀬戸美濃系陶器鉄釉丸碗の口縁部と腰部破片は、同一個体と判断して1に示した。2は天目茶碗の破片で、口縁部は研磨されている。かわらけ小皿は、計100点以上が出土し、接合率も高かった。口径・底径が復元できるものは全て図示した。口縁部に若干の歪みがあるものが多く、この歪みについても可能な限り図に表現した。胎土は角閃石を含む粗いもので、底部糸切り痕は左回転を示す。口径9.5cm、器高2.5cm程度とかなり規格化されている。基本的に煤の付着はみられないが、110のみ油煙が顕著に付着し、器形も他のものと異なっている。このほか玉髓製の火打石（第352図33）が出土した。僅かな陶磁器とかわらけの様相から、17世紀中葉に比定され、栗橋宿跡では最も古い時期の遺構である。

第1032号土壌（第302・327・328図）

本陣敷地の東側、C6-D5グリッドに位置する。長軸3.5m、深さ160cmの楕円形の土壌である。覆土上層に炭化物を顕著に含む粘質土、下層に木製品を含む砂質土が堆積していた。上層からは陶磁器類が出土しており、かわらけが多量に含まれていた。第327・328図は遺物出土状況図で、遺物の多くが上層に帰属することが窺われる。第323～326図は出土した陶磁器類で、磁器は漳州窯系（1）と肥前系（2）の細片が各1点出土している。3・4・14は肥前系陶器と考えられる碗・皿類、17は鉢である。他の陶器類は瀬戸美濃系と考えられ、長石釉丸皿（10～13）、長石釉輪禿皿（15）等、所謂志野製品が多い。総体的には17世紀前葉の様相である。19は柿釉が掛けられた煙硝播で、やや時期が降る可能性がある。23は灰釉に緑釉を流し掛けする瓶類で、内外面ともにロクロ目が強調されている。24は舟徳利形の瓶類である。表面に灰色味を帯

びる釉が掛けられ、側面2箇所に「す入」と鉄絵で文字が書かれる。

非掲載の陶器は細片ばかりだが、志戸呂産瓶類が1片認められた。また、古墳時代前期とみられる土師器甕と、南比企産の須恵器坏の細片が各1点認められた。22は瓦質土器の播鉢である。

かわらけは大小に分かれ、25～73は口径5.5cm前後、高さ2cm弱の小形種、74～108は口径9cm弱、高さ3cm前後の大形種である。基本的に煤の付着は無いが、108のみ顕著に油煙が付着する。器形は坏形を呈し、回転方向が確認できたものは全て右回転である。胎土はやや硬質で、概して角閃石の含有量は少なく、石英細粒が目立つ。第1025号土壙のかわらけとは大きく様相が異なっている。113のみ底径が大きく、胎土も異質である。114は細片であるが、焼塩壺と思われる。116～123は焙烙で、121・122は雲母を多く含む土師質のもの、他は瓦質のものである。前者は常陸地方の産と考えられる。

第344図18～23は木製品で漆椀・下駄がみられる。漆椀(18・19)は高台が円筒状に高く、挟り込みが浅い特徴がある。第349図20～22は金属器である。20は小形の鍋と思われ脚が高い特徴的なものである。第350図53～55は銭貨で、寛永通宝(古寛永)と開元通宝である。

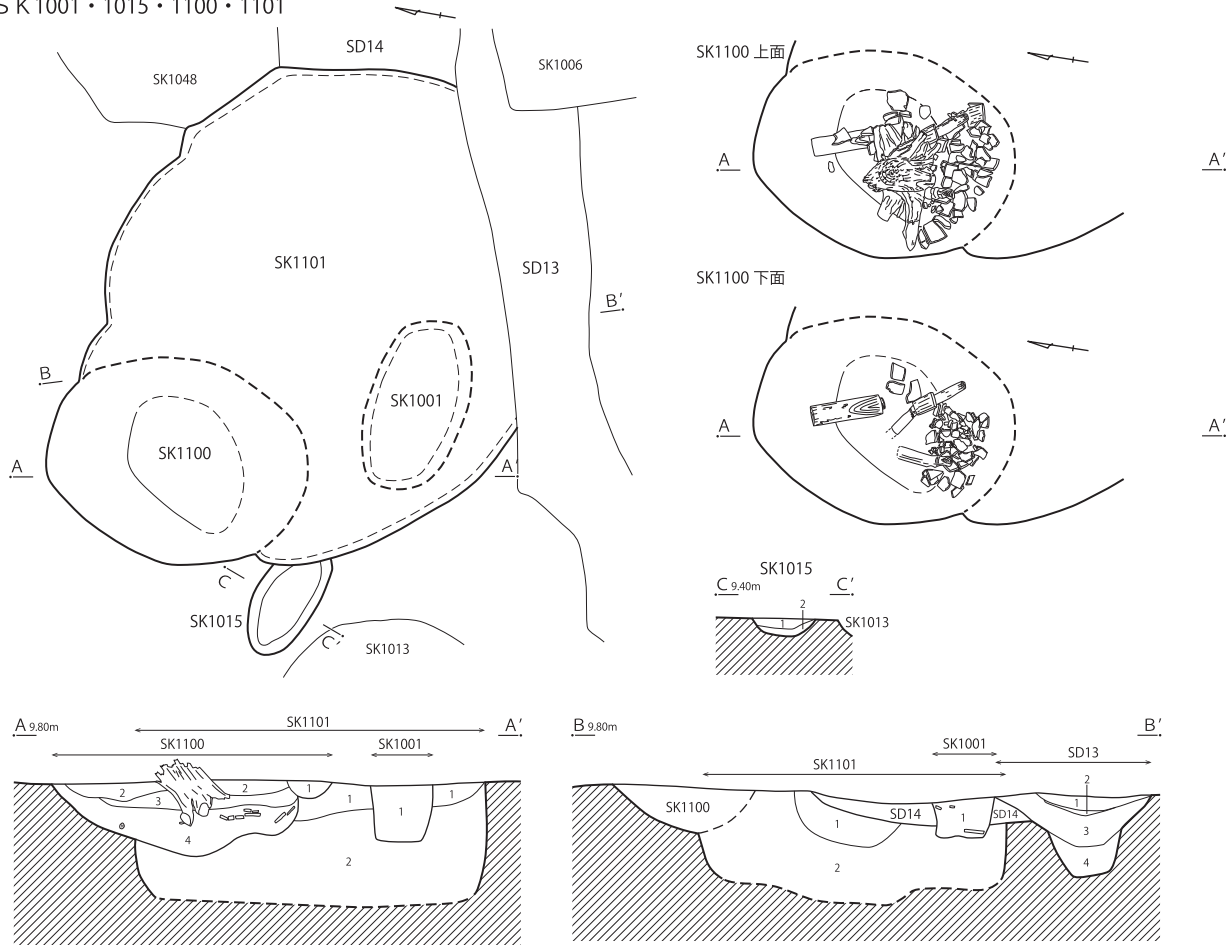
かわらけの出土量が特に多いが、第1025号土壙と異なり、他の陶磁器・土器類や木製品・金属製品等が一定量含まれていた。廃棄土壙が埋没する過程で、多量に使用されたかわらけが廃棄された結果と考えられる。遺構の時期は陶器煙硝播の時期が問題となるが、全体的には17世紀前～中葉の様相であり、栗橋宿跡でも最も古い時期の遺構と考えられる。寛永通宝の出土から、寛永13年(1636)が上限である。

第1048号土壙(第297図)

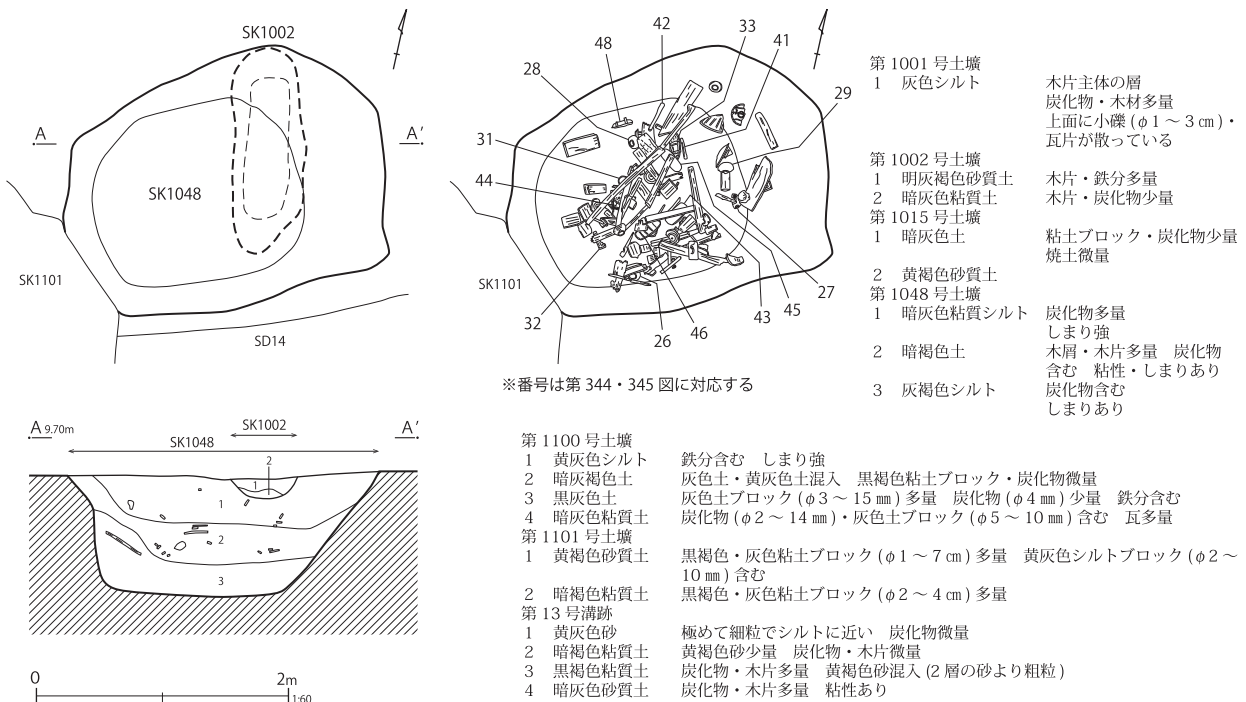
調査区南東部のC6-E5グリッドに位置する。長径2.5mほどの不整長方形を呈する土壙で

あり、検出位置から本陣敷地内に構築された廃棄土壙と考えられる。上部に第1002号土壙が重複し、本跡のほうが古い。覆土の上層と下層はシルト質の土層で、中層に木屑や木製品を包含する暗褐色土の堆積が認められた。陶磁器・木製品・金属製品等が豊富に出土している。第329図15～35は出土した陶磁器類である。磁器は肥前系磁器の梅樹文碗・くらわんか手碗が主体である(16・17)。これに半球碗が少量加わるが、小丸碗はみられない。陶器では肥前系の呉器手碗(21)の破片が多い。19は肥前系磁器の青磁皿、23・24は肥前系陶器で内面を蛇の目状釉剥ぎする製品、25は志戸呂系陶器の瓶類、27・28は備前系陶器の灯明皿である。陶磁器様相から、18世紀前～中葉に位置づけられる。26は古瀬戸系陶器、33は瓦質土器の播鉢で、遺構より古い時期の混入遺物である。第344・345図26～50は木製品である。漆椀類(26～30)は器高が高く、僅かに「ハ」字に開く高台も高い。当該期における器形の特徴を示すものであろう。34は両端に柄と釘穴を有す板材で「改」の刻印がある。35は浮き、36は独楽である。41・42は刀を模倣した製品である。49は用途不明の板状製品である。中心に方形の孔が開けられ、板の四隅と孔の周囲に木釘が遺存するので、別材と組み合わせられていたことが分かる。第349・350図23～35は金属製品である。23～27は煙管雁首で、いずれも脂反しの湾曲がある。火皿直下の補強帯は26では明瞭、他は痕跡的に認められる。陶磁器の年代観とほぼ対応する時期に位置づけられよう。28は銅板の飾金具で、罫書き状に模様が施される。穿孔は無いが、円周部が対向して二箇所、直線的に切り取られる。29は大型の鉤金具で上端を折り返して丸める。30は水注類の注口部で銅板を上部で接合して成形する。31は燭台と思われる。第351図3・4は石製品である。3は角閃石安山岩製磨石で、利根川流域の遺跡から多く出土するも

S K 1001・1015・1100・1101

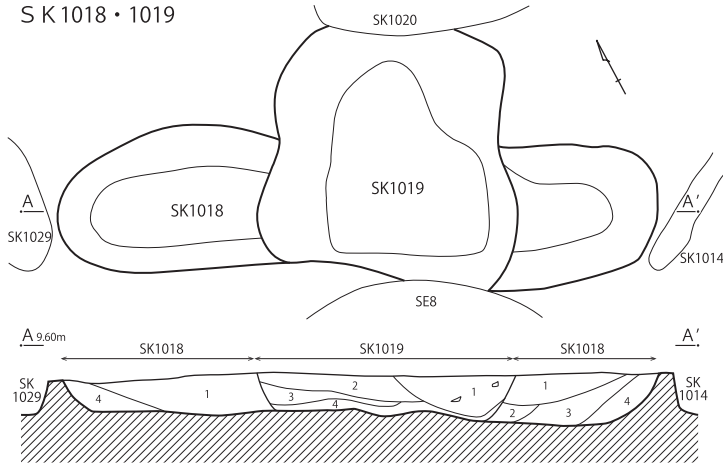


S K 1002・1048

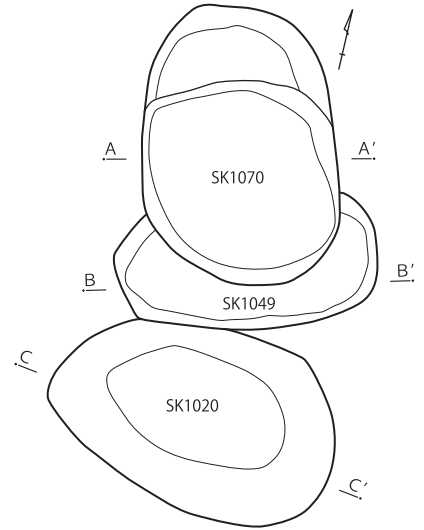


第 297 図 土壌 (1)

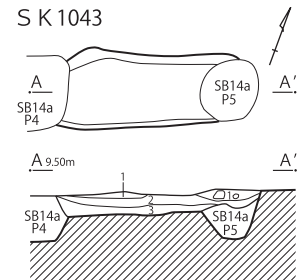
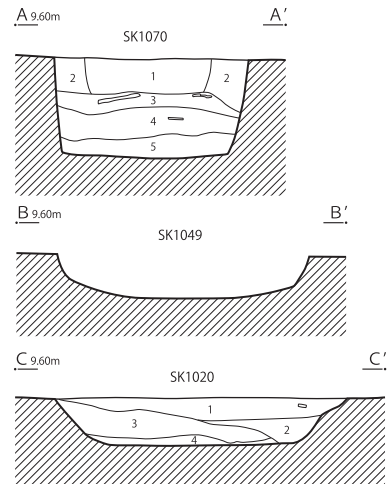
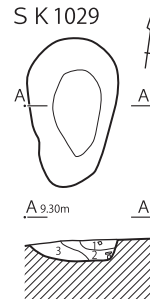
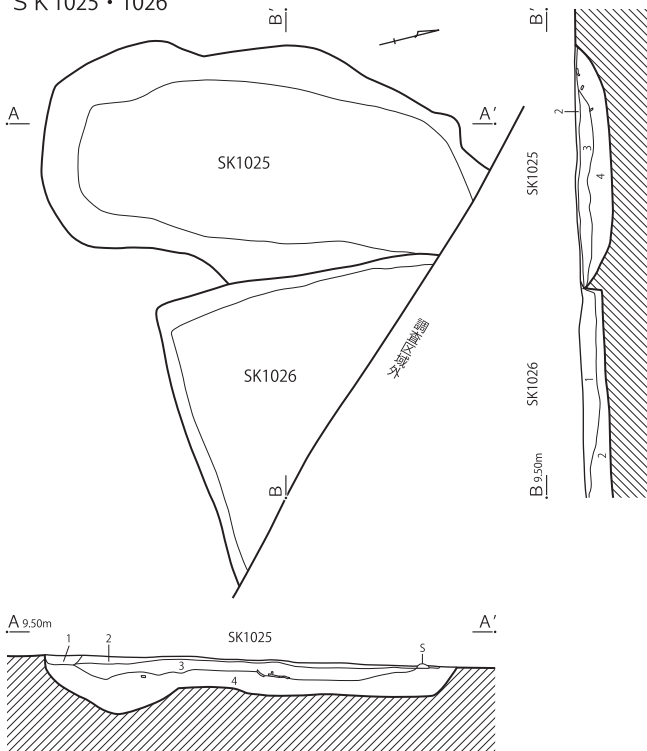
S K 1018・1019



S K 1020・1049・1070



S K 1025・1026



第 1018 号土壌

- 1 暗褐色土 炭化物・木片少量 黄褐色砂質土混入
- 2 暗灰色土 炭化物・暗褐色粘土ブロック少量 黄褐色砂が混入
- 3 褐色土 褐色土ブロック含む
- 4 暗褐色土 灰色土ブロック多量 炭化物微量 しまり強

第 1019 号土壌

- 1 褐色土 炭化物少量 灰褐色土が混入
- 2 褐色シルト質土 やや赤味がかっている 炭化物少量
- 3 暗灰色土 炭化物少量 灰色土ブロックが含む 赤色の鉄分含む
- 4 褐色砂質土 混入物なし

第 1020 号土壌

- 1 明褐色土 炭化物・木片微量
- 2 暗灰褐色土 黄褐色砂混入 鉄分含む 黒褐色粘土ブロック微量
- 3 黄褐色砂 灰褐色土大ブロック少量 炭化物混入 明灰色粘土ブロック多量
- 4 暗灰褐色土 炭化物少量 灰色砂(細粒)混入

第 1025 号土壌

- 1 暗褐色シルト質土 混入物なし
- 2 暗褐色土 炭化物・暗褐色土ブロック多量 灰色粘土ブロック含む
- 3 炭化物層 褐色土ブロック・かわらけ多量 焼土ブロック少量 黄褐色粘土ブロック混入
- 4 赤褐色シルト質土 暗褐色粘土ブロック多量 焼土ブロック含む 地山と似る

第 1026 号土壌

- 1 砂 より高い位置から堆積する
- 2 暗褐色土 炭化物・暗褐色粘土ブロック多量 灰褐色粘土ブロック含む 焼土ブロック少量

第 1029 号土壌

- 1 暗褐色シルト 木片・炭含む 粘性なし しまりあり
- 2 暗褐色シルト 木片含む 炭は 1 層より少ない 粘性弱 しまりなし
- 3 灰褐色シルト 炭少量 粘性弱 しまりあり

第 1043 号土壌

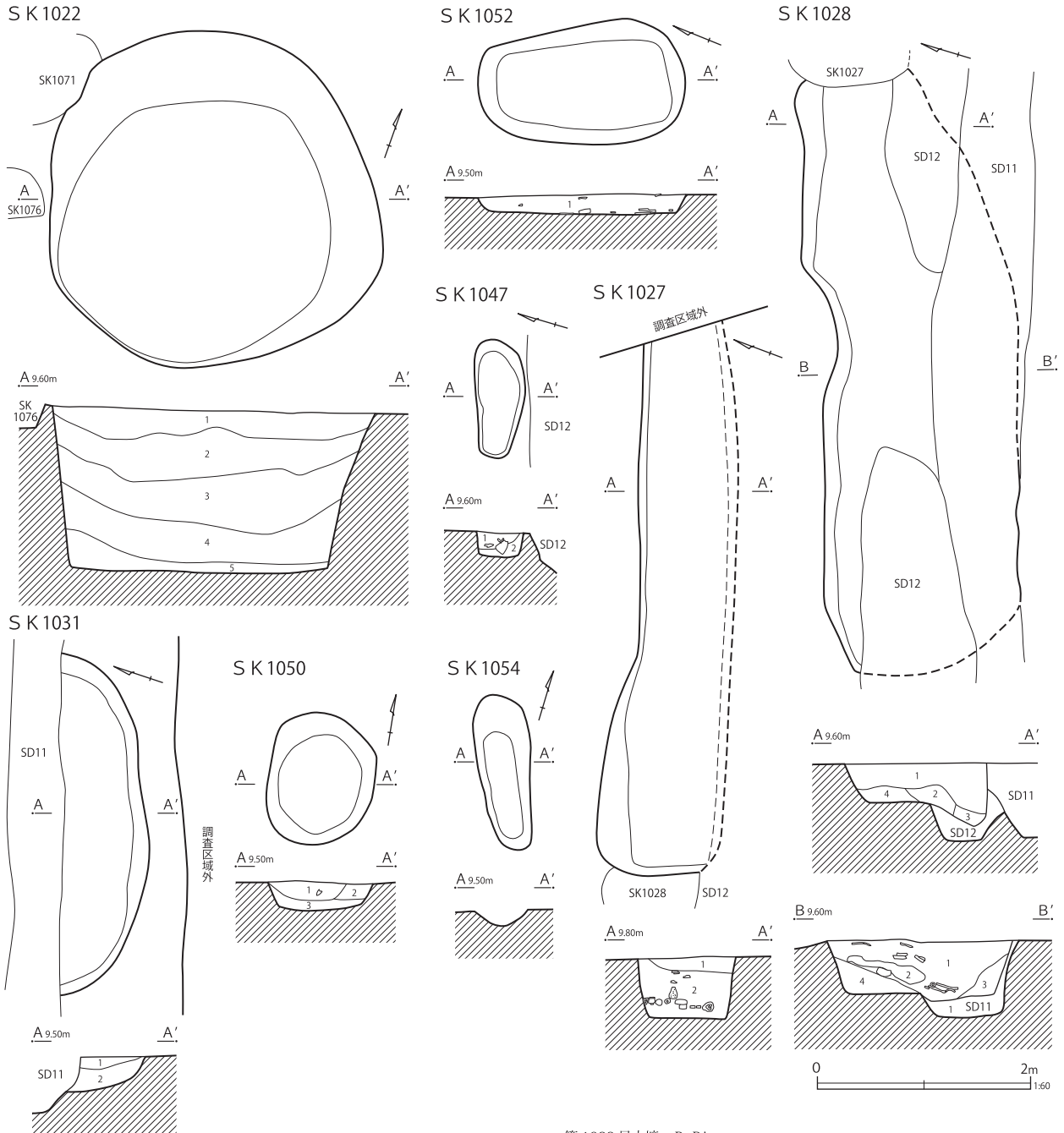
- 1 暗褐色土 木片多量 灰褐色土混入
- 2 灰色シルト 褐色土混入
- 3 灰色砂質シルト 混入物なし

第 1070 号土壌

- 1 褐色砂 炭化物微量 灰色シルトブロック少量
- 2 暗灰色シルト 炭化物・木片少量 しまり極めて強
- 3 暗灰色砂質土 灰色シルトブロック少量 炭化物・木片多量 木製品が含まれる
- 4 暗褐色粘質土 木片・木製品主体層 炭化物少量
- 5 灰色粘質土 木片少量



第 299 図 土壌 (3)



第 1022 号土壙

- 1 灰褐色土 酸化鉄分・暗灰色粘質土ブロック (φ3~5 cm未風化) 多量 粒径不均等 埋戻し
- 2 暗灰褐色シルト 暗灰色粘質土ブロック (φ3~10 cm未風化)・灰褐色シルトブロック (φ3~5 cm) 多量 炭化物 (φ2 cm) 含む 1層より粘性あり 粒径不均等 埋戻し
- 3 暗灰色粘質土 暗灰色粘質土ブロック (φ3~10 cm未風化) 多量 埋戻し
- 4 暗灰色粘質土 炭化物 (φ2~3 cm)・貝殻 (牡蠣) 少量 木片含む しまり弱 粒径不均等 埋戻し
- 5 黒褐色土 炭化物 (φ2~3 cm)・暗灰色粘質土ブロック (φ3~5 cm) 多量 しまり弱 粒径不均等 埋戻し

第 1027 号土壙

- 1 暗褐色土 炭化物・木片多量
- 2 黒褐色土 木片・木材多量 炭化物含む 大部分に砂が混じる

第 1028 号土壙 A-A'

- 1 暗褐色土 木片が主体 樹皮多量 南側の落ち込みに木片が多い
- 2 褐色土 陶器・瓦含む
- 3 灰褐色土 炭化物多量 木片含む
- 4 暗灰色土 木片・炭化物少量 やや粘質 炭化物少量 木片微量 褐色砂質土顕著に混入

第 1028 号土壙 B-B'

- 1 暗褐色土 木片・炭化物多量 粘性・しまりなし
- 2 貝殻層 牡蠣殻主体
- 3 暗褐色土 木片・炭化物多量 粘性・しまりなし
- 4 灰色シルト 炭化物少量 粘性あり しまりなし

第 11 号溝跡

- 1 灰色シルト 炭化物少量 粘性あり しまりなし

第 1031 号土壙

- 1 黒褐色土 鉄分・炭化物少量 灰色土ブロックが斑状に混入
- 2 黒褐色土 炭化物少量 鉄分含む 灰色土ブロックが斑状に混入

第 1047 号土壙

- 1 暗褐色土 木片・陶磁器片含む 炭化物多量 しまりあり
- 2 灰色土 炭含む 粘性・しまりあり

第 1050 号土壙

- 1 暗灰色シルト 炭化物・斑状の酸化鉄分含む 灰褐色ブロック (地山土) 多量 粘性弱 しまりあり 埋戻し

第 1052 号土壙

- 2 暗灰褐色シルト 炭化物含む 灰褐色ブロック (地山土) 多量 粘性弱 しまりあり 埋戻し

第 1054 号土壙

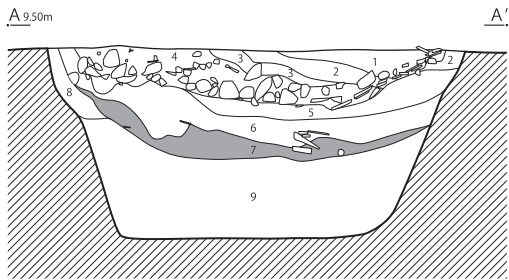
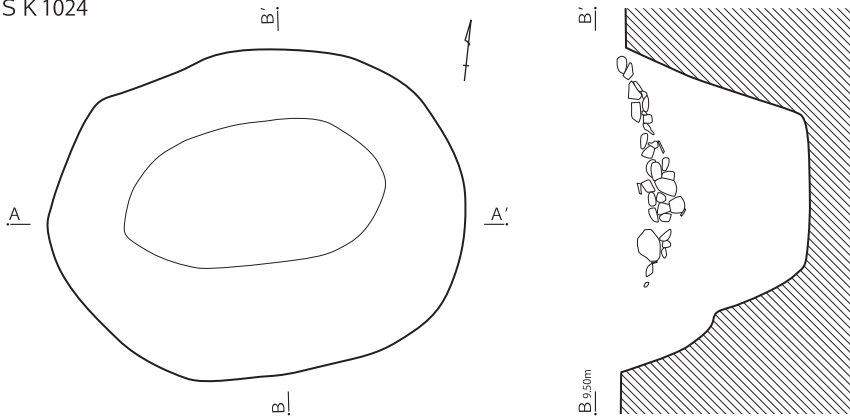
- 3 褐色砂質シルト 炭化物・砂・灰褐色ブロック含む 粘性弱 しまりあり

第 1052 号土壙

- 1 暗褐色土 炭化物顕著 黄灰色土ブロック・木片多量 しまり極強

第 300 図 土壙 (4)

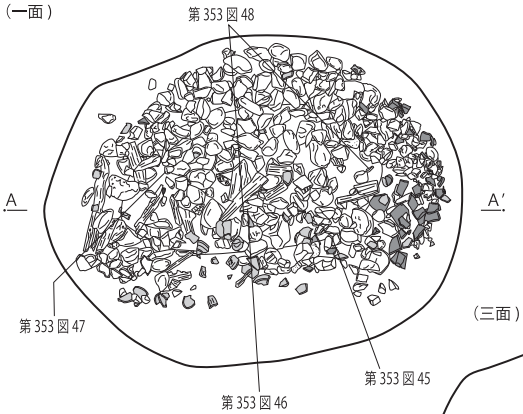
S K 1024



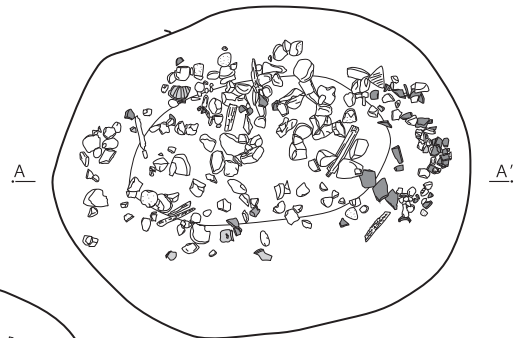
第 1024 号土壌

- | | |
|----------|---|
| 1 明褐色土 | 灰褐色シルト・鉄分混入 炭化物少量 |
| 2 灰褐色土 | 土器片・礫含む |
| 3 明褐色土 | 灰褐色シルト・鉄分混入 |
| 4 明褐色土 | 赤褐色砂質土混入 炭化物多量 瓦・磁器・炭化木少量含む |
| 5 褐色土 | 灰色シルト・鉄分が筋状に混入 炭化物少量 |
| 6 明褐色シルト | 黒褐色粘土ブロック (φ3 ~ 10 mm)・灰色粘質土多量
炭化物少量 |
| 7 炭化物層 | 焼土ブロック (φ5 ~ 10 mm) 多量 灰色シルト微量 |
| 8 褐色土 | 灰色ブロック・炭化物含む |
| 9 灰色シルト | 目立った混入物はなし 陶器や木片は含む 湧水により泥状 |

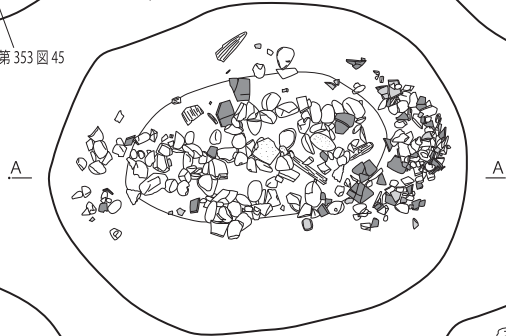
(一面)



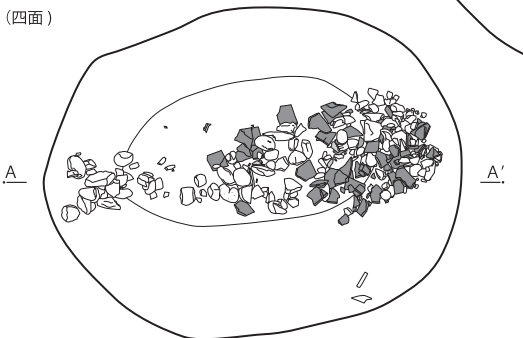
(二面)



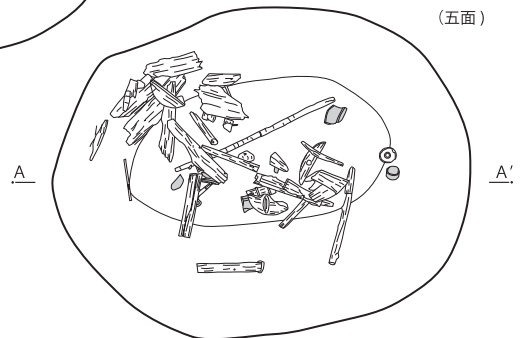
(三面)



(四面)



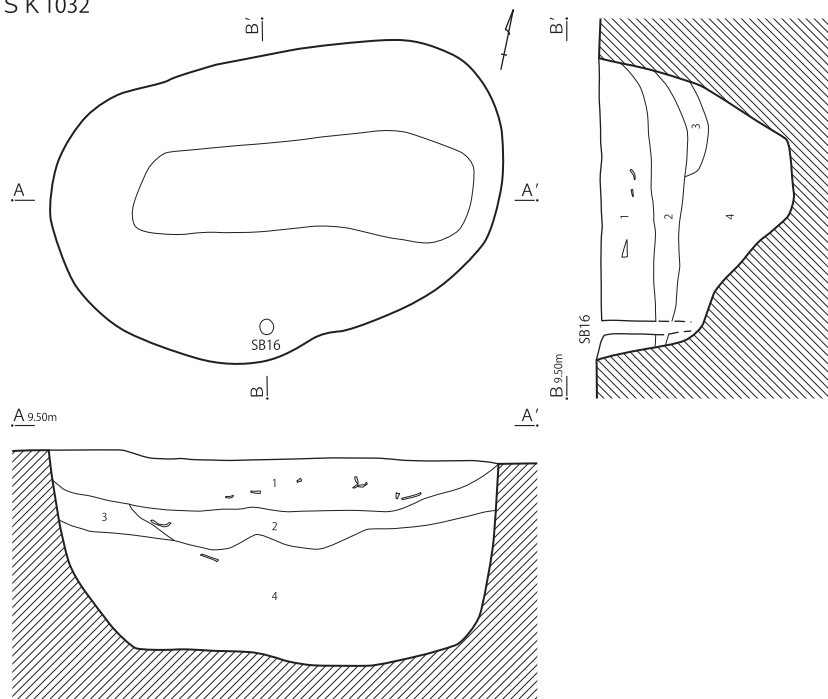
(五面)



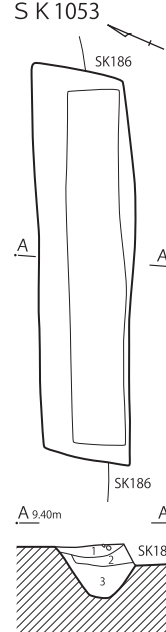
※上面より下面へ一面～五面まで図示

第 301 図 土壌 (5)

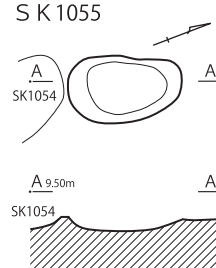
S K 1032



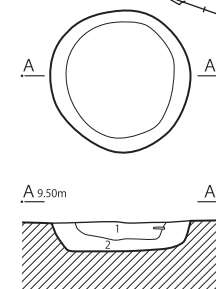
S K 1053



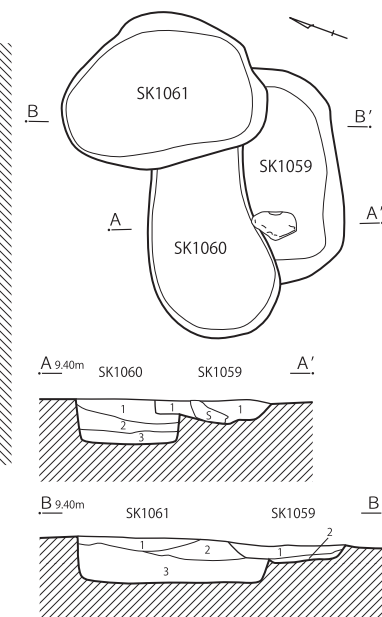
S K 1055



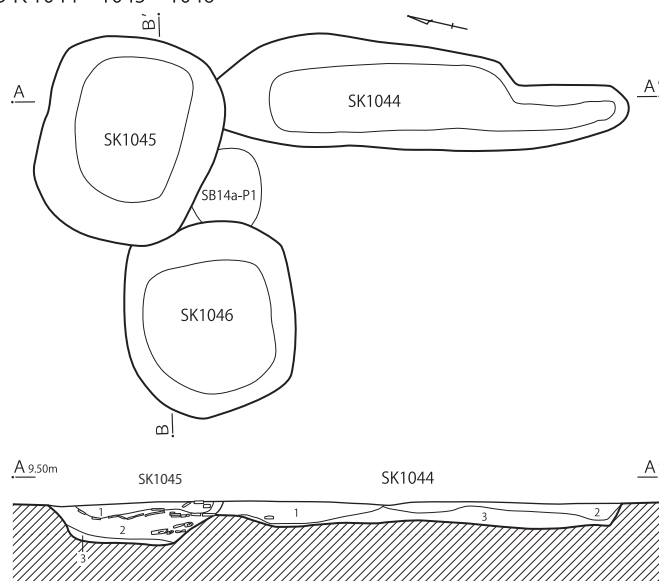
S K 1057



S K 1059・1060・1061



S K 1044・1045・1046



第 1032 号土壌

- 1 灰色粘質土 炭化物顕著 灰褐色粘土ブロック含む かわれけ多量
- 2 暗灰色粘質土 暗褐色粘質土混入 炭化物・木片顕著 かわれけは1層より少ない
- 3 灰色砂質土 木片少量
- 4 暗褐色粘質土 腐食物層 木片多量 炭化物少量 木製品多い 獣骨含む

第 1044 号土壌

- 1 暗褐色土 木材多量 炭化物・木製品含む 焼土小ブロック微量
- 2 褐色土 木片多量 炭化物少量 明褐色土ブロック混入
- 3 灰色粘質土 褐色砂・暗褐色土混入

第 1045 号土壌

- 1 暗褐色土 焼土ブロック・灰色土ブロック多量 炭化物少量
- 2 暗褐色土 木片主体 灰褐色土ブロック・木製品多量 炭化物少量
- 3 灰色砂質土 炭化物・木片少量

第 1046 号土壌

- 1 暗褐色土 木片多量 貝(シジミ・アサリ)・植物種子・炭化物多量
- 2 灰色砂質土 灰褐色土少量

第 1053 号土壌

- 1 暗褐色シルト 炭化物少量 灰色土・黄褐色土混入 木片含む
- 2 黄灰色シルト 炭化物微量 暗褐色土微量
- 3 灰色粘質土 炭化物微量

第 1057 号土壌

- 1 灰褐色シルト 炭化物少量 やや赤い褐色土が混入 しまり極強
- 2 明灰褐色シルト 黄灰色土・やや赤い褐色土が混入 炭化物少量

第 1059 号土壌

- 1 灰褐色砂質シルト 炭化物(φ1cm)含む しまり弱
- 2 灰褐色シルト 灰褐色シルトブロック含む しまりなし

第 1060 号土壌

- 1 暗灰色砂質シルト 炭化物(φ5mm)・灰褐色シルトブロック含む しまりあり
- 2 灰褐色砂質シルト 炭化物(φ0.5~1cm)多量 しまりあり
- 3 暗灰色砂質シルト 1層とほぼ同質

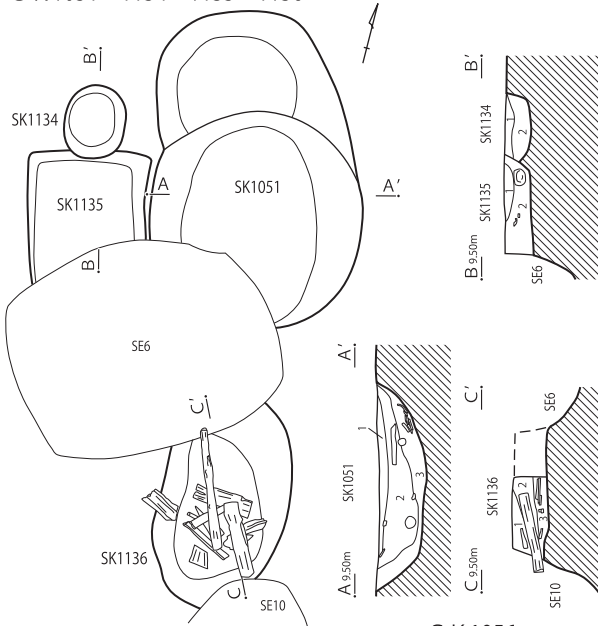
第 1061 号土壌

- 1 暗灰色シルト質土 炭化物(φ1cm)多量 粘性・しまりあり
- 2 暗灰色シルト質土 炭化物少量 粘性・しまりあり
- 3 暗灰色砂質シルト 炭化物・土器・瓦片多量 しまりあり

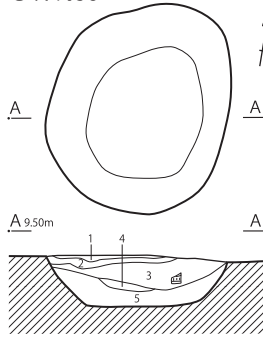


第 302 図 土壌 (6)

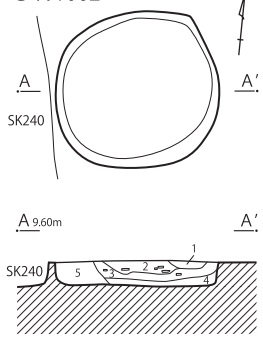
S K 1051・1134・1135・1136



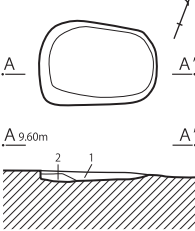
S K 1058



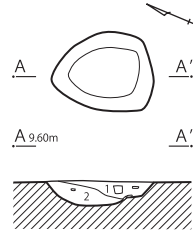
S K 1062



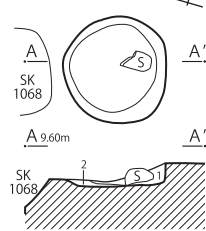
S K 1063



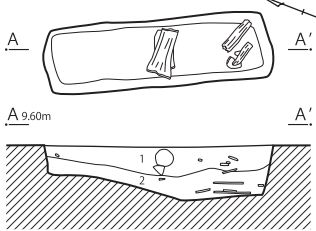
S K 1064



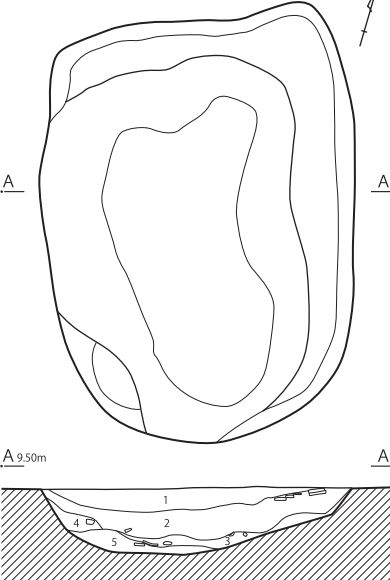
S K 1065



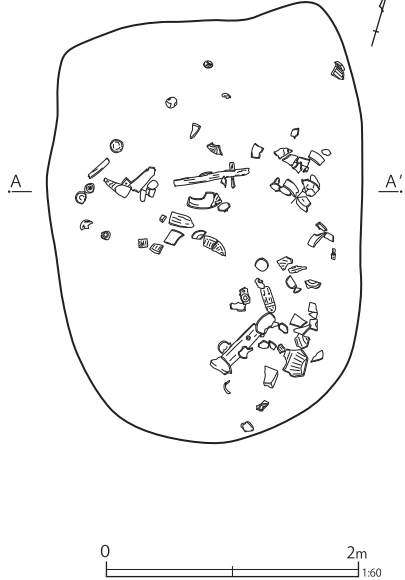
S K 1067



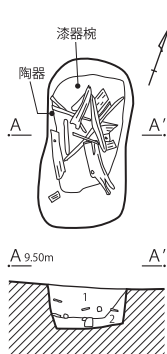
S K 1056



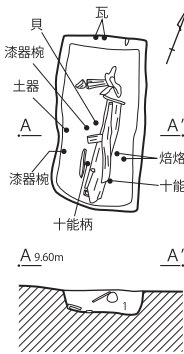
遺物出土状況



S K 1068



S K 1069



第 1051 号土壇

- 1 暗灰色土
- 2 暗褐色土
- 3 黒褐色土

第 1056 号土壇

- 1 暗灰褐色シルト
- 2 暗灰色砂質土
- 3 暗褐色粘質土

第 1058 号土壇

- 1 暗褐色粘質土
- 2 暗褐色土
- 3 暗灰色シルト

第 1062 号土壇

- 1 暗黒褐色土
- 2 暗灰褐色土
- 3 暗褐色土

第 1063 号土壇

- 1 暗褐色土
- 2 灰褐色土

第 1064 号土壇

- 1 暗褐色土
- 2 暗灰色シルト

第 1065 号土壇

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土

炭化物少量 貝微量 黄灰色土ブロック多量
炭化物・木片多量
木片・木材・灰色土含む

炭化物多量 灰色土・黄灰色シルト混入
灰色シルト・黄褐色砂質土混入 木片・炭化物少量
腐食した植物・木片主体 木片多量 木材含む 黄色・
灰色砂質土混入 炭化物少量
炭化物微量 灰色粘質土混入
砂鉄を含む砂混入 炭化物微量

炭化物含む しまりなし
繊維質に見える腐食した草を含む しまりあり
砂含む 炭化木片・土器片 漆碗等が含まれる しまり
あり

炭化物(φ5mm)多量 粘性あり
炭化物(φ5mm)・土器片含む 粘性弱

黄褐色シルト混入 炭化物微量
黄灰色シルト混入 炭化物多量 木片・土器含む
黄灰色シルト混入 炭化物少量 木片多量

4 黄色粘質土

5 灰色土

第 1063 号土壇

1 暗褐色土

2 灰褐色土

第 1064 号土壇

1 暗褐色土

2 灰褐色土

第 1065 号土壇

1 暗褐色土

2 灰褐色土

第 1067 号土壇

1 暗灰褐色土

2 暗灰色土

第 1068 号土壇

1 暗灰褐色土

2 暗灰色シルト

第 1069 号土壇

1 暗灰褐色土

黄褐色砂質土混入 炭化物少量 鉄分微量
黄色砂質土・暗灰褐色土混入 炭化物微量

炭化物(φ1~2cm)・焼土粒子(壁土)含む 粘性あり
暗灰色シルトブロック・炭化物粒子(φ1mm)含む
粘性あり

炭化物(φ1~2cm)含む 粘性あり
暗灰色シルトブロック・炭化物粒子(φ1mm)含む
粘性あり

炭化物(φ1~2cm)・焼土粒子(壁土)含む 粘性あり
暗灰色シルトブロック・炭化物粒子(φ1mm)含む
粘性あり

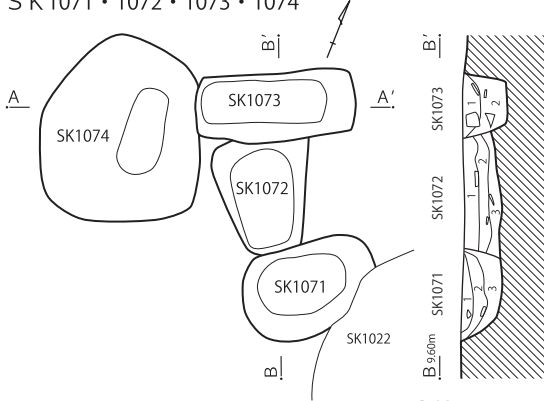
SK1069 の 1 層に似るがやや砂質
SK1068 の 2 層に似るがやや砂質

灰褐色(地山)シルトブロック・炭化物(φ1~2cm)・
焼土(壁土)ブロック多量 粘性弱
炭化物・木片(自然木)多量 粘性あり しまり弱

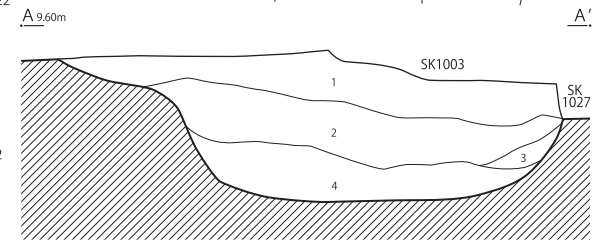
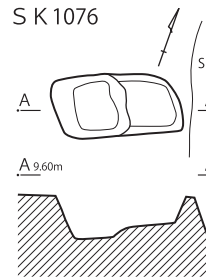
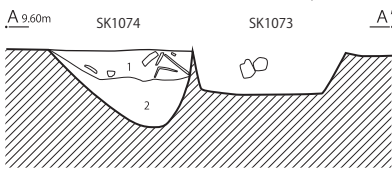
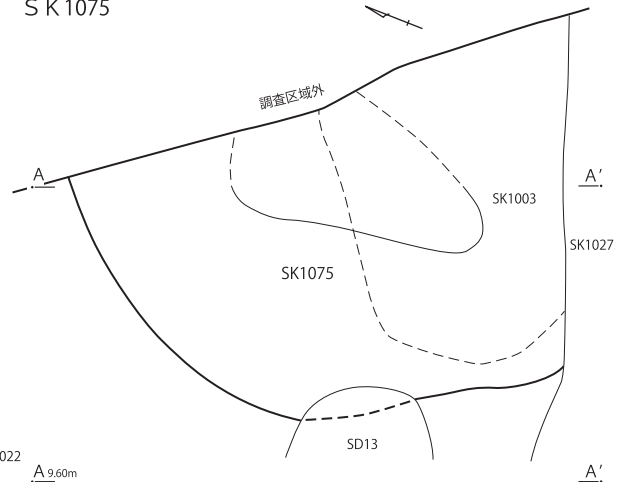
灰褐色(地山)シルトブロック・炭化物(φ1~2cm)多量
粘性弱 しまりあり

第 303 図 土壇 (7)

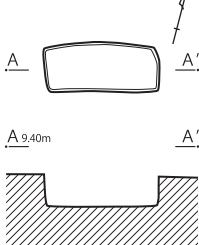
S K 1071・1072・1073・1074



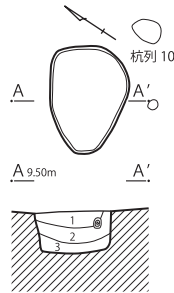
S K 1075



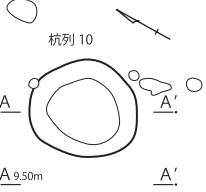
S K 1077



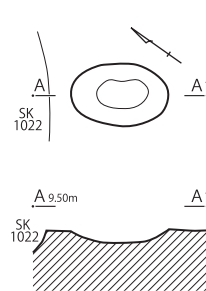
S K 1078



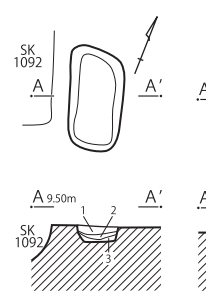
S K 1079



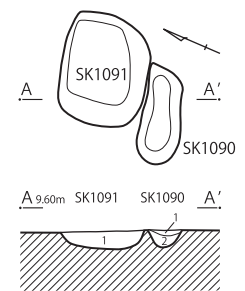
S K 1080



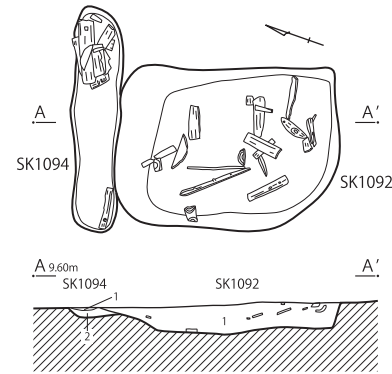
S K 1081



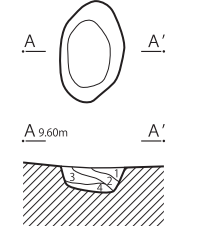
S K 1090・1091



S K 1092・1094



S K 1093



第 1071 号土壌

- 1 暗灰色シルト
- 2 暗褐色土
- 3 灰色粘質土

木片・炭化物多量 粘性・しまりあり
木片主体 炭化物少量 粘性あり しまり弱
暗灰色土混入

第 1072 号土壌

- 1 暗褐色シルト
- 2 暗灰色シルト
- 3 灰色シルト

黄灰色シルトブロック少量 木片・植物片多量
灰色土混入 木片少量 粘性あり しまりなし
混入物はほぼ見られないが瓦混入 粘性弱 しまりなし

第 1073 号土壌

- 1 暗灰褐色土
- 2 暗褐色土

灰色シルトブロック・炭化物・木片多量
黄灰色シルトブロック・木片・炭化物多量

第 1074 号土壌

- 1 灰褐色シルト質土
- 2 黒褐色土

灰色・黄灰色シルトブロック(φ5~10mm)・木片・木製品多量 焼土ブロック(φ3~4mm)・炭化物少量 やや砂質 灰色土ブロック含む 炭化物少量 木片多量

第 1075 号土壌

- 1 暗褐色土
- 2 灰色土
- 3 黒褐色粘質土
- 4 暗灰色粘質土

炭化物(φ2~4mm)含む 牡蠣殻多量
やや粘質 炭化物(φ2~5mm)・木片少量 1層より牡蠣殻多量
炭化物(φ1~2mm)少量 粘性・しまりあり
腐葉土層がみられる 木片少量 粘性・しまりあり

第 1078 号土壌

- 1 黒褐色土
- 2 暗灰色土
- 3 黒色砂質土

炭化物(φ3~10mm)多量 粘性弱 しまりなし
砂質土混入 炭化物(φ2mm)少量 粘性あり しまりなし
やや粗粒 混入物はなし

第 1079 号土壌

- 1 暗灰色砂質土
- 2 暗褐色砂質土
- 3 黒色砂質土

灰色シルト混入 炭化物(φ3~5mm)少量 軽石(φ1mm)含む
1層より暗い土質 灰色シルト混入 炭化物微量
やや粗粒の砂含むが、他に混入物なし

第 1081 号土壌

- 1 暗褐色シルト質土
- 2 黄灰色砂
- 3 暗灰色シルト

炭化物少量 木片含む 粘性あり
細粒である
一部酸化

第 1090 号土壌

- 1 暗灰褐色土
- 2 暗灰色土

木片・黄灰色シルト質土少量
灰色シルトブロック含む 炭化物(φ1~2mm)少量

第 1091 号土壌

- 1 灰褐色土

炭化物・軽石・焼土(φ2~3mm)・褐色砂質土少量
灰色土・黄灰色土混入

第 1092 号土壌

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土
- 4 灰色粘質土

木片主体 やや粘質のシルト 炭化物(φ2~5mm)多量
黄灰色土混入 木製品・陶磁器含む

第 1093 号土壌

- 1 灰褐色土
- 2 黄灰色土
- 3 暗褐色土
- 4 灰色粘質土

鉄分・黄灰色土含む
鉄分・炭化物少量 灰褐色土混入
基本的に1層と同じだが、炭化物を少量含む
灰色土ブロック含む 炭化物少量

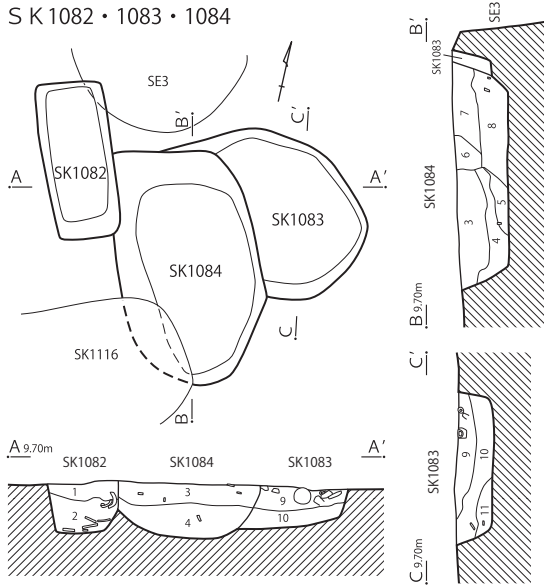
第 1094 号土壌

- 1 黒褐色土
- 2 灰色シルト

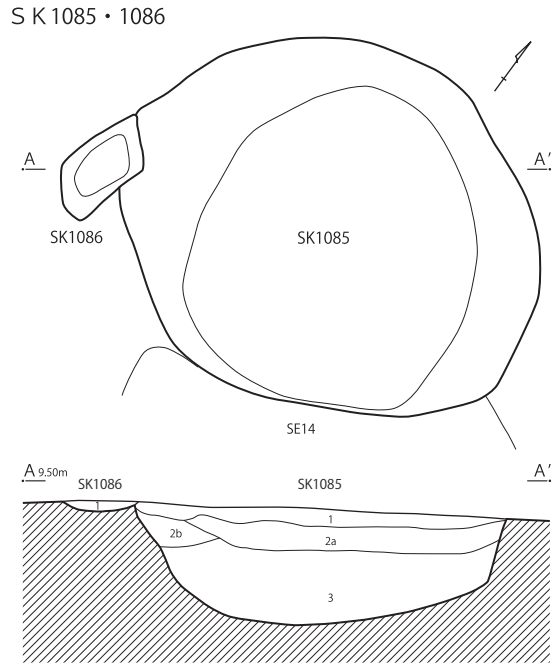
木片多量 極めて薄い層
炭化物(φ2mm)少量

第 304 図 土壌 (8)

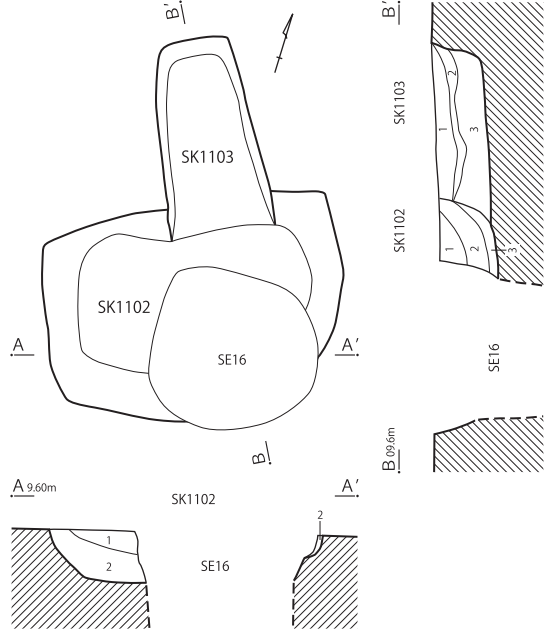
S K 1082・1083・1084



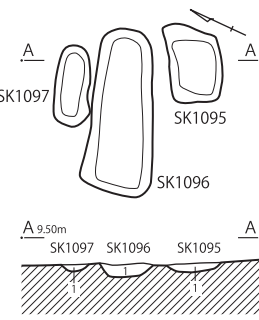
S K 1085・1086



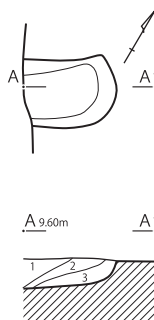
S K 1102・1103



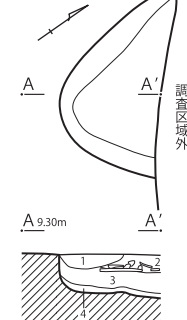
S K 1095・1096・1097



S K 1099



S K 1098



第 1082・1083・1084 号土壇

- 1 黒褐色土 灰色・黄灰色土ブロック(φ5~10mm)多量 炭化物・木片少量 (SK1082)
- 2 暗褐色土 灰色土ブロック少量 炭化物(φ1~3mm)含む 木片多量 (SK1082)
- 3 黒褐色土 炭化物(φ1~8mm)・黄灰色土ブロック(φ3~5mmシルト質)多量 焼土(φ3~10mm)少量 灰色粘質土が筋状に混入 (SK1084)
- 4 灰褐色土 炭化物(φ2~10mm)多量 焼土ブロック(φ2~5mm)微量 灰色粘質土・黄灰色シルト質土ブロック(φ3~5mm)含む (SK1084)
- 5 灰色粘質土 暗灰色粘土・黒色粘土混入 炭化物微量 (SK1084)
- 6 灰色粘質土 赤褐色砂・暗褐色土・焼土ブロック混入 炭化物粒微量 (SK1084)
- 7 黒褐色土 黄灰色シルト質土(φ3~5mm)・炭化物(φ2~3mm)・木片少量 灰色シルト質土(φ1~4mm)含む (SK1084)
- 8 暗灰色土 混入物なし (SK1084)
- 9 暗灰褐色土 灰色・黄灰色土(シルト質)混入 炭化物(φ2~10mm)多量 黒色土ブロック少量 (SK1083)
- 10 黄灰色砂質土 灰色土・黄褐色砂混入 炭化物(φ1~10mm)多量 (SK1083)
- 11 暗灰色シルト 混入物なし 粘性あり しまりなし (SK1083)

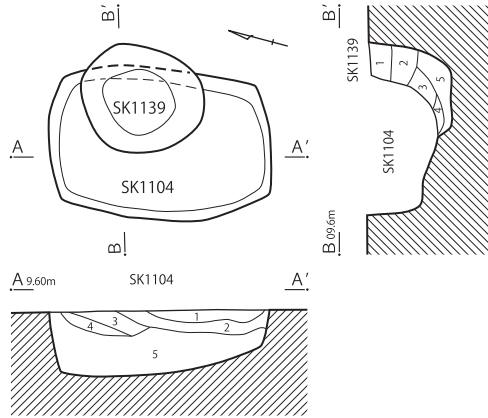
- 2 暗灰色土 灰色土ブロック(φ3~10mmシルト質)・炭化物(φ2~20mm)多量 軽石(φ2~4mm)少量 黒褐色粘土ブロック(φ1~5cm)含む bはaよりシルトブロック多く、軽石少ない
- 3 暗灰色土 灰色土ブロック(φ3~40mmシルト質)・黒褐色粘土ブロック・炭化物(φ2~5mm)多量 軽石(φ2~3mm)少量

第 1086 号土壇

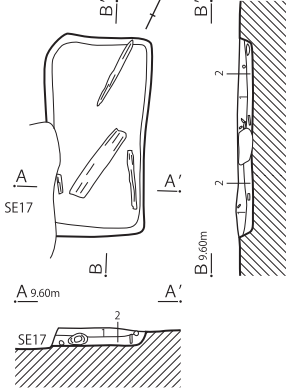
- 1 暗褐色土 黄灰色シルト混入 炭化物少量 木片多量
- 第 1095 号土壇
- 1 暗褐色シルト 木片主体 炭化物(φ5~10mm)多量 粘性・しまりなし
- 第 1096 号土壇
- 1 暗褐色シルト 木片主体 炭化物(φ3~10mm)多量 粘性・しまりなし
- 第 1097 号土壇
- 1 灰褐色シルト 鉄分見られる 木片少量 粘性・しまりなし
- 第 1098 号土壇
- 1 灰色砂質土 軽石(φ1~3mm)多量 炭化物粒少量 しまり極強
- 2 灰色砂質土 鉄分・木片多量
- 3 暗灰色砂 中粒 軽石(φ2~10mm)多量 木片含む
- 4 黒色砂 粗粒 軽石(φ1~3mm)多量
- 第 1099 号土壇
- 1 暗褐色シルト 灰色シルト含む 木片・炭化物(φ3~10mm)多量 粘性・しまりなし
- 2 灰色シルト 暗褐色土含む 木片・炭化物粒多量 粘性・しまりなし
- 3 暗褐色シルト 木片主体 炭化物(φ3~10mm)多量 粘性・しまりなし
- 第 1102 号土壇
- 1 黄灰色土 黒褐色粘土ブロック(φ1~10cm)多量 砂・軽石(φ2~3mm)混入 炭化物(φ2mm)微量
- 2 黒褐色粘質土 灰色土ブロック(5~20mm)・炭化物含む しまり強
- 3 暗灰色砂質土 混入物なし
- 第 1103 号土壇
- 1 褐色シルト 炭化物(φ3~10mm)多量 粘性なし しまりあり
- 2 暗灰色シルト 炭化物(φ2~3mm)少量 粘性弱
- 3 暗灰色シルト 木片少量 炭化物(φ2~3mm)多量 粘性あり しまりなし

第 305 図 土 壇 (9)

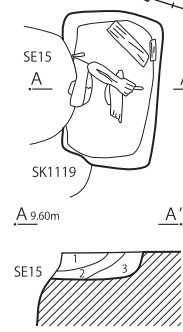
S K 1104・1139



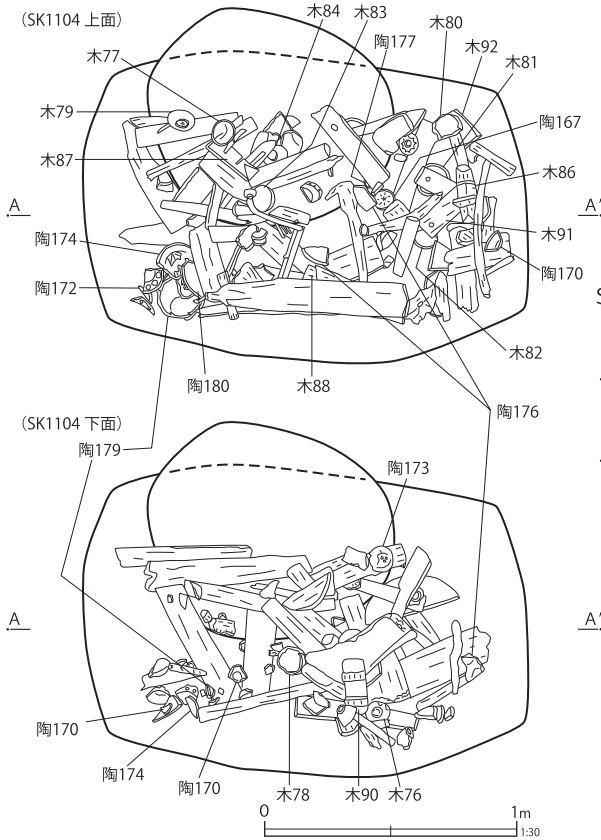
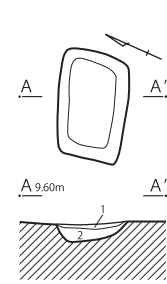
S K 1105



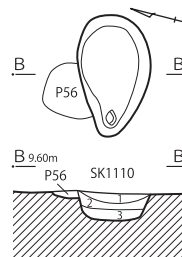
S K 1107



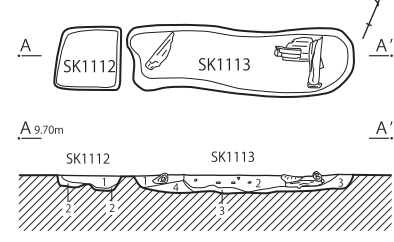
S K 1109



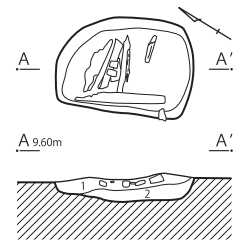
S K 1110



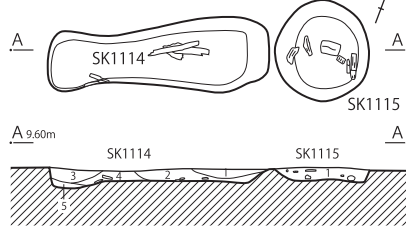
S K 1112・1113



S K 1111



S K 1114・1115



第 1104 号土壌

- 1 黒褐色砂質土 黄灰色砂混入 炭化物(φ2~10mm)・木片多量
- 2 暗褐色砂質土 黒褐色に近い色調 黄灰色砂混入 炭化物(φ1~5mm)・黄灰色土ブロック(φ1~1.5cm)・木片多量
- 3 黒褐色土 黄灰色砂・炭化物(φ2~4mm)・木片少量
- 4 暗黒褐色土 やや粘質 炭化物(φ2mm)含む 木片多量
- 5 暗灰色土 やや粘質 黒味強い色調 黄灰色土混入 木片多量

第 1105 号土壌

- 1 暗褐色粘質シルト 木片・炭化物(φ2~10mm)多量
- 2 灰色土 やや粘質 炭化物(φ2~4mm)少量

第 1107 号土壌

- 1 暗褐色土 灰色土ブロック(φ3~5mm)多量 炭化物粒少量 木片含む
- 2 暗褐色土 灰色土ブロック(φ3~5mm)・木片少量 炭化物粒含む
- 3 暗褐色土 灰色土ブロック(φ4mm)含む 炭化物(φ2~10mm)・木片多量

第 1109 号土壌

- 1 灰褐色土 炭化物(φ3mm)微量 暗灰色シルト含む
- 2 暗灰色シルト 灰色シルトブロック・鉄分みられる

第 1110 号土壌

- 1 暗灰褐色土 鉄分含む 炭化物(φ1~3mm)少量 灰色土混入
- 2 灰色シルト 暗灰色シルト少量 鉄分含む
- 3 暗灰色砂質土 灰色シルト少量 鉄分微量

第 1111 号土壌

- 1 灰色シルト 炭化物(φ2~10mm)少量 木片・炭化木材含む
- 2 赤褐色土 灰色シルト混入 黒褐色粘土ブロック(φ5mm)微量

第 1112 号土壌

- 1 炭化物層 焼土ブロック(φ2~15mm)・炭化物(φ2~10mm)多量 黄灰色土ブロック(φ3~5mm)少量
- 2 黄灰色シルト 炭化物(1~2mm)微量 灰色土混入

第 1113 号土壌

- 1 炭化物層 炭化物粒子と焼土ブロック(φ3~20mm)主体 黄灰色土ブロック(φ4~15mm)・炭化木材・木片多量
- 2 炭化物層 炭化物粒子と黄灰色土主体 炭化木材含む
- 3 黄灰色シルト 炭化物(φ1~3mm)微量 灰色土混入
- 4 灰色土 暗褐色土混入 炭化物(φ1~2mm)微量

第 1114 号土壌

- 1 暗灰褐色土 炭化物(φ3~5mm)少量 木片・黄灰色シルトブロック多量
- 2 暗灰褐色土 1層より明るい 木片多量 炭化物(φ2~3mm)・焼土(φ3mm)微量 黄灰色シルトブロック斑状に多量
- 3 黒褐色土 炭化物(φ2~3mm)・木片少量 黄灰色シルト・砂質土が斑状に混入
- 4 黒褐色土 焼土(φ2~5mm)・木片少量 黄灰色シルトブロック多量
- 5 黒褐色土 炭化物(φ3mm)微量 黄灰色シルト混入 木片少量 やや粘質

第 1115 号土壌

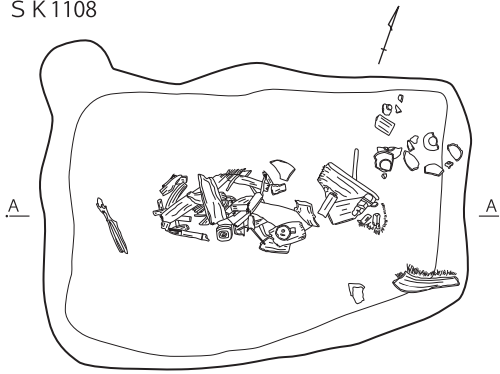
- 1 暗褐色土 木片多量 炭化物(φ3~10mm)含む 黄灰色シルト(ブロック)斑状に多量

第 1139 号土壌

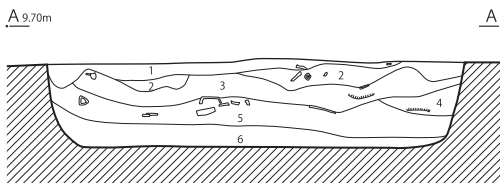
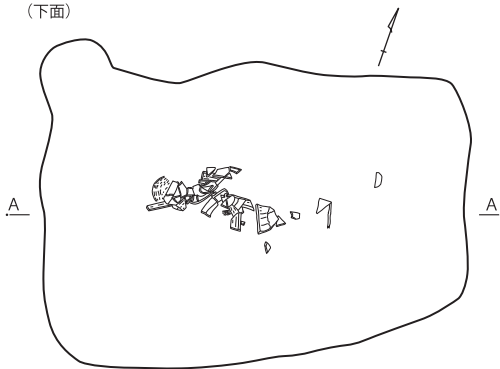
- 1 暗褐色シルト 粘性なし しまりあり
- 2 暗褐色砂質土 炭化物(φ2~3mm)微量 粘性・しまりなし
- 3 炭化物層 砂・砂質土混入 骨片含まれる 粘性・しまりなし
- 4 炭化物層 砂・砂質土混入 3層より炭化物多く黒色 骨片含む 粘性・しまりなし
- 5 褐色砂 炭化物粒子多量

第 306 図 土壌 (10)

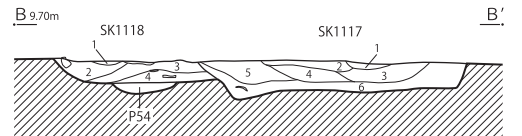
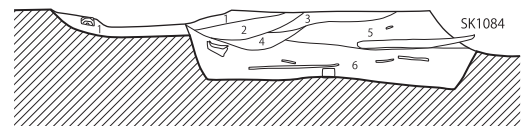
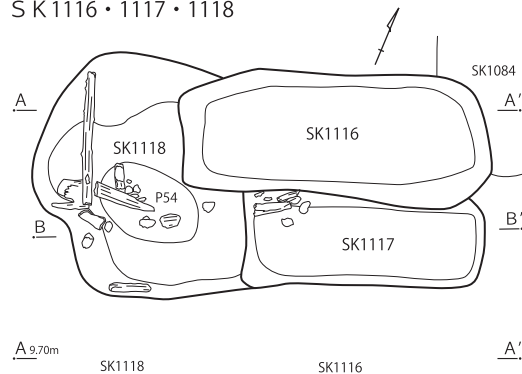
S K 1108



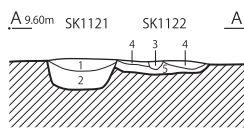
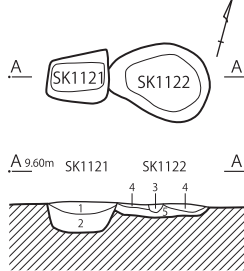
(下面)



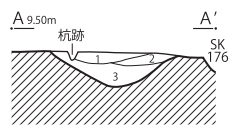
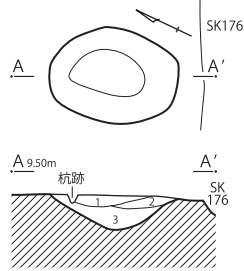
S K 1116・1117・1118



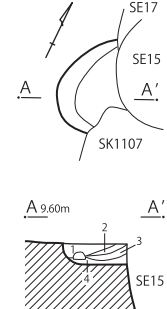
S K 1121・1122



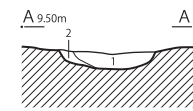
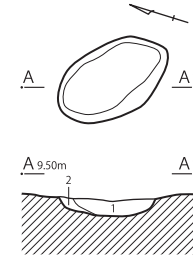
S K 1123



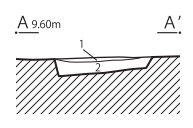
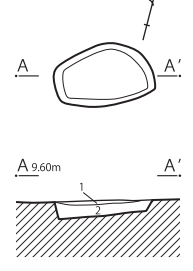
S K 1119



S K 1124



S K 1125



第 1108 号土壙

- 1 暗灰褐色土 やや砂質 焼土(φ5mm)微量 炭化物(φ2~4mm)含む 黄灰色土ブロック(φ3~10mm)多量 鉄分顕著 しまりなし
- 2 暗灰色土 赤褐色の鉄分主体 黄灰色土ブロック(φ4~10mm)多量 赤色・黄色砂質土少量
- 3 黒色土 炭化物(φ2mm)微量 粘性弱 しまりあり
- 4 灰色土 混入物なし 粘性弱 しまりあり
- 5 黒色土 灰色土ブロック(φ3~10mm)多量 炭化物(φ2~3mm)・黄褐色砂少量 粘性なし しまりあり
- 6 黄褐色土 暗灰褐色土混入 炭化物(φ2mm)微量 黒褐色土ブロック(φ5~10mm)少量

第 1116 号土壙

- 1 暗褐色シルト 炭化物(φ2~5mm)含む 焼土(φ2~3mm)微量
- 2 暗褐色シルト 炭化物(φ2~4mm)・暗灰色・黄灰色土ブロック多量 木片・黄色砂少量
- 3 褐色土 炭化物(φ2~5mm)少量 灰色・黄灰色土ブロック(φ5~10mm)・鉄分多量
- 4 黒灰色砂質土 炭化物(φ2~3mm)・灰色土ブロック(φ3~5mm)・黄色砂含む
- 5 黒灰色土 灰色土混入 炭化物(φ2mm)多量 やや粘質
- 6 暗褐色粘質土 木端主体 木製品多量 炭化物(φ3~5mm)・灰色粘質土含む

第 1117 号土壙

- 1 炭化物層 黒褐色土が混入 焼土ブロック(5~10mm)・炭化物(φ2~20mm)多量
- 2 暗灰色土 黄灰色土ブロック(φ3~10mm)多量 炭化物(φ2~5mm)含む 上部は酸化・赤変
- 3 暗褐色土 やや砂質 炭化物(φ2~10mm)・黄灰色土ブロック(φ3~10mm)多量 木片含む
- 4 暗褐色土 有機物由来の土 木片・炭化物(φ3~10mm)多量 焼土微量
- 5 灰褐色土 木片多量 炭化物(φ4~5mm)少量 黄色土微量
- 6 暗褐色土 4層より濃い茶色 有機物由来の土主体 木片多量 炭化物(φ3~10mm)少量 筋状の灰色土混入

第 1118 号土壙

- 1 灰色シルト 混入物なし
- 2 黒色土 灰色土ブロック(1~2cm)含む 木片多量 腐食有機物の層
- 3 褐色土 黄灰色土混入 木片多量
- 4 灰褐色土 灰色土が混入 炭化物(φ5mm)微量

第 1119 号土壙

- 1 暗褐色土 木片多量 灰色土ブロック(φ5~10mm)含む 炭化物(φ3~5mm)少量
- 2 灰色シルト 炭化物(φ3mm)少量 暗灰色土混入
- 3 灰色シルト 灰色土混入 炭化物(φ2mm)微量
- 4 暗褐色砂質土 灰色シルト混入 炭化物(φ2mm)微量

第 1121・1122 号土壙

- 1 暗褐色土 炭化物(φ2~4mm)・黄灰色土ブロック(φ3~5mm)多量 木片少量 (SK1121)
- 2 灰褐色砂質土 黄色砂混入 黄灰色土ブロック(φ4~7mm)多量 (SK1121)
- 3 黄褐色砂 柱痕か 細粒な砂 (SK1122)
- 4 暗褐色土 木片含む 炭化物(φ3~8mm)多量 (SK1122)
- 5 暗灰色土 混入物なし (SK1122)

第 1123 号土壙

- 1 灰褐色シルト 鉄分含む 炭化物(φ2~5mm)少量 粘性・しまりなし
- 2 灰褐色シルト 鉄分含む 炭化物(φ1~2mm)微量 粘性・しまりなし
- 3 灰褐色シルト 鉄分含む 灰色土混入 炭化物(φ3mm)微量 粘性・しまりなし

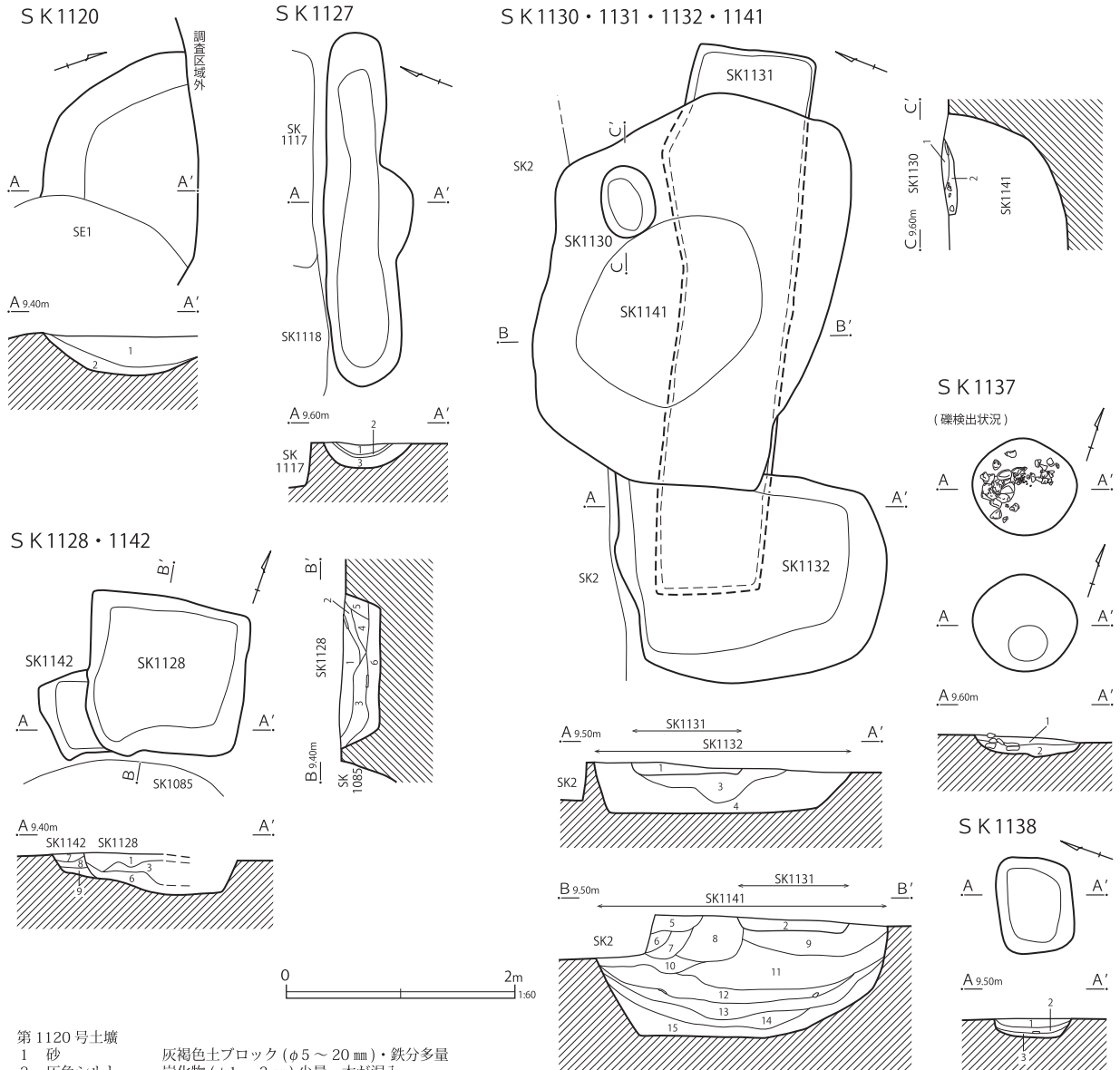
第 1124 号土壙

- 1 暗灰褐色シルト 黄灰色土ブロック(φ4~5mm)・炭化物(φ2~5mm)・黄色砂含む 粘性なし しまり弱
- 2 暗灰色シルト 炭化物(φ1~2mm)微量 粘性なし しまり弱

第 1125 号土壙

- 1 黒褐色土 炭化物(φ3~5mm)・木片多量 焼土少量
- 2 暗灰色砂質土 炭化物(φ1~2mm)含む

第 307 図 土壙 (11)



第 1120 号土壇

- 1 砂
 - 2 灰色シルト
- 第 1127 号土壇
- 1 暗褐色シルト
 - 2 黒褐色粘質土
 - 3 黒灰色土

灰褐色土ブロック (φ5 ~ 20 mm) ・鉄分多量
炭化物 (φ1 ~ 3 mm) 少量 木が混入

第 1128 号土壇

- 1 黒褐色シルト
- 2 暗灰色シルト
- 3 灰色シルト
- 4 暗褐色シルト
- 5 灰色土
- 6 暗灰色砂質土

灰色土ブロック (φ3 ~ 7 mm) 多量 炭化物 (φ2 mm) 少量
木片含む
黄灰色土 (φ1 ~ 2 mm) 混入 植物片含む
灰色シルトブロック (φ3 ~ 10 mm) 多量 白色粒子 (φ1 mm
軽石か) 含む 粘性なし しまりあり

灰色シルト混入 木片多量 炭化物 (φ3 ~ 4 mm) 少量
粘性・しまりなし
砂少量 炭化物 (φ2 ~ 3 mm) 含む 粘性・しまりなし
暗褐色土含む 木片・炭化物 (φ1 ~ 2 mm) 少量 粘性弱
しまりあり
木片・炭化物 (φ1 ~ 2 mm) 少量 灰色土少量 粘性なし
しまりあり
やや砂質 炭化物 (φ1 mm) 少量 粘性なし しまりあり
軽石 (φ1 ~ 2 mm) ・灰色粘質土含む 粘性・しまりなし

第 1142 号土壇

- 7 黒褐色シルト
- 8 灰色シルト

木片含む 炭化物 (φ2 ~ 3 mm) 少量 粘性・しまりなし
黒褐色土・炭化物 (φ2 ~ 3 mm) 少量 粘性なし しまり
あり
軽石 (φ1 ~ 2 mm) ・灰色粘質土含む 粘性・しまりなし

第 1130 号土壇

- 1 暗褐色土
- 2 灰褐色土

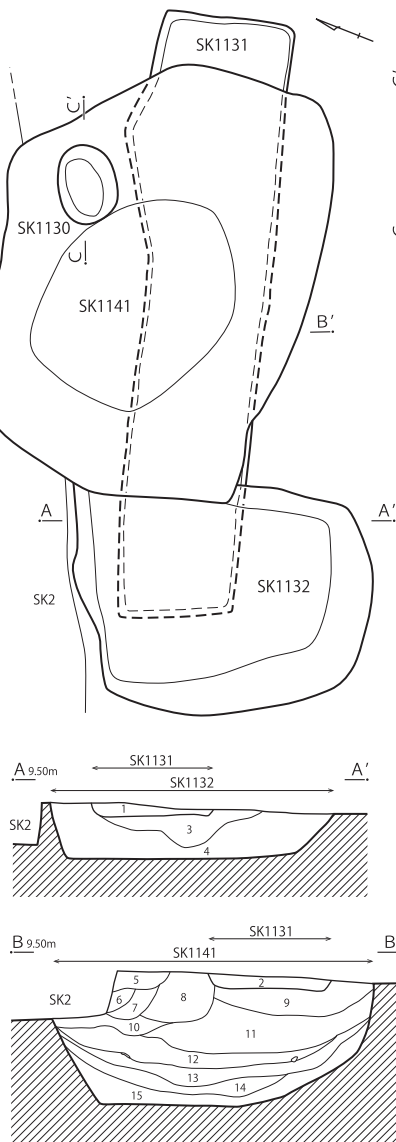
木片多量 炭化物 (φ3 mm) 少量 粘性・しまりなし
木片・小礫多量 炭化物 (φ2 ~ 3 mm) 少量 粘性なし
しまりあり

第 1131 号土壇

- 1 灰褐色シルト
- 2 黄褐色砂

鉄分・黄灰色土混入 粘性なし しまりあり
中粒

S K 1130・1131・1132・1141



第 1132 号土壇

- 3 黒褐色シルト
- 4 黒灰色シルト

炭化物 (φ2 ~ 5 mm) 含む 灰色土ブロック (φ3 ~ 20 mm)
多量 粘性・しまりあり
炭化物 (φ3 ~ 10 mm) ・灰色土ブロック (φ3 ~ 10 mm) ・
砂質土含む 粘性・しまりあり

第 1141 号土壇

- 5 黒灰色シルト
- 6 暗灰色シルト
- 7 黒灰色土
- 8 褐色シルト
- 9 暗灰色シルト
- 10 暗灰色粘質土
- 11 暗灰色粘質土
- 12 暗褐色粘土
- 13 暗灰色粘土
- 14 暗褐色粘土
- 15 灰色粘質土

鉄分・褐色砂混入 粘性・しまりなし
炭化物 (φ2 ~ 3 mm) 少量 鉄分含む 粘性・しまりあり
やや砂質 灰色粘質土混入 粘性弱 しまりあり
灰色土ブロック (φ3 ~ 10 mm) 多量 黒色土ブロック (φ
10 mm) ・鉄分含む 粘性・しまりあり
鉄分・灰色土混入 粘性・しまりあり
炭化物 (φ1 ~ 3 mm) 含む 粘性強 しまりなし
炭化物 (φ1 ~ 5 mm) 多量 黒褐色土少量
腐食有機物の粘土 炭化物粒子多量 粘性強 しまりあり
暗褐色粘土混入 炭化物 (φ2 ~ 5 mm) 少量 粘性強
しまり弱
木片主体 灰色粘土少量 粘性・しまりあり
灰色砂少量 10 層の木片が少量混入

第 1137 号土壇

- 1 暗褐色シルト
- 2 灰色シルト

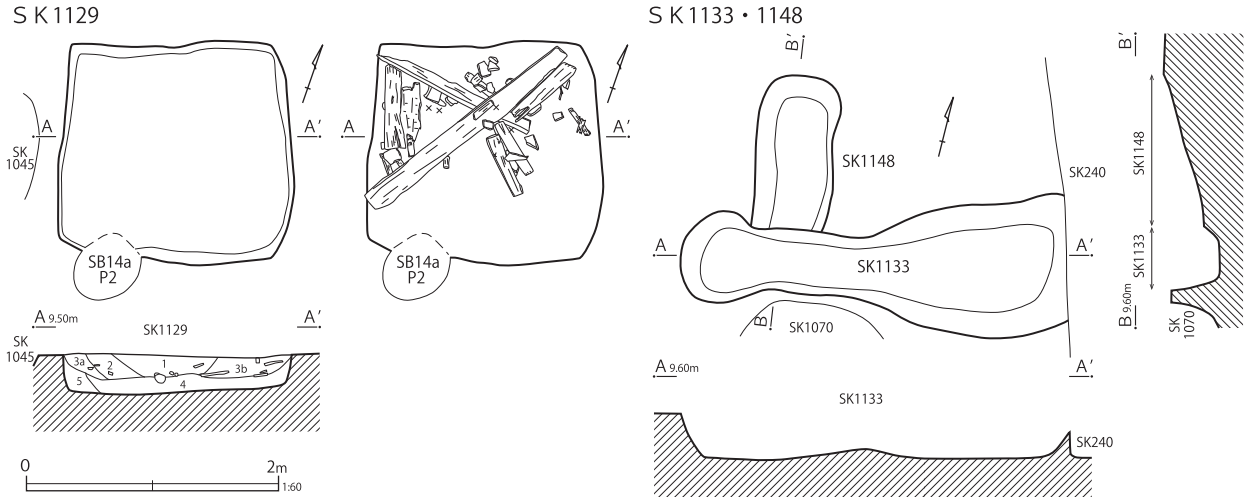
鉄分含む 粘性・しまりなし
鉄分多量 軽石 (φ1 mm) 少量 粘性・しまりなし

第 1138 号土壇

- 1 黒褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土

炭化物・木片多量 しまりなし
炭化物・陶器片含む しまりあり
木片・木端等多量 しまりなし

第 308 図 土壇 (12)



第 1129 号土壌

- 1 黒褐色土 灰色土ブロック (φ3～10 mm)・木片多量 炭化物 (φ3 mm) 含む 粘性・しまりなし
- 2 黒褐色土 灰色土ブロック (φ3～10 mm・1層より少ない)・炭化物 (φ2～5 mm) 多量 木片含む 砂少量 粘性・しまりなし 灰色シルトを主体に黒褐色土混入 aはbより黒褐色土が多い 灰色土ブロック (φ5～10 mm) 含む 炭化物 (φ1～2 mm) 少量 粘性なし しまり強
- 3 灰色土

- 4 黒褐色土 炭化物 (φ1～10 mm)・灰色土ブロック (φ3～10 mm) 多量 木片含む やや砂質 粘性なし しまり強
- 5 暗灰色砂質土 混入物なし 粘性なし しまりあり

第 309 図 土壌 (13)

のである。本書では遺構に伴い、完形で遺存しているものは原則的に全て掲載した。4は砥石で楯歯状工具により成形される。第352図36は玉髓製火打石である。第354図16は埴塙である。栗橋宿跡で出土する小型埴塙の多くが砲弾形であるが、本資料は扁平で形態が異なっている。

第1056号土壌 (第303図)

C 6-D 4 グリッドに位置する長軸3.3m程の不整長方形を呈する土壌である。第1048号土壌同様に本陣敷地内に構築された廃棄土壌と考えられる。上層はシルト質土、砂質土が堆積し、下層に木片を含む粘質土が堆積する。

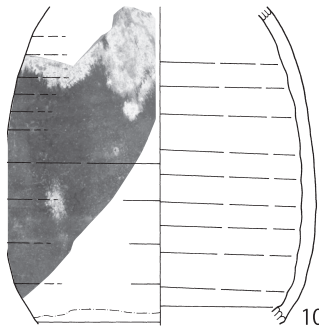
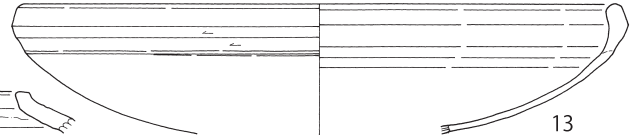
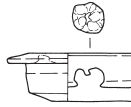
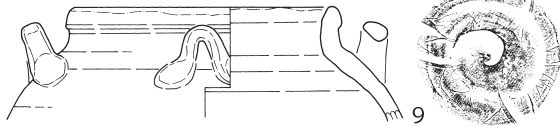
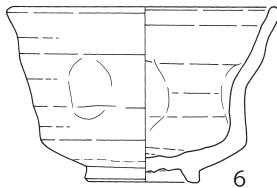
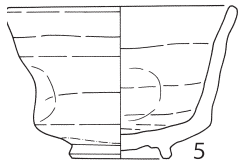
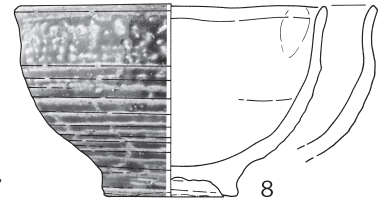
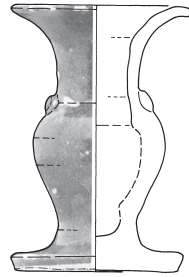
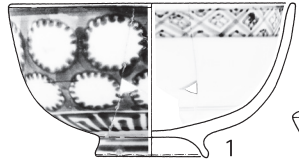
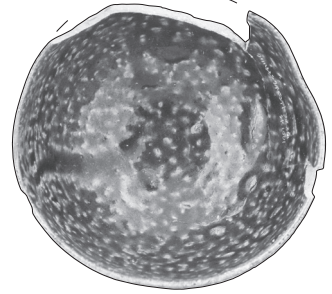
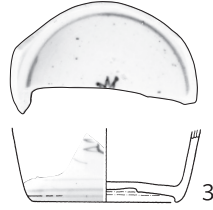
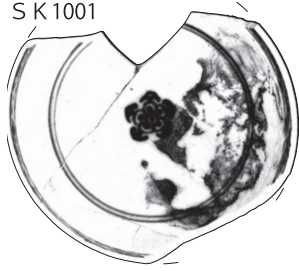
第330・331図42～68に出土した陶磁器を示す。磁器では肥前系の梅樹文碗やくらわんか手碗が多いが、梅樹文碗には高台の作りがややシャープで大振りのもの (45～48) が含まれる。陶器では肥前系の呉器手碗 (50) や丹波系の播鉢 (61・62) が多い。総体的には18世紀前葉の様相を示す。52は陶器の緑釉小皿で、古瀬戸後 I～II期の所産である。中世遺物の混入である。第341図15は軒瓦で、瓦当文様の唐草は二重線で表

現される。上端部を二次利用している。遺構の時期を鑑みると、栗橋宿跡で最も古い段階の瓦と思われる。第346図58は木製品柄杓で、箱状に組み合わせられる。各材は木釘で止められ、底板の中心に孔を穿つ。第351図7～10は石製品である。8は温石と考えられる。

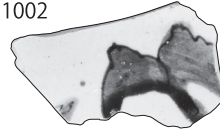
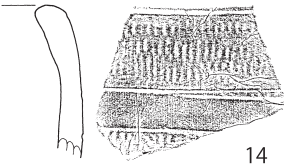
第1085号土壌 (第305図)

調査区北部のC 6-A 2・B 2 グリッドに位置する不整円形の土壌で、径3mを越える大形の土壌である。第14号井戸跡の掘方を壊して構築されている。覆土は比較的变化に乏しい。上層を中心に軽石粒が疎らに含まれており、遺構埋没時期を考慮すれば、天明3年 (1783) の浅間山噴火に起因する可能性があるだろう。出土した陶磁器の一部を第333図126～131に示す。陶磁器は細片が多く、肥前系磁器の梅樹文碗やくらわんか手碗が多かったが、肥前系磁器に外面青磁釉の朝顔形碗 (127) や薄手の広東碗、瀬戸美濃系陶器に石皿が含まれており、18世紀末頃の廃絶と考えられる。注目される遺物として鍋島焼の皿 (126) が出土した。同一個体の破片は、第一面の第63・

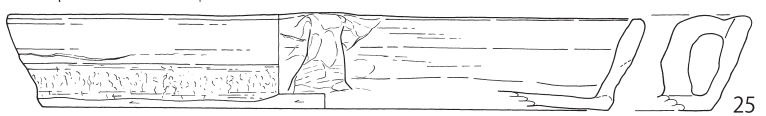
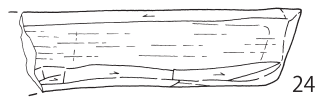
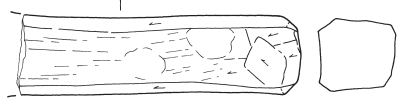
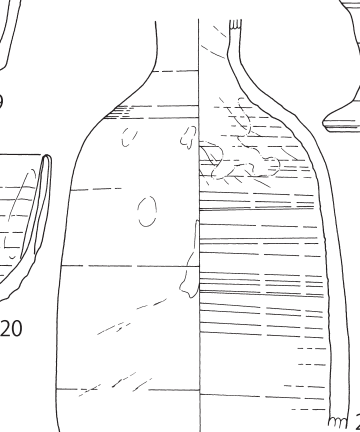
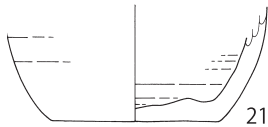
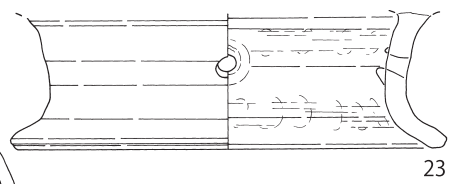
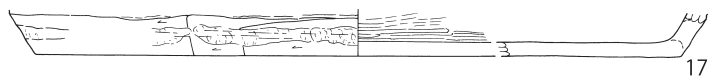
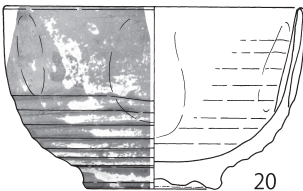
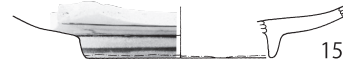
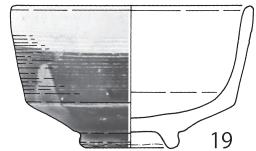
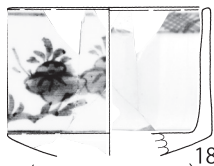
S K 1001



S K 1002



S K 1004

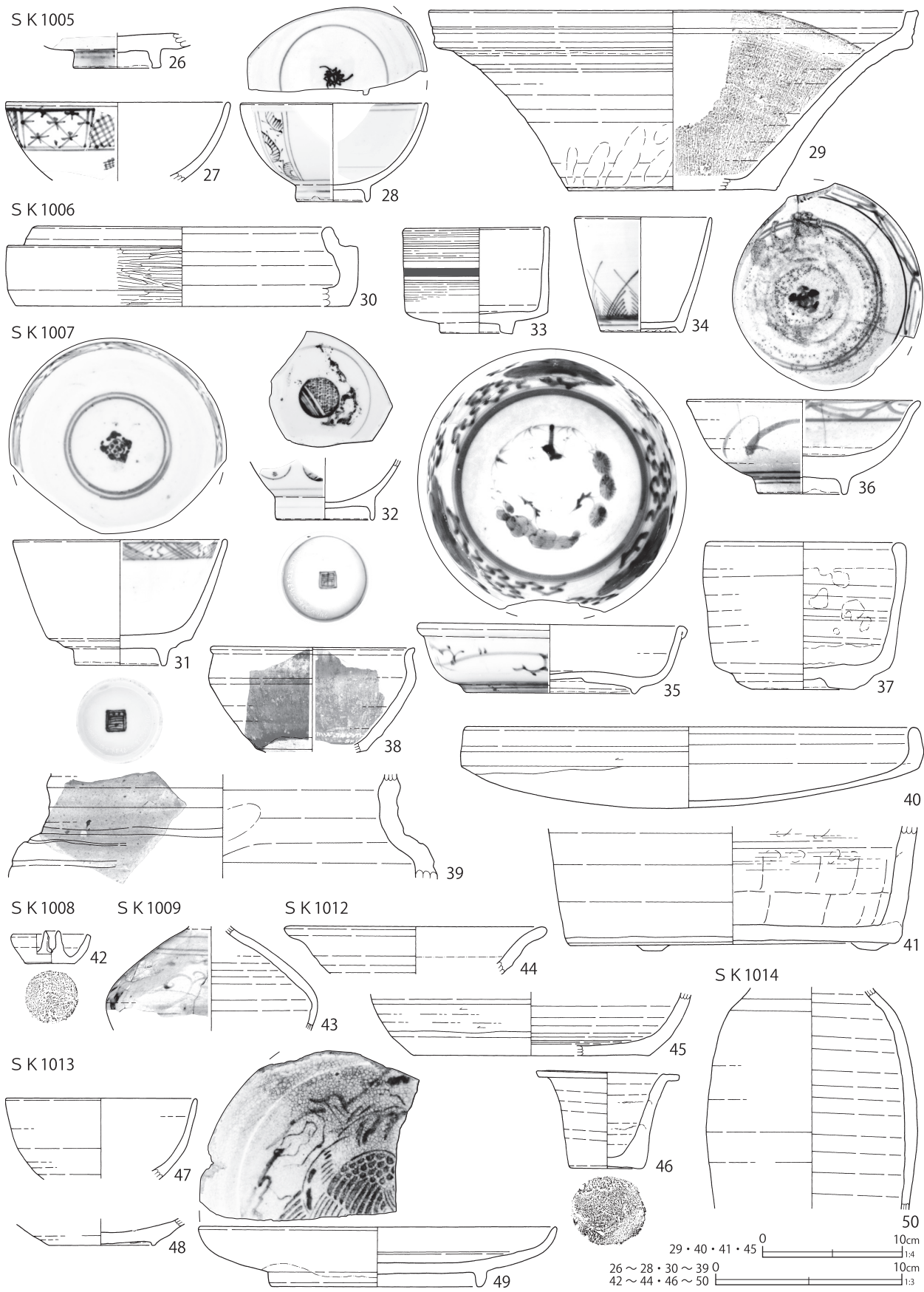


刻印部分 S=1/1

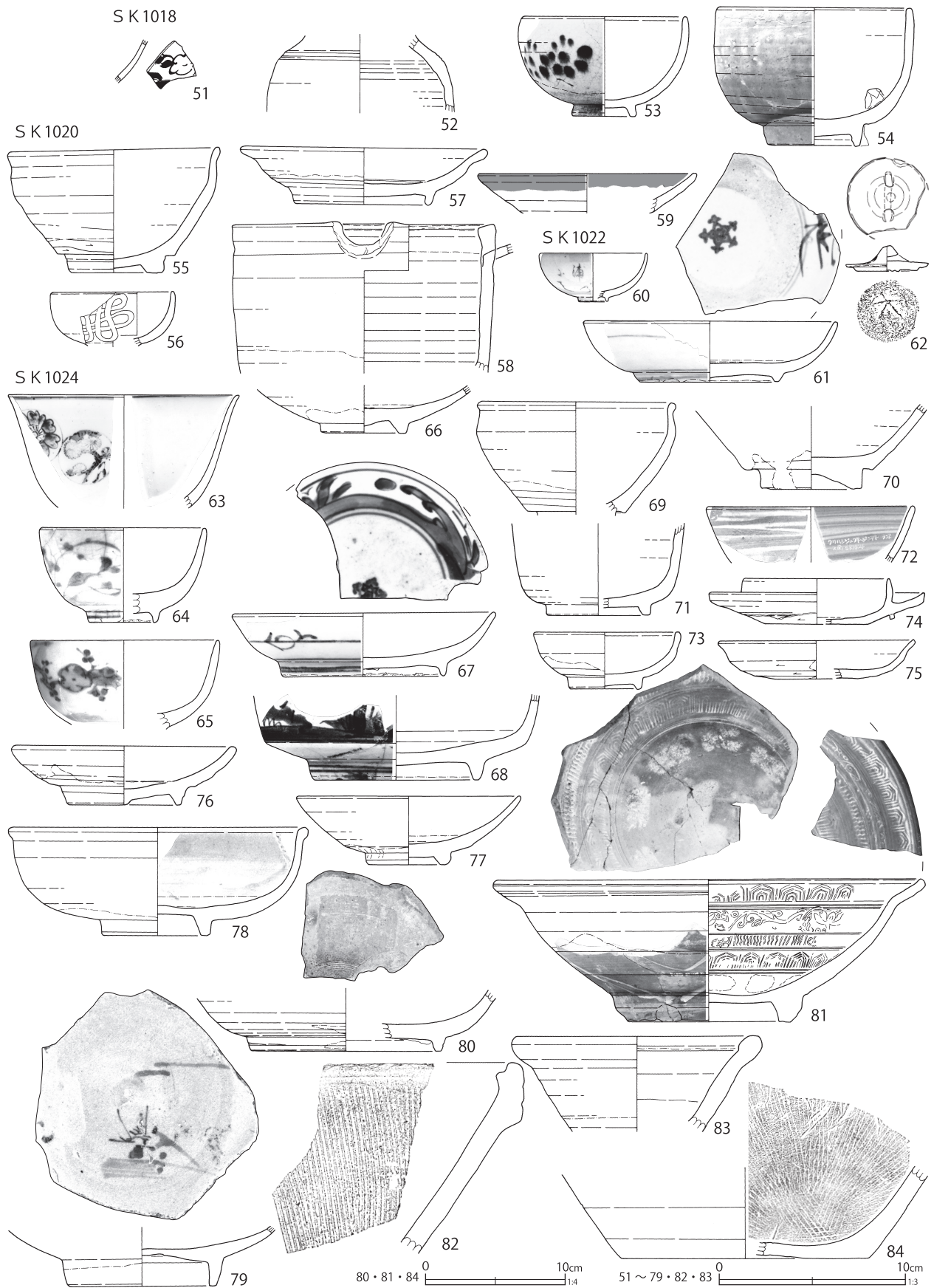
0 10cm 1/14

0 10cm 1/13

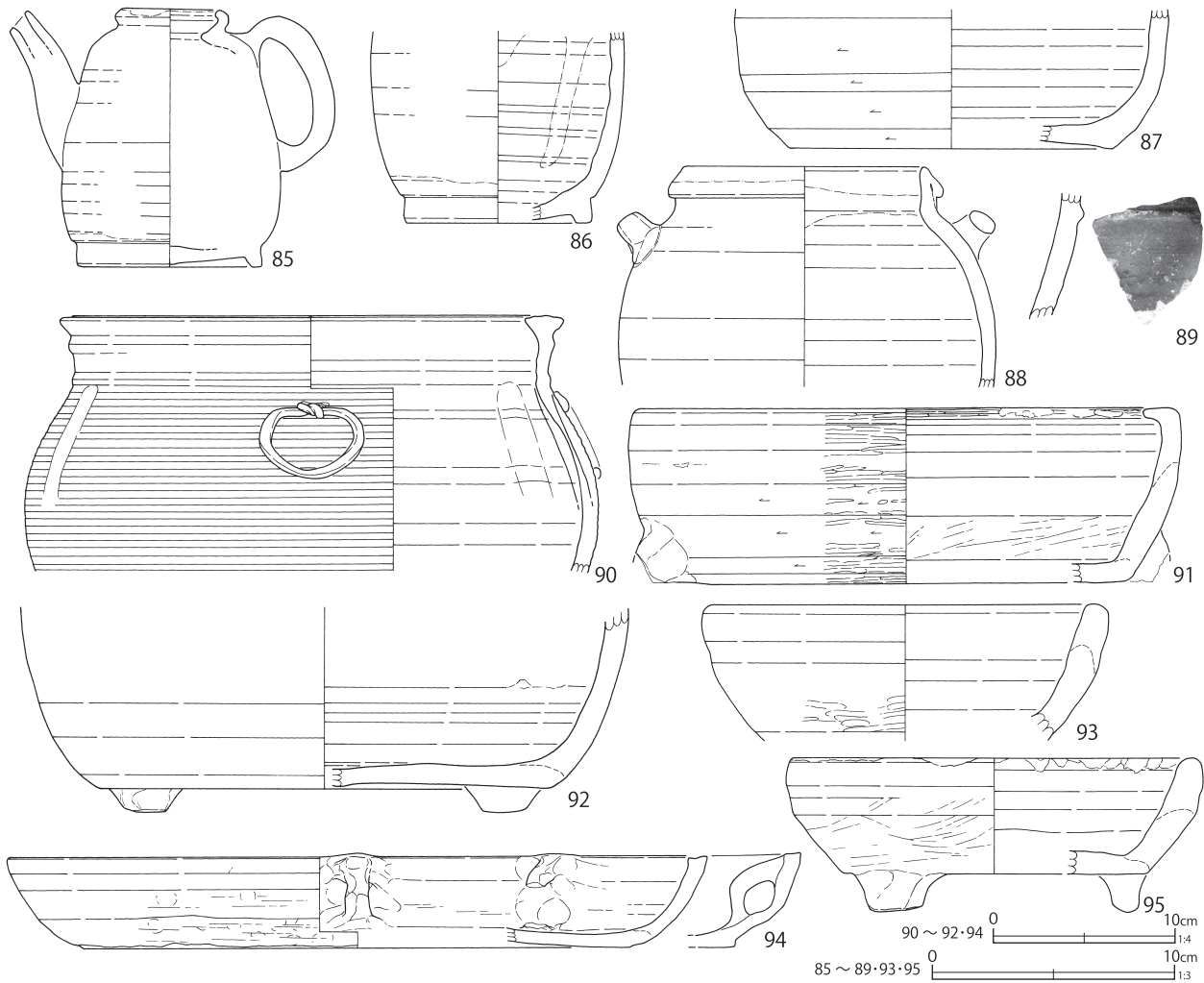
第 310 图 土壙出土遺物 (1)



第 311 図 土壙出土遺物 (2)



第312図 土壙出土遺物(3)



第 313 図 土壙出土遺物 (4)

第 61 表 土壙出土遺物観察表 (1) (第 310 ~ 313 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	11.0	6.0	4.3	—	65	普通	白	SK1001	肥前系 施釉・染付	
2	磁器	仏飯器	6.7	6.7	3.8	—	90	良好	白	SK1001	肥前系 施釉 外面染付 同文別個体 1 有	
3	磁器	猪口	—	[2.9]	5.6	—	15	普通	白	SK1001	肥前系 施釉・染付	
4	陶器	碗	9.4	5.1	3.6	K	60	良好	灰白	SK1001	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・墨書	
5	陶器	碗	9.0	6.0	3.8	K	80	普通	灰白	SK1001	京都信楽系 施釉 体部窪み 3 漆継痕	70-10
6	陶器	碗	10.2	6.9	4.4	HK	80	良好	灰白	SK1001	京都信楽系 施釉 (貫入多い) 体部窪み 3	70-11
7	陶器	花生	6.9	10.5	6.3	IK	80	普通	灰白	SK1001	瀬戸美濃系 底部糸切痕 (右) 鉄釉 外面長石釉散らし	70-13
8	陶器	碗	12.1	7.6	5.1	I	70	良好	黄灰	SK1001	鉄釉 口縁部を意図的に歪ます	70-12
9	陶器	有耳壺	(10.2)	[4.5]	—	—	15	良好	灰白	SK1001	瀬戸美濃系 鉄釉	
10	陶器	德利	—	[12.6]	—	IK	20	良好	灰白	SK1001	瀬戸美濃系 外面鉄釉・上位うのふ釉流掛	
11	陶器	蓋	—	1.9	3.2	K	70	良好	にぶい黄橙	SK1001	上面灰釉 最大径 6.9 (土瓶)	
12	施釉土器	土瓶	9.5	[1.6]	—	AI	5	普通	橙	SK1001	外面透明釉・施文	70-14
13	土師質土器	焙烙	(31.4)	[6.8]	(31.1)	AHI	30	普通	橙	SK1001	砂目底 胎土粉質	
14	瓦質土器	火鉢	—	[6.0]	—	CFHI	5	普通	にぶい黄橙	SK1001	外面一部ミガキ・トビガンナ状文 燻す	
15	磁器	皿	—	[2.7]	(9.8)	—	5	普通	灰白	SK1002	肥前系 施釉・染付 (初期伊万里様式)	70-15
16	陶器	片口鉢	—	[2.9]	(9.0)	I	5	普通	灰黄	SK1002	瀬戸美濃系 灰釉 墨書	
17	瓦質土器	焙烙	—	[2.3]	(34.2)	CI	10	普通	灰黄	SK1002	底部シワ状痕 内面ミガキ 燻す	
18	磁器	碗	(7.7)	[5.8]	—	—	20	普通	白	SK1004	肥前系 施釉・染付 同文別個体 1 あり	
19	陶器	碗	(9.3)	5.6	3.4	I	65	普通	灰白	SK1004	瀬戸美濃系 灰・鉄釉掛分	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
20	陶器	碗	(11.7)	7.2	5.1	I	30	良好	灰黄	SK1004	瀬戸美濃系か、錆釉・白斑状 体部歪ます	71-1
21	陶器	德利	—	[4.6]	(6.7)	I	10	良好	灰赤	SK1004	備前系 底部刻印	
22	陶器	德利	—	[16.3]	HI	HI	30	普通	灰白	SK1004	瀬戸美濃系 外面灰釉 (白く濁る)	
23	瓦質土器	火鉢	—	[7.1]	(22.3)	CHI	10	普通	にぶい橙	SK1004	被熱か、脚部穿孔	
24	瓦質土器	十能	—	[3.4]	—	CHIK	15	普通	灰	SK1004	把手部分 燻す	
25	瓦質土器	焙烙	(33.4)	5.0	(30.0)	CFHK	15	普通	にぶい黄橙	SK1004	底部シワ状痕 燻す	
26	磁器	碗	—	[1.8]	4.6	—	10	普通	灰白	SK1005	肥前系 施釉 外面染付 (初期伊万里様式)	
27	磁器	碗	(11.8)	[4.2]	—	—	20	良好	白	SK1005	SK1006 接合 肥前系 施釉 外面染付	
28	磁器	碗	(10.0)	5.2	3.6	—	30	良好	白	SK1005	肥前系 施釉・染付	
29	陶器	播鉢	(34.8)	12.8	(14.9)	DK	25	良好	にぶい黄橙	SK1005	SK1024・1029 接合 砂目底 内面播目 口縁部外面鉄化粧か	
30	瓦質土器	瓦灯	(15.6)	4.2	(17.8)	CEI	15	普通	灰白	SK1006	底部シワ状痕 外面ミガキ 燻す	
31	磁器	碗	11.2	6.7	4.8	—	70	良好	白	SK1007	肥前系 施釉 (外面青磁釉)・染付	
32	磁器	碗	—	[3.2]	5.0	—	20	良好	白	SK1007	肥前系 施釉・染付	
33	磁器	碗	7.7	5.6	3.9	—	70	良好	白	SK1007	肥前系 施釉 外面に横帯状の錆釉 口紅	
34	磁器	猪口	7.1	6.1	4.2	—	100	普通	白	SK1007	肥前系 施釉 外面染付 同文別個体3有	
35	磁器	皿	14.0	3.7	8.8	—	85	良好	白	SK1007	肥前系 施釉 外面染付 同文別個体2有	
36	磁器	皿	(12.3)	5.0	4.5	—	60	普通	灰白	SK1007	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
37	磁器	香炉	10.1	7.9	5.6	—	80	普通	灰白	SK1007	肥前系 青磁釉	
38	陶器	天目茶碗	(10.7)	[5.6]	—	EI	15	普通	灰黄	SK1007	瀬戸美濃系 鉄釉	
39	陶器	水指か	—	[5.5]	—	EK	5	良好	灰白	SK1007	灰釉・一部長石発泡	71-2
40	土師質土器	焙烙	32.0	5.8	32.8	AH	75	普通	にぶい橙	SK1007	砂目底 胎土粉質 外面煤付着	
41	土師質土器	火消壺	—	[8.4]	(23.2)	AH	20	普通	にぶい黄橙	SK1007	底部シワ状痕 胎土粉質	
42	土師質土器	乗燭	4.0	1.7	2.7	AH	100	普通	橙	SK1008	底部糸切痕 (左) 胎土粉質 灯芯煤付着	
43	磁器	油壺	—	[5.5]	—	—	20	普通	灰白	SK1009	肥前系 外面施釉・色絵 (赤)	71-3
44	陶器	皿	(13.7)	[2.5]	—	IK	10	良好	黄灰	SK1012	肥前系 藁灰釉	
45	陶器	甕	—	[4.5]	(16.9)	HI	5	良好	灰褐	SK1012	備前系 底部回転ケズリ 体部煤付着	71-4
46	土師質土器	植木鉢	6.0	5.3	3.8	AEH	80	普通	にぶい黄橙	SK1012	底部糸切痕 (左) 胎土粉質	
47	磁器	碗	(10.1)	[4.3]	—	—	15	普通	白	SK1013	肥前系 施釉, 釉ムラあり 口紅	
48	陶器	皿	—	[1.4]	5.6	EGH	20	普通	灰白	SK1013	瀬戸美濃系 長石釉 底外面目跡・見込ピン痕 (志野丸皿)	
49	陶器	皿	(19.0)	3.1	(11.2)	IK	25	良好	灰白	SK1013	瀬戸美濃系 灰釉 内面鉄釉・呉須絵	
50	陶器	德利	—	[11.8]	—	DGI	20	普通	灰白	SK1014	瀬戸美濃系 外面灰釉	
51	磁器	碗	—	[2.3]	—	—	5	良好	白	SK1018	肥前系 施釉 外面色絵 被熱	
52	陶器	德利	—	[4.3]	—	I	5	普通	淡黄	SK1018	瀬戸美濃系 灰釉 僅かに緑釉散る	
53	陶器	碗	8.7	5.3	3.2	DK	70	普通	灰白	SK1018	SK1029 接合 瀬戸美濃系 灰釉 外面呉須絵	
54	陶器	碗	10.2	7.3	4.8	D	70	良好	灰白	SK1018	瀬戸美濃系 灰釉 内面窯道具付着 (尾呂茶碗) 高台の一部に釉が厚く垂れる	
55	陶器	天目茶碗	11.0	6.6	4.9	DG	80	普通	灰白	SK1020	瀬戸美濃系 鉄釉	
56	陶器	坏	(6.4)	[2.9]	—	HI	20	良好	灰白	SK1020	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	
57	陶器	皿	(12.9)	3.0	7.0	I	60	良好	灰黄	SK1020	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重焼痕 煤付着	
58	陶器	片口鉢	14.0	[8.1]	—	HI	50	普通	灰白	SK1020	瀬戸美濃系 鉄釉	
59	かわらけ	小皿	(11.6)	[2.1]	—	AGI	5	普通	灰黄	SK1020	口縁部煤頭著に付着 胎土層状に剥離	71-5
60	磁器	坏	(5.6)	2.5	(1.5)	—	25	普通	白	SK1022	肥前系 施釉 外面上絵付 (赤)	71-6
61	磁器	皿	(13.4)	3.2	(7.3)	HK	40	不良	灰白	SK1022	肥前系 施釉・染付 やや陶胎	
62	施釉土器	蓋	—	1.4	3.2	AI	80	普通	橙	SK1022	上面施釉 下面凸状に刻印 (カンテラ)	
63	磁器	碗	(12.3)	[6.0]	—	—	15	普通	白	SK1024	肥前系 施釉・染付 外面色絵 (赤・緑・黄・紫)	71-7
64	磁器	碗	(8.6)	5.0	(3.4)	—	35	普通	灰白	SK1024	肥前系 施釉 外面染付	
65	磁器	碗	10.0	[4.7]	—	—	50	普通	灰白	SK1024	肥前系 施釉 外面染付	
66	磁器	皿	—	[2.5]	4.5	—	25	普通	灰白	SK1024	肥前系 青磁釉 内面蛇の目状釉剥	
67	磁器	皿	—	3.3	(8.6)	—	35	普通	白	SK1024	肥前系 施釉・染付 高台内ハリ支痕 1	
68	磁器	蓋物	—	[4.6]	8.6	—	25	普通	灰白	SK1024	肥前系 施釉 外面染付	
69	陶器	天目茶碗	(10.2)	[6.0]	—	DI	30	普通	灰白	SK1024	瀬戸美濃系 鉄釉	
70	陶器	天目茶碗	—	[4.5]	5.4	EHK	30	普通	にぶい黄橙	SK1024	瀬戸美濃系 鉄釉 露胎部錆化粧	
71	陶器	碗	—	[4.9]	(5.4)	I	25	良好	灰白	SK1024	瀬戸美濃系 灰釉 煤付着 (御室碗)	
72	陶器	碗	(11.0)	[3.0]	—	I	5	良好	黄灰	SK1024	肥前系 刷毛目釉	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
73	陶器	坏	(7.6)	3.0	3.8	I	70	普通	淡黄	SK1024	瀬戸美濃系 灰釉 被熱・煤付着	
74	陶器	灯明皿	(7.6)	2.4	(5.4)	EI	35	良好	黄灰	SK1024	志戸呂系 底部糸切痕 鉄釉 外面重焼痕	
75	陶器	灯明皿	(10.4)	2.0	(5.2)	I	30	良好	暗灰黄	SK1024	志戸呂系 鉄釉	
76	陶器	皿	(11.7)	3.1	6.0	DEI	35	良好	にぶい黄橙	SK1024	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重焼痕	
77	陶器	皿	(11.9)	3.6	4.3	I	30	良好	灰白	SK1024	肥前系 内面銅緑釉・蛇の目状釉剥 外面透明釉	
78	陶器	鉢	(15.6)	5.7	5.5	HI	50	良好	淡黄	SK1024	肥前系 灰釉 (内面刷毛目釉・蛇の目状釉剥) 漆継痕	
79	陶器	鉢	—	[3.2]	7.9	I	40	良好	灰白	SK1024	肥前系 灰釉 内面鉄絵	
80	陶器	鉢	—	[4.4]	(13.6)	E	10	普通	灰白	SK1024	瀬戸美濃系 灰釉 内面緑釉流掛・楡歯状文	
81	陶器	鉢	(30.5)	(10.2)	(11.8)	I	45	良好	橙	SK1024	肥前系 施釉 白土象嵌 内面目跡(砂目)	
82	陶器	播鉢	—	[10.2]	—	DE	5	良好	灰褐	SK1024	堺明石系 内面播目 被熱・黒化	
83	陶器	煙硝播	(12.9)	[5.1]	—	DGI	20	普通	灰白	SK1024	瀬戸美濃系 柿釉	
84	陶器	播鉢	—	[6.7]	(17.6)	DG	15	普通	橙	SK1024	堺明石系 砂目底, 弱くナデ 内面播目	
85	陶器	水注	3.8	10.6	7.5	DH	100	普通	淡黄	SK1024	瀬戸美濃系 外面灰釉	
86	陶器	徳利	—	[7.8]	(7.5)	I	15	良好	黄灰	SK1024	瀬戸美濃系 外面鉄釉	
87	陶器	徳利	—	[5.7]	(13.3)	D	5	良好	黄灰	SK1024	備前系 外面塗土・自然釉	
88	陶器	有耳壺	9.8	[9.0]	—	HI	20	普通	灰白	SK1024	瀬戸美濃系 外面灰釉	
89	陶器	甕	—	[5.2]	—	DE	5	良好	にぶい橙	SK1024	備前系 外面塗土	71-8
90	陶器	甕	(27.4)	[14.0]	—	DEHI	20	良好	黄灰	SK1024	備前系 外面塗土	71-9
91	瓦質土器	火鉢	(29.3)	[9.5]	(24.6)	CI	35	普通	灰白	SK1024	外面ミガキ 燻す 脚欠失	71-10
92	土師質土器	火鉢	—	[11.3]	(24.8)	AHI	20	良好	橙	SK1024	砂目底 胎土粉質 外面塗布物か	
93	瓦質土器	火鉢	(15.8)	[5.5]	—	CI	15	普通	灰白	SK1024	外面下位一部ミガキ, 上位はナデ消し	
94	土師質土器	焙烙	(38.2)	5.2	(30.1)	ADE	25	普通	明赤褐	SK1024	真壁系 底部スノコ状圧痕をナデ消し 外面煤付着	
95	瓦質土器	火鉢	(16.4)	6.3	(12.5)	ACI	30	普通	灰白	SK1024	外面煤付着 口縁部二次敲打	

65号土壌・第1号建物跡・第二面の第1111号土壌からも出土しているが、最も古段階の本跡に帰属するものとして報告する。鍋島焼は色絵牡丹文皿で、濃淡のある染付に加え、赤・緑・黄色で彩色される。外面には七宝結文が染付られ、僅かに遺存する高台に楡歯文もみえる。楡歯文は外縁で縁取りしたあとダミで塗り潰す。一部破片が被熱し、色絵が変色するとともに煤が少量付着する。また、断面に漆継痕が認められる。同文の皿が伊万里市鍋島藩窯跡で出土している(鍋島藩窯研究会2002)。盛期鍋島焼の製品で18世紀第2四半期に生産されたものである。宿場町から鍋島焼が出土する例は稀と思われ、その入手経路が問題と

なろう。

第1098号土壌 (第305図)

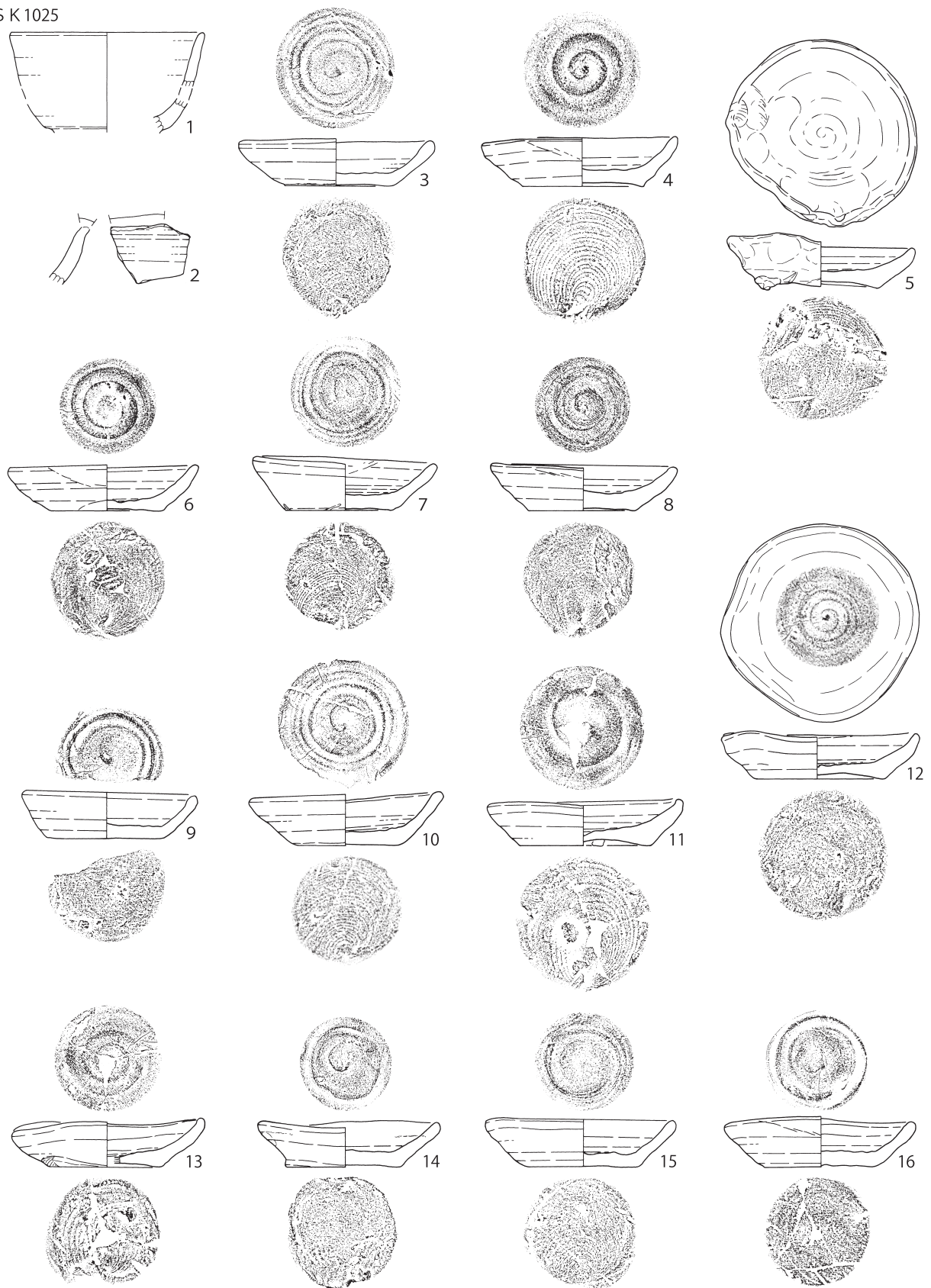
C6-A3グリッドに位置し、調査区東壁際から検出された。北東部は調査区外である。覆土はほぼ砂層であるが、中層に木片等を含む。上層を中心に軽石粒の包含が顕著であり、天明3年の浅間山噴火との関連も考え得る。

出土遺物は少なかったが、非ロクロ成形のかわらけが1点出土した(第334図137)。復原径18.1cmと大型のかわらけであり、焼成は硬質、色調は僅かに橙色味を帯びた灰白色であり、白色土器と言い得る。混入物は僅かで、白色粒子と、微細な雲母と思われる鉱物が含まれる。底面は焼

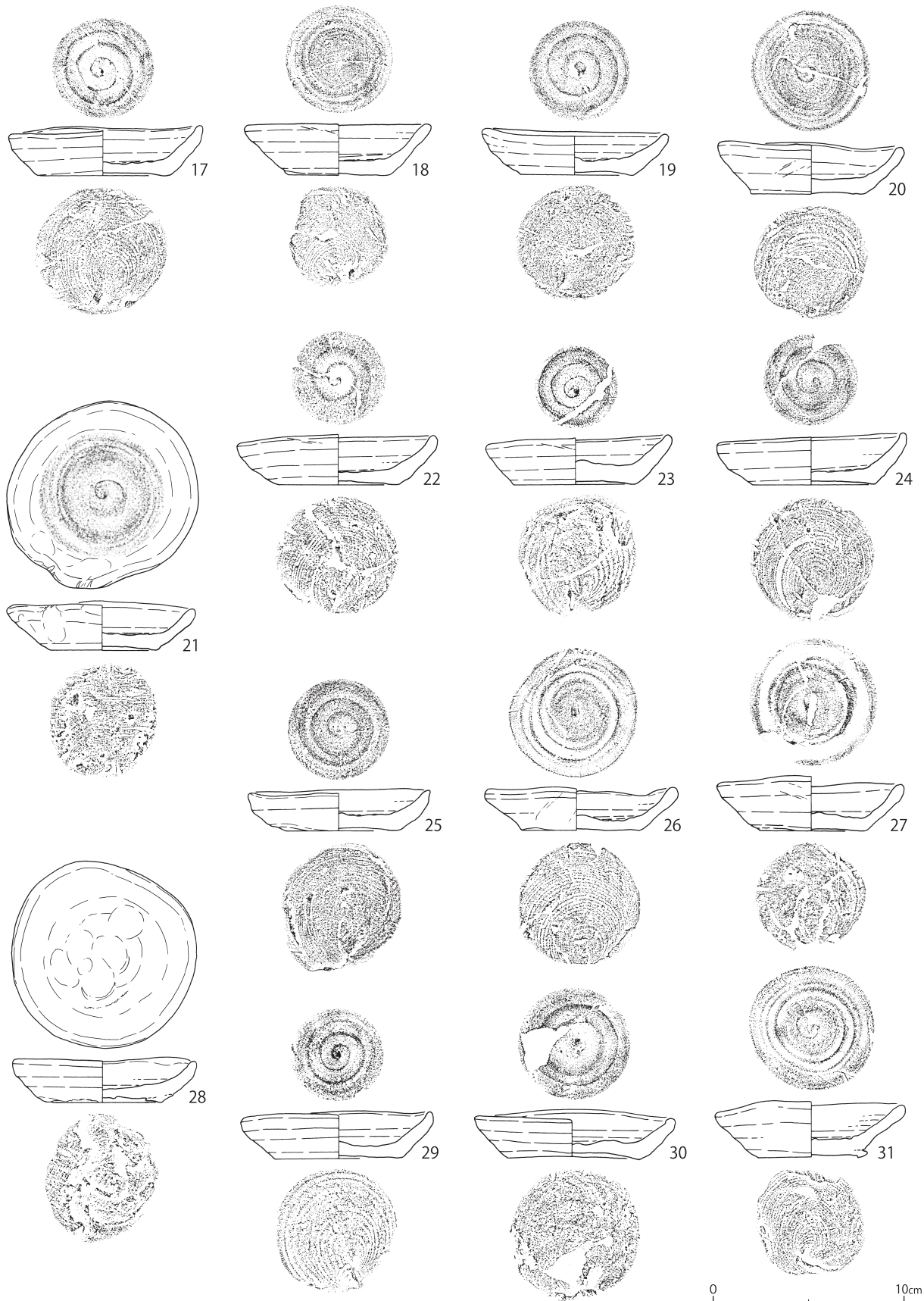
第62表 土壌出土遺物観察表(2)(第314～320図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	碗	(9.9)	[5.2]	—	K	5	良好	灰白	SK1025	瀬戸美濃系 柿釉・鉄釉流掛 接合しない2破片から図上復元	78-1
2	陶器	天目茶碗	—	[2.9]	—	EI	5	普通	灰白	SK1025	瀬戸美濃系 鉄釉 口縁部煤付着・破損前に二次利用	78-2
3	かわらけ	小皿	9.6	2.4	5.6	CFH	100	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕(左) 胎土砂質	78-5

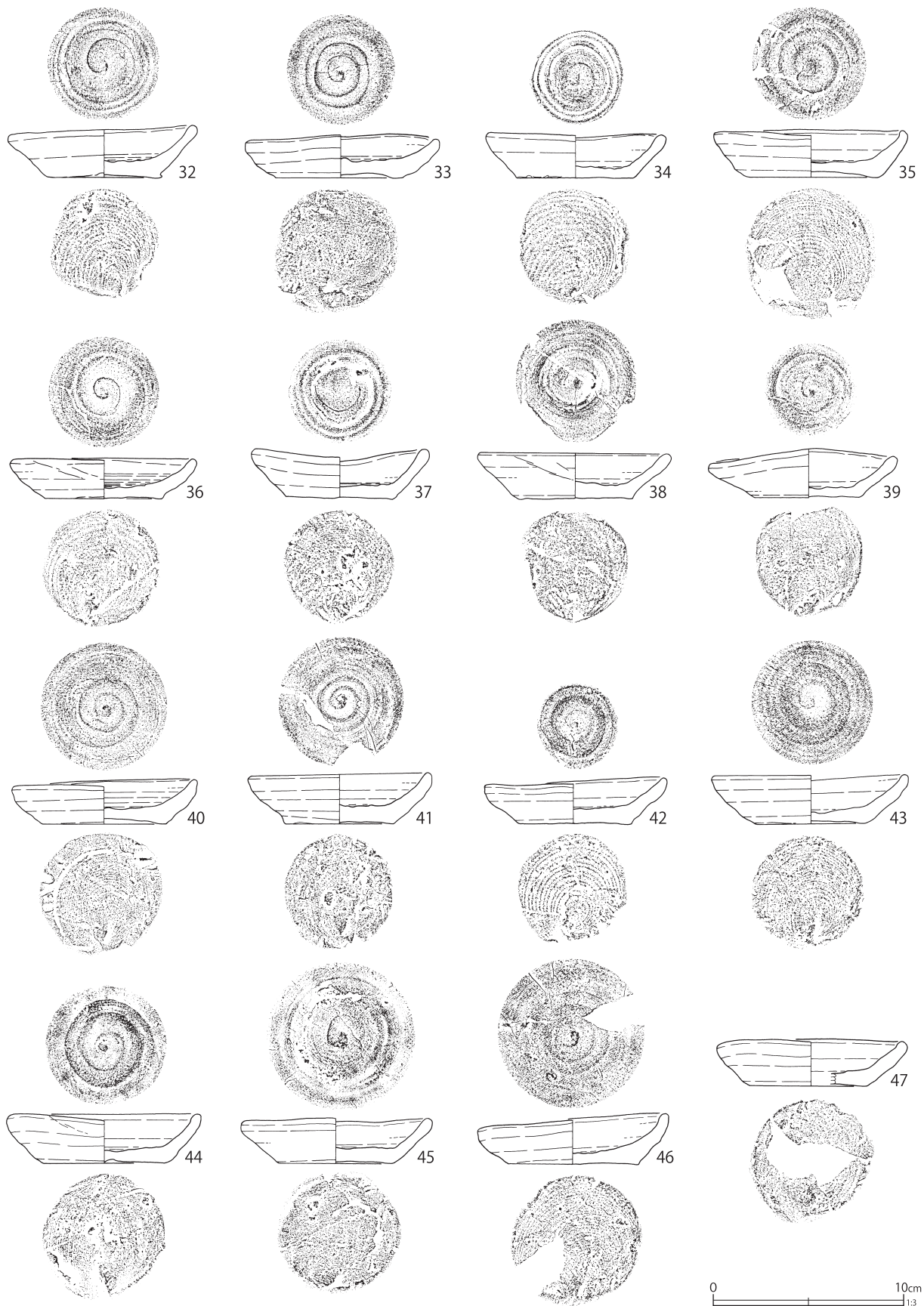
S K 1025



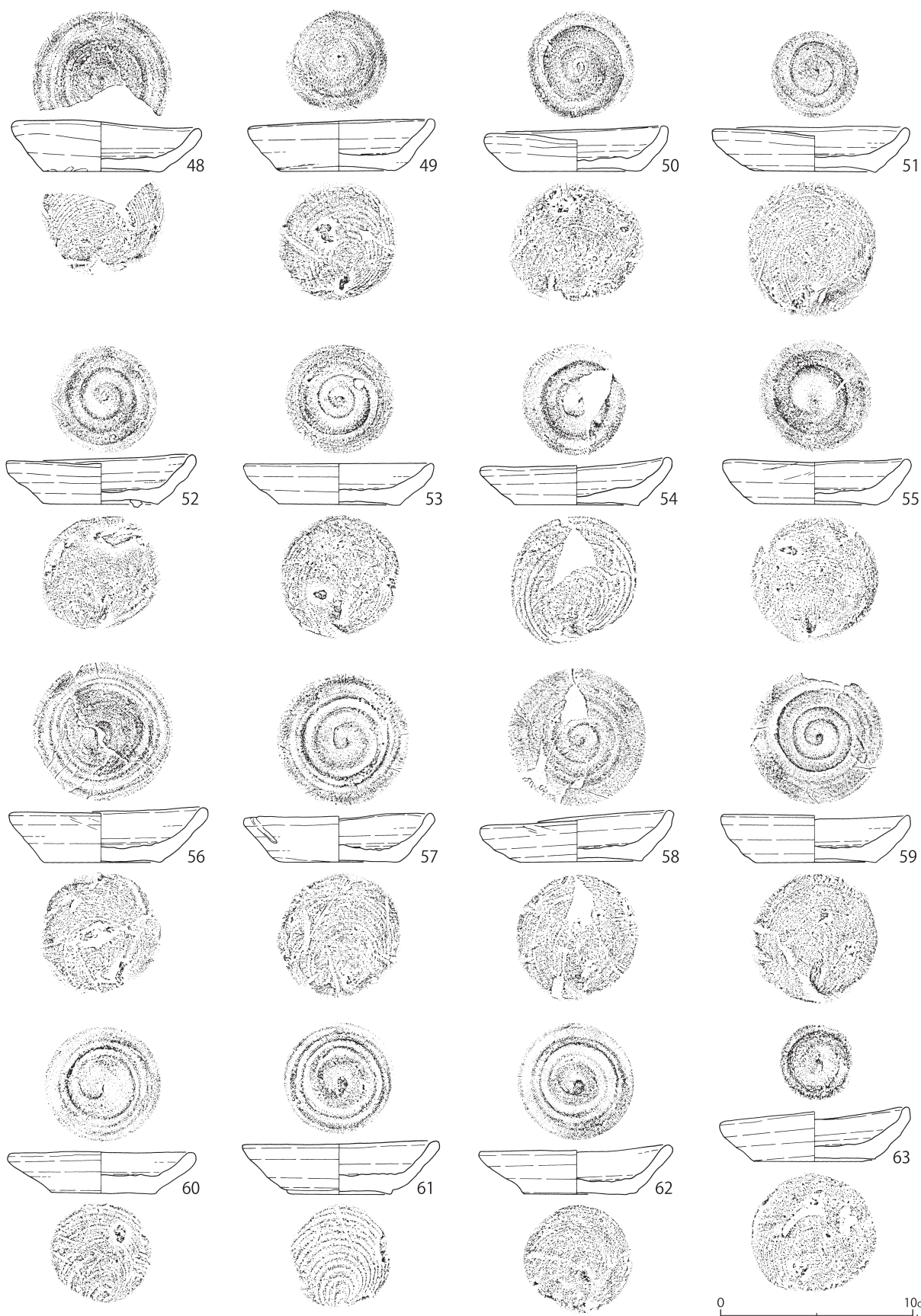
第 314 図 土壙出土遺物 (5)



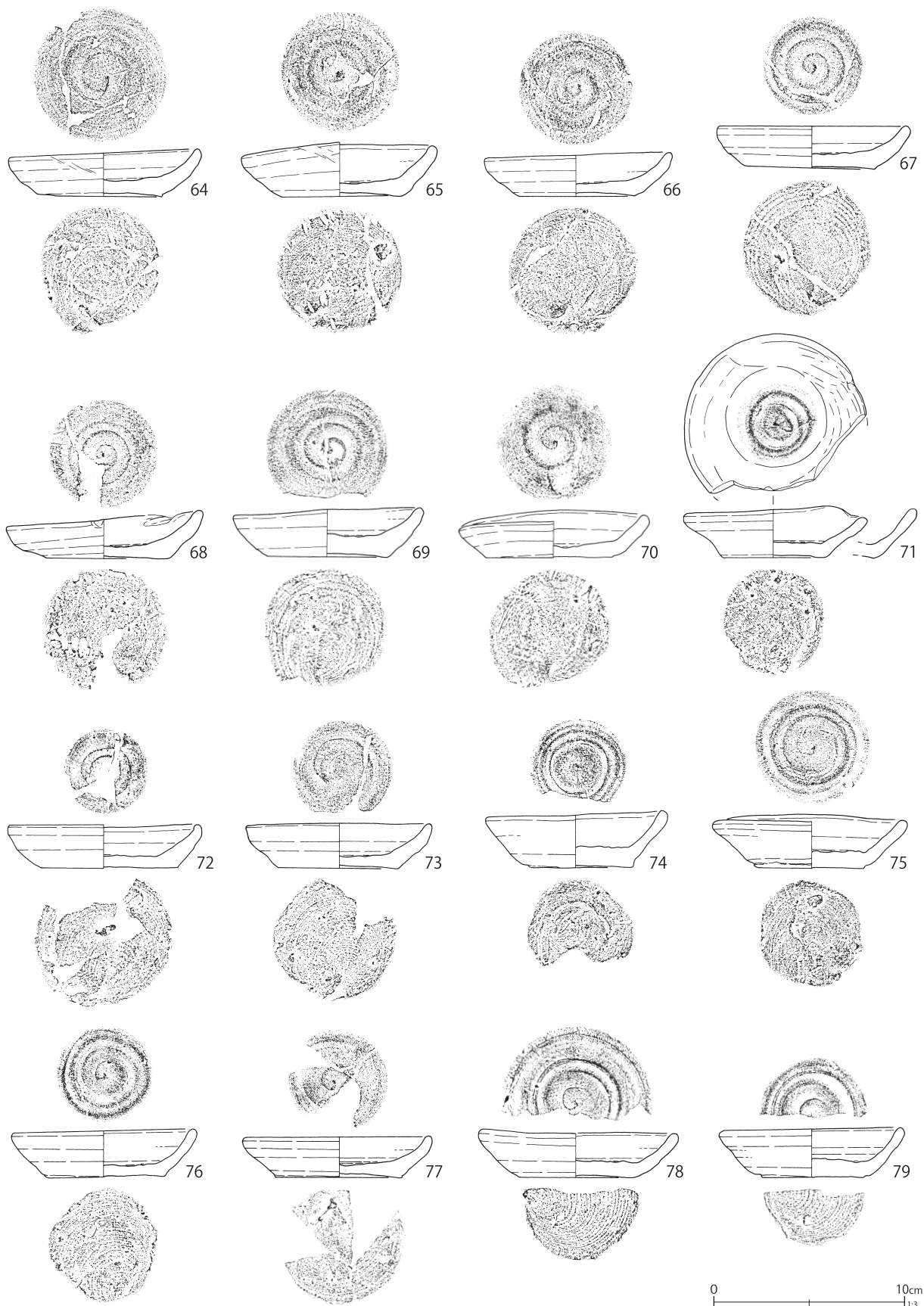
第 315 図 土壙出土遺物 (6)



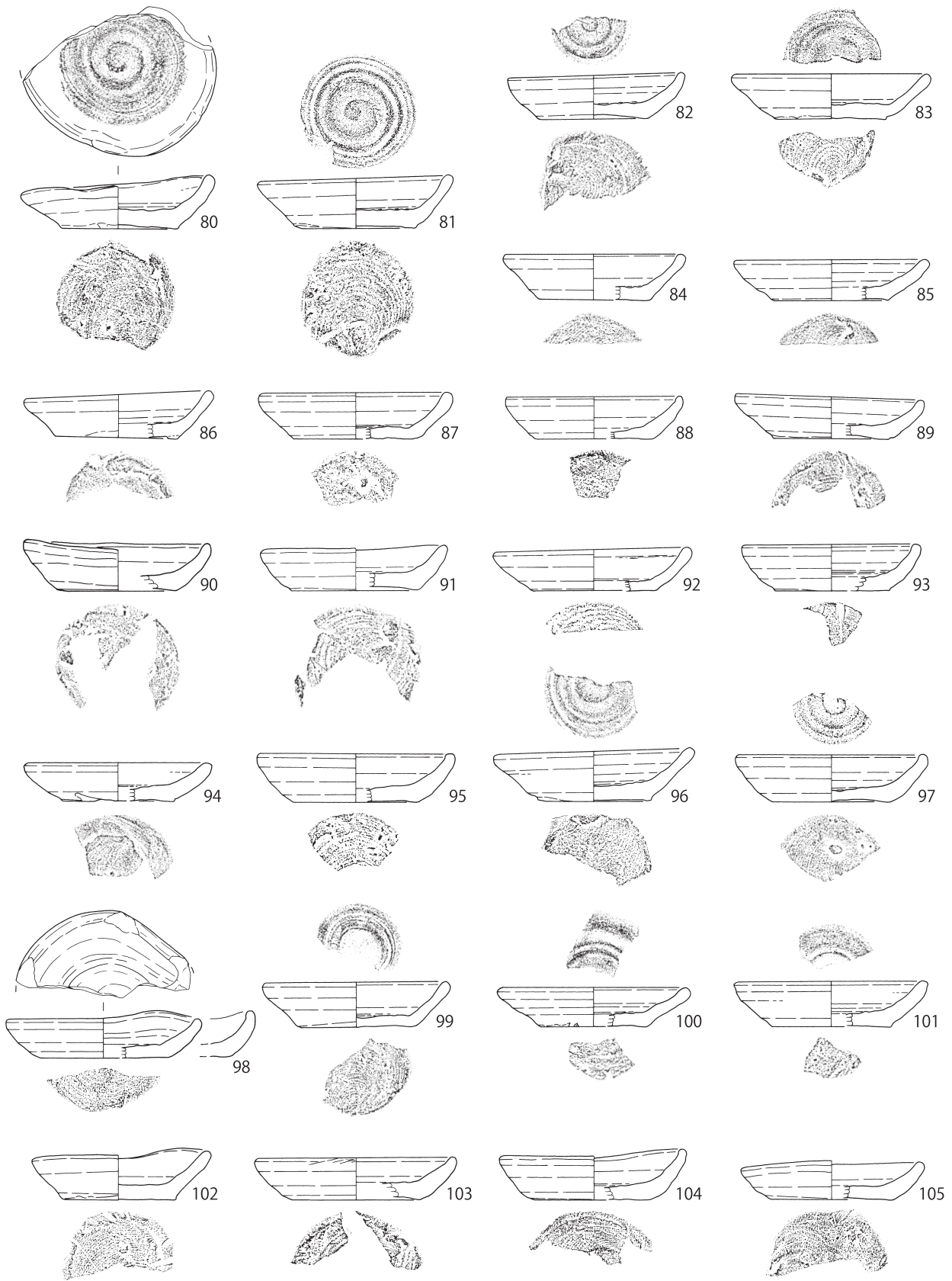
第 316 図 土壙出土遺物 (7)



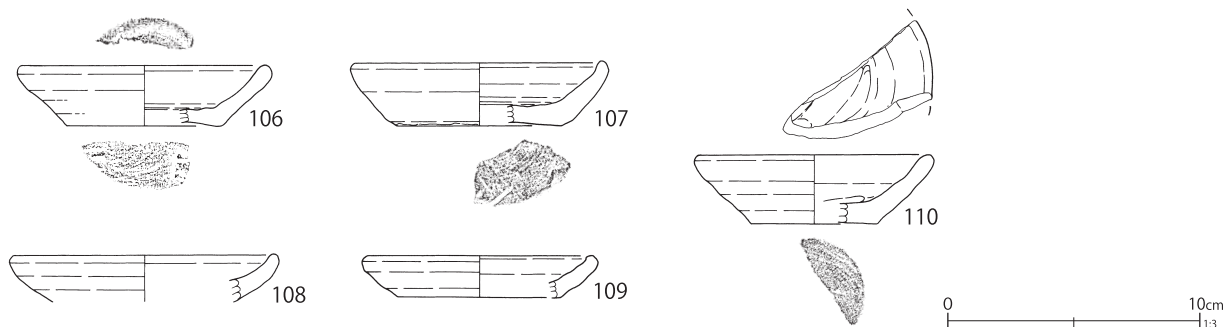
第 317 图 土壤出土遺物 (8)



第318图 土壙出土遺物(9)

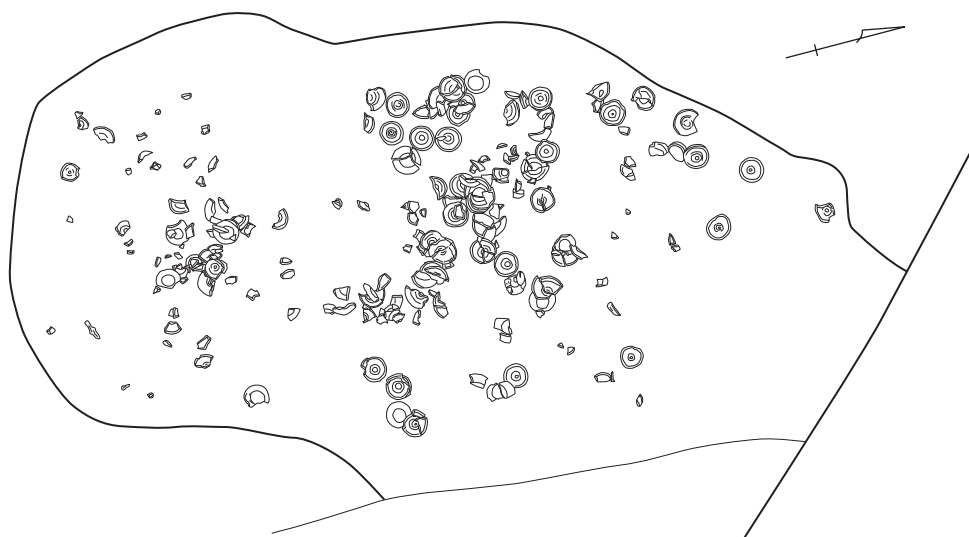


第 319 図 土壙出土遺物 (10)

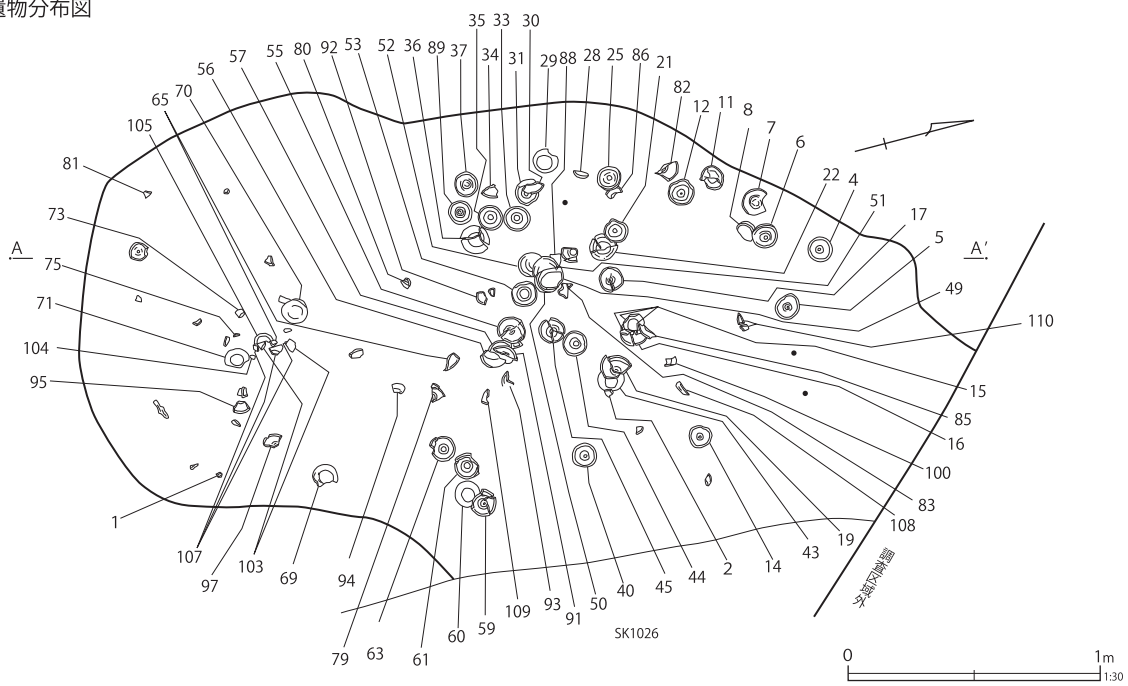


第 320 图 土壤出土遺物 (11)

SK1025 遺物分布图 (全体)

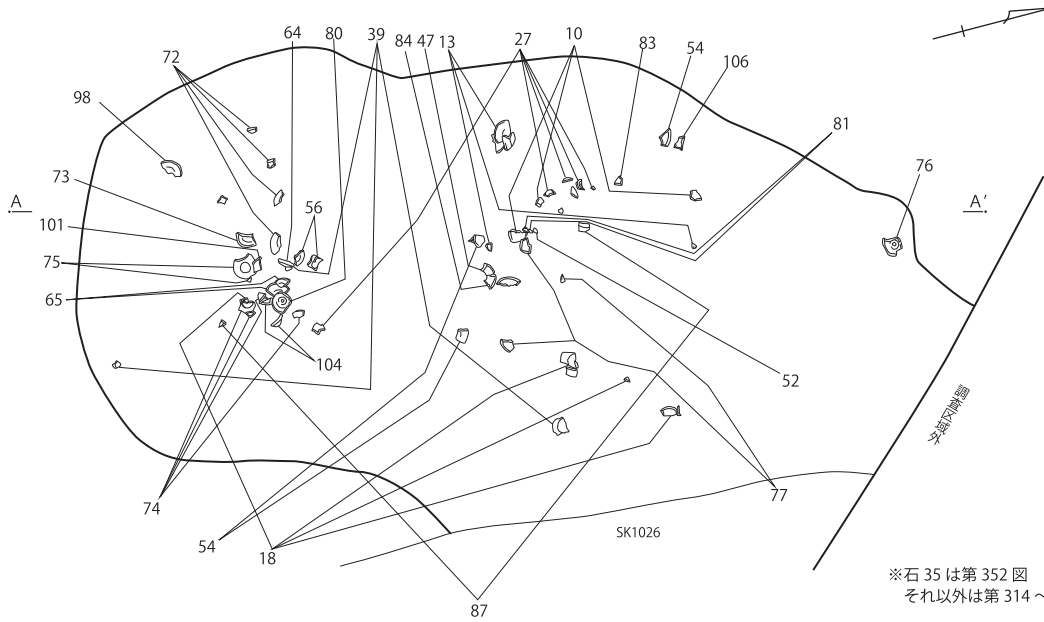
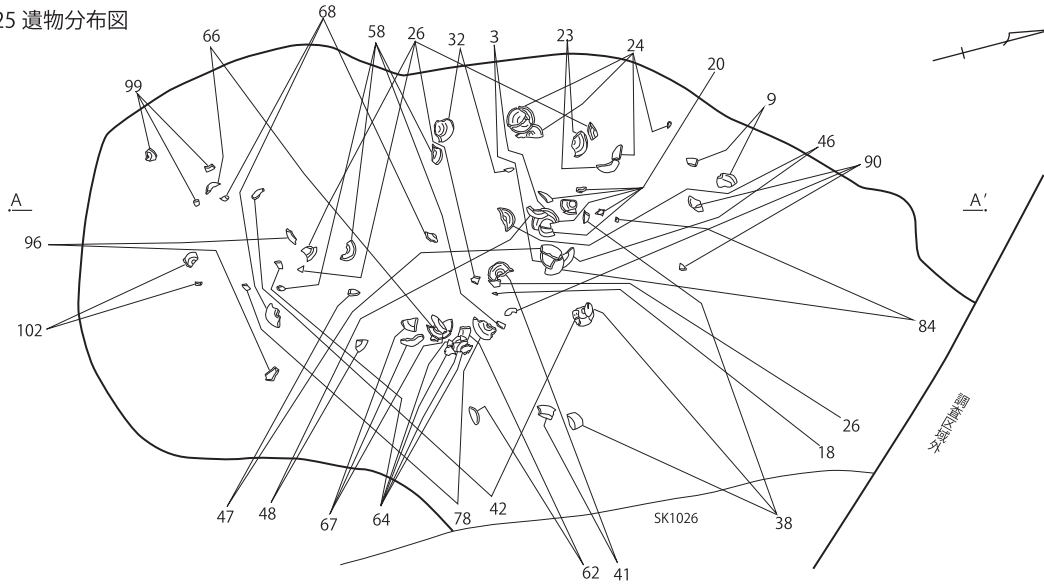


SK1025 遺物分布图

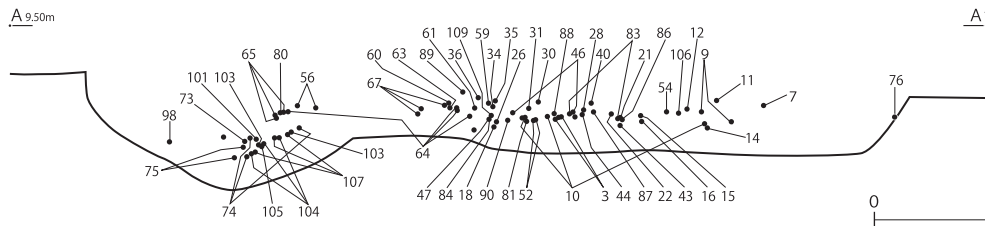
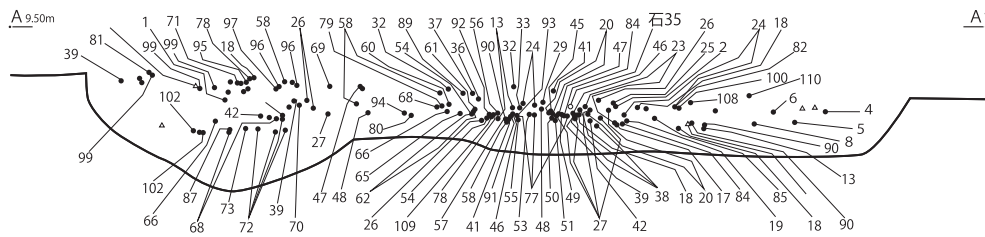


第 321 图 土壤遺物出土狀況 (1)

SK1025 遺物分布図



※石 35 は第 352 図
それ以外は第 314 ~ 320 図

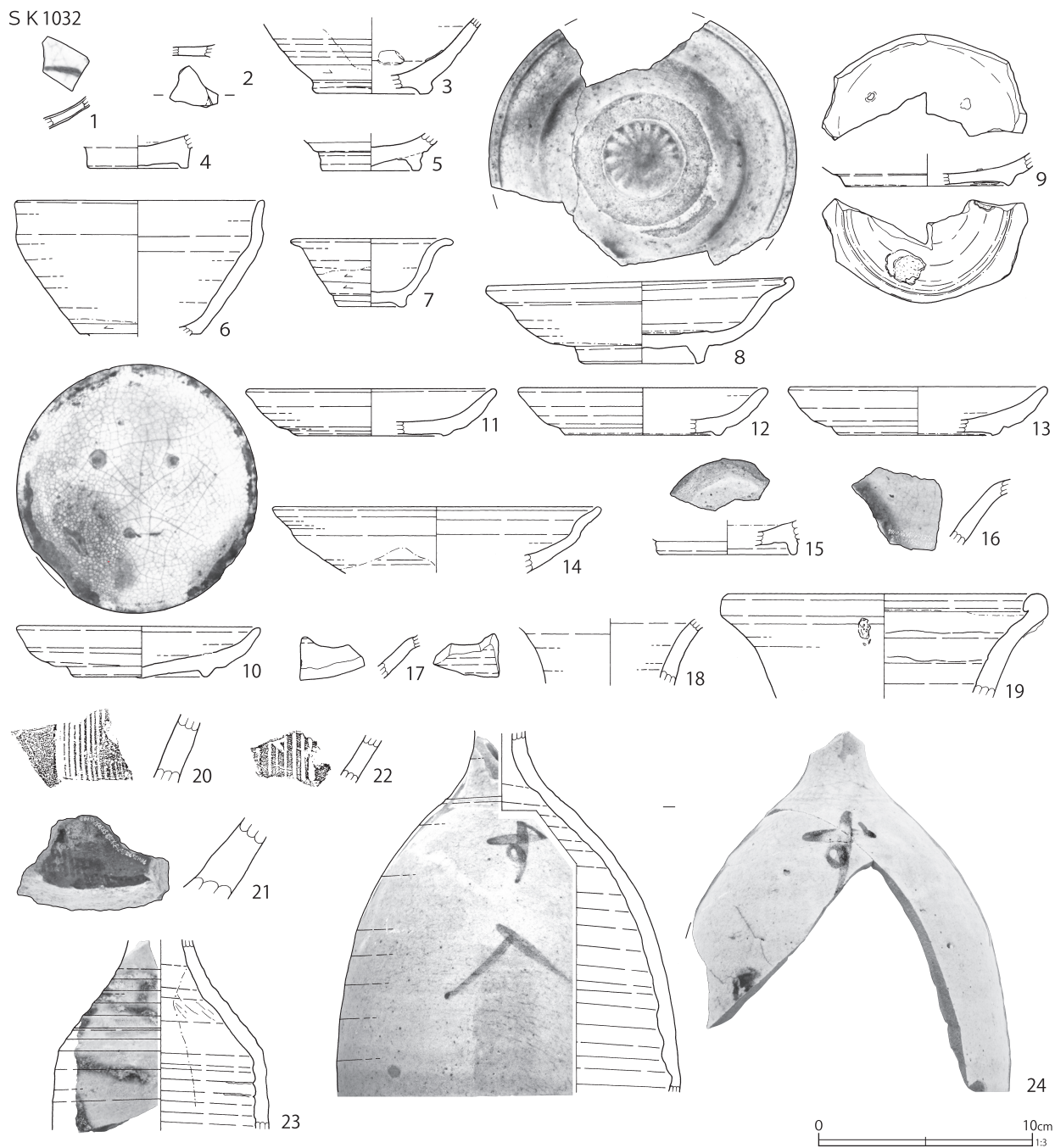


0 1m
1:30

第 322 図 土壌遺物出土状況 (2)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
4	かわらけ	小皿	10.0	2.5	6.2	CFHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-1
5	かわらけ	小皿	9.6	2.9	6.4	CFHI	100	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 歪み大きい	78-3
6	かわらけ	小皿	9.4	2.4	5.8	CFHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-6
7	かわらけ	小皿	9.2	2.8	5.4	CFHI	80	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-2
8	かわらけ	小皿	9.3	2.4	5.6	CFHI	95	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-3
9	かわらけ	小皿	(8.6)	2.5	6.0	CFHI	55	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
10	かわらけ	小皿	9.5	2.8	5.3	CHI	70	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-7
11	かわらけ	小皿	9.9	2.3	6.8	CFHI	80	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
12	かわらけ	小皿	9.9	2.5	6.6	CFGH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-4
13	かわらけ	小皿	9.7	2.5	5.7	CFH	85	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-4
14	かわらけ	小皿	9.0	2.4	5.9	CEFH	100	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-5
15	かわらけ	小皿	9.5	2.5	5.8	CFHI	55	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
16	かわらけ	小皿	9.5	2.6	5.6	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) をナデ消し 胎土砂質	78-8
17	かわらけ	小皿	9.8	2.5	6.9	CFHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-6
18	かわらけ	小皿	9.3	2.6	5.4	CFH	75	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-7
19	かわらけ	小皿	9.3	2.4	5.9	CEFH	70	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-8
20	かわらけ	小皿	9.3	2.7	5.9	CFHI	80	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
21	かわらけ	小皿	9.5	2.6	5.7	CFHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 歪み大きい	79-9
22	かわらけ	小皿	10.0	2.6	6.2	CFGH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-10
23	かわらけ	小皿	9.4	2.5	6.4	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 底部に亀裂	78-9
24	かわらけ	小皿	9.6	2.6	6.3	CFH	90	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-11
25	かわらけ	小皿	9.3	2.2	6.0	CFHI	95	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-12
26	かわらけ	小皿	9.6	2.2	6.3	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-10
27	かわらけ	小皿	9.4	2.8	5.6	CFH	75	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-13
28	かわらけ	小皿	9.3	2.3	6.0	CFH	100	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕・板目状圧痕 胎土砂質	79-14
29	かわらけ	小皿	9.6	2.4	6.6	CF	90	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-15
30	かわらけ	小皿	10.0	2.4	6.8	CFH	80	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-16
31	かわらけ	小皿	9.5	2.9	5.5	CFH	80	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-17
32	かわらけ	小皿	9.4	2.7	5.6	CFHI	70	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
33	かわらけ	小皿	9.8	2.3	6.6	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-11
34	かわらけ	小皿	8.9	2.3	6.0	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-18
35	かわらけ	小皿	9.7	2.5	6.8	CFH	95	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-19
36	かわらけ	小皿	9.3	2.1	6.0	CFH	95	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-20
37	かわらけ	小皿	8.7	2.6	5.6	CEFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 歪み大きい	79-21
38	かわらけ	小皿	(9.7)	2.4	6.0	CF	60	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕・板目状圧痕 胎土砂質	79-22
39	かわらけ	小皿	9.5	2.5	5.6	CHI	65	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-23
40	かわらけ	小皿	9.5	2.3	6.4	CHI	100	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-24
41	かわらけ	小皿	9.2	2.6	5.7	CFH	70	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-25
42	かわらけ	小皿	9.2	2.5	5.8	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-26
43	かわらけ	小皿	10.0	2.5	5.7	CEFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	79-27
44	かわらけ	小皿	9.8	2.5	6.3	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-1
45	かわらけ	小皿	9.6	2.5	5.8	CFH	95	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-2
46	かわらけ	小皿	9.8	2.7	6.7	CFH	80	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-3
47	かわらけ	小皿	9.4	2.4	6.0	CFHI	80	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	80-4
48	かわらけ	小皿	9.3	2.6	6.0	CF	55	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 歪み大きい	80-5
49	かわらけ	小皿	9.3	2.6	5.8	CFGH	70	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
50	かわらけ	小皿	9.2	2.4	6.5	CFH	95	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 歪み大きい	80-6
51	かわらけ	小皿	9.9	2.3	6.3	CFHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-7
52	かわらけ	小皿	9.6	2.6	6.0	CFH	90	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-8
53	かわらけ	小皿	9.5	2.1	6.2	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-9
54	かわらけ	小皿	9.7	2.4	6.4	CFH	80	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-10
55	かわらけ	小皿	9.3	2.3	6.5	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-11
56	かわらけ	小皿	9.8	2.7	6.1	CFH	80	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-12
57	かわらけ	小皿	9.5	2.5	6.1	CFH	85	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 体～底部にシノ状圧痕 胎土砂質	80-13

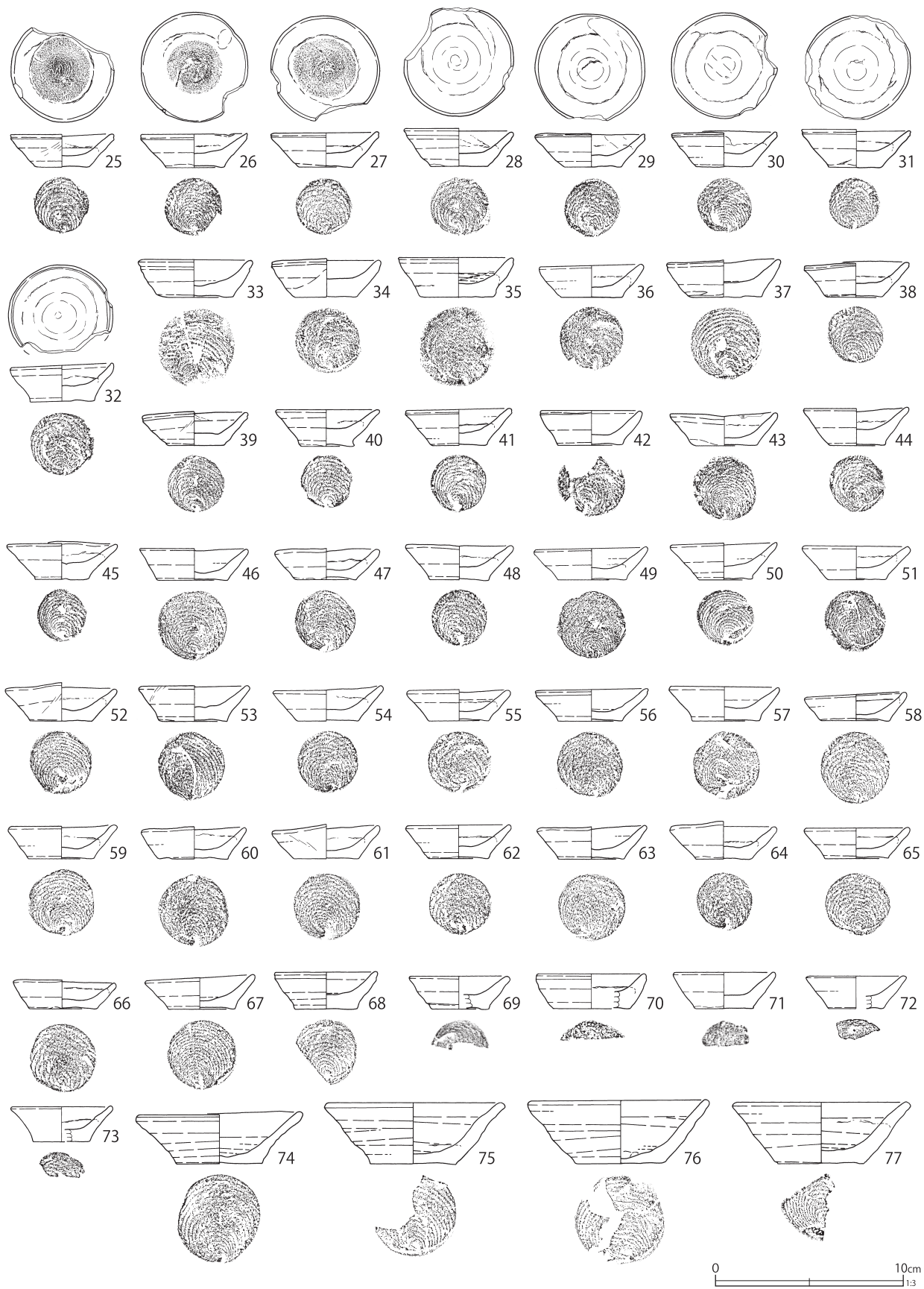
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
58	かわらけ	小皿	9.6	2.6	6.3	CFH	85	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-14
59	かわらけ	小皿	9.4	2.5	6.2	C	80	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-13
60	かわらけ	小皿	9.2	2.2	5.4	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-15
61	かわらけ	小皿	9.8	2.7	5.3	CHI	75	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	78-12
62	かわらけ	小皿	9.6	2.5	5.4	CHI	85	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-16
63	かわらけ	小皿	9.5	2.7	6.3	CHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 口縁部歪む	80-17
64	かわらけ	小皿	9.6	2.5	6.4	CH	70	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
65	かわらけ	小皿	9.7	2.6	6.3	CFH	90	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-18
66	かわらけ	小皿	9.6	2.3	6.1	CFH	90	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-19
67	かわらけ	小皿	9.6	2.2	6.7	CFH	75	普通	灰黄	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-20
68	かわらけ	小皿	9.9	2.5	6.3	CFH	70	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 歪み大	80-21
69	かわらけ	小皿	9.6	2.6	6.3	CFH	70	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-22
70	かわらけ	小皿	9.5	2.5	6.6	CFH	100	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-23
71	かわらけ	小皿	9.2	2.7	5.3	CFH	65	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕をナデ消し 胎土砂質	
72	かわらけ	小皿	9.8	2.2	7.2	CFH	70	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
73	かわらけ	小皿	9.4	2.3	6.2	CFH	65	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-24
74	かわらけ	小皿	9.0	2.9	5.4	CFH	65	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-25
75	かわらけ	小皿	9.7	2.7	5.6	CFH	75	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-26
76	かわらけ	小皿	(9.4)	2.4	6.0	CFH	55	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
77	かわらけ	小皿	(9.5)	2.1	6.5	CFH	50	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
78	かわらけ	小皿	9.9	2.4	5.8	CFH	55	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
79	かわらけ	小皿	(9.3)	2.5	5.3	CFH	35	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
80	かわらけ	小皿	(9.5)	2.8	6.0	CFH	60	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	80-27
81	かわらけ	小皿	(9.7)	2.7	6.0	CFH	55	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
82	かわらけ	小皿	(9.0)	2.3	5.5	CFH	40	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
83	かわらけ	小皿	(9.9)	2.3	(5.6)	CFH	30	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
84	かわらけ	小皿	(9.0)	2.3	(5.6)	CFHI	25	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
85	かわらけ	小皿	(9.7)	2.1	(5.8)	CFH	25	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
86	かわらけ	小皿	(9.4)	2.5	(6.2)	CFH	25	普通	にぶい黄橙	SK1025	胎土砂質	
87	かわらけ	小皿	(9.4)	2.4	(6.2)	CFH	30	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
88	かわらけ	小皿	(8.9)	2.2	(5.9)	CFHI	20	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
89	かわらけ	小皿	(9.4)	2.3	(5.9)	CEFH	40	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
90	かわらけ	小皿	9.3	2.6	6.1	CFHI	60	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
91	かわらけ	小皿	9.3	2.3	6.6	CFH	55	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
92	かわらけ	小皿	(9.8)	2.2	(6.4)	CFH	20	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
93	かわらけ	小皿	(8.9)	2.3	(6.0)	CFH	15	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
94	かわらけ	小皿	(9.3)	2.0	(5.7)	CFH	20	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
95	かわらけ	小皿	(9.8)	2.5	(6.4)	CFH	20	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
96	かわらけ	小皿	(10.0)	2.7	(5.9)	CFH	40	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
97	かわらけ	小皿	(9.6)	2.4	(6.0)	CFH	30	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
98	かわらけ	小皿	(9.7)	2.4	(6.6)	CHI	30	普通	浅黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質 口縁部歪む	
99	かわらけ	小皿	(9.5)	2.3	(5.7)	CF	40	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
100	かわらけ	小皿	(9.6)	2.0	(5.6)	CFH	10	普通	にぶい橙	SK1025	胎土砂質	
101	かわらけ	小皿	(9.7)	2.3	(6.1)	CFH	20	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
102	かわらけ	小皿	(9.2)	2.6	(5.8)	CF	40	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質 口縁部歪み大	
103	かわらけ	小皿	(10.0)	2.1	(6.5)	CFH	30	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
104	かわらけ	小皿	(9.4)	2.6	(6.1)	CFH	40	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
105	かわらけ	小皿	(9.3)	2.0	(6.2)	CFH	35	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
106	かわらけ	小皿	(9.6)	2.4	(6.1)	CFHI	15	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
107	かわらけ	小皿	(9.8)	2.5	(6.5)	CFH	15	普通	にぶい橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質	
108	かわらけ	小皿	(10.1)	[1.8]	—	CFH	15	普通	にぶい黄橙	SK1025	胎土砂質	
109	かわらけ	小皿	(8.8)	1.6	(6.4)	CFH	10	普通	浅黄橙	SK1025	胎土砂質	
110	かわらけ	小皿	(9.0)	2.7	(5.0)	EG	20	普通	にぶい黄橙	SK1025	底部糸切痕 胎土砂質 内面上位油煙付着	



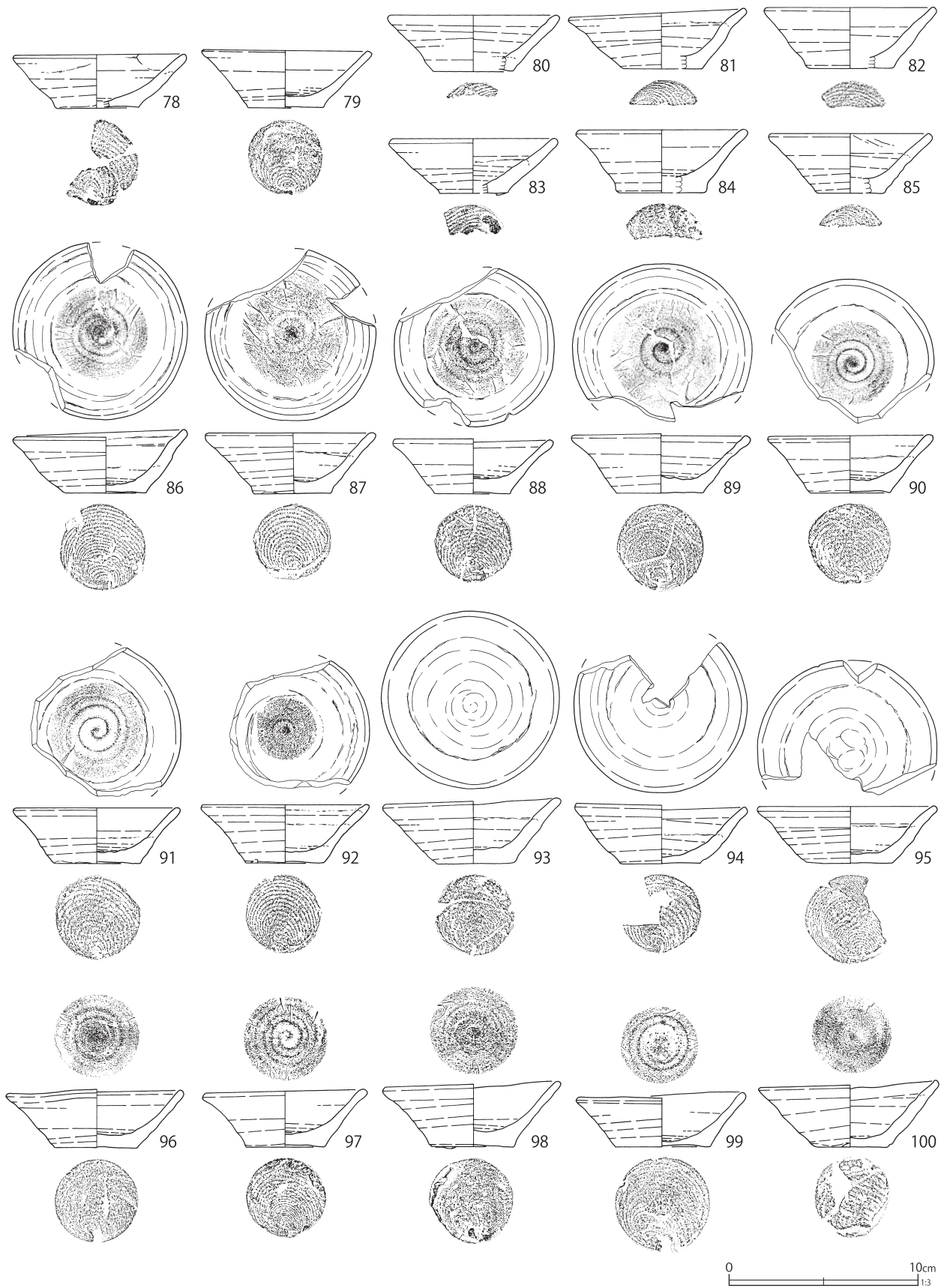
第 323 図 土壙出土遺物 (12)

第 63 表 土壙出土遺物観察表 (3) (第 323 ~ 326 図)

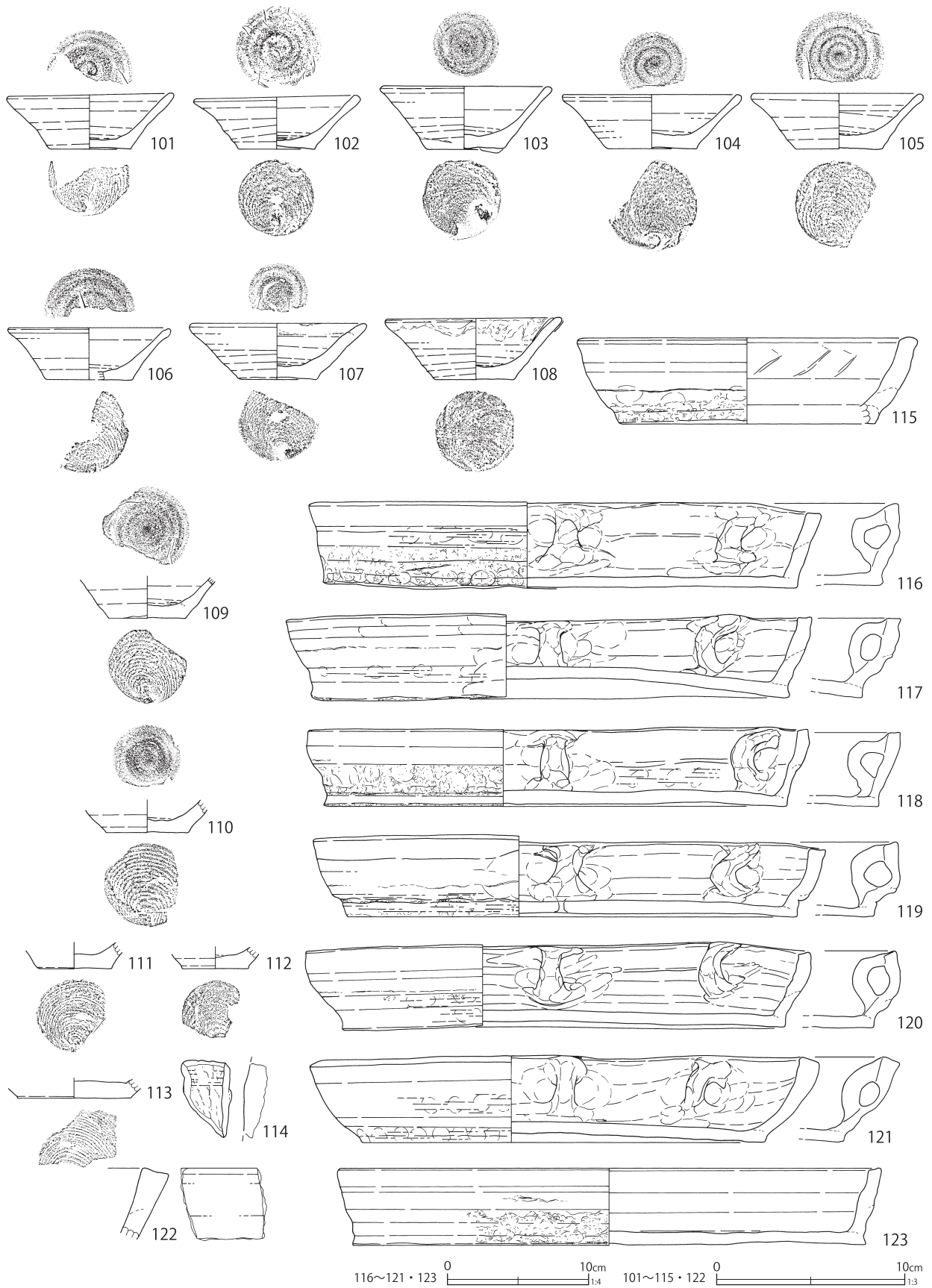
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	—	[1.4]	—	I	5	普通	にぶい橙	SK1032	中国漳州窯系 施釉 内面色絵 (緑)	81-1
2	磁器	皿か	—	[1.1]	—	—	5	良好	白	SK1032	肥前系 施釉	81-2
3	陶器	碗	—	[3.5]	(5.2)	IK	20	良好	灰白	SK1032	肥前系 灰釉 内面目跡 煤付着	81-3
4	陶器	碗	—	[1.5]	4.6	DIK	10	良好	黄灰	SK1032	肥前系か 内面灰釉 鉄粒含み釉に黒斑有	81-4
5	陶器	天目茶碗	—	[1.7]	4.5	IK	10	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 鉄釉	81-5
6	陶器	天目茶碗 (11.6)	—	[7.2]	—	DK	20	良好	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 鉄釉	81-5
7	陶器	坏	7.0	3.1	3.1	E	90	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 灰釉	81-6
8	陶器	皿	14.0	3.9	5.1	HIK	55	普通	淡黄	SK1032	瀬戸美濃系 灰釉 内面菊花陰刻文・蛇の目状釉剥	81-7
9	陶器	皿	—	[1.5]	7.5	I	20	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 灰釉 内面ピン痕 底部目跡	81-8



第 324 図 土壙出土遺物 (13)



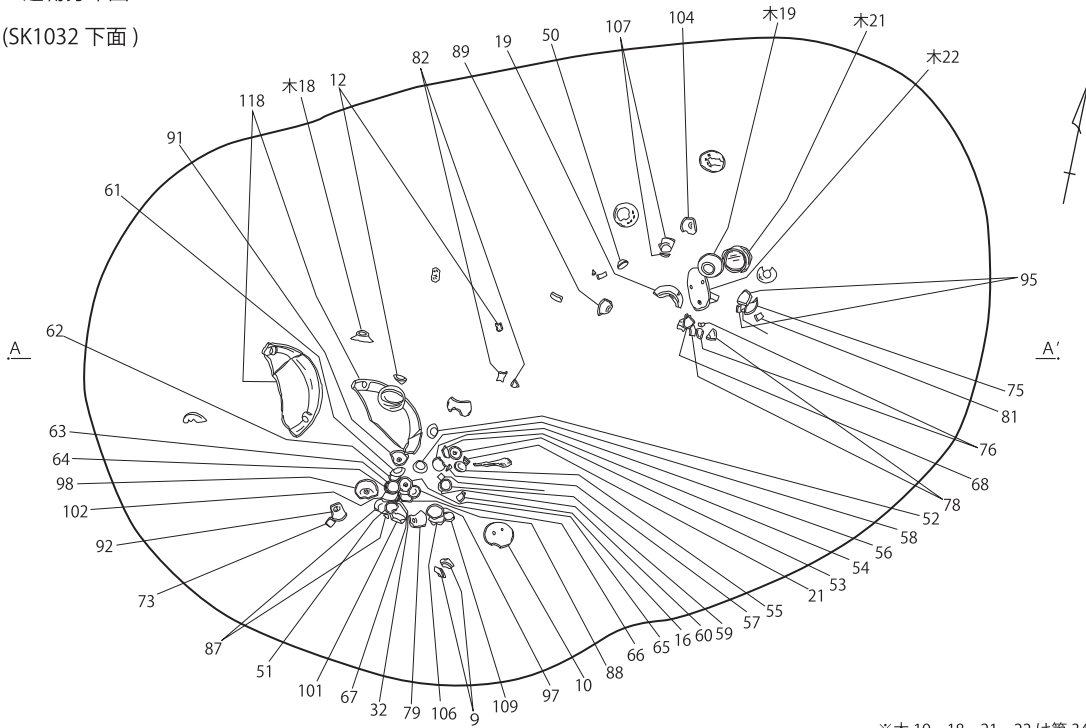
第 325 図 土壙出土遺物 (14)



第 326 図 土壙出土遺物 (15)

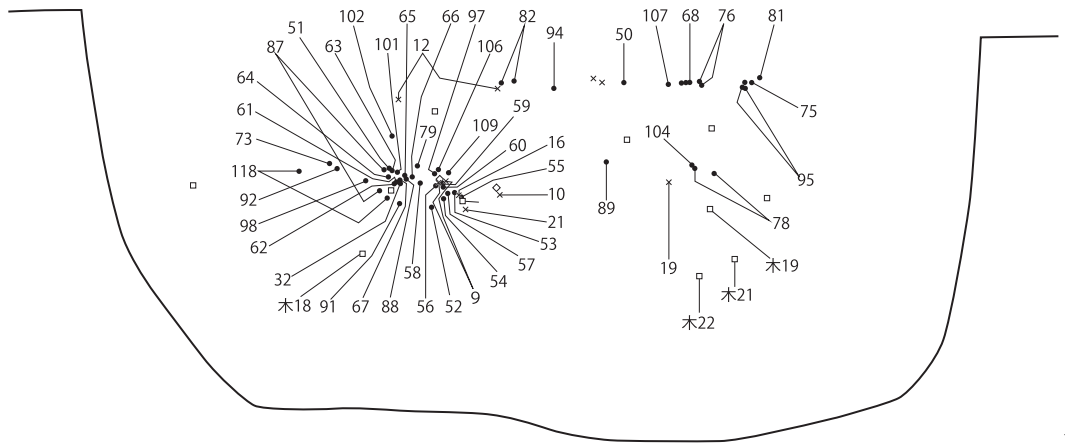
SK1032 遺物分布図

(SK1032 下面)



※木 19・18・21・22 は第 344 図
それ以外は第 323～326 図

A 9.50m

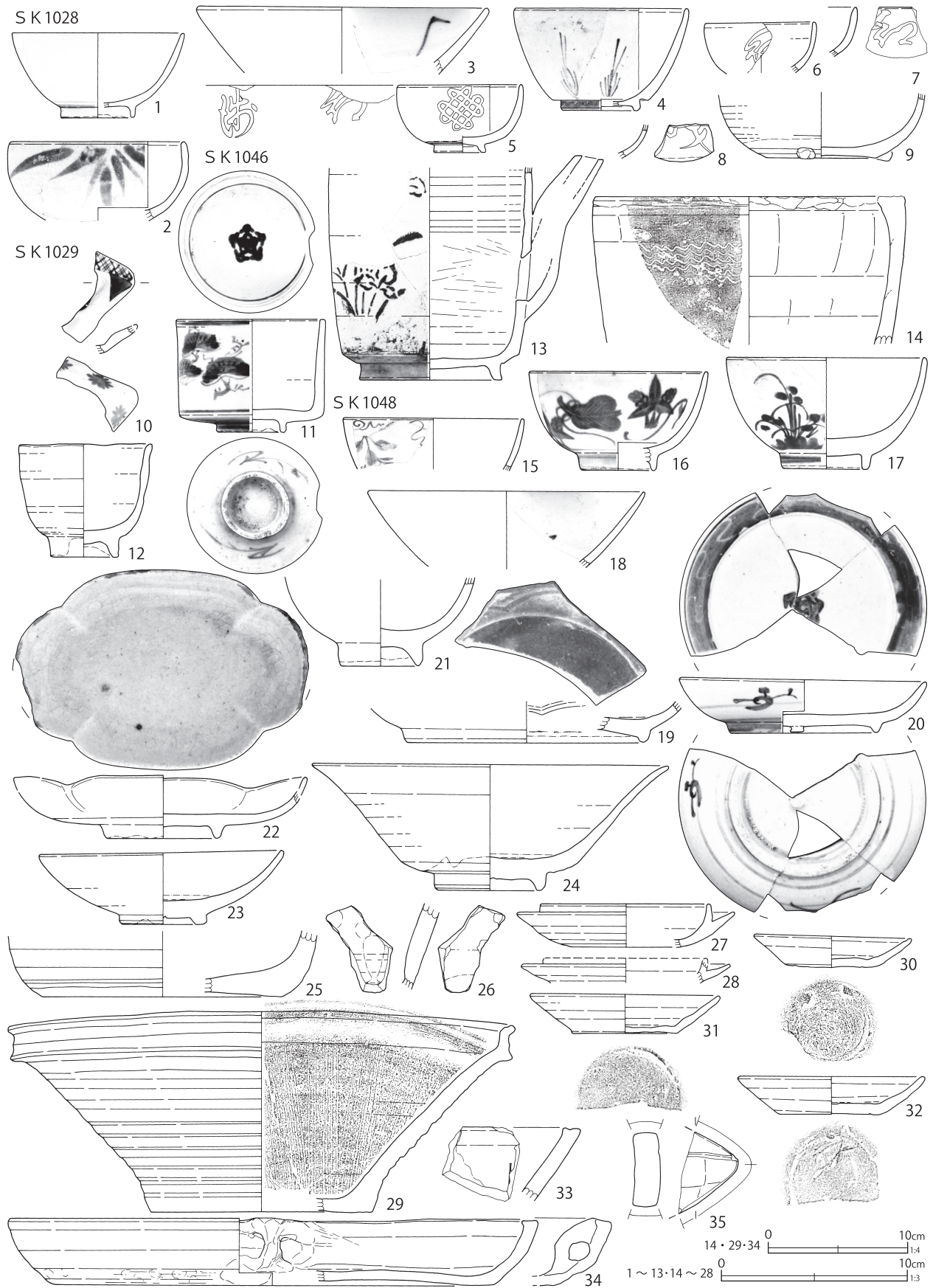


第 328 図 土壌遺物出土状況 (4)

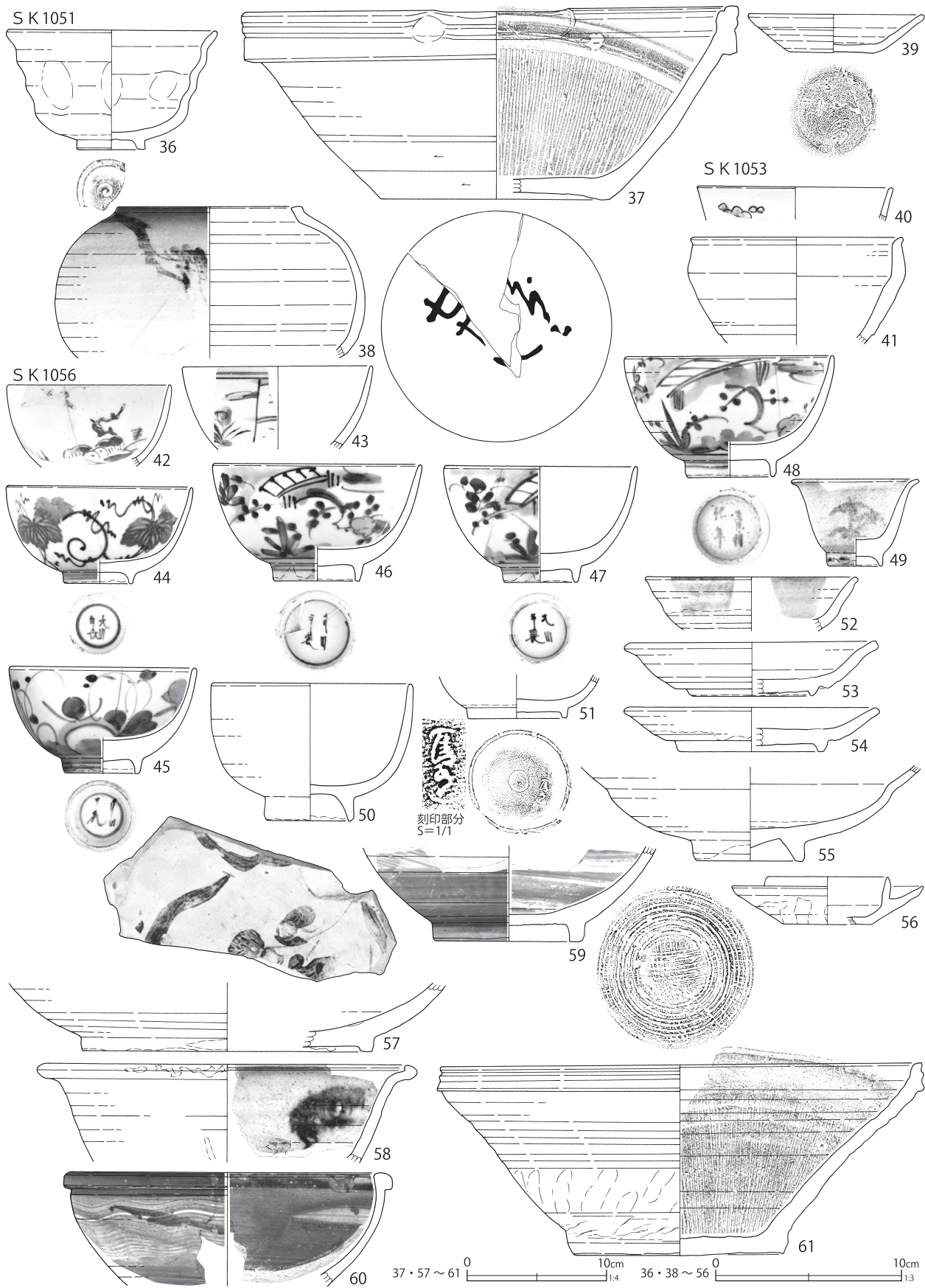
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
10	陶器	皿	11.3	2.4	6.2	E	90	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 長石釉 内面ピン痕 油煙・煤付着 (志野丸皿)	81-9
11	陶器	皿	(11.4)	2.2	(6.8)	IK	15	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 長石釉 (志野丸皿)	
12	陶器	皿	(11.4)	2.2	(7.4)	IK	15	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 長石釉 高台畳付部露胎 (二次研磨によるものか) (志野丸皿)	
13	陶器	皿	(11.7)	2.2	(7.3)	I	15	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 長石釉 被熱 (志野丸皿)	
14	陶器	皿	(15.0)	[3.1]	—	I	10	良好	灰	SK1032	肥前系 藁灰釉 破損後被熱	81-10
15	陶器	皿	—	[1.6]	(6.3)	D	5	良好	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 長石釉・蛇の目状釉剥 (志野輪禿皿)	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
16	陶器	鉢	—	[3.0]	—	D	5	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 灰釉 内面緑釉流掛	
17	陶器	鉢	—	[2.0]	—	I	5	良好	にぶい橙	SK1032	肥前系 刷毛目釉か	81-11
18	陶器	花瓶か	—	[3.1]	—	DI	5	良好	灰白	SK1032	古瀬戸 灰釉	81-12
19	陶器	煙硝播	(14.4)	[4.8]	—	I	25	良好	灰	SK1032	瀬戸美濃系 外面柿釉・窯内付着物あり	81-13
20	陶器	播鉢	—	[3.2]	—	D	5	普通	淡黄	SK1032	瀬戸美濃系 錆釉 内面播目	
21	陶器	播鉢	—	[3.8]	—	DE	5	普通	灰白	SK1032	瀬戸美濃系 錆釉 内面播目は摩耗 被熱	
22	瓦質土器	播鉢	—	[2.2]	—	GHI	5	良好	浅黄	SK1032	内面播目 燻す	
23	陶器	瓶類	—	[8.8]	—	D	15	良好	淡黄	SK1032	瀬戸美濃系 灰釉・銅緑釉流掛	81-14
24	陶器	德利	—	[16.6]	—	HIK	40	良好	黄灰	SK1032	瀬戸美濃系 外面施釉(長石釉か)・鉄 絵で文字「す入/す[入カ]」	81-15
25	かわらけ	小皿	5.3	1.7	2.8	CEHI	70	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右) 内底面糸切痕	82-1
26	かわらけ	小皿	5.5	1.8	3.0	EHI	90	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右) 内底面糸切痕	82-2
27	かわらけ	小皿	5.4	1.8	2.9	EHI	80	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-3
28	かわらけ	小皿	5.6	2.0	3.0	EHI	85	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-4
29	かわらけ	小皿	5.7	1.8	3.0	EHI	95	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-5
30	かわらけ	小皿	5.4	1.9	2.9	CEHI	90	普通	にぶい褐	SK1032	底部糸切痕(右)	82-6
31	かわらけ	小皿	5.5	2.0	2.7	CEHI	85	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-7
32	かわらけ	小皿	5.3	2.0	3.3	CEGI	70	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	83-8
33	かわらけ	小皿	5.8	1.9	4.0	CHI	70	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)・板目状圧痕	82-8
34	かわらけ	小皿	5.4	2.0	3.4	EGHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-9
35	かわらけ	小皿	(5.9)	2.1	3.8	EGHI	55	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕(右)・板目状圧痕	82-10
36	かわらけ	小皿	5.2	1.7	3.2	EHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-11
37	かわらけ	小皿	5.8	2.0	3.7	EHIK	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-12
38	かわらけ	小皿	5.3	1.9	3.0	ACEHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-13
39	かわらけ	小皿	5.3	1.8	3.0	CEHI	100	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-14
40	かわらけ	小皿	5.3	1.9	2.8	EHI	90	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-15
41	かわらけ	小皿	5.4	1.9	3.0	CEHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-16
42	かわらけ	小皿	5.0	1.8	3.4	CEHI	60	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-17
43	かわらけ	小皿	5.4	1.7	3.3	EI	70	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右) 口縁部タール付着	82-18
44	かわらけ	小皿	5.4	1.9	3.0	EHI	75	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-19
45	かわらけ	小皿	5.5	2.0	2.8	EHIK	90	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	82-20
46	かわらけ	小皿	5.5	1.6	3.7	CEI	90	普通	灰黄褐	SK1032	底部糸切痕(右)	83-9
47	かわらけ	小皿	5.2	1.6	3.3	EI	85	普通	灰黄褐	SK1032	底部糸切痕(右)	83-10
48	かわらけ	小皿	5.4	1.8	3.0	CEI	80	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
49	かわらけ	小皿	5.8	1.7	3.6	CEI	80	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	83-11
50	かわらけ	小皿	5.5	1.9	2.9	CEHI	80	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
51	かわらけ	小皿	5.4	1.8	3.0	CEGI	75	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
52	かわらけ	小皿	5.7	2.0	3.3	EIK	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
53	かわらけ	小皿	5.5	1.8	3.5	EIK	100	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
54	かわらけ	小皿	5.6	1.8	3.3	EI	100	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
55	かわらけ	小皿	5.2	1.6	3.2	EI	95	普通	にぶい黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
56	かわらけ	小皿	5.7	1.7	3.4	CEHI	65	普通	灰黄褐	SK1032	底部糸切痕(右)	
57	かわらけ	小皿	5.6	1.8	3.6	CEI	60	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
58	かわらけ	小皿	5.2	1.5	3.7	CEGI	90	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
59	かわらけ	小皿	5.4	1.7	3.5	EI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
60	かわらけ	小皿	5.4	1.7	3.6	CEI	90	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
61	かわらけ	小皿	5.5	1.8	3.5	CE	100	普通	灰黄褐	SK1032	底部糸切痕(右)	
62	かわらけ	小皿	5.3	1.8	3.2	CEI	80	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
63	かわらけ	小皿	5.6	1.7	3.5	CEHI	95	普通	にぶい黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
64	かわらけ	小皿	5.3	2.0	2.9	CEI	100	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕(右)	
65	かわらけ	小皿	5.3	1.6	3.3	EGI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
66	かわらけ	小皿	5.2	1.5	3.6	CEI	90	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
67	かわらけ	小皿	5.6	1.8	3.5	CEGI	80	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
68	かわらけ	小皿	(5.3)	1.9	3.3	EHI	50	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	
69	かわらけ	小皿	5.1	1.7	3.0	EHI	50	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕(右)	83-12

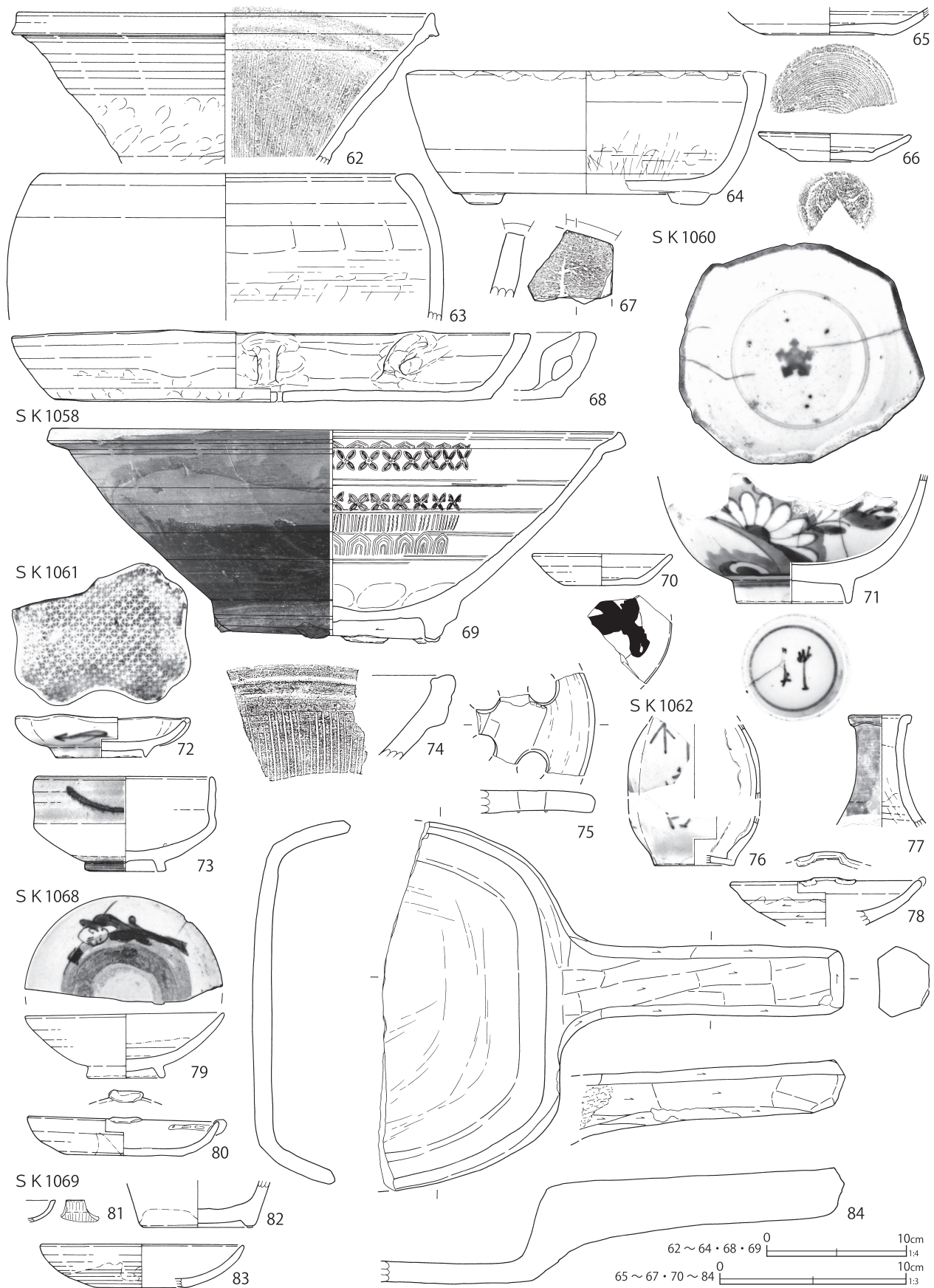
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
70	かわらけ	小皿	(5.6)	1.8	(4.1)	CEGHI	25	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	
71	かわらけ	小皿	(5.2)	1.9	(3.1)	HI	25	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕・板目状圧痕	
72	かわらけ	小皿	(5.2)	1.7	(3.1)	CEHI	20	普通	灰黄褐	SK1032	底部糸切痕	
73	かわらけ	小皿	(5.2)	1.8	(3.0)	CEHI	20	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	
74	かわらけ	小皿	8.5	2.7	4.6	CEGI	60	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右) 口縁部に歪み	83-13
75	かわらけ	小皿	9.1	3.2	4.5	CEGI	60	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-14
76	かわらけ	小皿	9.3	3.2	4.7	CEI	75	普通	灰白	SK1032	底部糸切痕 (右)・板状圧痕 弱く燻す	83-15
77	かわらけ	小皿	(9.1)	3.2	(4.5)	CGI	25	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
78	かわらけ	小皿	8.8	2.8	4.4	CHI	70	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-16
79	かわらけ	小皿	(8.6)	3.0	3.9	CEHI	50	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-17
80	かわらけ	小皿	8.7	2.9	(4.2)	EGI	55	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	83-18
81	かわらけ	小皿	(9.2)	3.2	(4.2)	CEHI	35	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
82	かわらけ	小皿	(8.7)	3.2	(4.4)	CHI	35	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	
83	かわらけ	小皿	(8.5)	2.8	(3.6)	CHI	25	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	
84	かわらけ	小皿	(8.7)	3.3	(4.5)	EGHIK	20	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕 (摩耗激しい) 胎土砂質	
85	かわらけ	小皿	(8.3)	3.1	(3.5)	CEHI	25	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	
86	かわらけ	小皿	8.8	3.3	4.3	CEGK	80	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-19
87	かわらけ	小皿	8.6	3.1	4.0	CEGHI	75	普通	灰黄	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-20
88	かわらけ	小皿	8.1	2.9	4.0	EGHI	70	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
89	かわらけ	小皿	9.0	3.1	4.5	CEHI	75	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
90	かわらけ	小皿	(8.4)	3.0	4.3	EGI	65	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
91	かわらけ	小皿	(8.4)	2.9	4.6	CEHI	60	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
92	かわらけ	小皿	(8.7)	3.1	4.1	CEGHI	50	普通	にぶい黄	SK1032	底部糸切痕 (右)	
93	かわらけ	小皿	8.9	3.4	4.3	CEHI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
94	かわらけ	小皿	8.8	3.2	4.2	CEGI	65	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
95	かわらけ	小皿	9.2	3.0	4.6	CEI	55	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
96	かわらけ	小皿	9.0	3.0	4.4	EHK	70	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右) 口縁部歪み大きい	
97	かわらけ	小皿	8.2	3.0	4.1	CEGI	70	普通	にぶい黄	SK1032	底部糸切痕 (右)	
98	かわらけ	小皿	9.0	3.4	4.3	CEI	75	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
99	かわらけ	小皿	8.6	2.8	5.0	EI	100	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-21
100	かわらけ	小皿	9.1	3.5	3.9	CEGI	85	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-22
101	かわらけ	小皿	8.6	2.9	4.2	EGI	50	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-23
102	かわらけ	小皿	(8.5)	2.8	4.0	CEHI	55	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
103	かわらけ	小皿	(8.8)	3.2	4.1	CE	50	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
104	かわらけ	小皿	(9.2)	2.9	4.7	CEI	50	普通	にぶい橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-24
105	かわらけ	小皿	(8.8)	2.9	4.5	CGHI	50	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-25
106	かわらけ	小皿	8.3	2.7	4.6	CEI	40	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-26
107	かわらけ	小皿	(9.1)	2.9	4.2	CGHI	40	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	83-27
108	かわらけ	小皿	9.0	3.2	4.3	EGI	70	普通	浅黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右) をナデ消し 口縁部煤附着	83-28
109	かわらけ	小皿	—	[2.2]	4.1	CEI	20	普通	にぶい黄	SK1032	底部糸切痕 (右)	
110	かわらけ	小皿	—	[1.7]	4.3	CHIK	20	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
111	かわらけ	小皿	—	[1.4]	3.9	CEGHI	20	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕 (右)	
112	かわらけ	小皿	—	[1.2]	(3.5)	CI	15	普通	にぶい黄褐	SK1032	底部糸切痕 (右)	
113	かわらけ	小皿	—	[1.0]	(5.9)	CEHI	10	普通	にぶい黄橙	SK1032	底部糸切痕	
114	土師質土器	焼塩壺	—	[4.0]	—	DEGK	5	普通	にぶい橙	SK1032	外面剥離して遺存せず 小破片	
115	瓦質土器	火鉢	(17.4)	4.5	13.4	CEI	15	普通	にぶい赤褐	SK1032	底部シワ状痕 燻す	
116	瓦質土器	焙烙	36.2	6.1	33.4	CFGHI	85	普通	にぶい橙	SK1032	底部シワ状痕 体部煤附着	82-21
117	瓦質土器	焙烙	37.1	6.0	33.8	CFI	85	普通	灰白	SK1032	底部シワ状痕 体部外面少量煤附着	82-22
118	瓦質土器	焙烙	35.0	5.6	32.7	CFHI	100	普通	灰白	SK1032	底部シワ状痕・圧痕 体部外面煤附着	82-23
119	瓦質土器	焙烙	36.1	5.7	31.7	CEI	95	良好	にぶい黄橙	SK1032	底部シワ状痕 中心部一部ヘラナデ 底部中央焼成後穿孔 体部煤附着	82-24
120	瓦質土器	焙烙	35.6	6.2	31.2	CEI	80	良好	灰白	SK1032	底部シワ状痕 外面少量煤附着	82-25
121	土師質土器	焙烙	33.6	6.1	28.3	AEDH	80	普通	浅黄橙	SK1032	真壁系 底部スノコ状圧痕 外面煤附着	82-26
122	土師質土器	焙烙	—	[3.7]	—	ADE	5	良好	にぶい橙	SK1032	真壁系 外面煤附着	
123	瓦質土器	焙烙	(38.1)	5.4	(36.0)	CEHI	15	普通	灰白	SK1032	底部シワ状痕 体部黒化	



第 329 図 土壙出土遺物 (16)



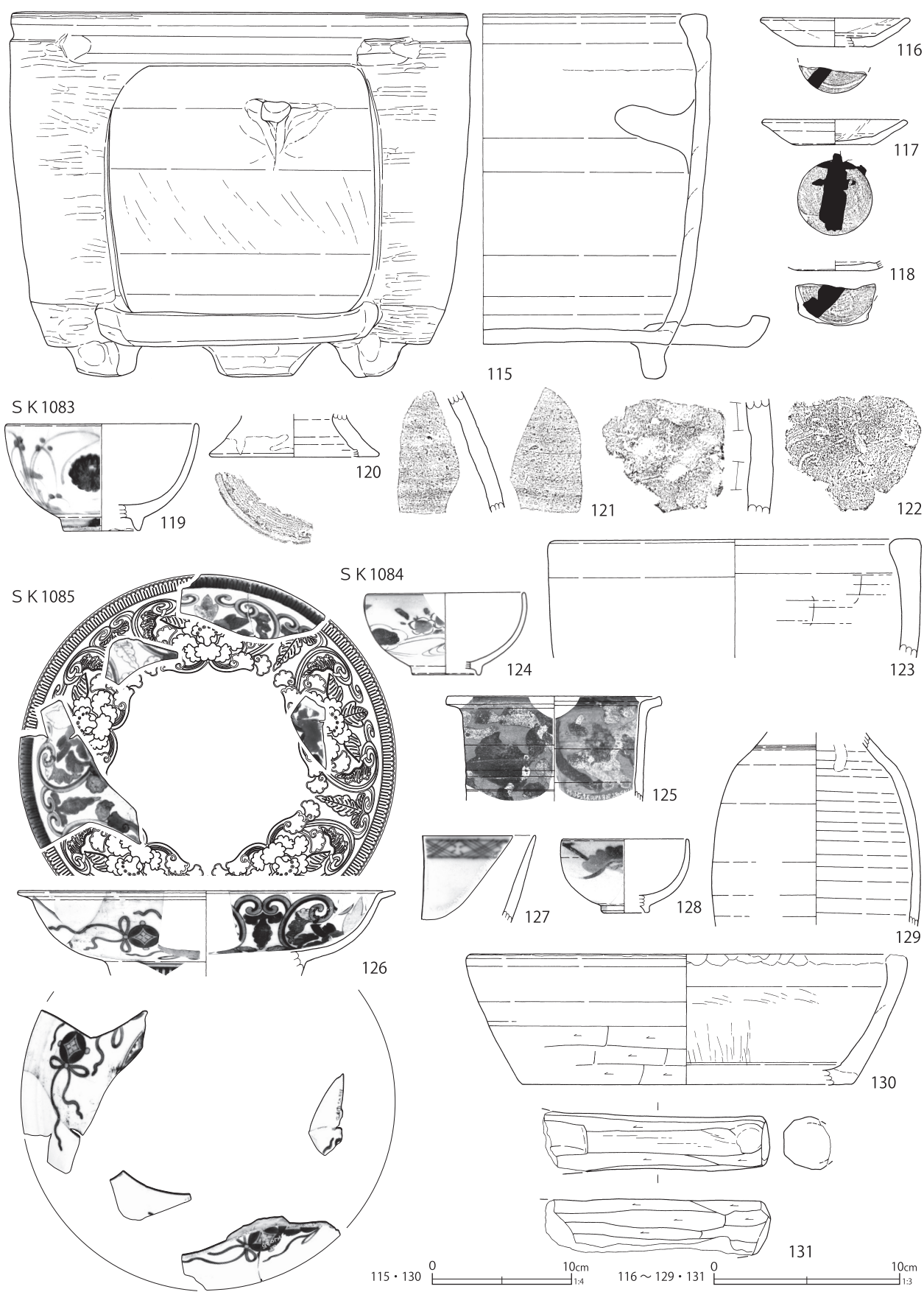
第 330 図 土壙出土遺物 (17)



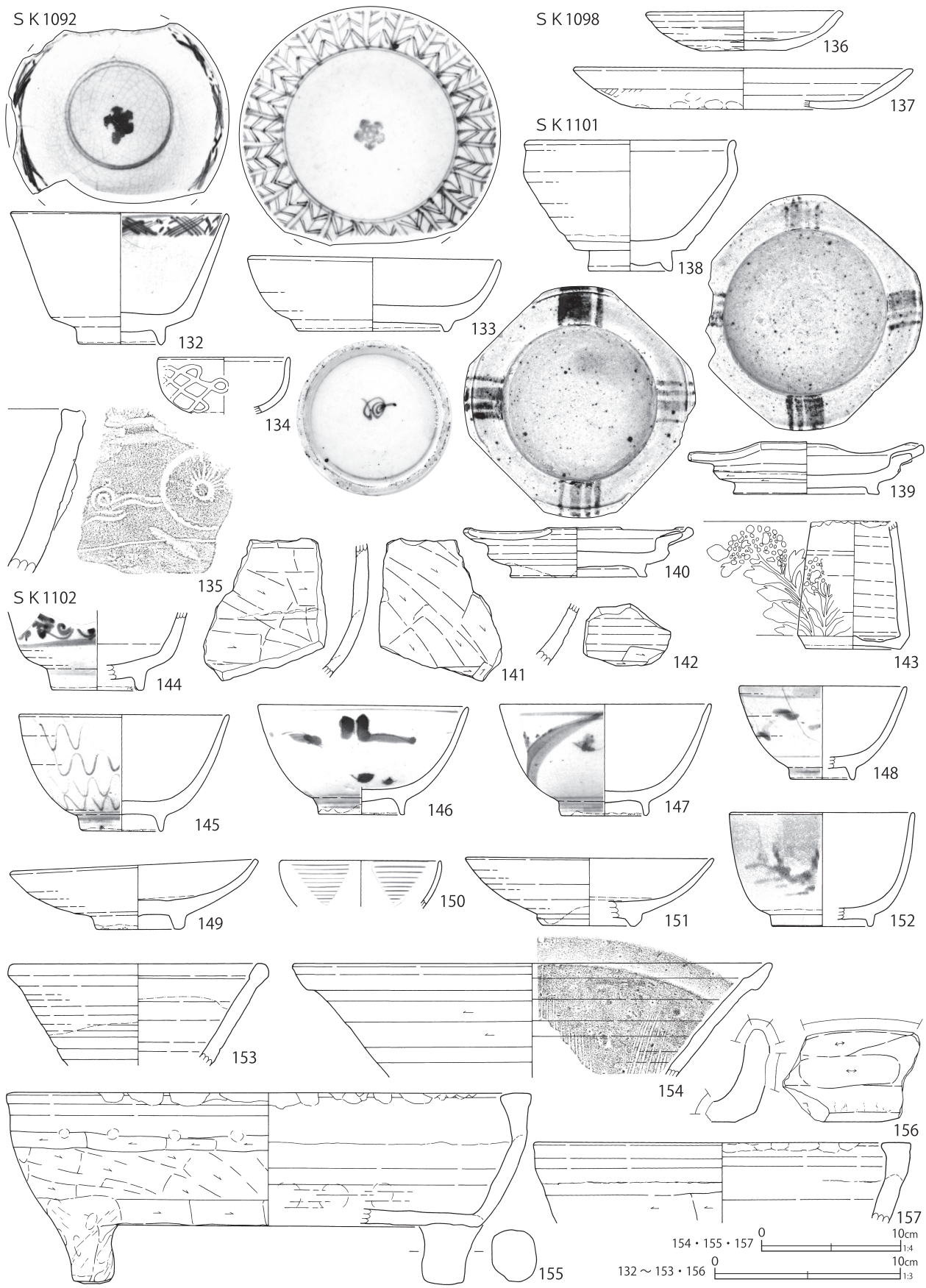
第 331 図 土壇出土遺物 (18)



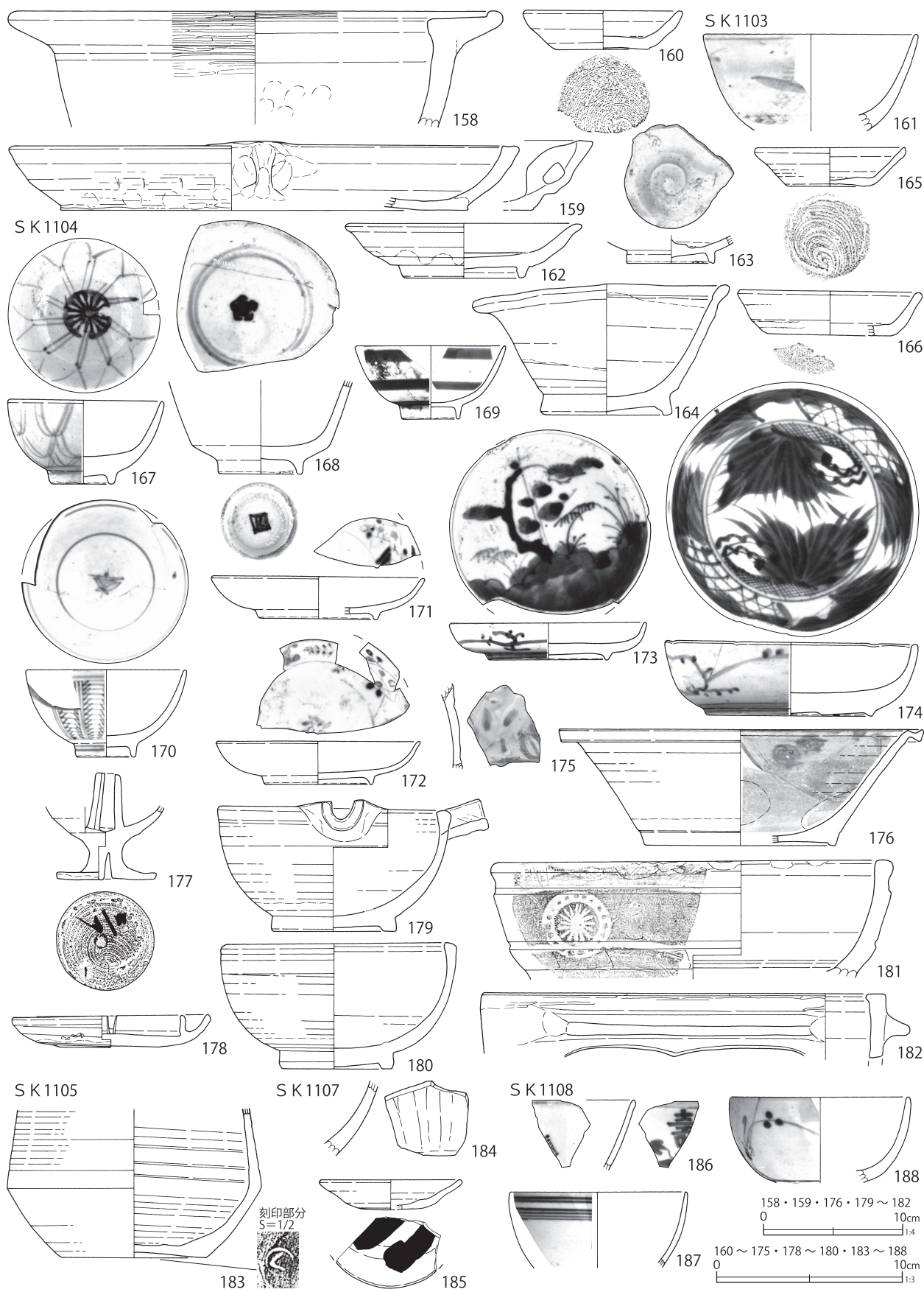
第 332 図 土壙出土遺物 (19)



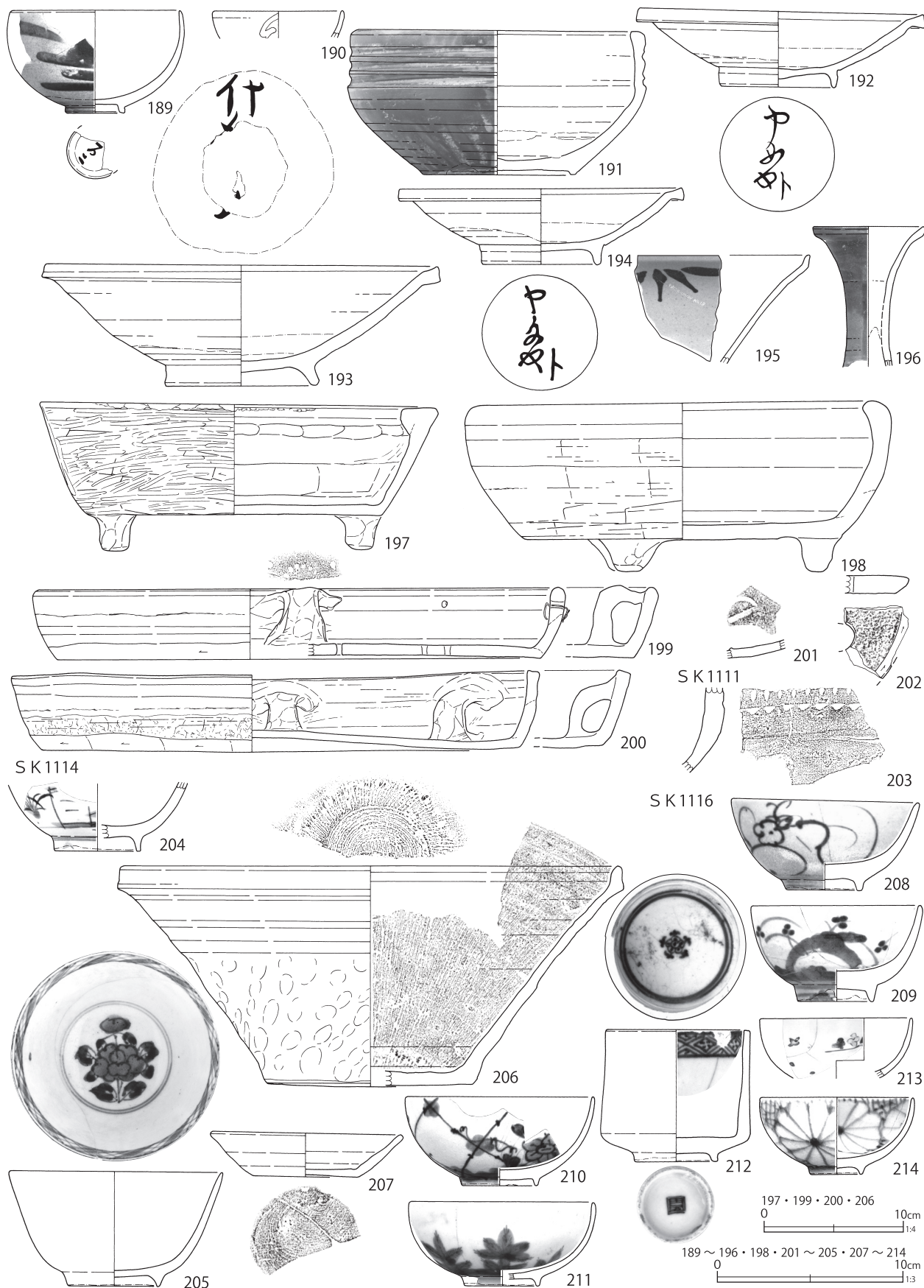
第 333 図 土壇出土遺物 (20)



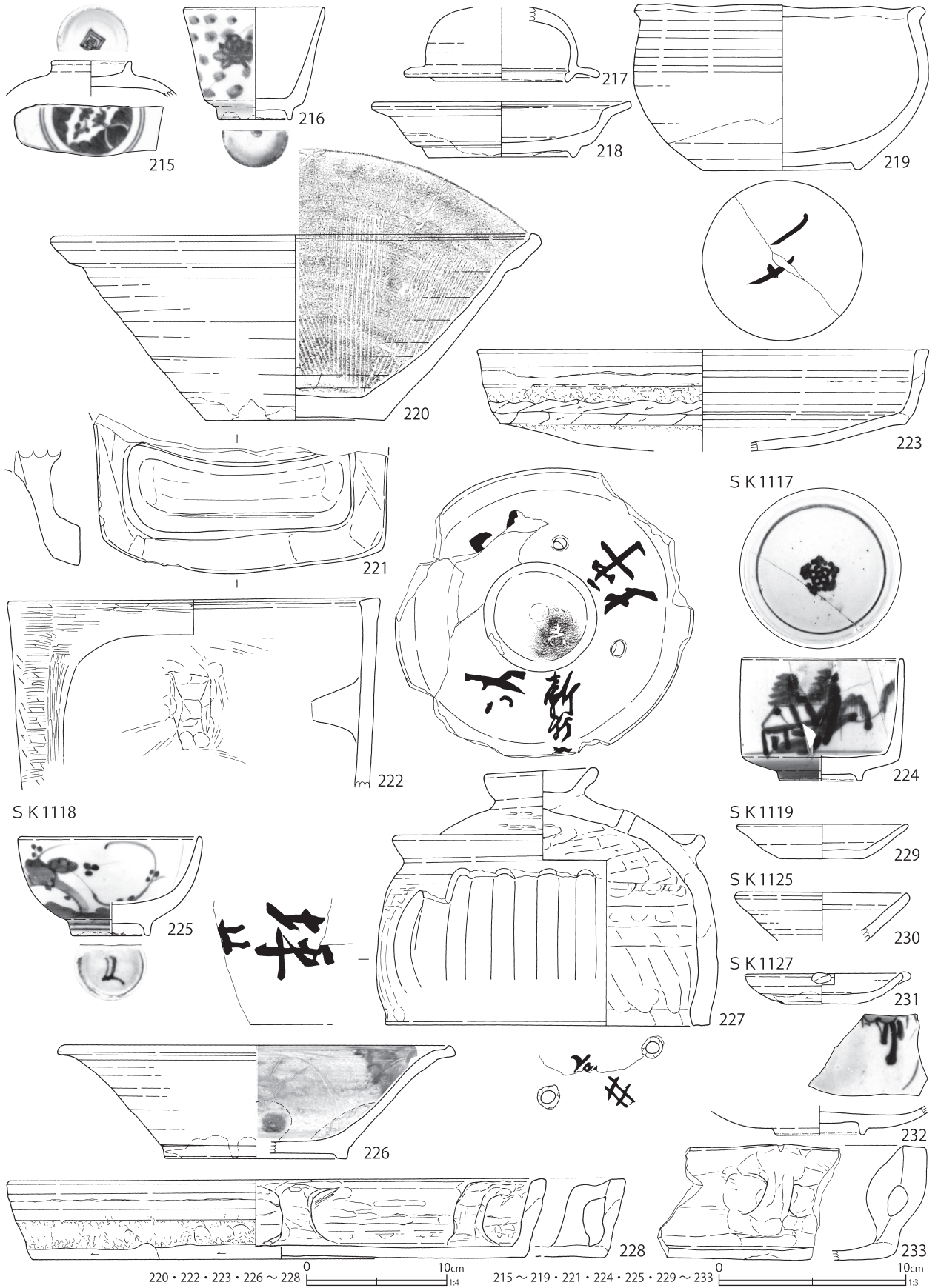
第 334 図 土壙出土遺物 (21)



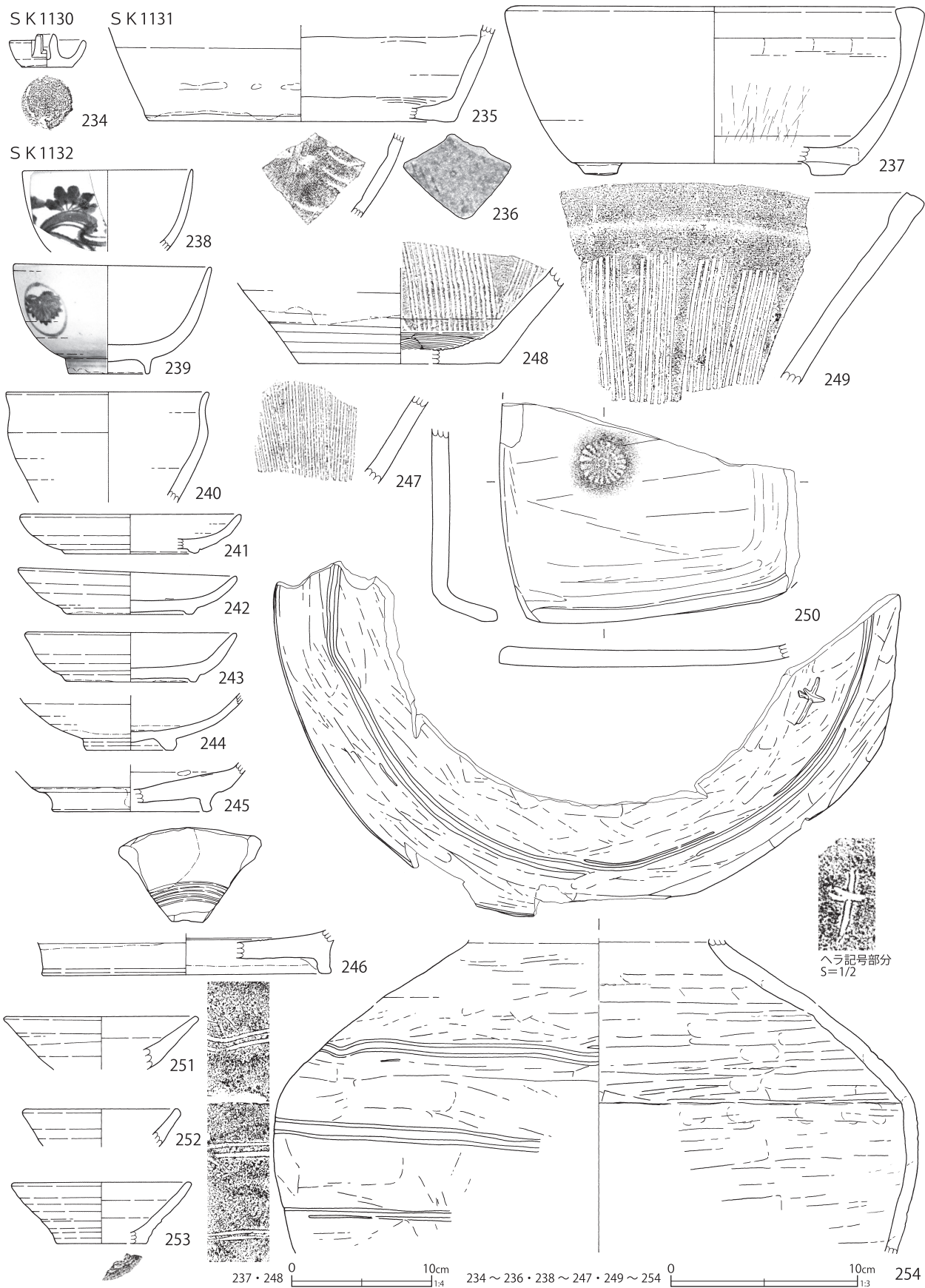
第 335 图 土壤出土遺物 (22)



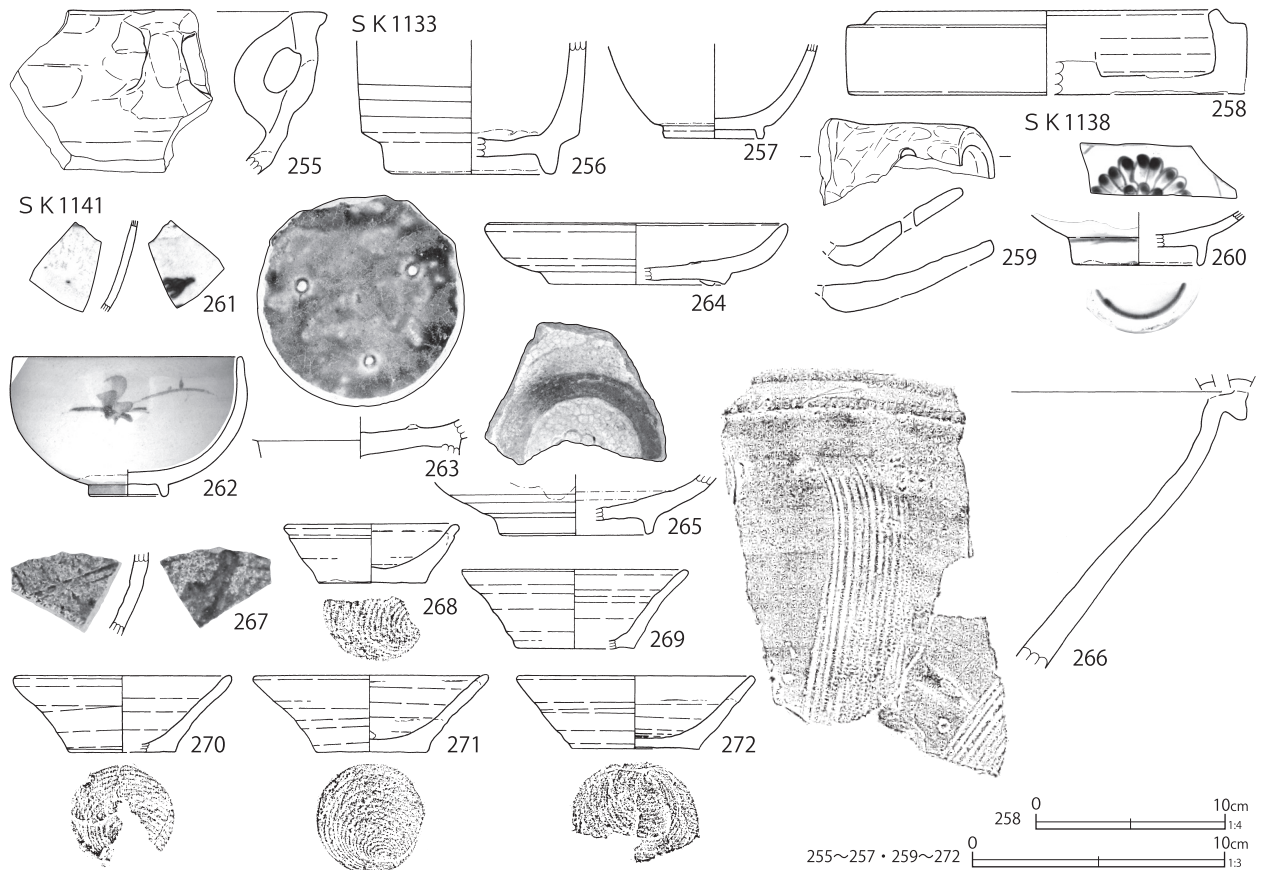
第 336 図 土壙出土遺物 (23)



第337図 土壙出土遺物(24)



第 338 図 土壙出土遺物 (25)



第 339 図 土壇出土遺物 (26)

第 64 表 土壇出土遺物観察表 (4) (第 329 ~ 339 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(9.0)	4.5	(3.8)	—	25	良好	白	SK1028	肥前系 施釉 外面染付	71-11
2	陶器	碗	(9.2)	[4.2]	—	K	25	普通	灰白	SK1028	SD12 接合 京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	
3	磁器	碗	(15.5)	[3.5]	—	—	10	普通	白	SK1028	肥前系 施釉 内面染付	
4	陶器	碗	(9.2)	5.4	(4.0)	K	35	普通	灰白	SK1028	SD12 接合 京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
5	陶器	坏	6.6	3.6	2.7	K	90	普通	灰白	SK1028	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑)	
6	陶器	坏	(5.8)	[2.7]	—	K	10	良好	灰白	SK1028	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤)	
7	陶器	坏	—	[2.6]	—	K	5	普通	灰白	SK1028	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (黄)	
8	陶器	坏	—	[2.0]	—	K	5	普通	淡黄	SK1028	京都信楽系 施釉 外面上絵付 被熱	
9	陶器	鍋	—	[3.5]	(5.8)	IK	20	良好	灰白	SK1028	柿釉	
10	磁器	皿	—	[1.4]	—	—	10	普通	白	SK1029	肥前系 施釉・染付	
11	磁器	碗	7.9	6.0	3.5	—	75	良好	白	SK1046	肥前系 施釉・染付	
12	陶器	坏	7.0	6.0	3.3	—	75	普通	灰白	SK1046	瀬戸美濃系 灰釉 (剥離あり) 被熱	
13	陶器	水注	—	[12.0]	7.6	I	35	普通	灰白	SK1046	瀬戸美濃系 外面灰釉・摺絵 弱く被熱	
14	瓦質土器	火鉢	(22.1)	[10.6]	—	ACEHI	10	良好	灰黄	SK1046	外面施文・赤彩	
15	磁器	碗	(9.6)	[2.7]	—	—	5	普通	白	SK1048	肥前系 施釉 外面色絵 (赤・緑)	71-13
16	磁器	碗	(9.4)	5.3	(3.9)	—	25	普通	白	SK1048	肥前系 施釉 外面染付	
17	磁器	碗	(10.6)	6.0	(4.4)	—	45	普通	灰白	SK1048	肥前系 施釉 外面染付	
18	磁器	碗	(14.8)	[4.0]	—	—	5	良好	白	SK1048	肥前系 施釉 内面染付	
19	磁器	皿	—	[2.2]	(12.5)	I	5	良好	灰	SK1048	肥前系 青磁釉 内面施文 蛇の目状高台	
20	磁器	皿	13.1	3.0	7.8	—	60	普通	灰白	SK1048	肥前系 施釉・染付 高台内ピン痕 1 残り 同文別個体 1 あり	
21	陶器	碗	—	[4.7]	4.2	IK	30	良好	灰白	SK1048	肥前系 灰釉 (呉器手鉤)	
22	陶器	皿	(15.5)	3.3	5.9	IK	80	良好	黄灰	SK1048	瀬戸美濃系 灰釉 平面形木瓜形	
23	陶器	皿	12.9	3.9	4.4	I	75	普通	灰白	SK1048	肥前系 内面銅緑釉・蛇の目状釉剥 外面透明釉・煤付着	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
24	陶器	鉢	(18.9)	6.7	5.6	K	60	普通	灰白	SK1048	肥前系 透明釉 内面蛇の目状釉剥	71-14
25	陶器	瓶類	—	[3.4]	(12.7)	HI	5	良好	にぶい橙	SK1048	志戸呂系 内外面・断面に煤付着	
26	陶器	瓶子	—	[4.6]	—	I	5	普通	灰白	SK1048	古瀬戸 外面上位灰釉	
27	陶器	灯明皿	(8.9)	2.3	(5.9)	GI	20	良好	灰褐	SK1048	備前系 塗土	
28	陶器	灯明皿	—	[1.3]	—	I	5	良好	にぶい赤褐	SK1048	備前系	
29	陶器	播鉢	(35.8)	15.3	(15.8)	DEK	20	良好	灰白	SK1048	丹波系 底部ナデ調整 内面播目・自然降灰 口縁部歪む	
30	かわらけ	小皿	(8.2)	1.7	4.5	AEHI	60	普通	にぶい黄橙	SK1048	底部糸切痕 (左) 胎土粉質 口縁部煤付着	
31	かわらけ	小皿	(10.1)	2.1	5.5	AEH	40	普通	灰黄	SK1048	底部糸切痕 胎土粉質	
32	かわらけ	小皿	(9.8)	2.0	5.5	AHI	55	普通	にぶい黄橙	SK1048	底部糸切痕 (左) 胎土粉質	
33	瓦質土器	播鉢	—	[3.9]	—	EIK	5	普通	灰白	SK1048	内面播目 燻す 15-16 c	
34	土師質土器	焙烙	(37.5)	4.8	(31.5)	ADE	20	普通	にぶい褐	SK1048	真壁系 外面煤付着 接点ない3破片から図上復元	77-15
35	瓦質土器	火鉢	—	—	—	CI	5	普通	灰黄	SK1048	転用砥具 長 [4.4] 幅 [3.2]	
36	陶器	碗	(11.0)	6.4	(3.5)	K	20	良好	灰白	SK1051	京都信楽系 施釉 (貫入多い)	
37	陶器	播鉢	35.3	13.8	16.4	DG	75	良好	明赤褐	SK1051	堺明石系 内面播目 底部墨書	
38	陶器	土瓶	(9.8)	[8.0]	—	K	20	良好	灰白	SK1051	京都信楽系か 外面施釉・鉄絵 漆継痕	
39	かわらけ	小皿	9.3	2.0	4.4	AHI	70	良好	にぶい橙	SK1051	底部糸切痕 (左) 胎土粉質・硬質	
40	磁器	碗	(10.4)	[1.8]	—	—	5	普通	白	SK1053	肥前系 施釉 外面色絵 (赤)	
41	陶器	天目茶碗	(11.0)	[5.6]	—	I	15	普通	灰白	SK1053	瀬戸美濃系 長石釉 (白天目)	
42	磁器	碗	(8.7)	[4.3]	—	—	20	良好	白	SK1056	肥前系 施釉 外面色絵 (赤・緑・青)	
43	磁器	碗	(10.1)	[4.4]	—	—	10	普通	白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付	
44	磁器	碗	9.9	5.1	3.5	—	70	普通	白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付 同文別個体1以上有	
45	磁器	碗	9.8	5.6	3.8	—	75	普通	白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付	
46	磁器	碗	(11.0)	6.2	4.5	—	60	普通	白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付	
47	磁器	碗	10.2	6.1	3.8	—	70	普通	灰白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付	
48	磁器	碗	11.0	6.4	4.5	—	85	普通	灰白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付	
49	磁器	坏	6.5	4.6	2.7	—	80	普通	灰白	SK1056	肥前系 施釉 外面染付	
50	陶器	碗	10.5	7.3	4.4	IK	70	良好	灰黄	SK1056	肥前系 灰釉	
51	陶器	碗	—	[2.3]	5.3	I	20	良好	灰白	SK1056	肥前系 施釉 高台内刻印「清水」	
52	陶器	皿	(11.2)	[2.8]	—	IK	10	良好	灰白	SK1056	古瀬戸 灰釉 内面下位釉薄い (刷毛塗か)	72-1
53	陶器	皿	(13.1)	2.9	6.4	I	25	良好	灰白	SK1056	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 歪み大	
54	陶器	皿	13.2	2.4	7.8	IK	40	良好	黄灰	SK1056	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重焼痕 煤付着	
55	陶器	鉢	—	[5.1]	5.7	I	40	良好	灰白	SK1056	肥前系 透明釉 内面蛇の目状釉剥 被熱	
56	陶器	灯明皿	(6.4)	2.5	(4.8)	GI	25	普通	橙	SK1056	志戸呂系 鉄釉	
57	陶器	鉢	—	[4.8]	20.6	GI	20	良好	灰白	SK1056	肥前系 藁灰釉・目跡 内面鉄絵	
58	陶器	鉢	(26.0)	[7.0]	—	DK	15	普通	灰白	SK1056	瀬戸美濃系 灰釉 内面緑釉流掛	
59	陶器	鉢	—	[6.8]	10.4	DI	20	良好	明赤褐	SK1056	肥前系 刷毛目釉	
60	陶器	片口鉢	(22.2)	[8.2]	—	HI	20	良好	明赤褐	SK1056	肥前系 刷毛目釉	
61	陶器	播鉢	34.5	13.8	14.8	DGK	70	良好	灰	SK1056	丹波系 底部板目状圧痕 内面播目	
62	陶器	播鉢	(29.6)	[10.8]	—	DEK	20	良好	黄灰	SK1056	丹波系 内面播目	
63	土師質土器	火鉢	(26.5)	[10.5]	—	AI	15	普通	暗灰黄	SK1056	胎土粉質・雲母多量	
64	土師質土器	火鉢	24.3	9.5	19.0	AHK	30	普通	灰黄	SK1056	胎土粉質 内面火箸状痕 口縁部敲打	
65	かわらけ	小皿	—	[1.4]	6.8	AHK	25	普通	橙	SK1056	底部糸切痕 胎土粉質	
66	かわらけ	小皿	8.0	1.5	3.8	AHI	50	普通	にぶい黄橙	SK1056	底部糸切痕 (左) 胎土粉質	
67	瓦質土器	火鉢	—	[3.5]	—	CEHI	5	普通	灰	SK1056	転用砥具 外面刃ならし痕か	
68	土師質土器	焙烙	36.9	5.2	31.3	ADEI	80	普通	橙	SK1056	真壁系 外面煤付着 底部中心焼成前穿孔	72-2
69	陶器	鉢	(40.5)	15.3	14.5	HI	60	良好	にぶい赤褐	SK1058	肥前系 施釉 象嵌施文	72-3
70	かわらけ	小皿	(7.3)	1.7	4.0	AH	20	良好	橙	SK1058	底部糸切痕・墨書 被熱か	
71	磁器	碗	—	[6.8]	6.0	—	40	普通	白	SK1060	肥前系 施釉・染付 少量煤付着	
72	磁器	皿	9.1	2.3	4.8	—	80	普通	白	SK1061	肥前系 施釉・染付 (内面型紙摺絵) 漆継痕	
73	陶器	碗	(9.3)	5.0	4.3	K	50	良好	灰白	SK1061	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
74	陶器	播鉢	—	[4.4]	—	EI	5	良好	にぶい赤褐	SK1061	備前系 内面播目 煤付着	
75	瓦質土器	目皿	—	[1.2]	—	CI	15	良好	灰黄	SK1061	下面砂目 上面丁寧なナデ・煤付着	72-4

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
76	磁器	瓶類	—	(8.0)	4.2	—	25	良好	白	SK1062	SK1058・1061 接合 肥前系 板作成形 外面施釉・染付	
77	陶器	徳利	3.1	[5.8]	—	HI	5	普通	灰白	SK1062	瀬戸美濃系 灰釉 (一部白濁)	
78	陶器	灯明皿	(10.1)	[2.4]	—	IK	20	良好	灰	SK1062	瀬戸美濃系 鉄釉 舌あり	
79	磁器	皿	(10.6)	3.4	4.0	—	55	普通	灰白	SK1068	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥・色絵 (赤)	72-5
80	陶器	灯明皿	10.0	2.0	6.1	I	50	良好	灰白	SK1068	瀬戸美濃系 柿釉 舌あり	
81	磁器	紅皿	—	[1.1]	—	—	20	普通	白	SK1069	肥前系 型成形 施釉 外面しのぎ状施文	
82	陶器	徳利	—	[2.5]	5.8	HI	10	普通	淡黄	SK1069	瀬戸美濃系 外面灰釉 (つけ掛)	
83	陶器	灯明皿	(10.8)	2.3	(4.9)	HK	20	普通	灰黄	SK1069	瀬戸美濃系 柿釉	
84	瓦質土器	十能	長 [25.0] 幅 [19.8] 高 6.3			DHI	50	普通	にぶい黄橙	SK1069	底部シワ状痕・煤付着	72-7
85	瓦質土器	焜炉	—	[11.8]	18.1	CHI	70	普通	灰白	SK1069	底部シワ状痕 やや酸化炎焼成	72-6
86	瓦質土器	焙烙	(37.4)	5.1	(34.8)	CEHI	25	普通	灰白	SK1069	SK1061 接合 底部シワ状痕 外面煤付着	
87	磁器	碗	(9.9)	4.9	(3.7)	—	40	普通	灰白	SK1070	肥前系 施釉・染付	
88	磁器	碗	—	[3.7]	(5.3)	—	15	普通	白	SK1070	肥前系 施釉 外面染付 内面降灰状付着物	
89	磁器	碗	(8.2)	4.1	3.0	—	30	普通	白	SK1070	肥前系 施釉 外面染付	
90	磁器	碗	—	[5.6]	—	—	5	普通	灰白	SK1070	肥前系 施釉 外面染付 (初期伊万里様式)	
91	磁器	鉢	(16.4)	[4.5]	—	—	5	普通	白	SK1070	肥前系 施釉 外面染付	
92	磁器	皿	13.7	3.7	4.5	—	60	良好	白	SK1070	肥前系 青磁釉 内面蛇の目状釉剥	
93	陶器	碗	(9.2)	5.5	3.4	I	50	良好	灰白	SK1070	京都信楽系 施釉 外面上絵付 (赤・緑) 被熱	72-8
94	陶器	灯明皿	9.7	1.8	4.9	I	60	良好	黄灰	SK1070	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕 舌あり	
95	陶器	水注	—	[9.3]	8.4	HI	25	普通	淡黄	SK1070	瀬戸美濃系 灰釉	
96	かわらけ	小皿	—	[0.8]	5.5	CFH	25	普通	灰白	SK1070	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	
97	磁器	碗	—	[4.5]	(3.9)	—	20	良好	白	SK1074	肥前系 施釉 外面染付・色絵 (赤・緑) 被熱	
98	磁器	皿	12.4	3.8	4.0	—	70	普通	白	SK1074	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥・色絵 (赤) 染付	
99	陶器	徳利	3.4	20.5	6.8	D	100	良好	黄灰	SK1074	瀬戸美濃系 外面灰釉・底部拭き取り	
100	磁器	碗	10.8	6.9	4.1	—	55	普通	灰白	SK1079	肥前系 施釉 外面染付 (初期伊万里様式)	
101	磁器	坏	—	[2.7]	(3.5)	IK	10	普通	灰白	SK1079	中国邵武窯系か 施釉 15 c	72-9
102	磁器	皿	(8.9)	[2.1]	—	—	20	良好	白	SK1080	肥前系 施釉・染付 漆継痕	72-10
103	磁器	碗	(9.3)	5.2	(4.1)	—	30	良好	白	SK1082	肥前系 施釉 外面染付	
104	磁器	碗	(9.2)	[3.5]	—	—	20	良好	白	SK1082	肥前系 施釉 外面染付	
105	陶器	碗	9.3	6.1	4.5	IK	70	普通	灰白	SK1082	瀬戸美濃系 灰釉 外面呉須絵	
106	陶器	碗	9.6	5.4	3.9	HI	80	普通	灰白	SK1082	瀬戸美濃系 灰釉 外面呉須絵	
107	陶器	皿	(12.4)	2.9	7.1	H	60	普通	灰白	SK1082	瀬戸美濃系 灰釉 内面摺絵	
108	陶器	灯明皿	11.1	2.3	5.4	HI	70	普通	灰白	SK1082	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
109	陶器	灯明皿	7.5	1.5	4.5	I	100	良好	灰	SK1082	志戸呂系 底部糸切痕 (右) 鉄釉 口縁部煤付着	
110	陶器	香炉	(9.7)	5.8	7.1	IK	55	良好	灰白	SK1082	瀬戸美濃系 灰釉 外面菊花文状しのぎ	
111	陶器	鉢	(23.7)	[6.5]	—	EG	5	良好	橙	SK1082	常滑 鉄泥 外面貼付文	72-11
112	陶器	播鉢	—	[11.3]	—	DHI	10	普通	灰白	SK1082	瀬戸美濃系 鉄釉 内面播目	
113	陶器	播鉢	(33.7)	[9.2]	—	DEK	15	良好	にぶい赤褐	SK1082	堺明石系 内面播目	
114	瓦質土器	火鉢	(17.3)	[7.4]	—	EI	10	普通	灰白	SK1082	SK1051 接合 外面一部ミガキ・施文 燻す	
115	瓦質土器	竈	32.5	26.2	27.5	CEHI	75	普通	灰黄	SK1082	底部シワ状痕 外面ミガキ 煤付着	72-12
116	かわらけ	小皿	(7.7)	1.5	(3.9)	ACEH	30	普通	にぶい黄橙	SK1082	底部糸切痕・墨書	
117	かわらけ	小皿	7.6	1.4	4.3	ACEHI	70	普通	にぶい橙	SK1082	SK1083 接合 底部糸切痕 (左)・墨書	77-16
118	かわらけ	小皿	—	[0.6]	(4.0)	ACHI	10	普通	にぶい橙	SK1082	底部糸切痕・墨書	
119	磁器	碗	(10.2)	5.7	(4.0)	—	35	普通	灰白	SK1083	肥前系 施釉 外面染付	
120	陶器	花瓶か	—	[2.3]	(8.8)	HI	5	良好	灰白	SK1083	底部糸切痕 外面灰釉 古瀬戸か	
121	陶器	瓶類	—	[6.5]	—	DK	5	良好	灰	SK1083	備前系 内外面は灰赤色	
122	陶器	甕	—	[6.3]	—	DH	5	普通	にぶい橙	SK1083	常滑 転用砥具 (内面)	
123	土師質土器	火鉢	(19.8)	[6.4]	—	AGH	10	普通	にぶい橙	SK1083	SK1084 接合 胎土粉質 口縁～内面煤付着	
124	磁器	碗	(8.4)	4.4	(3.5)	—	20	普通	白	SK1084	肥前系 施釉・色絵 (赤・緑)	
125	陶器	鉢	(11.4)	[5.6]	—	I	10	良好	灰黄褐	SK1084	志戸呂系 灰釉・鉄釉散らし	73-4

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
126	磁器	皿	(20.1)	[4.5]	—	—	20	良好	白	SK1085	SK63・65・111・SB1に同一個体 鍋島施釉・染付 内面色絵(赤・緑)被熱	72-13 73-1
127	磁器	碗	—	[4.6]	—	—	5	良好	白	SK1085	肥前系 施釉(外面青磁釉) 内面染付	
128	陶器	坏	(6.6)	3.9	(2.4)	I	40	良好	灰黄	SK1085	京都信楽系 施釉 外面上絵付(緑・赤・黒)	
129	陶器	德利	—	[10.3]	—	IK	15	普通	灰白	SK1085	瀬戸美濃系 外面灰釉	
130	瓦質土器	火鉢	(31.3)	9.3	(23.6)	CFH	15	普通	にぶい黄橙	SK1085	砂目底 やや酸化炎焼成 内面火箸状痕	
131	瓦質土器	十能	—	[2.9]	—	CHI	20	普通	灰白	SK1085	把手部分 長 [12.0]	
132	磁器	碗	11.5	7.1	4.4	—	60	普通	灰白	SK1092	肥前系 施釉(外面青磁釉) 内面染付 同文別個体1有	
133	磁器	皿	13.3	4.0	7.8	—	75	普通	灰白	SK1092	肥前系 施釉・染付 同文別個体1有	
134	陶器	坏	(6.9)	[3.0]	—	—	20	良好	灰白	SK1092	京都信楽系 施釉 外面上絵付(緑)	
135	瓦質土器	火鉢	—	[8.7]	—	CHI	5	普通	灰白	SK1092	外面菊花文・唐草文施文し赤彩 口縁部黒色塗布物 煤付着	
136	陶器	灯明皿	(10.2)	2.1	4.6	IK	40	普通	黄灰	SK1098	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
137	かわらけ	皿	(18.1)	2.2	—	EHI	20	良好	灰白	SK1098	非ロクロ成形 外面一部刷毛目状工具痕 白色土器質	73-2 73-3
138	陶器	天目茶碗	(11.0)	7.0	(4.4)	I	25	良好	灰白	SK1101	瀬戸美濃系 鉄釉	
139	陶器	皿	12.5	2.8	7.7	DIK	85	良好	黄灰	SK1101	瀬戸美濃系 灰釉 内面鉄絵・目跡3	73-5
140	陶器	皿	11.9	2.7	7.2	DK	95	良好	黄灰	SK1101	瀬戸美濃系 灰釉 内面鉄絵	73-5
141	土師器	甕	—	[7.2]	—	EHI	5	普通	にぶい黄橙	SK1101	ヘラナデ 古墳時代	
142	須恵器	坏	—	[3.2]	—	EFH	5	不良	灰白	SK1101	三和産 外面下位ケズリ 9c	
143	陶器	灰落し	(4.5)	6.9	5.1	I	50	普通	黄灰	SK1101	京都信楽系 施釉 外面上絵付 敲打痕	
144	磁器	碗	—	[4.2]	(4.8)	—	20	普通	白	SK1102	肥前系 施釉 外面染付	
145	磁器	碗	11.2	6.2	4.4	—	30	普通	灰白	SK1102	肥前系 施釉 外面染付	
146	磁器	碗	(11.1)	5.9	4.4	—	55	良好	白	SK1102	肥前系 施釉 外面染付	73-6
147	磁器	碗	(11.3)	5.9	4.5	—	20	良好	白	SK1102	SK1103 接合 肥前系 施釉 外面染付	
148	磁器	碗	(8.8)	4.9	(3.3)	—	45	普通	灰白	SK1102	肥前系 施釉 外面染付	
149	磁器	皿	(13.1)	3.7	4.6	—	35	普通	白	SK1102	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥	
150	磁器	坏	(8.5)	[2.5]	—	—	5	良好	白	SK1102	肥前系 施釉 色絵(赤)	
151	陶器	皿	(13.2)	3.6	(5.0)	I	30	良好	灰白	SK1102	肥前系 内面銅緑釉 蛇の目状釉剥 外面透明釉 全体煤付着	
152	陶器	碗	(9.7)	6.1	(5.3)	K	40	良好	灰白	SK1102	肥前系 施釉 外面鉄絵	
153	陶器	煙硝播	(13.4)	[5.4]	—	I	10	普通	淡黄	SK1102	瀬戸美濃系 上位鉄釉 内面煤付着	
154	陶器	播鉢	(34.3)	[8.1]	—	DH	25	普通	灰白	SK1102	瀬戸美濃系 鉄釉(赤味強い) 内面播目	
155	瓦質土器	火鉢	37.5	13.7	30.5	CFGH	25	普通	にぶい黄橙	SK1102	底部シワ状痕 口縁部二次敲打	73-7
156	瓦質土器	火鉢	—	[5.0]	—	AEH	5	普通	灰黄	SK1102	燻す 胎土粉質 転用砥具	
157	瓦質土器	火鉢	(27.0)	[5.8]	—	CHI	5	普通	灰白	SK1102	燻す 口縁部内側二次敲打痕	
158	瓦質土器	火鉢	(34.5)	[8.3]	—	CEHI	5	普通	灰	SK1102	口縁部～外面ミガキ 燻す	
159	土師質土器	焙烙	(36.0)	5.0	(29.2)	ADEH	35	普通	にぶい赤褐	SK1102	真壁系 底面黒化	
160	かわらけ	小皿	8.4	2.1	4.9	CEHI	40	普通	灰白	SK1102	底部糸切痕(右) 胎土砂質	
161	磁器	碗	(11.2)	[5.1]	—	—	10	普通	灰白	SK1103	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
162	陶器	皿	(12.4)	2.9	6.4	I	45	良好	黄灰	SK1103	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重焼痕 煤付着	
163	陶器	香炉か	—	[1.5]	4.7	K	—	良好	灰白	SK1103	外面施釉 内面露胎	
164	陶器	煙硝播	(13.3)	6.9	(6.6)	DK	40	普通	灰白	SK1103	瀬戸美濃系 上位柿釉 歪む	
165	かわらけ	小皿	8.0	2.1	4.2	AI	70	普通	褐灰	SK1103	底部糸切痕(右) 全体炭化・変色	
166	かわらけ	小皿	(9.5)	2.3	(6.6)	CEHIK	15	普通	橙	SK1103	底部糸切痕 胎土砂質 口縁部黒化	
167	磁器	碗	8.1	4.5	3.1	—	95	普通	灰白	SK1104	肥前系 施釉・染付	
168	磁器	碗	—	[5.0]	4.2	—	45	普通	白	SK1104	肥前系 施釉(外面青磁釉)・染付	
169	磁器	碗	(8.1)	3.9	3.0	—	50	普通	白	SK1104	肥前系 施釉・染付 被熱・煤付着	
170	磁器	碗	8.4	4.6	3.0	—	80	普通	白	SK1104	肥前系 施釉・染付	
171	磁器	皿	(11.2)	2.2	(6.2)	—	15	良好	白	SK1104	肥前系 施釉 内面色絵(赤・緑・金他)	
172	磁器	皿	(10.8)	2.3	(5.6)	—	35	良好	白	SK1104	肥前系 施釉 内面色絵	73-8
173	磁器	皿	10.4	2.0	6.3	—	80	普通	白	SK1104	肥前系 施釉・染付	
174	磁器	皿	13.2	3.9	8.8	—	85	普通	白	SK1104	肥前系 施釉・染付	
175	磁器	水滴	—	[4.6]	—	—	—	普通	白	SK1104	肥前系 外面施釉・染付	
176	陶器	鉢	(26.0)	8.3	(13.8)	DHI	25	良好	灰白	SK1104	瀬戸美濃系 灰釉 内面緑釉散らし・櫛目 被熱	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版	
177	陶器	乗燭	—	5.7	5.2	H	70	良好	灰白	SK1104	瀬戸美濃系 鉄釉 墨書	77-19	
178	陶器	灯明皿	10.4	1.8	5.3	I	85	良好	黄灰	SK1104	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕		
179	陶器	片口鉢	16.3	9.4	8.7	I	95	普通	灰白	SK1104	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 3		
180	陶器	鉢	15.8	9.0	8.0	D	100	普通	淡黄	SK1104	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 口縁部歪む		
181	瓦質土器	火鉢	—	[8.4]	—	CHI	10	良好	灰白	SK1104	外面菊花状文(赤彩)・口縁部煤付着		
182	瓦質土器	竈	(28.8)	[4.5]	—	CI	10	普通	灰黄	SK1104	外面ミガキ 煤付着		
183	陶器	德利	—	[8.0]	7.7	EI	20	良好	橙	SK1105	備前系 外面塗土 底部刻印		73-9
184	磁器	碗	—	[3.9]	—	IK	5	良好	灰	SK1107	中国龍泉窯系 青磁釉 外面蓮弁文		
185	かわらけ	小皿	(7.5)	1.6	(3.2)	HIJ	25	良好	橙	SK1107	底部糸切痕・墨書		
186	磁器	碗	—	[3.7]	—	—	5	普通	白	SK1108	中国景德鎮窯系 施釉・染付 弱く被熱		
187	磁器	碗	(9.3)	[4.0]	—	—	10	普通	白	SK1108	肥前系 施釉 外面染付		
188	磁器	碗	(9.4)	[4.6]	—	—	20	普通	白	SK1108	肥前系 施釉 外面染付		
189	陶器	碗	(9.0)	5.5	3.1	—	25	良好	灰白	SK1108	京都信楽系 施釉 外面上絵付(青・緑)		
190	陶器	坏	(6.8)	[1.4]	—	K	5	良好	灰白	SK1108	京都信楽系 施釉 外面上絵付(赤)		
191	陶器	鉢	15.0	7.8	8.0	K	90	良好	灰黄	SK1108	瀬戸美濃系 錆釉・白斑状		
192	陶器	鉢	15.1	4.1	6.0	IK	75	普通	灰白	SK1108	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥 墨書	77-17	
193	陶器	鉢	21.0	6.5	8.0	DH	60	普通	灰白	SK1108	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥 墨書	77-20	
194	陶器	鉢	15.1	4.1	6.1	I	80	普通	灰白	SK1108	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥 墨書	77-18	
195	陶器	鉢	—	[5.8]	—	I	5	良好	灰黄	SK1108	京都信楽系 施釉 内面鉄絵	74-1	
196	陶器	德利	(5.8)	[7.5]	—	I	15	良好	にぶい黄橙	SK1108	志戸呂系 鉄釉		
197	瓦質土器	火鉢	28.3	10.6	21.2	CHI	80	普通	灰白	SK1108	底部シワ状痕 外面ミガキ 奥行 27.1		
198	瓦質土器	火鉢	21.7	9.1	16.8	CHI	80	普通	灰白	SK1108	砂目底 外面黒色塗布物 やや酸化炎焼成		
199	瓦質土器	焙烙	(37.3)	5.2	(34.6)	CIK	25	普通	浅黄橙	SK1108	底部シワ状痕・内面菊花文 二次穿孔 5以上・針金遺存		
200	瓦質土器	焙烙	37.8	5.8	34.3	CHI	80	普通	にぶい黄橙	SK1108	底部シワ状痕・少量煤付着 燻す		74-2
201	土師質土器	焙烙	—	[1.0]	—	AHI	5	普通	にぶい橙	SK1108	砂目底 内面刻印 胎土粉質		
202	瓦質土器	目皿	—	[1.0]	—	CHI	5	普通	黄灰	SK1108	砂目底 上面ミガキ		
203	施釉土器	土瓶	—	[4.5]	—	K	5	普通	橙	SK1111	透明釉 外面施文		
204	磁器	碗	—	[3.6]	(4.5)	—	15	普通	白	SK1114	肥前系 施釉 外面染付		
205	磁器	碗	11.3	6.2	4.8	—	100	普通	白	SK1114	肥前系 施釉(外面青磁釉) 内面染付		
206	陶器	播鉢	(35.6)	15.8	(14.8)	DEI	25	良好	灰白	SK1114	丹波系 内面播目		
207	かわらけ	小皿	(10.1)	2.3	5.6	AHIJ	30	普通	灰白	SK1114	底部糸切痕(左) 胎土粉質 全体煤付着		
208	磁器	碗	9.9	4.9	3.8	—	50	普通	灰白	SK1116	肥前系 施釉 外面染付		
209	磁器	碗	(9.1)	5.1	3.8	—	60	普通	灰白	SK1116	肥前系 施釉 外面染付		
210	磁器	碗	(10.0)	4.8	3.9	—	40	良好	白	SK1116	肥前系 施釉 外面染付		
211	磁器	碗	(9.9)	4.5	(3.9)	—	45	良好	白	SK1116	肥前系 施釉 外面染付		
212	磁器	碗	7.6	7.1	4.2	—	75	普通	白	SK1116	肥前系 施釉(外面青磁釉)・染付		
213	磁器	碗	(8.2)	[3.2]	—	—	15	良好	白	SK1116	肥前系 施釉 外面色絵(赤・緑)		
214	磁器	碗	(8.1)	4.1	2.8	—	50	普通	白	SK1116	肥前系 施釉・染付 同文別個体1あり		
215	磁器	蓋	4.0	[1.9]	—	—	20	普通	白	SK1116	肥前系 施釉(外面青磁釉)・染付		
216	磁器	坏	(7.4)	6.0	3.8	—	45	普通	白	SK1116	肥前系 施釉 外面染付		
217	磁器	蓋	—	[3.9]	(6.9)	—	20	普通	白	SK1116	肥前系 施釉	74-4	
218	陶器	皿	(13.6)	2.9	(7.6)	IK	35	普通	灰白	SK1116	瀬戸美濃系 緑釉・目跡(総織部)		
219	陶器	鉢	15.0	8.8	8.5	HI	70	普通	灰白	SK1116	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 4 墨書		77-21
220	陶器	播鉢	34.5	13.2	12.8	DEH	70	普通	淡黄	SK1116	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 柿釉 内面播目 目跡内外面に各 4		
221	瓦質土器	竈	—	[3.5]	—	CFHI	5	普通	にぶい黄橙	SK1116	やや酸化炎焼成 舌の底中心に脚 1		
222	瓦質土器	竈	(26.4)	[13.6]	—	CFK	10	良好	灰白	SK1116	外面ミガキ・燻す 窓幅は任意値で復元		
223	瓦質土器	焙烙	(31.9)	[7.2]	(29.0)	CEFH	30	普通	灰白	SK1116	底部シワ状痕 丸底 体部煤付着		
224	磁器	碗	8.5	6.5	4.2	—	95	普通	白	SK1117	肥前系 施釉・染付		
225	磁器	碗	9.5	5.3	4.0	—	60	普通	灰白	SK1118	肥前系 施釉 外面染付		
226	陶器	鉢	(27.6)	8.1	(12.8)	I	35	普通	淡黄	SK1118	瀬戸美濃系 灰釉 内面緑釉散らす・櫛歯状文・目跡		
227	瓦質土器	瓦灯	7.5	8.8	(23.0)	FHI	65	普通	灰白	SK1118	SK1117 接合 上面刻書・一部ミガキ 墨書	74-5	
228	瓦質土器	焙烙	38.0	5.6	35.2	CIK	70	普通	灰白	SK1118	底部シワ状痕 内面一部ミガキ 燻す	74-6	
229	かわらけ	小皿	(9.0)	1.8	4.5	HI	20	普通	にぶい褐	SK1119	糸切痕 被熱・赤変		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版	
230	かわらけ	小皿	(9.0)	[3.1]	—	CEIK	20	普通	灰黄	SK1125	胎土砂質	74-8	
231	陶器	灯明皿	8.2	1.6	3.9	I	75	普通	淡黄	SK1127	瀬戸美濃系 柿釉 舌あり		
232	磁器	皿	—	[1.5]	(4.7)	—	15	普通	白	SK1127	肥前系 施釉 内面染付 (初期伊万里様式)		
233	土師質土器	焙烙	—	6.1	—	ADH	5	普通	にぶい橙	SK1127	真壁系 底部ムシロ状圧痕 煤付着		
234	土師質土器	乗燭	3.8	1.7	2.7	AH	100	普通	にぶい黄橙	SK1130	底部糸切痕 (左) 胎土粉質 灯芯煤付着		
235	陶器	壺	—	[5.1]	(16.3)	IK	5	良好	黄灰	SK1131	肥前系 施釉		
236	陶器	壺	—	[4.5]	—	IK	5	良好	黄灰	SK1131	肥前系 施釉 内面あて具痕 外面叩き目		
237	土師質土器	火鉢	(28.0)	12.0	(20.3)	AHI	20	普通	にぶい黄橙	SK1131	砂目底 胎土粉質 内面火箸状痕		
238	磁器	碗	(9.0)	[3.3]	—	—	10	普通	灰白	SK1132	肥前系 施釉 外面染付		
239	磁器	碗	(10.4)	5.9	4.2	—	45	普通	灰白	SK1132	肥前系 施釉 外面染付		
240	陶器	天目茶碗	(10.7)	[5.8]	—	IK	15	普通	灰白	SK1132	瀬戸美濃系 鉄釉		
241	陶器	皿	(11.6)	2.1	(7.0)	HI	20	普通	灰白	SK1132	瀬戸美濃系 長石釉 (志野丸皿)		
242	陶器	皿	11.4	2.4	6.6	I	75	良好	灰白	SK1132	瀬戸美濃系 灰釉 内面ピン痕 3 煤付着		
243	陶器	皿	(11.0)	(2.6)	(6.8)	H	15	普通	灰白	SK1132	SK1141に同一個体 瀬戸美濃系 灰釉・緑釉散らし 上下接点ない破片から図上復元		
244	陶器	皿	—	[2.9]	4.6	I	40	良好	灰白	SK1132	肥前系 銅緑釉・蛇の目状釉剥 外面透明釉 煤多量付着		
245	陶器	鉢か	—	[2.6]	(8.1)	K	10	良好	灰白	SK1132	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 弱く被熱		
246	陶器	鉢	—	[2.3]	(15.2)	I	5	普通	灰白	SK1132	瀬戸美濃系 灰釉・目跡 内面櫛歯状文		
247	陶器	播鉢	—	[4.7]	—	DH	5	良好	淡赤橙	SK1132	備前系 内面播目		
248	陶器	播鉢	—	[6.9]	(14.3)	DEH	15	普通	灰白	SK1132	瀬戸美濃系 柿釉 内面播目		
249	陶器	播鉢	—	[10.2]	—	DK	10	良好	にぶい赤褐	SK1132	丹波系 内面播目		
250	瓦質土器	十能	—	[4.0]	—	CHI	35	普通	淡黄橙	SK1132	底部シワ状痕 やや酸化炎焼成 内面菊花スタンプ文		
251	かわらけ	小皿	(10.0)	[2.8]	—	EGHIK	15	良好	にぶい黄橙	SK1132	胎土砂質		74-7
252	かわらけ	小皿	(8.1)	[2.0]	—	CHI	10	良好	橙	SK1132	胎土砂質		
253	かわらけ	小皿	(9.2)	3.2	(4.8)	EHIK	20	良好	にぶい黄橙	SK1132	底部糸切痕 硬質		
254	土師質土器	壺	—	(16.7)	—	ADEH	20	良好	にぶい褐	SK1132	真壁系 外面沈線・ヘラ記号 上下接点ない2破片から図上復元		
255	瓦質土器	焙烙	—	[5.4]	—	CEHI	5	普通	にぶい橙	SK1132	外面煤付着 丸底 やや酸化炎焼成		
256	磁器	香炉	—	[5.3]	(6.4)	—	25	普通	白	SK1133	肥前系 外面青磁釉 見込みに釉溜まる		
257	陶器	碗	—	[3.8]	3.9	—	30	良好	灰白	SK1133	京都信楽系 施釉 胎土磁質		
258	土師質土器	瓦灯	—	3.4	—	AGIK	20	普通	にぶい黄橙	SK1133	砂目底 剥離多い		
259	瓦質土器	把手付鍋	—	—	—	CHI	15	良好	灰白	SK1133	長 [7.0] 径 (3.3) 把手		
260	磁器	碗	—	[2.2]	(5.0)	K	10	良好	白	SK1138	中国景德鎮窯系 施釉・染付		
261	磁器	碗	—	[3.6]	—	—	5	良好	白	SK1141	施釉・染付 被熱		
262	陶器	碗	(9.0)	5.5	3.1	HK	55	良好	灰白	SK1141	京都信楽系 施釉 外面鉄絵		
263	陶器	皿	—	[1.4]	—	IK	20	普通	灰白	SK1141	瀬戸美濃系 緑釉 内面ピン痕 3 (総織部)		
264	陶器	皿	(11.7)	2.4	(6.9)	IK	50	普通	灰白	SK1141	瀬戸美濃系 長石釉 目跡・ピン痕		
265	陶器	皿	—	[2.3]	(6.0)	IK	20	普通	にぶい黄橙	SK1141	瀬戸美濃系 長石釉 見込部印花文		
266	陶器	播鉢	—	[10.8]	—	DEIK	10	普通	浅黄橙	SK1141	瀬戸美濃系 錆釉 内面播目 口唇部研磨		
267	陶器	壺	—	[3.0]	—	IK	5	普通	灰白	SK1141	肥前系 灰釉 内面あて具痕		
268	かわらけ	小皿	(6.6)	2.3	(4.2)	CEHIK	30	普通	にぶい褐	SK1141	底部糸切痕 (右)		
269	かわらけ	小皿	(8.7)	3.1	(4.6)	CEIK	20	普通	褐	SK1141	底部糸切痕		
270	かわらけ	小皿	(8.3)	3.0	4.2	CEIK	60	普通	にぶい黄橙	SK1141	底部糸切痕 (右)		
271	かわらけ	小皿	(9.1)	3.0	4.2	CEHI	60	良好	浅黄橙	SK1141	底部糸切痕 (右)		
272	かわらけ	小皿	(9.1)	2.8	(5.0)	EHIK	45	普通	にぶい黄橙	SK1141	底部糸切痕 (右)		

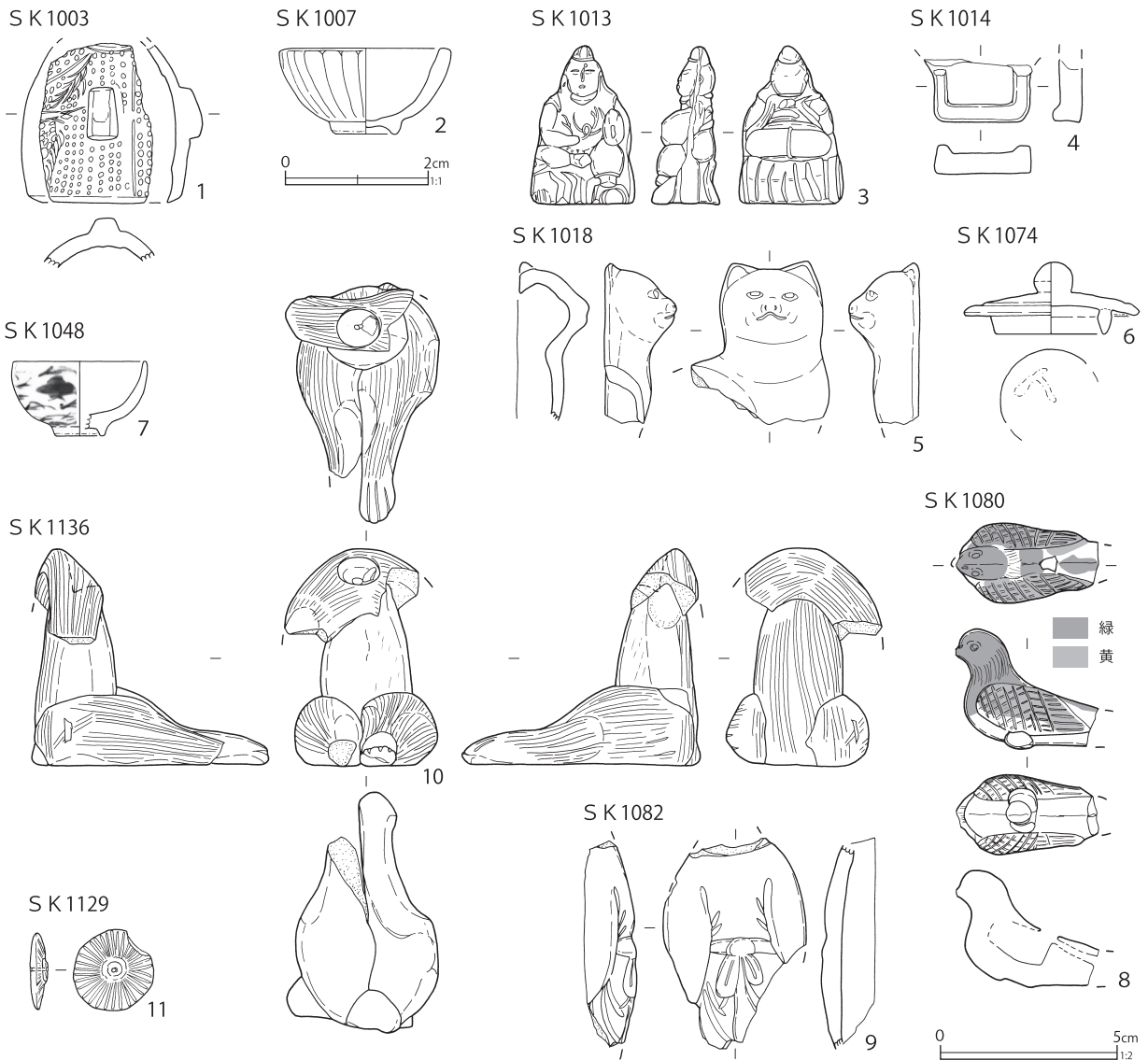
れる軽石粒が天明の浅間山噴火と関わるならば、18世紀末頃とも想定される。

第1100号土壌 (第297図)

C 6-E 4・5グリッドに位置する土壌で、長軸2m強の楕円形を呈する。土壌中に、木の切り株が北側に傾いて残っていた。南側からは、切り

株を起こすように、複数の杭が根の下側に差し込まれていた。樹木を除去しようとした痕跡と考えられる。位置は本陣敷地の南西隅にあたりと考えられる。

除去しきれなかった切り株の隙間には、瓦がまとまって廃棄されていた。第342図18・19には、



第 340 図 土壙出土遺物 (27)

第 65 表 土壙出土遺物観察表 (5) (第 340 図)

番号	種別	器種	幅/長	高さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	箱庭道具か	[3.2]	[4.5]	径(3.5)	10.4	AEI	普通	にぶい橙	SK1003	梵鐘か 江戸在地系か 胎土やや砂質	87-8
2	磁器	坏	口径 2.3 高 1.2 底径 0.8			-	-	良好	白	SK1007	肥前系か 紅坏 施釉 型成形 外面施文	
3	施釉土器	人形	2.9	4.4	1.9	-	-	良好	灰白	SK1013	仏像 京都系 前後合型成形 施釉 (黄色)	87-9
4	施釉土器	ミニチュア	[2.7]	[0.8]	-	6.0	A	普通	灰黄	SK1014	竈か 胎土粉質 外面赤彩	87-10
5	土製品	人形	[3.9]	[4.6]	[2.0]	14.1	AEHI	普通	にぶい黄橙	SK1018	猫 江戸在地系 前後合型成形 胎土粉質	87-11
6	施釉土器	ミニチュア	径 5.0	2.0	-	11.3	AI	良好	橙	SK1074	蓋 江戸在地系 透明釉 下面に記号状の施釉部有	87-12
7	磁器	ミニチュア	口径 (3.7) 高 2.1 底径 (1.3)			-	-	普通	白	SK1048	肥前系 施釉 外面染付	
8	土製品	鳩笛	[4.0]	3.4	2.3	16.5	I	良好	浅黄橙	SK1080	京都系 左右合型成形 透明釉・緑釉	87-13
9	土製品	人形	4.0	[5.9]	[1.5]	13.9	AI	良好	浅橙黄	SK1082	京都系 前後合型成形 背面のみ遺存	87-14
10	土製品	人形	[4.0]	[6.1]	6.8	64.0	A	良好	橙	SK1136	猿 江戸在地系 手捻り 施文 頭部欠失	87-16
11	土製品	玩具類か	径 2.2	-	0.5	1.9	A	普通	にぶい橙	SK1129	外面黒色塗布物・施文 穿孔 車輪状	87-15

このうち軒瓦を示した。陶器・磁器の出土はみられず、僅かに土器の火鉢類と平底焙烙の破片が出土した。

詳細な時期を確定し難いが、次に記述する第 1101 号土壙との重複関係から、18 世紀半ば以降に帰属すると考えらる。

第1101号土壌 (第297図)

C 6-E 4・5 グリッドに位置する径3.8m程の土壌で平面形は不整形円形を呈する。第13・14号溝跡・第1001・1100号土壌が重複し、本跡が古い。第1015・1048号土壌とも重複するが、新旧関係は不明である。上層は黄褐色砂質土が被覆するように堆積するが、下層は粘質土であった。比較的深い土壌であったため、湧水が激しく、底面の形状は明確ではない。

出土した陶磁器を第334図138～143に示した。139・140は瀬戸美濃系陶器と考えられる変形皿で同形・同文である。143は京都信楽系陶器の灰落しと考えられる。外面に上絵付けがあるが、被熱により痕跡のみ残る。図示した以外に肥前系磁器雪輪草花文碗、瀬戸美濃系陶器尾呂茶碗、柿釉灯明皿(油皿)が出土している。18世紀でも古手の陶磁器様相であり、第13・14号溝跡との重複関係とも矛盾しない。

141・142は古代以前の遺物で、141は古墳時代の甕類、142は9世紀後半頃の須恵器坏である。後者は焼成不良、やや軟質の胎土で、三和窯跡産と考えられる。なお、栗橋宿跡では僅かながら土師器や須恵器の細片が出土しており、本陣跡においても第二面の遺構や井戸跡の調査中に少量の資料を得ている。各遺構の挿図中に示したものの以外では、古墳時代を中心とした土師器が12片、奈良・平安時代の須恵器が2片確認された。量的には刷毛目を有す壺甕類が多く、古墳時代前期が中心と思われる。周辺に古代以前の遺跡は知られていないが、栗橋宿跡近辺の微高地で、短期間・局所的な土地利用があった可能性は高いであろう。

第1102号土壌 (第305図)

C 6-C 3 グリッドに位置し、第1103号土壌を壊している。位置的には、店子町屋範囲の裏手に該当する。長軸2.4m程の隅丸長方形の土壌と考えられるが、遺構中央部を第16号井戸跡に掘り込まれており、遺存状況は悪い。

出土遺物は比較的豊富である。第334・335図144～160に出土した陶磁器を示す。145～148は所謂、波佐見系の磁器碗だが、高台部は比較的シャープに作られ、サイズもやや大きい。肥前系磁器の蛇の目状釉剥ぎされた皿(151)は高台を露胎とする。149は肥前内野山窯系の蛇の目状釉剥ぎされた皿で、銅緑釉を施す。このほか銅緑釉の丸碗も出土している。陶磁器様相から18世紀前葉の遺構と考えられる。

第1104号土壌 (第306図)

C 6-C 3 グリッドに位置する。長さ1.73m、幅1.16mの長方形の土壌である。位置的には、店子町屋範囲の裏手に該当する。覆土の大部分が木材や木製品で、これに陶磁器等、他の遺物が含まれていた。第335図167～182は出土した陶磁器の一部である。168は肥前磁器碗で、外面を青磁釉とする。171・172の肥前磁器色絵皿は、第一面の第289号土壌から同文のものが複数出土している(第221図567・568)。図示した以外に瀬戸美濃系陶器石皿の破片が出土している。第347・348図76～92には木製品の一部を示す。

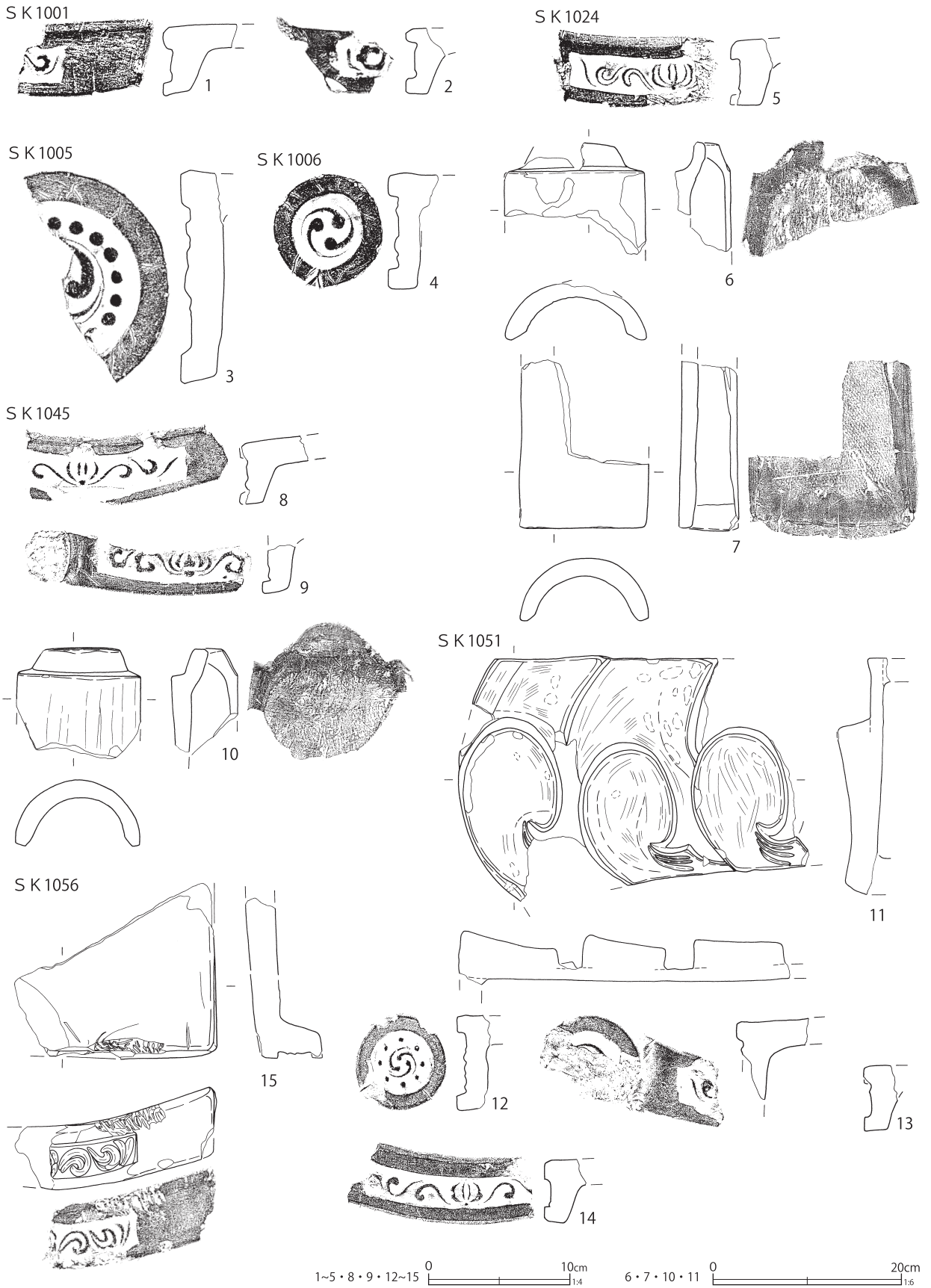
本跡は、18世紀後葉に帰属し、町屋の廃棄土壌として用いられたと考えられる。

第1108号土壌 (第307図)

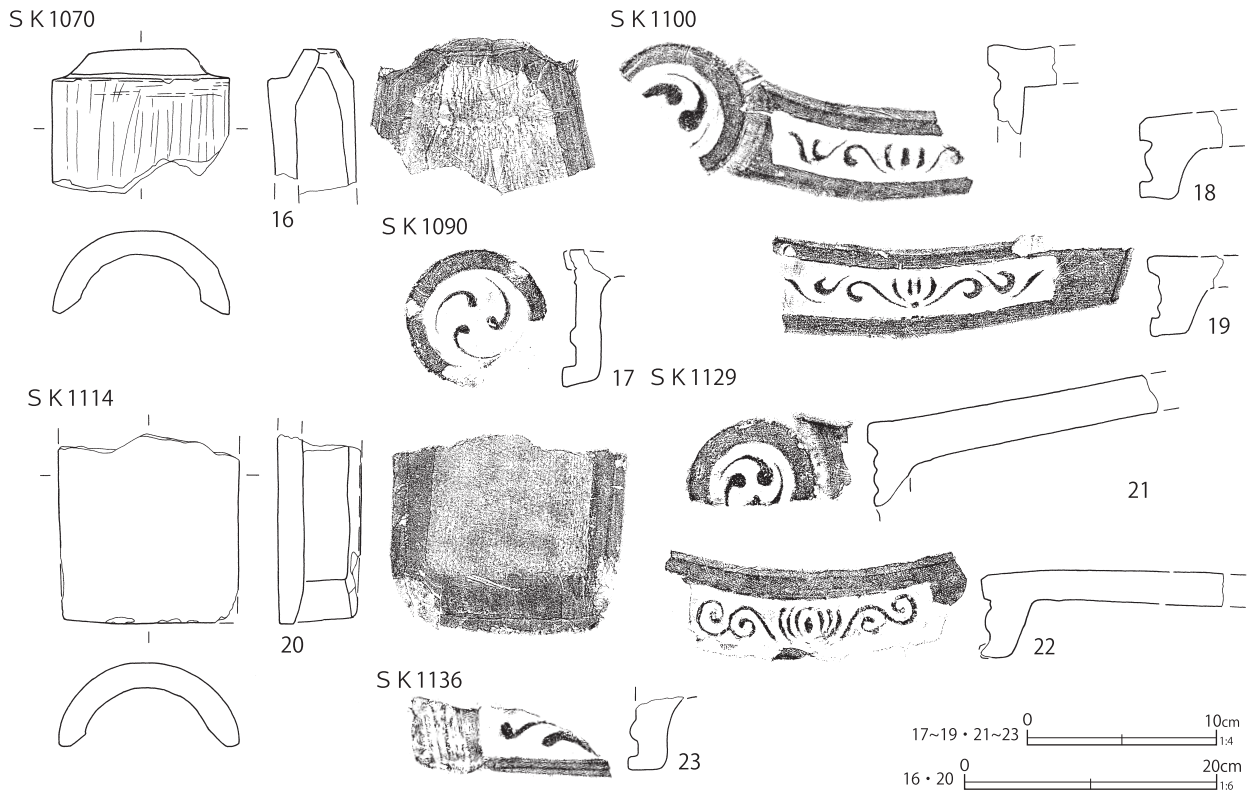
C 6-C 2 グリッドで検出され、第15号建物跡の裏手に位置する。長軸約3.2mの不整形長方形を呈する。覆土中～上層に木製品等の遺物がまとまって検出された。

陶磁器は第335・336図186～202に示した。192～194の陶器輪髹鉢には墨書が認められる。陶磁器は細片が多かったが、外面青磁釉の肥前系磁器筒形碗等が認められ、18世紀後葉に位置づけられる。

第348図94は火打金の柄で「芝神明前本図や三郎兵へ」の焼き印がある。江戸の火打ちに関わる商いを独占したとされる「本升屋」に関わる遺物と考えられる。「江戸期町並絵図」には、遺構の



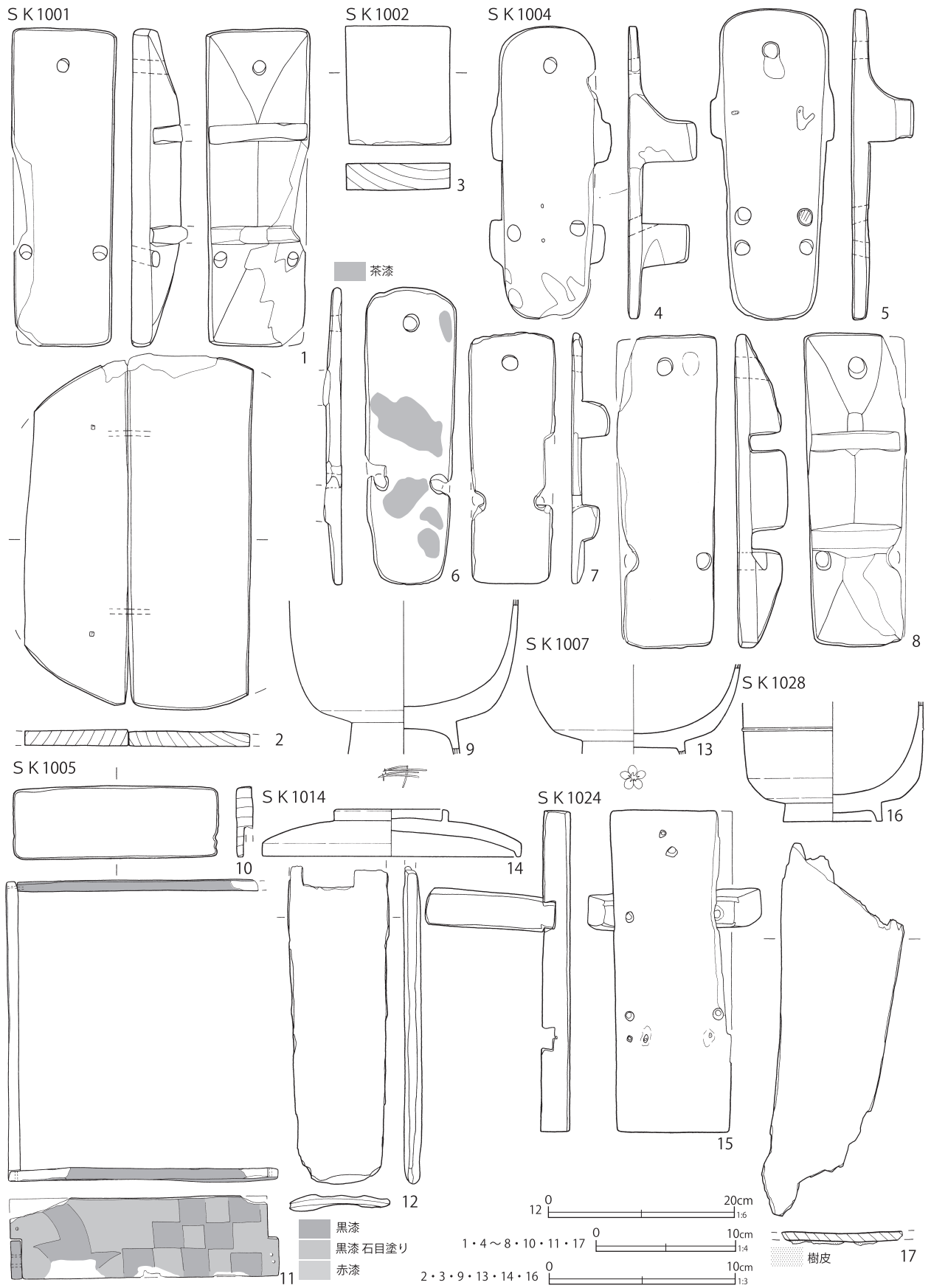
第 341 图 土壙出土遺物 (28)



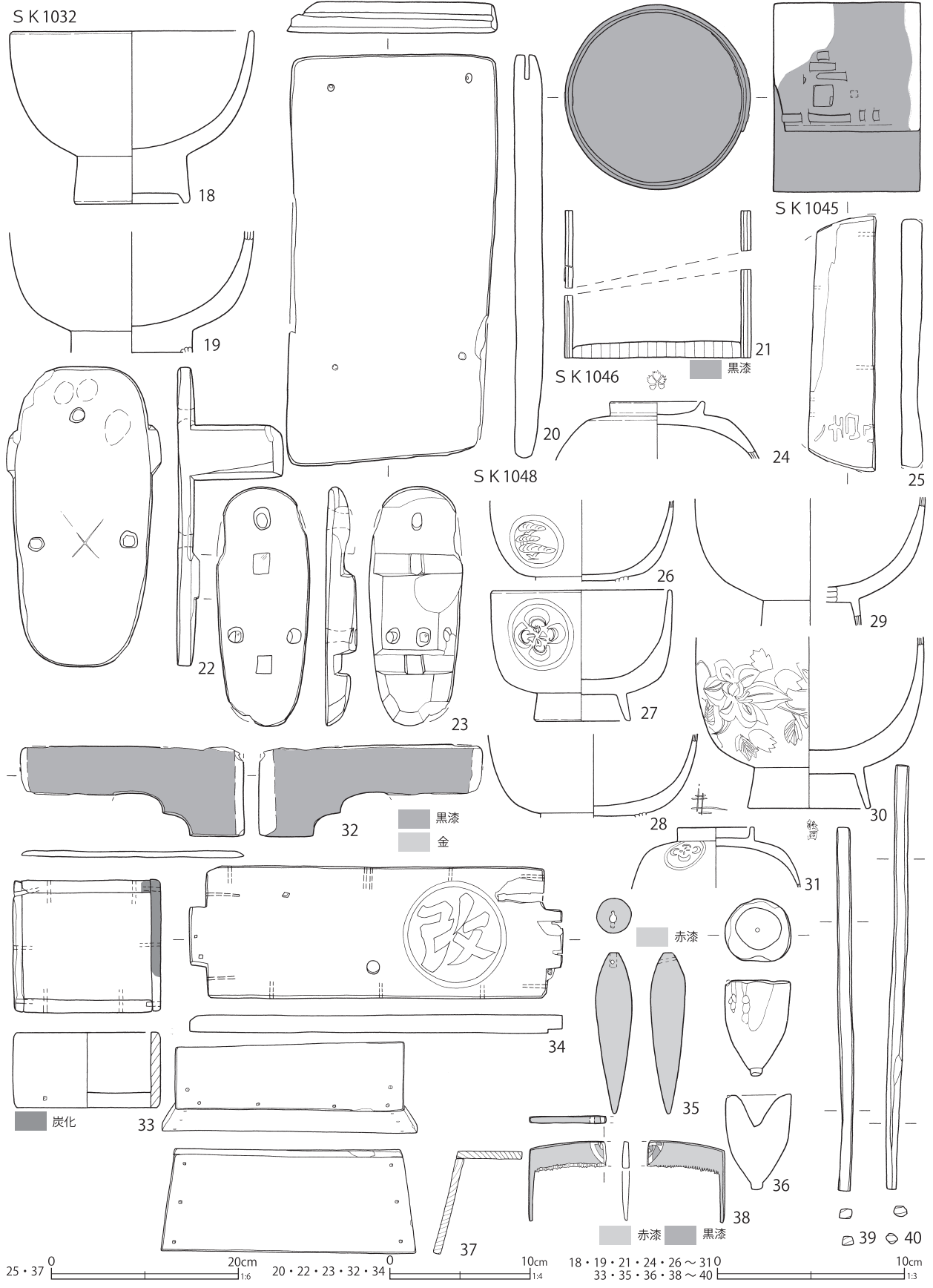
第 342 図 土壙出土遺物 (29)

第 66 表 土壙出土遺物観察表 (6) (第 341 ~ 342 図)

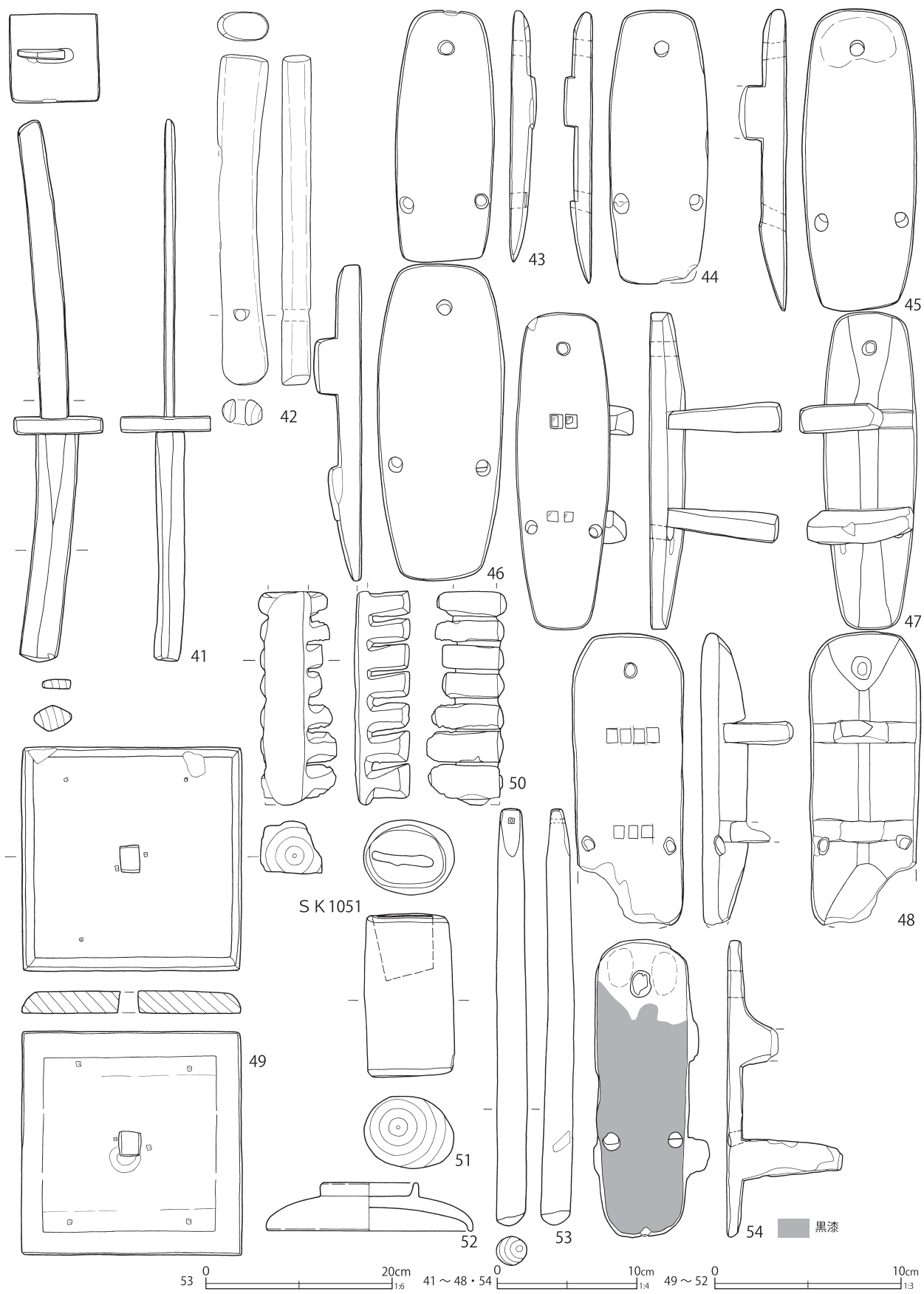
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	高さ	径	胎土	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒棧瓦	[5.9]	[11.2]	1.7	[5.0]	—	ACIK	灰	SK1001	銀化	
2	瓦	軒棧瓦	[2.7]	[7.9]	2.2	[4.5]	—	ACIK	灰白	SK1001	銀化	
3	瓦	軒丸瓦	—	[8.3]	2.5	[15.3]	(15.6)	ACHIK	灰	SK1005	右巻	
4	瓦	軒棧瓦	[3.8]	8.1	2.1	8.1	7.6	ACHIK	灰	SK1006	右巻	
5	瓦	軒棧瓦	[3.1]	[11.6]	2.1	[4.6]	—	ACIK	灰白	SK1024	被熱	90-8
6	瓦	丸瓦	[12.0]	15.0	1.8	6.0	—	ACIK	灰	SK1024		
7	瓦	丸瓦	[18.0]	13.6	1.8	6.7	—	AIK	灰	SK1024		
8	瓦	軒棧瓦	[5.3]	[16.3]	1.7	[4.6]	—	HIK	灰	SK1045		90-9
9	瓦	軒棧瓦	2.7	[16.1]	1.8	[3.4]	—	ACHIK	灰	SK1045		
10	瓦	丸瓦	11.8	13.3	1.8	7.0	—	ACIK	灰白	SK1045		
11	瓦	鬼瓦	[5.7]	[37.6]	4.9	[26.3]	—	AIK	灰	SK1051	指頭圧痕・ヘラナデ痕多数あり 銀化	90-11
12	瓦	軒棧瓦	[2.6]	[6.5]	1.8	—	6.5	ACIK	灰白	SK1051	銀化 左巻 被熱	
13	瓦	軒棧瓦	[5.1]	[12.9]	1.8	[8.1]	(6.5)	AIK	灰	SK1051		
14	瓦	軒棧瓦	[3.8]	[13.2]	2.0	[4.4]	—	ACIK	灰	SK1051		
15	瓦	軒棧瓦か	[12.0]	[14.5]	2.0	[7.3]	—	AIK	灰	SK1056	二次使用 刃ならし痕上部に多数あり	90-10
16	瓦	丸瓦	[13.5]	14.2	1.8	6.6	—	AHIK	灰	SK1070	ヘラナデ痕あり	
17	瓦	軒棧瓦	[3.6]	[8.5]	1.8	7.1	7.1	AIK	灰	SK1090	右巻き	
18	瓦	軒棧瓦	[3.9]	[19.7]	2.0	—	7.0	AIK	灰	SK1100	銀化 右巻	90-12
19	瓦	軒棧瓦	[4.0]	[19.5]	2.0	—	—	AIK	灰	SK1100		90-13
20	瓦	丸瓦	[14.9]	14.6	2.2	[6.7]	—	AIK	灰	SK1114		
21	瓦	軒棧瓦	[15.3]	15.0]	2.4	[6.6]	6.5	AIK	灰	SK1129	右巻	
22	瓦	軒棧瓦	12.7	[17.3]	1.7	[4.5]	—	HIK	灰白	SK1129		90-14
23	瓦	軒棧瓦	[3.1]	[10.8]	2.0	[3.8]	—	ACIK	灰白	SK1136	銀化	



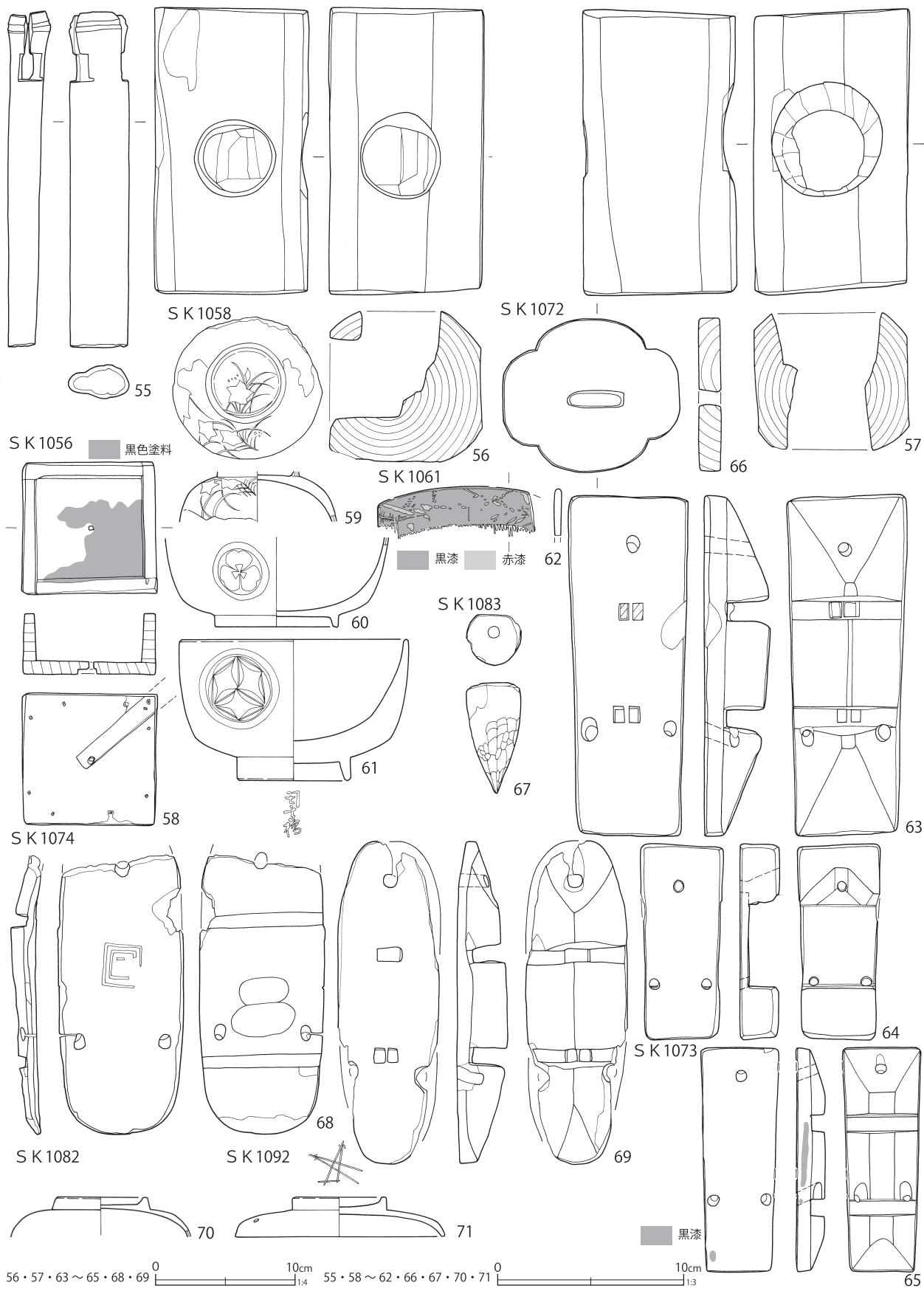
第 343 図 土壙出土遺物 (30)



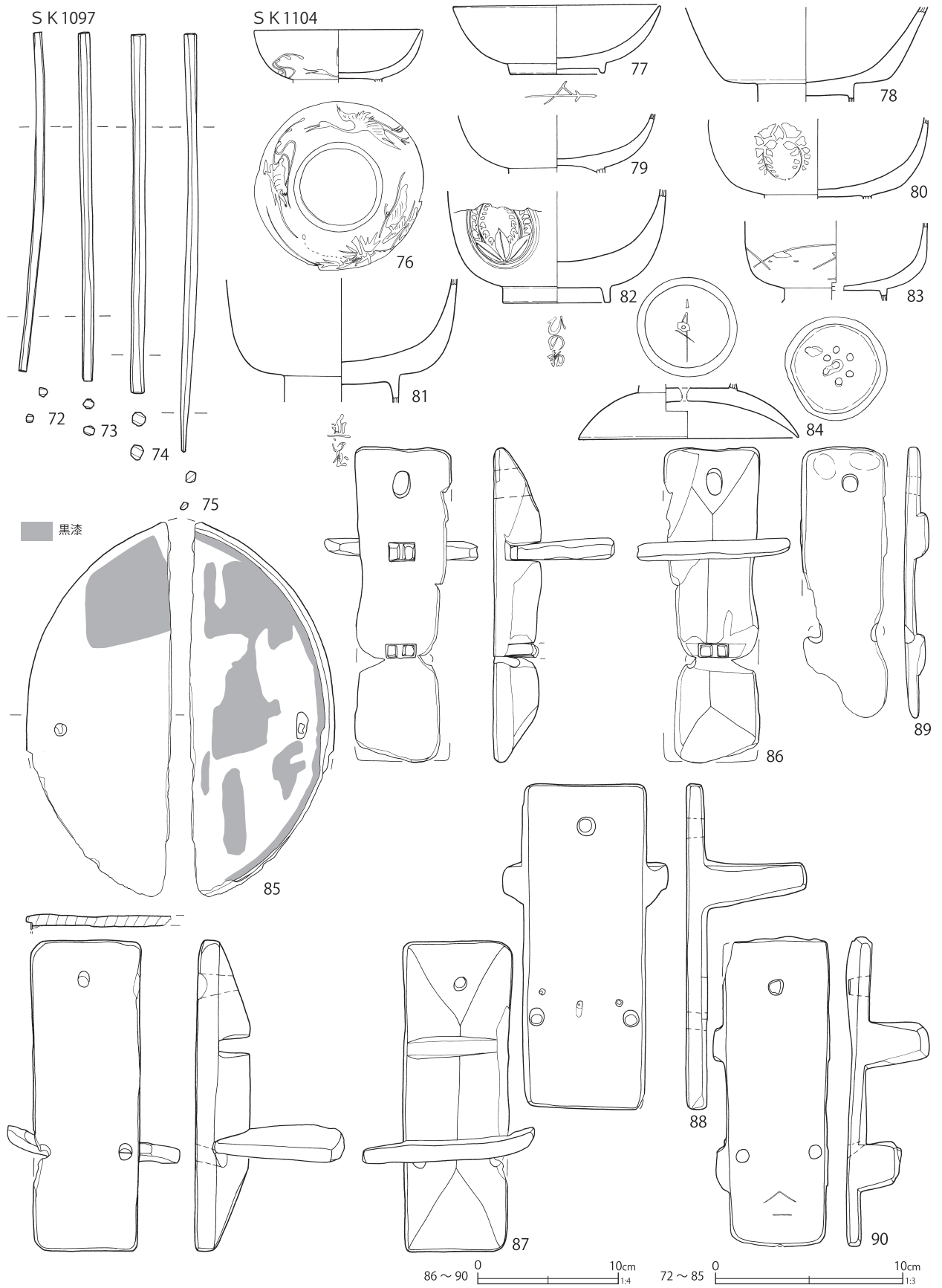
第 344 図 土壌出土遺物 (31)



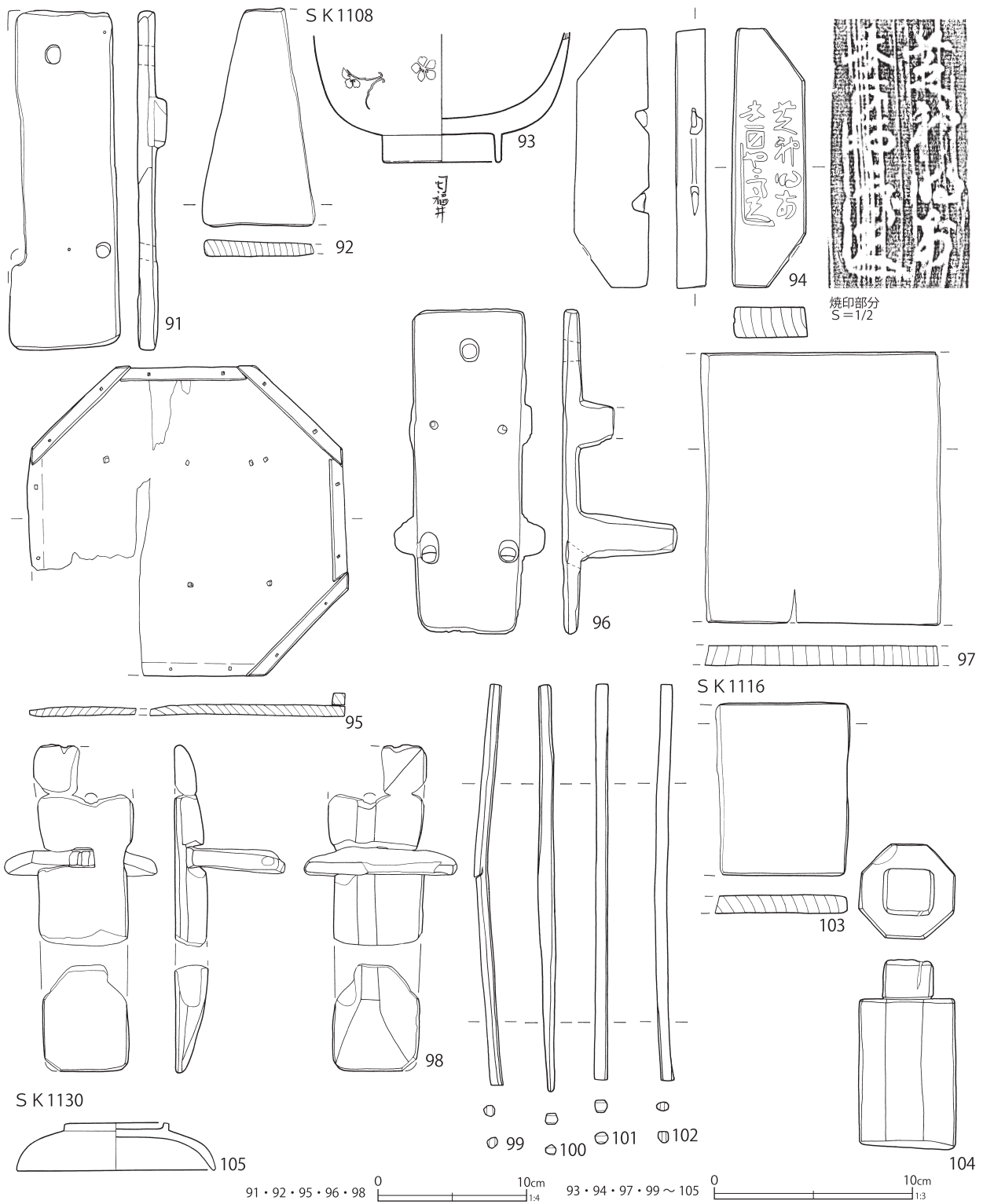
第 345 図 土壙出土遺物 (32)



第 346 図 土壙出土遺物 (33)



第 347 図 土壙出土遺物 (34)



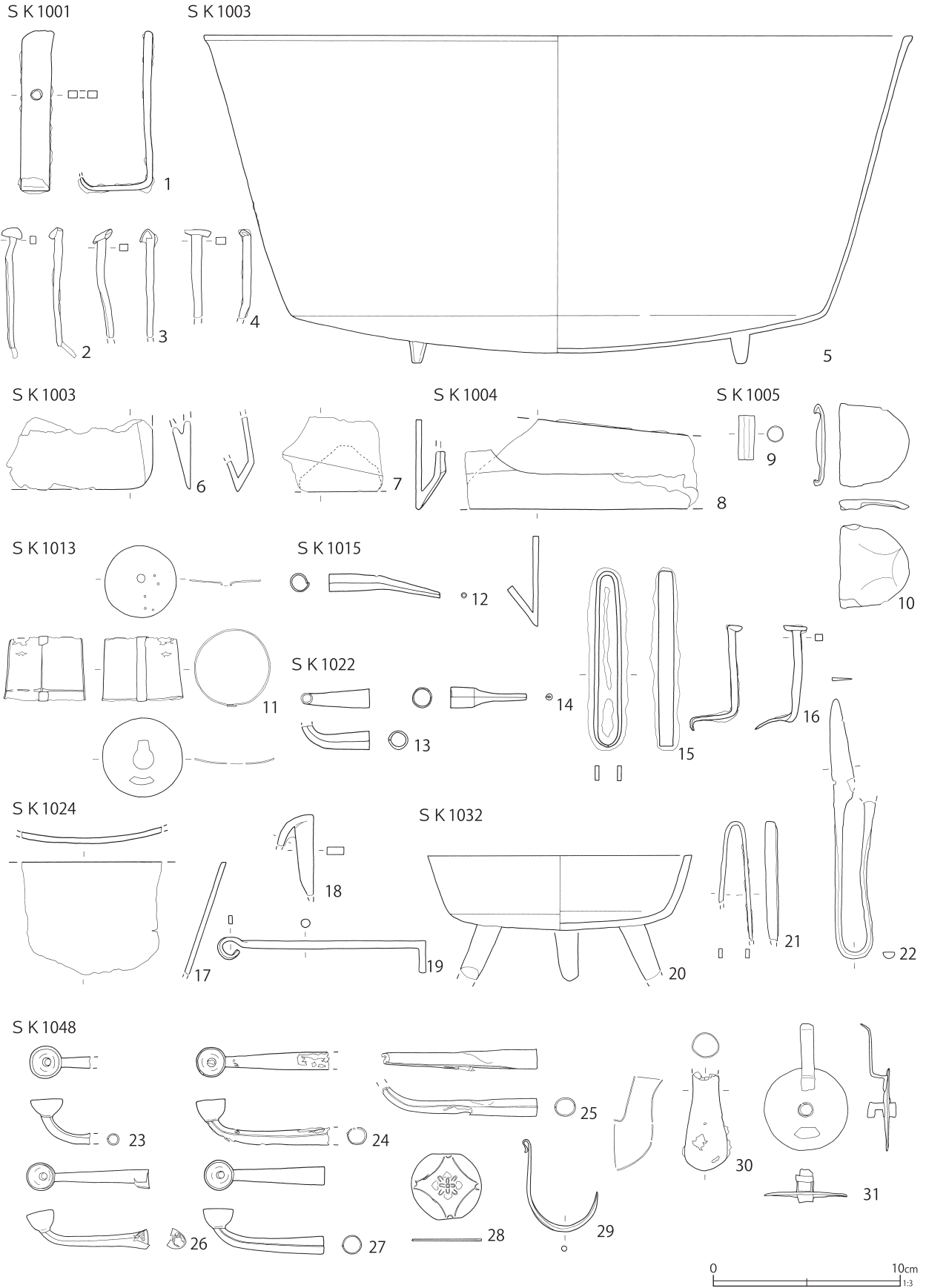
第 348 図 土壇出土遺物 (35)

第 67 表 土壇出土遺物観察表 (7) (第 343 ~ 348 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	気取り	遺構	備考	図版
1	木製品	下駄	22.6	7.5	—	—	[4.0]	—	柱目	SK1001	陰卯下駄 台ケンボナシ属	
2	木製品	樽	[19.0]	[12.0]	0.9	—	—	—	板目	SK1001	蓋 表面墨書・朱書 (第 76 表 14)	104-14
3	木製品	木札	6.3	5.6	1.4	—	—	—	板目	SK1002	墨書表面「本」, 側面「オ」 (第 76 表 15)	104-15

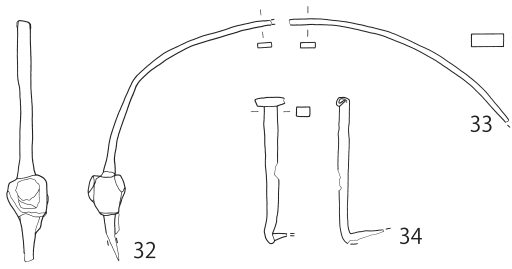
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	気取り	遺構	備考	図版
4	木製品	下駄	20.8	6.8	—	—	4.9	—	板目	SK1004	連歯下駄 裏面黒漆	
5	木製品	下駄	22.2	8.0	4.5	—	—	—	板目	SK1004	連歯下駄 後穴2組 前鉄釘 コナラ属 コナラ節	
6	木製品	下駄	21.3	5.5	—	—	[1.3]	—	板目	SK1004	連歯下駄 表裏面茶漆	
7	木製品	下駄	17.9	6.2	—	—	2.7	—	板目	SK1004	連歯下駄	
8	木製品	下駄	22.2	7.0	—	—	[3.7]	—	板目	SK1004	陰卯下駄	
9	木製品	漆椀	—	—	—	—	[8.2]	—	横木取り	SK1004	内外面赤漆 高台内金で文様	
10	木製品	火打ち金	3.8	11.0	0.9	—	—	—	板目	SK1005	持ち手 差込口欠損	
11	木製品	箱	21.3	19.2	—	—	5.2	—	板目	SK1005	外面・口縁黒漆 内面赤漆 側面石目塗 りの文様	
12	木製品	椀	[33.6]	10.9	1.7	—	—	—	板目	SK1005		
13	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.8]	—	横木取り	SK1007	内面赤漆 外面黒漆 高台内赤で文様	
14	木製品	漆椀蓋	つまみ径 (5.9)			(13.7)	2.5	—	横木取り	SK1014	内外面赤漆	
15	木製品	下駄	23.0	(8.6)	—	—	10.2	—	板目	SK1024	陰卯下駄 歯を鉄釘固定	
16	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.3]	5.3	横木取り	SK1028	内外面黒漆	
17	木製品	板	[26.6]	[8.8]	0.9	—	—	—	板目	SK1028	表面墨書 (第76表16) 裏面樹皮	104-16
18	木製品	漆椀	—	—	—	12.8	9.1	6.0	横木取り	SK1032		
19	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.4]	—	横木取り	SK1032	内外面赤漆 高台内黒漆	
20	木製品	不明品	29.1	14.6	2.0	—	—	—	板目	SK1032	上面抉り 鉄釘残	
21	木製品	柄杓	—	—	—	9.9	7.8	9.9	板目	SK1032	内外面黒漆 側板二枚重ね	
22	木製品	下駄	21.2	9.8	—	—	7.3	—	板目	SK1032	連歯下駄 表面刻印「×」ヒノキ	
23	木製品	下駄	17.0	6.6	—	—	[2.2]	—	板目	SK1032	露卯下駄	
24	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.9			—	[3.1]	—	横木取り	SK1046	内外面赤漆 高台内黒で文様 被熱	
25	木製品	椀	—	—	2.2	28.0	—	—	板目	SK1045	蓋 表面焼印 木釘残	
26	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.3]	—	横木取り	SK1048	内外面赤漆 外面黒で家紋	
27	木製品	漆椀	—	—	—	9.4	6.9	4.8	横木取り	SK1048	内外面赤漆 外面黒で家紋	95-14
28	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.3]	—	横木取り	SK1048	内面赤漆 外面黒漆 炭化	
29	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.7]	—	横木取り	SK1048	内外面赤漆	
30	木製品	漆椀	—	—	—	—	[9.1]	(6.9)	横木取り	SK1048	内面赤漆 外面黒漆・金で文様 金で「横 田」	95-15
31	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.0			—	[3.2]	—	横木取り	SK1048	内外面赤漆 つまみ縁黒漆 外面黒で家 紋 つまみ内黒で文様	95-30
32	木製品	脚	[6.3]	16.0	0.5	—	—	—	板目	SK1048	表裏面黒漆 上面金残存	
33	木製品	箱	7.0	7.8	—	—	4.0	—	板目	SK1048	木釘固定 炭化	
34	木製品	箱	9.3	26.5	1.2	—	—	—	板目	SK1048	側板 木釘・鉄釘残 焼印マルに「改」	
35	木製品	浮子	8.6	—	—	1.9	—	—	板目	SK1048	赤漆 上面・側面に孔	96-1
36	木製品	独楽	—	3.5	3.3	—	5.0	—	芯持材	SK1048	上面抉り	96-2
37	木製品	箱枕か	[9.8]	27.0	—	—	11.0	—	板目	SK1048	上板表面墨書 (第76表17)	104-17
38	木製品	櫛	[4.1]	4.2	0.4	—	—	—	板目	SK1048	全面赤漆 黒で文様	
39	木製品	箸	19.3	0.7	0.6	—	—	—	削出し	SK1048		
40	木製品	箸	22.5	0.7	0.6	—	—	—	削出し	SK1048		
41	木製品	木刀	38.6	6.3	6.3	—	—	—	板目	SK1048		96-3
42	木製品	木刀	23.5	3.4	1.8	—	—	—	板目	SK1048	柄	96-4
43	木製品	下駄	17.8	7.0	—	—	1.8	—	板目	SK1048	連歯下駄	
44	木製品	下駄	19.4	7.0	—	—	2.0	—	板目	SK1048	連歯下駄	
45	木製品	下駄	21.5	8.1	—	—	[3.5]	—	板目	SK1048	連歯下駄 前歯に鉄釘	
46	木製品	下駄	22.5	9.0	—	—	3.3	—	板目	SK1048	連歯下駄	
47	木製品	下駄	22.5	6.7	—	—	9.4	—	板目	SK1048	露卯下駄 台ヒノキ・後歯スギ	
48	木製品	下駄	[20.8]	7.9	6.6	—	—	—	板目	SK1048	露卯下駄	
49	木製品	不明品	11.9	11.6	1.2	—	—	—	板目	SK1048	方形孔 木釘残 裏面切込み・焼印	
50	木製品	不明品	[11.3]	4.0	2.8	—	—	—	芯持材	SK1048		
51	木製品	柄	8.7	4.8	3.8	—	—	—	芯持材	SK1051	上面差込口	96-5
52	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.9			10.8	2.5	—	横木取り	SK1051	内面赤漆 外面黒漆	96-6
53	木製品	すりこぎ	44.9	3.3	3.2	—	—	—	芯持材	SK1051	上部円孔	96-7
54	木製品	下駄	21.2	6.8	—	—	8.3	—	板目	SK1051	連歯下駄 表面黒漆	
55	木製品	不明品	17.9	3.2	1.8	—	—	—	—	SK1051	竹製	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	気取り	遺構	備考	図版
56	木製品	継ぎ手	20.5	11.1	10.8	—	—	—	芯持材	SK1051	円形孔	
57	木製品	継ぎ手	20.4	11.2	9.0	—	—	—	芯持材	SK1051	円形孔	
58	木製品	柄杓	7.1	7.2	—	—	3.1	—	榫目	SK1056	裏面差込口 内面黒色塗料固着 側面黒色塗料	96-8
59	木製品	漆椀蓋	—	—	—	—	[2.7]	—	横木取り	SK1058	内面赤漆 外面黒漆・金で文様	
60	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.8]	6.4	横木取り	SK1058	内外面赤漆 外面黒で家紋	
61	木製品	漆椀	—	—	—	(12.0)	7.4	(5.9)	横木取り	SK1058	内外面赤漆 外面黒で家紋 カネに「七」「高橋」	
62	木製品	櫛	[8.4]	[2.7]	0.4	—	—	—	榫目	SK1061	黒漆 表面文様 (赤) 裏面不鮮明 歯二段	96-9
63	木製品	下駄	24.2	8.5	—	—	[4.7]	—	板目	SK1061	露卯下駄 キハダ	
64	木製品	下駄	14.0	5.2	—	—	2.9	—	榫目	SK1061	削り下駄 ヒノキ科	
65	木製品	下駄	16.0	5.6	—	—	[2.1]	—	板目	SK1073	陰卯下駄 黒漆	
66	木製品	鏝	8.2	9.4	1.2	—	—	—	板目	SK1072	楕円孔	96-10
67	木製品	独楽	—	—	—	2.8	5.9	—	芯持材	SK1083	上面円形の挟り	96-11
68	木製品	下駄	[20.0]	8.9	—	—	[1.8]	—	榫目	SK1074	陰卯下駄 歪み大 表面焼印 ヤナギ属	
69	木製品	下駄	23.0	7.2	—	—	[3.6]	—	板目	SK1074	露卯下駄 キハダ	
70	木製品	漆椀蓋	つまみ径 4.8			—	[2.1]	—	横木取り	SK1082	内外面赤漆 つまみ縁黒漆 歪み大	
71	木製品	漆椀蓋	つまみ径 5.0			(11.2)	2.1	—	横木取り	SK1092	内外面赤漆 口縁・つまみ縁黒漆 つまみ内金で文様 孔 2	96-12
72	木製品	箸	18.2	0.5	0.5	—	—	—	削出し	SK1097	スギ	
73	木製品	箸	18.5	0.6	0.5	—	—	—	削出し	SK1097	スギ	
74	木製品	箸	19.0	0.8	0.8	—	—	—	削出し	SK1097	スギ	
75	木製品	箸	22.1	0.6	0.6	—	—	—	削出し	SK1097	スギ	
76	木製品	漆椀	—	—	—	(8.8)	[2.8]	—	横木取り	SK1104	内面赤漆 外面黒漆・赤で文様	
77	木製品	漆椀	—	—	—	(10.9)	3.6	4.9	横木取り	SK1104	内外面赤漆 高台縁黒漆 高台内文様 (黒)	
78	木製品	漆椀	—	—	—	—	[5.0]	—	横木取り	SK1104	内外面黒漆	
79	木製品	漆椀	—	—	—	—	[3.1]	—	横木取り	SK1104	内外面赤漆 高台内黒で文様 被熱	
80	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.2]	—	横木取り	SK1104	内外面赤漆 外面黒で文様	
81	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.5]	—	横木取り	SK1104	内面赤漆 外面黒漆 赤で「近江屋」	
82	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.0]	5.7	横木取り	SK1104	内面赤漆 外面黒漆・赤で家紋 赤で「ひの柀」	
83	木製品	漆椀	—	—	—	—	[4.1]	—	横木取り	SK1104	内面赤漆 外面黒漆・赤で文様 高台部穿孔 8	
84	木製品	漆椀蓋	—	—	—	11.7	[2.8]	—	横木取り	SK1104	内外面赤漆 つまみ内黒で文様 穿孔	
85	木製品	蓋	[19.8]	[7.7]	0.6	—	—	—	板目	SK1104	全面黒漆 側板一部残存 孔 1	
86	木製品	下駄	22.4	6.8	—	—	8.5	—	—	SK1104	露卯下駄 台榫目 歯板目	
87	木製品	下駄	22.0	7.7	—	—	10.5	—	—	SK1104	陰卯下駄 台榫目 歯板目 台・歯ケンボナン属	
88	木製品	下駄	22.9	8.9	—	—	8.5	—	榫目	SK1104	連歯下駄 後歯に釘穴 クリ	
89	木製品	下駄	[19.2]	[6.0]	—	—	1.7	—	榫目	SK1104	連歯下駄	
90	木製品	下駄	22.0	7.6	—	—	5.8	—	板目	SK1104	連歯下駄 表面刻印 歪み大	
91	木製品	下駄	22.7	7.4	—	—	1.9	—	榫目	SK1104	連歯下駄	
92	木製品	下駄	14.7	[7.6]	1.1	—	—	—	榫目	SK1104	陰卯下駄の歯	
93	木製品	漆椀	—	—	—	—	[6.1]	5.8	横木取り	SK1108	内外面赤漆 金で文様 黒でカネに「七」「福井」	96-13
94	木製品	火打ち金	3.7	12.9	1.5	—	—	—	板目	SK1108	持ち手 焼印「芝神明前 / 本匁や三郎兵へ」(「本」は「木」「一」を分かつ)	96-15
95	木製品	不明品	20.7	21.4	—	—	1.6	—	板目	SK1108	木釘穴多数	
96	木製品	下駄	21.7	7.5	—	—	7.7	—	板目	SK1108	連歯下駄 前歯に鉄釘	
97	木製品	木札	13.5	[11.9]	[1.0]	—	—	—	榫目	SK1108	表面墨書「仕入」(第 76 表 18)	104-18
98	木製品	下駄	(21.9)	6.5	—	—	7.4	—	板目	SK1108	露卯下駄	
99	木製品	箸	20.2	0.6	0.5	—	—	—	削出し	SK1108		
100	木製品	箸	20.5	0.6	0.6	—	—	—	削出し	SK1108		
101	木製品	箸	19.9	0.7	0.6	—	—	—	削出し	SK1108		
102	木製品	箸	20.0	0.7	0.5	—	—	—	削出し	SK1108		
103	木製品	木札	8.7	[6.7]	0.9	—	—	—	板目	SK1116	表面墨書「左」カ (第 76 表 19)	104-19
104	木製品	不明品	9.4	4.9	4.7	—	—	—	板目	SK1116		
105	木製品	漆椀蓋	つまみ径 (5.2)			9.9	2.4	—	横木取り	SK1130	内外面黒漆	96-14

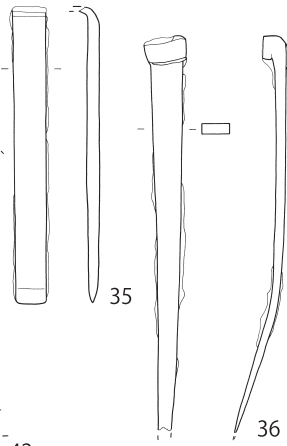


第 349 図 土壙出土遺物 (36)

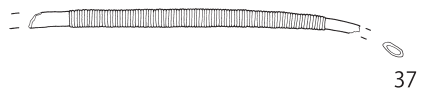
S K 1048



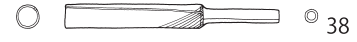
S K 1049



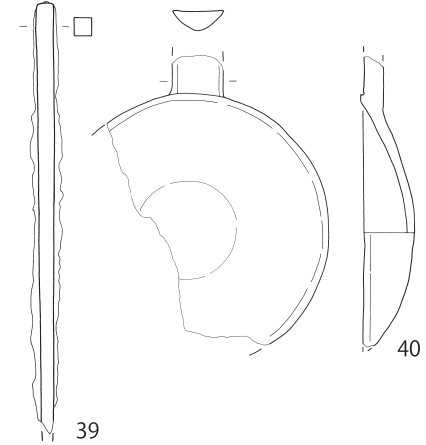
S K 1050



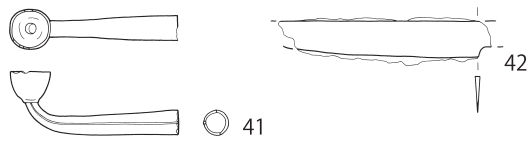
S K 1051



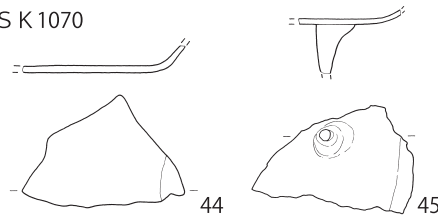
S K 1053



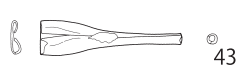
S K 1057



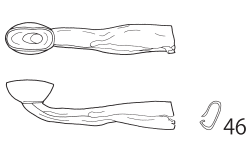
S K 1070



S K 1060



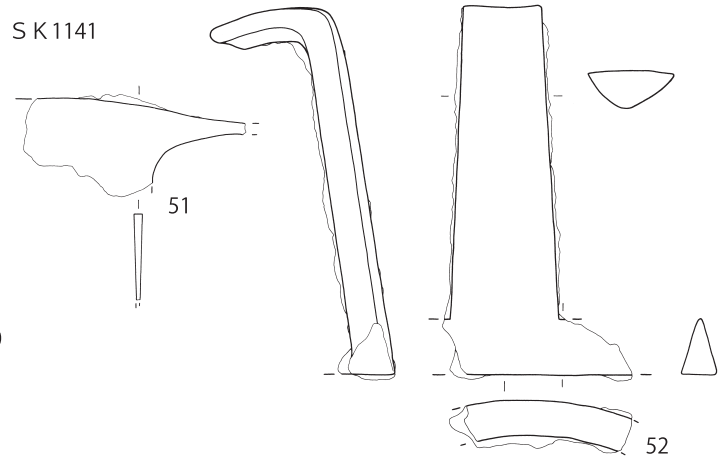
S K 1085



S K 1101



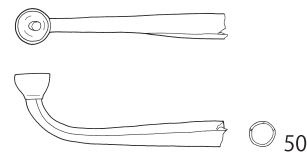
S K 1141



S K 1129



S K 1132



0 10cm 1/3 32 ~ 52

S K 1032

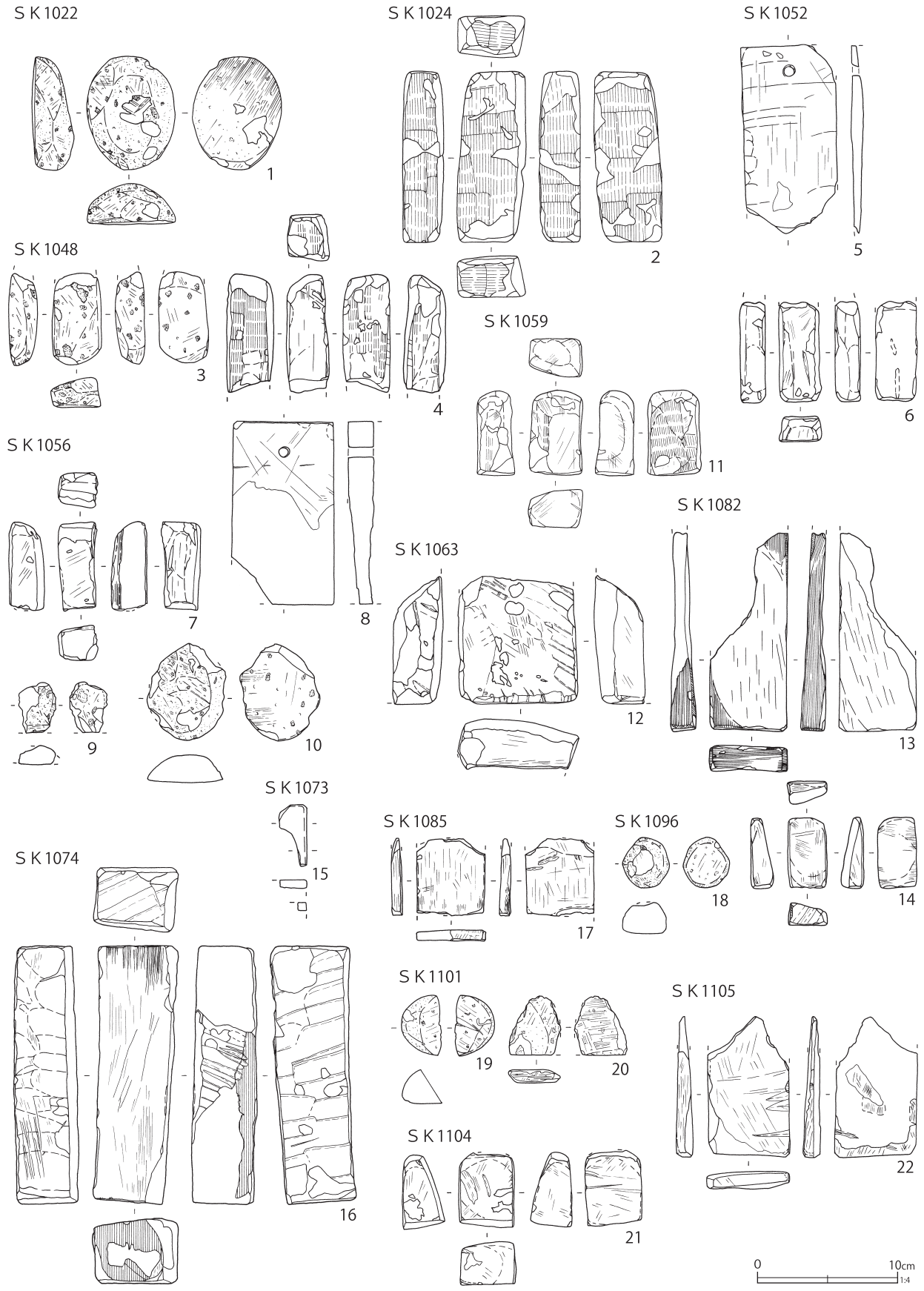


0 5cm 2/3 53 ~ 55

第 350 图 土壤出土遺物 (37)

第 68 表 土壙出土遺物觀察表 (8) (第 349 ~ 350 図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	鉄製品	留金具	縦 8.5 横 [3.9] 厚 0.4 重 24.8	SK1001		97-3
2	鉄製品	釘	長 [6.95] 幅 0.3 厚 0.4 重 4.1	SK1001		
3	鉄製品	釘	長 [5.8] 幅 0.45 厚 0.35 重 4.0	SK1001		
4	鉄製品	釘	長 [4.7] 幅 0.55 厚 0.4 重 4.3	SK1001		
5	鉄製品	鍋	口径 (37.8) 器高 (17.4) 底径 (28.5) 厚 0.25 重 730.9	SK1003	脚三足 耳金具欠	99-5
6	鉄製品	鋤先か	縦 [3.8] 横 [7.8] 厚 0.9 重 37.2	SK1003		97-3
7	鉄製品	不明	縦 [4.0] 横 [5.3] 厚 0.3 重 14.6	SK1003		97-3
8	鉄製品	不明	縦 4.8 横 [12.4] 厚 0.3 重 119.4	SK1004		97-3
9	銅製品	管金具	長 2.4 径 0.8 厚 0.05 重 2.9	SK1005		
10	鉄製品	帯金具	縦 4.4 横 3.7 厚 0.5 重 11.9	SK1005		97-3
11	銅製品	燭台	径最大 4.2 高 3.5 厚 0.1 重 21.0	SK1013		97-3
12	銅製品	煙管	長 5.9 小口径 1.0 口付径 0.3 重 2.6	SK1015	吸口	98-1
13	銅製品	煙管	長 [3.6] 小口径 1.0 重 3.5	SK1022	雁首	98-1
14	銅製品	煙管	長 4.0 小口径 1.1 口付径 0.3 重 2.8	SK1022	吸口	98-1
15	鉄製品	毛抜き	長 9.3 幅 0.2 厚 0.8 重 29.0	SK1022		
16	鉄製品	釘	長 5.6 幅 0.4 厚 0.35 重 4.8	SK1022		
17	鉄製品	鍋	縦 [6.0] 横 [7.4] 厚 0.3 重 29.7	SK1024		97-3
18	鉄製品	不明	縦 [4.3] 横 [1.9] 厚 0.4 重 6.7	SK1024		97-3
19	銅製品	掛け金	長 11.1 厚 0.45 重 13.9	SK1024		97-3
20	鉄製品	鍋	口径 (14.0) 器高 (6.7) 厚 0.4 重 176.5	SK1032	No. 37	98-5
21	鉄製品	毛抜き	長 [6.4] 幅 0.2 厚 0.5 重 3.7	SK1032	No. 64	97-3
22	鉄製品	握鋏	長 13.8 刃幅 1.1 背幅 0.2 重 13.4	SK1032		97-3
23	銅製品	煙管	長 3.2 火皿径 1.7 小口径 0.6 重 4.6	SK1048	雁首	97-1
24	銅製品	煙管	長 7.1 火皿径 1.5 小口径 0.9 × 1.0 重 5.6	SK1048	雁首	97-1
25	銅製品	煙管	長 [8.2] 小口径 1.0 × 1.1 重 4.8	SK1048	雁首	97-1
26	銅製品	煙管	長 6.5 火皿径 1.4 × 1.1 小口径 1.1 × 1.0 重 5.6	SK1048	雁首	97-1
27	銅製品	煙管	長 6.4 火皿径 1.6 小口径 1.0 重 7.5	SK1048	雁首	97-1
28	銅製品	飾金具	縦 3.5 横 3.7 厚 0.1 重 5.1	SK1048		99-4
29	銅製品	鉤金具	長 5.0 厚 0.3 重 3.3	SK1048		97-3
30	銅製品	注ぎ口	縦 [5.3] 横 [2.6] 厚 0.06 重 7.7	SK1048		97-3
31	銅製品	燭台	縦 6.8 横 4.4 高 1.8 厚 0.05 重 7.7	SK1048		97-3
32	鉄製品	不明	縦 [9.5] 横 [7.2] 厚 0.2 重 14.9	SK1048	33 と同一個体	
33	鉄製品	不明	縦 [4.1] 横 [8.8] 厚 0.2 重 6.0	SK1048	32 と同一個体	
34	鉄製品	釘	長 5.8 幅 0.5 厚 0.4 重 4.5	SK1048		
35	鉄製品	楔	長 [11.8] 幅 1.3 厚 0.5 重 27.1	SK1048		
36	鉄製品	不明	長 [15.6] 幅 1.1 厚 0.4 重 37.2	SK1049		97-3
37	銅製品	煙管	長 [13.1] 口付径 0.4 × 0.9 重 12.1	SK1050	吸口	97-3
38	銅製品	煙管	長 8.4 小口径 0.9 口付径 0.5 重 13.9	SK1051	吸口	98-1
39	鉄製品	不明	長 [17.0] 幅 0.7 厚 0.7 重 30.7	SK1053		
40	鉄製品	杓子	長 [11.5] 幅 8.6 厚 0.3 重 97.8	SK1053		97-3
41	銅製品	煙管	長 6.6 火皿径 1.5 × 1.6 小口径 1.0 重 8.2	SK1057	雁首	98-1
42	鉄製品	刃物	長 [8.3] 刃長 [7.8] 刃幅 1.4 背幅 0.2 重 10.2	SK1057		
43	銅製品	煙管	長 5.5 小口径 1.4 × 0.4 口付径 0.4 重 3.8	SK1060	吸口	98-1
44	鉄製品	鍋	縦 [4.5] 横 [6.4] 厚 0.3 重 19.9	SK1070		97-3
45	鉄製品	鍋	縦 [4.3] 横 [6.3] 厚 0.2 重 27.4	SK1070	脚付	97-3
46	銅製品	煙管	長 6.6 火皿径 0.9 × 1.9 小口径 1.1 × 0.8 重 6.8	SK1085	雁首	98-1
47	銅製品	鑷子	長 8.4 幅 0.1 厚 0.3 重 6.6	SK1085		97-3
48	銅製品	煙管	長 5.5 小口径 1.0 口付径 0.4 重 5.0	SK1101	吸口	98-1
49	銅製品	雁首銭	径 1.5 厚 0.5 重 1.6	SK1129		98-1
50	銅製品	煙管	長 8.3 火皿径 1.4 小口径 1.0 重 8.7	SK1132	雁首	98-1
51	鉄製品	包丁	長 [8.8] 刃長 [5.1] 刃幅 [3.4] 背幅 0.3 重 25.3	SK1141		97-3
52	鉄製品	五徳	高 14.6 幅 [7.5] 厚 1.5 重 371.4	SK1141		97-8
53	銅製品	銭貨	径 24.1 厚 1.4 重 1.6	SK1032	寛永通宝 (古)	
54	銅製品	銭貨	径 23.2 厚 1.3 重 1.7	SK1032	寛永通宝 (古)	
55	銅製品	銭貨	径 23.8 厚 1.5 重 1.4	SK1032	開元通宝	

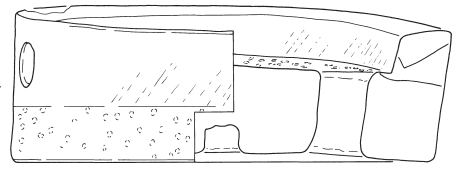
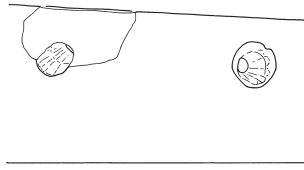
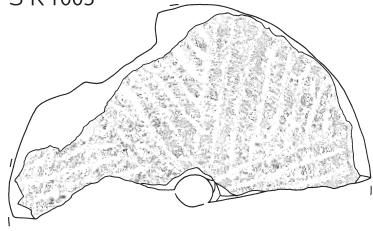


第 351 図 土壙出土遺物 (38)

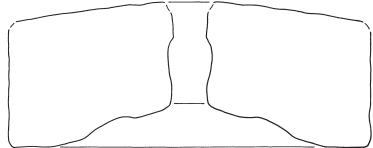


第 352 図 土壙出土遺物 (39)

S K 1003

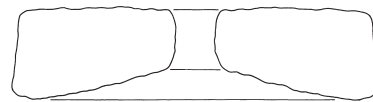
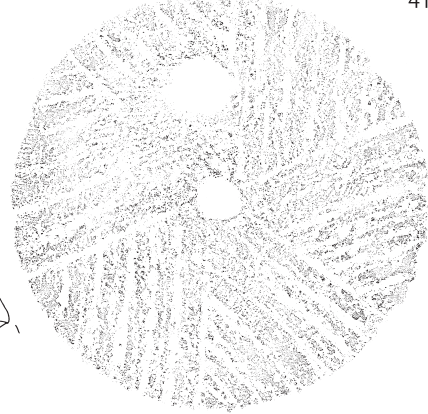
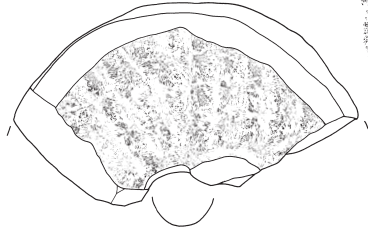
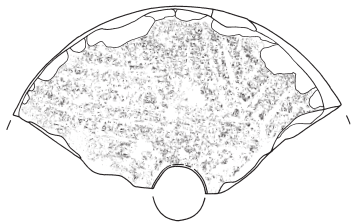


41

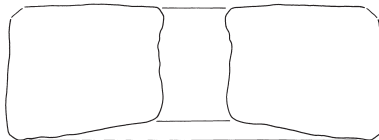


S K 1024

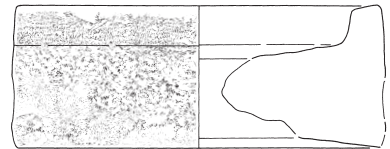
40



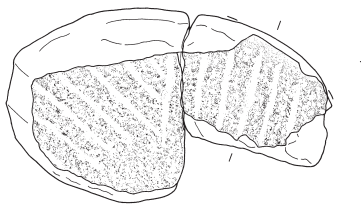
42



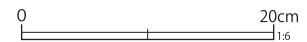
43



44



45



第 353 図 土壙出土遺物 (40)

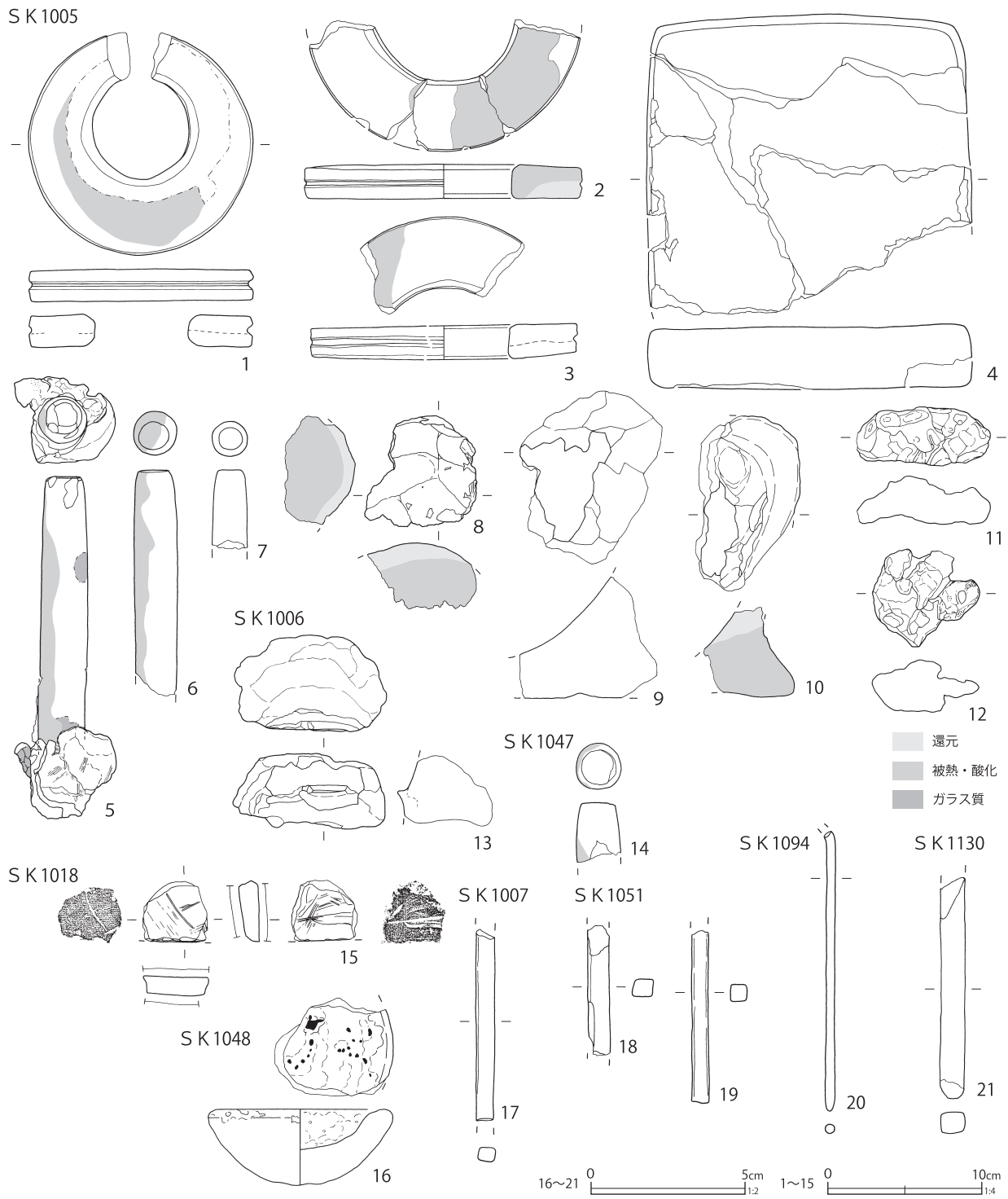
第 69 表 土壙出土遺物観察表 (9) (第 351 ~ 353 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	磨石	8.0	6.3	2.9	55.2	角閃石安山岩	SK1022	多孔質 自然面使用 線條痕 1面形成	101-3
2	石製品	砥石	12.1	4.8	2.9	272.6	流紋岩	SK1024	櫛歯状工具痕	100-3
3	石製品	磨石	[6.5]	3.5	2.1	29.9	角閃石安山岩	SK1048	多孔質 自然面僅かに遺存 複数面形成	101-3
4	石製品	砥石	[8.4]	3.0	3.3	132.5	流紋岩 (緑色)	SK1048	櫛歯状工具痕 刃物痕 砥面 2	100-3
5	石製品	温石	[13.4]	6.9	[0.9]	128.7	ホルンフェルス	SK1052	穿孔 下面全欠損・酸化鉄全面付着 砥具転用か	101-1
6	石製品	砥石	[7.1]	3.0	1.8	65.3	流紋岩	SK1052	削痕 刃物痕 砥面 1 裏全面酸化鉄付着	100-3
7	石製品	砥石	[6.3]	2.8	2.5	68.7	流紋岩	SK1056	ノコギリ痕か 砥面 3 被熱	100-3
8	石製品	温石	13.0	7.3	1.9	337.0	片岩	SK1056	穿孔 1 刃物痕 砥具転用	101-1
9	石製品	磨石	[3.5]	[2.7]	1.4	7.0	角閃石安山岩	SK1056	多孔質 1面形成	101-3
10	石製品	磨石	[6.9]	[5.7]	2.0	32.2	角閃石安山岩	SK1056	多孔質 自然面使用 線條痕 1面形成	101-3
11	石製品	砥石	6.0	3.8	2.7	100.8	流紋岩 (緑色)	SK1059	櫛歯状工具痕 砥面 5	100-3
12	石製品	砥石	[9.1]	8.5	[3.6]	388.8	ホルンフェルス	SK1063	幅広工具痕 砥面 2 被熱	100-3
13	石製品	砥石	[14.2]	[5.5]	1.6	130.3	粘板岩	SK1082	ノコギリ痕か 砥面 2	100-3
14	石製品	砥石	5.0	2.8	1.6	28.3	流紋岩	SK1082	幅広工具痕 砥面 5 使用痕顕著	100-3
15	石製品	硯	[4.3]	[1.9]	-	6.6	粘板岩	SK1073	器高 [0.6]cm	101-1
16	石製品	砥石	18.4	6.1	4.6	855.7	流紋岩	SK1074	幅広工具, ノコギリ痕 削痕 刃物痕 砥面 1 被熱	100-3

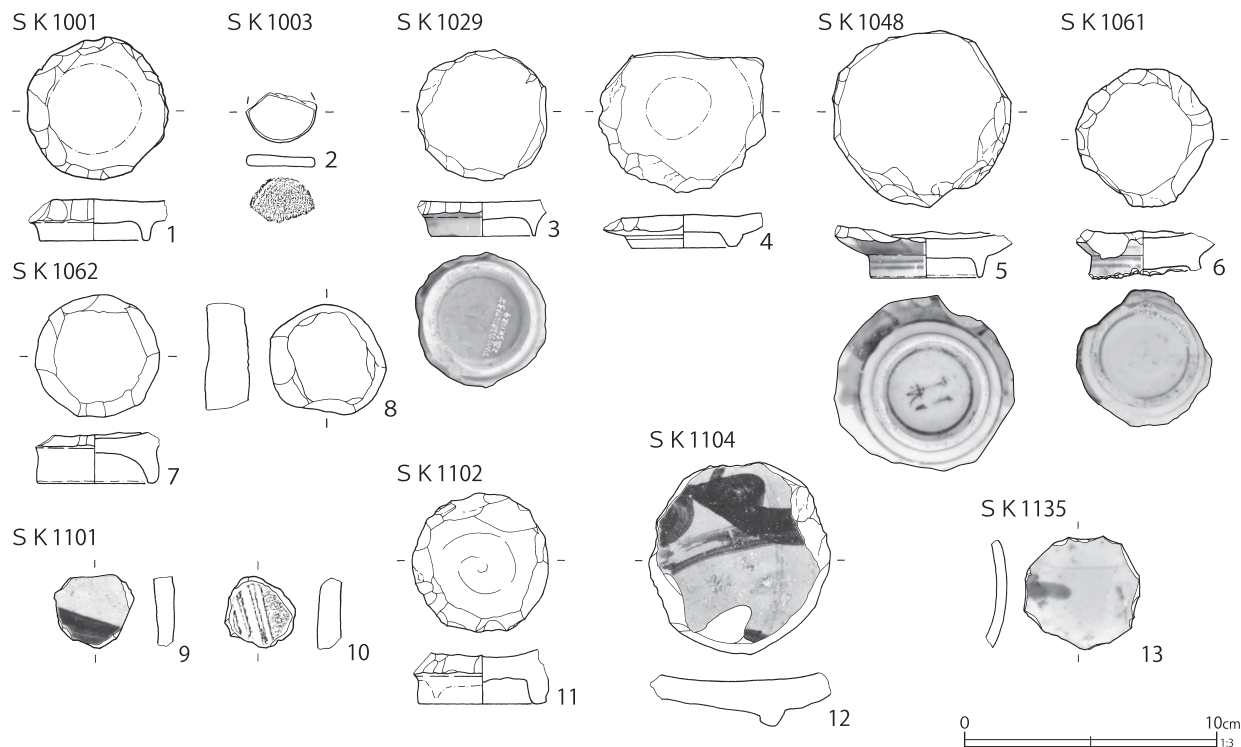
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
17	石製品	砥石	[5.5]	4.9	0.8	31.9	粘板岩	SK1085	黄・灰色の互層 ノコギリ痕か 刃物痕 砥面 4	100-3
18	石製品	磨石	3.6	3.3	[2.2]	13.6	角閃石安山岩	SK1096	多孔質 自然面使用 1面形成	101-3
19	石製品	磨石	4.3	2.8	2.4	12.2	角閃石安山岩	SK1101	多孔質 自然面遺存 2面形成	101-3
20	石製品	磨石	4.2	3.7	1.0	6.0	角閃石安山岩	SK1101	多孔質 自然面使用 線条痕 3面形成	101-3
21	石製品	砥石	5.3	4.0	3.0		流紋岩	SK1104	刃物痕 砥面全面 被熱	100-3
22	石製品	砥石	[10.0]	5.9	1.1	81.2	粘板岩	SK1105	刃物痕 砥面 5 裏剥離顕著	100-3
23	石製品	砥石	[10.3]	6.9	3.3	320.1	ホルンフェルス	SK1108	幅広工具, ノコギリ痕 削痕 刃物痕 砥面 2 被熱	100-3
24	石製品	砥石	[6.7]	[3.9]	1.4	54.5	粘板岩	SK1108	硬質・上質な石材 ノコギリ痕か 刃物痕 砥面 2(裏欠損後使用)	100-3
25	石製品	磨石	7.3	6.0	3.3	73.5	角閃石安山岩	SK1108	多孔質 自然面使用 側面工具痕 1面形成	101-3
26	石製品	温石	[7.5]	[7.8]	[0.9]	76.4	片岩	SK1108	平ノミ痕か 穿孔 1	101-1
27	石製品	磨石	[7.2]	4.8	2.2	35.4	角閃石安山岩	SK1114	多孔質 自然面使用 複数面形成	101-3
28	石製品	磨石	[2.3]	[2.5]	[0.7]	1.4	角閃石安山岩	SK1114	多孔質 3面形成	101-3
29	石製品	砥石	[14.5]	[5.8]	4.3	388.2	ホルンフェルス	SK1115	幅広工具痕 刃物痕 砥面 1	100-3
30	石製品	砥石	8.6	6.3	4.6	422.0	砂岩	SK1129	砥面全面 裏墨痕か	100-3
31	石製品	砥石	9.0	4.0	3.2	197.6	流紋岩	SK1138	幅広工具痕 砥面 5 被熱	100-3
32	石製品	磨石	5.0	4.1	2.1	9.3	軽石	SK1141	1面使用	
33	石製品	火打石	3.6	2.7	2.3	23.3	チャート	SK1025	石質良質	101-2
34	石製品	火打石	2.3	1.9	0.8	3.8	玉髓	SK1082		101-2
35	石製品	火打石	2.5	2.2	1.3	7.5	玉髓	SK1108	稜の潰れ激しい	101-2
36	石製品	火打石	3.1	2.1	1.8	14.9	玉髓	SK1048	稜の潰れ激しい	101-2
37	石製品	火打石	2.8	1.6	1.3	5.8	玉髓	SK1128		101-2
38	石製品	火打石	6.1	2.6	2.4	52.1	チャート	SK1101	石質粗悪 被熱	101-2
39	石製品	石臼	[8.8]	[8.0]	[4.9]	377.3	砂岩	SK1018	硬質 緻密	
40	石製品	石臼	径 29.0		11.6	6634.0	角閃石安山岩	SK1003	下臼 孔径 2.6 ~ 2.8 cm 上面の目摩耗	101-8
41	石製品	石臼	径 35.0		12.5	20200.0	角閃石安山岩	SK1003	上臼 側面貫通孔 2 目 6 分画 上端使用による摩耗 成形痕は内面と外面下位ツキ痕・上部研磨	101-7
42	石製品	石臼	径 (29.2)		7.1	3340.2	角閃石安山岩	SK1024	下臼 孔径 (4.4) cm 上面の目摩耗激しい	102-1
43	石製品	石臼	径 (30.2)		10.8	6122.5	角閃石安山岩	SK1024	下臼 孔径 (5.0 ~ 6.0) cm 上面の目摩耗激しい	101-9
44	石製品	石臼	径 (30.3)		11.4	6097.6	砂岩	SK1024	下臼 軸孔部の大部分欠損 牛伏砂岩か 目摩耗 成形痕は内面と外面下位ツキ痕・上部研磨	102-2
45	石製品	石臼	—	[26.2]	[9.2]	5290.3	花崗岩	SK1024	下臼 下面の目は少し摩耗	102-3

第70表 土壌出土遺物観察表 (10) (第354図)

番号	種別	器種	法量	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	環状土製品	径 14.5 厚 2.1 重 380.1	ABGHK	85	普通	橙	SK1005	孔周辺釉状付着物 被熱・赤化	102-5
2	土製品	環状土製品	径 (18.0) 厚 2.2 重 245.6	ACDEGHK	45	普通	橙	SK1005	片側中心に酸化・赤化 一部還元	102-5
3	土製品	環状土製品	径 (17.3) 厚 2.2 重 125.4	ACEGHK	20	普通	にぶい橙	SK1005	全体被熱・赤化 一部還元	102-5
4	土製品	板状土製品	長 [19.1] 幅 21.0 重 1327.9	CGHIK	60	普通	明褐灰	SK1005	被熱により一部剥離	102-6
5	土製品	棒状土製品	長 22.1 径 3.0 重 322.7	ABEGHIK	100	普通	橙	SK1005	被熱・赤化 片側還元・白変 一部釉状付着物 端部スサ入焼土が被覆	102-4
6	土製品	棒状土製品	長 [14.5] 径 2.7 重 125.0	ABCHIK	60	普通	にぶい橙	SK1005	被熱・赤化 片側還元・白変	102-4
7	土製品	棒状土製品	長 [5.1] 径 2.2 重 28.8	ABCEHIK	15	普通	にぶい橙	SK1005	被熱・赤化	102-4
8	土製品	炉壁か	長 7.2 幅 7.2 重 139.0	AEHK	—	—	橙	SK1005	スサ入 酸化 遺存面溶けて硝子化	
9	土製品	炉壁か	長 11.3 幅 8.8 重 398.8	AIK	—	—	橙	SK1005	スサ入 酸化 内側平滑	
10	土製品	炉壁か	長 11.2 幅 6.5 重 252.7	AGHIK	—	—	橙 / 灰褐	SK1005	スサ入 酸化, 一部還元 内側平滑	102-8
11	不詳	鉢滓か	長 8.6 厚 2.6 重 89.1	—	—	—	—	SK1005	磁着無 軽い	
12	不詳	鉢滓か	長 6.2 厚 3.2 重 93.5	—	—	—	—	SK1005	磁着無 軽い	
13	土製品	炉壁か	長 10.0 幅 6.2 重 50.0	A	—	—	にぶい橙	SK1006	スサ入 被熱・赤化 突起状横帯有	102-9
14	土製品	棒状土製品	長 [3.8] 径 2.8 重 30.0	AHIK	5	普通	赤褐	SK1047	被熱 片側火膨れ状	102-4
15	土製品	転用品	長 38.8 幅 4.2 厚 1.3 重 20.0	—	—	—	黄灰	SK1018	瓦転用 刃ならし痕両面に多数有	
16	土製品	埴塼	口径 (6.0) 高 2.9 重 23.1	GIK	30	良好	黄灰	SK1048	還元 内面滓状付着物・一部赤化	
17	硝子製品	筭	長 [6.2] 幅 / 厚 0.5 重 6.0					SK1007	黄褐色 中実 両端欠失	102-7
18	硝子製品	筭	長 [4.2] 幅 / 厚 0.6 重 5.5					SK1051	透明 中実 両端欠失	102-7
19	硝子製品	筭	長 [5.6] 幅 / 厚 0.5 重 5.4					SK1051	透明 中実 両端欠失	102-7
20	硝子製品	筭	長 [9.0] 径 0.3 重 2.0					SK1094	黄褐色 中実 上端屈曲・欠失	102-7
21	硝子製品	筭	長 [7.1] 幅 0.8 厚 0.7 重 10.6					SK1130	黄色 中実	102-7



第 354 図 土壌出土遺物 (41)



第355図 土壙出土遺物(42)

第71表 土壙出土遺物観察表(11)(第355図)

番号	種別	器種	高	底径	縦	横	重さ	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	[1.6]	4.1	5.5	5.5	48.0	SK1001	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥 円盤状製品転用	
2	かわらけ	小皿	[0.4]	—	2.0	2.7	2.1	SK1003	底部糸切痕 胎土粉質 円盤状製品転用 側縁部摩耗	
3	磁器	碗	[1.5]	4.0	5.2	5.1	27.3	SK1029	肥前系 施釉 外面染付 円盤状製品転用	
4	磁器	皿	[1.3]	3.9	5.5	6.6	43.3	SK1029	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥 円盤状製品転用	
5	磁器	碗	[2.1]	4.2	6.8	7.1	61.4	SK1048	肥前系 施釉 外面染付 円盤状製品転用	
6	磁器	碗	[1.9]	—	5.4	5.4	50.5	SK1061	肥前系 施釉 外面染付 円盤状製品転用	
7	陶器	碗	[2.0]	4.3	4.7	4.8	39.6	SK1062	肥前系 灰釉 円盤状製品転用(呉器手碗)	
8	磁器	甕	—	—	4.2	4.5	38.9	SK1062	常滑 胴部 円盤状製品転用 側縁部摩耗	
9	陶器	鉢	—	—	2.8	3.1	9.9	SK1101	瀬戸美濃系 灰釉 内面鉄絵 円盤状製品転用(笠原鉢)	
10	陶器	挿鉢	—	—	2.7	2.8	8.1	SK1101	瀬戸美濃系 鉄釉 内面挿目 円盤状製品転用	
11	磁器	碗	[2.2]	4.9	5.5	5.4	50.9	SK1102	肥前系 青磁釉 円盤状製品転用	
12	陶器	鉢	[2.0]	—	7.5	7.1	101.4	SK1104	瀬戸美濃系 灰釉 内面鉄絵 円盤状製品転用(笠原鉢)	
13	磁器	碗	—	—	4.3	4.6	13.5	SK1135	肥前系 施釉 外面染付 円盤状製品転用	

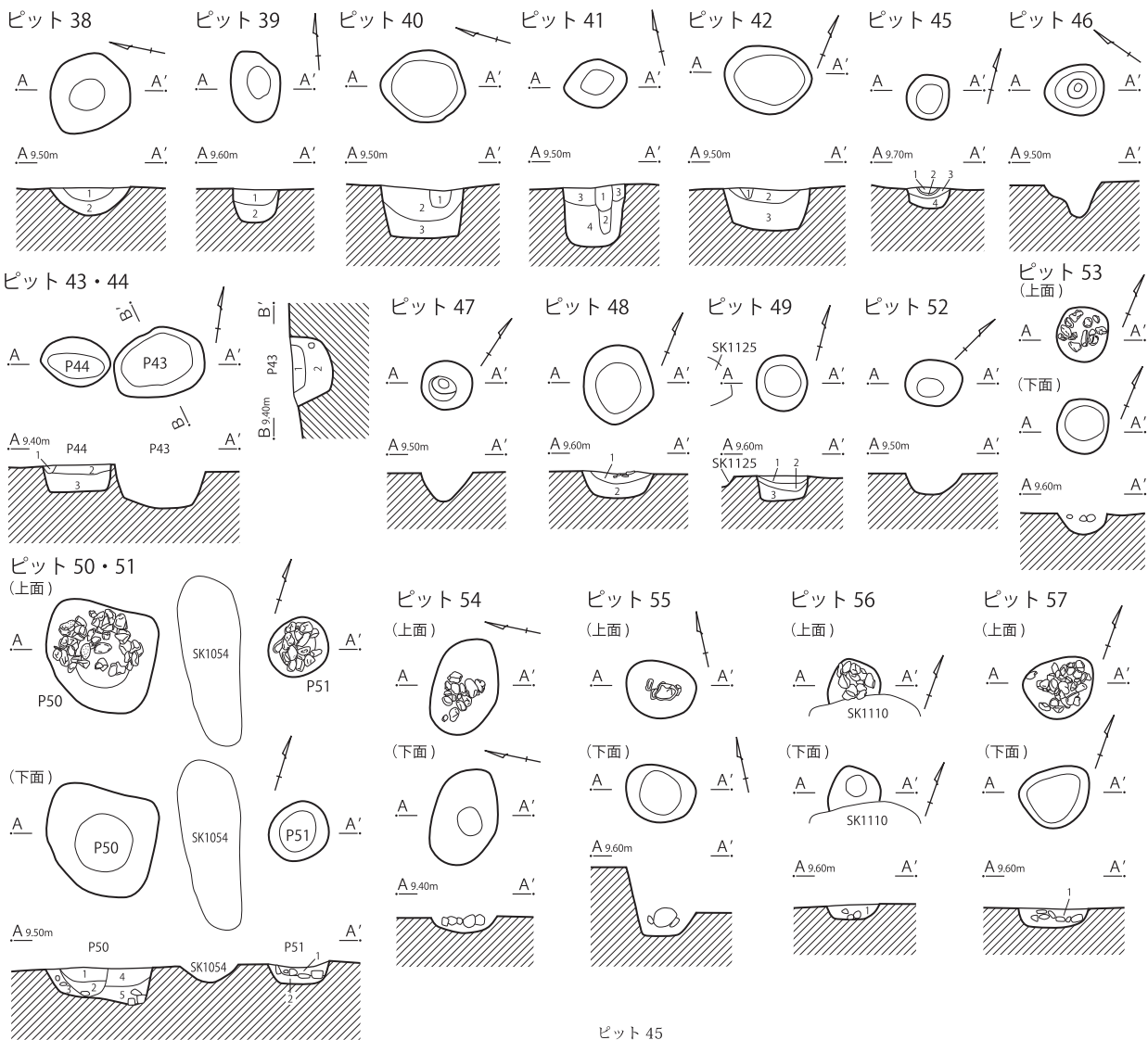
ある店子町屋部分に「足袋や金次郎」と「煙草屋由右衛門店 徳兵衛」の記載がある。なお、火打石は1点(第352図35)が出土したのみだが、隣接する第1107号土壙から、玉髓製火打石4点が出土している。

第1132号土壙(第308図)

C6-C2・D2グリッドに位置する不整な方形の土壙で、長軸2.1m程である。第1131号土壙に上面を掘り込まれる。第1141号土壙とも重複

するが、新旧関係は不明である。土層は黒色味の強いシルト質土層である。

出土した遺物はやや少ない。第338・339図238～255は出土した陶磁器である。239は肥前系磁器の粗製碗でコンニャク判で染付される。他に瀬戸美濃系陶器のせんじ碗がみられ、18世紀前葉～中葉に帰属する遺構と思われる。志野系の陶器皿類(241・242)や坏形のかわらけ(251～253)等、古手の遺物が多く含まれる。254は雲



- ピット 38
 1 褐色シルト 炭少量 黒褐色粘土ブロック含む 粘性・しまりなし
 2 明褐色シルト 炭微量 粘性あり しまりなし
- ピット 39
 1 黒褐色土 炭化物微量 灰色土ブロック多量
 2 暗灰色シルト 混入物なし
- ピット 40
 1 褐色シルト 柱痕 粘性なし しまりあり
 2 黄灰色シルト 炭微量 粘性なし しまりあり
 3 灰色砂質土 粘性・しまりあり
- ピット 41
 1 暗褐色シルト 粘性なし しまりあり
 2 灰色砂 やや黒色味おびる
 3 暗褐色シルト 1層より暗い色調 炭少量 粘性なし しまりあり
 4 灰色砂質土 粘性・しまりなし
- ピット 42
 1 褐色シルト 柱痕 炭化物微量
 2 暗灰色シルト 木片・炭化物微量
 3 灰色シルト質土 混入物なし
- ピット 43
 1 暗褐色シルト 炭化物少量 灰色土少量混入 鉄分含む
 2 灰色シルト 目立つ混入物なし 木材含む
- ピット 44
 1 褐色シルト 柱痕 炭化物微量
 2 暗灰色シルト 木片・炭化物微量
 3 灰色シルト質土 混入物なし

- ピット 45
 1 暗灰褐色土 灰褐色シルトブロック含む 粘性あり
 2 炭化物 灰褐色シルトブロック・炭化物含む しまりあり
 3 暗灰褐色土 炭化物含む しまりあり
 4 暗灰色砂質シルト 炭化物含む しまりあり
- ピット 48
 1 暗灰褐色粘質土 木片多量 炭化物・黄灰色土少量 しまり極強
 2 暗灰色シルト質土 炭化物・鉄少量
- ピット 49
 1 褐色シルト 炭化物(φ3mm)微量 黄灰色土ブロック(φ3~5mm)少量 木片含む 粘性・しまり弱
 2 灰色シルト 暗褐色土ブロック(φ4~6mm)含む 粘性あり しまりなし 混入物なし 粘性あり しまりなし
- ピット 50
 1 灰褐色シルト 炭化物(φ3mm)混入 黒褐色粘土ブロック(φ3~10mm)含む 鉄分が筋状に見られる 粘性なし しまりあり
 2 灰褐色シルト 鉄分多量 細粒の砂少量 粘性なし しまりあり
 3 褐色砂質土 灰褐色粘土ブロック(φ3~10mm)含む 鉄分多量 粘性・しまりなし
 4 暗灰色シルト 鉄分が上部にみられる 灰色土ブロック(φ3~5mm)多量 黒褐色粘土ブロック(φ5mm)少量 粘性なし しまりあり
 5 暗灰色砂質土 灰色シルト少量 粘性なし しまり弱
- ピット 51
 1 灰褐色土 シルト主体 鉄分多量 細粒の砂少量 粘性なし しまりあり
- ピット 52
 2 灰褐色シルト 鉄分微量 粘性弱 しまりあり
- ピット 56
 1 灰色シルト 酸化鉄がみられる 粘性なし しまりあり
- ピット 57
 1 灰色シルト 酸化鉄がみられる 粘性なし しまりあり

第 356 図 ピット

母を多く含む土師質土器の壺で、筑波山麓周辺で生産されたものと考えられる。頸部に沈線が巡り、器面は弱い工具ナデ後、上部は丁寧なナデで仕上げている。内面にはシミ状に黒色の付着物がみられる。ヘラ記号状に「十」の刻みがみられ、同様の記号は、常陸地方の土鍋や播鉢にみられる。所謂「葉茶壺形土器」で、栗橋宿跡からは第6地点から出土しているほか、本陣跡第14号溝跡から、円盤状製品に転用されたものが出土している(第292図192)。これまで、常陸地方と江戸地域でしか出土していなかった土器であり、その流通経路が問題となろう。

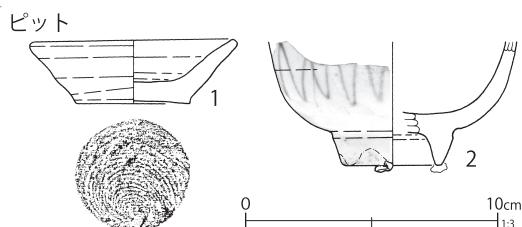
以上に挙げた以外にも注目される土壌と遺物があるが、詳細は各図版と観察表を参照されたい。

(6) ピット (第356図)

ピットは20基検出されたが、他の遺構との関連性は捉えられなかった。位置、規模等の基本的な情報は第72表に、遺構図と出土遺物は第356・357図に示す。

(7) 遺構外出土遺物

第358～361図に遺構外から出土した遺物を示した。第一面掘削時に出土したものと、第二面掘削時に出土したものがあるが、両者に年代的な差がほとんど認められないため、一括して図示・解説する。



第357図 ピット出土遺物

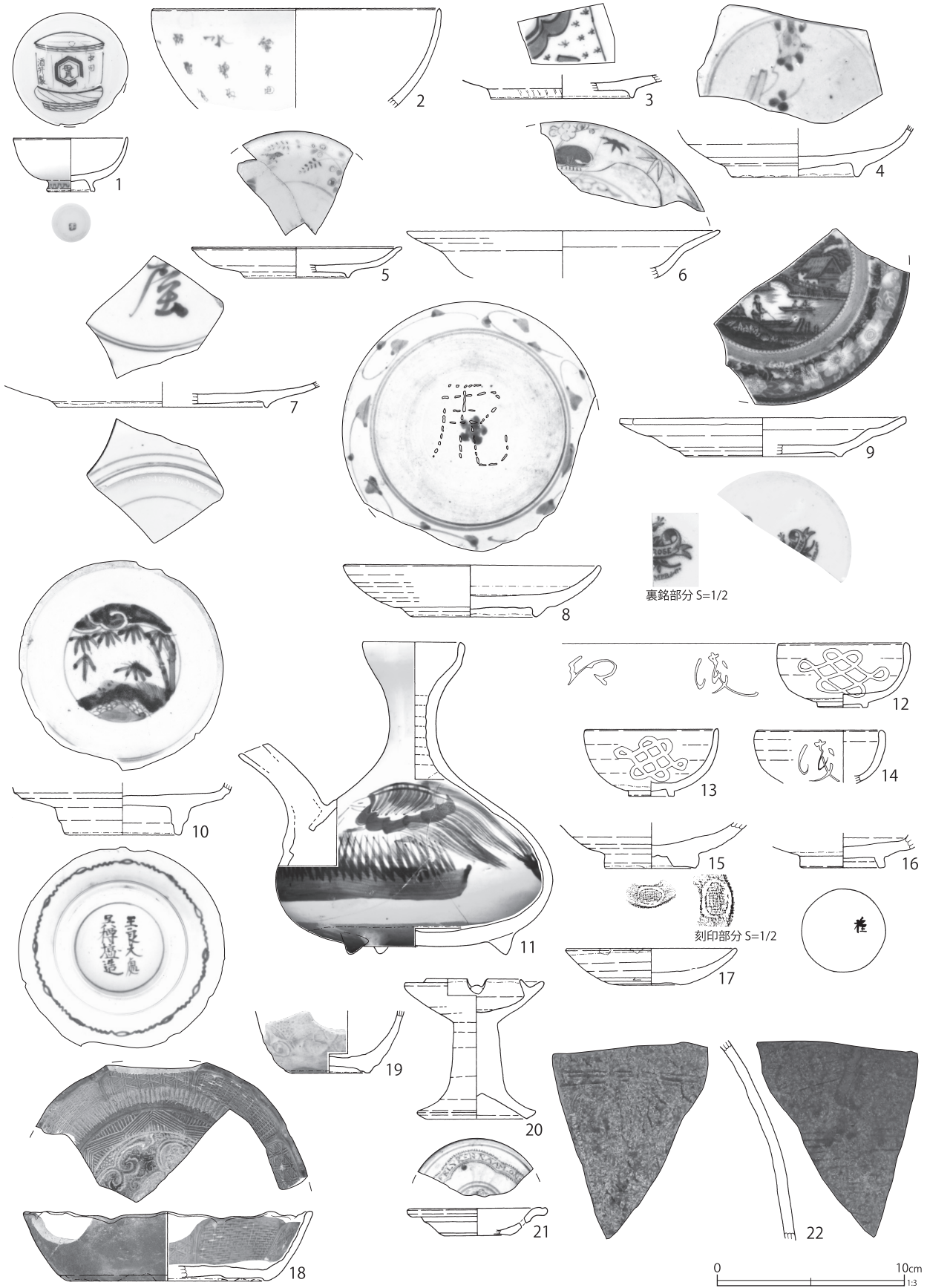
第358・359図は陶磁器である。1は磁器卵殻手坏で、亀甲に「貫」の文と、「中田／酒井家」の文字が上絵付けされる。3は中国産磁器で、第230号土壇のもの(第209図330)と同文だが、別個体である。5・6は色絵の磁器皿で第289号土壇から同文のもの(第221図563・564と567・568)が出土している。7は「[]屋」と染付される磁器皿である。8は「虎」と釘書きされた磁器皿で、栗橋宿跡第6地点にあった「虎屋」と関わる資料であろう。9はヨーロッパ産の銅板転写陶器である。染付には滲みがあり、外面は無文だが僅かに青味を帯びる。12～14は「紅浅」銘の京都信楽系陶器坏である。15は瀬戸美濃系陶器碗で刻印があるが、潰れて判読できない。16は瀬戸美濃系陶器で、筒形碗のような器形である。大きな貫入が目立つ長石釉が掛けられる。17の陶器灯明皿は光沢のある柿釉が掛けられ、内面に3箇所ピン痕がある。胎土は硬質で、露体部は

第72表 第二面ピット一覧表 単位:m

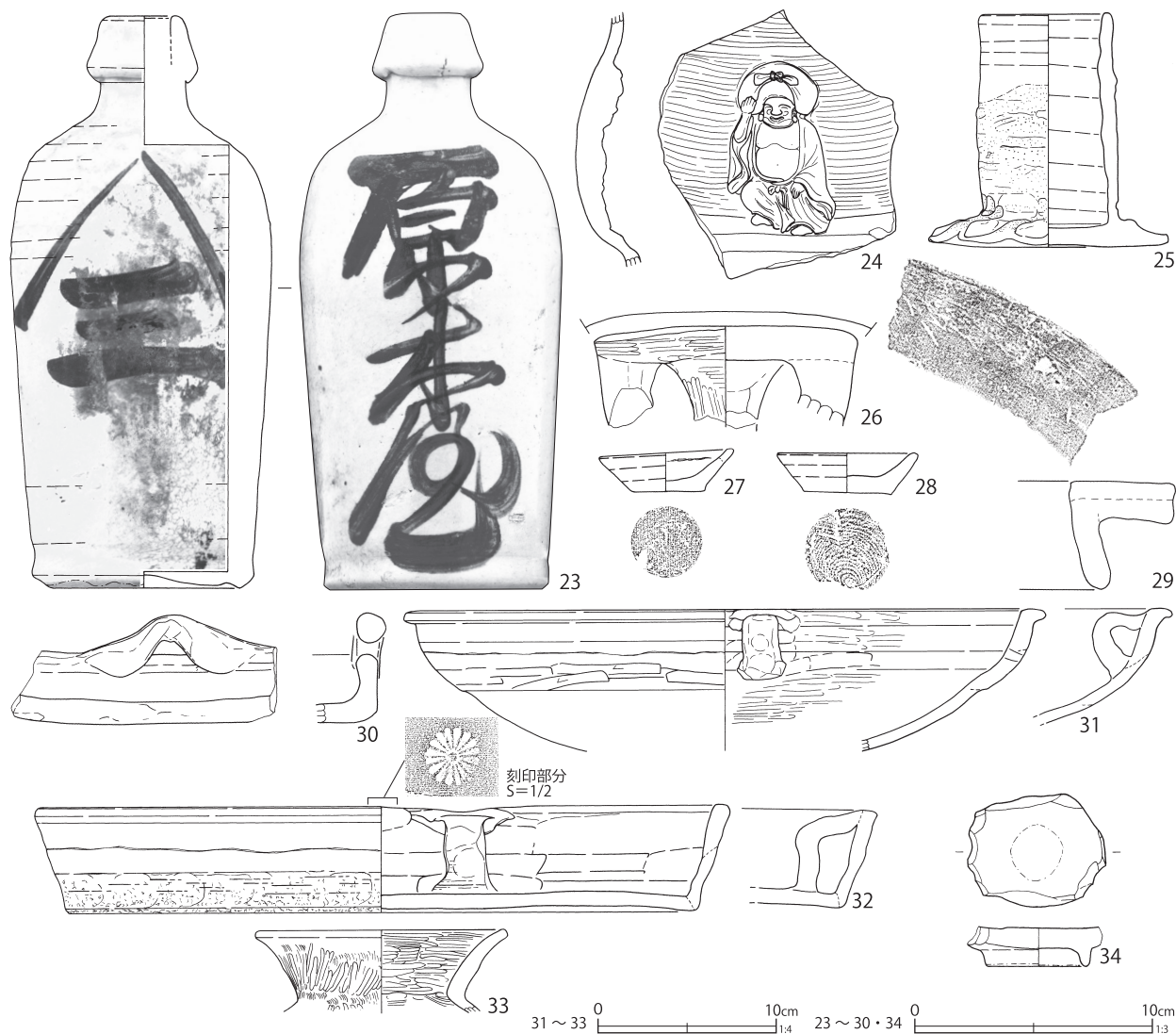
番号	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	備考
38	C6-E3	円形	0.67	0.65	0.23	
39	C6-F4	楕円形	0.62	0.42	0.28	
40	C6-F4	楕円形	0.71	0.62	0.43	
41	C6-F4	楕円形	0.51	0.40	0.50	
42	C6-F3	楕円形	0.75	0.57	0.35	
43	C6-F3	楕円形	0.77	0.59	0.34	
44	C6-F3	楕円形	0.57	0.41	0.23	
45	C6-B2	円形	0.39	0.36	0.18	
46	C6-D4	楕円形	0.50	0.44	0.31	
47	C6-D4	円形	0.42	(0.31)	0.24	
48	C6-C2	不整形	0.66	0.58	0.22	
49	C6-C3	円形	0.47	0.44	0.21	
50	C6-E3	不整形	0.93	0.87	0.31	
51	C6-E3	円形	0.54	0.47	0.17	
52	C6-A2	楕円形	0.48	0.39	0.17	
53	C6-B2	円形	0.46	0.43	0.15	
54	C6-C2	楕円形	0.83	0.57	0.14	SK1118より古
55	C6-B2	楕円形	0.60	0.48	0.53	
56	C6-C2	隅丸方形	(0.41)	0.41	0.12	SK1110より古
57	C6-C2	楕円形	0.60	0.51	0.16	

第73表 ピット出土遺物観察表 (第357図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	かわらけ	小皿	7.9	2.5	4.5	ACEGHI	75	普通	橙	P38	底部糸切痕(右)胎土砂質	
2	磁器	碗	—	[4.9]	(3.9)	—	20	良好	白	P43	肥前系 施釉 外面染付 高台畳付部付着物	



第 358 図 遺構外出土遺物 (1)



第359図 遺構外出土遺物(2)

暗い橙色を呈する。地方窯系の陶器と考えられる。18は軟質施釉陶器の鉢で、内面は型押し施文される。釉薬は深緑色を呈する。20は明るい褐色の釉薬が施釉された陶器の脚付き灯火具で、類例から大堀相馬系と考えられる。21は国産の土瓶蓋であるがアルファベットが書かれている。白土染付を施した釉薬上に青い上絵付けで書かれたものである。22は肥前系ないしは九州諸窯で焼かれたと思われる壺で、内面に青海波状の当て具痕が明瞭である。25は内面から外面上部を青ヒビの灰釉、外面下位を鉄釉とし、加飾が施される。大堀相馬系陶器の花生と思われる。26は瓦質土器火鉢類の底部と思われるが、内面側が何

らかの用途に転用され、強く摩耗している。転用砥具のような用途に用いられたものであろうか。27・28は小型のかわらけで、第1032号土壇出土のかわらけ(第324図25~73)と同じタイプである。32は内底面中心部に菊花状スタンプ文を有す瓦質土器の焙烙である。

第360図1~4は極少の陶磁器類で、1は陶器の蓋だが、ミニチュアの可能性もある。2・3は磁器の紅坯である。4も紅坯の可能性はある。5~8は玩具のミニチュア類、5は陶器柿釉甕を模倣する磁器である。8~12は人形等、その他の玩具類である。9は泥面子に類似するが、穿孔が認められる。12は京都系の鳩笛である。

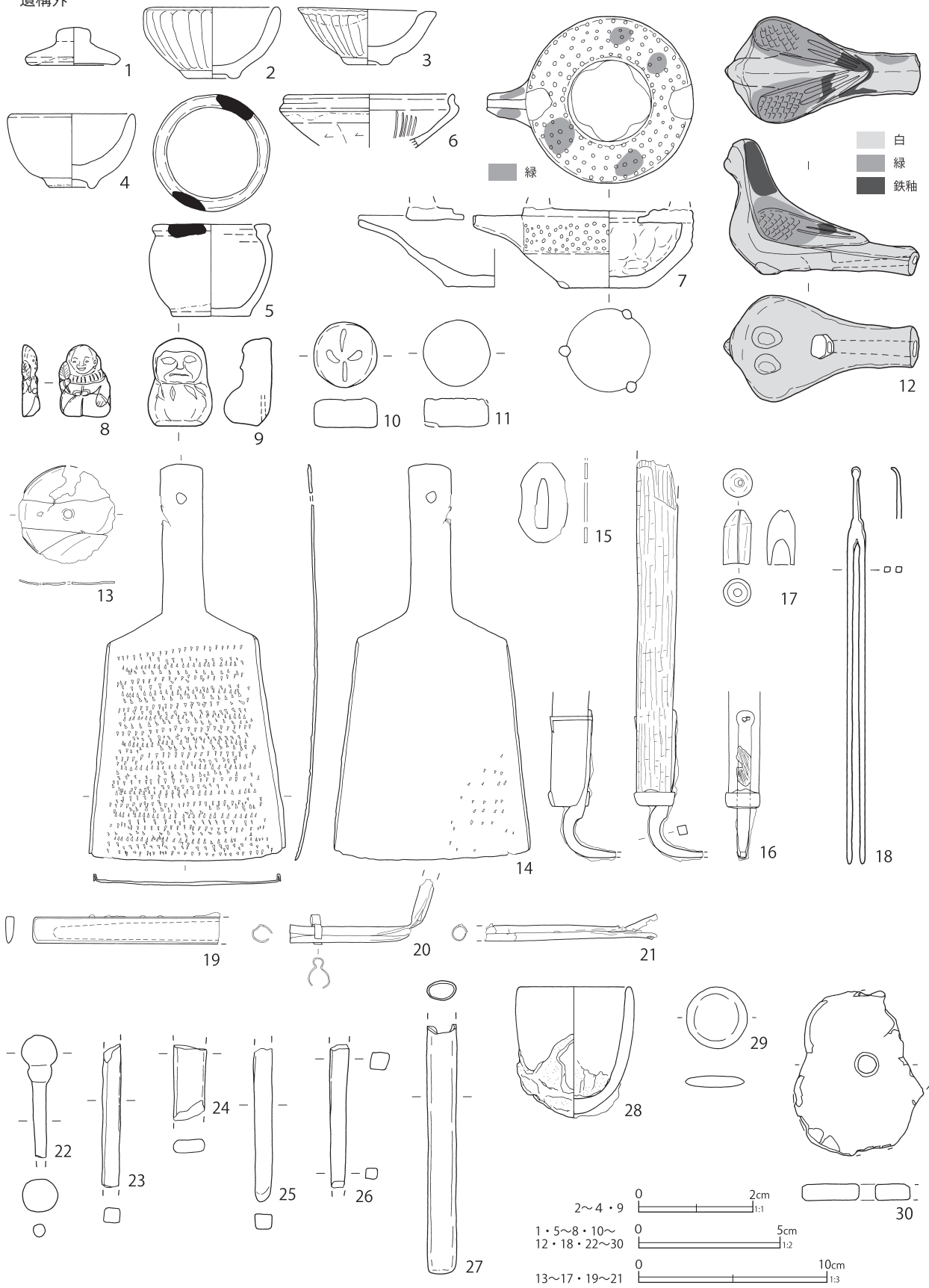
第74表 遺構外出土遺物観察表(1)(第358～359図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	位置	備考	図版
1	磁器	坏	6.0	2.8	2.4	—	85	良好	白	一面 C6-C2	瀬戸美濃系 施釉 内面上絵付(青)	
2	磁器	碗	(15.2)	[5.3]	—	—	25	良好	白	一面表採	肥前系 施釉 外面染付	
3	磁器	皿	—	[1.2]	(7.6)	—	10	良好	白	二面 C6-B1	中国景德鎮窯系 施釉 内面染付	
4	磁器	皿	—	[2.5]	(6.4)	—	25	良好	灰白	一面表採	肥前系 施釉 内面染付(初期伊万里様式)	
5	磁器	皿	(11.2)	1.6	5.4	—	25	良好	白	一面 C6-C2・D3	肥前系 施釉 内面上絵付(緑・黄・白・赤・桃)	
6	磁器	皿	(16.4)	[2.5]	—	—	5	良好	灰白	一面 C6-C2	肥前系 施釉 内面染付・上絵付(赤・茶) 被熱	
7	磁器	皿	—	[1.3]	(11.0)	—	10	良好	白	一面 C6-A2	肥前系 施釉・染付「口屋」	
8	磁器	皿	13.5	2.8	6.6	—	75	良好	灰白	二面表採	肥前系 施釉・染付 内面蛇の目状釉剥・釘書「虎」	
9	軟質磁器	皿	(15.0)	2.0	8.0	—	30	良好	白	一面表採	ヨーロッパ系 施釉・銅板転写染付 裏銘「[] ROSE/[] MP.B」	74-10
10	磁器	鉢	—	[2.7]	6.0	—	20	良好	白	二面 C6-E6	肥前系 施釉・染付	
11	磁器	水注	5.1	16.6	—	—	100	良好	白	二面 C6-B2	『本陣跡 I』第227図41と接合 外面施釉・酸化コバルト染付	
12	陶器	坏	6.7	3.4	2.6	EI	100	良好	灰白	一面 C6-B2	京都信楽系 施釉・上絵付(赤・緑・青か)	
13	陶器	坏	(7.0)	3.5	(2.4)	I	30	良好	灰白	一面 C6-A2	京都信楽系 施釉 外面上絵付(緑)	
14	陶器	坏	(6.6)	[2.8]	—	K	20	良好	灰白	二面 C6-A2	京都信楽系 施釉 外面上絵付	
15	陶器	碗か	—	[2.4]	4.8	D	10	良好	灰白	一面 C6-E4	瀬戸美濃系 内面灰釉 外面錆釉に長石釉散らし 刻印	
16	陶器	皿	—	[1.7]	4.1	DH	15	良好	灰白	二面 C6-E5	瀬戸美濃系 長石釉 墨書	
17	陶器	灯明皿	8.9	1.9	3.2	IK	95	良好	にぶい赤褐	一面表採	産地不詳 内面柿釉・ビン痕3	
18	陶器	鉢	(15.1)	3.6	(10.7)	H	35	良好	灰白	一面 C6-D2	軟質陶器 緑釉 内面型押施文	
19	陶器	瓶	—	[3.3]	4.2	K	30	良好	灰白	二面 C6-D4	刷毛目釉 外面型押施文	74-11
20	陶器	灯火具	4.9	7.4	5.2	K	85	良好	灰白	一面 C6-F4	大塚相馬系 鉄釉(黄褐色)	74-12
21	陶器	蓋	(7.3)	1.4	(3.6)	IK	30	良好	灰白	一面表採	下面糸切痕 上面白土染付・上絵付(青)「[] .FELYREN NAAM.ON []」(土瓶)	
22	陶器	壺	—	[10.6]	—	DIK	10	良好	灰白	二面 C6-C2	肥前系 灰釉 内面あて具痕 外面叩き目	
23	陶器	德利	2.7	23.9	8.0	K	95	良好	灰白	一面 C6-A2	外面灰釉・鉄絵「原木屋／へに「三」」	
24	陶器	德利	—	[11.2]	—	EIK	10	良好	灰	二面 C6-D4	備前系 人形粘土 外面塗土	
25	陶器	花生	5.1	9.7	10.0	IK	100	良好	灰黄	一面 C6-A3	大塚相馬系 外面錆釉・上位～内面灰釉(青ヒビ)	
26	瓦質土器	火鉢か	—	[4.1]	—	CHIK	45	普通	灰白	一面表採	外面ミガキ 燻す 四脚らしい 上面二次使用	
27	かわらけ	小皿	5.5	1.8	2.9	CEHI	85	普通	にぶい橙	二面 C6-F3	底部糸切痕(右) 胎土砂質	
28	かわらけ	小皿	5.7	1.6	3.7	EGHI	65	普通	にぶい橙	二面 C6-F4	底部糸切痕(右) 胎土砂質	
29	瓦質土器	竈鏝	—	4.5	—	EHI	5	普通	橙	一面 C6-B2	上面煤付着 刻書 被熱・赤化	
30	土師質土器	焙烙	—	[4.6]	—	CEHI	5	普通	にぶい橙	一面表採	底部シワ状痕	
31	瓦質土器	焙烙	(34.2)	[7.9]	—	CHIK	35	普通	にぶい橙	一面 C6-A1・2	底部シワ状痕 内面ミガキ 外面煤付着	
32	瓦質土器	焙烙	(37.8)	5.9	(35.0)	CHIK	45	普通	灰白	二面 C6-A2	底部シワ状痕 内底面中心に菊花文スタンプ	
33	土師器	壺	(13.6)	[4.6]	—	CEHI	15	普通	浅黄橙	二面 C6-D4	内外面ミガキ・ハケメ 古墳前期	
34	磁器	皿	—	[1.7]	4.1	—	10	普通	白	二面 C6-E5	肥前系 施釉 蛇の目状釉剥 円盤状製品 転用 縦4.3横5.6重43.9	

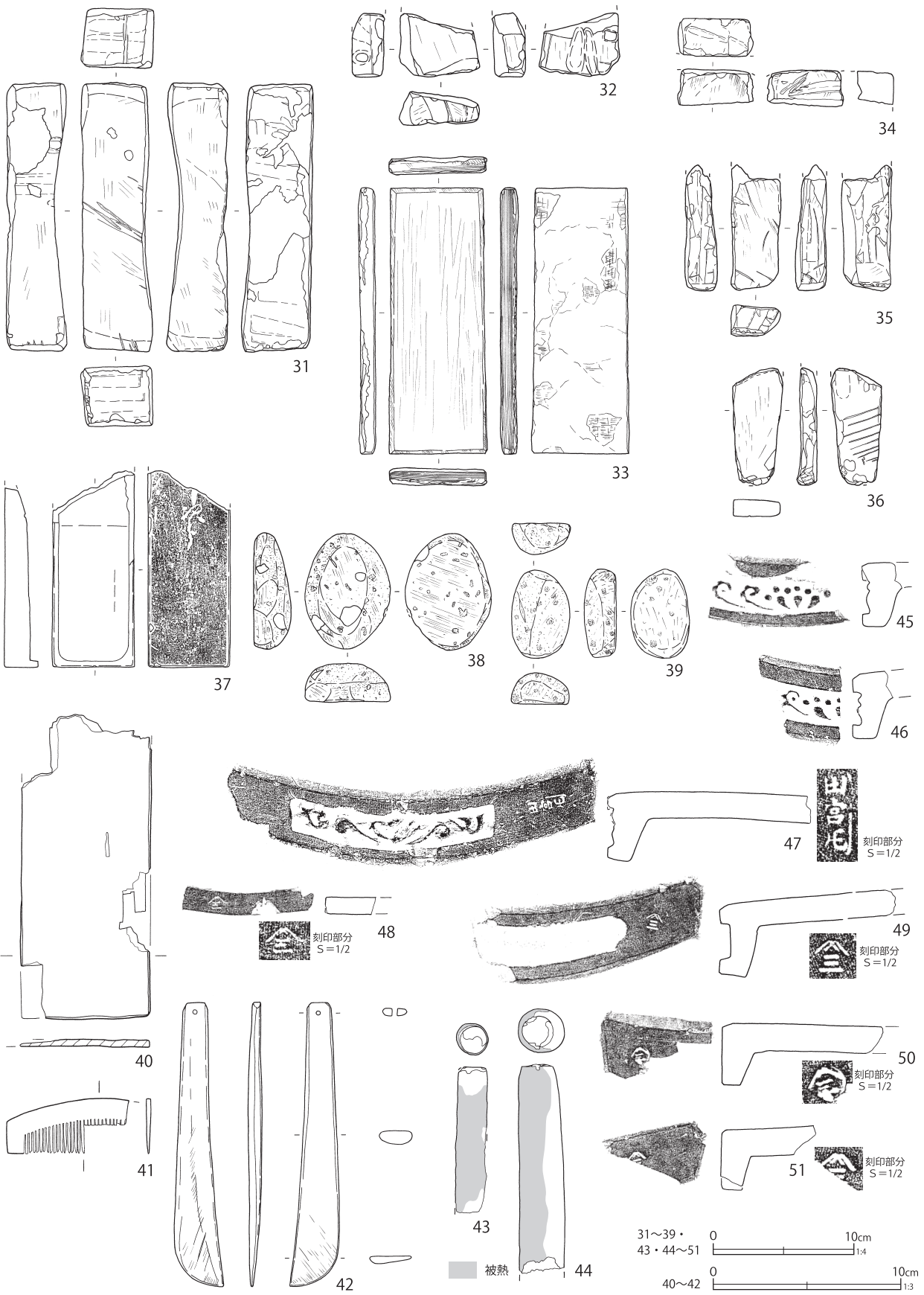
第360図13～21は金属製品である。16は自在鉤で木製の柄も遺存する。22～27は硝子製品の髪飾り類である。22は紫色味を強く帯びた透明色のもので、上部が円形に成形されるが、施文はみられない。28は土製品で小形の埴塙である。第360～361図29～39までは石製品である。30は中央が穿孔されたメノウの板状製品であるが、用途

は不明である。31～36は砥石である。37は硯で裏面に線刻がある。第361図40は木製品、41は鼈甲製と考えられる櫛、42は骨角製品の篋、43・44は棒状土製品である。42は裁縫道具と考えられる骨角製の篋である。45～51は瓦で、東海式の資料(45・46)と刻印のあるもの(47～51)を示した。

遺構外



第 360 図 遺構外出土遺物 (3)



第 361 図 遺構外出土遺物 (4)

第75表 遺構外出土遺物観察表(2)(第360~361図)

番号	種別	器種	幅	長さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	出土位置	備考	図版
							石材					
1	陶器	蓋	径 3.4		高 1.3	10.7	I	良好	黄灰	一面表採	瀬戸美濃系 上面灰釉 下面ヘラナゲ	
2	磁器	坏	径 2.4	高 1.2	底径 0.8		—	良好	白	一面 C6-F4	型成形 施釉 外面鑄状文 紅環	
3	磁器	坏	径 2.4	高 1.0	底径 0.8		—	良好	白	一面 C6-B3	型成形 施釉 外面鑄状文 紅環	
4	磁器	坏	口径 2.2 高 1.3 底径 0.7				—	良好	白	一面 C6-B2	肥前系カ 施釉	
5	磁器	ミニチュア	口径 4.0 高 3.2 底径 2.8			29.1	—	良好	白	二面 C6-D4	柿釉甕 瀬戸美濃系 一部鉄釉	87-17
6	施釉土器	ミニチュア	口径 (6.0) 高 [1.9]			6.4	AI	良好	にぶい黄橙	二面 C6-B3	播鉢 京都系 透明釉 外面ケズリ	
7	施釉土器	ミニチュア	径 6.0 高 2.8 底径 3.0			51.9	E	良好	灰白	一面 C6-C2	銚子 京都系 透明釉, 一部緑釉	87-18
8	土製品	泥面子	1.8	2.5	0.6	2.1	A	良好	橙	一面表採	在地系 型押成形	
9	土製品	人形	1.1	1.5	0.8	1.0	ACIK	普通	橙	一面 C6-C2	達磨 江戸在地系 背面下部穿孔	87-19
10	土製品	泥面子	径 2.3		1.0	6.5	AI	普通	にぶい橙	二面 C6-C3	江戸在地系 面打 型押成形	
11	土製品	泥面子	径 2.3		1.0	1.0	AIK	普通	にぶい橙	一面 C6-C2	江戸在地系 面打 型押成形	
12	土製品	鳩笛	3.8	6.9	高 4.8	30.0	—	普通	浅黄橙	二面 C6-C3	京都系 上下合型成形 施釉・彩色	87-20
13	銅製品	燭台	縦 [5.2] 横 [5.0] 厚 0.1 重 7.0							一面 C6-B2		
14	銅製品	卸金	長 21.0 幅 10.4 厚 0.1 重 139.8							一面 C6-C2		
15	銅製品	切羽	縦 [4.2] 横 [2.5] 厚さ 0.2 重 4.2							二面 C6-D2		
16	鉄製品	自在鉤	長 [21.0] 厚 0.5 重 30.7							一面 C6-F6	木製鉤棒付	
17	銅製品	銃弾	長 2.9 径 1.5 厚 0.2 重 34.1							一面表採		
18	銅製品	簪	長 14.0 幅 0.6 厚 0.2 重 10.4							一面一括		
19	銅製品	小柄	長 [9.8] 幅 1.4 厚 0.4 重 22.6							二面 C6-D2		
20	銅製品	煙管	長 [7.6] 小口径 1.0 × 1.1 重 8.6							二面 C6-E4	吸口	
21	銅製品	煙管	長 [9.1] 小口径 0.8 重 6.2							二面 C6-E4	吸口	
22	硝子製品	筭	長 [4.3] 頭部径 1.3 茎部径 0.5 重 5.0							一面 C6-A1	透明 (紫色) 中実 下端欠失	102-7
23	硝子製品	筭	長 [5.1] 幅 / 厚 0.5 重 5.0g							一面 C6-A1	透明, 表面白濁 中実 両端欠失	102-7
24	硝子製品	筭	長 [2.7] 幅 1.1 厚 0.5 重 4.0							一面 C6-B2	透明, 表面白濁 中実 両端欠失	102-7
25	硝子製品	筭	長 [5.4] 幅 0.6 厚 0.5 重 5.0							一面 C6-E2	透明 中実 上端欠失	102-7
26	硝子製品	筭	長 [5.0] 幅 / 厚 0.6 重 4.7							二面 C6-B2	透明 中実 両端欠失	102-7
27	硝子製品	筭	長 [8.8] 幅 1.0 厚 0.7 重 9.0							一面 C6-B2	黄褐色 中空 上端欠失	102-7
28	土製品	埴塼	口径 3.8 高 4.6			24.0	IK	普通	灰白	二面 C6-E2/4	熱変 外面下位滓状付着物	
29	石製品	碁石	径 2.1		0.4	3.3	粘板岩			二面 C6-D3		
30	石製品	不明	[5.8]	[4.6]	0.6	18.4	メノウ			二面 C6-B2	穿孔 1 研磨 被熱 (白色化)	
31	石製品	砥石	19.1	5.1	4.8	658.1	流紋岩			一面表採	工具痕 刃物痕 砥面 3 被熱	
32	石製品	砥石	[4.5]	5.7	2.3	69.9	砂岩			二面 C6-F4	粗粒 側面工具痕カ 刃物痕 砥面 5	
33	石製品	砥石	18.8	6.9	1.2	295.6	粘板岩			一面 C6-C3	ノコギリ痕 砥面 1 裏面大きく剥落	
34	石製品	砥石	[2.5]	[5.4]	2.6	57.7	流紋岩			一面一括	幅広工具痕カ 刃物痕 V字状使用痕 砥面 3	
35	石製品	砥石	[8.9]	3.6	2.2	93.4	流紋岩 (緑色)			一面一括	平ノミ痕 刃物痕 砥面 1	
36	石製品	砥石	[8.4]	[4.6]	1.4	57.7	ホルンフェルス			一面一括	幅広工具痕 砥面 1	
37	石製品	硯	[13.9]	5.8	2.4	287.2	流紋岩			二面 C6-A2	裏刻書 煤付着	
38	石製品	磨石	8.2	6.1	2.7	63.8	角閃石安山岩			二面 C6-D2	多孔質 自然面使用 線条痕 1 面形成	
39	石製品	磨石	6.3	4.2	2.3	35.4	角閃石安山岩			二面 C6-E3	多孔質 自然面使用 2 面形成	
40	木製品	木札	6.9	[16.1]	0.4	—	—	—	—	二面 C6-A1	木取は板目 墨書「熊」カ (第76表29)	104-29
41	骨角製品	櫛	2.9	[6.4]	0.2	—	—	—	—	一面 C6-B2	鱗甲	96-18
42	骨角製品	篋	2.6	15.0	0.7	24.0	—	—	—	一面 C6-D2	穿孔	103-5
43	土製品	棒状土製品	長 [10.3] 径 2.2			58.8	DHIK	普通	橙	二面 C6-E3	被熱 2 側面に火膨れ状剥離	102-4
44	土製品	棒状土製品	長 [14.8] 径 3.2			170.9	AEHK	普通	橙	二面 C6-E3	被熱 片側火膨れ状, 釉状付着物	102-4
45	瓦	軒棧瓦	[10.5]	[3.2]	2.0	—	ACDIK	良好	灰白	一面 C6-C2	銀化 東海式 黒色粒子多	
46	瓦	軒棧瓦	[5.7]	[2.8]	2.4	—	AIK	良好	灰白	一面 C6-C2	銀化 東海式 黒色粒子多	
47	瓦	軒棧瓦	[27.0]	[14.5]	1.9	—	ACIK	普通	灰	一面 C6-D2	銀化 黒色粒子多 刻印「田宮瓦」	
48	瓦	棧瓦	[9.4]	[5.3]	1.8	—	ACIK	良好	灰白	一面 C6-D2	銀化 黒色粒子多 刻印	
49	瓦	軒棧瓦	[20.4]	[12.6]	1.9	—	AIK	普通	灰白	一面 C6-C3	銀化強い 瓦当部素文 刻印	
50	瓦	軒棧瓦	[9.5]	[11.1]	1.9	—	ACIK	良好	灰	一面 C6-D2	刻印	
51	瓦	軒棧瓦	[8.1]	[6.7]	2.0	—	AIK	良好	灰白	一面 C6-E5	刻印	

3 文字資料

栗橋宿本陣跡の調査では、陶磁器・木製品・瓦転用品・石製品等に文字が墨書、刻書された遺物が認められた。これらのうち陶磁器については、文字数が少なく文意もとりに難いものが多いので、各遺物実測図・写真図版に示し、判読が可能だった積文については観察表の中に示した。

石製品については、一部の硯・火打石に刻書、

墨書が認められた。

木製品については、かなり多くの墨書や焼印の資料が認められた。比較的長文の文字が墨書されているものもあり、判読が可能なものを第76表（原文は全て縦書き）に示した。なお、積文の作成にあたっては、久喜市教育委員会・久喜市立郷土資料館より協力を得た。

第76表 文字資料積文

番号	遺構	器種	積文	挿図	図版
1	SK46	樽鏡か	ぬカ	243-44	104-1
2	SG 東	付札	鯨同火□カ	79-6	104-2
3	SG 東	経木	下八〇九 八己	79-3	104-3
4	SG 東	経木	七サ□□□ 三十一銭ノ分	79-4	104-4
5	SG 東	箱側板	本□（〇に二）銘 □□ 舟田□（常カ）之輔発行 日□□出し	79-5	104-5
6	SG 西	樽鏡	梅	79-1	104-6
7	SK230	円板	初	252-223	104-7
8	SK230	経木	七□□ 三蔵 式つ差出 支外八 石三十	252-230	104-8
9	SK230	経木	藤森	252-229	104-9
10	SK230	経木	□魚火□	252-231	104-10
11	SK247	円板	□□□町 □□極 □□□	252-236	104-11
12	SK274	経木	源□（蔵カ）	254-266	104-12
13	SK279	樽か曲物の鏡	仕入	254-267	104-13
14	SK1001	樽鏡	□□ 新小□ [] (右覚□カ)	343-2	104-14
15	SK1002	木札	(表) 本 (側面) オ	343-3	104-15
16	SK1028	板	新三	343-17	104-16
17	SK1048	箱枕か	年 □ や	344-37	104-17
18	SK1108	木札	仕入	348-97	104-18
19	SK1116	木札	左カ	348-103	104-19
20	SD9	曲物鏡	□（八に上）	92-11	104-20
21	SD9	木札	小林広八	92-16	104-21
22	SD11	樽鏡	□ 大 三石□	294-3	104-22
23	SD12	円板	カメ	294-24	104-23
24	SD12	木札	左カ 正味四百目 三十文	295-33	104-24
25	SD12	木札	伊□	295-34	104-25
26	SD12	木札	な□□書 富	295-35	104-26
27	SD12	樽鏡	□（ゝに正）改 [] 八□入	295-27	104-27
28	排水橋	板	□丁□	80-10	104-28
29	C6-A1Gr	板	熊カ	361-40	104-29
30	桶 21	樽鏡	大極上 □□	42-25	104-30

4 出土遺物一覧と遺構の時期

出土した遺物の点数・重量と各遺構の想定される時期を一覧表にまとめた。

出土した瓦は、発掘調査中に水洗い・乾燥・分類を行い、点数と重量を記録した（第77・78表）。表中の瓦の分類は、「平瓦」が棧瓦・平瓦、

「軒瓦」が軒丸瓦・軒棧瓦・軒平瓦、「道具瓦」が冠瓦・伏間瓦・熨斗瓦である。このうち、軒瓦・道具瓦と、平瓦類で縦横いずれかの一边が残っているもの、隅の切れ込みが残る棧瓦を回収し、整理作業で抽出、実測を行った。

第77表 第一面瓦計測表

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SB1	212506	2845	6072	68	1562	12	3050	14					223190	2939
SB4 トレンヂ	255	8											255	8
SB6	38253	299	2909	19	1280	2	1013	1					43455	321
桶 1	157	3											157	3
桶 5 掘方	159	5											159	5
桶 6	68	1											68	1
桶 7	99	1											99	1
桶 13	1168	8											1168	8
桶 23	859	16											859	16
桶 25	112	5			49	1							161	6
桶 27	72	1											72	1
桶 28	61	4	329	4									390	8
桶 31	27	1											27	1
桶 37	354	4											354	4
桶 39	400	5											400	5
桶 44	30	1											30	1
桶 47	60	1											60	1
桶 55	53	1											53	1
桶 56	489	6											489	6
桶 64	6200	47	400	2					30	1			6630	50
桶 65	12215	126	550	5	50	3	50	1					12865	135
桶 66	29000	123	2300	5	400	1	2150	10					33850	139
桶 74	325	2											325	2
桶 78	4450	39											4450	39
桶 80	900	5											900	5
桶 82	1027	18											1027	18
桶 83	220	5											220	5
桶 84	700	6											700	6
桶 88	0	0	70	1									70	1
桶 89	140	1											140	1
桶 90	170	1											170	1
桶 91	4853	28	80	1									4933	29
桶 93	260	4											260	4
桶 94	700	8											700	8
桶 95	2950	38	1150	6	80	1							4180	45
SE1	37013	282	808	5									37821	287
SE1 掘方	13250	96											13250	96
SE2	6805	70											6805	70
SE3	193	6					972	1					1165	7
SE4	13927	114	743	4	211	2							14881	120
SE4 掘方	1580	15											1580	15
SE5	4602	52	744	3	180	1							5526	56
SE5 掘方	2360	16			120	1							2480	17
SE6	4340	26											4340	26
SE7	5102	38	380	1	690	3							6172	42
SE7 掘方	310	3											310	3
SE8	5814	55	175	1	50	1	420	2					6459	59
SE8 掘方	60	3											60	3
SE9	8180	49	200	1	1284	4							9664	54
SE9 掘方	1030	5											1030	5
SE10	3870	42											3870	42
杭列 1	810	11	120	1									930	12
杭列 2	847	14			307	3							1154	17
杭列 3	7171	69					340	1					7511	70
木樋 7	35	2											35	2
竹樋 1	7450	62	660	1	275	1							8385	64
池状遺構東	310631	2385	11323	75	4150	24	680	5	90	2			326874	2,491
池状遺構西	190296	1458	10590	61	2800	19	535	3	555	4	370	1	205146	1,546
排水枡	16595	137	84	1	260	2	456	1					17395	141
SD1	28361	232											28361	232
SD3	6698	83	3105	20	679	4							10482	107
SD4	160	2											160	2
SD6	915	3											915	3
SD8	11500	108	760	5	770	2							13030	115
SD9	99488	653	12400	35	1150	9	350	3					113388	700
SD16	722	10											722	10
SA1Pit3	420	4											420	4
SK1	2712	59											2712	59
SK2	618906	4412	49522	289	12200	86	6400	17	5100	20			692128	4824

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK3	2857	25											2857	25
SK4	155	2											155	2
SK5	25	2											25	2
SK7	134150	1193	950	6	2250	17	950	3			950	2	139250	1221
SK9	251124	1428	4950	24	12850	35							268924	1487
SK10	5300	50	378	2	99	1							5777	53
SK11	1700	13											1700	13
SK12	1725	12											1725	12
SK13	38	7											38	7
SK16	142	5											142	5
SK18	386756	2158	500	3	4300	32	1050	3					392606	2196
SK19	11950	236			1150	9							13100	245
SK22	335	6											335	6
SK24	2	1											2	1
SK25	226755	1482	1950	14	450	3	2800	6					231955	1505
SK26	324547	2563	32600	239	1950	18	5750	34	8100	77			372947	2931
SK27	2755	10											2755	10
SK29	2738	59			32	1							2770	60
SK30	932975	6410	21843	124	5722	56	8000	35	400	2			968940	6627
SK31	10	1											10	1
SK32	3092	17	135	1									3227	18
SK33	35	1											35	1
SK36	322881	2666	7281	71	1500	6	2850	11					334512	2754
SK37	2612	24											2612	24
SK38	339	6											339	6
SK39	8440	50	820	2	1670	2							10930	54
SK41	2400	46											2400	46
SK43	149	1											149	1
SK46	498300	2408	12440	56	3850	16	1500	7					516090	2487
SK48	1592	13	258	2					304	1			2154	16
SK50	3800	14											3800	14
SK52	787	4											787	4
SK53	669	9											669	9
SK54	624	9											624	9
SK58	49850	341	800	4									50650	345
SK60	562	2											562	2
SK62	731	10											731	10
SK63	5256	57	125	1	495	2							5876	60
SK64	6627	69											6627	69
SK65	16345	149	1555	5	520	3							18420	157
SK66	14050	143	2250	12	1700	3							18000	158
SK67	1419	15			26	1							1445	16
SK68	815	6											815	6
SK74	1750	26											1750	26
SK75	22752	166	484	6	454	4							23690	176
SK76	214860	1286	9450	39	2350	24	1600	11	1600	5			229860	1365
SK77	2850	13			150	1							3000	14
SK78	1300	10			300	1							1600	11
SK79	1710	10											1710	10
SK80	293	4											293	4
SK81	235	2											235	2
SK82	278	4											278	4
SK83	13550	170	1200	4	650	5							15400	179
SK84	329	3											329	3
SK85	13361	120	85	1	180	2							13626	123
SK86	17254	169	100	1									17354	170
SK87	1440	16											1440	16
SK89	175	3											175	3
SK90	26300	266	66	1	183	3	84	1					26633	271
SK91	1315	18			26	1							1341	19
SK92	3250	47	145	1	35	1							3430	49
SK93	1200	30											1200	30
SK94	3665	65											3665	65
SK96	275	6											275	6
SK98	455	7											455	7
SK99	300	4											300	4
SK100	1462	12	390	1									1852	13
SK101	5131	40			220	1	485	1					5836	42
SK106	803	6											803	6
SK111	165501	1255	300	3	116	1	574	3					166491	1,262

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK113	1427	8											1427	8
SK114	10081	113	130	2	225	2	305	1					10741	118
SK117	1205	14											1205	14
SK118	675	8	500	1									1175	9
SK119	5765	143	120	1									5885	144
SK122	1310	11			115	1							1425	12
SK123	3100	17	170	1	580	1							3850	19
SK124	110	2											110	2
SK125	353	3											353	3
SK126	9	1											9	1
SK127	438308	3605	3800	22	3040	23	6350	16	2900	10			454398	3,676
SK128	182100	1991	7200	45	2250	15	1655	3	600	3			193805	2,057
SK144	6303	58											6303	58
SK146	200	2	690	3									890	5
SK150	83100	943	1350	3	1015	8	725	3					86190	957
SK151	114244	1242	55	1	500	5	775	3	70	1			115644	1,252
SK153	6500	49			120	1							6620	50
SK156	2035	13			1170	2							3205	15
SK157	95	3	175	1									270	4
SK159	95	1											95	1
SK161	520	7											520	7
SK162	7950	64											7950	64
SK165	155	1											155	1
SK166	139730	3195	4949	29	4000	20	3550	5					152229	3,249
SK171	3659	15			305	1							3964	16
SK172	2314	32											2314	32
SK174	213635	1332	975	6	6100	16	795	2					221505	1,356
SK175	328	3											328	3
SK176	3760	62	495	2									1105	14
SK177	2210	23	130	1									2340	24
SK178	1395	11											1395	11
SK179	825	10											825	10
SK180	125	2			660	1							785	3
SK185	8150	74	315	2	170	1							8635	77
SK186	420991	2723	665	2	1225	7	480	3			175	1	423536	2,736
SK188	406	11					125	1					531	12
SK189	1452	12											1452	12
SK190	1350	12											1350	12
SK191	18	2											18	2
SK193	0	0	380	1									380	1
SK196	9550	64											9550	64
SK197	1519	7	650	1									2169	8
SK198	6892	52	60	1					360	1			7312	54
SK199	421	8											421	8
SK201	95018	752	5000	32	1603	6							101621	790
SK202	1880	7	180	1									2060	8
SK203	15	1											15	1
SK204	184250	747	12000	34	5650	20	3800	7					205700	808
SK205	49367	206	890	3	1180	5	150	1					51587	215
SK206	118250	665	4000	18	1315	8	665	3					124230	694
SK207	180	2											180	2
SK209	45796	277	4400	13	2000	11			2950	1			55146	302
SK211	1450	11	175	1									1625	12
SK212	29321	155	4000	9	215	3							33536	167
SK213	460	3											460	3
SK214	2250	14											2250	14
SK216	380	5			150	1							530	6
SK219	2610	24	349	2	80	1	190	1					3229	28
SK223	356050	2679	3950	23	6850	33	250	1					367100	2736
SK224	2250	24			80	1							2330	25
SK225	55840	413	2570	14	1620	7			3450	1			63480	435
SK230	7794	59	1000	5	110	1	560	1					9464	66
SK231	1730	10											1730	10
SK233	1660	10											1660	10
SK234	5600	37	200	1	500	2							6300	40
SK235	28430	122	400	3	2350	6							31180	131
SK236	790	13					13		220	4			1023	17
SK237	5812	32	3400	9									9212	41
SK238	9650	58	170	1									9820	59
SK239	1150	11											1150	11

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK240	8950	65	1320	5									10270	70
SK242	50387	351	3300	14	2021	8	1100	3					56808	376
SK243	13200	72	500	1	140	1							13840	74
SK244	576800	4052	34650	174	12800	51	740	4	760	7			625750	4288
SK245	530	3											530	3
SK247	5455	23											5455	23
SK248	9772	74	920	4	280	1	370	1					11342	80
SK249	35990	333	2000	13	1304	5	360	1					39654	352
SK250	352352	1860	10250	41	8050	30	685	2	2300	4			373637	1937
SK251	1800	17	260	2									2060	19
SK253	650	3											650	3
SK254	4150	36	580	2	580	2							5310	40
SK255	12823	128	630	3	180	2							13633	133
SK257	6000	54	140	1	70	2							6210	57
SK258	942	14											942	14
SK259	2350	21											2350	21
SK260	1700	8											1700	8
SK261	18	1											18	1
SK262	1200	3											1200	3
SK263	24	2											24	2
SK265	200	1											200	1
SK266	420	6											420	6
SK267	2571	40											2571	40
SK273	800	6											800	6
SK277	14800	90	500	1			1100	2					16400	93
SK278	1450	10	540	1	300	2							2290	13
SK279	8909	81											8909	81
SK280	6116	41	247	3	120	1							6483	45
SK282	1800	12	1320	6									3120	18
SK288	15	1											15	1
SK289	35050	289	750	5	2950	7			580	1			39330	302
SK296	9300	55	550	5									9850	60
SK297	22676	124	400	4	2750	8							25826	136
杭列9周囲の焼土範囲	55750	325	1420	7	2400	12							59570	344
Pit1	231	6											231	6
Pit11	2490	49											2490	49
Pit14	105	1											105	1
Pit22	1240	5											1240	5
Pit36	2600	26											2600	26

第78表 第二面瓦計測表

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SB14a/b	610	6	700	5									1310	11
SB14apit6	4600	26	740	5									5340	31
基礎3	320	3											320	3
SE13	9900	6											9900	6
SE14	360	4											360	4
SE15	130	2											130	2
SE16	220	2											220	2
SD11	15098	119	920	4	560	3							16578	126
SD12	14100	146	1360	6	550	2							16010	154
SD13	4000	38	1800	3									5800	41
SD14	7807	62	1041	9									8848	71
SK1001	8350	99			290	2							8640	101
SK1002	760	6											760	6
SK1003	500	2			20	1							520	3
SK1004	1520	15	150	1									1670	16
SK1005	2600	15	100	1	410	2							3110	18
SK1006	2190	25	750	3	240	2							3180	30
SK1007	3264	24	440	2									3704	26
SK1008	150	2	150	1	30	1							330	4
SK1013	140	1											140	1
SK1015	800	3	180	1									980	4
SK1018	150	4			60	1							210	5
SK1019	400	5											400	5
SK1020	215	3											215	3
SK1021	240	2											240	2
SK1022	1518	13	380	1									1898	14
SK1024	37850	251	4050	26	150	1							42050	278

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK1028	3300	27	330	1									3630	28
SK1029			16	1									16	1
SK1043	250	2											250	2
SK1044	1350	8											1350	8
SK1045	6800	54	410	1	450	3							7660	58
SK1046	140	3											140	3
SK1047	2	1											2	1
SK1048	54	1											54	1
SK1051	18750	174	690	4	480	4			5850	9			25770	191
SK1052	210	2											210	2
SK1053	770	12											770	12
SK1054	221	3	89	2									310	5
SK1056	2656	22	607	4	826	2							4089	28
SK1058	50	1											50	1
SK1059	420	11											420	11
SK1060	230	4	120	1									350	5
SK1061	1567	16											1567	16
SK1067	90	2	60	1									150	3
SK1068	440	8											440	8
SK1069	221	8	6	1									227	9
SK1070	3450	33	600	2									4050	35
SK1071	250	2											250	2
SK1072			200	1									200	1
SK1073	1000	13	70	1									1070	14
SK1074	4050	40	76	1									4126	41
SK1077	938	12											938	12
SK1078	200	5											200	5
SK1082	302	1											302	1
SK1083	840	10											840	10
SK1084	340	6											340	6
SK1085	2800	69											2800	69
SK1090					95	1							95	1
SK1092	490	9											490	9
SK1094	830	10											830	10
SK1100	42150	368	340	3	600	2							43090	373
SK1104	1718	39											1718	39
SK1105	1270	7											1270	7
SK1107	450	4											450	4
SK1108	1808	23	120	1									1928	24
SK1109	270	3											270	3
SK1114	710	6	1100	2									1810	8
SK1115	220	2											220	2
SK1116	407	4	80	1									487	5
SK1117	490	6											490	6
SK1118	280	1											280	1
SK1119	80	2											80	2
SK1129	4000	37	330	3	930	2							5260	42
SK1130	30	2											30	2
SK1132	100	1											100	1
SK1133	890	9	90	3									980	12
SK1135	730	11											730	11
SK1136	620	6			90	1							710	7
SK1137	860	9	360	1									1220	10
SK1138	156	3											156	3
pit45	5	1	23	1									28	2
pit48					170	1							170	1

整理作業で扱った全ての遺物については、点数と重量を第79表に掲載した。出土した貝類については、種類と個体数を第80表に掲載した。

各遺構の推定時期については、第82表に掲載した。陶磁器様相からの推定であり、陶磁器量や伝世期間の問題から若干の誤差が想定される。少ない遺物から判断した場合は（ ）、遺構重複か

ら判断した場合は[]を付した。表中に示した時期区分と想定時期は、次のように設定した。

- ・栗橋1期…17世紀前半
- ・栗橋2期…17世紀後半～18世紀初頭
- ・栗橋3期…18世紀前葉～中葉（第2四半期後半～第3四半期前半）、肥前磁器波佐見系碗・瀬戸美濃陶器腰鑄碗・せんじ碗で組成

第79表 出土遺物一覧表

陶器土器の()は底部破片数、金属製品の()は錢貨数である

遺構	磁器		陶器		土器		瓦	土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量		破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SB1	94(11)	1324	76(14)	2121	14(6)	547	2939	223190	1	2	8	15	4(1)	31.1	1	46	-	石製品は石材, 土製品は玩具, 銅製品に煙管4(内pit4に1)含
SB1pit4	4(1)	44	4(2)	176	0	-	0	-	0	0	0	-	2(1)	32.5	0	-	-	
SB2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0(0)	-	0	-	-	
SB4	13(1)	93	11(2)	26	8(5)	299	8	255	0	-	0	-	3(2)	7.2	1	1.9	-	トレンチ出土, 建物に直接帰属せず
SB6	8(7)	229	25(6)	1180	6(3)	561	321	43455	0	-	37	37	0	-	2	600	1	石製品は砥石
SB13	1(1)	84	3(0)	10	1(0)	4	0	-	0	0	0	-	0(0)	-	0	-	-	
基礎1	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0(0)	-	0	-	-	
基礎2	0	-	3(1)	69	2(1)	391	0	-	1	11	0	-	0	-	1	125	-	石製品は石材 土製品は玩具類
桶1	2(1)	25	2(0)	157	0	-	3	157	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶2	2(2)	97	0	-	2(0)	51	0	-	0	0	0	-	1	28.4	0	-	-	
桶3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	1(1)	1.8	0	-	-	錢貨は新寛永
桶4	4(0)	16	4(1)	121	4(2)	84	0	-	0	0	0	-	0(0)	-	6	73	-	石材1(13g)含
桶5	0	-	2(1)	106	0	-	5	159	0	-	0	-	0	-	0	-	1	木製品は栓
桶6	0	-	0	-	0	-	1	68	0	0	0	-	0(0)	-	0	-	-	
桶7掘方	0	-	3(0)	38	0	-	1	99	0	0	0	-	0	-	0	-	-	遺物は全て掘方から
桶8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	1(1)	4.6	0	-	-	寛永通宝四文銭
桶9	4(1)	64	2(1)	21	1(1)	27	0	-	1	9	0	-	0	-	0	-	-	土製品は玩具
桶10	6(2)	416	5(3)	178	1(0)	65	0	-	0	0	0	-	1(1)	3.0	0	-	-	新寛永
桶11	7(1)	159	7(5)	278	0	-	0	-	1	7	0	-	1(1)	1.7	0	-	-	土製品は玩具 錢貨種不明
桶12	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶13	4(2)	33	19(1)	1866	3(2)	901	8	1168	1	6	2	37	1(1)	1.9	0	-	1	土製品は玩具 錢貨種不明 木製品は匙
桶14	2(2)	221	2(1)	17	0	-	0	-	0	0	0	-	1(1)	2.5	0	-	1	錢貨錢種不明
桶15	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶16	1(1)	116	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶17	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶18	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶20	1(0)	20	4(1)	100	3(0)	47	0	-	0	0	1	2	3(3)	7.7	1	20	1	板状鉄製品 錢貨は寛永通宝四文銭1不明銭2
桶21	11(0)	42	13(0)	101	2(0)	24	0	-	0	0	0	-	0	-	1	9	1	
桶22	2(0)	9	8(0)	103	4(0)	12	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶23	3(1)	42	1(1)	11	2(2)	33	16	859	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶24	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	1(1)	1.6	0	-	-	錢貨は寛永通宝
桶25	2(0)	24	9(2)	107	2(2)	18	6	161	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶26	2(1)	62	3(0)	64	2(1)	127	0	-	0	0	0	-	3(3)	36.0	0	-	-	錢貨は四文銭1, 不明2
桶27	0	146	0	124	0	34	1	72	0	0	0	-	0	-	0	-	1	木製品は下駄
桶28	7(1)	136	8(0)	182	1(0)	36	8	390	0	0	1	4	2(1)	6.2	0	-	-	錢貨四文銭5.2g 帯状銅製品, 鉄釘
桶29	4(0)	27	1(0)	2	1(0)	12	0	-	0	0	0	-	0	-	1	1	-	種子10g+(自然科学分析参照)
桶30	0	-	1(0)	4	2(0)	69	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶31	0	-	5(1)	153	0	-	1	27	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶32	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶33	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶34	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	
桶35	1(1)	54	5(0)	16	2(1)	75	0	-	0	0	7	147	0	-	0	-	-	鉄製品は平釘

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
桶 36	0	-	0	-	1 (0)	5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 37	21(3)	3	20(2)	51	0	-	4	354	0	-	1(1)	3.6	0	-	0	-	-	-	銭貨種不明 骨類 0.2g 瓦種 2(274g)
桶 38	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	-	木製品は船材カ(長 134 幅 15 cm)
桶 39	1(1)	24	2(0)	60	2(1)	29	5	400	0	-	1	27	0	-	0	-	1	-	鉄釘
桶 40	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 41	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 42	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 43	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 44 掘方	5(0)	34	12(4)	126	3(1)	37	1	30	0	-	0	-	3	4.8	0	-	-	-	遺物は大部分掘方出土
桶 45	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 46	5(0)	39	14(2)	370	16(3)	667	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 47	3(3)	266.5	1(1)	29.2	1(1)	224.9	1	60	0	-	2(2)	3.0	3(3)	16.2	0	-	1	-	銭貨は新寛永 1、四文銭 2
桶 48	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 49	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 50	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 52	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 53	2(1)	107	3(1)	185	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 54	3(2)	184	3(1)	67	1(0)	12	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 55	0	-	3(0)	14	0	-	1	53	0	-	0	-	12(9)	130.6	0	-	-	-	煙管 3(28g) 含 銭貨は寛永通宝
桶 56	0	-	0	-	0	-	6	489	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 58	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 59	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 60	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 61	2(1)	66	1(0)	17	3(1)	138	0	-	0	-	0	-	0	-	2	84	-	-	石製品は砥石
桶 62	8(7)	517	3(0)	92	1(1)	62	0	-	0	-	0	-	3(1)	2.5	0	-	1	-	銭貨は種不明 木製品は皿
桶 63	8(2)	179	22(4)	254	1(0)	92	0	-	0	-	0	-	1(1)	2.0	0	-	1	-	新寛永
桶 64	2(1)	151	1(0)	3	0	-	50	6630	0	-	5(1)	27.3	1(1)	4.4	0	-	-	-	鉄釘 4 銭貨は四文鉄銭と不明銅銭
桶 65	1(0)	13	4(0)	86	1(0)	26	135	12865	0	-	0	-	0	-	1	10	1	-	-
桶 66	0	-	0	-	0	-	139	33850	0	-	0	-	2(2)	2.7	0	-	1	-	銭貨は新寛永と不明銭
桶 67	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 68	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 69	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 70	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 71	4(3)	191	3(1)	474	3(0)	183	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 72	4(4)	261	3(1)	100	2(2)	416	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 73	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 74	0	-	0	-	0	-	2	325	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 75	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3(3)	33.0	0	-	-	-	漆喰 5(15.7)
桶 76	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	銭貨は新寛永 1、四文銭 1、塊 1
桶 77	2(1)	100	15(0)	256	2(0)	393	0	-	0	-	0	-	0	-	1	65	2	-	-
桶 78	8(5)	160	1(0)	22	0	-	39	4450	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 79	1(0)	4	7(1)	161	1(0)	14	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 80	0	-	0	-	0	-	5	900	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-
桶 81	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
桶82	4(2)0	77	1(0)	43	1(1)	565	18	1027	0	-	1	26.1	1(1)	2.9	0	-	2	井戸枠材17片(4010g)木製品は箸	
桶83	3(1)	23	2(0)	205	-	-	5	220	0	-	0	-	0	-	0	-	4	-	
桶84	1(1)	58	4(0)	28	0	-	6	700	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶86	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶87	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶88	1(0)	6	1(1)	10	0	-	1	70	0	-	0	-	0	-	1	96	-	石製品は石材	
桶89	2(0)	24	0	-	0	-	1	140	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶90	3(0)	23	0	-	0	-	1	170	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶91	1(0)	5	0	-	0	-	29	4933	2	45	0	-	2(2)	11.0	0	-	1	土製品玩具1(1g)含 銭貨種不明 木製品は下駄	
桶91掘方	3(0)	12	3(0)	7	6(2)	10	-	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶92	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶93	1(0)	6	1(1)	23	0	-	4	260	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
桶94	2(0)	19	13(2)	1660	1(0)	393	8	700	0	-	0	-	1(1)	4.0	0	-	-	銭貨種不明	
桶95	0	-	0	-	0	-	45	4180	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SE1	80(23)	1387	56(10)	2168	20(6)	1839	287	37821	2	58	18	116	2(0)	1	3	253	1	鉄製品は鍔13平釘5 銅製品は銅線 土製品はミニチュア,人形 モルタル74g	
SE1掘方	12(3)	133	6(1)	252	9(7)	55	96	13250	0	-	1	5	0	-	0	-	-	煉瓦1(114g),土管7(1805g)	
SE2	58(16)	750	25(4)	312	14(6)	5890	70	6805	2	7.0	1	20.3	0	-	1	4.6	-	硝子製品1(17g)鉄製品は平釘	
SE2掘方	12(4)	197	8(1)	561	1(1)	312	0	-	0	-	2	99	-	-	-	-	-	石材1(375g)銅線1(1g)含 銭貨は不明	
SE3	7(2)	42	18(5)	551	7(5)	572	7	1165	0	-	1	164.2	17(15)	43.4	8	626	2	銭1,寛永通宝新7古5四文銭2	
SE3掘方	1(0)	3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	0	
SE4	121(48)	2438	113(34)	4681	25(14)	1703	120	14881	0	-	1	19	4(4)	12.5	8	2999	4	石材2(2536g)含 貝類32.1g漆喰9g 銭貨は寛永通宝新2古2 透明硝子瓶1	
SE4掘方	1(0)	3	5(2)	151	1(0)	61	15	1580	0	-	0	-	0	-	0	-	-	2 鉄製品は新寛永	
SE5	29(1)	245	41(8)	548	5(3)	539	56	5526	0	-	3	23	4(1)	11.9	1	205	2	不透明硝子片1(4.1g)貝類134g	
SE5掘方	16(3)	144	16(6)	588	8(6)	118	17	2480	0	-	0	-	0	-	1	19	-	-	
SE6	10(3)	265	28(6)	630	9(3)	473	26	4340	1	13	0	-	0	-	1	30	-	-	
SE7	41(28)	2077	34(12)	1310	12(9)	5849	42	6172	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SE7掘方	4(1)	103	11(6)	477	1(1)	309	3	310	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SE8	49(22)	1047	62(18)	2505	19(0)	1122	59	6459	2	27	9	61.0	2(2)	4.3	2	13	6	石材1(88g)含(掘方)土製品はミニチュア	
SE8掘方	64(20)	1302	60(17)	1319	25(10)	1172	3	60	1	5	0	-	5(1)	5.7	3	394	4	4.9g皮革製品4.6g瓦転用品1(33g)(桶内)	
SE9	18(12)	1215	141(4)	1224	3(2)	138	54	9664	2	18	0	-	1(1)	1.7	0	-	2	土製品は泥面子(4.0g)人形(14.3g)	
SE9掘方	6(3)	234	5(3)	41	1(1)	37	5	1030	0	-	2	133.8	0	-	0	-	0	貝類26.2g	
SE10	14(4)	244	23(1)	653	5(3)	301	42	3870	0	-	1	3	0	-	0	-	1	鉄製品は釘 硝子製品(筭)1(6.8g)	
SE10掘方	6(1)	54	14(4)	686	3(1)	81	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
杭列1	36(10)	595	35(14)	2985	11(7)	541	12	930	0	-	2(2)	4.3	2	147.5	1	68	2	石製品は石材 有色硝子瓶1(5g)	
杭列2	43(15)	934	55(16)	1531	21(11)	1041	17	1154	0	-	10	112.5	3(2)	7.4	1	30	4	銅製品煙管1含 土壁材68g瓦転用品1(45g)	
杭列3	103(34)	2404	75(25)	2785	20(15)	821	70	7511	0	-	0	-	0	-	1	8	3	-	
杭列4	9(1)	143	5(1)	691	1(1)	10	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	硝子製品1	
木樋1	3(1)	21	5(1)	57	1(1)	11	0	-	1	1	0	-	2(2)	7.8	0	-	13	土壁材6g土製品はミニチュア	
木樋2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	43	0	-	0	-	5	棒状鉄製品	
木樋4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	-	
木樋7	34(10)	530	24(8)	1589	7(3)	94	2	35	0	-	0	-	1	7	0	-	2	-	
竹樋1	33(12)	871	25(7)	722	2(1)	93	64	8385	0	-	0	-	0	-	0	-	2	瓦樋1(559g)	
竹樋2	3(2)	50	5(0)	94	0	-	0	-	0	-	0	-	2(0)	1	0	-	-	銅製品は金具	
瓦樋1	3(0)	16	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1(1)	3.8	0	-	-	瓦樋6(21563g)硝子11g合成樹脂カ1(7g)	
SD1	14(4)	217	8(1)	111	0	-	232	28361	0	-	1	8	2(2)	4.7	0	-	-	有色瓶1(50g)硝子3(13g)鉄釘	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SD3	194(82)	5798	148(41)	4036	55(32)	2455	107	10482	9	125	11	383.5	1(1)	2.8	2	265	10	265	硝子製品斧1(5g) 貝類1.1g 木製品に傘3 木製品は下駄
SD4	4(0)	57	6(1)	144	1(0)	8	2	160	0	-	0	-	0	-	0	-	3	-	
SD5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SD6	2(2)	21	15(9)	1340	2(0)	1100	3	915	0	-	0	-	1	14	2	22	-	-	銅製品は煙管
SD7	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SD8	0	-	0	-	0	-	115	13030	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SD9	168(98)	7577	152(63)	9624	77(30)	8878	700	113388	1	41	3	52	12(4)	48.8	4	766	22	766	石材2(683.4g) 銅製品は棒状2 銅線5
SD10	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SD16	30(6)	750	19(9)	2461	14(3)	4591	10	722	0	-	0	-	0	-	0	-	3	-	鉄洋1点(14g) 木製品は柱材
SA1	0	-	0	-	0	-	4	420	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SA2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
池状遺構 東半部	299(137)	13767	258(72)	9846	112(25)	9213	2,491	326874	5	31	101	107989	14(4)	96.5	17	2230	72	2230	石材2(206g) 含 硝子製品17(74g) 皮革製品 2(1g) 土管2(132g) 煉瓦2(36g) 漆喰9g 貝 類117.8g 種子(松2シイカ)1)8.5g 骨5.2g 瓦種2(253g) 木製品に蒸籠、籠、糸巻き等 硝子製品17(241g) 貝類14.9g 種子(桃)1)2.3g 骨3g 瓦種2(566g) 池一括で銅8(6)84.2g有 銅製品は煙管3 布類18g
池状遺構 西半部	496(206)	13992	319(93)	12351	79(39)	9081	1,546	205146	6	197	19	1593	17(4)	100.8	11	589	30	589	
池、排水枡 瓶衣埋納遺構	15(4)	274	21(3)	468	20(5)	423	141	17395	0	-	0	-	3	16	0	-	8	-	
SK1	25(6)	257	30(10)	1474	17(2)	142	59	2712	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK2	194(48)	2911	104(30)	6549	12(6)	546	4824	692128	2	30	39	326.3	4(2)	12.9	4	2100	47	2100	布類49.4g 建築材全面炭化
SK3	102(37)	2458	143(38)	9246	95(46)	6775	25	2857	6	36	5	233.6	4(2)	15.3	7	439	58	439	銅製品に鋸1 含 木製品箸19 繻14 含
SK4	18(10)	548	22(10)	1294	7(2)	275	2	155	0	-	0	-	1	153.6	1	288	2	288	
SK5	23(12)	642	51(5)	847	7(2)	1062	2	25	2	7	0	-	0	-	0	-	4	-	土製品はミニチュア 木製品は曲物
SK6	14(9)	504	22(4)	741	3(1)	483	0	18	1	18	0	-	0	-	0	-	-	-	土製品は玩具類
SK7	221(60)	3957	54(21)	1101	7(5)	220	1221	139250	0	-	7	61	9(9)	28.2	1	13	7	13	骨製品1(2.3g) 石製品は基石 鉄釘あり
SK8	0	-	2(0)	5846	2(0)	4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	-	
SK9	85(19)	1819	42(4)	1782	10(3)	819	1487	268924	1	16	0	-	0	-	2	8895	5	8895	石材1(829.5g) 含 木製品は炭化した杭 木製品は下駄
SK10	13(1)	277	7(1)	81	0	-	53	5777	0	-	0	-	0	-	0	-	2	-	
SK11	27(16)	2115	30(9)	1616	29(4)	4624	13	1700	0	-	0	-	3(3)	11.2	0	-	3	-	
SK12	14(7)	417	27(1)	207	36(4)	10774	12	1725	1	11	1	1.0	0	-	1	6	-	-	土製品は玩具類
SK13	42(9)	587	73(10)	2051	20(2)	501	7	38	4	11	1	6	1	3	8	196	28	196	種子(綿)10.6g 木製品は腕2 曲物3 等
SK15	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK16	307(115)	8963	78(24)	10554	21(11)	2699	5	142	1	8	0	-	0	-	1	75	6	75	モルタル5(529.4g) コンクリート559.3g
SK17	3(3)	232	3(0)	8	1(0)	18	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK18	16(4)	342	17(10)	1593	1(1)	50	2196	392606	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK19	1(1)	9	1(1)	15	0	-	245	13100	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK20	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK21	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK22	1(0)	4	1(0)	3	0	-	6	335	0	-	0	-	1	10	0	-	-	-	
SK23	1(1)	162	5(1)	124	1(1)	3691	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK24	0	-	29(0)	133	2(0)	25	1	2	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK25	275(89)	5759	90(10)	2247	23(6)	1692	1505	231955	1	4	1	86	4(4)	29.5	3	51	-	-	石材1(45g) 含 壁土1(334g) 含 土壁材9
SK26	35(18)	1388	77(16)	4685	16(5)	2345	2931	372947	0	-	4	41	2(2)	6.1	7	10889	-	-	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他	
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SK27a/b	21(4)	1232	15(6)	6007	9(3)	1534	10	2755	0	0	1(1)	4	0	0	0	0	-	-	-	
SK28	1(1)	16	2(0)	17	0	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	-	-	硝子製品17(茅8玉4合)(213.4g)貝類72.6g,骨類389.6g,種子10.0g(へタ)	
SK29	104(26)	1736	84(22)	1810	34(11)	1134	60	2770	4	6	17	213.4	389(384)	1575.6	5	650	16	650	硝子製品17(茅8玉4合)(213.4g)貝類72.6g,骨類389.6g,種子10.0g(へタ)	
SK30	78(62)	8097	39(15)	9426	10(7)	2551	6627	968940	0	-	19	175	5(4)	21.6	19	19224	3	186	土壁材11(840g)鉄製品に鉄釘18合	
SK31	6(3)	313	5(2)	146	7(2)	964	1	10	0	-	12	21	3	5	3	186	-	-	石製品に石材1(15g)含鉄釘6,銅線3	
SK32	22(2)	45	5(2)	2051	4(1)	803	18	3227	0	-	6	62	0	-	0	0	-	-	-	
SK33	22(3)	262	17(4)	991	6(3)	4360	1	35	0	-	2	46	0	-	1	180	-	-	-	
SK34	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK36	71(23)	1267	45(17)	3218	16(5)	1214	2754	334512	0	-	12	157.1	4	59.8	1	81	1	81	壁土2(41g)石製品は砥石	
SK37	10(2)	125	7(2)	150	7(6)	71	24	2612	0	-	1	128	1	4.9	2	10	-	-	鉄製品は樺皮	
SK38	9(3)	118	5(1)	101	3(0)	248	6	339	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK39	90(28)	3981	30(8)	2801	12(5)	1205	54	10930	0	-	5	108	1	8	6	148	-	-	石綿1(9g)土壁10(463.5g)石製品に石材2(24g)含	
SK40	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK41	10(3)	137	2(0)	155	15(3)	2151	46	2400	0	-	0	-	0	-	3	593	-	-	-	
SK42	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK43	4(2)	85	6(4)	2832	6(1)	712	1	149	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK45	3(2)	205	1(0)	7	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	1	
SK46	16(4)	219	17(3)	755	13(1)	502	2487	516090	1	30	2	74	0	-	0	0	-	-	土製品はミニチュア	
SK47	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK48	20(7)	552	27(6)	836	3(1)	176	16	2154	1	10	1	161	0	-	0	0	-	-	土製品は人形,他に土管1(176g)貝4.2g	
SK50	4(1)	113	4(2)	237	1(0)	20	14	3800	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK52	11(4)	390	4(0)	52	2(1)	1394	4	787	1	37	1	227.8	7(1)	322.7	2	146	-	-	銅製品に溶解銅布128.1g壁土9(268g)	
SK53	15(5)	410	6(1)	95	2(0)	33	9	669	0	-	0	-	1(1)	1.3	0	-	-	-	-	
SK54	1(1)	40	0	-	3(0)	141	9	624	0	-	1	12	0	-	0	0	-	-	壁土4(157g)鉄製品は釘	
SK55	82(34)	1939	5(3)	161	1(1)	20	0	-	0	-	2	21	1(1)	1.8	0	0	-	-	-	
SK56	35(7)	476	16(6)	302	1(0)	7	0	-	0	-	1	8	0	-	0	0	-	-	-	
SK58	44(13)	570	25(8)	1388	11(5)	587	345	50650	0	-	1	2	0	-	1	72	2	72	石綿1(24g)	
SK60	1(1)	141	8(3)	902	9(1)	919	2	562	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK61	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK62	5(3)	261	2(1)	144	4(3)	67	10	731	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK63	143(61)	4222	105(34)	5114	75(29)	4893	60	5876	0	-	3	23.6	4(3)	10.6	6	90	40	90	銅島片あり種子(自然科学分析参照)	
SK64	39(16)	1150	23(8)	723	6(2)	342	69	6627	0	-	3	43	7(6)	21.7	0	-	-	-	種子(自然科学分析参照)	
SK65	72(42)	2869	74(34)	3630	22(4)	2588	157	18420	2	17	1	13	1(1)	3.8	0	-	45	45	壁土2(9.7g)鉄製品は釘木製品下駄9合	
SK66	75(32)	1990	93(29)	2285	26(10)	1510	158	18000	0	-	4	39.8	16	14.9	7	246	43	43	木製品管8曲物3蓋,下駄,草履各2等	
SK67	19(11)	1215	29(3)	382	0	-	16	1445	0	-	1	8	0	-	1	36	3	36	種子3.8g(桃2連カ1)木製品曲物	
SK68	39(14)	578	40(12)	2046	11(5)	386	6	815	0	-	0	-	0	-	3	165	2	165	-	
SK71	3(1)	125	1(0)	51	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK74	14(7)	396	15(4)	1009	2(1)	33	26	1750	0	-	0	-	0	-	1	5	1	5	木製品は皿	
SK75	50(21)	1079	21(6)	1699	18(1)	4740	176	23690	0	-	0	-	0	-	4	2338	8	2338	石材3(1308g)含木製品は皿,箱の一部	
SK76	26(12)	659	17(6)	215	4(1)	72	1365	229860	0	-	0	-	0	-	0	0	-	3	3	種子1.7g木製品は蓋
SK77	1(1)	385	1(1)	215	1(1)	72	14	3000	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK78	17(9)	767	10(2)	421	4(3)	2230	11	1600	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	
SK79	6(2)	155	5(3)	593	1(0)	93	10	1710	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-	-	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他	
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SK80	5(0)	113	5(4)	2333	7(4)	3190	4	293	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
SK81	5(4)	193	5(1)	732	3(3)	297	2	235	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
SK82	4(1)	12	15(3)	8306	9(3)	976	4	278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	-	
SK83	50(24)	1913	36(8)	2967	9(3)	13391	179	15400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	木製品蓋2柄,皿,下駄,草履,曲物等	
SK84	32(4)	362	16(6)	448	11(3)	1545	3	329	0	0	2	11	0	0	0	0	0	8	鉄釘 木製品は下駄	
SK85	6±4(24)	1703	155(43)	9769	54(24)	2624	123	13626	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	木製品は皿	
SK86	34(21)	2201	37(9)	3849	9(7)	1758	170	17354	0	0	0	0	1	10	2	17	13	0	木製品は板材3他建築材2桶材2	
SK87	12(5)	371	9(5)	1522	3(0)	196	16	1440	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK88	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
SK89	3(1)	29	3(0)	58	1(0)	68	3	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK90	15(3)	177	17(2)	1163	2(2)	20	271	26633	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	-
SK91	11(3)	228	6(2)	286	0	-	19	1341	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK92	(1)	(33)	0	-	0	-	49	3430	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK93	4(0)	90	5(1)	101	2(0)	12	30	1200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK94	44(13)	979	78(19)	2623	17(8)	1189	65	3665	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	貝類 101.6g 木製品は柄,皿,蓋,椀
SK95	5(2)	236	1(3)	91	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	木製品は桶材1縄2
SK96	0	-	0	-	0	-	6	275	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-
SK97	20(8)	1209	11(5)	475	12(6)	4477	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	-
SK98	6(4)	828	5(0)	25	1(1)	53	7	455	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	-
SK99	2(1)	105	6(0)	177	5(3)	260	4	300	0	0	0	0	1	8.0	0	0	0	0	0	-
SK100	2(1)	86	5(4)	286	8(3)	1710	13	1852	0	0	0	0	3	31	1	73	2	0	木製品は縄	
SK101	14(7)	455	13(2)	175	3(1)	298	42	5836	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK102	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK103	0	277	3(1)	46	5(2)	107	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK104	0	-	3(0)	137	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK105	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK106	13(6)	302	20(11)	1490	1(0)	630	6	803	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	8	木製品は下駄と箸
SK107	0	112	9(5)	458	6(2)	170	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK108	0	-	0	-	1(0)	51	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK109	2(0)	6	7(2)	152	1(0)	93	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK111	61(29)	1867	66(29)	3481	31(12)	2075	1262	166491	1	15	1	21.0	0	0	0	0	0	0	34	種子(トチカ)0.2g 貝類 334.3g, 骨類 スッポン腹甲カク他 16(20.4g) 鉄製品は火箸
SK111 木枠内	2(0)	7	6(0)	79	0	-	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK113	0	-	0	-	0	1(0)	8	1427	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK114	19(7)	412	33(8)	1637	5(2)	292	118	10741	0	0	4	5	2	2	0	0	0	0	6	-
SK117	26(3)	405	41(5)	553	12(0)	384	14	1205	0	0	2	9	2	30	4	24	0	0	0	-
SK118	3(1)	44	5(2)	2236	4(2)	550	9	1175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK119	13(7)	207	11(6)	573	5(1)	369	144	5885	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK120	5(2)	65	3(1)	146	2(1)	117	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK122	4(0)	551	3(0)	2591	1(0)	692	12	1425	0	0	1	21	0	0	0	0	0	0	0	-
SK123	1(1)	18	4(2)	353	1(1)	67	19	3850	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
SK124	14(8)	334	37(10)	1130	21(1)	544	2	110	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	1	銅製品は煙管
SK125	21(5)	495	41(16)	1480	28(12)	1867	3	353	0	0	0	0	2	18	10	81	0	0	0	-
SK126	0	-	1(1)	45	0	-	1	9	1	7	1	20	0	0	0	0	0	0	0	-
SK127	0	-	8(1)	501	8(2)	684	3,676	454398	1	454	3	12	0	0	0	0	0	0	0	-
SK128	0	-	2(0)	112	7(1)	598	2,057	193805	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他	
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SK130	4(2)	72	5(1)	64	4(2)	128	0	-	1	6.5	0	-	0	-	0	-	3	-	土製品は玩具類	
SK131	13(3)	305	9(3)	575	20(7)	3784	0	-	0	-	1	4	0	-	2	200	-	-	-	
SK132	1(1)	21	1(0)	92	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	鉄製品は釘	
SK133	7(5)	487	8(2)	216	11(2)	480	0	-	0	-	2	28	0	-	0	-	-	-	鉄製品は釘	
SK135	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	鉄製品は釘	
SK136	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	5	0	-	0	-	-	-	鉄製品は釘	
SK138	5(1)	104	5(2)	122	21(4)	1288	0	-	0	-	1	138	0	-	0	-	-	-	鉄製品は釘	
SK140	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK142	5(3)	58	10(2)	596	1(1)	35	0	-	0	-	0	-	0	-	2	30	-	-	-	
SK144	21(6)	302	14(3)	663	7(1)	1856	58	6303	1	8	1	6	0	-	0	-	-	-	土製品はミニチュア 石壁材1(24g) コンクリ1(66g)	
SK145	5(1)	30	4(2)	247	22(6)	780	0	-	0	-	0	-	0	-	2	14	1	-	-	
SK146	5(1)	98	12(3)	367	3(0)	100	5	890	0	-	0	-	0	-	1	29	2	-	-	
SK147	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK150	8(2)	67	15(2)	767	7(2)	187	957	86190	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK151	14(4)	187	44(3)	909	20(6)	741	1,252	115644	2	186	0	-	1	13	1	30	-	-	石製品は石材 土製品は埴埴とミニチュア 土壁材1(288g)	
SK153	17(6)	417	11(6)	341	3(2)	1136	50	6620	0	-	0	-	0	-	0	-	5	-	木製品は栓, ばれん, 状製品	
SK156	33(8)	490	13(1)	164	23(8)	277	15	3205	0	-	0	-	1(1)	2.4	1	1	-	-	石製品は石材	
SK157	22(5)	727	22(5)	471	1(1)	77	4	270	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK159	2(1)	45	2(2)	106	2(0)	37	1	95	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK160	6(1)	101	9(5)	169	2(0)	122	0	-	0	-	0	-	1	19.8	0	-	-	-	種子(桃)3.5g	
SK161	18(7)	1063	40(9)	3847	9(5)	518	7	520	0	-	0	-	0	-	1	79	1	-	石製品は石材 木製品は杭	
SK162	9(5)	156	13(6)	474	5(1)	327	64	7950	0	-	0	-	1(1)	3.8	0	-	-	-	-	
SK164	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK165	16(10)	834	7(1)	879	12(1)	191	1	155	1	3	1	11	1	6	0	-	-	-	土製品は玩具類 銅製品は煙管	
SK166	57(11)	695	41(5)	3153	9(2)	907	3,249	152229	0	-	0	-	0	0	1	325	-	-	瓦類1(251g)	
SK171	8(2)	141	10(3)	515	6(1)	380	16	3964	0	-	0	-	0	1	84	-	-	-	-	
SK172	2(2)	19	9(4)	481	3(2)	46	32	2314	0	-	0	-	1	5.9	0	-	-	-	-	
SK173	0	-	0	-	0	-	0	-	1	16	0	-	1	5.0	0	-	-	-	-	土製品は人形カ 銅製品は煙管
SK174	0	-	6(2)	1638	1(0)	41	1,356	221505	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK175	10(3)	152	15(6)	411	13(2)	1393	3	328	1	1	2	87	3(1)	4.9	1	12	1	-	種子(胡桃)14.4g 鉄製品は釘, 棒状各1	
SK176	42(18)	1160	105(35)	2748	12(5)	879	14	1105	0	-	11	205.2	8	77.1	4	86	4	-	石製品に石材1(24g) 含 貝類 20g	
SK177	17(7)	691	31(16)	1195	5(4)	476	24	2340	0	-	1	7.3	1	4.0	0	-	-	-	銅製品は煙管	
SK178	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2(1)	11.0	1	422	-	-	銅製品に煙管含	
SK179	2(2)	171	3(1)	101	3(2)	348	10	825	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK180	2(0)	30	5(2)	161	4(4)	196	3	785	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	銅製品は煙管	
SK181	6(5)	433	1(1)	34	1(0)	63	0	-	0	-	0	-	1	4.0	0	-	-	-	鉄製品は釘	
SK182	4(2)	87	10(1)	137	3(2)	245	0	-	0	-	2	68.4	3(3)	6.8	0	-	-	-	-	
SK185	13(3)	298	19(5)	1008	21(7)	5439	77	8635	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK186	128(6)	285	12(5)	826	4(0)	160	2,736	423536	0	-	12	119	0	-	1	72	-	-	鉄製品は釘 石製品は石材	
SK187	0	-	3(1)	292	0	182	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK188	100(23)	1371	93(14)	11858	44(15)	2592	12	531	0	-	5	66	2(2)	5.2	15	661	1	-	石製品に石材12(584g) 火打石1合	
SK189	18(4)	281	10(7)	1538	20(7)	1676	12	1452	0	-	2	13	0	-	5	360	1	-	木製品は下駄	
SK190	10(2)	138	14(2)	353	12(7)	1305	12	1350	0	-	2	16	0	-	0	-	1	-	鉄製品は釘 木製品は皿	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他		
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量			
SK191	20(12)	405	26(7)	969	2(0)	10	2	18	1	1	2	28	0	0	0	0	1	0	土製品は玩具 木製品は椀		
SK193	3(0)	34	7(2)	262	2(2)	51	1	380	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
SK194	1(1)	108	1(1)	213	1(1)	17	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
SK195	0	-	2(4)	81	0	-	0	-	0	0	1	19	0	0	0	0	0	0			
SK196	23(9)	598	12(6)	748	16(4)	980	64	9550	1	15	0	-	1(1)	3.1	1	74	30	木製品は椀, 下駄各4, 縄2, 漆板1他			
SK197	4(0)	167	7(1)	307	22(6)	1166	8	2169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
SK198	59(16)	1666	55(22)	2403	7(3)	2023	54	7312	3	25	1	14	2	6.6	1	50	6	貝類42.0g 木製品は下駄4, 曲物			
SK199	39(9)	800	41(14)	843	18(11)	877	8	421	1	5	1	24	2	7.2	2	32	2	石製品は石材 土製品は人形 金属は銅, 煙管			
SK200	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	鉄製品平釘		
SK201	368(188)	13203	218(88)	16806	51(30)	7353	790	101621	13	126	9	348.4	11	32.0	9	1178	27	土壁材1(4g) 木製品皿16下駄6小型箆等			
SK202	5(0)	32	6(1)	206	6(2)	582	8	2060	0	0	4	4.2	2	3.3	0	0	0	0	鉄滓5(890g) 金属は銅線, 平釘1, 釘3		
SK203	4(2)	74	4(1)	189	17(6)	870	1	15	0	0	3	105	0	0	1	528	0	0	煉瓦1(469g) 鉄製品は鏡		
SK204	127(74)	10199	75(29)	3767	37(15)	5398	808	205700	2	284	5	46	4	43.1	3	674	0	0	漆紙2.7g 土壁3(451g) 種子(炭化米) 617.8g 石製品は石材		
SK205	18(6)	1215	20(8)	1761	11(4)	3085	215	51587	5	150	3	105.6	1(1)	2.9	0	0	0	0			
SK206	46(20)	1855	25(5)	1190	12(9)	2377	694	124230	0	0	0	0	0	0	3	404	3	0	硝子製斧1(4.1g) 木製品は桐材		
SK207	1(1)	717	9(1)	531	2(1)	390	2	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
SK208	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
SK209	203(54)	3199	66(22)	3453	19(10)	4993	302	55146	3	246	21	117.8	3(3)	8.3	1	1116	0	0	瓦樋1(35g) 鉄製品は棒状品		
SK210	27(5)	648	16(6)	586	7(2)	361	0	-	1	34	1	3	1(1)	5.0	1	29	6	0	土製品は玩具類 鉄製品は釘 木製品下駄4含		
SK211	2(1)	110	4(1)	63	1(0)	45	12	1625	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	木製品は椀3浮き1		
SK212	98(43)	3370	74(27)	6718	23(9)	3327	167	33536	2	6.4	0	0	2	19	0	0	0	0			
SK213	12(1)	63	14(2)	218	1(0)	12	3	460	3	22.8	0	0	0	0	0	0	0	0			
SK214	0	-	0	-	0	-	0	-	14	2250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	木製品は蓋1箱状1	
SK215	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
SK216	8(5)	197	10(5)	278	2(2)	253	6	530	1	9	1	91.1	0	0	0	0	0	0	0		
SK217	14(10)	498	23(9)	874	7(4)	527	0	-	1	38	0	0	0	0	1	41	0	0	0	石製品は砥石	
SK219	12(10)	859	5(3)	417	7(3)	456	28	3229	0	0	1	22.7	0	0	0	0	1	0	0	木製品は櫛	
SK221	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
SK223	17(8)	496	18(7)	977	9(3)	867	2736	367100	1	7.0	0	0	0	0	1	87	0	0	0	石製品は石材	
SK224	12(4)	140	28(7)	502	4(1)	210	25	2330	3	29	0	0	1	3.0	0	0	6	0	0	木製品は蓋	
SK225	11(6)	483	3(1)	188	5(3)	130	435	63480	1	42	1	3	0	0	1	21	0	0	0	鉄釘 石製品は火打石 土製品は玩具類	
SK226	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	1	308.1	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK227	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK228	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK229	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK230	64(31)	2001	71(23)	10709	35(20)	5743	66	9464	1	130	3	53.5	3(2)	6.4	2	98	24	0	0	石製品に石材1(73g) 含 土製品は人形	
SK231	12(7)	371	16(7)	651	5(4)	327	10	1730	0	0	0	0	0	0	9	7372	1	0	0	石製品に石材1(7200g) 含 木製品は椀	
SK232	6(1)	24	2(2)	562	0	-	0	-	0	0	0	0	1(1)	3.4	0	0	0	0	0	0	
SK233	4(1)	145	9(5)	692	3(1)	826	10	1660	0	0	0	0	4(1)	193.9	1	13	4	0	0	木製品は箸2第2	
SK234	8(3)	404	12(4)	1884	2(2)	153	40	6300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK235	7(1)	54	3(0)	36	7(2)	412	131	31180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK236	5(1)	30	11(1)	37	3(0)	76	17	1023	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	鉄製品は釘
SK237	20(5)	174	10(1)	920	3(1)	61	41	9212	0	0	0	0	0	0	2	18	18	0	0	0	石製品に石材(片岩9.4g) 含

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK238	5(3)	429	3(2)	69	2(2)	19	59	9820	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK239	1(1)	61	0	-	0	-	11	1150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK240	103(68)	7033	39(17)	4070	3(3)	4051	70	10270	5	192	6	422.2	0	-	1	75	5	石製品は石材 硝子製品4(103g) 土管6(7425g) 貝類144.3g 骨類40.9g 木製品は櫛	
SK241	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK242	110(59)	5710	97(46)	10106	67(29)	13931	376	56808	2	68	0	0	0	0	3	129	7	硝子製品1(4.9g) モルタル1(40.1g)	
SK243	44(18)	923	54(20)	324	10(6)	695	74	13840	0	-	1	8.6	0	-	1	108	-	硝子製筭1(2g)	
SK244	0	-	8(1)	619	17(2)	1247	4288	625750	0	-	2	17	0	-	9	2608	-		
SK245	1(0)	20	2(0)	21	1(1)	32	3	530	0	0	0	0	0	0	1	94	-		
SK246	9(2)	107	19(8)	1480	22(12)	1985	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK247	47(25)	2550	51(19)	4957	4(2)	839	23	5455	6	60	2	2209	0	0	2	169	2	石製品に火打石(墨書) 含 鉄製品は櫛状	
SK248	44(19)	983	54(18)	2092	31(14)	5628	80	11342	0	-	1	14	0	-	1	32	-	鉄製品は板状製品	
SK249	8(6)	614	23(13)	1958	13(7)	5145	352	39654	1	26	3	17	2	18	0	0	28	土製品はミニチュア 銅製品に煙管1 含	
SK250	60(24)	6503	59(22)	4595	34(16)	1771	1937	373637	1	2	1	1	3	9	3	104	-	硝子製品2(9g) 土製品はミニチュア	
SK251	5(3)	97	2(0)	4	2(0)	34	19	2060	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK252	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK253	0	-	5(1)	106	3(0)	115	3	650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
SK254	25(7)	306	13(2)	129	2(0)	58	40	5310	0	-	5	28	2(1)	3.5	0	0	-	鉄製品は釘	
SK255	46(15)	1046	40(13)	1227	12(5)	5913	133	13633	4	32	1	4.0	6(6)	18.9	1	175	11	土製品にミニチュア3 含 鉄製品は釘	
SK256	0	-	2(0)	8	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	銅製品は煙管
SK257	19(8)	699	31(7)	973	39(9)	1279	57	6210	0	-	2	34.0	1(1)	1.9	0	0	-	ヘルロイドカ3(1.1g)	
SK258	11(2)	339	14(3)	275	23(12)	4533	14	942	1	10	2	3.4	2	24.1	4	161	-	石製品に石材1(26g) 含 鉄製品は釘	
SK259	5(3)	79	4(2)	206	0	-	21	2350	0	-	1	62.3	0	-	1	6	-		
SK260	13(10)	418	18(6)	1454	9(2)	1098	8	1700	0	-	0	0	0	0	2	62	-		
SK261	22(6)	260	17(2)	210	4(1)	262	1	18	0	-	0	0	0	0	0	0	-		
SK262	18(4)	377	26(7)	1551	24(3)	971	3	1200	0	-	1	53	7(5)	21.5	1	6	-	銅製品に煙管1 含 鉄製品は鎌カ	
SK263	0	-	2(1)	75	7(7)	123	2	24	0	-	1	10	0	-	0	0	-	鉄製品は釘	
SK264	8(3)	611	9(1)	105	9(4)	277	0	-	1	6	0	0	0	0	0	0	-	土製品はミニチュア	
SK265	48(20)	915	1(0)	-	4(1)	152	1	200	0	0	0	0	0	0	0	0	-	硝子製品1(4g)	
SK266	30(7)	551	34(14)	667	36(8)	1682	6	420	0	-	1	2.5	1	0.3	2	33	-		
SK267	18(7)	432	11(4)	184	3(1)	1717	40	2571	0	-	1	6.0	0	-	3	20	-		
SK268	0	-	0	0	0	-	0	-	0	0	0	0	1(1)	2.0	0	0	-	鉄製品は釘1	
SK269	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK270	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK271	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK272	1(0)	9	2(1)	27	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK273	0	-	0	-	0	-	6	800	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK274	8(11)	668	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	4	木製品は皿
SK275	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK276	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK277	39(12)	1130	41(17)	2276	39(11)	2750	93	16400	0	-	3	146.0	2(2)	3.0	1	67	-	土壁3(89g) コンクリ17g タイル1(7g)	
SK278	4(1)	39	6(4)	345	3(3)	180	13	2290	1	36	0	-	0	0	0	0	-	土製品は姉妹人形	
SK279	49(18)	1162	42(10)	3451	14(6)	1539	81	8909	1	17	31	17.2	1	3.8	3	897	9	石製品に石材1(76g) 含 土製品はミニチュア 貝類2.3g 木製品に草履、櫛各2 含	
SK280	15(5)	664	28(12)	3374	4(2)	266	45	6483	0	-	0	0	0	0	6	209	1	木製品は櫛状製品	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK281	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK282	3(1)	52	7(4)	328	3(2)	86	18	3120	0	0	1	20.0	1(1)	3.6	0	0	-	-	鉄製品は棒状製品
SK283	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK284	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK285	2(1)	49	2(0)	13	6(3)	106	0	-	0	0	0	0	0	0	3	2	-	-	-
SK286	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK287	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK288	17(7)	191	27(10)	719	8(4)	380	1	15	0	0	2	86.0	3(2)	14.0	0	0	-	-	骨類2(19.3g) 金属に鉄釘2, 環状銅製品1合
SK289	72(37)	2372	77(37)	6409	27(11)	2239	302	39330	0	0	0	0	1(1)	1.4	1	133	-	-	-
SK290	3(1)	73	7(1)	69	3(1)	3264	0	-	0	0	0	0	3(2)	8.0	0	0	-	-	銅製品に煙管1合
SK291	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK292	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK295	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK296	14(7)	380	10(1)	103	2(2)	507	60	9850	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	木製品は椀
SK297	69(27)	2699	54(19)	3104	19(6)	1475	136	25826	1	25	2	88.0	1	1.0	1	82	8	8	鉄製品は板状品 銅製品は縁金 木製品は椀皿
SK298	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK299	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK300	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK1154	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK1155	0	-	0	-	1(1)	229	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SK1156	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit1	13(3)	74	8(0)	91	4(2)	83	6	231	0	0	3	27.0	1(1)	3.3	0	0	-	-	鉄製品は釘と棒状品
pit2	2(0)	163	12(0)	62	13(1)	171	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit4	2(1)	25	3(1)	59	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit5・8-10	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit11	0	-	0	-	0	-	0	-	49	2490	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit12	1(0)	17	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	1(1)	2.1	0	0	-	-	寛永通宝
pit13	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit14	0	-	0	-	0	-	0	-	1	105	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit20	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit21	1(0)	4	6(1)	49	1(1)	11	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit22	0	-	0	-	0	-	5	1240	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit23~25	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit26	1(0)	2	0	-	2(2)	32	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	貝類 157.6g
pit27	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit30-35	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit36	0	-	0	-	0	-	0	-	26	2600	0	0	0	0	0	0	-	-	-
pit37	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SB14a.pit6	16(2)	195	10(4)	347	5(0)	138	31	5340	3	560	0	0	0	0	1	87	-	-	土製品に柑瑞合 壁土 1(21g)
SB14b.pit5	4(0)	15	1(0)	9	1(1)	8	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SB15	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
基礎3	3(0)	24	2(1)	172	0	-	3	320	0	0	4	88.7	0	0	0	0	-	-	鉄製品は釘, 棒状品, 板状品
SE11	6(2)	370	0	-	2(0)	1115	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
SE12	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	1	31.4	0	0	0	0	-	-	-

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SE12 掘方	2(0)	6	4(1)	170	1(1)	127	0	-	0	0	0	0	0	0	1	110	-	土壁 24g	
SE13 掘方	8(2)	240	16(6)	627	3(1)	45	6	9900	0	0	0	0	0	0	1	3105	-	金属に鉄釘、煙管各2、銅線 1 貝類 20g	
SE14	35(8)	326	41(5)	822	19(7)	873	4	360	0	0	2	3.0	4(1)	21.8	0	-	6	漆喰 1(11g)	
SE15	20(3)	127	25(5)	282	6(1)	239	2	130	0	0	0	15	0	0	0	53	-		
SE15 掘方	0	-	4(1)	66	1(1)	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SE16	8(3)	108	29(5)	373	10(6)	233	2	220	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SE16 掘方	6(2)	167	6(2)	130	1(0)	13	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SE17	0	-	2(0)	55	1(0)	38	0	-	0	0	1	103.2	0	0	0	0	-		
SD11	114(39)	2599	153(45)	5656	118(58)	6887	126	16578	4	30.0	8	84.3	8(2)	9.0	10	1097	23	硝子製斧 1 (8g) 貝 26.0g 骨類 2 (92g)	
SD12	120(69)	5119	351(119)	12288	121(45)	7354	154	16010	0	-	8	100.2	16(1)	27.6	4	7717	59	石製品に石臼 4100g 含 貝類 130.7g	
SD13	157(28)	1658	145(28)	3888	59(22)	2798	41	5800	0	0	9	99.0	7(5)	19.1	1	65	2	貝類 318.2g 銅製品に銅線 1、雁首銭 1 含	
SD14	100(20)	1055	123(28)	2369	74(28)	1919	71	8848	0	0	9	45.0	14(5)	34.3	14	574	5	石製品に石材 9(334g) 貝類 281.9g	
SD15	0	-	2(0)	55	1(0)	3	0	-	0	0	0	0	0	0	1	2	-		
SK1001	39(14)	837	49(15)	2598	25(8)	1451	101	8640	0	0	6	44.6	0	0	1	400	8	石製品は石材	
SK1002	3(1)	555	6(4)	150	1(1)	-	6	760	0	0	0	0	1	2.8	0	-	5	銅製品は煙管雁首	
SK1003	25(5)	246	11(5)	205	10(5)	193	3	500	1	9	5	800.7	0	0	3	26100	-	骨類 4g 土製品はミニチュア 鉄釘 2 含	
SK1004	15(6)	355	21(8)	1301	10(6)	1107	16	1670	0	0	1	119.4	0	0	1	5	10		
SK1005	13(6)	327	18(6)	1060	1(1)	116	18	3110	12	3528	1	11.9	1	11.9	0	0	6	炉の一部カ 7(1034g) 銅製品は銅線	
SK1006	11(8)	305	10(0)	199	6(3)	332	30	3180	1	50	2	8.0	0	0	0	0	-	炉の一部カ 6(504g) 鉄製品は釘と板状品	
SK1007	31(22)	2504	28(10)	937	19(7)	2831	26	3704	0	0	3	8.0	1	1.0	1	55	5	硝子製品 1 (6g) 金属は棒状鉄製品と銅線	
SK1008	3(2)	55	4(2)	69	2(1)	18	4	330	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1009	11(2)	122	20(4)	205	16(9)	347	0	-	0	0	1	8.0	0	0	0	0	-		
SK1010	2(0)	10	6(4)	243	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1011	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1012	4(2)	21	14(4)	454	4(3)	171	0	-	0	0	0	0	1(1)	1.7	0	0	-		
SK1013	4(0)	50	15(5)	913	3(1)	172	1	140	1	16	0	0	5(3)	30.3	0	0	-	土製品は人形	
SK1014	7(1)	175	3(1)	195	1(1)	7	0	-	1	5	0	0	0	0	0	0	4	土製品はミニチュア	
SK1015	1(0)	2	4(0)	8	11(2)	49	4	980	0	0	0	0	1	4.0	0	0	-	銅製品は煙管	
SK1016	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1018	23(0)	125	37(3)	1936	20(13)	372	5	210	1	14	0	0	0	0	25	485	-	瓦板用品 1(14g)	
SK1019	2(0)	2	6(2)	205	1(1)	5	5	400	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1020	5(1)	26	17(5)	1026	9(4)	136	3	215	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1021	2(0)	11	2(0)	28	3(2)	40	2	240	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1022	45(12)	528	55(19)	1417	14(6)	302	14	1898	0	0	4	96.1	4(2)	12.7	1	55	-	貝類 2(115.9g) 銅製品は煙管	
SK1024	34(11)	517	69(31)	5001	50(30)	2581	278	42050	0	0	21	256.3	3	6.0	15	38624	12	石製品に石材 4(8900g) 含 骨類 61g	
SK1025	0	-	3(0)	22	148(120)	6830	0	-	0	0	3	32	0	0	1	23	-	鉄製品は釘 2、棒状品 1 石製品は火打石	
SK1026	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1027	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1028	11(2)	147	26(5)	331	9(3)	239	28	3630	0	0	1	8.0	1	3.0	0	0	4	貝類 699.7g 骨類 3片 (2g、鳥類カ)	
SK1029	27(5)	255	32(10)	911	13(7)	232	1	16	0	0	0	0	0	0	3	42	-	石製品に石材 2(29g 含)	
SK1030	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1031	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1032	2(0)	5	38(12)	1469	178(119)	13779	0	-	0	0	4	194.6	7(4)	8.5	2	12	8	貝類 39.5g 骨類 1(32g) 鉄滓 3(22g) 銅滓 1(6g)	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他		
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量			
SK1043	0	-	0	-	2	250	0	-	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-		
SK1044	2(0)	12	5(0)	29	1(1)	65	8	1350	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
SK1045	35(5)	270	32(5)	345	14(8)	152	58	7660	2	13	0	-	0	-	0	-	-	-	9		
SK1046	4(3)	284	9(3)	329	5(1)	423	3	140	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
SK1047	1(0)	4	2(0)	2	1(1)	13	1	30	2	1	30	0	-	0	0	0	0	0	-		
SK1048	113(22)	1196	97(26)	4187	47(25)	1095	1	54	2	23	4	52.5	28(8)	113.0	4	45	47	骨類1(4g)			
SK1050	6(0)	41	9(3)	207	2(1)	16	0	-	0	0	1	5.0	1	14.0	2	10	-	銅製品は煙管			
SK1051	14(3)	150	32(10)	3994	6(2)	384	191	25770	0	-	2	7.0	1	14.0	0	-	11	鉄製品は釘、環状品 銅製品は煙管			
SK1052	1(1)	20	7(2)	1050	6(4)	300	2	210	0	-	2	5.0	3(3)	8.0	2	195	-	鉄製品は釘			
SK1053	18(3)	338	18(3)	424	6(1)	157	12	770	0	-	2	128.5	0	-	0	0	0	0	1		
SK1054	0	-	1(0)	61	1(1)	19	5	310	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1055	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1056	50(15)	1268	73(28)	6588	33(12)	3561	28	4089	0	-	3	38.5	1	10.0	0	6	639	5	銅製品は煙管		
SK1057	3(0)	4	7(1)	80	3(2)	5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	-		
SK1058	9(2)	140	14(5)	2489	7(3)	203	1	50	0	-	0	0	0	1(1)	2.3	0	-	5	石製品に石材1(156g) 含		
SK1059	5(2)	115	10(1)	71	3(1)	40	11	420	0	-	0	0	0	0	2	257	1	銅製品に煙管 含			
SK1060	8(2)	395	9(0)	112	2(2)	6	5	350	0	-	0	0	0	2(1)	5.8	1	10	4	銅製品に煙管 含		
SK1061	18(8)	379	9(2)	387	7(6)	384	16	1567	0	-	0	0	0	2(1)	3.2	0	-	7	銅製品に銅線 含		
SK1062	25(6)	230	11(1)	434	17(0)	107	0	-	0	-	0	0	0	5	15.0	0	0	-	銅製品は板状品 3銅線 2		
SK1063	1(1)	44	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	-	1	389	-	-		
SK1064	0	-	1(0)	67	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1	135	-	-		
SK1065	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1067	2(1)	13	6(1)	57	3(3)	41	3	150	0	-	1	41.2	0	-	0	-	-	-	-		
SK1068	7(1)	89	24(3)	143	3(2)	344	8	440	0	-	3	15.0	0	0	0	0	0	0	-	鉄製品に釘 2 含	
SK1069	12(1)	64	17(4)	231	7(5)	1546	9	227	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	貝類 102.6g	
SK1070	43(8)	484	52(16)	2037	13(9)	315	35	4050	0	-	2	47.3	10	19.0	0	0	0	0	-	銅製品は銅線	
SK1071	3(3)	46	11(5)	412	1(1)	7	2	250	0	-	0	0	0	0	0	1	300	-	石製品は石材		
SK1072	3(1)	23	6(1)	55	2(1)	20	1	200	1	5	0	-	0	-	0	0	0	0	1	土製品は玩具類 貝類 360.8g	
SK1073	3(1)	47	11(0)	45	4(0)	151	14	1070	0	-	0	0	0	0	0	0	75	2	-		
SK1074	19(4)	438	18(4)	1406	27(5)	1860	41	4126	1	11	0	-	1(1)	2.6	2	877	3	土製品はミニチュア			
SK1075	3(1)	69	4(0)	243	3(1)	274	0	-	0	-	1	37.0	0	-	1	96	-	-	骨類 2(4g) 石製品は石材 鉄製品は銅		
SK1076	2(1)	4	2(0)	9	2(1)	45	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1077	1(1)	94	1(0)	72	0	-	12	938	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1078	2(0)	23	3(2)	146	2(1)	166	5	200	0	-	0	0	0	1(1)	1.7	0	0	0	0	-	
SK1079	2(2)	143	3(0)	23	2(1)	8	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1080	6(2)	61	3(0)	35	3(3)	113	0	-	1	16.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	土製品は鳩笛カ
SK1081	4(2)	46	2(1)	49	1(1)	1	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1082	30(6)	314	77(22)	3555	41(14)	4543	1	302	3	24	1	6.0	0	0	0	1	256	1	土製品はミニチュア		
SK1083	9(4)	182	27(5)	730	3(2)	470	10	840	0	-	1	59.0	0	-	1	3	2	鉄製品は板状			
SK1084	16(3)	114	9(2)	322	5(0)	337	6	340	0	-	0	0	0	2(1)	10.6	1	10	1	モルタル 1(23g)		
SK1085	90(18)	1057	105(9)	1000	39(5)	1566	69	2800	0	-	12	80.6	2	12.0	4	103	1	貝類 148g 漆喰 5(4g) 鉄製品は釘 10, 帯状品 1 銅製品は煙管, 棒状品			
SK1086	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1090	0	-	0	-	0	-	1	95	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1091	2(0)	4	3(1)	125	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK1092	27(15)	1619	32(7)	1360	8(0)	341	9	490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
SK1093	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1094	2(1)	74	8(1)	974	0	-	10	830	0	0	0	0	0	0	1	58	2	硝子製品 1(2g)	
SK1095	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1096	0	-	0	8	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	1	13	-		
SK1097	6(1)	116	9(1)	261	5(0)	90	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
SK1098	0	-	3(2)	124	1(1)	56	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1099	1(1)	27	1(0)	57	2(0)	184	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1100	0	-	0	-	2(0)	142	373	43090	0	0	0	0	0	0	0	0	-	貝類 1(27g) 銅製品は煙管	
SK1101	27(5)	176	35(14)	1164	8(2)	256	0	-	0	0	0	0	1	6.0	4	89	-		
SK1102	11(8)	553	28(7)	1211	17(7)	2248	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1103	5(1)	106	12(6)	512	5(4)	273	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
SK1104	63(30)	2762	46(20)	3843	17(3)	1097	39	1718	2	1	1	34.1	0	0	6	3719	23	石製品に石材 5(1219g) 含 土製品は玩具	
SK1105	2(1)	40	13(5)	780	10(5)	485	7	1270	0	0	0	0	0	0	1	81	-		
SK1107	2(1)	153	7(2)	154	4(2)	33	4	450	0	0	0	0	0	1(1)	2.0	5	35		
SK1108	46(5)	445	89(13)	2800	36(14)	6303	24	1928	0	0	6	44.0	4(3)	11.2	14	566	14	石製品に石材 10 含 銅製品に煙管 含	
SK1109	0	-	0	-	0	-	3	270	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1110	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	鍋島破片
SK1111	2(0)	6	2(0)	10	1(0)	41	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1112	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1113	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1114	10(3)	257	14(3)	787	10(3)	306	8	1810	0	0	0	0	0	0	1	1	-		
SK1115	2(1)0	8	4(1)	169	2(1)	191	2	220	0	0	0	0	0	0	1	389	-		
SK1116	33(18)	1107	30(10)	3848	14(6)	1761	5	487	0	0	0	0	1(1)	1.8	1	35	20		
SK1117	12(4)	413	8(3)	445	5(2)	1117	6	490	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1118	2(2)	228	2(1)	394	1(1)	2245	1	280	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1119	2(1)	39	2(1)	238	3(2)	191	2	80	0	0	0	0	0	0	0	0	-		
SK1120	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1121	0	-	2(0)	37	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1122	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1123	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1124	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1125	0	-	2(0)	60	1(0)	10	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1127	2(1)	28	4(2)	119	3(1)	128	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1128	8(2)	30	4(1)	67	1(0)	5	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1129	12(4)	208	12(5)	355	6(4)	125	42	5260	1	2	2	9.0	3(2)	5.1	1	427	-	貝類破片 1(1g) 金属は鉄釘, 煙管	
SK1130	0	-	4(2)	57	1(1)	15	2	30	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
SK1131	0	-	2(1)	95	4(1)	406	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1132	4(1)	134	22(8)	1156	14(5)	1210	1	100	0	0	2	12	1	9.0	0	0	1	鉄製品は釘 銅製品は煙管	
SK1133	30(6)	166	16(3)	397	5(1)	182	12	980	0	0	0	0	0	0	1	194	-	石製品は石材	
SK1134	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
SK1135	5(1)	130	19(3)	229	8(5)	188	11	730	0	0	1	6.0	0	0	1	12	-		
SK1136	1(0)	3	6(1)	137	1(0)	3	7	710	1	45	0	0	0	0	0	0	-	土製品は人形(猿カ)	
SK1137	5(2)	362	5(0)	144	2(0)	18	10	1220	0	0	0	0	0	0	0	0	1	貝類 13.2g	

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK1138	7(2)	173	7(0)	76	5(1)	65	3	156	0	0	1	4.0	1	1.0	2	213	-	-	石製品に石材1(15g) 含 金属は鉄釘, 銅線
SK1139	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
SK1141	2(0)	5	15(5)	661	10(5)	231	0	-	0	0	2	396.7	0	-	5	386	-	-	石製品に石材4(376g) 含
SK1142	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
SK1148	2(1)	22	6(0)	12	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit38	0	-	0	-	1(1)	60	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit39/40/41	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit42	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit43	2(1)	64	3(1)	17	1(1)	4	0	-	0	0	0	-	1(1)	2.3	0	-	20	91g	骨類1(91g, 魚骨カ)
pit44	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit45	0	-	0	-	0	-	2	28	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit46/47	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit48	0	340	0	46	0	-	1	170	0	0	1	8.0	0	-	0	-	-	-	-
pit49~52	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-
pit53	0	9	0	137	0	-	0	-	0	0	1	37.2	0	-	0	-	-	-	-
pit54~57	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	-	-	-

第80表 出土品類一覧表

※総数は破片を含む

種別	第一面										第二面												
	SE1	SE2	SE4	池状遺構	SD3	SK29	SK48	SK94	SK119	SK111	SK176	SK198	SK201	SK240	SE14	SK1022	SK1028	SK1032	SK1069	SK1075	SK1085		
シジミ																							
ハマグリ	1	1		16	9	3	1					23	6									74	30
アワビ	5	2		3	2	16	3	81	27	5	3	15	7	1								1	1
サルボウ				1	1	7	1																
アカニシ														1									
イタヤガイ																							
マガキ																							
ササエ																							
オオタニシ																							
アサリ																							
ツメタガイ																							
カラスガイ																							
ダンベイキサゴ																							
ナミマガシワ																							
ホタテ不明種																							

第 81 表 第 29 号土壌出土銭貨一覽表

挿図 (第 258- 259 図)	取上 げNo.	銭名	材質	枚数	径	厚さ	重さ	備考
	1	不明	鉄	1	—	1.5	5.5	1/4 片
1	2	寛永通寶(新)	銅	1	28.3	1.2	5.0	11 波
2	2	寛永通寶(新)	銅	1	28.3	1.2	4.3	11 波
3	2	寛永通寶(新)	銅	2	28.3	5.9	8.3	11 波
		寛永通寶(古)	銅		24.1			
4	2	寛永通寶(新) 含	銅	7	26.8	24.6	30.6	
5	5	寛永通寶(新) 含	銅	21	28.2	28.8	102.0	
6	6	不明	銅	10	22.7	52.3	105.2	枚数推定
			鉄	24	23.9			
7	6	寛永通寶含	銅	49	24.0	86.8	149.6	枚数推定
10		寛永通寶(新)	銅	1	26.4	1.7	5.4	
14		寛永通寶(新)	銅	1	30.1	2.3	6.6	11 波
15		寛永通寶か	銅	2	30.0	2.9	11.1	
8	16	寛永通寶(新)	銅	1	28.2	1.3	4.6	11 波
18		寛永通寶か	銅	1	22.2	2.2	2.7	
21		寛永通寶か	銅	1	26.3	1.0	3.9	
9	22	寛永通寶(新)	鉄	1	22.5	1.6	3.7	
22		寛永通寶(新)	銅	1	23.6	1.5	3.2	
10	24	寛永通寶(新)	銅	1	28.1	1.2	4.0	11 波
11	24	寛永通寶含む	銅	9	27.5	24.5	41.0	
			鉄	7	23.7			
27		不明	銅	2	27.1	4.5	6.0	
27		不明	銅	1	23.6	2.5	3.2	
27		寛永通寶(新)	銅	1	28.0	1.1	5.0	11 波
28		不明	銅	1	25.0	2.0	3.5	
30		寛永通寶(新)	銅	1	30.0	2.5	6.9	
12	34・37	寛永通寶含	銅	56	25.0	92.0	182.2	
13	34・37	寛永通寶含	銅	6	28.0	16.0	22.1	
	34・37	寛永通寶	銅	1	22.3	1.4	7.0	
	34・37	寛永通寶(新)	鉄	1	22.5	1.3	4.3	
	34・37	不明	銅	1	21.7	2.7	2.4	破片
14	39	寛永通寶(新)	鉄	1	28.0	1.2	11.1	11 波
	41	不明	銅	1	24.8	2.0	5.0	
15	42	天保通寶	銅	1	49.2 × 32.7	2.8	20.6	
	43	寛永通寶(新)	鉄	1	24.0	1.8	4.3	
	44	不明	鉄	1	23.1	1.2	2.7	
	45	寛永通寶(新)	鉄	1	24.7	1.7	5.4	
	46	寛永通寶か	鉄	1	22.6	1.6	5.2	
16	47	文久永寶	銅	1	28.8	1.7	4.3	
	48	寛永通寶(新)	鉄	1	26.1	2.2	5.5	
	49	文久永寶	銅	1	37.7	2.8	8.4	11 波
	52	不明	銅	1	—	7.0	5.3	1/4 片
			鉄	2	24.1			
17	58	寛永通寶含	銅	11	26.8	14.0	53.1	
	59	寛永通寶(新)	銅	1	28.4	1.3	4.5	
	59	寛永通寶か	鉄	2	25.7	11.3	10.6	
18	59	寛永通寶含	銅	5	25.0	13.5	31.7	
			鉄	2	23.5			
	59	寛永通寶含	鉄	8	25.0	16.0	30.4	
19	60	寛永通寶(新)	銅	1	28.2	1.1	3.8	11 波
	61	寛永通寶(新)	銅	1	24.5	1.5	3.7	11 波
	62	不明	銅	2	—	1.6	6.2	計測不能
	67	寛永通寶(新)	銅	1	28.3	1.0	3.0	
	73	不明	鉄	1	23.2	1.9	3.3	
20	74	寛永通寶(新)	銅	1	28.2	1.0	3.3	11 波
	77	不明	鉄	1	25.7	1.1	4.7	
	78	不明	鉄	1	24.3	1.2	1.4	
	79	寛永通寶か	銅	1	23.6	2.5	3.2	
	80	不明	銅	1	24.2	1.3	3.4	
21	81	寛永通寶(新)	銅	1	28.3	1.0	2.5	11 波
	82	不明	銅	1	30.0	2.3	5.6	
	83	不明	鉄	1	24.0	1.3	2.5	
	84	寛永通寶か	銅	1	23.4	1.3	2.0	

挿図 (第 258- 259 図)	取上 げNo.	銭名	材質	枚数	径	厚さ	重さ	備考
	85	寛永通寶(新)	銅	1	27.7	1.8	6.3	11 波
	86	寛永通寶	銅	1	23.0	1.3	2.1	
	88	不明	鉄	1	—	1.3	2.8	計測不能
	89	寛永通寶	銅	1	24.3	1.7	3.7	
22	91	寛永通寶(新)	銅	1	28.3	1.1	3.3	11 波
23	92	天保通寶	銅	1	49.1 × 32.5	2.8	18.1	
	93	不明	銅	3	25.5	4.9	12.0	
	94	不明	鉄	1	24.0	2.0	4.1	
	96	不明	銅	1	23.0	1.3	9.1	
	99	寛永通寶	銅	1	28.4	1.0	3.5	
	104	寛永通寶含	銅	4	27.8	10.6	15.1	
	106- 2	寛永通寶(新)	銅	1	29.7	1.5	5.9	11 波か
	109	不明	鉄	1	25.7	1.7	3.3	
24	113	寛永通寶含	銅	11	24.5	16.8	29.1	枚数推定
	115	寛永通寶含	銅	5	25.0	11.6	15.4	
	116	寛永通寶含	銅	5	28.0	16.1	21.0	
	117	寛永通寶含	銅	6	29.3	18.0	28.7	枚数推定
			鉄	1	25.0			
25	126	天保通寶	銅	1	49.6 × 32.7	2.4	13.0	
	127	寛永通寶含	銅	3	28.5	9.8	15.6	
26	128	天保通寶	銅	1	49.2 × 32.5	43.0	105.6	
	-	寛永通寶含	銅	16	30.0			
27	128	寛永通寶(新) 含	銅	3	27.7	4.3	11.7	
28	128	寛永通寶(新) 含	銅	14	27.9	31.4	68.7	
	129	寛永通寶含	銅	5	29.0	17.9	21.9	
	130	寛永通寶含	銅	7	27.0	19.0	31.9	
29	131	天保通寶	銅	1	49.3 × 32.8	2.5	18.0	
30	132	天保通寶	銅	1	48.5 × 32.7	2.2	12.7	
31	135	寛永通寶(新)	銅	1	28.2	1.2	4.1	11 波
	136	寛永通寶(新)	鉄	1	24.7	1.4	3.9	
32	-	寛永通寶(新)	銅	1	28.2	1.2	3.9	11 波
33	-	寛永通寶(新)	鉄	1	24.2	1.9	3.0	
34	-	寛永通寶(新)	銅	1	28.3	1.2	3.4	11 波
35	-	寛永通寶(新)	銅	1	28.7	1.4	4.7	
36	-	雁首銭	銅	1	18.0	3.0	2.4	
	-	寛永通寶か	銅	1	25.3	3.1	4.4	
	-	寛永通寶(新)	銅	1	24.4	0.9	3.8	11 波
	-	寛永通寶(新)	鉄	1	24.0	1.3	3.9	
	-	不明	鉄	1	23.7	1.4	1.3	
	-	不明	鉄	1	25.4	2.2	5.2	
	-	寛永通寶(新)	銅	1	24.9	1.4	3.0	
	-	寛永通寶(新)	鉄	1	24.3	1.6	4.1	
	-	不明	鉄	1	23.4	1.7	3.9	
	-	寛永通寶(新)	鉄	1	23.5	1.4	3.4	
		枚数合計		384		総重量		1537.0

内訳		枚数
天保通寶		6
天保通寶以外	銅銭	308
	鉄銭	70

- ・栗橋 4 期…18世紀後葉（第 3 四半期後半～第 4 四半期前半）、肥前磁器外面青磁釉碗各種、筒形碗、瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿の出現
- ・栗橋 5 期…18世紀後葉～19世紀初頭（18世紀第 4 四半期後半～19世紀第 1 四半期）肥前磁器広東碗、一部に大振りの端反碗あり
- ・栗橋 6 期…19世紀前葉（第 1 四半期後半）瀬戸美濃系磁器の出現
- ・栗橋 7 期…19世紀前葉～中葉（第 2 四半期中心）磁器湯呑形碗、陶器青緑釉土瓶等多い
- ・栗橋 8 期…19世紀中葉（第 3 四半期）磁器卵殻手坏、型押寿文皿の出現
- ・栗橋 9 期…19世紀中葉～後葉 酸化コバルト

染付磁器の出現以降

第83・84表には主要遺構の陶磁器組成を示した。分類にあたっては東京大学校内遺跡群の分類（東京大学埋蔵文化財調査室1999・2011）を参照し、器種の判別が可能な破片数と底部破片数をカウントした。底部破片数は一部の遺存があれば1点とカウントしており、直接に個体数を示すものではない。

第一面の火災処理に係る土壌10基と、陶磁器数が多かった第201号土壌、第一面から第二面にかけて同じ位置で作り替えられた第9・11・12号溝跡、第二面で17世紀に遡る土壌と考えられる第1025・1032号土壌の組成表を示す。

第 82 表 遺構時期推定一覧表

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SB1	肥前磁器八角鉢・瀬戸美濃磁器端反碗	6-7期
SB2	基本土層焼土層に被覆	[-6期]
SB4	肥前磁器朝顔形碗（外面青磁） 焼土層に被覆	4-6期
SB6	陶器青緑釉土瓶蓋、松岡土瓶、白土染付土瓶	7-8期
SB13	遺物極少 塚明石播鉢・京信丸碗・土器焙烙等	-
SB16	基本土層焼土層より上から捨杭打ち込み	[7期-]
基礎 1/2	遺物無し	-
胞衣埋納	基本土層に掘り込み位置図示	[9期]
桶 1	遺物極少、陶磁各 2 片 肥前磁器一枚絵皿	(7期-)
桶 2	遺物極少、磁器 1 土器 2 片 瀬戸美濃磁器角皿	(6期-)
桶 3	陶磁器無し 寛永通宝（新）1	-
桶 4	遺物少 陶器青緑釉土瓶・施釉土器脚付灯火具	(7期-)
桶 5	遺物少 陶器灰釉土瓶 SD1, SK176 より新	[9期]
桶 6	瀬戸美濃磁器湯呑形碗・端反碗・陶器土瓶	(7期-)
桶 7	遺物極少 遺物は掘方から SK176 より新	[7期-]
桶 8	陶磁器無し 寛永通宝四文銭	-
桶 9	遺物少 磁器型紙染付平碗・陶器急須	9期
桶 10	肥前磁器八角鉢 陶器青緑釉土瓶蓋 SE2 より新	[9期]
桶 11	磁器酸化コバルト坏・陶器白土土鍋	9期
桶 12	遺物無し SE1, SK46 より新	[8期-]
桶 13	磁器卵殻手坏・土器目皿・青緑釉土瓶	9期
桶 14	遺物極少 磁器銅版転写染付坏・陶器土瓶	9期
桶 15	遺物無し SK39 より新	[7期-]
桶 16	遺物極少 図示した磁器のほか明治 11 年の半銭	9期
桶 17/18	遺物無し SK36 より新	[6期-]
桶 20	遺物少 肥前磁器小丸碗・瀬戸美濃緑釉植木鉢	(5期-)
桶 21	肥前磁器八角鉢・志田皿・瀬戸美濃磁器	7-8期
桶 22	遺物少、細片主体 陶器青緑釉、海鼠釉土瓶	7-8期
桶 23	遺物少 瀬戸美濃系陶器坏等	-
桶 24	陶磁器無し 寛永通宝出土	-
桶 25	瀬戸美濃磁器銅版染付平碗（桶 26 接合）	9期
桶 26	瀬戸美濃磁器銅版染付平碗・土器目皿	9期
桶 27	瀬戸美濃磁器湯呑形碗・青緑釉、白土染付土瓶	8-9期
桶 28	ゴム判磁器・地方窯系陶器方形植木鉢・焼酎甕	9期
桶 29	遺物極少 磁器碇子 木樋 7 より新	9期
桶 30	瓦質土器仕切盤カと瀬戸美濃陶器灯明皿のみ	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
桶 31	遺物極少 陶器青緑釉土瓶 SK71 より新	[9期]
桶 32	遺物無し SK30 より新	[7期-]
桶 33/34	遺物無し	-
桶 35	遺物極少 肥前磁器坏 SK3/8 より新	[9期]
桶 36	かわらけ 1 点 桶 30 より新	-
桶 37	陶磁器極少 瀬戸美濃太白手皿	-
桶 38	遺物無し	-
桶 39	遺物極少 肥前磁器猪口 SB1・杭列 2 より古	[-6期]
桶 40-42	遺物無し	-
桶 43	遺物無し 桶 31 より古 SK71 より新	[9期]
桶 44	陶磁器は堀方から 瀬戸美濃磁器無し	-
桶 45	遺物無し SK37 より古 SK197 より新	[-7期]
桶 46	SK122/197 より新 遺物は 18c のもののみ	[7期-]
桶 47	陶磁器極少 土器陶器各 1 のみ SK63 より新	[6期-]
桶 48	遺物無し	-
桶 49	遺物無し SK52 より古	[-6期]
桶 50	陶磁器無し SK133 より新	[4期-]
桶 51	陶磁器無し SK102, 153 より新	[6期-]
桶 52	陶磁器無し SK75, 80 より新	[6期-]
桶 53	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 肥前磁器八角鉢	7期-
桶 54	瀬戸美濃磁器端反碗 SK86 より新	7期-
桶 55	陶磁器極少 桶 56 より新 銭貨多	-
桶 56	遺物無し	-
桶 58	陶磁器無し 文久永宝	8-9期
桶 59	陶磁器無し	-
桶 60/61	桶 61 より陶器灰釉土瓶（鉄絵、白盛絵付）	8期-
桶 62	磁器酸化コバルト染付坏 SK199 より新	9期
桶 63	瀬戸美濃湯呑形碗 青緑釉土瓶 SK211 より新	7-8期
桶 64	陶磁器極少 京信燭徳利	7期-
桶 65	陶磁器極少 京信端反碗 SK267 より新	[8期-]
桶 66	陶磁器無し 寛永通宝（新）SK157/181 より新	[6期-]
桶 67	遺物無し SK188 より新	[6期-]
桶 68/69	遺物無し SK274 より新	[7期-]
桶 70	遺物無し	-
桶 71	磁器酸化コバルト平碗	9期
桶 72	陶磁器やや少、18c のみ SK76/157 より新	[6期-]

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
桶 73/77	地方窯系乗燭, 肥前磁器志田皿	7期-
桶 74	陶磁器無し SE5 掘方より新	[8期-]
桶 75	遺物銭貨のみ 桶 68/69 より古 SK274 より新	[7期-]
桶 76	遺物無し 木樋 4 と同一施設	-
桶 78	陶磁器少 瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器志田皿	7期-
桶 79	陶磁器少 瀬戸美濃陶器輪禿鉢, 柿釉灯明皿	-
桶 80/81	遺物無し	-
桶 82	陶磁器少 肥前磁器湯呑形碗 SK255 より新	[8期-]
桶 83	陶磁器極少 肥前磁器半球, 筒形碗 SK297 より新	[7期-]
桶 84	瀬戸美濃陶器柿釉甕 京信端反碗 灰釉土瓶	7期-
桶 86	遺物無し	-
桶 87	陶磁器無し 銭貨(寛永通宝四文銭カ)のみ	-
桶 88	陶磁器極少 瀬戸美濃磁器湯呑形碗(角渦文)	(7期-)
桶 89	陶磁器極少 肥前磁器半球碗	-
桶 90	陶磁器極少 磁器銅版転写染付端反碗	9期
桶 91	陶磁器やや少 大振りの瀬戸美濃磁器湯呑形碗	6期-
桶 92	遺物無し	-
桶 93	陶磁器極少	-
桶 94	陶磁器やや少 陶器灰釉土瓶 SK297 より新	7期-
桶 95	遺物無し	-
SE1	磁器ゴム印判坏 三河産焔炉 構築は7-8期カ	9期廃絶
SE2	磁器型紙播絵製品 銅版転写皿少量 掘方も9期	9期
SE3	陶磁器やや少 酸化コバルト磁器瓶類蓋最新 青緑釉土瓶 土器甕 真壁産甕	8期構築 9期廃絶
SE4	地方窯系陶器植木鉢, 柿釉甕 構築8期	9期廃絶
SE5	瀬戸美濃磁器湯呑形碗多 陶器土瓶, 爛徳利	8期
SE6	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 陶器三彩土瓶, 爛徳利	8期
SE7	磁器ティーカップ 掘方18cの遺物のみ	9期廃絶
SE8	酸化コバルト磁器各種 罫子 型紙播絵磁器無し 掘方は瀬戸美濃磁器湯呑形碗まで7-8期構築	9期廃絶
SE9	肥前磁器八角鉢, 卵殻手坏 掘方, 肥前広東碗	7-8期
SE10	京信端反碗 青緑釉土瓶 掘方肥前磁器八角鉢	7期
杭列 1	肥前磁器梅樹文碗多 有色硝子瓶, 「銘酒」銘坏	[9期]
杭列 2	磁器銅版坏混在 18c 主体 肥前磁器小丸碗最新	[-9期]
杭列 3/4	杭列に直接伴う遺物の抽出困難	-
杭列 5	SD3 の一部	[-8期]
杭列 6-8	杭列に直接伴う遺物の抽出困難	-
杭列 9	SD9 の一部カ 東壁土層焼土層より新	[7期]
木樋 1	磁器金彩坏 1 あり	9期カ
木樋 2	陶磁器無し SB1, 焼土層より古 SK145 より新	-6期
木樋 4	陶磁器無し SK101 より新	-
木樋 7	肥前磁器くわんか碗多 瀬戸美濃磁器端反碗	7期カ
竹樋 1	磁器酸化コバルト急須 笠間陶器甕	9期
竹樋 2	SE6, SK178/179 より古 桶 88 接続	[7期]
竹樋 3	SG 関連施設	8期頃
SG	東部から SK39 接合の被熱遺物, 上層銅版磁器	6-9期
SD1	磁器銅版転写平碗, 急須 SK176 より新	9期
SD3	磁器酸化コバルト爛徳利 五十銭硬貨 磁器色銅版蓋等混在あり 竹樋 3 より古 SK130 より新	-8期 9期廃絶
SD4	被熱した肥前磁器広東碗蓋	5期-
SD5	遺物無し	-
SD6	瀬戸美濃陶器柿釉甕 青緑釉土瓶 竹樋 2 より古	7期
SD7	遺物無し	-
SD8	SD9, 東壁焼土層より新	8期-
SD9	京信土瓶, 青緑釉土瓶 瀬戸美濃磁器湯呑形碗	7-8期
SD10	遺物無し	-
SD16	肥前磁器小広東 京信端反碗, 透明釉灯明皿	6期
SA1/2	陶磁器無し	-
焼土遺構 1	遺物無し	-
SK1	肥前磁器蛇の目凹型高台皿 被熱 SK16 接合多	6-7期
SK2	瀬戸美濃磁器端反碗, 高い蛇の目高台の皿等が被熱 SK9 接合多 一銭硬貨等近代遺物少量混入	6期
SK3	瀬戸美濃湯呑形碗多 京信脚付油受皿 盤古土瓶	8期

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK4	肥前磁器湯呑碗 1 混在カ 全体 18c 主体	(-6期)
SK5	体部木瓜形の青緑釉土瓶, 三彩土瓶	7-8期
SK6	瀬戸美濃磁器端反碗(内面陰刻文), 湯呑形碗	8-9期
SK7	肥前磁器蛇の目高台猪口 京信土瓶 被熱	6期
SK8	土器植木鉢, 大甕 桶 35 より古	(9期)
SK9	肥前磁器八角鉢 京信土瓶 被熱	6期
SK10	肥前磁器蓮華 SK16 との接合極めて多 被熱	6期
SK11	肥前磁器一枚絵皿 青緑釉土瓶 SK12 土層類似	7期
SK12	三彩土瓶 松岡土瓶蓋 SK11 と並び土層類似	7期
SK13	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 青緑釉土瓶 肥前志田皿	7期
SK15	陶磁器無し SK18 より新	-
SK16	肥前磁器徳利(蛸唐草文) SK161 接合多 被熱	6期
SK17	瀬戸美濃磁器端反碗 SK161 より新	7期
SK18	遺物少 京信小杉碗, 「紅浅」銘坏	5期カ
SK19	陶磁器極少 京信せんじ碗, 肥前磁器徳利	[-6期]
SK20/21	陶磁器無し	-
SK22	磁器 1 片, 陶磁 1 片のみ	-
SK23	洋皿口縁部	9期
SK24	灰釉土瓶 地方窯系陶器すず徳利 木樋 2 より新	8-9期
SK25	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器八角鉢 京信土瓶 被熱 天保通宝は混在カ	6-7期
SK26	陶磁器被熱 磁器型紙播絵皿, クロム釉青磁坏混在	6・9期
SK27a/b	18c の被熱遺物と銅版転写磁器等 19c 後の遺物がある。前者はSK27a, 後者はSK27b と推定	a=6期 b=9期
SK28	磁器 1, 陶器 2 のみ 瀬戸美濃陶器べこかん徳利	-
SK29	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 三彩土瓶 文久永宝	8-9期
SK30	肥前磁器蛇の目高台猪口, 端反, 広東碗 被熱	6期
SK31	肥前磁器梅樹文碗, 粗製碗, 半球碗 一部被熱	-6期
SK32	肥前磁器筒形碗等被熱 近代磁器細片は混入	6期
SK33	磁器湯呑形碗 行平 真壁産土器甕	8期
SK34	陶磁器無し SK32 より古	[-6期]
SK36	肥前磁器筒形碗(横帯状に錆釉), 広東碗被熱	6期
SK37	肥前磁器端反碗(漢詩文染付), 湯呑形碗	7期カ
SK38	陶磁器やや少 肥前磁器一枚絵染付皿 SE1 掘方より新	7-8期
SK39	瀬戸美濃磁器端反碗被熱 近代磁器少量混入	6期
SK40	陶磁器無し SK36 より新	-
SK41	磁器クロム青磁釉の端反碗, 鎚文坏	9期
SK42	陶磁器無し	-
SK43	陶磁器少 瀬戸美濃陶器植木鉢, 火鉢 18c 主体	(5-6期)
SK45	陶磁器少 陶器土瓶蓋(イッチン)	7期-
SK46	肥前磁器広東碗等被熱 瀬戸美濃磁器端反碗	6期
SK47	陶磁器無し	-
SK48	磁器クロム青磁釉平碗 硬質陶器 鉄釉土管	9期
SK50	陶磁器少 肥前磁器小丸碗 瀬戸美濃鉄釉土瓶	[6期-]
SK52	瀬戸美濃磁器薄手端反碗被熱 陶磁器細片化	6期
SK53	肥前磁器八角鉢被熱 白土染付鍋蓋は混在カ	6期カ
SK54	陶磁器極少 SK53 近接, 覆土(焼土層)類似	[6期カ]
SK55	肥前磁器八角鉢, 瀬戸美濃磁器端反碗被熱	6期
SK56	京信陶器土瓶被熱 瀬戸美濃磁器端反碗細片	6期
SK58	瀬戸美濃磁器端反碗, 青緑釉土瓶の被熱遺物はSK46からの混在カ SK46 より古	-6期
SK60	陶磁器極少 肥前磁器半球碗 京信色絵半球碗	-
SK61	陶磁器無し	-
SK62	近代磁器もあるが、遺物少なく時期不明	-
SK63	肥前磁器広東碗蓋弱く被熱, 瀬戸美濃緑釉火鉢	5期
SK64	瀬戸美濃磁器端反碗被熱 磁器型押反皿は混入	6期
SK65	肥前系磁器広東碗 調査時は東西別遺構と認識	5-6期
SK66	京信端反碗, 肥前磁器筒形碗(横帯状に錆釉)	5-6期
SK67	京信小杉碗, 「紅浅」銘坏 瀬戸美濃水甕	5-6期
SK68	京信小杉碗, 「紅浅」銘坏 SK67 と接合多い	5-6期
SK71	磁器 3 陶器 2 のみ 白土染付土瓶	7期
SK74	瀬戸美濃磁器薄手の端反碗	6期
SK75	青緑釉土瓶被熱 肥前磁器八角鉢 瀬戸美濃磁器	6-7期

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK76	被熱遺物多い 瀬戸美濃磁器端反碗 青緑釉土瓶	6期
SK77	陶磁器極少 土層は被熱土層	-
SK78	被熱 肥前磁器蛇の目高台猪口	6期
SK79	肥前磁器広東碗	5期
SK80	磁器 3 土器 3 のみ 近代磁器片 1 含 SK75 より古	[6-7期]
SK81	磁器 3 陶器 5 片のみ 肥前磁器への字形高台碗	4-5期
SK82	瀬戸美濃磁器細片 灰釉土瓶 被熱陶磁器混在	7期カ
SK83	陶器燭徳利 灰釉行平蓋 京信櫛目燈明油皿	8期
SK84	肥前磁器くらわんか碗多, 外面青磁釉碗各種	6期-
SK85	京信小杉碗, 紅浅銘坏複製 肥前磁器広東碗	5期
SK86	瀬戸美濃磁器反り大きい端反碗(壺芝文含)	6期
SK87	瀬戸美濃陶器柿釉甕 肥前磁器筒江銘皿	6-7期
SK88	陶磁器無し	-
SK89	陶磁器少 陶器柿釉土鍋 瀬戸美濃陶器油徳利等	-
SK90	陶磁器やや少 肥前磁器広東碗	5期-
SK91	瀬戸美濃陶器べこかん徳利等	-
SK92	陶磁器無し SK67 より古 SK65/94 より新	[5-6期]
SK93	陶磁器少 肥前磁器小丸碗, 朝顔形碗 SK67 より古	[5-6期]
SK94	京信端反, 筒形碗, 紅浅銘坏 肥前磁器小広東	5期
SK95	陶磁器少 瀬戸美濃陶器せんじ碗等 18c 後以降	-
SK96	陶磁器無し	-
SK97	瀬戸美濃磁器端反碗多, 湯呑形碗, 志田皿	7-8期
SK98	陶磁器少 肥前磁器小丸碗等	-
SK99	陶磁器やや少 瀬戸美濃磁器湯呑形碗	7-8期
SK100	被熱陶磁器含 土器目皿, 真壁産甕 桶 62 より古	[8期]
SK101	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器筒形碗(横帯錆釉)	6-7期
SK102	遺物無し	-
SK103	陶磁器少 SK63 より古	[5-6期]
SK105	遺物無し	-
SK104	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器掛分碗	-
SK106	18c 遺物主体だが磁器湯呑形碗や近代磁器あり	-
SK107	瀬戸美濃片口鉢, 柿釉灯明皿、皿類等	-
SK108	陶磁器極少 瓦質土器焙烙	-
SK109	18c の陶磁器のみ 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	-
SK111	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器八角鉢 灰釉土瓶	6期
SK113	陶磁器無し SK75 より古	[7期]
SK114	18c の陶磁器のみ 肥前磁器小丸碗	4期カ
SK117	磁器主体, 陶器極少 肥前磁器外面青磁釉各種	4期カ
SK118	陶磁器少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期-
SK119	肥前磁器外面青磁筒形, 朝顔形碗 SD16 より新	[6期-]
SK120	肥前磁器外面青磁ハ字高台碗の蓋 SD4 より新	[5-7期]
SK122	瀬戸美濃磁器厚手の端反碗 陶器燭徳利, 土瓶	7-8期
SK123	陶磁器少 肥前磁器半球碗 堺明石挿鉢 18c か	-
SK124	肥前磁器筒形碗 SK125 より新	[5期]
SK125	肥前磁器小広東, 広東碗 瀬戸美濃陶器柳茶碗	5期
SK126	陶磁器極少 瀬戸美濃掛分碗	-
SK127	陶磁器少 瀬戸美濃柿釉甕 江戸在地土器火消壺	-
SK128	陶磁器少 瓦質土器十能被熱 瀬戸美濃柿釉甕	-
SK130	瀬戸美濃磁器端反碗 在地丸底焙烙(内耳あり)	8期
SK131	陶磁器やや少 肥前磁器雪輪草花文碗等 18c のみ	[6期]
SK132	陶磁器少	-
SK133	陶磁器やや少 肥前磁器ハ字高台碗蓋, 筒形碗	4期-
SK135/136	陶磁器無し	-
SK138	陶磁器少 肥前磁器筒形碗 江戸在地土器焙烙	4期-
SK140	陶磁器無し	-
SK142	陶磁器少	[9期]
SK144	被熱陶磁器細片含 銅版転写磁器, タイルあり	-
SK145	肥前磁器八角鉢 江戸在地系焙烙 SK65 より古	[6期]
SK146	肥前磁器腰の張る皿 京信小杉碗	5-6期
SK147	陶磁器無し	-
SK150	鉄釉土瓶蓋 京信土瓶 SK188 より新	6-7期
SK151	京信土瓶 SK188 より新 SK150 近接, 覆土共通	7期
SK153	肥前磁器広東碗に SK2, 9 と同文 京信土瓶	6期

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK156	被熱遺物細片多 瀬戸美濃磁器端反碗被熱無し	6期カ
SK157	瀬戸美濃磁器端反碗蓋 肥前磁器八角鉢	[6期]
SK159	陶磁器少	-
SK160	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期-
SK161	被熱遺物含 青緑釉土瓶 肥前磁器端反碗	7期カ
SK162	青緑釉土瓶 肥前磁器端反碗, 蛇の目高台(高)皿	6-7期
SK164	陶磁器無し	-
SK165	磁器酸化コバルト染付丸碗, 燭徳利	7期
SK166	肥前磁器志田皿 SK188 より新 SK150 覆土類似	6-7期
SK171	肥前磁器広東碗 SK166・188 より新	[6-7期]
SK172	肥前磁器蛇の目高台猪口 瀬戸美濃駄知土瓶	5-6期
SK173	陶磁器無し 金属煙管, 土製品玩具類	-
SK174	陶磁器極少 堺明石挿鉢 SK87 より古	[7期]
SK175	瀬戸美濃磁器燭徳利, 丸碗蓋 文久永宝 桶 9 より古	8-9期
SK176	肥前磁器蛸唐草御神酒徳利, 広東碗	5-6期
SK177	肥前磁器小丸碗 京信紅浅銘坏, 小杉碗	4-5期
SK178	陶磁器極少 土器火鉢	-
SK179	陶磁器やや少 瀬戸美濃磁器湯呑形碗 青緑釉土瓶	7-8期
SK180	陶磁器少 瀬戸美濃柿釉灯明皿 SD6 より新	[7期-]
SK181	陶磁器少 18c の物に近代磁器混在 SK75 より古	[7期]
SK182	陶磁器やや少 肥前磁器蛇の目高台猪口	5-6期カ
SK185	瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿 SK75 より古	[7期]
SK186	肥前磁器広東碗蓋 京信土瓶(薄手)	6-7期カ
SK187	陶磁器少 瀬戸美濃陶器植木鉢 瓦質土器火鉢	-
SK188	被熱 肥前磁器蛇の目高台猪口 京信土瓶	6期
SK189	陶磁器 18c のみ	-
SK190	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期-
SK191	肥前磁器外面青磁丸碗蓋	4期-
SK193	陶磁器少 18c のみ 堺明石挿鉢	-
SK194	陶磁器極少 肥前磁器くらわんか碗 瀬戸輪壳鉢	-
SK195	陶器少量 鉄製品 1 点	-
SK196	瀬戸美濃磁器湯呑形碗複製 SK199 より新	[9期]
SK197	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器せんじ碗 SK122 より古	-
SK198	肥前磁器八角鉢 瀬戸美濃磁器端反碗 萩開口碗	8期
SK199	磁器酸化コバルト製品 型紙製品無し 碍子	9期
SK200	陶磁器無し 鉄製品平釘	-
SK201	瀬戸美濃磁器燭徳利	8期
SK202	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器蛇の目高台(高)皿 青緑釉土瓶 常滑甕に SK198 と同一個体あり	6-7期
SK203	磁器銅版転写染付皿, 笠間二彩流掛甕	9期
SK204	京信土瓶、瀬戸美濃柿釉甕被熱 SK205 の混入多	6期
SK205	磁器色銅版製品, ゴム印平碗 SK204 より新	9期
SK206	瀬戸美濃磁器端反碗, 京信土瓶等被熱	6期カ
SK207	被熱 瀬戸美濃陶器石皿, 柿雄釉甕 SK206 近接	5-6期
SK208	遺物無し	-
SK209	被熱 瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器蛇の目高台猪口	6期
SK210	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 青緑釉土瓶 陶器燭徳利	7-8期
SK211	陶磁器少 瀬戸美濃磁器端反碗, 湯呑形碗	7-8期
SK212	陶器燭徳利, 青緑釉土瓶 SK206 の被熱遺物混入	7期
SK213	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 三彩土瓶, 燭徳利	8期
SK214/215	遺物無し	-
SK216	陶磁器やや少 陶器土瓶 京信土瓶蓋	7期-
SK217	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 陶器鉄釉土瓶 土管混入	7-8期
SK219	瀬戸美濃磁器端反碗複製, 湯呑形碗	7期-
SK221	京信灯明皿, 燭徳利 青緑釉, 三彩土瓶	7-8期
SK223	陶器土瓶類複製 真壁産土器甕 肥前磁器八角鉢	8期
SK224	瀬戸美濃磁器湯呑形碗, 卵殻手坏 SK221 より新	7-8期
SK225	瀬戸美濃磁器湯呑形碗複製 肥前一枚絵描く皿	7-8期
SK226-229	陶磁器無し	-
SK230	瀬戸美濃磁器湯呑形碗多 燭徳利複製	8期
SK231	瀬戸美濃磁器端反碗(SK248 と同文), 湯呑形碗	7期-
SK232	陶磁器極少 陶器柿釉土鍋	-
SK233	陶磁器少 瀬戸美濃磁器端反碗 陶器鉄釉土瓶	7期-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK234	陶磁器やや少 瀬戸美濃磁器端反碗, 湯呑形碗	7期-
SK235	陶磁器やや少 瀬戸美濃磁器無し	-
SK236	陶磁器やや少 瀬戸美濃磁器端反碗 三彩土瓶	7期-
SK237	瀬戸美濃磁器湯呑形碗複数 信楽内面鉄釉茶壺	8期
SK238	陶磁器少 瀬戸美濃磁器薄手端反碗 SD9より新	[7期-]
SK239	陶磁器極少	-
SK240	磁器ゴム印筒形坏 クロム練込坏	9期
SK241	遺物無し	-
SK242	瀬戸美濃系磁器端反碗多, 湯呑形碗少量 近代磁器は攪乱から混在	7期
SK243	瀬戸美濃磁器端反碗 青緑釉土瓶他各種土瓶	7期カ
SK244	瓦多量, 被熱 陶磁器極少 真壁産土器甕 土器甕 鈔 タイル混在カ SK201より古	[-8期]
SA245	陶磁器極少 肥前磁器筒形碗, 瀬戸美濃柿釉灯明皿	-
SK246	瀬戸美濃磁器端反碗 陶器灰釉土瓶蓋	7期
SK247	磁器酸化コバルト大皿	9期
SK248	瀬戸美濃磁器広東碗, 端反碗 肥前磁器八角鉢	7期
SK249	瀬戸美濃系磁器端反碗	6-7期
SK250	京信土瓶被熱 瀬戸美濃蛇の目高台皿	6期-
SK251	瀬戸美濃磁器植木鉢, 端反碗 (陰刻+染付)	8-9期
SK252	遺物無し	-
SK253	陶磁器少	-
SK254	瀬戸美濃磁器端反碗 京信端反碗 青緑釉土瓶	6-7期
SK255	灰釉土瓶多 青緑釉土瓶 陶器すず徳利は混在カ	7期カ
SK256	陶磁器極少 肥前磁器粗製皿 瀬戸美濃腰鍔碗	-
SK257	瀬戸美濃磁器端反碗 SE8 掘方より新	7期-
SK258	SK257と接合多 遺物の年代差大 地方窯製品多	9期カ
SK259	陶磁器やや少 青緑釉土瓶	6期-
SK260	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 青緑釉土瓶 三彩土瓶蓋	7-8期
SK261	瀬戸美濃磁器厚手端反碗, 湯呑形碗多 行平	8期
SK262	肥前磁器梅樹, 雪輪草花文碗 -18c 前陶磁器多	3期カ
SK263	陶磁器極少 陶器鉄釉土瓶蓋	(7期-)
SK264	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 瀬戸美濃陶器爛徳利	7期-
SK265	被熱 瀬戸美濃磁器湯呑形碗 陶器糠白釉壺	8期
SK266	瀬戸美濃磁器端反碗片1あり 肥前磁器筒形碗	-
SK267	肥前磁器一枚絵皿 瀬戸美濃磁器爛徳利, 卵殻手坏	8期
SK268-271	遺物無し	-
SK272	陶磁器極少 肥前磁器筒形碗 (横帯鍔釉)	5期-
SK273	遺物無し	-
SK274	瀬戸美濃磁器厚手の端反碗, 湯呑形碗は2個体	7期
SK275/276	遺物無し	-
SK277	遺物時期幅広い 複数の別遺構だった可能性	-
SK278	陶磁器やや少 京信灯明油皿 青緑釉土瓶	7期カ
SK279	肥前磁器広東碗 陶器土瓶複数 京信筒形香炉	6期カ
SK280	瀬戸美濃湯呑形碗 青緑釉土瓶 土器把手付鍋	7-8期
SK281	遺物無し	-
SK282	瀬戸美濃陶器べこかん徳利 青緑釉土瓶蓋	6-7期
SK283/284	遺物無し	-
SK285	陶磁器やや少	-
SK286/287	遺物無し	-
SK288	肥前磁器小広東 瀬戸美濃磁器無し 真壁産土器	-
SK289	被熱 瀬戸美濃柿釉灯明皿多 肥前磁器広東碗	6期
SK290	肥前磁器端反碗 真壁産土器大甕	7期-
SK291-295	遺物無し SK293・294は欠番	-
SK296	陶磁器やや少 瀬戸美濃磁器端反碗, 端反坏	7期
SK297	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器外面篆刻文手塩皿	7期
SK298-300	遺物無し	-
SK1154	遺物無し 時期は掘り込み面から	[9期]
SK1155	遺物極少 在地瓦質土器平底焙烙	-
SK1156	遺物無し	-
SB14	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器石皿 鉄釉土瓶	5期カ
SB15	遺物無し	-
SE11	陶磁器極少 肥前磁器丸碗 江戸在地系かわらけ	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SE12	陶磁器極少 瀬戸美濃挿鉢 丹波挿鉢	-
SE13	陶磁器やや少 瀬戸美濃太白手丸碗	-5期カ
SE14	肥前磁器小広東 瀬戸美濃挿鉢 (瀬戸編年I-D類)	4-5期
SE15	陶磁器 18c まで 瀬戸美濃挿鉢 (瀬戸編年I-D類)	4期-
SE16	掘方, 側内時期差無し 肥前磁器くらわんか碗	3-4期
SE17	陶磁器少 在地土器瓦質焙烙 (18c)	-
SD11	肥前磁器広東碗蓋 陶磁器全体はSD12より古手	-5期
SD12	肥前磁器広東碗, 端反碗 瀬戸美濃太白手丸碗	5期
SD13	肥前磁器梅樹文碗多, 筒形, 小丸碗無 瀬戸美濃陶器土瓶 SD14より新	[4期-]
SD14	肥前磁器小広東 瀬戸美濃挿鉢 (瀬戸編年I-D類)	4期カ
SD15	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器碗 在地系かわらけ	-
SK1001	肥前磁器筒形碗, 小丸碗, 底挟り浅い仏飯器	4期
SK1002	陶磁器極少 大堀相馬碗 (外面青緑釉) 細片	(5-6期)
SK1003	肥前磁器梅樹文碗多, 薄手小丸碗 堺明石挿鉢	3-4期
SK1004	肥前磁器筒形, 小丸, うがい茶碗 SD13より新	4期
SK1005	肥前磁器広東碗 SD12より新	5期
SK1006	肥前磁器筒形碗, 小丸碗, 底挟り浅い仏飯器	4期
SK1007	京信土瓶, 爛徳利 陶器灰釉土瓶	7期
SK1008	陶磁器少 陶器甕は笠間系カ 他は18cの陶磁器	-
SK1009	灰釉土瓶 京信筒形碗	7期
SK1010	陶磁器少 18cの陶磁器	-
SK1011	陶磁器無し	-
SK1012	肥前磁器端反碗 瀬戸美濃磁器端反碗口縁部片	6期
SK1013	陶磁器やや少 肥前磁器筒形碗 瀬戸美濃陶器石皿	5期カ
SK1014	陶磁器少 肥前磁器広東碗口縁部 SK1012より新	[6期]
SK1015	陶磁器極少	-
SK1016	陶磁器無し	6期-
SK1018	肥前磁器蛸唐草御神酒徳利 全体は18c中以前	4-5期カ
SK1019	陶器土瓶の他は18cの陶磁器 瀬戸柿釉灯明皿	-
SK1020	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期-
SK1021	陶磁器少 瀬戸美濃古手の腰鍔碗 尾呂徳利	(3-4期)
SK1022	瀬戸美濃磁器蓮華 瀬戸美濃柿釉甕, 掛分筒形碗	6期カ
SK1024	肥前磁器くらわんか, 梅樹文碗主 瀬戸美濃腰鍔碗, 木瓜形灰釉皿, 挿鉢 (瀬戸編年I-C3類)	3期
SK1025	かわらけ多量 瀬戸美濃天目茶碗, 鉄釉丸	1期
SK1026	陶磁器無し	-
SK1027	陶磁器無し SD11/12より新	[5期-]
SK1028	肥前磁器広東碗 京信小杉碗	5期
SK1029	肥前磁器外面青磁丸碗 京信小杉碗	4期
SK1030	陶磁器無し	-
SK1031	陶磁器無し SD11より古	[-5期]
SK1032	17c 陶磁器主 瀬戸美濃煙硝挿最新 寛永通宝 (古)	1期
SK1043	陶磁器無し	-
SK1044	陶磁器やや少 肥前磁器粗製皿 太白手小丸碗	4期カ
SK1045	肥前磁器広東碗	5期
SK1046	陶磁器やや少 肥前磁器筒形碗	4期
SK1047	陶磁器極少 陶磁器極少	-
SK1048	肥前磁器梅樹文碗, くらわんか碗多, 小丸碗無	3期
SK1050	陶磁器少 18c以前主 瀬戸美濃磁器碗細片混入カ	-
SK1051	京信土瓶, 小杉碗 瀬戸美濃陶器石皿, 馬目皿	6期
SK1052	陶磁器やや少 18c以前の陶磁器主 古寛永	(3-4期)
SK1053	陶磁器やや少 肥前磁器筒形碗 (大形)	3-4期
SK1054	陶磁器極少 在地土器丸形火鉢	-
SK1055	陶磁器無し	-
SK1056	肥前磁器梅樹文, くらわんか碗多 肥前陶器多	3期
SK1057	陶磁器少 17-18cのもののみ	(-4期)
SK1058	やや少 肥前磁器八角鉢 陶器ヒョウソク	7期
SK1059	陶磁器やや少 18c主 土器焔炉部材 (器台)あり	[4期-]
SK1060	陶磁器やや少 肥前磁器小丸碗	4期
SK1061	肥前磁器くらわんか碗主, 外面青磁朝顔形碗	4期
SK1062	陶磁器やや少, 18cのみ 肥前磁器くらわんか碗主	3-4期カ
SK1063	陶磁器極少 肥前磁器コンニャク判碗	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK1064	陶磁器極少 肥前磁器鉢	-
SK1065	陶磁器無し	4期
SK1067	陶磁器極少, 18c のもののみ	-
SK1068	肥前磁器外面青磁丸碗蓋 京信透明釉灯明皿	6期カ
SK1069	陶磁器少 肥前磁器外面青磁釉丸碗	4期
SK1070	肥前磁器梅樹文碗多, 筒形碗無 瀬戸美濃柿釉灯明皿 京信小杉碗	4期
SK1071	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期
SK1072	陶磁器少 SK1071/1073 より古	[-4期]
SK1073	陶磁器少 肥前磁器筒形碗 備前瓶類あり	4期
SK1074	瀬戸美濃磁器湯呑形碗 土器目皿 京信灯明皿	7-8期
SK1075	陶磁器少, 18c のもののみ SK1003 より古	[-4期]
SK1076	陶磁器極少	-
SK1077	陶磁器極少 肥前磁器小形碗 瀬戸美濃柿釉甕	-
SK1078	陶磁器少, トビガンナ土器焔炉, 真壁産土器甕	(8-9期)
SK1079	陶磁器極少	-
SK1080	陶磁器少, 18c のみ	-
SK1081	陶磁器少 肥前磁器筒形碗, 小丸碗	4期
SK1082	肥前磁器筒形碗, 小丸碗 灰釉土瓶, 瀬戸美濃磁器湯呑形碗, 陶器ぺこかん徳利	4-5期
SK1083	瀬戸美濃柿釉灯明皿 肥前磁器小丸碗 近代混入有	4期
SK1084	肥前磁器小広東 近代遺物混入カ SK1082 より古	4期
SK1085	肥前磁器梅樹文碗主, 薄手広東碗 瀬戸美濃石皿	5期
SK1086	陶磁器無し	-
SK1090	陶磁器無し	4期
SK1091	陶磁器極少 瀬戸美濃灰釉香炉	-
SK1092	肥前磁器小丸, 筒形, 外面青磁朝顔形碗 瀬戸土瓶	4期
SK1093	陶磁器無し	-
SK1094	陶磁器少 瀬戸美濃柿釉徳利 堺明石挿鉢	[-4期]
SK1096	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器半菊しのぎ文香炉	-
SK1097	瀬戸美濃緑釉植木鉢, 挿鉢(瀬戸編年I-D類)	5期
SK1098	陶磁器極少 瀬戸美濃柿釉灯明皿	-
SK1099	陶磁器少 京信鉄絵丸碗 肥前磁器草花文徳利	-
SK1100	陶磁器極少 在地土器火鉢, 平底焙烙	-
SK1101	肥前磁器雪輪草花文碗 瀬戸美濃陶器尾呂碗	3期
SK1102	肥前磁器丸碗 肥前陶器銅緑釉丸碗	2-3期
SK1103	陶磁器少, 18c 中葉以前のみ SK1102 より古	[2-3期]
SK1104	肥前磁器蛸唐草文御神酒徳利 瀬戸美濃石皿	4-5期
SK1105	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期
SK1107	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK1108	瀬戸美濃挿鉢鉢(瀬戸編年I-D類) 京信紅浅銘坏	4-5期
SK1109	陶磁器無し	-
SK1110	陶磁器無し	-
SK1111	陶磁器極少 肥前磁器外面青磁釉小丸, 朝顔形碗 鍋島焼細片混入	4期
SK1112	遺物無し	-
SK1113	陶磁器無し 煙管あり	-
SK1114	陶磁器少, 細片, 18c のみ 肥前磁器半球碗	-
SK1115	陶磁器少 肥前磁器外面青磁朝顔形碗細片	4期-
SK1116	肥前磁器梅樹文碗多 瀬戸柿釉灯明皿(釉淡い)	4期
SK1117	陶磁器やや少 肥前磁器梅樹文碗多, 筒形碗	4期
SK1118	陶磁器極少 肥前磁器雪輪草花文碗 瀬戸挿鉢	[-4期]
SK1119	陶磁器少 瀬戸美濃太白手丸碗	4期-
SK1120	陶磁器無し	-
SK1121	陶磁器極少 産地不詳陶器碗 瀬戸美濃摺絵香炉	-
SK1122	陶磁器無し	-
SK1123	陶磁器無し	-
SK1124	陶磁器無し	-
SK1125	陶磁器極少 陶器柿釉両手鍋 瀬戸美濃挿鉢	-
SK1127	陶磁器少 志都呂灯明皿 堺明石挿鉢	-
SK1128	陶磁器少 肥前磁器半球碗, くらわんか碗	-
SK1129	肥前磁器広東碗	5期
SK1130	陶磁器少 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期-
SK1131	陶磁器極少 坏形かわらけ	-
SK1132	陶磁器やや少 瀬戸美濃せんじ碗	3期-
SK1133	肥前磁器筒形, 小丸碗, 外面青磁製品は無 瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿	4期
SK1134	陶磁器無し	-
SK1135	肥前磁器外面青磁釉丸碗蓋 瀬戸美濃柿釉甕	4期-
SK1136	陶磁器やや少 肥前磁器半球碗 備前瓶類あり	(3期-)
SK1137	陶磁器やや少 肥前朝顔形, 外面青磁「筒江」銘碗	4期
SK1138	陶磁器少 瀬戸美濃腰鯖碗 堺明石挿鉢	(3-4期)
SK1139	陶磁器無し SK1104 より古	-
SK1141	陶磁器無し SK1130 より古	-
SK1142	陶磁器無し	-
SK1148	陶磁器極少 肥前磁器猪口等 18c 代のもの	-

第83表 凡例:

- ・主要遺構から出土した陶磁器について、器種判別可能遺物についてカウントした。各欄上段に器種・細別を記す。細別左側欄に底部破片数(蓋は頂部破片数)・細別右側欄に破片数を記す。器種が判別できなかった細片等は表中の数値に含めていないものがある。
- ・器種・細別は東京大学構内遺跡群の分類・記号(東京大学埋蔵文化財調査室『年報2』1999・『年報7』2011)を用いた。
- ・上記の分類に無い器種の内容は以下の通りである。

肥前系磁器JB2の「摺絵型皿」は平面変形の型紙摺絵の小皿(第140図275~279等)、「角皿」は所謂長皿(第153~154図437~446)。瀬戸美濃系陶器TC2の「端反灰釉」皿はTC2-a・bの口縁部が端反になるもので主に口縁部破片で判別(第330図53・54等)。TC2「蛇の目高台」は灰釉を施す蛇の目高台の大皿ないし鉢(第124図4・5等)。TC10「有耳壺」は鉄釉、灰釉の三耳壺、双耳壺を含む(第310図9・第313図88等)。

土器火鉢DZ31「台付」としたものは輪高台状の高い台を有し、江戸地域には稀(第176図776等)。他に、肥前系磁器碗JB1のうち口径12cm以上の碗をJB1-fに対応する「半球大碗」、JB1-g・vに対応する「粗製大碗」に分別した。土器焙烙DZ47-bは主に北武蔵地域に分布する「瓦質」の製品と、常総地域に分布し雲母が多い「土師質」の製品に分別して記載した。地方窯と考えられる陶器・土器は、TZ・DZとし、対応する器種番号を付した。

SK	JC19	JC21	JC00	JC	JC	TB1	TB5	TC1						TC2				TC5												
			b	f	近代	不明	a	b	不明	a	l	m	n	o	u	v	不明	b	TC2			TC5								
																			c			TC21			TC22		TC23		TC24	
	a	c	f	i	l	不明	2	2	1	5	2	6					不明	1	4	o	不明	a	c	f						
SK2						1									2		1	4	1	1	2	1								
SK9							1	1																						
SK16				1		1	1								3						1	1	1	1						
SK25																														
SK30																														
SK39		1	1	3					1	1																				
SK188						1							1																	
SK204	1				15	25													1	1	1			1						
SK209			1	2																										
SK212									1	2	2				1	1														
計	1	1	1	2	3	15	26	1	1	3	1	2	1	1	6	1	1	6	1	1	2	1	1	1						
	TC5										TC6		TC8		TC9		TC10		TC13			TC15			TC21		TC22		TC23	
	a	c	f	i	l	不明	2	2	1	5	2	6																		
SK2												2	1	1	1			4	2	11	2	9								
SK9				2								1		1										1						
SK16	1	1	1		3	8	1	2				3							1	4										
SK25						2						1		1			2													
SK30	1	1									1	1							5	10										
SK39						1																								
SK188						4			1	1	1	1	1	2	10				1	3	3			4						
SK204	1					6	9		2	3		1	1	1	1	3	7			2	12			1						
SK209								1	3	4					1	1			1	6	2	8		1						
SK212						1	5	5					1					2	7	2										
計	1	1	2	1	1	2	5	10	2	14	13	22	3	4	2	5	4	1	1	2	9	2	11	1	9					
	TC27					TC29		TC31		TC40		TC41		TC00		TC		TD1		TD2		TD9		TD13						
	b	c		a	不明	c	e		e	g	不明	b	色繪	b	鉄繪	c	色繪	d	g	h	i	j	k	不明	a	b				
SK2			1									1	2				2	4							1					
SK9	2		1									1	1																	
SK16			1	1	1	3	1	4	1					5																
SK25				2	2	3			1	1	1												1		1					
SK30												1																		
SK39	1		1			1	2							1																
SK188			3			3	3					3	2	1	1				1											
SK204			1	1								1						1	1						1					
SK209			1																						1					
SK212	1																			1	1	1			1					
計	3	4	1	9	1	1	5	20	26	1	4	1	3	1	1	2	1	1	4	1	1	1	3	1	1					

V 自然科学分析

栗橋宿本陣跡から検出された遺構・遺物の性格を検討するため自然科学分析を実施した。

現地調査段階では、詳細な用途が分からない埋設桶の性格把握のため、第36・39号埋設桶の土壌分析を行った。第1104土壌に包含されていた

1 埋設桶の土壌分析

(1) はじめに

埋設桶の機能を検討するために、P・Ca（リン・カルシウム）分析を行った。また、寄生虫卵分析も事前に行った。

(2) 試料と方法

分析試料は、第36号埋設桶（以下「桶36」）の土壌3点（分析No. 1～No. 3）、第39号埋設桶（以下「桶39」）の土壌3点（分析No. 4～No. 6）、比較試料となる地山の土壌1点（分析No. 7）の、計7点である（第85表）。また、寄生虫卵分析の対象は、桶36の分析No. 1～No. 3のみである。

[寄生虫卵分析] 分析試料は、桶36の底板下掘方（分析No. 3）と底直上（分析No. 2）、その上層（分析No. 1）から採取した土壌である。これらの試料について、以下の手順にしたがって寄生虫卵分析を行った。

計量した試料に、10%の水酸化カリウム溶液を加え10分間湯煎する。水洗後、46%のフッ化水素酸溶液を加え1時間放置する。水洗後、比重分離（比重2.1に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理（無水

薄板材と下駄について樹種同定を実施した。大型植物・動物遺体については、考古学的観察による考察が困難であり、種の同定を実施した。報告書整理段階では近世木製品の用材選択の資料を蓄積するため、下駄を中心に樹種同定を実施した。

酢酸9：1濃硫酸の割合の混酸を加え20分間湯煎を行う。水洗後、この残渣に適容量のグリセリンを加えて計量した。この残渣からプレパラートを作製し、プレパラート全面に渡り検鏡した。なお、試料1g中の寄生虫卵含有数は、次式で求める。

$X=BD/AC$ （X：試料1g中の寄生虫卵含有数、A：分析に用いた試料の重量(g)、B：濃縮試料+グリセリンの重量(g)、C：濃縮試料+グリセリンのうち、封入に用いた重量(g)、D：プレパラート中の寄生虫卵数）

[P・Ca分析] 分析は、藤根ほか（2008）の方法に従って行った。この方法は、元素マッピング分析によりリン、カルシウムを多く含む箇所を面的に検出し直接測定できる。試料は、乾燥後、極軽く粉砕して塩化ビニル製リングに充填し、油圧プレス機で20t・1分以上プレスしたものを使用した。

分析装置は、エネルギー分散型蛍光X線分析装置である（株）堀場製作所製分析顕微鏡XGT-5000Type IIを使用した。装置の仕様は、X線管が最大50kV、1.00mAのロジウム（Rh）ターゲット、X線ビーム径が100μmまたは10μm、検出器は高純度Si検出器（Xerophy）で、検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）である。また、試

第85表 分析した試料

分析No.	遺構	層位	時期	堆積物の特徴	備考
1	桶 36	上層	江戸～明治時代	オリーブ黒色 (5Y3/2) シルト	寄生虫卵分析
2		底直上		灰オリーブ色 (7.5Y4/2) シルト	
3		底板下掘方		オリーブ黒色 (7.5Y3/2) シルト	
4	桶 39	4層（上層）	江戸時代	オリーブ黒色 (7.5Y3/2) シルト	
5		5層（底板上）		灰オリーブ色 (7.5Y5/2) 細砂～シルト	
6		掘方		灰色 (7.5Y4/2) シルト	
7	地山層	C6-A1. Gr	江戸時代～明治以前	灰オリーブ色 (7.5Y4/2) 炭混じりシルト	

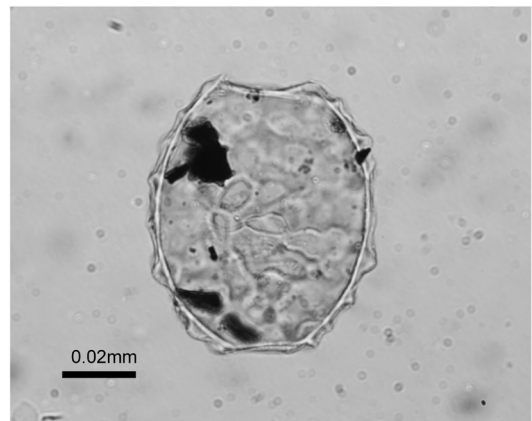
料ステージを走査させながら測定することにより元素の二次元的な分布画像を得る、元素マッピング分析も可能である。

本分析では、まず元素マッピング分析を行い、元素の分布図を得た上で、リン (P) のマッピング図において輝度の高い箇所を選び、点分析を行った。測定条件は、元素マッピング分析では50kV、1.00mA、ビーム径100 μ m、測定時間2000sを5回走査、パルス処理時間P3に、点分析では50kV、0.08~0.40mA (自動設定)、ビーム径100 μ m、測定時間500s、パルス処理時間P4に設定して行った。定量計算は、装置付属ソフトによる標準試料を用いないファンダメンタル・パラメータ法で行った。

(3) 結果

[寄生虫卵分析] 顕微鏡観察の結果、桶36の底直上 (分析No. 2) の土壌から回虫卵2個体が検出された (第362図)。寄生虫卵数については、試料1cm³中に1,000個以上あれば糞便の可能性があると考えられている (金原, 1997)。今回の桶36の底直上 (分析No. 2) の寄生虫卵は、試料1g (2cm³程度) 当たり12個と換算され (第86表)、糞便の可能性は低いと判断される。ただし、今回の試料は層位単位で採取されており、採取位置によって計数される寄生虫卵数が異なる可能性が考えられ、糞便の存在の可能性には否定しきれない。

[P・Ca分析] 第364・365図に各試料のリンおよびカルシウムの各マッピング図、点分析の位置 (各a~e) を示す。また、第87表に点分析における元素半定量値を示す。なお、元素マッピング図は、元素ごとに輝度を相対的に比較できるように、各



第362図 回虫卵

試料の明るさとコントラストを調整した。また、第363図にリン=カルシウム分布図を示す。

桶36の試料では、底直上 (分析No. 2) と上層 (分析No. 1) のマッピング像において全体的にリンの輝度が高い (第364図-No. 1、No. 2)。点分析では、底直上 (分析No. 2) と上層 (分析No. 1) においてリンとカルシウムが共に高い箇所が多く、底直上 (分析No. 2) のa~cおよびeにおいてリン (P205) が12.65~31.04%、カルシウム (Ca0) が24.09~47.29%と高い。

桶39の試料では、4層 (上層: 分析No. 4) と5層 (底直上: 分析No. 5) のマッピング像においてリンの輝度が高い (第364図-No. 4、第365図-No. 5)。ただし、桶36と比較すると全体的に輝度は低い。点分析では、5層 (底板上: 分析No. 5) のaやbあるいはeにおいてリン (P205) が28.18~29.99%と高いが、カルシウム (Ca0) が0.85~3.13%と低い。

地山層 (分析No. 7) の分析では、マッピング像においてリンの輝度が高く (第365図-No. 7)、桶36の底板下掘り方 (第364図-No. 3) や桶39の4層 (上層: 第364図-No. 4) のマッピング像の輝度に近い。点分析では、リン (P205) が5.75~27.94%、カルシウム (Ca0) が2.81~12.11%の値を示した。以上から、地山層自体のリンやカルシウムがかなり高いと言える。

第86表 試料の計量値と寄生虫卵数

記号	重量	桶 36		
		上層	底直上	底板下
A	分析に用いた試料 (g)	3.8111	3.6122	4.5559
B	濃縮試料+グリセリン (g)	0.6617	0.8342	0.6273
C	封入に用いた量 (g)	0.0217	0.0401	0.0288
D	回虫卵数 (個)	0	2	0
X	試料 1g 当たりの個数 (個)	0	11.5	0

第 87 表 点分析の半定量分析結果 (重量%)

分析No.	遺構	層位	点No.	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	SO ₃	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO ₂	Fe ₂ O ₃	Rb ₂ O	SrO	Y ₂ O ₃	ZrO ₂	total	
1	桶36	上層	a	0.00	5.42	8.20	40.61	0.76	0.48	26.60	0.98	0.61	16.17	0.01	0.09	0.01	0.05	99.99	
			b	1.48	12.52	43.66	15.07	2.71	1.34	13.83	0.70	0.32	8.26	0.02	0.05	0.01	0.02	99.99	
			c	0.00	4.32	3.36	30.41	0.98	0.52	2.54	0.44	0.02	57.21	0.02	0.08	0.02	0.06	99.98	
			d	0.04	4.46	2.71	31.89	1.75	0.55	14.15	0.45	8.32	35.51	0.02	0.12	0.01	0.04	100.02	
			e	1.93	2.62	5.12	25.73	1.88	0.99	12.56	0.09	0.05	48.79	0.03	0.16	0.02	0.02	99.99	
2		底直上	a	2.43	3.98	7.28	20.55	0.46	0.30	47.29	0.51	1.07	15.84	0.01	0.18	0.03	0.07	100.00	
			b	1.21	5.02	7.51	31.04	1.21	0.94	31.87	1.00	0.80	19.13	0.02	0.15	0.02	0.07	99.99	
			c	0.68	11.92	43.18	12.65	0.42	0.89	24.09	0.40	0.17	5.38	0.01	0.13	0.01	0.06	99.99	
			d	1.20	6.06	14.50	25.96	0.33	1.33	9.63	0.76	0.11	39.83	0.05	0.13	0.02	0.09	100.00	
			e	1.98	6.14	25.30	16.00	0.29	1.68	24.75	1.49	4.37	17.70	0.03	0.16	0.02	0.08	99.99	
3		底板下掘り方	a	0.58	10.21	30.00	24.80	0.87	1.73	4.97	1.35	0.11	25.23	0.03	0.07	0.01	0.05	100.01	
			b	0.67	12.52	39.60	20.36	0.48	1.48	6.64	0.99	0.17	16.95	0.01	0.08	0.01	0.04	100.00	
			c	1.04	13.06	53.35	12.86	0.26	1.18	12.06	0.64	0.10	5.37	0.00	0.06	0.01	0.02	100.01	
			d	0.61	15.33	45.93	14.99	1.02	1.49	4.44	1.14	0.11	14.82	0.01	0.07	0.01	0.03	100.00	
			e	0.72	11.75	44.88	11.85	0.94	1.73	6.73	0.97	0.15	20.13	0.01	0.09	0.01	0.04	100.00	
4	桶39	4層 (上層)	a	4.30	7.42	26.55	32.68	1.38	0.90	1.52	0.49	0.32	24.30	0.02	0.05	0.01	0.04	99.98	
			b	0.40	10.21	29.76	24.33	1.47	1.06	0.74	0.60	0.17	31.16	0.01	0.06	0.02	0.02	100.01	
			c	1.01	11.53	38.24	19.33	1.92	0.64	24.33	0.41	0.16	2.35	0.00	0.05	0.01	0.02	100.00	
			d	0.72	7.40	20.36	23.00	16.51	1.02	4.89	0.28	0.57	25.17	0.00	0.04	0.00	0.03	99.99	
			e	3.44	11.62	38.95	15.90	5.19	1.08	2.29	0.63	0.83	20.01	0.01	0.03	0.01	0.04	100.03	
5		5層 (底直上)	a	0.61	8.42	35.52	29.99	4.87	0.87	3.13	0.47	0.11	15.88	0.02	0.07	0.01	0.04	100.01	
			b	0.89	5.28	11.54	29.79	3.28	0.39	0.85	0.05	0.16	47.71	0.01	0.03	0.01	0.03	100.02	
			c	0.49	8.85	30.35	12.80	1.87	0.80	0.86	4.88	0.29	38.71	0.03	0.04	0.01	0.04	100.02	
			d	1.48	10.65	44.80	16.24	3.51	1.50	2.64	0.49	0.14	18.50	0.01	0.03	0.01	0.01	100.01	
			e	0.71	10.72	20.02	28.18	7.05	0.74	2.15	0.38	0.25	29.66	0.01	0.09	0.01	0.04	100.01	
6		掘り方	a	0.00	10.18	15.21	33.49	6.32	0.58	20.80	0.87	0.30	12.10	0.02	0.06	0.02	0.04	99.99	
			b	1.42	8.75	25.13	28.42	4.55	0.65	30.55	0.40	0.20	3.83	0.01	0.05	0.02	0.02	100.00	
			c	2.45	9.07	28.30	24.51	4.04	0.62	17.42	1.02	0.38	12.08	0.01	0.06	0.02	0.03	100.01	
			d	1.15	10.64	53.05	14.59	0.98	1.01	13.24	0.55	0.11	4.64	0.00	0.03	0.01	0.02	100.02	
			e	1.83	8.84	43.13	18.56	0.40	1.17	20.92	0.43	0.13	4.52	0.01	0.04	0.02	0.02	100.02	
7		地山層	gr. C6A1	a	0.66	7.19	27.03	27.94	0.37	1.59	3.50	0.54	0.19	30.89	0.01	0.05	0.01	0.03	100.00
				b	0.59	8.42	29.31	25.26	0.29	1.30	3.80	0.80	0.10	30.01	0.01	0.07	0.01	0.05	100.02
				c	2.22	15.85	52.96	6.96	0.29	0.85	12.11	0.54	0.10	8.04	0.01	0.04	0.01	0.02	100.00
				d	0.67	13.24	52.06	13.63	0.37	2.24	2.81	0.75	0.08	14.06	0.02	0.05	0.00	0.02	100.00
				e	2.97	16.36	60.04	5.75	0.54	1.17	6.82	0.55	0.13	5.59	0.00	0.05	0.01	0.01	99.99
最小値				0.00	2.62	2.71	5.75	0.26	0.30	0.74	0.05	0.02	2.35	0.00	0.03	0.00	0.01		
最大値				4.30	16.36	60.04	40.61	16.51	2.24	47.29	4.88	8.32	57.21	0.05	0.18	0.03	0.09		

(4) 考察

骨や歯は、ハイドロキシアパタイトCa₅(PO₄)₃OHが主成分であり、すなわち蛍光X線分析ではリン(P)とカルシウム(Ca)が共に高く検出される。骨由来であるかを判断するためには、リンとカルシウムが共に高い点に注目する。ただし、リンやカルシウムは主に埋没過程や埋没中に分解・拡散する場合がある。また、骨由来のリンが地下水中の鉄と反応してビビアナイトFe₃(PO₄)₂が析出している場合には、相対的にカルシウムの検出割合が低くなる。

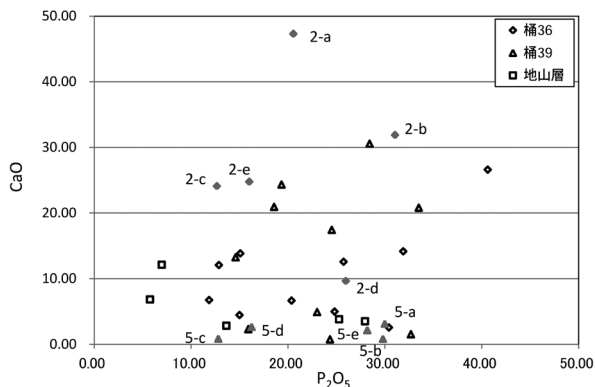
(P04) 2・8H₂Oが析出している場合には、相対的にカルシウムの検出割合が低くなる。

桶36の底直上と上層は、底板下掘方と比較してリンの輝度が高く、点分析においてリンとカルシウムが共に高いため、骨質物が存在した可能性が考えられる。一方、桶39の4層(上層)と5層(底直上)は、掘り方と比較してリンの輝度が高いものの、カルシウムが低いことから、必ずしも骨質物の存在を示すとは言い難い。

桶36の底直上試料の寄生虫卵分析において、少ないものの回虫卵が検出されている。使用時の残留物は底板に近い層準に堆積したと考えられるが、その後に堆積した埋土により希釈されている可能性も考えられる。

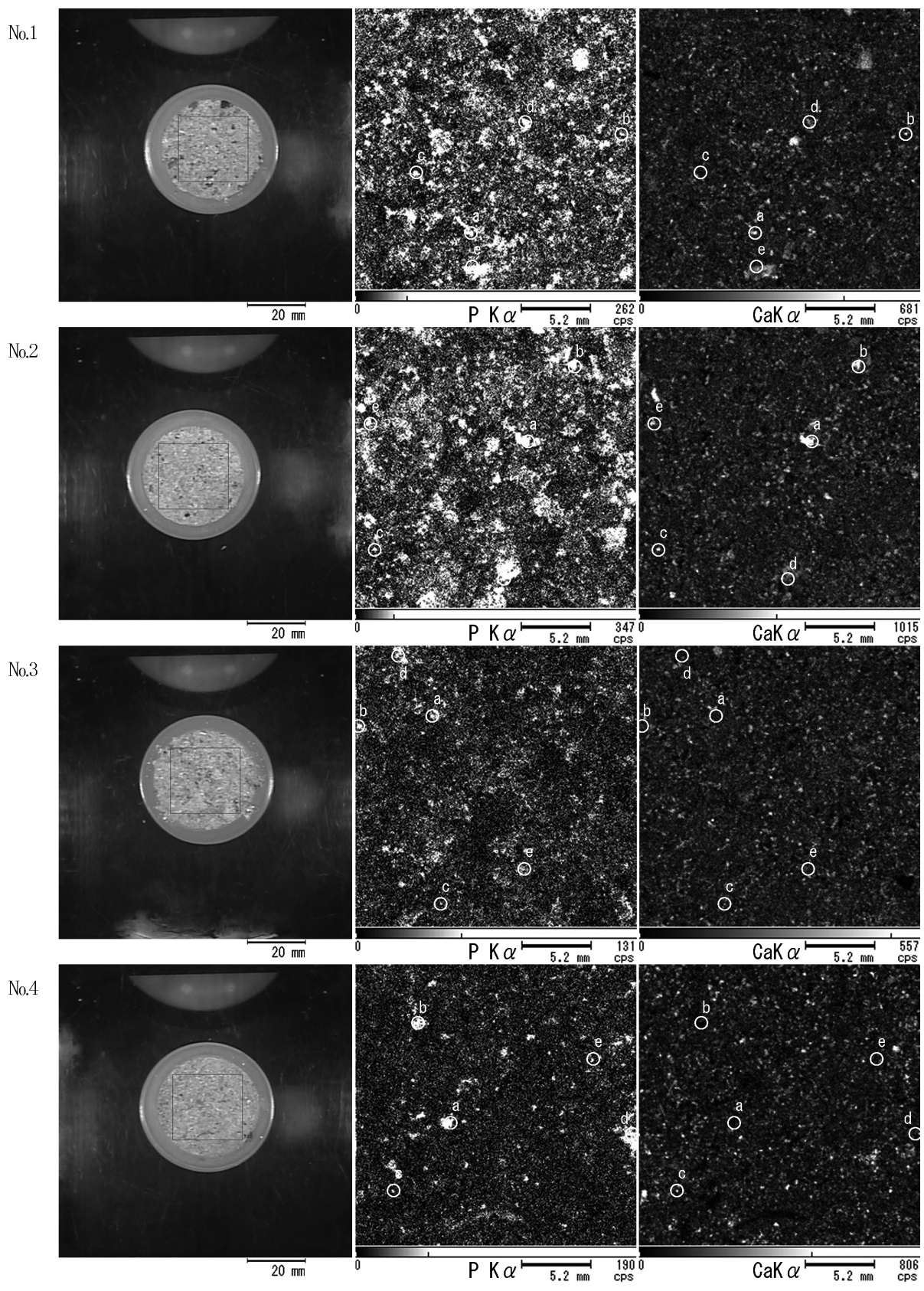
(5) おわりに

桶36と桶39の埋桶の土壌について蛍光X線を、桶36については寄生虫卵分析を行った。桶36では、リンとカルシウムが共に高い箇所が検出され、骨質物の存在の可能性が示された。底直上の寄生虫卵分析においては、僅かに回虫卵が検出さ

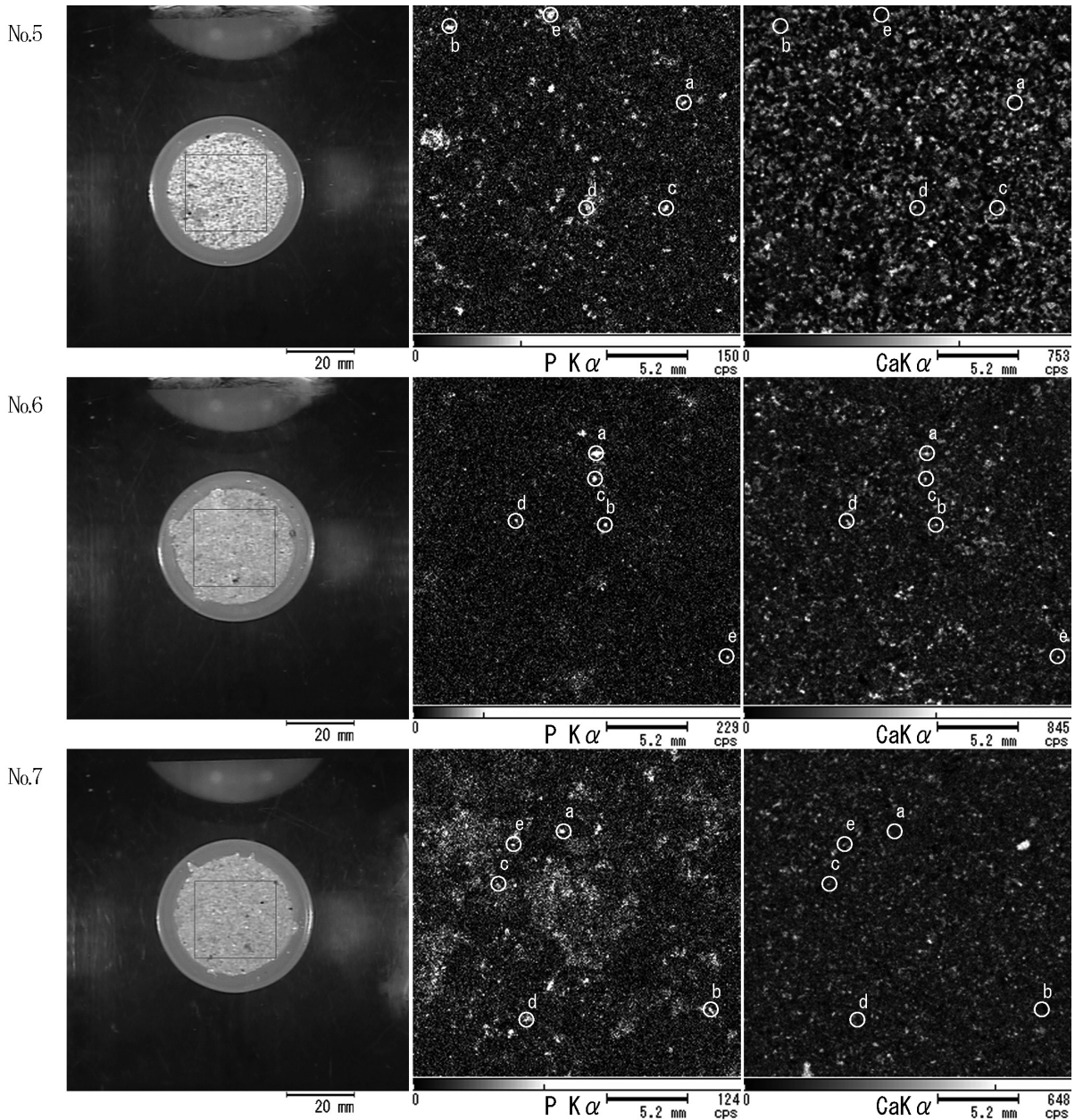


桶36と桶39それぞれの底直上の試料(分析No.2, No.5)は赤で示した。

第 363 図 土壌のリン=カルシウム分布図



第 364 図 プレス試料およびリンとカルシウムの元素マッピング図 (1)



第 365 図 プレス試料およびリンとカルシウムの元素マッピング図 (2)

れ、糞便の存在の可能性もある。ただし検出された寄生虫卵数が少なく、糞便の存在を判断するには追加分析が望まれる。桶39では、掘方と比較してリンの輝度が高いものの、カルシウムが低く、必ずしも骨質物の存在を示すとは言い難い。

なお、比較試料とした地山層の分析では、マッピング像においてリンの輝度が高く、点分析においても、リンやカルシウムがやや高い値を示しており、地山層自体、リンとカルシウムの含有量が高い。

引用文献

藤根 久・佐々木由香・中村賢太郎 (2008) 蛍光 X 線装置を用いた元素マッピングによるリン・カルシウム分析. 日本文化財科学会第 25 回大会研究発表要旨集, 108-109.

金原正明 (1997) 自然科学的研究からみたトイレ文化. 大田区立郷土博物館編「トイレの考古学」: 197-216, 東京美術.

2 構造物等に用いられた木製品の樹種同定

(1) はじめに

井戸跡・排水枡（池状遺構関連施設）・埋設桶の木材と、第1104号土壌の木製品、建築材の可能性のある第176号土壌の板材について、樹種同定を行った。

(2) 試料と方法

試料は、第5号井戸跡の井戸材と、池状遺構関連施設の排水枡、第72号埋設桶の側板、第1104号土壌出土の下駄、第176号土壌出土の屋根材と思われる板材2点である。これらの試料から、剃刀を用いて3断面（横断面・接線断面・放射断面）の切片を採取し、ガムクロラールで封入してプレパラートを作製した。これを光学顕微鏡で観察し、写真撮影を行った。

(3) 結果

同定の結果、針葉樹のスギ・カラマツと、種不明の針葉樹（樹皮）、広葉樹のトネリコ属シオジ節（以下、シオジ節）の、4分類群が確認された。結果を第88表に示す。

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、光学顕微鏡写真を第366図に示す。

スギ

Cryptomeria japonica (L.f.) D. Don
スギ科

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急である。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は大型のスギ型で、1分野に通常2個並ぶ。スギは暖帯から温帯下部に生育する常緑高木である。材は比

較的軽軟で、切削加工は容易である。

カラマツ *Larix kaempferi* (Lamb.)

Carrière マツ科 第366図1a-1c (No. 2)

仮道管と垂直および水平樹脂道、放射組織、放射仮道管からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は比較的緩やかで、晩材部は広い。大型の樹脂道を薄壁のエピセリウム細胞が囲んでいる。分野壁孔は小型のヒノキ型で、1分野に4~5個みられる。また放射組織は数珠状末端壁を有し、放射組織の上下には放射仮道管がある。

カラマツは温帯に分布する落葉高木で、自生では宮城県・新潟県以南から中部山岳地帯の日当たりの良い山地に生育する。材は水湿に強い。

針葉樹（樹皮） Coniferous wood (Bark)
第366図2a-2c (No. 3)

師細胞および師部放射組織からなる二次細胞および周皮で構成される樹皮である。樹皮は対象標本が少なく、同定には至っていない。

トネリコ属シオジ節

Fraxinus sect. Fraxinaster モクセイ科
第366図3a-3c (No. 1)

年輪のはじめに大型の道管が数列並ぶ環孔材で、晩材部では厚壁の小道管が単独もしくは放射方向に2~3個複合して散在する。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、1~3列幅である。シオジ節は温帯に分布する落葉高木で、シオジとヤチダモがある。材はやや重硬で粘りがあり、加工性および保存性は中庸である。

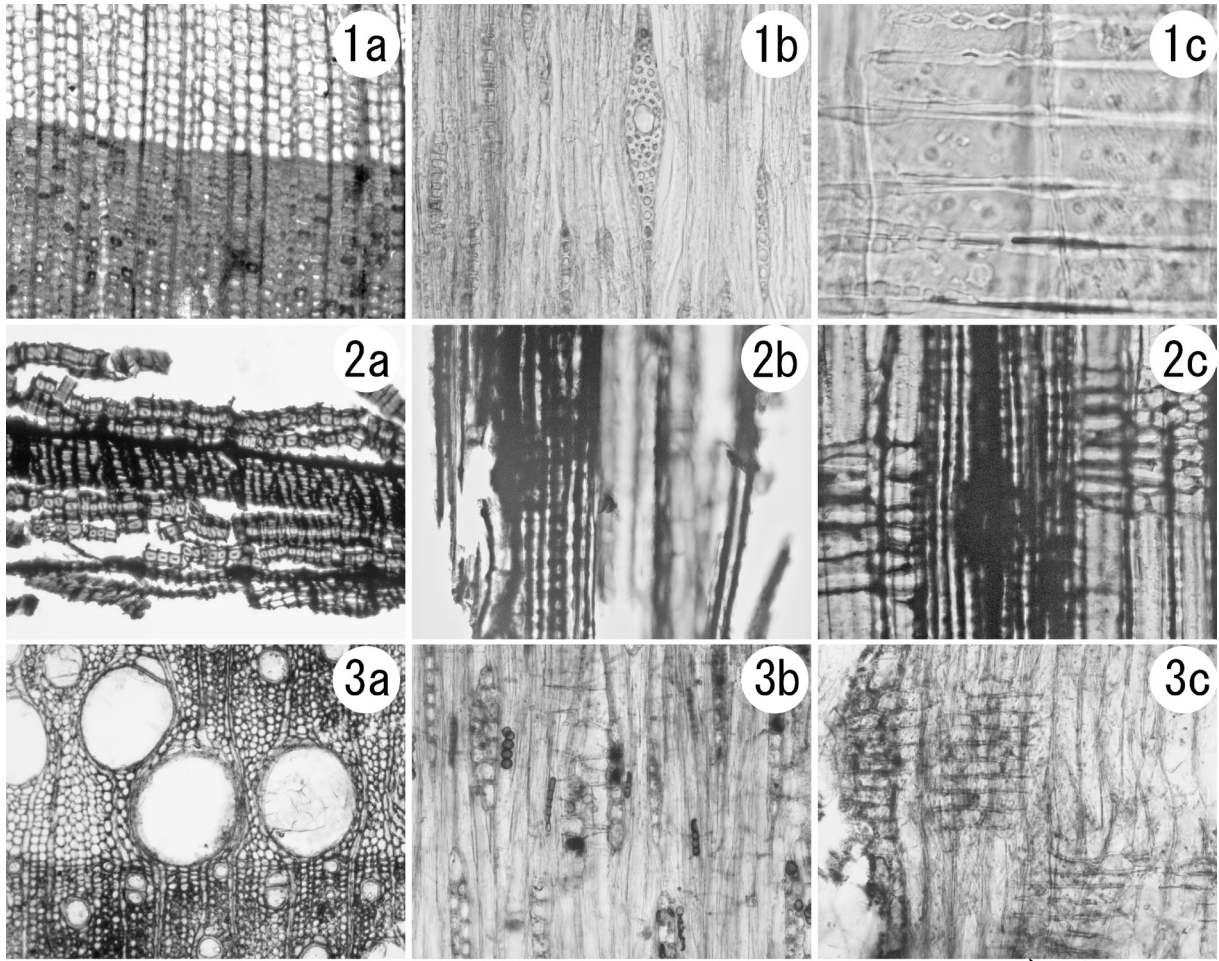
(4) おわりに

下駄は、広葉樹のシオジ節であった。東京都では、近世以降の下駄材としてクリヤマツ属複維管束亜属、ヒノキ、スギが多く、トネリコ属も比較的多く確認される（伊東・山田編，2012）。

屋根材と思われる板材はカラマツと、針葉樹の樹皮であった。なお、樹皮は厚さ0.5cm程の板状であった。これらが屋根材であった場合、木材と

第88表 樹種同定結果

遺構	位置	器種	樹種	木取り
第5号井戸跡	-	井戸材	スギ	追証目
排水枡	-	排水枡	スギ	板目
第72号埋設桶	-	桶側板	スギ	証目
第1104号土壌	No. 28	下駄	トネリコ属 シオジ節	証目
第176号土壌	-	屋根材カ	カラマツ	証目
第176号土壌	-	屋根材カ	針葉樹樹皮	板目状



スケール：■■■■■

1a-1c. カラマツ (No. 2) 、2a-2c. 針葉樹樹皮 (No. 3) 、3a-3c. トネリコ属シオジ節 (No. 1)
 a : 横断面 (スケール=250 μ m) 、b : 接線断面 (スケール=100 μ m) 、c : 放射断面 (スケール=1:25 μ m
 、2・3:=100 μ m)

第 366 図 木製品の光学顕微鏡写真

樹皮の両方を使用した可能性がある。カラマツは、自生では東北地方南部から中部地方の山地に生育する落葉高木の針葉樹であり、遺跡周辺には生育していない。鈴木・能城 (2008) によると、18世紀後葉以降では江戸近郊における植林材の生産・流通が拡大し、江戸の町屋における土

木・建築用材でアカマツやスギ、カラマツなどの木材が比較的多く利用されている。埼玉県内ではカラマツの出土例は確認されていないが、本遺跡でも江戸地域と同様な木材の流通があり、カラマツが屋根材として利用されたと推測される。

引用文献

平井信二 (1996) 木の大本科. 394p, 朝倉書店.

伊東隆夫・山田昌久編 (2012) 木の考古学—出土木製品用材データベース—. 449p, 海青社.

鈴木伸哉・能城修一 (2008) 東京都中央区日本橋一丁目遺跡出土木材からみた江戸の町屋における土木・建築用材の変遷とその背景. 植生史研究 16 (2), 57-72.

3 大型植物遺体

(1) はじめに

栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺体の同定結果を報告し、当時の利用植物や栽培状況について検討した。

(2) 試料と方法

試料は、遺構確認面と土壌から目視で回収されたものである。同定・計数は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。完形または一部が破損していても一個体とみなせるものは完形として数え、一個体に満たないものは破片とした。

(3) 結果

木本植物では広葉樹のヒメグルミ核とハンノキ属翼果、モモ核、トチノキ種子の4分類群、草本植物ではササゲ属アズキ亜属アズキ型（以下アズキ型）炭化種子とワタ種子、メロン仲間種子、スイカ種子、オオムギ炭化果実・炭化種子の5分類群が見出された。このほか昆虫遺体がみられたが同定の対象外とした。結果を第89表に示す。次に、主な大型植物遺体の記載を行い、第367図に写真を示して同定の根拠とする。

ヒメグルミ *Juglans mandshurica* var.

cordiformis (Makino) Kitam. 核 クルミ科

茶褐色で、完形ならば上面観は楕円形、側面観は先端が尖る広卵形。外面中央にやや深い溝が走るが、他が平滑な点でオニグルミとは異なる。明瞭な縫合線がある。長さ24.4mm、幅24.4mm、残存厚10.1mm。

ハンノキ属 *Alnus* sp. 翼果 カバノキ科

茶褐色で、扇形。基部に着点がある。長さ5.7mm、幅4.7mm。

モモ *Amygdalus persica* L. 核 バラ科

黄褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観は楕円形で先が尖る。下端に大きな着点がある。表面に不規則な深い皺がある。片側側面には縫合線に沿って深い溝が入る。産出した9点の大きさは、長さ24.4~33.9（平均29.2±3.1）mm、幅17.7~22.2（平均19.8±1.3）mm、厚さ12.9~15.2（平均13.6±0.8）mm。

トチノキ *Aesculus turbinata* Blume

種子 トチノキ科

黒褐色で楕円形。下半部は褐色で光沢がなく、上半部は黒褐色でやや光沢がある。上下の境目の下に少し突出した着点がある。種皮は薄くやや硬い。種皮は3層からなり、各層で細胞の配列方向が異なる。種皮表面には指紋状の微細模様が密にある。長さ25.7mm、幅30.7mm。

ササゲ属アズキ亜属アズキ型

Vigna angularis (Willd.) Ohwi et H. Ohashi var. *angularis* 炭化種子 マメ科

上面観は方形に近い円形、側面観は方形に近い楕円形。臍は残存していない。臍の痕跡は全長の半分から2/3ほどの長さで、片側に寄る。種瘤はみえない。長さ4.7mm、幅3.1mm、厚さ3.0mmで、小畑（2008）に示された現生種と比較すると栽培種に近い大きさであるが、産出数が1点のためアズキ型とした。

ワタ

Gossypium arboreum L. var. *obtusifolium* (Roxb.) Roberty 種子 アオイ科

紫褐色で、倒卵形体。端部が又状に分岐する。基部は中央からややずれた位置につく。先端と基部を結ぶ浅い稜線が縦方向に1周する。表面はざらつく。長さ9.2mm、幅5.5mm、厚さ5.4mm。

第89表 大型植物遺体同定結果

	部位	SK13	SK63	SK64	SK77	桶 29	C6-C3
ヒメグルミ	核	-	-	-	(1)	-	-
ハンノキ属	翼果	-	-	-	-	1	-
モモ	核	-	-	-	-	-	2
トチノキ	種子	-	-	3	-	-	-
ササゲ属アズキ亜属アズキ型	炭化種子	-	-	-	-	1	-
ワタ	種子	225(575)	-	-	-	1	-
メロン仲間	種子	-	386(7)	-	-	-	-
スイカ	種子	-	19(1)	-	-	-	-
オオムギ	炭化果実	-	-	-	-	908(93)	-
	炭化種子	-	-	-	-	12(9)	-
その他	昆虫	(++)					

() 内は破片数 + : 1-9 ++ : 10-49

メロン仲間 *Cucumis melo* L. 種子 ウリ科

黄褐色～褐色で、上面観は扁平、側面観は倒卵形。表面は平滑で、基部は突出せず直線状の隆線となる。藤下（1984）は、種子の大きさからおおむね次の3群に分けられるとしている。長さ6.0mm以下は雑草メロン型、長さ6.1～8.0mmはマクワウリ・シロウリ型、長さ8.1mm以上はモルディカメロン型である。任意に抽出した種子10点の大きさは、長さ6.5～9.1（平均8.1±0.9）mm、幅3.2～4.0（平均3.7±0.3）mmで、大きさで分類するとマクワウリ・シロウリ型とモルディカメロン型の種子が含まれるが、平均値はモルディカメロン型であった。

スイカ *Citrullus lanatus* (Thunb.)

Matsum. et Nakai 種子 ウリ科

黄褐色で、倒卵形。表面は平滑。基部両側に薄い突出部がある。周囲を縁取る肥厚がわずかに見られる。長さ11.4mm、幅7.3mm。

オオムギ *Hordeum vulgare* L.

炭化果実・炭化種子 イネ科

果実の上面観は円形、側面観は長倒卵形。縦方向に筋がある。長さ4.9mm、幅2.9mm、厚さ2.3mm。種子は側面観が長楕円形、腹面中央部には上下に走る1本の溝がある。背面の下端中央部には三角形の胚がある。断面は楕円形である（Jacomet, 2006）。長さ5.4mm、幅2.9mm、厚さ2.4mm。

（４）おわりに

出土した大型植物遺体を検討した結果、栽培植物のモモとワタ、メロン仲間、スイカ、オオムギが得られた。メロン仲間は、マクワウリ・シロウ

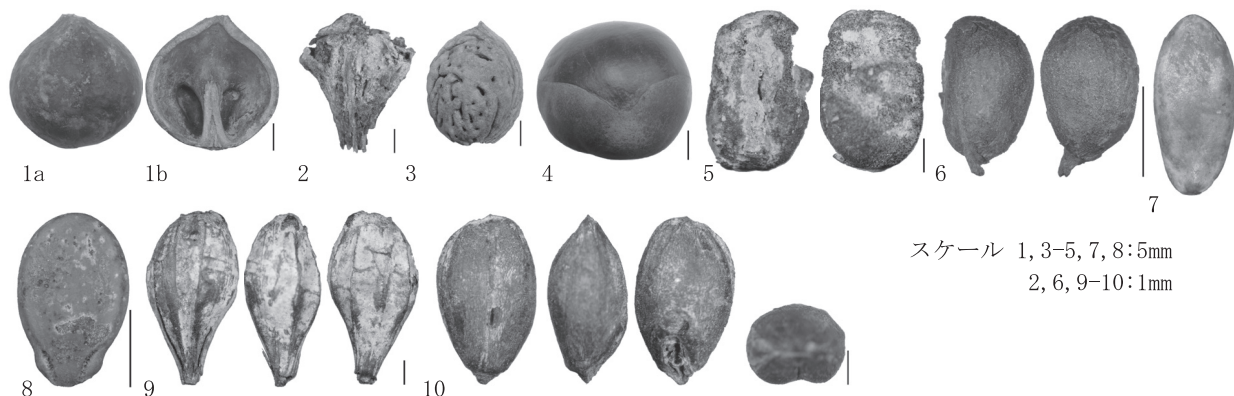
リ型からのモルディカメロン型の大きさの種子が含まれるが、大きさの平均値はモルディカメロン型であった。第63号土壌からはメロン仲間の種子が400点近く得られているが、発掘調査の所見によれば、特に一ヶ所や複数ヶ所からまとまって産出するような状況はみられていない。アズキ型は栽培種であるアズキに近い大きさであるが、栽培種と野生種双方の可能性はある。このほか、野生植物で食用可能なヒメグルミとトチノキが得られた。ハンノキ属は周辺に生育していて、翼果が遺構覆土内に堆積したと考えられる。

ワタは子房が発達して形成される朔果（ball）の内部の種子表面から白い綿毛が生じ、この繊維を綿として利用するために栽培される。繊維採取後の種子から取られた綿実油は、食用油として利用されるほか、絞るかすはタンパク質に富み、肥料や家畜の飼料となる。発掘調査の所見によれば、ワタは容器に入れられていたかのようにまとまって出土しており、保管されていたと考えられる。同様に約1000点出土したオオムギもまとまった状態で出土しており、殻付き（果実）の状態でも保管されていたものが何らかの要因で炭化したと考えられる。

今回、回収された種実ほとんどが食用ないし利用可能な種実であり、遺構周辺は食料の栽培や繊維（ワタ）栽培ないし利用のためにかなり人の手が加わった環境であったと推定される。今回は目視で回収された種実を中心に検討したが、今後、堆積物中の微細な種実をあわせて検討すれば、利用植物や栽培植物に関して、より詳しい情報が得られると考えられる。

引用文献

- 藤下典之（1984）出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法. 渡辺直経編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学—総括報告書」：638-654, 同朋舎出版.
- Jacomet, S. and collaborators Archaeobotany Lab. (2006) Identification of cereal remains from archaeological sites. 2nd edition, IPAS, Basel Univ.
- 小畑弘己（2008）マメ科種子同定法. 小畑弘己編「極東先史古代の穀物3」：225-252, 熊本大学.



1. ヒメグルミ核 (SK77)、2. ハンノキ属翼果 (桶29)、3. モモ核 (C6-C3)、4. トチノキ種子 (SK64)、
5. ササゲ属アズキ亜属アズキ型炭化種子 (桶29)、6. ワタ種子 (SK13)、7. メロン仲間種子 (SK63)、
8. スイカ種子 (SK63)、9. オオムギ炭化果実 (桶29)、10. オオムギ炭化種子 (桶29)

第367図 大型植物遺体

4 動物遺体

(1) はじめに

出土した動物遺体の同定を行った。

(2) 試料と方法

動物遺体は、水洗されタッパーに1片ずつあるいは複数片ずつが収められていた。同定した点数は、『本陣跡 I』報告分と合わせて238点以上である。同定は、目視と実体顕微鏡下で、現生標本と比較して行った。観察の際、切創など解体や調理の痕跡についても注意した。保存状態が良好な試料については、ノギスを用いて計測を行った。

(3) 結果

同定されたのは、貝類の腹足綱6分類群と、二枚貝綱5分類群、硬骨魚綱6分類群、哺乳綱3分類群、爬虫綱1分類群、計21の分類群である(第90・91表・第368図)。

貝類

第111号土壌でアワビ属の貝殻破片が2個体分見られた。アワビ属にはメガイアワビ、クロアワビ、マダカアワビなどがある。なお、江戸ではアワビ類は屋敷地内からの出土が多く、庶民生活を反映したごみ穴からの出土は少ないとされる(金子, 2001)。ダンベイキサゴの殻1点がSK29で見られた。ダンベイキサゴは、海産で、水深10m内外の外海に面した砂地に生息する。食用とな

る。ツメタガイの殻1点が池状遺構で見られた。ツメタガイは、海産で、浅海の砂地に生息する。食用となる。オオタニシは、池状遺構で殻(殻皮付き)が6点、蓋が2点見られた。オオタニシは、淡水産で、池沼や河川、水路、水田などに生息する。食用となる。微小巻貝も池状遺構で7点見られたが、食用ではないであろう。

マガキの殻が池状遺構で1点見られた。マガキは、海産～汽水産で、浅海の岩礁や砂地にカキ礁を形成して生息する。食用となる。シジミ属の左殻(殻皮付き)が9点と右殻(殻皮付き)が7点、池状遺構で見られた。シジミ属には、淡水に生息するマシジミと汽水に生息するヤマトシジミがある。栗橋宿周辺ではマシジミが採取可能であったはずだが、今回の資料は、他に出土している海産貝のように河口付近から持ち込まれたヤマトシジミの可能性もある。どちらも食用となる。

ハマグリ(殻皮付き)は、第94号土壌で左殻4点、右殻3点、SK111で左殻5点、右殻7点、池状遺構で左殻1点、右殻1点が見られた。ハマグリは、海産で、内湾浅海の砂泥地に生息する。食用となる。アサリの殻が第48号土壌で1点見られた。アサリは、海産貝で、内湾浅海の砂泥地に生息する。

第 90 表 分類群一覧

軟体動物門 Mollusca	
腹足綱 Gastropoda	
軟体動物門 Mollusca	
腹足綱 Gastropoda	
アワビ属の一種 <i>Haliotis sp.</i>	
ダンバイキサゴ <i>Umbonium giganteum</i>	
ツメタガイ <i>Glossaulax didyma</i>	
オオタニシ <i>Cipangopaludina japonica</i>	
微小巻貝 Gastropoda ord., fam., gen. et sp. indet.	
二枚貝綱 Bivalvia	
マガキ <i>Crassostrea gigas</i>	
シジミ属 <i>Corvicula sp.</i>	
ハマグリ <i>Meretrix lusoria</i>	
アサリ <i>Ruditapes philippinarum</i>	
脊椎動物門 Vertebrata	
硬骨魚綱 Osteichthyes	
硬骨魚綱の一種 Osteichthyes ord., fami., gen. et sp. indet.	
ブリ属 <i>seriola sp.</i>	
マダイ亜科 <i>Pagrinae gen. et sp. indet.</i>	
マグロ属 / カツオ scombridae gen. et sp. indet.	
ヒラメ <i>Paralichthys olivaceus</i>	
哺乳綱 Mammalia	
哺乳綱の一種 Mammalia ord., fam., gen. et sp. indet.	
ウシ <i>Bos taurus</i>	
シカ <i>Cervus nippon</i>	
爬虫綱 Reptilia	
スッポン <i>Pelodiscus sinensis</i>	

第 91 表 動物遺体一覧

遺構	分類群	左右	部位	部分・状態	数量	備考	
SK29	ダンバイキサゴ	一	殻	完存	1	殻径 35.3 mm	
	硬骨魚綱	右	角骨	完存	1	最大長 65.7 mm、標本不足	
		不明	不明	破片	4		
	ブリ属	左	歯骨	1/3 欠、半欠	2	1/3 欠片の歯骨長 56.9 mm	
		一	尾椎	ほぼ完存	1		
	マダイ亜科	左	前上顎骨	一部欠く	1	前上顎骨長 41.8 mm	
		左	歯骨	完存	1	歯骨高 14.1 mm、歯骨長 43.2 mm	
	マグロ属 / カツオ	一	尾椎	尾柄部	2		
ヒラメ	一	角骨	完存	1	最大長 51.9 mm		
シカ	不明	角	角座	2	幼獣、♂		
SK48	アサリ	右	殻	ほぼ完存	1	殻長 35.6 mm	
SK94	ハマグリ	左	殻・殻皮	破片～ほぼ完存	4	2 組は合弁 左殻の殻長は 44.6mm と 45.9mm、右殻の殻長は 40.7mm	
		右	殻・殻皮	破片～ほぼ完存	3		
SK111	アワビ属	一	殻	破片	2	2 個体分	
	ハマグリ	左	殻・殻皮	ほぼ完存～完存	5	” 組は合弁 右殻の殻長 30.6、32.3、35.7、40.7、51.2、61.5、73 mm ”	
		右	殻・殻皮	ほぼ完存～完存	7		
	硬骨魚綱	不明	不明	破片	1		
	スッポン	右	腹甲	中腹骨板～下腹骨板	1		
池状遺構 (東部)	ツメタガイ	一	殻	完存	1	殻径 15.2 mm、殻高 12.8、自然の穿孔	
	オオタニシ	一	殻・殻皮	1/3 欠く	1		
	微小巻貝	一	殻	ほぼ完存～完存	7		
	マガキ	左	殻	完存	1	殻長 61.7 mm、殻高 65.0 mm	
	シジミ属	左	殻・殻皮	破片～ほぼ完存	9	1 組は合弁 左殻の殻長 24.5、28.3、29.5、30.6、32.0 mm ”	
		右	殻・殻皮	ほぼ完存	7		
	ハマグリ	左	殻・殻皮	ほぼ完存	1	左右合弁、殻長 29.3 mm	
	ウシ	右	下顎切歯	完存	2		
	池状遺構 (西部)	オオタニシ	一	殻・殻皮	半欠	5	
		哺乳綱	不明	蓋	完存	2	
桶 37	ネズミ類?	右	長骨	骨幹～遠位端	1	大腿骨?	
		右	寛骨	完存	1	最大長 36.3 mm	

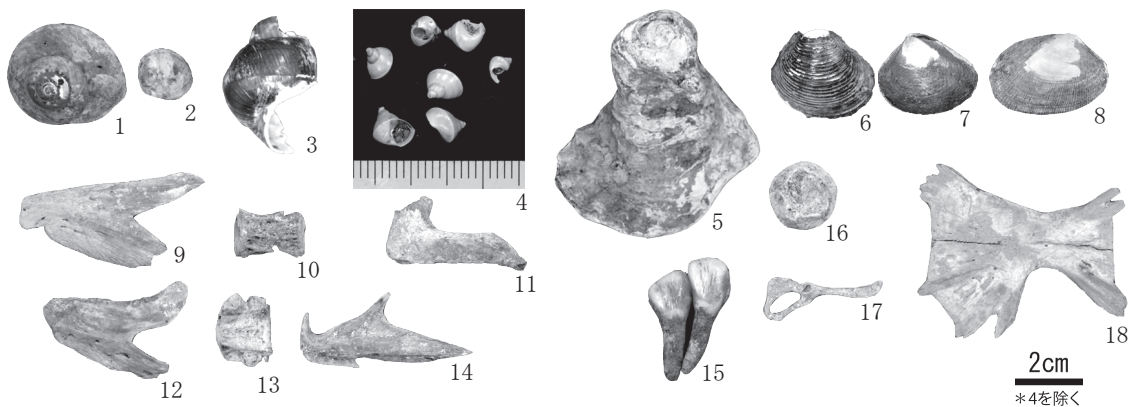
魚類

ブリ属は、第29号土壌で左歯骨 2 点と尾椎 1 点が見られた。ブリ属には、ブリやカンパチ、ヒラマサなどがある。いずれも海産の回遊魚である。食用となる。マダイ亜科は、第29号土壌で左前上顎骨 1 点と左歯骨 1 点が見られた。マダイ亜科にはマダイとチダイがある。いずれも海産で、沿岸や沖合に生息する。高級な魚として好んで食べ

られたのであろう。マグロ属あるいはカツオの可能性のある尾椎が第29号土壌で 2 点見られた。食用となる。ヒラメは、第29号土壌で右角骨 1 点が見られた。ヒラメは海産で、沿岸の砂泥地に生息する。食用となる。

哺乳類

ウシは、池状遺構で右下顎切歯 2 点が見られ



1. ダンバイキサゴ (SK29) 2. ツメタガイ (池状遺構東部) 3. オオタニシ (池状遺構東部) 4. 微小巻貝 (池状遺構東部) 5. マガキ左殻 (池状遺構東部) 6. シジミ属左殻 (池状遺構東部) 7. ハマグリ左右合弁 (池状遺構東部) 8. アサリ右殻 (SK48) 9. ブリ属左歯骨 (SK29) 10. ブリ属尾椎 (SK29) 11. マダイ亜科左前上顎骨 (SK29) 12. マダイ亜科左歯骨 (SK29) 13. マグロ属 / カツオ尾椎 (SK29) 14. ヒラメ右角骨 (SK29) 15. ウシ右下顎切歯 (池状遺構東部) 16. シカ角 (SK29) 17. ネズミ類? 右寛骨 (桶 37) 18. スッポン腹甲 (SK111)

第 368 図 動物遺体

た。ウシは、運搬用や食用が考えられるが、確認されているのは歯のみであるため評価が難しい。シカは、第29号土壌で角破片が2点見られた。これらの試料は鹿角製品の一部であったかもしれない。

また、ネズミ類の可能性のある小型の哺乳類の右寛骨1点が第37号埋桶で見られた。

爬虫類

第111号土壌では、スッポンの腹甲が1点見られた。スッポンは淡水に生息する。食用となる。

引用文献

金子浩昌 (2001) 食料残滓とその他の動物遺体. 図説江戸考古学研究事典, 393-402, 柏書房.

5 木製品の樹種同定

(1) はじめに

出土した木製品のうち、下駄類を中心に樹種を同定する。なお、同定方法については、『本陣跡 I』第V章-8に記載しているので省略する。

(2) 試料

本書に関わる試料は木製品30点である(分析No.2-[数字])。顕微鏡写真については、『本陣跡 I』報告分(分析No.1-[数字])についても掲載する(第369~373図)。

(3) 結果

樹種同定結果を第92表に示す。木製品は、針葉樹5分類群、広葉樹7分類群とイネ科タケ亜科に同定された。次に『本陣跡 I』V章-8で報告した範囲に認められなかったヤナギ属とイネ科タケ亜科について解剖学的特徴を記す。

・ヤナギ属 (*Salix*) ヤナギ科

散孔材で、道管は単独または2-3個が複合して散在し、年輪界付近で径を減少させる。道管は、単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、単列、1-15細胞高。

・イネ科タケ亜科

(*Gramineae subfam. Bambusoideae*)

原生木部の小径の道管の左右に1対の大型の道

(4) おわりに

以上に示した動物遺体同定結果から、やや内陸に位置する栗橋宿に海産物が流通していた様子がかがわれる。また、動物遺体は、栗橋宿の本陣に宿泊した大名や幕府役人などに供された食材の一部と考えられる。たとえば、メガイアワビやマダイ亜科は高級食材として食事に供されたであろう。ただし、本陣で働く人の食事の残滓も含まれているかもしれない。

管があり、外側に師部細胞がある。これらを厚壁の繊維細胞(維管束鞘)が囲み維管束を形成する。維管束は柔組織中に散在し、不斉中心柱をなす。

(4) おわりに

以下、『本陣跡 I』V章-8で報告した木製品も含めてまとめる。同定の結果、計15種類の樹種が確認された。各種類の材質等についてみると、針葉樹のマツ属複維管束亜属は、針葉樹としては重硬な部類に入り、強度と保存性が高い。スギ、ヒノキ、ヒノキ科は木理が通直で割裂性と耐水性が比較的高い。広葉樹のクリとケヤキは重硬で強度と耐朽性が高い。ハンノキ属、ブナ属(近似種)、コナラ節、トネリコ属も重硬で強度が高い部類に入る。ケンポナン属は、強度等が中程度とされる。キハダは軽軟で強度は低い、耐朽性が高いとされる。ヤナギ属は、軽軟で強度と保存性が低い。タケ亜科は、強靱で強度、靱性、耐水性が高い。

器種別にみると、全体の半数以上を占める下駄は、無限下駄、刳り下駄を含む連歯下駄、差歯下駄があり、差歯下駄は歯の組合せ方法の違いから、露卯と陰卯の2タイプが確認されている。下駄の分類別の種類構成を第93表に示す。

無限下駄は、楕円形の板目板状あるいは柁目板

第92表 樹種同定結果一覧

図版No.	分析No.	調査面	遺構番号	掲載番号	種類	分類	部位	木取り	種類	備考	
2-1	2-1	第一面	SK48	第243図47	下駄	V. 無限		板目	マツ属複維管束亜属		
2-2	2-2		SK65	第246図109	下駄	IV. 陰卯		桁目	キハダ		
2-3	2-3			第246図106	下駄	I. 連歯		桁目	クリ		
2-4	2-4		SK84	第248図148	下駄	I. 連歯		桁目	クリ		
2-5	2-5		SK65	第246図108	下駄	III. 露卯		板目	ケンボナシ属		
2-6	2-6		SK196	第250図183	下駄	I. 連歯		桁目	クリ	漆塗	
2-7	2-7		SK198	第250図189	下駄	IV. 陰卯	台	桁目	ケンボナシ属		
							後歯	板目	ケヤキ		
2-8	2-8		SK201	第251図201	下駄	V. 無限		桁目	マツ属複維管束亜属		
2-9	2-9			第251図199	下駄	II. 割り		桁目	スギ		
2-10	2-10	SK210	第251図213	下駄	II. 割り		板目	スギ			
2-11	2-11	第二面	SK1001	第343図1	下駄	IV. 陰卯	台	桁目	ケンボナシ属		
2-12	2-12		SK1004	第343図5	下駄	I. 連歯		板目	コナラ属コナラ節		
2-13	2-13		SK1032	第344図22	下駄	I. 連歯		桁目	ヒノキ		
2-14	2-14		SK1048	第345図47	下駄	III. 露卯	台	桁目	ヒノキ		
							後歯	桁目	スギ		
2-15	2-15		SK1061	第346図63	下駄	III. 露卯		板目	キハダ		
2-16	2-16			第346図64	下駄	II. 割り		桁目	ヒノキ科		
2-17	2-17		SK1074	第346図69	下駄	III. 露卯		板目	キハダ		
2-18	2-18			第346図68	下駄	IV. 陰卯		桁目	ヤナギ属		
2-19	2-19		SK1104	第347図87	下駄	IV. 陰卯	台	桁目	ケンボナシ属		
		歯		板目	ケンボナシ属						
2-20	2-20	第347図88	下駄	I. 連歯		桁目	クリ				
2-21	2-21	第一面	SK63	第244図73	箸			削出丸棒	タケ亜科	漆塗	
2-22	2-22			第244図72	箸				削出丸棒	タケ亜科	漆塗
2-23	2-23			第244図70	箸				分割棒状	スギ	
2-24	2-24			第244図69	箸				分割棒状	スギ	
2-25	2-25	第二面	SK1097	第347図72	箸			分割棒状	スギ		
2-26	2-26			第347図73	箸				分割棒状	スギ	
2-27	2-27			第347図75	箸				分割棒状	スギ	
2-28	2-28			第347図74	箸				分割棒状	スギ	
2-29	2-29	第一面	池状遺構西部	第79図7	建築材	栈材		桁目	スギ		
2-30	2-30			写真17-6	桶材	風呂桶		板目	スギ		

状で、つま先に向かって下面が薄くなり、土踏ま
ず付近の下面両脇に挟りがある。台表には前2箇
所、後ろ1箇所の挟りがあり、挟り内には釘穴が
認められる。前2箇所の挟りは、資料によっ
ては繋がって凹字状またはU字状を呈することがあ
る。これらの無限下駄は、いずれもマツ属複維管
束亜属に同定され、マツ材の選択的な利用が推定
される。マツ属複維管束亜属は、水に強い一方
で、松脂が多いという特徴があるため、表面に草
鞋等を固定して、肌が直接木に触れないような状
況で利用したことが推定される。同タイプの下駄
の調査事例をみると、白鷗遺跡(東京都台東区)
で出土した下駄も全てマツ属複維管束亜属であ
り(都立学校遺跡調査会, 1990)、今回の結果と整
合的である。また、伊東・山田(2012)のデータ

第93表 下駄の分類別種類構成

分類群\器種	無限	連歯	割り	陰卯	露卯	合計
	本体	本体	本体	台	台	
針葉樹						
マツ属複維管束亜属	6					6
スギ			2	1		4
ヒノキ		1			1	2
ヒノキ科		1	1			2
広葉樹						
ヤナギ属				1		1
ブナ属近似種		1				1
コナラ属コナラ節		2				2
クリ		5		1		6
ケヤキ				1	4	5
キハダ				1	1	2
ケンボナシ属				6	2	9
トネリコ属		2				2
合計	6	12	3	11	7	44

ベースでは、四谷二丁目遺跡(東京都新宿区)の
無限下駄もマツ属複維管束亜属を主体として、ト
ウヒ属やヒノキが混じる組成となっている。

連歯下駄は、台と歯を一木で作るが、歯を

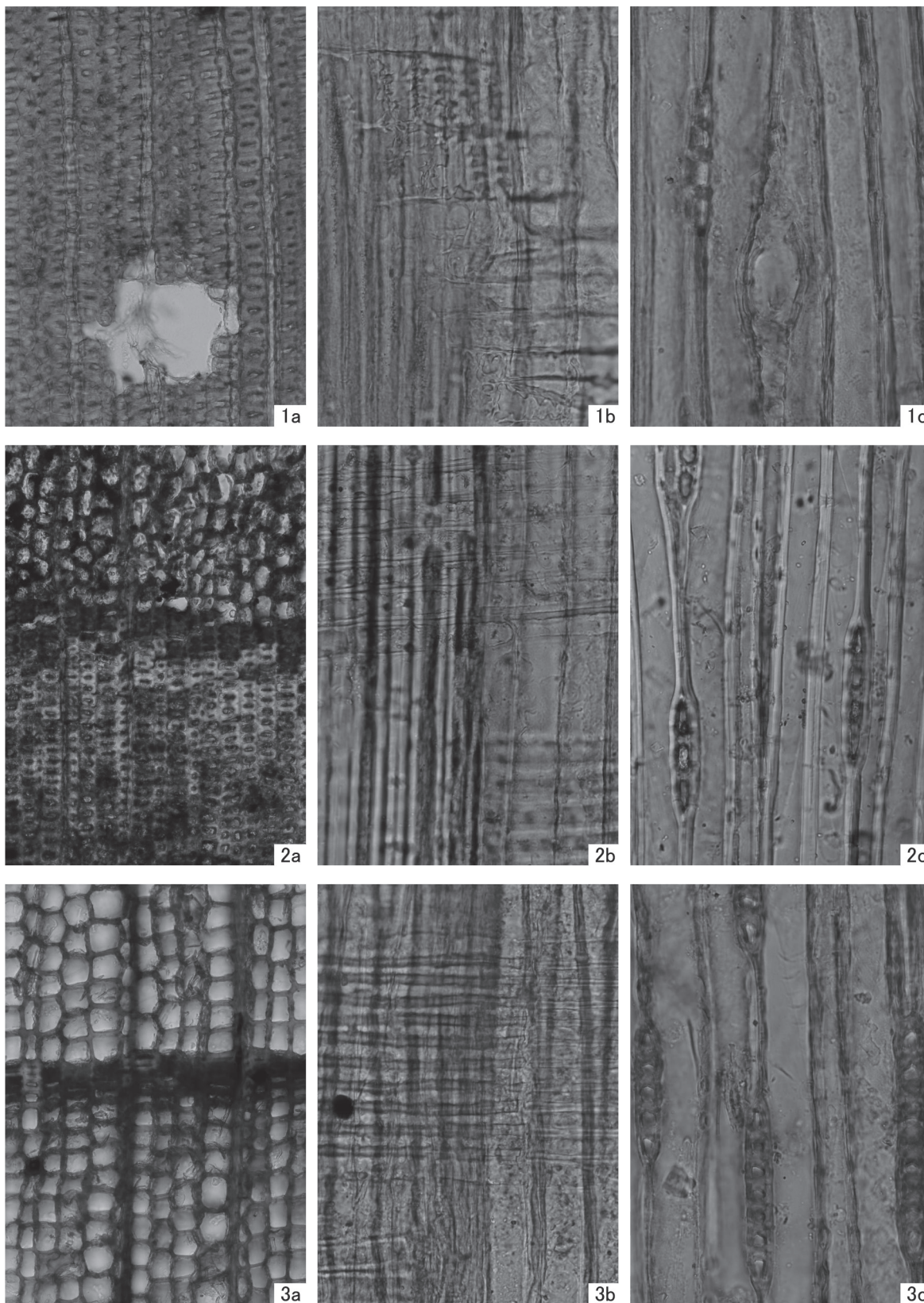
削り出す際に台と歯が直角になる資料(分析No. 1-2, 12, 2-4, 13, 20)や、曲線的に削り出す資料(分析No.1-3, 11, 15, 2-3, 6, 12)がある。多くの資料は台が長方形となるが、楕円形あるいは楕円形に近い形状の資料も4点(分析No.1-15, 2-4, 12, 13)ある。このうち1点(分析No.2-6)では漆塗りの資料で、一部に塗膜が残存している。連歯下駄では、合計6種類が認められ、資料数に対して種類数が多い。針葉樹ではヒノキやヒノキ科が、広葉樹ではクリを中心に4種類が確認された。広葉樹についてみると、いずれも重硬で強度が高い種類であり、強度を考慮した用材選択が推定される。ヒノキやヒノキ科は加工性や耐水性等が用材選択の理由として考えられる。点数の多いクリを中心に、下駄の加工方法や台の形態と樹種の違いを検証したが、今回の結果では加工法や台の形態による用材選択の違いは認められない。なお、漆塗りの下駄はクリであった。

削り下駄は、隅丸長方形で台裏に緩やかに歯部を削り出す資料(分析No.2-9, 10)と、長方形で台の両端から直線的に歯部を作る資料(分析No. 2-16)がある。分析調査の結果では、いずれも針葉樹であり、前者が2点ともスギ、後者がヒノキ科に同定された。

差歯下駄は、台と歯を別材で作って組み合わせる下駄であり、台表に歯のホゾ穴が貫通する露卯下駄と、台表にホゾ穴の見られない陰卯下駄とがある。このうち陰卯下駄は、台が幅広の長方形で比較的薄い歯を取り付ける資料(タイプ1;分析No.1-5, 6)、幅の狭い長方形で台の断面が五角形になり、後ろの壺穴を歯の後ろ側に作るタイプ(タイプ2;分析No.1-8, 9, 19, 2-11, 19)、タイプ2に似るが、台が楕円形になる資料(タイプ3;分析No.1-2)、台が楕円形で台裏前部には結んだ鼻緒を収納する抉り、後ろには両方の壺穴を通した鼻緒を下面で結ぶ際の抉りを作るなど、全体的に作りが丁寧な資料(タイプ4;分析No.1-16, 2-7)、

後部の形状から楕円形と考えられ、薄い板状で歯を嵌めるホゾが僅かに残る資料(タイプ5;分析No.2-18)の5タイプが認められる。タイプ別にみると、タイプ1の台はスギとケヤキで、針葉樹と広葉樹が混在する。なお、ケヤキの台を持つ資料は、歯もケヤキであった。タイプ2は、最も資料数が多く、5点の資料があるが、台は全てケンポナシ属で統一される。歯は4点について同定を実施し、台と同じケンポナシ属が2点、ケヤキとキハダが各1点であった。タイプ3は、1点のみであり、トネリコ属に同定された。台の断面形状や後ろの壺穴を歯の後ろに作る構造はタイプ2に似るが、樹種が異なる。タイプ4はクリとケンポナシ属に同定され、歯はいずれもケヤキが使用される。タイプ5は、タイプ1の楕円形タイプの可能性もあるが破損しており、詳細は不明である。軽軟で強度が低いヤナギ属が利用されている。陰卯下駄では、重硬な木材の他にも、強度が中程度とされるケンポナシ属や軽軟であるが耐朽性があるキハダ、軽軟で強度と保存性が低いヤナギ属が使われるなど、連歯下駄に比べて使用される木材の材質に幅がある。形態別で樹種が異なることから、製作者による用材選択の違いも推定される。なお、分析No.1-16には漆塗りが認められ、クリに同定された。

露卯下駄は、4点中3点が楕円形(分析No. 2-5, 14, 17)、1点が長方形(分析No.15)となる。ホゾ穴は、壊れていて詳細不明の1点(分析No. 2-5)を除く3点が前後とも2箇所である。また、ホゾ穴を前後2箇所につくる3点は、台の形態や木取りが異なるが、いずれも前のホゾ穴が後ろのホゾ穴に対して中心より右側にややずれる特徴を持つ。4点中3点が広葉樹、1点が針葉樹である。樹種をみると、針葉樹ではヒノキ、広葉樹ではキハダとケンポナシ属が認められた。陰卯下駄や連歯下駄に比べて点数が少ないため、単純な比較はできないが、耐水性・耐朽性の高い木材が



1. マツ属複維管束亜属(分析No.1-27)

2. スギ(分析No.2-25)

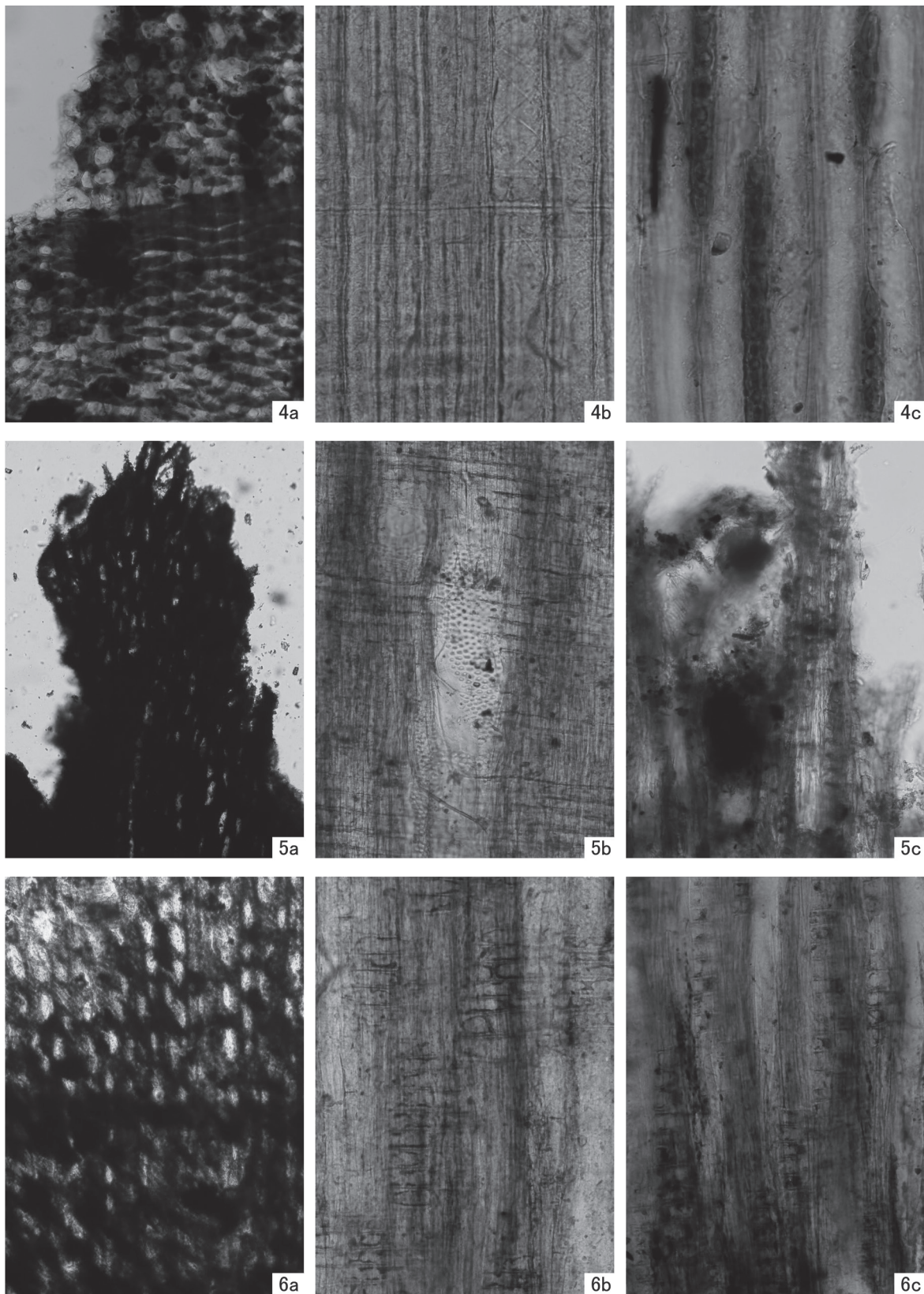
3. ヒノキ(分析No.2-13)

a: 木口, b: 柾目, c: 板目

100 μm a

100 μm b,c

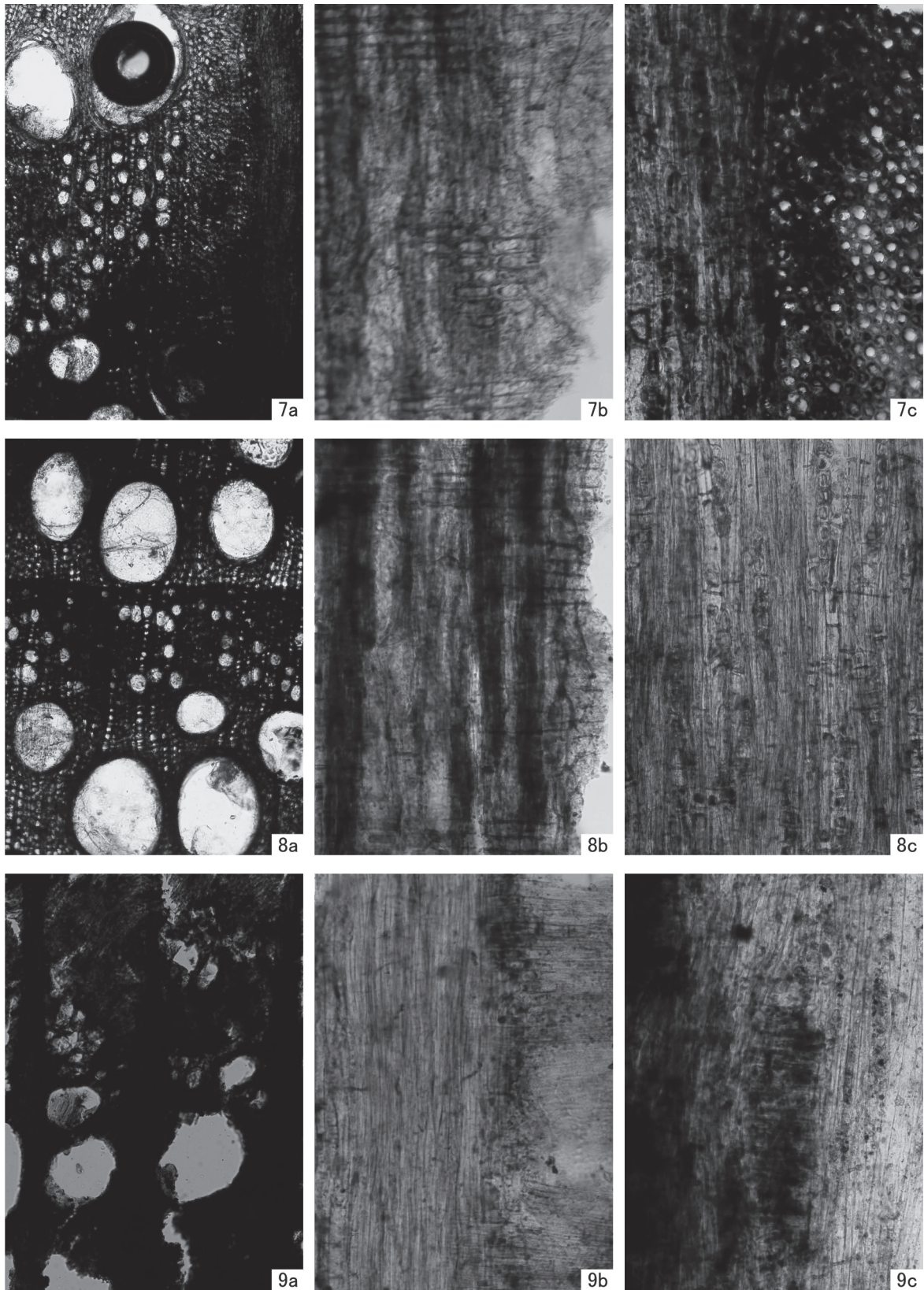
第 369 図 樹種同定顕微鏡写真 (1)



4.カヤ(分析No.1-17)
 5.ヤナギ属(分析No.2-18)
 6.ブナ属近似種(分析No.1-10)
 a: 木口, b: 柾目, c: 板目

100 μ m: 5-6a
 100 μ m: 4a, 5-6b, c
 100 μ m: 4b, c

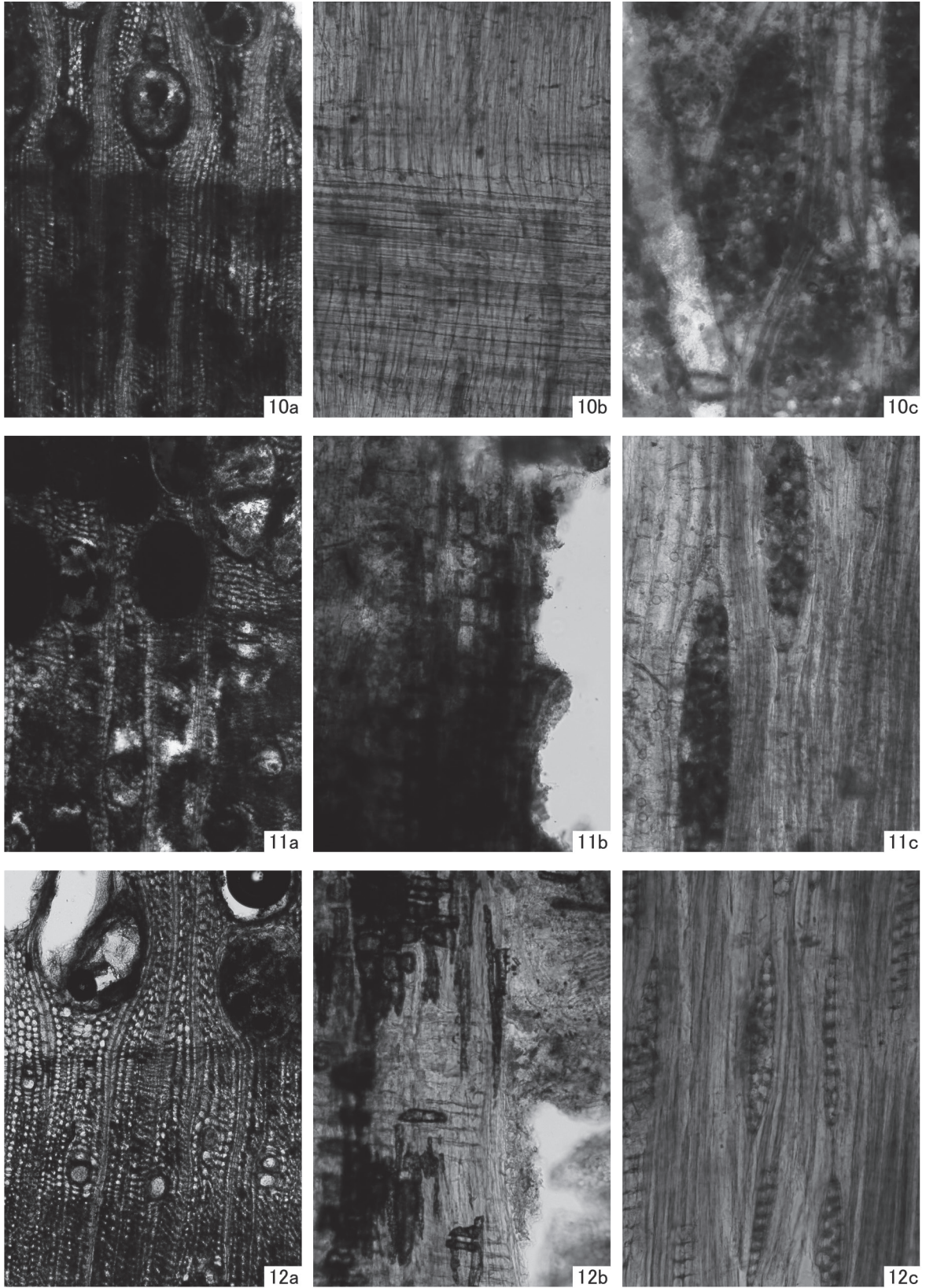
第 370 図 樹種同定顕微鏡写真 (2)



7.コナラ属コナラ節(分析No.1-12)
 8.クリ(分析No.2-4)
 9.ケヤキ(分析No.1-5;前歯)

100 μ m:a
 100 μ m:b,c

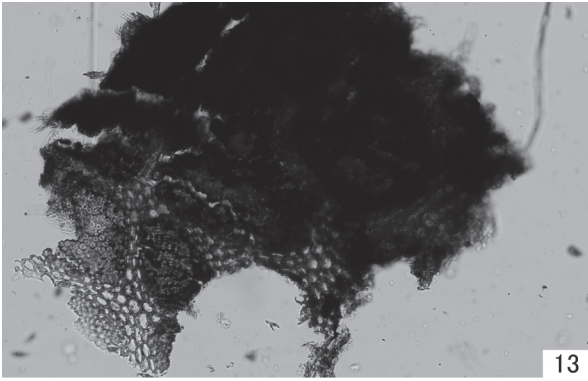
第 371 図 樹種同定顕微鏡写真 (3)



10.キハダ(分析No.2-15)
 11.ケンボナシ属(分析No.2-19)
 12.トネリコ属(分析No.1-15)

100 μ m:a
 100 μ m:b,c

第 372 図 樹種同定顕微鏡写真 (4)



13.イネ科タケ亜科(分析No.2-21) 横断面

第373図 樹種同定顕微鏡写真(5)

利用される傾向がある。今後、資料を増やしていくことで、他の下駄との用材の違いをより明確にできる可能性がある。

容器は、風呂桶側板1点がスギに同定され、比較的耐水性の高い木材の利用が推定される。また、風呂桶は比較的樹芯部に近い赤身部分を板目材で使っている。赤身部分は硬く、外側の白太部分に比べてより耐水性が高い。また、板目材は、細胞密度の高い晩材部が板の平坦面に対して比較的平行に層状に入るため、柁目材に比べて保水性

が高いとされる。したがって、風呂桶で使用することを前提に耐水性・保水性の高い部位・木取りで製作していることが推定される。

食器具の箸は、削出丸棒で漆塗りの資料(分析No.2-21, 22)と、断面不定形の分割棒状で白木の資料(分析No.1-17~24, 2-23~28)がある。漆塗りの2点は、いずれもタケ亜科に同定された。同様の事例は、千駄ヶ谷五丁目遺跡(東京都渋谷区)の江戸後半および明治~大正?とされる資料や、四谷二丁目遺跡(東京都新宿区)の江戸後半~明治とされる資料に確認できる(伊東・山田, 2012)。一方、白木の資料は全て針葉樹でスギが多いが、ヒノキ科やカヤも認められる。スギやヒノキ科については、近世の建築部材等に多く利用される樹種であり、製材時や加工時に生じる半端な部分(木端)等を箸に利用している可能性がある。カヤについては、伊東・山田(2012)のデータベースをみると、調査例の多い東京都でも、施設材・器具材等には認められるが、箸に確認された例は知られていない。

引用文献

- 林 昭三, 1991, 日本産木材 顕微鏡写真集. 京都大学木質科学研究所.
- 石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑. 石川茂雄図鑑刊行委員会, 328p.
- 伊東隆夫, 1995, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料, 31, 京都大学木質科学研究所, 81-181.
- 伊東隆夫, 1996, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料, 32, 京都大学木質科学研究所, 66-176.
- 伊東隆夫, 1997, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料, 33, 京都大学木質科学研究所, 83-201.
- 伊東隆夫, 1998, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料, 34, 京都大学木質科学研究所, 30-166.
- 伊東隆夫, 1999, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料, 35, 京都大学木質科学研究所, 47-216.
- 伊東隆夫・山田昌久(編), 2012, 木の考古学 出土木製品用材データベース. 海青社, 449p.
- Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E. (編), 2006, 針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修), 海青社, 70p. [Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E. (2004) IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification].
- 島地 謙・伊東隆夫, 1982, 図説木材組織. 地球社, 176p.
- 都立学校遺跡調査会, 1990, 白鷗 2. 282p.
- Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編), 1998, 広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修), 海青社, 122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].
- 吉川純子, 2015, 植物遺体. 小山崎遺跡発掘調査報告書一総括編一, 遊佐町埋蔵文化財調査報告書第10集, 遊佐町教育委員会, 162-165.

VI 調査のまとめ

栗橋宿跡本陣跡の北半部は、現在の町並みや各種絵図面によって、本陣の敷地と推定される。第一面の調査では、調査区の東側を大きく区画する溝跡や杭列が検出され、これが往時の本陣敷地と考えられる。一方で、第3号溝跡と第5号杭列の西側、及び第3・4号杭列の北側では、日光道中に面した建物跡が重複して検出されており、町屋の様相を示す。「Ⅲ遺跡の概要」で触れたように、『栗橋宿往還絵図』（年代不詳・江戸後期）ではこの部分に「由右衛門店」（南北方向の日光道中に沿った部分）あるいは「与四右衛門店」（東西方向に日光道中に沿った部分）と注記されており、本陣敷地でありながら主に店子が使用していたエリアと推定される。文化3年（1806）に将軍に献上された『五海道分間延絵図並見取絵図』でも、街道に面した部分には商家と思われる家並みが描かれ、本陣の建物はその奥に描かれる。検出された遺構と各種史料の情報はほぼ整合する。

（1）本陣敷地の様相

調査区東側を占める本陣敷地部分では、土壌の分布が希薄であった。一方、調査区東壁際で検出された第16号建物跡は、本陣建物の一部と考えられる。敷地内は、規模の大きな建物と周囲の空閑地で構成されていたと推定される。

敷地内の北側からは、池状遺構が検出された。遺物や土層堆積から、19世紀前半頃に構築され近代まで機能していたらしい。池の水は第3号竹樋と排水枡を経て西へ排水されたようである。調査区で検出された木樋・竹樋は、基本的に東部が高いようであり、これらは、西部の街道に沿った排水施設へ接続していた可能性がある。

第二面では、調査区東西を分かち明瞭な区画施設は検出されなかったが、土壌を中心とした遺構の粗密が、第一面の状況と変わらず、ほぼ同様の土地利用が想定される。一方で、より南側に展開

する宿場町との境界には大規模な溝跡（第11～14号溝跡）が重複して検出されている。このような大規模な溝が繰り返し構築されている場所は栗橋宿跡全体でも他に例が無い。後述する焼土層との関連から、これらの溝は18世紀後葉～末までの間に機能したものらしい。第一面でもほぼ同じ位置に第8・9号溝跡や第9・306号杭列が検出されており、区画自体に大きな変動は無い。ただし、第一面の区画施設は小規模である。第8号溝跡については、杭列との重複から本来側板を有す溝であったと推定される。つまり、19世紀前葉を画期とした「大型の溝」から「側板を持つ小型の溝」への変遷が窺われ、この間に焼土層が形成されていることも留意される。栗橋宿跡各所の調査では、第二面に区画施設が認められない点が指摘されているが、第一面の区画施設は杭列の例が多い。おそらく側板を有す溝が構築されるようになったのは、19世紀前葉以降であり、それ以前は、遺構として残りにくい区画施設であったと思われる。本陣・町屋境のような大規模な溝は、宿の中でも限られた場所に設けられた例とみるべきであろう。

（2）店子町屋の様相

久喜市所蔵『栗橋宿往還絵図』（以下『絵図』）は、19世紀前半に作成されたものと推定され、店子町屋部分も示されている。第374図は、現状の屋敷境と、検出された杭列等を比較して作成した『絵図』との対比案である。本陣より南の町屋に区画A・B・C…を用いているので、店子町屋部分は、南から①・②・③…を用いる。

区画①の様相 区画①～⑥は南北方向に延びる日光道中に沿った町屋と推定される。

本陣の出入口が想定される遺構空白部分より南側は、遺構が密集し区画は不明瞭である。現況では1つの敷地だが、『絵図』では2区画であるため、井戸跡の分布と第2号竹樋の位置から区画

①・②に分割した。区画①には井戸跡が3基あり、第11号井戸跡（18世紀後半）→第10号井戸跡（19世紀前半）→第8号井戸跡（19世紀中葉廃絶）→第9号井戸跡（19世紀中葉構築）の順で構築されている。敷地奥側には埋設桶が多い。『絵図』の「芋屋宇八」にあたる。

区画②の様相 第6号溝跡を北限とする。区画内に井戸跡が2基あり、第6号井戸跡が19世紀中葉、第7号井戸跡が19世紀後半の使用と想定される。『絵図』の「髪結七兵衛」にあたる。

区画③の様相 本陣の入口が想定される遺構空白部分の北側である。遺構密度はやや薄い。第1号土壌が敷地中心の西寄りに検出されており、地下蔵と考えられる。第一面では19世紀中葉の第5号井戸跡が敷地南寄りにある。第二面では18世紀の第16号井戸跡が敷地北奥側にあるが、第15号建物跡との関係から、第一・二面間で区画変動があった可能性もある。その場合、第16号井戸跡は区画④の施設とも考え得る。『絵図』の「煮売藤五郎」に当たる。

区画④の様相 区画④は19世紀前葉に廃絶した第2号建物跡が検出された部分である。現況区画と

建物範囲が一致しており、区画がこの頃から踏襲されてきたことを示す。綿種子がまとまって検出された第13号土壌が建物裏手に位置する。『絵図』の「足袋や金次郎」に当たる。

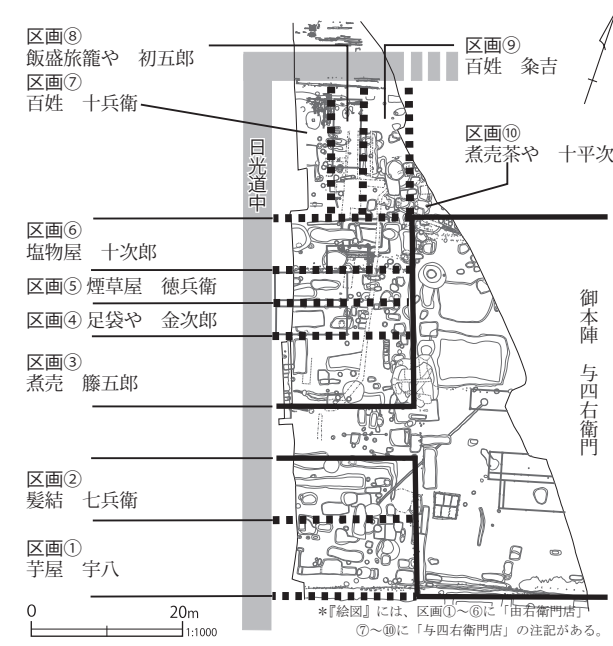
区画⑤の様相 19世紀前葉に廃絶した第4号建物跡の範囲で、現況区画と建物範囲が一致する。ただし、後述するように区画⑥との境が時期により変動している可能性がある。『絵図』の「煙草屋徳兵衛」にあたる。

区画⑥の様相 現況との比較から間口2間として推定したが、区画南限の杭列1に先行して、より北側に杭列2が認められる。19世紀中葉以降に区画が南へ広がっている可能性がある。一方で、19世紀前葉と考えられる第6号建物跡も区画範囲と齟齬があり、何度かの区画変動が推定される。区画奥側に土蔵建物と考えられる第1号建物跡がある。現況区画との対比から、建物跡の北辺が区画の北限とほぼ一致すると推定した。同じ位置に建物跡に先行する第2号木樋があり、区画北限については19世紀初頭以前から変動が無かったと考えられる。敷地裏手に第14号井戸跡があり、18世紀後葉に構築されたものと考えられる。上部に第1号建物跡が建つので、19世紀初頭には廃絶している。敷地南側の第2号井戸跡は19世紀後半の帰属である。『絵図』の「塩物屋十次郎」にあたる。

区画⑦の様相 区画⑦以東は、関所へ向かって日光道中がクランクする部分に伴う町屋で、南北に長い敷地を有す。隣接調査区（栗橋宿本陣跡第5次調査区）に跨っており、敷地の北側部分は、本書とは別に『栗橋宿跡V』で報告する。

区画⑦は、大部分が調査区外だが、街道が折れる角の敷地と考えられる。第7号杭列は区画⑥との敷地境と考えられ、隣接調査区の延長部では木樋として検出されている。敷地奥側は、木樋2が南限とみられる。『絵図』の百姓十兵衛にあたる。

区画⑧の様相 隣接調査区で街道に面した建物跡（栗橋宿本陣跡5次第4号建物跡）が検出されて



第374図 絵図と調査区の対比案

いる。瀬戸美濃系磁器端反碗や、硬質の瓦質土器焜炉が出土しており、19世紀中葉頃の建物跡と考えられる。本書の報告範囲はその裏手部分で、建物に沿うように複数の埋設桶が検出されている。また、推定767枚の銭貨が出土した第29号土壌が敷地奥に設けられていた。この土壌は穴蔵と思われるが、上述の建物範囲からは外れており、付属の施設は検出されていない。文久永宝1点が含まれ、文久3年(1863)からさほど降らない時期の廃絶と思われる。遺物の出土状況から不時の事故による廃絶とも思われる。慶應3年(1867)には、世情不安による打ちこわしが栗橋宿にも及び「本陣由右衛門宅打ちこわし、土蔵其外物置蔵共打ちこわし」(『御用留』)と記録される(埼玉県教育委員会2013)。打ちこわしの範囲等が不明だが、あるいは本跡と関連するものであろうか。『絵図』の「飯売旅籠や初五郎」にあたる。

区画⑨・⑩の様相 区画⑧の建物範囲より東側に、2区画を想定した。区画が不明瞭なので、第3号溝跡(本陣敷地境)の延長で便宜的に分割した。区画⑨が『絵図』の「百姓条吉」、⑩が「煮売茶や十平次」にあたる。第二面の第1085号土壌は、両区画と区画⑥に跨るが、ここから鍋島焼の破片が出土した。同一個体の破片が、区画⑥～⑩にわたる範囲の遺構から出土しており、直接的に区画との関連は窺われない。本陣で用いられていたものが、破損後に混在した可能性が高いと考えられる。栗橋宿における調査では唯一の出土例であり、本陣の性格を良く示す出土品と言える。

栗橋宿跡における町屋の様相は、既刊の各報告書の中で整理されている。それらと比較すると、店子町屋と考えられる本書報告範囲に土蔵建物が少ない特徴がある。敷地裏手に土壌や桶が密に分布する点は宿全体の様相と同じである。敷地裏手に掘井戸を備えるケースが多く、敷地毎に水を確保する傾向が強い。上水が発達した江戸とは異なる、宿場町の様相と言えらるだろう。

(3) 火災の痕跡

調査区東壁・西壁では焼土層が検出されている。重複する溝跡の時期や検出面から18世紀末以降、19世紀前葉までの火災で形成されたものと考えられる。栗橋宿では文化7年(1810)と文政5年(1822)に大火があったことが史料にみえており、焼土層はこれらに関わるものと推定される。なお、西壁(基本土層①)では焼土層が二枚認められたが、これが二回の大火に相当するものか否かは、十分に検証ができない。調査区全体としては一枚の焼土層のみ検出された部分が多い。

焼土層との関わりで注目されるのは、多くの火災処理土壌である。第94表に、火災処理土壌をまとめた。被熱した陶磁器は19世紀前葉までに収まり、基本土層の焼土層と時期に近い。概ね、各土壌とも文化・文政期の火災処理に伴うものと考え得て良いだろう。ただし第25号土壌からは、天保通宝が1枚出土している。重複遺構からの混在とも考えられるが、本跡に関しては以下の検討から除外しておく。

各土壌では、19世紀初頭から出現する瀬戸美濃系磁器端反碗の数に差がみられ、第55・209号土壌等に多くみられる。これらの土壌が時期的に後出すると捉えることもできるが、一方で検出された土壌毎に、器種組成が大きく異なる点には注意が必要である。例えば、第55・209号土壌では碗が主体であるのに対し、第30・39号土壌等では皿が主体の様相を示す。火災処理に際して、同器種ばかりが廃棄される状況が生じていたらしい。

多数の火災処理土壌について時期毎に整理することは難しいが、土壌同士の接合関係は一定の手掛かりになるであろう。各遺構の接合関係をみると、第2・7・9・188号土壌での接合が顕著で、これらは同時期の火災に伴う蓋然性が高い。また、第16・64号土壌でも顕著に遺物が接合している。第16号土壌の陶磁器はやや遡る様相を示すが、第64号土壌には被熱した瀬戸美濃系磁器が含

まれており、やはり文化・文政期の火災に関わると理解すべきであろう。

(4) 第30号土壌の特徴

次に、火災処理土壌である第30号土壌について検討したい。本跡は、基礎に焼土を用いた第1号建物跡を壊して構築されており、近接した時期の火災の痕跡と捉えられる。建物跡に用いられた焼土が文化7年の火災によるものとするれば、土壌は文政5年の火災処理で構築された可能性がある。

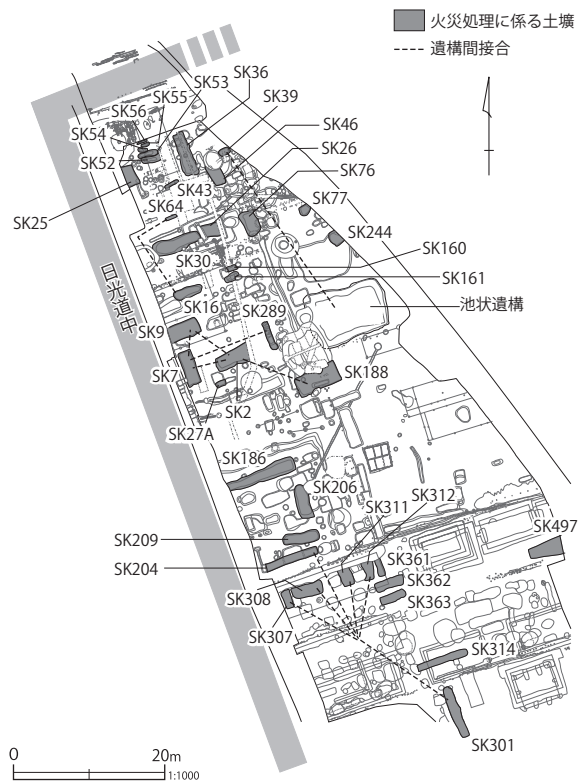
第30号土壌では、組物と考えられる肥前系磁器の皿類がセットで出土した。径19cm程の皿や所謂長皿（巻頭写真2参照）がそれで、重ねられた状態で被熱したものである。このほか、中国清朝磁器の皿も出土しており、大小2枚のセットであった。径20cm前後の皿が組物で出土する例は栗橋宿跡では稀で、やはり火災処理土壌の第39号土壌の例があるに過ぎない。また、長皿の出土も稀であり『本陣跡Ⅰ』で扱った第301号土壌から1点が出土している。第301号土壌からは、蓋付の特

微的な磁器鉢や、備前焼小型播鉢の組物も出土しており、一連の火災で「普段使い」では無い陶磁器類が被熱・廃棄されたことを物語っている。文政5年（1822）の『本陣与四右衛門類焼中本陣私共勤方につき断一礼』（久喜市教育委員会蔵 旧梅田家文書）は、大火の被害により、脇本陣等が本陣の代わりに勤めることを記す文書であるが、「御本陣与四右衛門殿御殿通は不及申、土蔵其外御賄向諸道具共不残類焼仕助命いたし候のみ」とみえ、文政の火災で「賄向諸道具」が悉く焼けたと記される（久喜市教育委員会2013）。火災処理土壌から出土した陶磁器の一部がこれにあたりと考えられ、第30号土壌の遺物は、文政期における本陣の備品を示す資料として評価できる。このほ

第94表 火災処理に係る土壌一覧

遺構	形状	最大長 単位 m *小数第2位以下切り捨て	覆土	被熱遺物 (◎は多い △は被熱せず)								
				肥前磁器		瀬戸美濃磁器	磁器	陶器	陶器	接合関係		
				肥前広東碗	肥前多角形鉢	高い蛇の目高台皿	瀬戸美濃磁器端反碗	磁器卵殻手坏	陶器景信灯明皿	陶器青緑釉土瓶	陶器灰釉土瓶	
SK2	長方	4.5+	B	○	○	○	○	-	-	-	○	SK7, 9, 121, 151, 166, 188
SK7	長方	4.6	A	○	○	-	○	△	-	△	○	SK2, 9, 188, 289
SK9	長方	4.2+	A	○	○	○	-	-	-	-	-	SK2, 7, 151, 166, 188, 121
SK16	楕円	3.9	B	-	-	-	△	-	-	-	-	SK64, 161
SK25	長方	2.8	C	◎	◎	◎	○	-	-	-	◎	天保通宝1
SK26	不明	2.0+	-	-	-	-	-	△	-	-	-	*近代混入多 SK92, 144
SK27A	長方	不明	A?	-	-	-	-	-	-	-	-	近代混入多
SK30	楕円	6.2+	B	○	-	-	-	-	-	-	△	SK26
SK36	長方	6.0	B	◎	-	-	-	-	-	-	△	
SK39	楕円	1.5	A	-	-	-	○	-	-	△	△	SK11, SG
SK43	楕円	2.0	B?	-	-	-	-	-	-	-	-	陶磁器少
SK46	長方	3.0	C	○	-	-	○	-	-	-	△	
SK52	楕円	2.4+	B	-	-	-	-	-	-	-	-	陶磁器少
SK53	楕円	2.6	A	○	○	-	△	-	-	-	△	SK55
SK54	楕円	1.2	A	-	-	-	-	-	-	-	-	陶磁器少
SK55	楕円	1.1	-	◎	◎	◎	◎	○	-	-	○	SK53, 56
SK56	楕円	1.4	-	△	-	-	-	-	-	-	-	SK55
SK64	長方?	3.2+	B	○	-	-	○	-	-	-	-	SK16
SK76	長方	3.4	B	-	-	-	△	-	-	-	△	
SK77	不整	1.5+	A	-	-	-	-	-	-	-	-	陶磁器少
SK160	楕円	1.5	A	-	-	-	-	-	-	-	-	陶磁器やや少
SK161	楕円	2.0	A	△	-	△	-	-	-	△	△	近代混入有
SK186	長方	9.2	A	○	-	-	-	-	-	-	○	
SK188	長方	5.8	C	△	△	△	△	-	-	△	○	SK2, 7, 9
SK204	長方	7.7	A	◎	-	-	-	-	-	-	○	鉄釉土瓶 SK207, 237, 301
SK206	楕円	4.6	A	-	-	○	◎	-	-	-	○	陶器爛徳利
SK209	楕円	4.8	A	○	-	-	◎	-	-	○	○	SK201, 205, 207, 217, 233, 234
SK244	不整	2.0	A	-	-	-	-	-	-	-	-	瓦主体
SK289	楕円	3.9	-	○	-	-	○	-	-	-	-	SK7
SK301	308/311/312	A	◎	◎	◎	◎	○	-	-	-	-	『本陣跡Ⅰ』報告 SK204

(覆土) A 焼土単層 / 炭単層 B シルト, 砂被覆 C 互層, 斜方向堆積



第375図 火災処理に係る土壌の分布

か、第26号土壇出土の「揚羽蝶文」の鬼瓦も、火災による本陣の被災状況を顕著に示す遺物である。

(5) 17～18世紀の遺構様相

栗橋宿跡の調査では、18世紀中葉以降の遺構が多く検出されるのに対し、18世紀前葉以前の遺構が極端に少なく、明確に17世紀後半に位置づけられる遺構は確認されていない。第二面より下は、シルトと砂の堆積層で無遺物層であった（第24図セクション図参照）。近接する栗橋宿本陣跡第5次調査区では、日光道中の一部を調査したが、最下層の道路面の下に18世紀前～中葉の遺物を伴う落ち込みが確認され、以下は自然堆積層との所見が得られている（『栗橋宿跡Ⅴ』参照）。

一方で、本書で報告した第1025・1032号土壇は、17世紀中葉に遡る遺構で、100点前後のかわらけが一括廃棄されていた。検出位置は、本陣敷地の中心部に近い部分と考えられ、遺物の特殊性を考慮すれば、17世紀の本陣に関わる遺構とみられる。同じ頃の遺構は、本陣敷地より南側の町屋範囲で2箇所確認されており（本陣跡第755号土壇・第

6地点第220号土壇）、第二面の下層に近世の生活面がある可能性は低いと言える。

以上より、①17世紀中葉の遺構が少数存在し、本陣敷地の位置も変わらなかった可能性が高い。②一方で、17世紀後半～18世紀前葉の遺構は極めて希薄である。③18世紀中葉以降に遺構が急増する。と整理され、宿場の発展過程としてはやや不自然な変遷が窺われる。いずれにせよ、現在地における宿の継続的な発展は、18世紀中葉が端緒となると言える。

ところで、18世紀中葉、寛保2年(1742)8月の洪水では栗橋宿も大きな被害を受け「宿方家居不残流失」とされる。その後、堤防普請を経て翌年3月「栗橋宿町並家作出来ニ付、町並往還之儀右宿中より願出候ニ付…」(『御関所御用諸記』)と、宿の復興が記録される(埼玉県教育委員会2002)。遺構の消長と寛保の洪水には相関があるように思われるが、このことは、宿場の展開を考える上で大きな問題であり、関連する史資料の精査を得て慎重に検討されるべきであろう。

参考・引用文献

- 久喜市教育委員会 2013『久喜市栗橋町史 第四巻 資料編二 近世』久喜市教育委員会
久喜市教育委員会 2015『図説 利根川と生きる栗橋のあゆみ』久喜市教育委員会
栗橋町教育委員会 2008『身のまわりの生活史と人の一生』(栗橋町史 民俗Ⅰ)
埼玉県教育委員会 2002『埼玉県資料叢書』13上 栗橋関所史料一
埼玉県教育委員会 2013『埼玉県資料叢書』16 栗橋関所史料五
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018『栗橋関所番士屋敷跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第436集
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018『栗橋宿跡Ⅰ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第448集
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2019『栗橋宿本陣跡Ⅰ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第451集
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2019『中通南遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第454集
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2019『栗橋宿跡Ⅲ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第456集
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2020『栗橋宿跡Ⅴ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第463集
東京大学埋蔵文化財調査室 1999『東京大学構内遺跡調査研究年報2』東京大学埋蔵文化財調査室
東京大学埋蔵文化財調査室 2011『東京大学構内遺跡調査研究年報7』東京大学埋蔵文化財調査室
長佐古真也 2013「江戸遺跡出土の清朝陶磁について」『近世江戸の貿易陶磁器』第34回貿易陶磁研究会研究集会
中野高久 2011「「亀」在銘資料の流通と展開」『江戸時代の名産品と商標』吉川弘文館
鍋島藩窯研究会編 2002『鍋島藩窯』
堀内秀樹 1997「東京大学本郷構内の遺跡における年代的考察」『東京大学構内遺跡調査研究年報1』
堀内秀樹 2010「近世の薬種受容と唐薬貿易」『南海を巡る考古学』同成社
八千代町教育委員会2011『権現山遺跡』八千代町埋蔵文化財調査報告書14